

令和5年度 主要施策の成果説明書



小さいくせに
ぜんぶある。

惑星コトウラ

琴 浦 町

目次

議 会 事 務 局	1
総 務 課	2
町 民 生 活 課	3
企 画 政 策 課	4
商 工 観 光 課	5
税 務 課	6
農 林 水 産 課	7
すこやか健康課	8
福祉あんしん課	9
子育て応援課	10
建 設 住 宅 課	11
上 下 水 道 課	12
出 納 室	13
農業委員会事務局	14
教 育 総 務 課	15
社 会 教 育 課	16
人権・同和教育課	17
資 料 編	18

会計 款-項-目 事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
一般会計				
議会事務局				
1.議会費				
1.議会費				
1.議会費				
議員人件費	73,670	73,669	1-1	
町議会運営一般	11,832	7,881	1-2	
2.総務費				
6.監査委員費				
1.監査委員費				
監査事務	1,313	1,209	1-4	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	2	事業名	議員人件費			会計区分	一般会計		
担当課	議会事務局			担当係	庶務・議事係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	1	議会費	項	1	議会費	目	1	議会費
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				①町民に伝わる情報発信と情報共有				
	重点項目 情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	73,670	73,669	0	0	0	0	73,669		
事業目的	「琴浦町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」に基づき、議員へ報酬及び期末手当等を支給します。 「地方公務員等共済組合法」に基づく共済費を負担します。								
事業の 主な 実施状況	細事業等	事業内容							決算額
	1報酬	<議員報酬> ・報酬月額 (16人) 内訳 議長 331千円×1名 副議長 240千円×1名 委員長 232千円×4名 議員 224千円×9名							44,868
	3職員手当等	<議員期末手当> 3,739千円(報酬月額)×1.2×1.7×2回(6月・12月)							15,255
	4共済費	<議員共済会負担金> ・議員共済会事務費(条例定数) 15千円×16人(定数)=240千円 ・年金廃止に伴う特別負担金 220千円(標準報酬月額)×16名×12ヶ月×31.5/100							13,546
	合計								73,669
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】 ① 議員のなり手不足の問題や、議会運営の在り方について、議会改革推進特別委員会において更に検討し、法令等の改正や体制整備の強化する必要があります。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 議会改革推進特別委員会を9回開催し、議員定数及び議員報酬等について検討しました。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 ① 議会運営の在り方について、議会改革推進特別委員会において検討し、議会の運営に関する基準を定め、体制整備を行いました。								
	① 議会改革推進特別委員会の検討結果により、法令等の改正や体制整備を行う必要があります。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	3	事業名	町議会運営一般			会計区分	一般会計		
担当課	議会事務局			担当係	庶務・議事係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	1	議会費	項	1	議会費	目	1	議会費
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				①町民に伝わる情報発信と情報共有				
	重点項目	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	11,832	7,881	0	0	0	0	7,881		

事業目的 議会は、「議決機関」であり、町民の要望を町政に反映させるため、議会を運営し、予算・条例などの議案を審議し、調査・研究活動、諸活動により、町政の発展と町民福祉の向上を図ります。
更に、議会改革の推進により開かれた議会を目指します。

◆ <主な経費>

細事業等	内容	決算額
8旅費	<u><普通旅費></u> ・委員会視察研修随員分 114,210円 <u><費用弁償></u> ・議員会議出席旅費、議員研修旅費、委員会視察等 1,564,604円	1,679
9交際費	<u><議長交際費></u> 慶弔（花輪等）、委員会視察土産、視察受入れ茶菓子等	207
10需用費	<u><消耗品費></u> ・法令集等追録代、事務消耗品代、新聞代等 <u><印刷製本費></u> ・議会だより発行 6,100部×4回/年	1,747
11役務費	<u><手数料></u> ・額名入れ	4
12委託料	<u><委託料></u> ・会議録調整業務、 検索システム業務	2,073
18負担金、補助及び交付金	<u><負担金></u> 県町村議会議長会負担金 1,964,800円 中部町村議会議長会負担金 151,000円 議員研修負担金 55,000円	2,171
合計		7,881

◆ 本会議の開催状況(年度4月～3月末)

○定例会(4回)

令和5年 6月 8日～ 6月 21日	5日
令和5年 9月 7日～ 9月 26日	5日
令和5年 12月 7日～ 12月 19日	5日
令和6年 3月 4日～ 3月 22日	5日

○臨時会(6回)

令和5年 4月 25日	1日
令和5年 10月 23日	1日
令和5年 11月 28日	1日
令和5年 12月 27日	1日
令和6年 2月 15日	1日
令和6年 3月 28日	1日

事業の
主な
実施状況

◆ 常任委員会の開催状況(年度)

- 議会広報常任委員会(年4回発行) 18回
 - 第76号(5/1発行) 委員会開催:1回の発行につき、随時開催(4~5回程度)
 - 第77号(8/1発行)
 - 第78号(11/1発行)
 - 第79号(2/1発行)

- 総務産業常任委員会 9回
- 教育民生常任委員会 11回



◆ その他開催状況(年度)

- 議会運営委員会 16回
- 全員協議会(全議員による協議調整の場) 13回
- 月例報告会(町執行部からの定期報告) 8回 (定例会月は除く)

- 町民・各地区・各種団体等との意見交換会 6回
(成美地区、古布庄地区等)

※各会議等の資料について、町HP(ホームページ)に掲載しておりますので、皆様に見ていただければ幸いです。

担当課による評価

S 目的達成

【前年度課題の概要】

- ① 議会改革推進特別委員会による議員のなり手不足や議員定数、議員報酬等の課題解決に向け、議会改革を更に進める必要があります。
- ② デジタル化の推進とともに、更に、町民にわかりやすい開かれた議会となるよう議会改革を進めます。
- ③ 品位の保持と議員各位の更なる資質向上を目指します。

【前年度課題についての対応及び成果】

- ① 議会改革推進特別委員会の各部会において、課題解決に向け検討しました。
- ② 開かれた議会を目指し、HPの迅速な更新に努めました。
- ③ 県、中部議長会主催の研修に積極的に参加しました。その他に議員研修(まちづくり条例勉強会、鳥獣被害対策、人権研修)を行いました。

【担当課による評価の理由】

- ① オンラインを活用した委員会の開会を可能とするため、委員会条例を改正しました。
- ② 請願及び陳情の受付について要綱を制定し、ファクシミリ及びメールにて受付可能としました。
- ③ 議員研修会に積極的に参加し、議員の資質向上を図りました。

事業目的の達成状況

今後の取り組みの方向

- ① デジタル化の推進とともに、町民にわかりやすい開かれた議会となるよう議会改革を進めます。
- ② 品位の保持と議員各位の更なる資質向上を目指します。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	66	事業名	監査事務			会計区分	一般会計	
担当課	議会事務局		担当係	庶務・議事係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	2	総務費	項	6	監査委員費	目	1
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きとともに創る未来のまちづくり				①町民に伝わる情報発信と情報共有			
	重点項目	情報発信と対話で楽しく、みんなが関わる協働のまちづくり						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	1,313	1,209	0	0	0	0	1,209	
事業目的	公正で合理的かつ能率的な町の行政運営確保のため、違法不当の指摘に止まらず改善と改革指導に重点を置いて監査を実施し、もって町行財政の適法性、効率性の増進を図ります。							
事業の 主な 実施状況	細事業等	事業内容						決算額
	1報酬	<u><監査委員報酬></u> 町監査委員2名 代表監査委員50,700円×12ヶ月 監査委員 34,300円×12ヶ月 ・例月出納検査(毎月) ・定期監査(年2回) ・決算審査(年1回) ・随時監査(随時)						1,020
	8旅費	<u><費用弁償></u> ・県内交通費 14,652円 ・監査委員全国研修会 85,720円 交通費24,560円×2人 宿泊費13,100円×2人 日当 5,200円×2人						100
	10需用費	<u><消耗品費></u> ・プリンタートナー等						20
	18負担金、 補助金及び 交付金	<u><負担金></u> ・県監査委員協議会分担金 60千円 ・全国研修会参加負担金 9千円						69
合計							1,209	
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			S 目的達成				
	【前年度課題の概要】							
	① デジタル化(DXの推進)とともに、その監査方法についても協議・検討が必要です。 ② 例月出納検査(毎月)、定期監査(年2回)、決算審査(年1回)に加え、財政援助団体等への随時監査を実施します。 ③ 法令及び町監査基準に準拠し、より独立性と専門性を活かした監査の推進。							
【前年度課題についての対応及び成果】								
① デジタル化(DXの推進)とともに、その監査方法について協議・検討しました。 ② 計画的に監査を実施しました。 ③ 監査委員研修会に積極的に参加し、専門的な知見を深めました。								
【担当課による評価の理由】								
① 改善と行政改革指導に重点をおいた監査を実施し、その結果を報告しました。 ② 住民監査請求による監査を実施しました。								
今後の 取り組み の 方向	① デジタル化(DXの推進)とともに、その監査方法についても対応します。 ② 法令及び町監査基準に準拠し、より独立性と専門性を活かした監査を実施します。							

一般会計

総務課

2.総務費

1.総務管理費

1.一般管理費

一般管理事務

69,045 64,778 2-1

安全衛生委員会

1,347 979 2-3

情報公開・個人情報保護等

507 30 2-5

職員研修

8,018 7,071 2-6

職員厚生

5,320 3,801 2-8

庁舎管理

53,979 52,298 2-9

秘書業務

3,238 2,236 2-11

令和6年能登半島地震災害支援事業

990 724 2-12

3.財政管理費

ふるさと納税

422,000 399,707 2-13

財政管理事務

464,932 457,631 2-15

行財政改革推進事業

144 34 2-17

5.財産管理費

公共施設等総合管理事業

1,373 1,364 2-18

駅前自転車置場管理運営

257 241 2-19

財産管理(普通財産)

7,397 5,743 2-20

総合賠償保険加入事業

1,804 1,486 2-21

子どもの遊び環境整備事業

8,195 8,146 2-22

ふなのえこども園・成美地区公民館建設事業

1,125,348 496,546 2-23

7.企画費

公共工事等の品質確保

7,022 7,017 2-24

6.商工費

1.商工費

3.観光費

赤碓ふれあい広場リニューアル事業

150,993 150,979 2-25

9.教育費

4.社会教育費

2.公民館費

浦安地区公民館移転事業

41,370 40,492 2-26

5.保健体育費

1.保健体育総務費

東伯総合公園リニューアル事業

450 0 2-27

3.体育施設費

東伯総合公園整備事業

4,248 0 2-28

総務課

2.総務費

1.総務管理費

8.交通安全対策費

交通安全対策

6,498 4,151 2-29

9.電算機管理費

個人番号運用事業

4,906 4,190 2-30

電算管理(ネットワーク関係)

24,790 24,438 2-32

電算管理(職員用関連)

29,617 29,201 2-34

電算管理(総合行政システム)

52,798 51,046 2-35

DX推進事業

13,032 11,307 2-37

11.新型コロナウイルス感染症対策費

新型コロナウイルス感染症対策事業(マスク等消耗品費)

1,000 270 2-39

物価高騰対策町民支援商品券配付事業

108,348 105,182 2-40

物価高騰対応重点支援商品券配付事業

56,388 16,986 2-41

12.諸費

式典事業

983 745 2-42

定期借地権設定事業

18,036 16,989 2-43

部落自治振興費補助

31,359 27,245 2-44

4.選挙費

1.選挙管理委員会費

選挙管理委員会の運営

176 152 2-45

2.県知事・県議会議員選挙

県知事・県議会議員選挙

7,879 7,099 2-46

8.消防費

1.消防費

1.常備消防費

常備消防費

250,899 245,227 2-47

2.非常備消防費

地域防災力向上事業

2,918 1,721 2-48

非常備消防事務経費

68,265 63,392 2-50

3.消防施設費

消防施設経費

20,030 18,599 2-52

11.公債費

1.公債費

1.元金

起債繰上償還元金

74,366 74,366 2-53

起債償還元金

1,341,494 1,307,638 2-53

2.利子

起債償還利子・一時借入金利子

58,661 55,949 2-53

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	5	事業名	一般管理事務		会計区分	一般会計			
担当課	総務課	担当係	行政総務室		事業区分	□新規		■継続	
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				—				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	69,045	64,778	0	685	806	0	63,287	勤労者住宅建設資金貸付金利息収入 1千円 他会計負担金 805千円	
事業目的	行政運営上必要な庶務的業務を行います。 夜間・休日警備、町例規等の管理を行い、役場行政の安定した運営を行います。								
事業の主な実施状況	<p>① 行政運営上必要な庶務的業務の推進 36,962千円 例規集管理、就業管理、区長配布文書処理など、全庁舎に及ぶ行政運営上必要な基礎的業務を、リモート会議の奨励など新型コロナウイルス対策を行いつつ推進しました。 就業管理システムの令和4年度改修時に追加した管理職用の配下職員時間外勤務時間数・年休取得状況把握画面、振替休日事前指定機能、打刻乖離時間警告表示等を活用し、勤怠管理の適正化を進めました。</p> <p>○例規管理・法制執務支援業務 2,908千円 ○就業管理システム運用支援委託料 589千円 ○区長宛配布文書委託料 1,421千円 ○デジタルカラー複合機等OA機器等借上げ 3,600千円 ○勤労者住宅建設資金貸付金 10,000千円 ○その他一般管理業務に伴う経費(通信運搬費、使用料等)18,444千円 ・通信運搬費 11,261千円 ・消耗品費(コピー料、用紙代等) 4,318千円 ・その他 2,865千円</p> <p>② 広域連合、中部町村会など、広域行政の推進による効率的な事務執行 27,816千円 中部ふるさと広域連合、鳥取県及び中部町村会を始めとして、職員採用試験実施、防犯活動などの事務を周辺市町村との連携により効率的に実施しました。</p> <p>○中部ふるさと広域連合負担金 22,377千円 ○中部町村会負担金 2,531千円 ○鳥取県町村会負担金 520千円 ○琴浦大山警察署管内防犯協議会負担金 355千円 ○倉吉未来中心管理運営費負担金 1,592千円 ○県町村総合事務組合一般負担金 249千円 ○その他負担金 192千円</p>								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 令和4年度に行った就業管理システムの改修点の利活用を進め、職員の時間管理意識向上、業務効率化推進により資する様にする必要があります。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症の5類化を受け、引き続き感染拡大防止と事務事業の正常化のバランスを取りながら業務推進を図る必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 令和4年度改修点を管理職会で共有化し、時間外勤務・休暇取得状況把握画面、打刻乖離警告、振替休日事前指定等の機能活用を促し、職員の時間管理意識向上等を進めました。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症の5類化に合わせ、今後の感染拡大防止対応の方針を定めて管理職会・グループウェア等で共有し、拡大防止と業務継続との両立を図りました。</p>								

	<p>【担当課による評価の理由】 就業管理については、令和4年度の改修点の浸透を図りながら利用状況を見守り、振替休日の事前指定による確実な取得等の改善を進めました。コロナについては職員に罹患者も出ましたが、引続き感染拡大防止に努め、以前のクラスターのような状況は発生しなかったこともあり、上記の表現としました。</p>
今後の 取り組み の 方向	<p>①就業管理システムについては、改修点の継続活用と、その他の改善点検討を継続します。 ②コロナについては5類化はしましたが特効薬は未開発であり、感染拡大防止への取組を継続する必要があります。</p>

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	8	事業名	安全衛生委員会		会計区分	一般会計		
担当課	総務課	担当係	行政総務室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 1	一般管理費		
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				—			
	重点項目	—						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	1,347	979	0	0	0	0	979	
事業目的	労働安全衛生法に基づき、職員の安全と健康を確保するため委員会を運営します。							
事業の 主な 実施状況	<p>① 労働安全衛生法に基づき、安全衛生委員会(8名)を設置・運営しました。また、産業医に委託し、職場の健康・安全管理について、チェック及び改善を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の開催(12回) ・産業医委託料 840千円 <p>【産業医の活動内容】</p> <p>委員会への出席、ストレスチェックの結果を衛生管理者と協議し必要と判断した人に面接指導を実施、長時間労働者の面接指導、検診結果の確認・フォローアップへの助言 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックを実施しました。 対象者:388名 回答者:378名(回収率:97.4%) ストレス結果が高値の該当者40名(前年31名)の内、特に面談が必要だと判断した3名に面接指導勧奨を行いました。(面接実施者3名) また、管理職を対象に各所属のストレス状況結果について説明会を開催しました。 ・毎月第3水曜日に禁煙デーを設定し、就業時間内(昼休憩を除く)の禁煙をグループウェアで呼び掛けました。 ・就業管理システムよりデータを抽出し、時間外勤務命令と打刻乖離時間の合計が月45時間を超える職員数及び一人当たり平均時間数を管理職会にて報告し、業務改善を依頼しました。また、定時退庁日(毎週水曜日)の18時15分以降打刻者数をグループウェアで、毎週報告しました。 管理職会にて、適正な時間外申請の呼びかけを行いました。 <p>一月45時間以上の時間外労働者数(時間外勤務命令時間+乖離時間の合計) 令和5年4~11月:延べ101人(令和4年4~11月:延べ158人)</p> <p>一人あたり月平均時間外労働時間(時間外勤務命令時間+乖離時間)数 令和5年4~11月:17.4時間 (令和4年4~11月:19.12時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課からの安全衛生についての要望をまとめ、職場巡回を実施しました。 照度計を購入し、暗いと指摘のあった箇所の検査を行いました。 ・管理職(園長含む)監督職を対象としたメンタルヘルス研修会の開催 ラインケア(管理監督者によるケア)やコミュニケーションのポイント等の具体的な方法について認識を深めました。(参加者21名) ・開業保健師 渡部一恵氏によるメンタルヘルス個人相談会(6回 参加者延べ19名)の開催 また、渡部氏に各こども園を訪問いただき、相談会を開催しました。 ・有給休暇取得率向上のため、休暇取得状況実態調査を行い、職員に取得を促しました。 令和5年1~9月 一人当たり平均取得日数:9.5日(前年度7.7日) 							

	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 引き続き職員のメンタルヘルス支援に取り組む必要があります。個人相談会の結果から、管理職を中心にラインケアや良質なコミュニケーションの方法についての研修会開催が必要です。</p> <p>② 時間外労働時間の削減に取り組む必要があります。</p> <p>③ 町健康部局と連携して、健康経営をより意識した取り組みを検討する必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 職員のメンタルヘルス対策のため、相談窓口の設置や個人相談会を定期的に行い、気軽に相談できる環境を整えました。相談窓口については、グループウェアの掲示板で相談窓口を周知しました。管理職を対象とした研修会を開催し、ラインケアについての認識を深めました。</p> <p>② 定時退庁日(毎週水曜日)の18時15分以降打刻者数をグループウェアで毎週報告することにより、時間外勤務への職員の意識改革を進めました。</p> <p>③ 職員厚生会と連携し、職員の健康管理支援を行うため、谷川コンディショニングトレーナーの指導の下、職員を対象としたストレッチ教室を開催しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>メンタルヘルス等による休職者や時間外労働時間について、前年度と比較して減少し、有給取得状況についても前年度と比較し改善しているため、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>	
	今後の 取り組み の 方向	<p>職員のメンタルヘルス支援に引き続き取り組む必要があります。個人相談会の結果から、管理職を中心としたラインケアや良質なコミュニケーションの方法についての研修会開催が必要です。また、新規採用職員の若手職員へもメンタルヘルス面談等へ参加しやすい体制づくりが必要です。</p>

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	9	事業名	情報公開・個人情報保護等			会計区分	一般会計																									
担当課	総務課		担当係	行政総務室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																									
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費																							
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				②町民参画・協働の仕組みづくり																											
	重点項目 情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり																															
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																								
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																									
令和5年度	507	30	0	0	0	0	30																									
事業目的	町政に対する町民の知る権利を保障し、町民参加による開かれた公正な町政の推進に資することを目的とします。また、個人の尊厳と基本的人権の尊重のため、個人の権利利益の保護を図ります。																															
事業の 主な 実施状況	① 情報公開審査会・個人情報保護審査会 令和5年度 11月6日 開催 内容: 不開示決定に対する審査請求について、情報公開制度の運用状況について 11月2日 開催 内容: 不開示決定に対する審査請求について 11月30日 開催 内容: 不開示決定に対する審査請求について																															
	② 開示請求運用状況(単位:件) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>請求区分</th> <th>請求件数</th> <th>全部開示</th> <th>部分開示</th> <th>不開示</th> <th>審査請求</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公文書開示請求</td> <td>13</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>自己情報開示請求</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>任意開示請求</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>									請求区分	請求件数	全部開示	部分開示	不開示	審査請求	公文書開示請求	13	4	9	0	2	自己情報開示請求	1	0	1	0	0	任意開示請求	5	3	2	0
請求区分	請求件数	全部開示	部分開示	不開示	審査請求																											
公文書開示請求	13	4	9	0	2																											
自己情報開示請求	1	0	1	0	0																											
任意開示請求	5	3	2	0	0																											
	担当課による評価				A 相当程度進展あり																											
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 改正後の個人情報保護法が地方自治体へ直接適用となるため、個人情報の安全管理措置について職員への周知等を検討します。																															
	【前年度課題についての対応及び成果】 改正個人情報保護法について、グループウェアで職員に周知を行いました。安全管理措置に関する規定の整備には至りませんでした。開示請求に対する審査請求の対応につき、適正執行しました。																															
	【担当課による評価の理由】 安全管理措置に関する規定につき、整備に至りませんでした。引き続き検討を進めます。																															
今後の 取り組み の 方向	安全管理措置に関する規定を整備し、職員への周知を行います。																															

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	7	事業名	職員研修			会計区分	一般会計		
担当課	総務課	担当係	行政総務室			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				—				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	8,018	7,071	0	0	1,449	0	5,622	地域活性化センター助成金1,000千円 北栄・湯梨浜負担金40千円 市町村職員研修助成金409千円	

事業目的 職員研修の実施及び人材開発センター等で開催される研修などへの受講・参加促進を図り、町行政の効率的・効果的な運営のため、行政職員としての資質を高めます。

- ① 職場外研修の実施 2,560 千円
 - (1) 県職員人材開発センター研修 2,145 千円
県職員人材開発センター主催研修を活用、階層別研修や能力開発・向上研修に職員をのべ145名が受講しました。
 - (2) 県外研修施設などへ派遣 2,560 千円
市町村職員中央研修所等、県外研修施設に職員を9名派遣しました。
教育施設やゴミ処理関連施設の先進地視察や研究集会等に職員を延べ37名派遣し、今後の事業推進に先進地の長所取り入れを図りました。
[先進地視察]山形県(教育関連)、兵庫県、岡山県(移住関連)など
- ② 職場内研修の実施 2,366 千円
 - (1) ”がんばる地域”応援事業「有隣塾」の開催 1,097 千円
一般財団法人 地域活性化センターの人材育成助成事業を活用、琴浦・北栄・湯梨浜3町共催で政策企画能力育成等の職員研修を開催、地方創生時代を支える人材育成を推進しました。

回	タイトル	開催日	内容等	参加者数
1	ファシリテーションカアップ講座	5/10 AM	[形式]講演・ワークショップ	27人
		5/10 PM	[内容]住民との合意形成に主眼を置いた、会議ファシリテーションを中心としたファシリテーションの基礎。ホワイトボードを活用した会議法について学習	19人
		6/13	[講師]九州大学大学院客員教授 加留部 貴行 氏	17人
2	政策企画力養成講座①	7/27	[形式]講義 [内容]組織として職員の育成にあるべき姿、組織活性化へのヒント「心理的安全性」についての学習 [講師] (株)YeeY協働創業者/代表取締役 島田 由香 氏	37人
3	政策企画力養成講座②	11/18	[形式]講演・ワークショップ [内容]新規事業実施と財政健全化の両立手法についての学習。「ビルド&スクラップ」を自治体経営シュミレーションを通じて体感した。 [講師]福岡市住宅都市局住宅運営課 杉村 昌樹 氏	39人



政策企画力養成講座②の様子

事業の主な実施状況

- (2) 政策力アップ！職員アイデア研修の開催 600 千円
総務省地域力創造アドバイザー制度を活用、地域課題解決に詳しい専門家を招へいして「政策コンテスト」開催等を通じて「研修＋企画＋企画実践」による企画力向上と町施策改善の両立を2カ年に渡って実践します。(令和5年度は研修を実施)

回	タイトル	開催日	内容等	参加者数
1	DXマインド研修	1/16・17	〔形式〕ワークショップ 〔内容〕DXについて「本当に大切なこと」についての学習。身近な人のアイデアから政策化のヒントを学ぶ。 〔講師〕(株)サイバーエージェント AI事業部 GovTec開発センター 粕谷 昌男 氏	55人
2	システムデザインマネジメント・仮説思考	1/31	〔形式〕講義 〔内容〕仮説を立て、課題・アイデアを発見し、政策を創る方法についての学習 〔講師〕 青山社中株式会社 取締役 大山 詠司 氏	57人
3	ナッジ	2/14	〔形式〕講義 〔内容〕行動経済学の概念である、人の性質に配慮して、より良い選択を促すという意味の「ナッジ」を利用して施策効率化を劇的に高める方法についての学習 〔講師〕 青山社中株式会社 取締役 大山 詠司 氏	57人
4	EBPM	2/28	〔形式〕講義 〔内容〕合理的根拠(エビデンス)に基づく政策企画を行うための、政策目的を具体化し、政策の効果を具体的に測る方法についての学習 〔講師〕 青山社中株式会社 取締役 大山 詠司 氏	44人



ナッジ研修の様子

(3)コンプライアンス研修などの実施 669 千円

職員の懲戒免職事案を受け、法令遵守意識に基づいた職務執行の重要性を再認識するためコンプライアンス研修を管理監督職、その他職員の2つの対象に分け開催し、127名が受講しました。

また、昨年に引き続き人事評価者研修を実施しました。

	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 職員のコンプライアンス違反による懲戒処分事案があったことから、法令遵守意識の徹底が重要な課題です。管理監督職、その他職員の双方へのアプローチでコンプライアンス研修を継続する必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 職場外研修 市町村職員中央研修所など県外研修施設での対面研修が通常となり、現地に派遣することができました。一方でリモート研修が普及し、人材開発センターでの研修は多くがオンライン研修となり、移動にかかる負担などを軽減できました。</p> <p>② 職場内研修 有隣塾など外部より講師を招き研修を実施し、政策企画能力など今後より職員に求められる資質の向上に努めました。参加者募集にあたっては早めの周知に努めました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 人材開発センター研修についてはオンライン受講推進を推進して計画どおり実施できています。また、有隣塾では、これからの組織に必要な「心理的安全性」といった新たな視点での研修を展開すると共に、ファシリテーション力アップ講座受講者がワークショップのグループ進行役と務めるなど、研修内容の実践化を進めました。</p>	
	<p>研修の目的である町行政の効率的・効果的運営の実現のためにも、研修成果がより発揮される様、より実践的な研修を展開できる様に研修内容をより工夫して行きます。</p>	
今後の取り組みの方向		

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	632	事業名	職員厚生	会計区分	一般会計																										
担当課	総務課	担当係	行政総務室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続																									
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 1	一般管理費																									
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			—																											
重点項目	—																														
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																								
令和5年度	5,320	3,801	0	0	82	0	3,719	健康診断・がん検診個人負担金82千円																							
事業目的	職員の健康増進のための予防衛生として健康診断、がん検診、人間ドックなど事業を行います。																														
事業の 主な 実施状況	<p>① 健康診断、がん検診を実施しました。 1,814千円 ・基本健診受診者 210名 受診率:96.8%(未受診者状況:休職中、町人間ドック受診済等) [対象:210人 社会保険・共済加入者(人間ドック受診者を除く)]</p> <p>・がん、婦人検診受診者 212名(延べ人数) [対象:基本検診受診者で40歳以上の男性及び20歳以上の女性]</p> <p>② 共済組合人間ドックを実施しました。 1,973千円 ・人間ドック受診者 175名 [対象:希望する35歳以上の共済組合員]</p> <p>③ 検診結果に基づくフォローアップを実施しました。所属長へ随時対象者及び未受診者リストをお知らせし、1回目の受診を義務免除として受診勧奨を依頼しました。14千円 ・対象者数(紹介状送付数):277名 ・再受診者数:168名 ・再受診率:60.6%(R6.6.14現在) ※前年と同じ</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康診断受検者数(人)</td> <td align="center">210</td> <td align="center">204</td> </tr> <tr> <td>人間ドック受検者数(人)</td> <td align="center">175</td> <td align="center">180</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td align="center">385</td> <td align="center">384</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フォローアップ対象者数(人)</td> <td align="center">277</td> <td align="center">276</td> </tr> <tr> <td>再受診者数(人)</td> <td align="center">168</td> <td align="center">167</td> </tr> <tr> <td>再受診率(%)</td> <td align="center">60.6</td> <td align="center">60.5</td> </tr> </tbody> </table>								令和5年度	令和4年度	健康診断受検者数(人)	210	204	人間ドック受検者数(人)	175	180	計	385	384		令和5年度	令和4年度	フォローアップ対象者数(人)	277	276	再受診者数(人)	168	167	再受診率(%)	60.6	60.5
	令和5年度	令和4年度																													
健康診断受検者数(人)	210	204																													
人間ドック受検者数(人)	175	180																													
計	385	384																													
	令和5年度	令和4年度																													
フォローアップ対象者数(人)	277	276																													
再受診者数(人)	168	167																													
再受診率(%)	60.6	60.5																													
事業目的の 達成状況	担当課による評価			B 進捗が大きい																											
	<p>【前年度の課題の概要】 ① 健康診断、人間ドックの受診の結果、要精検となった者に対するフォローアップをより充実し、再検診率の向上を図る必要があります。所属長へ要精検者の状況を共有し、再受診勧奨を依頼します。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ① フォローアップ対象者となった方へ医療機関受診案内を継続実施しました。また、対象者についてはグループウェアを利用し、随時受診状況を所属長へ共有し、所属長からも声かけを実施するなどの受診勧奨を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 病気の早期発見・治療につながった事例が増えましたが、再受診率が前年度と変化が無いため、上記の評価としました。</p>																														
今後の 取り組み の 方向	健康診断、人間ドックの受診の結果、要精検となった者に対するフォローアップをより充実し、再診率の向上を図る必要があります。所属長へ引き続き要精検者の状況を共有し、再受診勧奨を依頼します。また、管理職会で再受診の状況を報告し、再診率の向上に努めます。																														

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	711	事業名	庁舎管理	会計区分	一般会計				
担当課	総務課		担当係	行政総務室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費
まちづくりビジョン	⑥ 町民の声が届きともに創る未来のまちづくり						—		
重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	53,979	52,298	0	0	2,479	22,400	27,419	職員等駐車場使用料 2,409千円、公用車・建物 保険料 15千円、全国町 村会共済金 55千円 緊急防災・減災事業債 22,400千円	

事業目的 庁舎、マイクロバス、公用車の管理をし、円滑な行政運営を目指します。

事業の
主な
実施状況

① 庁舎管理(本庁舎・マイクロバス・公用車等管理)等の実施 27,366千円
 本庁舎、マイクロバス2台、公用車8台等を適正に管理し、町民活動支援を行いました。
 ・光熱水費 9,798千円 ・燃料費 2,079千円 ・自動車保険料 390千円
 ・修繕料 3,446千円 ・委託料 7,195千円 ・その他 4,458千円

主要委託業務

名称	金額	委託先
本庁舎清掃	3,466千円	(株)アベックス
電気設備保守	452千円	(一財)中国電気保管協会
エレベーター保守	1,091千円	(株)日立ビルシステム
消防用設備保守	314千円	(有)岩谷ポンプ
ペレット、空調設備保守	959千円	(有)足立水道

② 保健センター空調改修工事 22,442千円
 災害時の避難所となっている保健センターのエアコンが老朽化により冷暖房能力が低下しているため更新を行い、冷暖房能力の回復と省エネルギー化を行い、避難所利用時・平常時の利用環境を改善しました。




改修工事更新後エアコン

③ 屋外用AED収納ボックスの設置 2,490千円
 公共施設(8施設)に設置しているAEDを24時間使用できるよう、AED収納ボックスを屋外に設置しました。
 備品購入費: 2,490千円
 屋外設置施設: 東伯総合公園野球場、八橋地区公民館、下郷地区公民館、
 上郷地区公民館、古布庄地区公民館、赤碕総合運動公園野球場、
 赤碕地区公民館、旧以西小学校




	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 庁舎をより良好に運営、管理するための見直し活動の継続を行う必要があります。 ② バスの老朽化が進んでおり、今後の運営体制を検討する必要があります。 <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保健センターエアコンの更新を行い、避難所並びに執務環境の改善を進めました。 ② バスの老朽化に伴い、2台のうち1台(29人乗り)を廃車とすると共に、町営バスの予備車両を活用する形でバス運営を継続しました。今後も同予備車両を町バスとして活用する予定です。 <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>保健センターエアコン改修が完了、バス運営体制についても一定の進捗があったため、上記の評価としました。</p>	
今後の 取り組み の 方向	<ul style="list-style-type: none"> ① 庁舎利用・職場環境の両面についての見直し活動を継続します。 ② より長期的なバスの運営体制等についての検討を行います。 	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	609	事業名	秘書業務	会計区分	一般会計																																																														
担当課	総務課	担当係	行政総務室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続																																																													
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 1	一般管理費																																																													
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり			—																																																															
	重点項目	—																																																																	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																											
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																												
令和5年度	3,238	2,236	0	0	0	0	2,236																																																												
事業目的	町長及び副町長のスケジュール管理を行い、各種会議、出張等の調整を行います。																																																																		
事業の 主な 実施状況	<p>① 秘書業務の実施 1,591千円 町行事及び各種団体との調整及び各課との連携を図り、町長、副町長のスケジュール調整を行いました。 また、県外における各種会議、要望活動等のため、計27回の出張を行いました。</p> <p>② 町長交際費 645千円 交際費として以下の支出を行いました。また、支出状況を毎月ホームページで公開しました。 ・各種協議会、団体等の懇談会会費 ・大会開催への祝電 ・県人会等における琴浦町PR品及び参加費 ・町内お悔み電報</p> <p>○町長交際費支出状況HP公開</p> <p>●4月分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支出日</th> <th>支出区分</th> <th>内訳</th> <th>支出金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月 4日</td> <td>慶弔費</td> <td>瑞宝双光章受章お祝い</td> <td>10,330 円</td> </tr> <tr> <td>4月14日</td> <td>慶弔費</td> <td>瑞宝単光章受章お祝い</td> <td>10,330 円</td> </tr> <tr> <td>4月24日</td> <td>慶弔費</td> <td>元町議会議員香典</td> <td>10,000 円</td> </tr> <tr> <td>4月26日</td> <td>慶弔費</td> <td>町外在住元職員香典</td> <td>5,000 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>慶弔費</td> <td>当選及び叙勲お祝い電報(8名)</td> <td>9,752 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>慶弔費</td> <td>町内お悔みやみ電報(12名)</td> <td>7,248 円</td> </tr> <tr> <td>4月合計</td> <td></td> <td></td> <td>52,660 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>●5月分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支出日</th> <th>支出区分</th> <th>内訳</th> <th>支出金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月16日</td> <td>その他</td> <td>東日本琴浦会役員会お土産</td> <td>5,600 円</td> </tr> <tr> <td>5月17日</td> <td>その他</td> <td>山形市児童施設視察お土産</td> <td>3,230 円</td> </tr> <tr> <td>5月17日</td> <td>その他</td> <td>群馬県施設園芸視察お土産</td> <td>3,190 円</td> </tr> <tr> <td>5月17日</td> <td>その他</td> <td>東海鳥取県人会総会・懇親会特産品提供</td> <td>11,495 円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>慶弔費</td> <td>町内お悔みやみ電報(14名)</td> <td>8,456 円</td> </tr> <tr> <td>5月合計</td> <td></td> <td></td> <td>31,971 円</td> </tr> </tbody> </table>							支出日	支出区分	内訳	支出金額	4月 4日	慶弔費	瑞宝双光章受章お祝い	10,330 円	4月14日	慶弔費	瑞宝単光章受章お祝い	10,330 円	4月24日	慶弔費	元町議会議員香典	10,000 円	4月26日	慶弔費	町外在住元職員香典	5,000 円		慶弔費	当選及び叙勲お祝い電報(8名)	9,752 円		慶弔費	町内お悔みやみ電報(12名)	7,248 円	4月合計			52,660 円	支出日	支出区分	内訳	支出金額	5月16日	その他	東日本琴浦会役員会お土産	5,600 円	5月17日	その他	山形市児童施設視察お土産	3,230 円	5月17日	その他	群馬県施設園芸視察お土産	3,190 円	5月17日	その他	東海鳥取県人会総会・懇親会特産品提供	11,495 円		慶弔費	町内お悔みやみ電報(14名)	8,456 円	5月合計			31,971 円
支出日	支出区分	内訳	支出金額																																																																
4月 4日	慶弔費	瑞宝双光章受章お祝い	10,330 円																																																																
4月14日	慶弔費	瑞宝単光章受章お祝い	10,330 円																																																																
4月24日	慶弔費	元町議会議員香典	10,000 円																																																																
4月26日	慶弔費	町外在住元職員香典	5,000 円																																																																
	慶弔費	当選及び叙勲お祝い電報(8名)	9,752 円																																																																
	慶弔費	町内お悔みやみ電報(12名)	7,248 円																																																																
4月合計			52,660 円																																																																
支出日	支出区分	内訳	支出金額																																																																
5月16日	その他	東日本琴浦会役員会お土産	5,600 円																																																																
5月17日	その他	山形市児童施設視察お土産	3,230 円																																																																
5月17日	その他	群馬県施設園芸視察お土産	3,190 円																																																																
5月17日	その他	東海鳥取県人会総会・懇親会特産品提供	11,495 円																																																																
	慶弔費	町内お悔みやみ電報(14名)	8,456 円																																																																
5月合計			31,971 円																																																																
事業目的 の 達成状況	担当課による評価	A 相当程度進展あり																																																																	
	<p>【前年度の課題の概要】 町長交際費の適切な予算執行を行うとともに、支出状況をホームページ等で継続公開し、透明性を確保する必要がありました。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 町長交際費の適切な予算執行に努めました。また、毎月ホームページで交際費の支出状況を公開しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 予算執行と公開を適正に行いました。同時に、コロナ5類化すぐの状況でもあり、予算時想定ほどの活動が実践できなかった状況があり、上記の評価としました。</p>																																																																		
今後の 取り組み の 方向	透明性の確保に引き続き取り組む必要があります。																																																																		

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1659	事業名	令和6年能登半島地震災害支援事業	会計区分	一般会計																																						
担当課	総務課		担当係	防災危機管理室	事業区分	■新規 □継続																																					
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費																																					
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			—																																							
	重点項目	—																																									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																			
	令和5年度	990	724	国庫支出金	0	県支出金	0		その他収入	0	町債	0	一般財源	724																													
事業目的	令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地に職員を派遣し、被災地の支援を行います。																																										
事業の 主な 実施状況	<p>石川県志賀町へ職員を派遣し、被災地の負担軽減を図りました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>経費の内容</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣職員の時間外勤務手当</td> <td>146</td> <td>週休日勤務、業務時間外等への手当</td> </tr> <tr> <td>職員派遣に係る旅費</td> <td>573</td> <td>日当、宿泊料、移動に係る経費</td> </tr> <tr> <td>派遣に係る消耗品費</td> <td>5</td> <td>カイロ、家屋調査業務に必要な物品</td> </tr> </tbody> </table> <p>【被災地派遣の概要】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣期間</th> <th>業務内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6.1.15 ~ R6.1.19</td> <td>物資管理業務</td> <td>総務課職員</td> </tr> <tr> <td>R6.1.28 ~ R6.2.4</td> <td>家屋被害認定調査業務</td> <td>上下水道課職員</td> </tr> <tr> <td>R6.2.15 ~ R6.2.21</td> <td>被災者健康支援業務</td> <td>すこやか健康課保健師</td> </tr> <tr> <td>R6.2.26 ~ R6.3.2</td> <td>物資管理業務</td> <td>子育て応援課職員</td> </tr> <tr> <td>R6.3.13 ~ R6.3.18</td> <td>物資管理業務</td> <td>すこやか健康課職員</td> </tr> <tr> <td>R6.3.28 ~ R6.4.1</td> <td>物資管理業務</td> <td>総務課職員</td> </tr> <tr> <td>(参考) R6.3.31 ~ R6.4.7</td> <td>家屋被害認定調査業務</td> <td>税務課職員</td> </tr> </tbody> </table>							経費の内容	金額	備考	派遣職員の時間外勤務手当	146	週休日勤務、業務時間外等への手当	職員派遣に係る旅費	573	日当、宿泊料、移動に係る経費	派遣に係る消耗品費	5	カイロ、家屋調査業務に必要な物品	派遣期間	業務内容	備考	R6.1.15 ~ R6.1.19	物資管理業務	総務課職員	R6.1.28 ~ R6.2.4	家屋被害認定調査業務	上下水道課職員	R6.2.15 ~ R6.2.21	被災者健康支援業務	すこやか健康課保健師	R6.2.26 ~ R6.3.2	物資管理業務	子育て応援課職員	R6.3.13 ~ R6.3.18	物資管理業務	すこやか健康課職員	R6.3.28 ~ R6.4.1	物資管理業務	総務課職員	(参考) R6.3.31 ~ R6.4.7	家屋被害認定調査業務	税務課職員
	経費の内容	金額	備考																																								
派遣職員の時間外勤務手当	146	週休日勤務、業務時間外等への手当																																									
職員派遣に係る旅費	573	日当、宿泊料、移動に係る経費																																									
派遣に係る消耗品費	5	カイロ、家屋調査業務に必要な物品																																									
派遣期間	業務内容	備考																																									
R6.1.15 ~ R6.1.19	物資管理業務	総務課職員																																									
R6.1.28 ~ R6.2.4	家屋被害認定調査業務	上下水道課職員																																									
R6.2.15 ~ R6.2.21	被災者健康支援業務	すこやか健康課保健師																																									
R6.2.26 ~ R6.3.2	物資管理業務	子育て応援課職員																																									
R6.3.13 ~ R6.3.18	物資管理業務	すこやか健康課職員																																									
R6.3.28 ~ R6.4.1	物資管理業務	総務課職員																																									
(参考) R6.3.31 ~ R6.4.7	家屋被害認定調査業務	税務課職員																																									
				担当課による評価				S 目的達成																																			
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>—</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>職員の派遣により、被災自治体の災害対応業務の負担軽減が図られたと考えます。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>鳥取県と連携した被災地への職員派遣が行えたため、S目的達成と評価しました。</p>																																										
	今後の 取り組み の 方向	被災地からの要請があれば職員派遣を行っていくとともに、派遣職員が災害対応で得た経験を町の防災対策に活かしていきます。																																									

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1276	事業名	ふるさと納税		会計区分	一般会計																																																									
担当課	総務課	担当係	財務監理室		事業区分	□新規		■継続																																																							
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 3	財政管理費																																																									
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				②関係人口の拡大とつながりの強化																																																										
重点項目	—																																																														
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																								
令和5年度	422,000	399,707	0	0	394,048	0	5,659	ふるさと未来夢基金 140,100千円 ふるさと納税 251,351千円 企業版ふるさと納税 2,000千円 基金利子 597千円																																																							
事業目的	ふるさと納税を通して琴浦町と関係を持っていただき、ことうらファン(関係人口)の拡大を図ります。また、いただいた寄附を基に町民の方への住民サービスの向上を図るとともに、記念品送付を通して町内事業者の活性化を図ります。																																																														
事業の 主な 実施状況	<p>① ふるさと納税額 ふるさと納税寄附額(基金積立額): 257,351千円(利子積立金を除く) ふるさと納税制度を活用した寄附金を全国から受付け、基金への積立を行いました。 寄附金: 257,351千円(対前年 70.5%) 寄附件数: 10,238件(対前年 74.4%)</p> <p>▼寄附額の推移 令和5年10月の総務省によるルール改正の駆け込み需要により、寄附額(件数)が減少したことにより琴浦町の主力返礼品であるカニを目的とした寄附が減少したため、寄附額が減少しました。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption>寄附額・件数の推移 (百万円、件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>寄附額 (百万円)</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>3,958</td><td>93</td></tr> <tr><td>H26</td><td>11,816</td><td>182</td></tr> <tr><td>H27</td><td>7,469</td><td>190</td></tr> <tr><td>H28</td><td>11,924</td><td>317</td></tr> <tr><td>H29</td><td>11,727</td><td>289</td></tr> <tr><td>H30</td><td>15,957</td><td>364</td></tr> <tr><td>R1</td><td>17,430</td><td>378</td></tr> <tr><td>R2</td><td>15,284</td><td>327</td></tr> <tr><td>R3</td><td>16,457</td><td>359</td></tr> <tr><td>R4</td><td>13,764</td><td>365</td></tr> <tr><td>R5</td><td>10,238</td><td>257</td></tr> </tbody> </table> </div> <p>▼希望返礼品の順位</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>返礼品</th> <th>寄附件数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>鳥取県産梨 二十世紀梨 5kg(12~14玉)</td> <td>2,203</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>(訳あり)松葉ガニ(ポイル)2枚【年明け配送】</td> <td>640</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>(訳あり)松葉ガニ(ポイル)2枚【年内配送】</td> <td>586</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>鳥取県産梨 新甘泉(しんかんせん) 5kg(8~12玉)</td> <td>502</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>【定期便】鳥取県産 梨の食べ比べ 4種類コース</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>									年度	寄附額 (百万円)	件数	H25	3,958	93	H26	11,816	182	H27	7,469	190	H28	11,924	317	H29	11,727	289	H30	15,957	364	R1	17,430	378	R2	15,284	327	R3	16,457	359	R4	13,764	365	R5	10,238	257	順位	返礼品	寄附件数(件)	1	鳥取県産梨 二十世紀梨 5kg(12~14玉)	2,203	2	(訳あり)松葉ガニ(ポイル)2枚【年明け配送】	640	3	(訳あり)松葉ガニ(ポイル)2枚【年内配送】	586	4	鳥取県産梨 新甘泉(しんかんせん) 5kg(8~12玉)	502	5	【定期便】鳥取県産 梨の食べ比べ 4種類コース	500
	年度	寄附額 (百万円)	件数																																																												
H25	3,958	93																																																													
H26	11,816	182																																																													
H27	7,469	190																																																													
H28	11,924	317																																																													
H29	11,727	289																																																													
H30	15,957	364																																																													
R1	17,430	378																																																													
R2	15,284	327																																																													
R3	16,457	359																																																													
R4	13,764	365																																																													
R5	10,238	257																																																													
順位	返礼品	寄附件数(件)																																																													
1	鳥取県産梨 二十世紀梨 5kg(12~14玉)	2,203																																																													
2	(訳あり)松葉ガニ(ポイル)2枚【年明け配送】	640																																																													
3	(訳あり)松葉ガニ(ポイル)2枚【年内配送】	586																																																													
4	鳥取県産梨 新甘泉(しんかんせん) 5kg(8~12玉)	502																																																													
5	【定期便】鳥取県産 梨の食べ比べ 4種類コース	500																																																													
<p>② 企業版ふるさと納税地方創生基金積立額 2,200千円(利子積立金を除く) 「企業版ふるさと納税」は、町外の企業が地方創生に資する自治体の取組に対して寄附をすることができる制度で、企業側は寄附額の最大9割が税控除などを受けることができます。令和5年度は3社から寄附をいただき、事業者が希望する事業へ活用させていただきました。</p> <p>寄附受領額: 2,000千円 寄附件数: 3件</p> <p>○令和5年度の寄附実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>寄附事業者</th> <th>活用事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株式会社 上野水産</td> <td>地域を支える人材の育成と環境整備</td> </tr> <tr> <td>ソレックス鳥取 株式会社</td> <td>防災減災浸水被害防止対策事業</td> </tr> <tr> <td>株式会社 内田洋行</td> <td>熱中小学校事業</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※寄附事業者の希望により金額は非公開</p>									寄附事業者	活用事業	株式会社 上野水産	地域を支える人材の育成と環境整備	ソレックス鳥取 株式会社	防災減災浸水被害防止対策事業	株式会社 内田洋行	熱中小学校事業																																															
寄附事業者	活用事業																																																														
株式会社 上野水産	地域を支える人材の育成と環境整備																																																														
ソレックス鳥取 株式会社	防災減災浸水被害防止対策事業																																																														
株式会社 内田洋行	熱中小学校事業																																																														

事業の
主な
実施状況

③ ふるさと納税の活用事業

ふるさと納税としていただいた寄附金をもとに、町の活性化などに繋がる事業に活用しました。また、継続して琴浦町を応援していただくため、ご寄附いただいた方に活用事業の報告を行いました。

<中学校 楽器購入>



<農業用ドローンの導入>



④ 寄附者への返礼品 89,563千円

返礼品として町内産品を贈ることで、町内事業者の売上に貢献し、地域経済の活性化に寄与しました。

⑤ 新商品開発に向けた事業者向けセミナーの開催 110千円

セミナーを開催し、新たな返礼品開発などを推進しました。

<アイス6個セット>



令和5年度「食パダライス鳥取県」
特産品コンクール<菓子・パン部門>
最優秀賞受賞

<珈琲豆セット>



2023年度 琴浦町ふるさと納税返礼品セミナー

**アフターコロナの
今、見直す商品価値と価格**

～来年じゃ間に合わない！持続可能な商売を考える～

2023年10月12日(木) 13:30～15:00

物価高騰後、最終買金の値上げをうけ、サービスの値上げをしている企業、していない企業、動きは様々です。値上げはしないほうがいいのか、しない場合の経営サイクルはどうなるのか、持続可能な商売について考えます。

また、販売拡大のためにできることは、新商品の開発、既存商品の改良だけではなく、陳列方法、商品説明、照明や音響製作など、コストを削りながら改善できる取り組みについてもお話しします。

会場 **琴浦町商工会 (徳万282-4) 2階 研修室**

対象 **返礼品出品事業者、農林漁業者、町民の方**
※現在、ふるさと納税返礼品に登録されていない方も参加いただけます。

セミナー内容 (予定)

①商品価値と価格 ②持続可能な商売 ③コストを下げることができること 等

講師 **管 慎太郎 さん**
経営コンサルタント、合同会社 口福ラボ 代表社員
鳥取銀行地方創生アドバイザー

管 慎太郎 さん
早稲田大学経済学部卒業、現職の資格も取得。上場企業への納税のノウハウを蓄積しながら、企業価値向上、経営改善の視点で、地域産品の経営サイクル改善、味を軸とした食を活動を行う「おいし」の表現を企画する経験も豊富。マーケティング分析、商品開発も手がける。令和2年から鳥取銀行地方創生アドバイザーを受任。

⑥ 寄附者への事業報告 2,086千円

寄附者へ翌年度以降も琴浦町と関係を持っていただくため、いただいた寄附をどのように活用したのか報告をしました。また、寄附者の皆さまからいただいた温かいメッセージを紹介しました。



⑦ その他事務経費 48,397千円

返礼品送料等(通信運搬費)13,836千円、広告料等935千円、決済手数料等3,951千円、パンフレット制作料(10000部) 408千円、ポータルサイト委託料25,970千円、ワンストップ特例申請書発送委託料等2,405千円、利子積立金597千円 など

	担当課による評価	C 進展なし
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① ふるさと納税の寄附額が伸びていないことから、新たな取組が必要</p> <p>② 企業版ふるさと納税について、寄附が伸びていないことから、新たな取組が必要</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① ふるさと納税の寄附額の増加に向けて、新たな返礼品を開発する取組みを実施しました。</p> <p>② 企業版ふるさと納税に係る金融機関による寄附企業とのマッチングの支援を受ける取組みを開始し、2件の寄附をいただくことができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>新商品開発などに取組みましたが、ふるさと納税のルール改定の影響を受けて、寄附額が減少したため、「C 進展がなし」と評価しました。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>返礼品等の開発等を行ってきましたが、インターネットでの寄附の募集が主流となっており、町の特産品を魅力的に発信することが課題となっています。</p> <p>民間のノウハウを活かした魅力的な特産品のPR等が必要なため、令和6年度から民間事業者への返礼品開発や寄附募集に係る事務を委託します。</p>	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	12	事業名	財政管理事務	会計区分	一般会計
担当課	総務課	担当係	財務監理室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 3
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり		①町民に伝わる情報発信と情報共有		
重点項目	—				

年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	464,932	457,631	0	0	6,808	0	450,823	基金利子収入 6,808千円

事業目的 一般会計にかかる予算編成を行うとともに、基金、地方債などの総合的な管理を行います。「健全化判断比率」などを指標に健全な財政運営を行うとともに、まちの財政状況を分かりやすく町民へ伝えます。

① **基金積立 457,631千円(うち利子積立金6,808千円)**
 歳出予算の効果的な執行等により生じた前年度からの繰越金(決算剰余金)などを活用し、基金の積立を行うとともに、基金運用により得られた利子収入により基金の積立を行いました。財政調整基金は、災害への対応など将来の臨時的な支出に備えるため、一定規模の基金を確保しておく必要があります。

(単位:百万円)

基金名	積立額	取崩額	残高 ※()は増減	備考
財政調整基金	321	302	979 (+19)	
減債基金	28	0	318 (+28)	
その他目的基金	398	432	2,168 (△34)	他課の管理する基金を含む
計	747	734	3,465 (+13)	

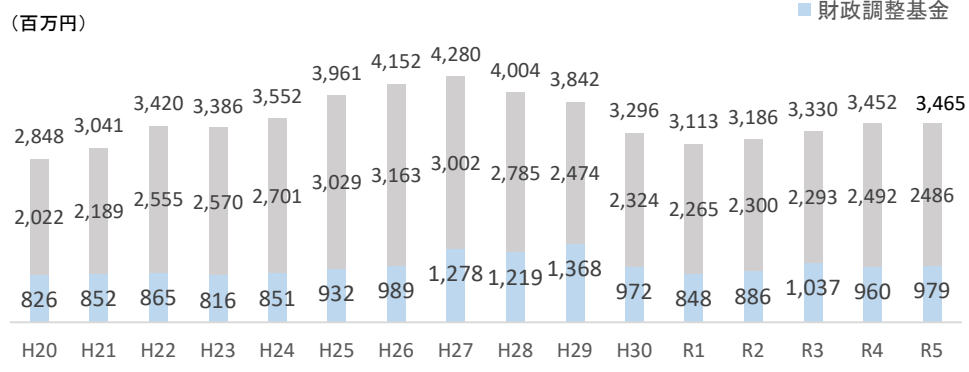
基金運用(利子積立金) 9,908千円 ※他事業による各種基金利子積立を含む

令和5年度末時点では、銀行の預金利率は、0.001%(普通預金)と低利率となっています。貯金(基金)をより効率的に運用・管理することが必要です。

平成30年度より、各基金ごとに運用していたものを、全体の総額で運用し、より高利率の国債などで運用しています。運用益は各基金の残高に応じて配分しています。

	基金一括運用による利子収入	運用利回り
H29	4,321千円	0.10%
H30	7,941千円	0.18%
R1	14,654千円	0.40%
R2	8,887千円	0.25%
R3	8,240千円	0.23%
R4	8,629千円	0.21%
R5	9,908千円	0.23%

一般会計に属する基金残高の推移



事業の主な実施状況

② 「もっと知りたい琴浦町(ことしの仕事)」の発行 578千円

1年間の町の事業(しごと)を納税者である町民の皆さんに知っていただき、より行政へ関心を持ってもらうため1,500部発行しました。自治会や小中学校、図書館などに配布するとともに、希望する町民の方への配布を行いました。

赤碕中学校では、財務事務所と町の共催で、「財政教室」を実施し、生徒自身に町の予算を考えてもらいました。教育の予算を増やして、子育てしやすい町にしたいという意見などが出されました。



中学校での活用	時期	活用内容
赤碕中学校3年生	7月6日	財政教室「琴浦町の予算を考える」
東伯中学校3年生	11月	公民の授業で活用
東伯中学校1年生	1月30日	キャリア教育「社会人と共に学ぶ」

事業の 主な 実施状況	<p>③ 地方公会計に基づく財務諸表の作成 2,991千円 令和4年度決算の財務諸表(貸借対照表など)を作成し、公表を行いました。単式決算書では、把握できなかった負債(地方債残高)や、資産(建物などのストック情報)などを公表しました。 ※令和5年度の地方公会計制度に基づく決算状況は、令和7年3月に公表を予定しています。</p> <p>④ 消費税適格請求書等保存方式対応 605千円 令和5年10月1日からインボイス制度(消費税的確請求書保存方式)が開始されました。専門家(税理士)に支援を受け、一般会計及び特別会計のインボイスへの対応を行いました。</p> <p>⑤ その他経費 777千円 消耗品費(書籍購入など)47千円、公共料金の支払一元管理にかかる手数料(公共料金明細サービス)160千円、統合型GISシステム庁内利用料570千円</p>	
事業目的 の 達成状況	担当課による評価	B 進捗が大きい
今後の 取り組み の 方向	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 災害などに備えた財政調整基金の確保 財政調整基金残高については、標準財政規模の20%相当である12億を目標額としています。また、地方債残高を削減し、持続可能な行政運営を行います。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 地方債の繰上償還に加え、債務負担行為による団体への補助金(元利償還金に対するもの)を繰上げて補助し、将来負担比率の軽減しました。また、財政調整基金は積立を行ったことで、残高は19百万円増えました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>令和5年度決算の将来負担比率は50.4%で、前年度(令和4年度)の61.5%と比較して、11.1%減少し改善しました。令和4年度決算における県内他町村では、琴浦町は県内で2番目に高く、県内町村の中央値3.2%と比較すると依然として高い状況です。 財政調整基金残高は令和5年度末で9億7,900万円であり、目標である13億円に対して、75%達成しました。 以上のことから、「進捗が大きい」と、評価しました。</p> <p>今後は、公共施設の老朽化対策により新たな地方債の発行が見込まれることから、事業の見直しなどによる歳出の効率化や、国県補助金などの歳入確保に努め、将来世代へ過大な負担を先送りすることのない財政運営、予算編成を行っていきます。</p>	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1273	事業名	行財政改革推進事業			会計区分	一般会計		
担当課	総務課		担当係	財務監理室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	3	財政管理費
まちづくりビジョン	⑥ 町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				① 町民に伝わる情報発信と情報共有				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	144	34	0	0	0	0	34		
事業目的	本格的な人口減少、少子高齢化などの社会構造の変化にあわせた「経営資源を最大限に活かし、将来世代へ負担を先送りしないまちの経営」を行います。								
事業の 主な 実施状況	<p>令和6年度から令和8年度を計画期間とする第2次行財政改革プランを策定しました。 この行財政改革プランにかかるアクションプランを策定し、持続可能なまちの経営のための改革を推進します。</p> <p>① 行財政改革推進委員会の開催 34千円 第2次行財政改革プランの策定にあたり、委員からのプランなどへ意見をいただきました。</p> <p>第2次行財政改革プラン 【目指す姿】 経営資源を最大限に活かし、将来世代へ負担を先送りしない「まちの経営」</p> <p>基本方針Ⅰ 情報の共有</p> <p>取組の柱① 伝わる情報の発信 取組の柱② 公聴機能の強化 取組の柱③ 町民等の参画機会・協働の拡大</p> <p>基本方針Ⅱ 組織力の強化</p> <p>取組の柱① 庁内の人材育成・人材確保 取組の柱② 働き方・仕事の進め方改革 取組の柱③ 他市町村との連携</p> <p>基本方針Ⅲ 経営資源の有効活用</p> <p>取組の柱① 事務事業の見直し 取組の柱② 公的負担の見直しと財源確保 取組の柱③ 公共施設のマネジメント</p> <p>【行財政改革委員からのご意見(一部)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アクションプランの目標設定(達成度)について <ul style="list-style-type: none"> ・率(%)での設定だけでなく、行財政改革の最終目標との関係性や効果額を明確にする必要がある ・目標の数値化や明確なゴールがあると評価しやすい ○広域化について <ul style="list-style-type: none"> ・下水道の広域的な取り組みや医師連携体制も人口減少社会において重要な課題 ・広域連合、定住自立圏を強く打ち出すためあり方についても考える必要がある (共同の事務センター化) ○職員数について <ul style="list-style-type: none"> ・事業に対して必要な職員数(会計年度任用職員を含む)となっているか検証が必要 ○データの活用について(EBPM、データドリブン) <ul style="list-style-type: none"> ・データに基づき事業展開を進める必要がある ・オープンデータを提供し、外部の企業に活用してもらうことも重要 								
	担当課による評価			A 相当程度進展あり					
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 第2次行財政改革プランの策定を進める必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 第2次行財政改革プランの策定を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>第2次行財政改革プランを策定し、まちの経営として目指す姿を設定したため「A 相当程度進展あり」としました。</p>								
今後の 取り組み の 方向	令和6年度には、具体的なアクションプラン(行動計画)を策定し、行財政改革を推進します。 今後、経営資源(ヒト・モノ・カネ)の制約がより大きくなることから、あたらしい技術や手法を取入れて、質の高い住民サービスをするための行財政改革を推進します。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1404	事業名	公共施設等総合管理事業	会計区分	一般会計
担当課	総務課	担当係	施設管理室	事業区分	■新規 □継続
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 5
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり		⑤公共施設の集約・複合化による質の高い町民サービスの提供		
重点項目	—				

年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	1,373	1,364	0	0	0	0	1,364	

事業目的 高度経済成長期に多く建てられた公共施設(建物)が老朽化しており、今後の更新費用は将来の町民負担となってきます。人口減少が進む中、「量を減らし、質を高める」ことを前提に、公共施設の集約、複合化、廃止等による公共施設の適切な配置を目指すとともに、今後も使い続ける施設は可能な限り長く活用することで費用の縮減を図ります。

①町有施設の状態を把握し、計画的な維持管理を行うため、専門家に調査を委託しました。(1,338千円) 屋根、屋上等の調査には、職員の操作するドローンを活用しました。

対象施設	ことうらこども園、八橋ふれあいセンター、伊勢崎地区コミュニティセンター、琴浦町斎場、ポート赤碓物産館
調査項目	屋根、外壁、内装、電気設備、機械設備
調査結果	琴浦町斎場については、森林が隣接していることから、劣化が進んでおり、雨漏りが進行しています。特に劣化が進行している車寄せ屋上については、令和6年度に修繕を予定しています。 その他の施設についても、老朽化による劣化が進行していますが、状況が軽微なものがほとんどであり、適切な維持管理を行ったうえ、経過観察が必要です。

事業の
主な
実施状況



琴浦町斎場



ポート赤碓物産館

②昨年度導入したドローンを運用し、町有施設の点検などに活用しました。

科目	事業費 (単位:千円)	摘要等
役務費(保険料)	27	機体保険



DJI MAVIC3

担当課による評価 A 相当程度進展あり

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】
引き続き公共施設の調査を専門家に委託し、公共施設の適正な管理に努めます。調査にはドローンを使用し、調査費用を縮減します。ドローンは、施設点検だけでなく、広報・災害調査等にも活用できると思われま。各課へドローンを活用していくように働きかけ、ドローンの有効利用に取り組んでいきます。

【前年度課題についての対応及び成果】
ドローンを活用し、劣化状況調査を行うことにより、劣化状況の的確な把握を行うことができました。また、導入したドローンを活用し、広報動画等に利用しました。

【担当課による評価の理由】
公共施設の劣化状況を調査することにより、早期の修繕につなげることができました。調査には導入したドローンを活用し、調査費用の縮減をすることができました。

今後の取り組みの方向
引き続き公共施設の調査を専門家に委託し、早期の修繕を行うことにより、予防保全に取り組んでいきます。また、導入したドローンについて、各課への利用を促進し、広報・災害調査等への有効利用に取り組んでいきます。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	409	事業名	駅前自転車置場管理運営			会計区分	一般会計												
担当課	総務課		担当係	財務監理室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続												
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	財産管理費										
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			—															
	重点項目	—																	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)											
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源												
令和5年度	257	241	0	0	0	0	241												
事業目的	浦安駅(北側)・八橋駅・赤碕駅の駅前自転車置場を設置・管理し、町民の生活に欠かせない公共交通であるJRの利用の利便性の向上を図ります。																		
事業の主な実施状況	① 駅前駐輪場管理費 各駐輪場の設置にかかる管理を行いました。																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>細事業等</th> <th>金額(千円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償金(清掃)</td> <td>60</td> <td>赤碕駅清掃にかかる報奨金支払です。</td> </tr> <tr> <td>光熱費(電気料)</td> <td>45</td> <td>駐輪場の電灯使用による電気料です。</td> </tr> <tr> <td>賃借料(JR用地)</td> <td>136</td> <td>JRより駐輪場用地を賃借しています。</td> </tr> </tbody> </table>			細事業等	金額(千円)	備考	報償金(清掃)	60	赤碕駅清掃にかかる報奨金支払です。	光熱費(電気料)	45	駐輪場の電灯使用による電気料です。	賃借料(JR用地)	136	JRより駐輪場用地を賃借しています。				
細事業等	金額(千円)	備考																	
報償金(清掃)	60	赤碕駅清掃にかかる報奨金支払です。																	
光熱費(電気料)	45	駐輪場の電灯使用による電気料です。																	
賃借料(JR用地)	136	JRより駐輪場用地を賃借しています。																	
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり															
	【前年度の課題の概要】 ① 放置自転車の撤去等、駐輪場の管理を適切に行う必要があります。																		
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 令和5年度は、5台の放置自転車の撤去を行い、その内2台を持ち主へ返却しました。浦安駅北側駐輪場に置かれた古本等の撤去を行いました。																		
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 駐輪場の管理を計画どおり実施し、放置自転車等も随時対応できたことから、「A 相当程度進展あり」と評価しました。																		
	自転車を放置させない仕組み、ごみを投棄させない環境づくりの構築を検討する必要があります。																		

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	615	事業名	財産管理(普通財産)		会計区分	一般会計		
担当課	総務課	担当係	財務監理室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 5	財産管理費		
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			⑤公共施設の集約・複合化による質の高い町民サービスの提供				
重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	5,210	3,760	0	0	0	0	3,760	
令和5年度(明許)	2,187	1,983	0	0	0	0	1,983	
事業目的	行政財産として利用されていた財産について、行政目的としての使用がなくなった普通財産を適切に維持管理を行います。売却などが可能な財産については、民間等による活用を推進するため売却などを行います。							
事業の 主な 実施状況	① 不動産(売却可能資産)の売却・払い下げ 町が所有する土地などで行政サービスとして使用することがなくなった土地や建物を売却し、町の活性化のため有効利用します。また、実際には、個人などが使用している土地で町の名義となっている土地などを実際の使用者へ払い下げすることで資産を整理しています。 売却総額: 465,538円							
	売却不動産の概要		面積(m ²)					
	町有地の払下げ		8筆					
			442					
	② 町有施設(普通財産)の管理費 5,743千円(うち繰越明許分:1,983千円) 旧保育園舎、旧小学校舎をはじめとする建物のほか、遊休地などの管理を行いました。							
	細事業等		金額(千円)		備考			
	光熱水費		1,129		普通財産にかかる光熱水費			
	修繕料		263		旧赤碕商工会館の漏水修繕、旧安田小学校及び旧以西小防火扉自閉装置取替などの修繕費用			
	報奨金		100		未利用財産有効活用事業サウンディング型市場調査の有識者協議に係る報奨金			
	施設管理手数料等		331		旧小学校水質検査、消火器更新等の手数料			
鑑定料・登記手数料		77		未利用財産の売却や活用等につなげるための不動産鑑定料・登記手数料				
鑑定料(繰越明許)		1,983		未利用財産有効活用事業に係るサウンディング型市場調査対象施設の鑑定料(令和4年度より繰越分)				
浄化槽維持管理、電気・消防設備保守業務委託料		654		各施設を安全に維持するための保守業務委託料				
普通財産支障木伐採・除草委託料等		973		危険な支障木の伐採及び除草作業委託料・除草剤購入費				
公共下水道等使用料、火災保険料等		233		各施設の下水道使用料、火災保険料				
合計		5,743						
担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ① 行政サービスとして利用しない土地や建物(未利用財産)について、民間事業者等による活用を推進し、地域の活性化を図ります。							
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 未利用財産について、今後の活用方法を調査する事業を行い、複数の民間事業者より提案をいただきました。事業実施に向けた事業者の選定は来年度に持ち越しとなりましたが、民間の視点で施設の可能性を探ることができ、貴重な調査となりました。							
	【担当課による評価の理由】 未利用財産の民間での利活用に向けて調査を実施することができ、活用方法について検討することができたので「A 相当程度進展あり」と評価しました。							
今後の取り組みの方向	来年度以降は、調査結果を基に活用事業者の選定を行います。その外の普通財産についても、不動産及び動産の公売等を実施し財産の管理を適切に行います。							

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	717	事業名	総合賠償保険加入事業			会計区分	一般会計		
担当課	総務課		担当係	行政総務室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	財産管理費
まちづくり ビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			—					
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	1,804	1,486	0	0	0	0	1,486		
事業目的	総合賠償保険制度(町村等が所有、使用、管理する施設の瑕疵及び町村等の業務遂行上の過失に起因する事故について、町村等が法律上の損害賠償責任を負う場合の損害に対して総合的に保険金を支払う制度)に加入し、円滑な行政運営に資します。								
事業の 主な 実施状況	<p>① 総合賠償保険制度への加入 町主催事業等における町民の怪我、損害を補填するため、総合賠償保険に加入しました。 また、不正アクセスやサイバー攻撃等に備え、付帯保険に加入しました。 総合賠償保険料 16,263人×91.4円＝1,486,438円</p> <p>② 補償の実施 1件 こども園がこども園PTAと共催で行った草刈り作業中に飛び石が発生し、園の駐車場に駐車していた車の窓ガラスを破損したことから、修繕料を補償しました。 補償保険料 44,605円</p>								
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			S 目的達成					
	<p>【前年度の課題の概要】 ① 事故発生時には迅速な保険対応を行うことが必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ① 事故発生時に迅速な保険対応を行い円滑に補償を行うことができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 事故発生時には保険対応を行い、円滑に補償を行うことができました。</p>								
	<p>引き続き、事故発生時には迅速な保険対応を行います。</p>								
今後の 取り組み の 方向									

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1231	事業名	子どもの遊び場環境整備事業	会計区分	一般会計																																																																								
担当課	総務課		担当係	施設管理室	事業区分	□新規 ■継続																																																																							
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	財産管理費																																																																				
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			⑤公共施設の集約・複合化による質の高い町民サービスの提供																																																																									
重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開																																																																												
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																																					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																																						
令和5年度	8,195	8,146	0	0	400	0	7,746	ふるさと未来夢基金繰入金 400千円																																																																					
事業目的	公園施設を適正に管理し、安心安全な遊び場を提供する。老朽化した遊具が増加するなか、計画的な修繕を行うため、専門家による点検を行い、修繕する遊具を選定します。また、住民の憩いの場である公園が、いつ訪れても気持ちよく利用できるように管理を委託します。																																																																												
事業の 主な 実施状況	① 老朽化により修繕が必要となった施設の修繕、撤去を行いました。(417千円)																																																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象公園</th> <th>施工内容</th> <th>金額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤碓ふれあい広場</td> <td>コンクリート支柱撤去</td> <td>30,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>赤碓ふれあい広場</td> <td>公園照明器具撤去</td> <td>21,120</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三度笠ふるさと海岸</td> <td>トイレ手洗器修繕</td> <td>8,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三度笠ふるさと海岸</td> <td>トイレ水洗レバー取替え</td> <td>11,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三度笠ふるさと海岸</td> <td>トイレ漏電遮断器取替え</td> <td>7,700</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三度笠ふるさと海岸</td> <td>トイレ照明センサー取替え</td> <td>46,200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>きらり公園</td> <td>目隠し堀修繕</td> <td>11,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>きらり公園</td> <td>すべり台修繕</td> <td>55,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>赤碓ふれあい公園</td> <td>照明器具撤去</td> <td>21,210</td> <td></td> </tr> <tr> <td>逢東海岸ふれあい広場</td> <td>街路灯修繕</td> <td>77,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>逢東海岸ふれあい広場</td> <td>ポールワイヤー修繕</td> <td>14,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>逢東海岸ふれあい広場</td> <td>女子トイレ漏水修理</td> <td>3,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>逢東海岸ふれあい広場</td> <td>防犯灯取替え</td> <td>31,900</td> <td></td> </tr> <tr> <td>逢東海岸ふれあい広場</td> <td>広場防犯灯取替え</td> <td>62,700</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ふるさと海岸公園</td> <td>トイレ引戸・ドア錠修繕</td> <td>16,280</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>417,510</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									対象公園	施工内容	金額(円)	備考	赤碓ふれあい広場	コンクリート支柱撤去	30,000		赤碓ふれあい広場	公園照明器具撤去	21,120		三度笠ふるさと海岸	トイレ手洗器修繕	8,800		三度笠ふるさと海岸	トイレ水洗レバー取替え	11,000		三度笠ふるさと海岸	トイレ漏電遮断器取替え	7,700		三度笠ふるさと海岸	トイレ照明センサー取替え	46,200		きらり公園	目隠し堀修繕	11,000		きらり公園	すべり台修繕	55,000		赤碓ふれあい公園	照明器具撤去	21,210		逢東海岸ふれあい広場	街路灯修繕	77,000		逢東海岸ふれあい広場	ポールワイヤー修繕	14,300		逢東海岸ふれあい広場	女子トイレ漏水修理	3,300		逢東海岸ふれあい広場	防犯灯取替え	31,900		逢東海岸ふれあい広場	広場防犯灯取替え	62,700		ふるさと海岸公園	トイレ引戸・ドア錠修繕	16,280		合計		417,510	
	対象公園	施工内容	金額(円)	備考																																																																									
	赤碓ふれあい広場	コンクリート支柱撤去	30,000																																																																										
	赤碓ふれあい広場	公園照明器具撤去	21,120																																																																										
	三度笠ふるさと海岸	トイレ手洗器修繕	8,800																																																																										
	三度笠ふるさと海岸	トイレ水洗レバー取替え	11,000																																																																										
	三度笠ふるさと海岸	トイレ漏電遮断器取替え	7,700																																																																										
	三度笠ふるさと海岸	トイレ照明センサー取替え	46,200																																																																										
	きらり公園	目隠し堀修繕	11,000																																																																										
	きらり公園	すべり台修繕	55,000																																																																										
	赤碓ふれあい公園	照明器具撤去	21,210																																																																										
	逢東海岸ふれあい広場	街路灯修繕	77,000																																																																										
	逢東海岸ふれあい広場	ポールワイヤー修繕	14,300																																																																										
	逢東海岸ふれあい広場	女子トイレ漏水修理	3,300																																																																										
逢東海岸ふれあい広場	防犯灯取替え	31,900																																																																											
逢東海岸ふれあい広場	広場防犯灯取替え	62,700																																																																											
ふるさと海岸公園	トイレ引戸・ドア錠修繕	16,280																																																																											
合計		417,510																																																																											
② 公園遊具の安全性を確認するため、点検業務を委託しました。(589千円)																																																																													
<table border="1"> <tr> <td>対象公園</td> <td>東伯総合公園、いなり公園、荒神公園、逢東ふれあい広場、逢東農村公園</td> </tr> </table>									対象公園	東伯総合公園、いなり公園、荒神公園、逢東ふれあい広場、逢東農村公園																																																																			
対象公園	東伯総合公園、いなり公園、荒神公園、逢東ふれあい広場、逢東農村公園																																																																												
③ 公園を適切に管理するため、清掃・除草等を委託しました。(1,297千円)																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>公園名</th> <th>委託内容</th> <th>実施頻度</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤碓ふれあい広場</td> <td>清掃</td> <td>月1~2回</td> <td>133,360</td> </tr> <tr> <td>いなり、逢東農村、逢東ふれあい広場、きらり公園</td> <td>清掃、除草</td> <td>月4~8回</td> <td>696,257</td> </tr> <tr> <td>八橋児童公園</td> <td>清掃、除草</td> <td>月1~2回</td> <td>120,000</td> </tr> <tr> <td>八橋農村公園</td> <td>清掃、除草</td> <td>月4~5回</td> <td>197,654</td> </tr> <tr> <td>赤碓ふるさと公園</td> <td>清掃、芝生管理</td> <td>月3回(芝生管理)</td> <td>150,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td>1,297,271</td> </tr> </tbody> </table>									公園名	委託内容	実施頻度	金額(円)	赤碓ふれあい広場	清掃	月1~2回	133,360	いなり、逢東農村、逢東ふれあい広場、きらり公園	清掃、除草	月4~8回	696,257	八橋児童公園	清掃、除草	月1~2回	120,000	八橋農村公園	清掃、除草	月4~5回	197,654	赤碓ふるさと公園	清掃、芝生管理	月3回(芝生管理)	150,000	合計			1,297,271																																									
公園名	委託内容	実施頻度	金額(円)																																																																										
赤碓ふれあい広場	清掃	月1~2回	133,360																																																																										
いなり、逢東農村、逢東ふれあい広場、きらり公園	清掃、除草	月4~8回	696,257																																																																										
八橋児童公園	清掃、除草	月1~2回	120,000																																																																										
八橋農村公園	清掃、除草	月4~5回	197,654																																																																										
赤碓ふるさと公園	清掃、芝生管理	月3回(芝生管理)	150,000																																																																										
合計			1,297,271																																																																										
担当課による評価				A 相当程度進展あり																																																																									
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】																																																																												
	① 老朽化した公園施設の修繕・撤去が必要です。利用状況等を考慮し、工事発注を行います。																																																																												
	② 修繕・撤去だけではなく、新たな施設整備に向けた仕組みづくりを検討します。																																																																												
事業目的 の 達成状況	【前年度課題についての対応及び成果】																																																																												
	① 施設の利用状況を考慮し、老朽化した公園施設の修繕・撤去を行いました。																																																																												
	② 令和5年度より、各部落へ支給する自治振興交付金に広場整備費を盛り込みました。																																																																												
事業目的 の 達成状況	【担当課による評価の理由】																																																																												
	毎年行っている遊具点検・遊具修繕を行ったほか、新たな施設整備に向けた仕組みづくりとして、自治会を対象とした自治振興交付金に、広場整備費を組み込みました。																																																																												
今後の 取り組み の 方向	琴浦町の公園は、開設から長い期間が経過し、公園施設の老朽化が進んでいますが、今後も安心安全な遊び場を提供するため、計画的に維持管理を行って行きます。そのため、各公園の整備方針を明確にするほか、公園整備の財源を確保するために必要となる公園施設長寿命化計画の作成に取り組んで行きます。																																																																												

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1539	事業名	ふなのえこども園・成美地区公民館建設事業	会計区分	一般会計				
担当課	総務課		担当係	施設管理室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	財産管理費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			⑤公共施設の集約・複合化による質の高い町民サービスの提供					
重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	985,348	356,975	0	0	0	356,900	75	過疎対策事業債 356,900千円	
令和5年度(明許)	140,000	139,571	0	0	0	138,800	771	過疎対策事業債 138,800千円	

事業目的 老朽化したふなのえこども園と成美地区公民館について、新たな施設を複合施設として建設することにより、子育て支援をはじめとする地域に開かれた多機能な施設として整備します。

① 令和4年度に行った公募型プロポーザルで選定したアーク・尾崎・アーキヴィジョン設計共同企業体に継続して実施設計業務を委託し、建築確認申請等を行い、工事設計図書を作成しました。
 実施設計委託料 6,875千円



② 建築工事に先立って、農地から建物を建設するための造成工事を行いました。
 造成工事 97,172千円
 造成工事(2期) 41,848千円



③ 完成した実施設計に基づき、建築工事を発注しました。
 建築工事の進捗に合わせて、予算を繰り越したうえ、R6年度には外構工事を発注する予定としています。

建設工事 875,270千円
 受注者 馬野建設・伊藤建設・岡崎組特定建設工事共同企業体
 工期 令和5年12月19日～令和7年2月28日

今後の予定
 建築工事完成 令和7年2月
 外構工事完成 令和7年3月
 開園・会館 令和7年4月



担当課による評価 A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

- 建築確認申請等を行い、工事仕様の最終調整を行います。
- 造成工事に引き続き、建築工事、外構工事を発注し、令和6年度9月の供用を目指します。

【前年度課題についての対応及び成果】

- 公募型プロポーザルにより選定した、アーク・尾崎・アーキヴィジョン設計共同企業体に実施設計業務を委託し、工事発注に必要な設計図書を作成しました。
- 造成工事が完了し、建築工事の発注を行いました。

【担当課による評価の理由】
 造成工事が完了し、建築工事の発注を行ったことで事業の進捗は図られました。入札中止や建設業界の人手不足、令和6年4月から建設業への働き方改革関連法の適用等により、工事完成時期を令和7年3月に見直すこととなりました。

今後の取り組みの方向 資材単価及び労務単価の上昇により、事業費が膨らむことが想定されるため、引き続き工事費のコストダウン等に取り組む必要があります。また、令和7年4月の供用開始を目指して、工事の進捗を図っていきます。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1054	事業名	公共工事等の品質確保		会計区分	一般会計																																																																																												
担当課	総務課	担当係	施設管理室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																																																																												
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費																																																																																									
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			⑤公共施設の集約・複合化による質の高い町民サービスの提供																																																																																														
重点項目	—																																																																																																	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																																																										
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																																																											
令和5年度	7,022	7,017	0	0	0	0	7,017																																																																																											
事業目的	町が発注する公共工事について、適切な発注、入札、契約及び検査により品質確保の促進を図り、町民の福祉の向上及び経済の健全な発展に寄与することを目的とします。																																																																																																	
事業の 主な 実施状況	① 建築関係等の業務について、業務委託により技術士からの支援を受けました。 業務委託先： 琴浦町設計監理業務共同企業体 琴浦町建設協議会 中電技術コンサルタント(株)鳥取事務所 等																																																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">業務名</th> <th style="text-align: center;">人役(人・日)</th> <th style="text-align: center;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>赤碕中学校自転車置場改修工事監督員支援</td><td style="text-align: center;">8.0</td><td style="text-align: center;">440</td></tr> <tr><td>JR赤碕駅駅舎利活用検討支援</td><td style="text-align: center;">3.0</td><td style="text-align: center;">165</td></tr> <tr><td>一向平キャンプ場サウナ水風呂基本計画作成支援</td><td style="text-align: center;">2.0</td><td style="text-align: center;">110</td></tr> <tr><td>日韓資料館修繕案検討支援</td><td style="text-align: center;">5.0</td><td style="text-align: center;">275</td></tr> <tr><td>こがねこども園倉庫解体・新設工事発注資料作成</td><td style="text-align: center;">3.0</td><td style="text-align: center;">165</td></tr> <tr><td>赤碕コミュニティセンター防火水槽修繕工事発注資料作成</td><td style="text-align: center;">8.0</td><td style="text-align: center;">440</td></tr> <tr><td>赤碕コミュニティセンター空調設備更新事業検討支援</td><td style="text-align: center;">2.0</td><td style="text-align: center;">110</td></tr> <tr><td>下伊勢大型共同作業所(倉庫)除却工事設計発注資料作成</td><td style="text-align: center;">2.0</td><td style="text-align: center;">110</td></tr> <tr><td>旧浦安地区公民館解体設計発注資料作成</td><td style="text-align: center;">2.0</td><td style="text-align: center;">110</td></tr> <tr><td>浦安・聖郷・船上小空調更新工事発注資料作成</td><td style="text-align: center;">8.0</td><td style="text-align: center;">440</td></tr> <tr><td>東伯中学校段差解消工事設計支援</td><td style="text-align: center;">12.0</td><td style="text-align: center;">660</td></tr> <tr><td>小中学校空調更新事業検討支援</td><td style="text-align: center;">3.0</td><td style="text-align: center;">165</td></tr> <tr><td>危険空屋解体工事設計発注資料作成</td><td style="text-align: center;">7.0</td><td style="text-align: center;">385</td></tr> <tr><td>浦安小学校倉庫解体事業検討支援</td><td style="text-align: center;">4.0</td><td style="text-align: center;">220</td></tr> <tr><td>旧安田小学校改修工事設計単価等検討支援</td><td style="text-align: center;">2.0</td><td style="text-align: center;">110</td></tr> <tr><td>旧東伯給食センター、旧逢東保育園解体事業検討支援</td><td style="text-align: center;">5.0</td><td style="text-align: center;">275</td></tr> <tr><td>赤碕コミュニティセンター屋上防水シート修繕検討支援</td><td style="text-align: center;">1.0</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td>旧以西小学校改修工事設計発注資料作成</td><td style="text-align: center;">3.0</td><td style="text-align: center;">165</td></tr> <tr><td>琴浦斎場車寄せ修繕事業検討支援</td><td style="text-align: center;">1.0</td><td style="text-align: center;">55</td></tr> <tr><td>JR浦安駅改修事業検討支援</td><td style="text-align: center;">2.0</td><td style="text-align: center;">110</td></tr> <tr><td>八橋小学校バントリーエアコン新設工事設計支援</td><td style="text-align: center;">4.0</td><td style="text-align: center;">220</td></tr> <tr><td>現地確認等</td><td style="text-align: center;">8.0</td><td style="text-align: center;">440</td></tr> <tr><td>岩船橋修繕工事仮設計画検討支援</td><td style="text-align: center;">4.5</td><td style="text-align: center;">119</td></tr> <tr><td>新ふなのえこども園・成美地区公民館建設事業検討支援</td><td style="text-align: center;">27.5</td><td style="text-align: center;">726</td></tr> <tr><td>現地確認等</td><td style="text-align: center;">3.0</td><td style="text-align: center;">79</td></tr> <tr><td>まなびタウン改修事業検討支援</td><td style="text-align: center;">一式</td><td style="text-align: center;">330</td></tr> <tr><td>まなびタウン空調設備設計発注資料作成</td><td style="text-align: center;">一式</td><td style="text-align: center;">330</td></tr> <tr><td>保険センター空調改修工事発注支援</td><td style="text-align: center;">一式</td><td style="text-align: center;">188</td></tr> <tr><td>合計</td><td></td><td style="text-align: center;">6,997</td></tr> </tbody> </table>									業務名	人役(人・日)	金額(千円)	赤碕中学校自転車置場改修工事監督員支援	8.0	440	JR赤碕駅駅舎利活用検討支援	3.0	165	一向平キャンプ場サウナ水風呂基本計画作成支援	2.0	110	日韓資料館修繕案検討支援	5.0	275	こがねこども園倉庫解体・新設工事発注資料作成	3.0	165	赤碕コミュニティセンター防火水槽修繕工事発注資料作成	8.0	440	赤碕コミュニティセンター空調設備更新事業検討支援	2.0	110	下伊勢大型共同作業所(倉庫)除却工事設計発注資料作成	2.0	110	旧浦安地区公民館解体設計発注資料作成	2.0	110	浦安・聖郷・船上小空調更新工事発注資料作成	8.0	440	東伯中学校段差解消工事設計支援	12.0	660	小中学校空調更新事業検討支援	3.0	165	危険空屋解体工事設計発注資料作成	7.0	385	浦安小学校倉庫解体事業検討支援	4.0	220	旧安田小学校改修工事設計単価等検討支援	2.0	110	旧東伯給食センター、旧逢東保育園解体事業検討支援	5.0	275	赤碕コミュニティセンター屋上防水シート修繕検討支援	1.0	55	旧以西小学校改修工事設計発注資料作成	3.0	165	琴浦斎場車寄せ修繕事業検討支援	1.0	55	JR浦安駅改修事業検討支援	2.0	110	八橋小学校バントリーエアコン新設工事設計支援	4.0	220	現地確認等	8.0	440	岩船橋修繕工事仮設計画検討支援	4.5	119	新ふなのえこども園・成美地区公民館建設事業検討支援	27.5	726	現地確認等	3.0	79	まなびタウン改修事業検討支援	一式	330	まなびタウン空調設備設計発注資料作成	一式	330	保険センター空調改修工事発注支援	一式	188	合計	
業務名	人役(人・日)	金額(千円)																																																																																																
赤碕中学校自転車置場改修工事監督員支援	8.0	440																																																																																																
JR赤碕駅駅舎利活用検討支援	3.0	165																																																																																																
一向平キャンプ場サウナ水風呂基本計画作成支援	2.0	110																																																																																																
日韓資料館修繕案検討支援	5.0	275																																																																																																
こがねこども園倉庫解体・新設工事発注資料作成	3.0	165																																																																																																
赤碕コミュニティセンター防火水槽修繕工事発注資料作成	8.0	440																																																																																																
赤碕コミュニティセンター空調設備更新事業検討支援	2.0	110																																																																																																
下伊勢大型共同作業所(倉庫)除却工事設計発注資料作成	2.0	110																																																																																																
旧浦安地区公民館解体設計発注資料作成	2.0	110																																																																																																
浦安・聖郷・船上小空調更新工事発注資料作成	8.0	440																																																																																																
東伯中学校段差解消工事設計支援	12.0	660																																																																																																
小中学校空調更新事業検討支援	3.0	165																																																																																																
危険空屋解体工事設計発注資料作成	7.0	385																																																																																																
浦安小学校倉庫解体事業検討支援	4.0	220																																																																																																
旧安田小学校改修工事設計単価等検討支援	2.0	110																																																																																																
旧東伯給食センター、旧逢東保育園解体事業検討支援	5.0	275																																																																																																
赤碕コミュニティセンター屋上防水シート修繕検討支援	1.0	55																																																																																																
旧以西小学校改修工事設計発注資料作成	3.0	165																																																																																																
琴浦斎場車寄せ修繕事業検討支援	1.0	55																																																																																																
JR浦安駅改修事業検討支援	2.0	110																																																																																																
八橋小学校バントリーエアコン新設工事設計支援	4.0	220																																																																																																
現地確認等	8.0	440																																																																																																
岩船橋修繕工事仮設計画検討支援	4.5	119																																																																																																
新ふなのえこども園・成美地区公民館建設事業検討支援	27.5	726																																																																																																
現地確認等	3.0	79																																																																																																
まなびタウン改修事業検討支援	一式	330																																																																																																
まなびタウン空調設備設計発注資料作成	一式	330																																																																																																
保険センター空調改修工事発注支援	一式	188																																																																																																
合計		6,997																																																																																																
事業目的の 達成状況	担当課による評価		S 目的達成																																																																																															
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 前年度に比べ、平準化に努めることができましたが、業務の時期が集中する傾向にあり、さらなる平準化に努める必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 支援を必要とする担当課へ周知を行うことにより、早期に支援要請する事ができました。また、早期に技術支援要請することにより、事業内容の検討を十分に行うことができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>専門的知識を必要とする業務等について、各分野での専門知識を持つ技術士に支援を要請することにより、町の技術者不足を補い、公共事業の効率的かつ効果的な執行ができました。</p>																																																																																																	
今後の 取り組みの 方向	支援を必要とする業務等については、早期に技術支援要請を行うことにより、十分な検討を行ったうえ、適正な発注に努めます。																																																																																																	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1574	事業名	赤碕ふれあい広場リニューアル事業		会計区分	一般会計		
担当課	総務課	担当係	施設管理室	事業区分	■新規		□継続	
予算区分	款 6 商工費	項 1 商工費	目 3 観光費					
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			⑥子どもを産み育てやすい環境づくり				
重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	293	293	0	0	0	0	293	
令和5年度(明許)	150,700	150,686	0	0	0	150,600	86	過疎対策事業債
事業目的	老朽化した遊具施設のリニューアルを行い、安心安全な遊び場を提供すると共に、子育て世代にとって魅力のある町づくりを行います。また、隣接する商業施設・飲食店の来店者を増加させ、地域活性化を行います。							
事業の 主な 実施状況	① 遊具施設のリニューアルを行いました。 工事請負費 150,686千円							
	赤碕ふれあい広場のシンボルであるタコの滑り台をリニューアルした他、インクルーシブ遊具やタイヤ遊具等を設置しました。							
事業の 主な 実施状況	② 遊具施設リニューアルに伴い記念式典を行いました。 委託料 293千円 日程 令和5年4月28日 出席者 51名							
	担当課による評価			S 目的達成				
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 プロポーザル方式にて設計業務を実施し、ワークショップによる住民の意見を設計に反映させました。令和4年11月に工事を着工し、令和5年4月に完成予定です。							
	【前年度課題についての対応及び成果】 当初の計画通り令和5年4月に工事を完成しました。							
	【担当課による評価の理由】 令和3年から着手したリニューアル事業を完成させることができたためです。							
今後の 取り組み の 方向	町内外の利用者が快適に過ごせるように適切に管理を行います。							

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1537	事業名	浦安地区公民館移転事業		会計区分	一般会計		
担当課	総務課	担当係	施設管理室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款 9 教育費	項 4 社会教育費	目 2 公民館費					
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり		⑤公共施設の集約・複合化による質の高い町民サービスの提供					
重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	3,690	3,689	0	0	0	3,500	189	合併特例債 3,500千円
令和5年度(明許)	37,680	36,803	0	0	0	36,800	3	過疎対策事業債 36,800千円
事業目的	社会福祉協議会より贈与を受けた社会福祉センターへ浦安地区公民館が移転となったため、空き家となった旧浦安地区公民館を除却します。							
事業の 主な 実施状況	① 資材調達の影響により、繰り越しを行っていた改修工事が完成しました。 工事請負費 34,669千円							
								
② 空き家となった旧浦安地区公民館を除却するため、解体工事設計を行いました。 また、除却後の跡地利用について、地元である浦安自治公民館と協議を行い、無償にて所有権移転を行うこととなりました。 設計委託料 3,689千円								
								
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】 ① 地区公民館の移転後、耐用年数を超過した旧浦安地区公民館の除却事業に着手します。 【前年度課題についての対応及び成果】 ① 旧社会福祉センターの改修工事が完成し、地区公民館機能の移転が完了したため、旧浦安地区公民館の解体工事設計に着手しました。 【担当課による評価の理由】 資材調達の影響により、工事完成が遅れていましたが、執務に影響がないことから、4月に地区公民館機能の移転を行うことができました。また、移転に引き続き、除却事業に着手しました。							
今後の 取り組み の 方向	解体工事設計が完了したため、解体工事の発注を行います。また、除却後の浦安自治公民館への無償譲渡に向けて、協議を行います。							

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1531	事業名	東伯総合公園リニューアル事業			会計区分	一般会計		
担当課	総務課		担当係	施設管理室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	5	保険体育費	目	1	保健体育総務費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				⑥誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	450	0	0	0	0	0	0		
事業目的	総合公園の設計、改修、維持管理及び運営について、民間事業者の多様なノウハウや技術の活用が期待できる官民連携手法も含め、最適な手法を選択し事業実施します。これにより、老朽化施設の改修経費の削減を図るとともに、より魅力あるサービスを展開することで、町民誰もがスポーツ・運動・余暇を身近に楽しむことができる総合公園としての機能の充実を図ります。								
事業の 主な 実施状況	事業の経過								
	年度	実施内容							
	平成30年度	公共施設レビュー							
	令和2年度	琴浦町東伯総合公園民間資金等導入可能性調査 ・官民連携事業に関するサウンディング型市場調査							
	令和3～4年度	琴浦町東伯総合公園改修等事業PFIアドバイザー業務 ・町内事業者向け勉強会の開催 ・実施方針の公表 ・ワークショップ、アンケートによる町民意見の聴取 ・特定事業選定前公募(事前公募) 応募者数:2グループ 町内事業者の応募者数が少ないため、事業方針を再検討							
令和5年度	町内事業者の参画が十分に見込めないことから、官民連携による事業実施を見直し								
	地域経済活性化や事業機会創出等の観点から、なるべく多くの地元事業者の参画をいただきたいと考えていましたが、特定事業選定前公募を実施したところ地元事業者の参画意向が十分に得られなかったため、PFI手法を前提とした事業方針を見直し、事業手法を含む事業内容や改修方針等を再度検討することとしました。								
	担当課による評価				C 進展なし				
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】 当事業では、当初PFI方式での実施を目指していましたが、令和4年度中に方針を見直したことにより、改修方針、事業方式等を再検討します。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 東伯総合公園の改修については、PPP手法によらず、長寿命化計画の策定による社会資本整備総合交付金での改修を行う方針としたため、当初予算で見込んでいた国土交通省PPPサポーターの業務支援は行わないこととなりました。								
	【担当課による評価の理由】 公園リニューアルに伴う官民連携事業としては進展がなかったため「進展なし」としました。								
今後の 取り組みの 方向	改修後の維持管理・運営の方法については検討の余地があるため、民間事業者のノウハウを活かしてサービス水準を高めることができないか、改修に合わせて引き続き検討を行います。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1626	事業名	東伯総合公園整備事業			会計区分	一般会計										
担当課	総務課		担当係	施設管理室		事業区分	■新規 □継続										
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費								
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり																
重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開																
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)									
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源										
令和5年度	4,248	0	0	0	0	0	0	R6年度への繰越額 4,248千円									
事業目的	都市公園長寿命化計画を策定し、施設の老朽化に対する安全対策の強化及び将来の改築・更新に係るコストの縮減や平準化を図ります。																
事業の 主な 実施状況	<p>① 都市公園長寿命化計画を策定するにあたり、計画作成の調査を1期と位置付けて実施しました。 委託料: 4,001,800円 業務名: 琴浦町公園施設長寿命化計画策定業務(1期) 期間: R5.10月～R6.6月(繰越)</p> <p>【対象場所】 東伯総合公園 野球場・多目的広場・テニスコート・駐車場・どんぐり広場・子ども広場・総合体育館・平岩記念会館・その他</p> <p>【調査方法】公園施設を予防保全型と事後保全型に分類し、予防保全型の健全度調査を行います。</p> <p>【施設分類結果】 予防保全型 67 事後保全型 185</p> <p>【健全度調査結果】予防保全型に分類した施設の健全度に応じてA・B・C・Dの評価を行いました。 A: 全体的に健全 B: 部分的に劣化が進行 C: 全体的に劣化が進行 D: 全体的に顕著な劣化</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>A</td> <td>1</td> <td>B</td> <td>46</td> <td>C</td> <td>18</td> <td>D</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>② 今後の予定 【2期の実施内容】 1期の調査結果に基づき、計画期間内における改修計画作成及び施設のライフサイクルコスト、概算改修費用等を算出し、計画を完成させます。 また建築物(総合体育館・平岩記念会館)については別途調査を行い、結果を本計画に統合させます。</p> <p>【今後のスケジュール】 ・寿命化計画策定業務(2期) R6.8月～R6.3月 ・寿命化計画策定業務(建築物) R6.8月～R6.12月</p>									A	1	B	46	C	18	D	2
A	1	B	46	C	18	D	2										
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり													
	【前年度の課題の概要】 新規事業																
	【前年度課題についての対応及び成果】 新規事業																
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 予定通り長寿命化計画の策定をスタートさせることができ、進捗も順調であるためです。																
	令和6年度内に公園施設長寿命化計画を完成させ、後年に社会資本整備総合交付金を活用した長寿命化改修に着手できるように準備を行います。																

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	40	事業名	交通安全対策			会計区分	一般会計																																									
担当課	総務課	担当係	防災危機管理室		事業区分	□新規		■継続																																								
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 8	交通安全対策費																																										
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				—																																											
	重点項目																																															
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																								
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																									
令和5年度	6,498	4,151	0	0	2,211	0	1,940	交通災害共済事務交付金 2,189千円 交通安全旗売捌収入 22千円																																								
事業目的	交通安全指導員、各部落交通部長、交通安全協会などの関係機関と連携し、交通事故防止の啓発活動を促進し、町交通安全基本条例に基づき交通事故のない安全で安心な町づくりを目指します。																																															
事業の 主な 実施状況	① 交通安全運動の年間展開 交通安全のぼり旗及び推進啓発グッズ等 624 千円 春の全国交通安全運動(5/11～5/20) 夏の交通安全県民運動(7/10～7/19) 秋の全国交通安全運動(9/21～9/30) 年末の交通安全県民運動(12/11～12/20) ・交通安全ワッペン(園児)、腕章(小学生)を配布し、交通安全意識の高揚を図りました。 報償費 2千円、消耗品費 563千円、食糧費 12千円 光熱水費 21千円、負担金20千円、役務費6千円																																															
	② 交通安全指導員活動 報償費及び費用弁償等2,183千円 ・隊員数18名・年間35事業、延べ306人出勤 上記交通安全運動のほか、各種行事への出勤依頼への対応を行いました。 報償費 884千円、費用弁償 1,285千円、保険料 14千円																																															
事業目的 の 達成状況	③ 交通災害共済加入促進事業 1,043千円 ・全町的に普及活動を推進しました。(部落役員による加入活動など)＝加入率 50.9% ・加入促進奨励金を交付しました(146自治会、764千円)。 ・見舞金請求数：30件 見舞金合計額：1,124千円(中部ふるさと広域連合支出) 消耗品費 67千円、印刷製本費 151千円、通信運搬費 61千円 【近年の加入状況】 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1種</td> <td>6,245人</td> <td>5,702</td> <td>5,497</td> </tr> <tr> <td>2種</td> <td>2,972人</td> <td>2,790</td> <td>2,654</td> </tr> <tr> <td>加入率</td> <td>55.6%</td> <td>51.3%</td> <td>50.9%</td> </tr> </tbody> </table>										令和3年度	令和4年度	令和5年度	1種	6,245人	5,702	5,497	2種	2,972人	2,790	2,654	加入率	55.6%	51.3%	50.9%																							
		令和3年度	令和4年度	令和5年度																																												
1種	6,245人	5,702	5,497																																													
2種	2,972人	2,790	2,654																																													
加入率	55.6%	51.3%	50.9%																																													
④ 運転免許自主返納支援事業 301千円 自動車運転免許を自主返納された方に対し、町営バス回数乗車券または、タクシーの利用券を交付しました。(バス13件、タクシー30件)																																																
担当課による評価					B 進捗が大きい																																											
【前年度課題の概要】																																																
① 隊員の活動内容の広報、周知を図り、引き続き隊員確保を行っていく必要があります。																																																
② 交通事故件数の増加を防げるよう、今一度交通ルールの遵守・交通安全意識の高揚を重点に継続して啓発に取り組む必要があります。																																																
【前年度課題についての対応及び成果】																																																
① 交通安全指導員と連携し、加入推進を行いました。新規隊員の加入はありませんでした。																																																
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>定数</th> <th>R5.1.1</th> <th>退職者数</th> <th>入隊者数</th> <th>R6.1.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35人</td> <td>18人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table>										定数	R5.1.1	退職者数	入隊者数	R6.1.1	35人	18人	0人	0人	18人																													
定数	R5.1.1	退職者数	入隊者数	R6.1.1																																												
35人	18人	0人	0人	18人																																												
② 交通安全指導員、警察など関係機関と連携し交通安全の啓発に努めましたが、事故件数が増加しました。(前年比) 事故件数:15件(+11件)、死者数:1人(増減無)、負傷者数:17人(+13人)																																																
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">交通事故発生状況</th> <th colspan="3">令和3年</th> <th colspan="3">令和4年</th> <th colspan="3">令和5年</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>死者数</th> <th>負傷者数</th> <th>件数</th> <th>死者数</th> <th>負傷者数</th> <th>件数</th> <th>死者数</th> <th>負傷者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県内</td> <td>618</td> <td>19</td> <td>694</td> <td>598</td> <td>14</td> <td>691</td> <td>656</td> <td>14</td> <td>762</td> </tr> <tr> <td>琴浦町内</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>										交通事故発生状況	令和3年			令和4年			令和5年			件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数	鳥取県内	618	19	694	598	14	691	656	14	762	琴浦町内	10	1	12	4	1	4	15	1	17
交通事故発生状況	令和3年			令和4年			令和5年																																									
	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数	件数	死者数	負傷者数																																							
鳥取県内	618	19	694	598	14	691	656	14	762																																							
琴浦町内	10	1	12	4	1	4	15	1	17																																							
【担当課による評価の理由】																																																
新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、交通量がコロナ前に戻りつつあり、それに応じて事故件数と負傷者数が増加したと考え、評価をBとしました。																																																
今後の取り組みの方向	引き続き隊員の活動内容の広報、周知を図り、隊員確保を行っていきます。琴浦町は交通安全旗の掲揚などの独自の取組みもあり、比較的交通事故は少ない傾向にありますが、交通事故件数は上昇傾向なので、引き続き各団体と連携して事業を進めていきます。																																															



令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1260	事業名	個人番号運用事業			会計区分	一般会計		
担当課	総務課		担当係	DX推進室		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	電算機管理費
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				④行政サービスのデジタル化				
重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	4,906	4,190	0	0	0	0	4,190		

事業目的

個人番号(マイナンバー)を用いて自治体間で情報連携を行うための環境整備を行います。

①マイナンバー情報連携に必要な情報提供ネットワークを利用するための中間サーバや統合宛名の管理サーバについて費用負担を行いました。

業務名	金額(円)	備考
特定個人情報標準レイアウト改版対応	704,000	国・自治体間で行っている情報連携の対象業務や項目が増えたため、システム改修を委託しました。他市町村からの転入者の情報取得、琴浦町から転出者の情報提供が可能となります。 令和4年度のデータ標準レイアウト改版で対応した業務は以下のとおりです。 【情報連携項目拡張業務】 ・住民税情報(制度改正に伴う改版) ・団体内統合宛名情報
特定個人情報の提供の求めに係る電子計算機の設置等関連事務の委託に係る交付金(負担金)	3,101,000	マイナンバーを用いた情報連携を行う際に使用する中間サーバの運用及び整備について、運営組織である地方公共団体情報システム機構(J-LIS)に各市町村が負担する費用です。
出納室窓口プリンタ更新業務	385,000	
合計	4,190,000	

②令和5年度分 マイナンバーを使用した情報連携件数

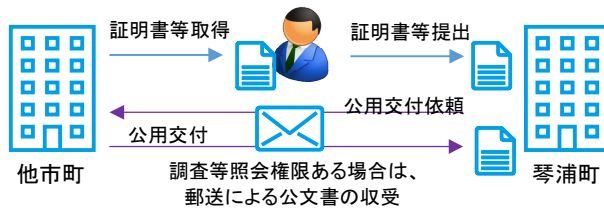
マイナンバーを使用した情報連携を行うことにより、従来、公文書と郵送にて照会を行っていた事務のほか、住民から各種証明書の提出を求めていた事務が省略可能となり、業務効率化や住民サービスの向上が図られています。

◆情報照会件数 1,700 件
他市町村が保有する情報を取得した件数です。

◆情報提供件数 20,031 件
他市町村からの求めにより、琴浦町が保有する情報を提供した件数です。

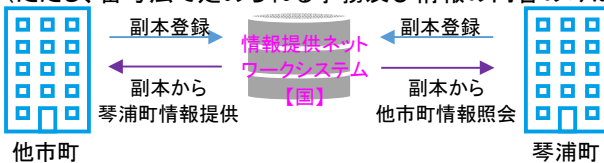
【従来】

- ・各種手続きで、他市町村にある住民記録や税情報等が必要な場合は、証明書の提出が必要。
- ・市町村に調査等の権限ある場合は、他市町村に対して公文書による公用証明書を交付。



【マイナンバーを使用した情報連携開始後】

- ・申請者は、証明書の交付・提出が不要。
- ・他市町村が保有する情報を取得、琴浦町が保有する情報を他市町村に提供可能 (ただし、番号法で定められる事務及び情報の内容のみが連携可能)



※各市町村は、情報連携を行う台帳の副本を事前に情報提供ネットワークシステムに登録必要

事業の主な実施状況

	<p>③マイナンバーカードの交付状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%; text-align: right;">※前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○令和5年度末までのマイナンバーカード交付累積枚数</td> <td style="text-align: right;">14,725 枚</td> <td style="text-align: right;">13,576 枚</td> </tr> <tr> <td>○うち、令和5年度マイナンバーカード交付枚数</td> <td style="text-align: right;">1,149 枚</td> <td style="text-align: right;">6,125 枚</td> </tr> <tr> <td>○マイナンバーカード交付率(住民基本台帳人口による)</td> <td style="text-align: right;">91.7 %</td> <td style="text-align: right;">81.2 %</td> </tr> </tbody> </table>			※前年度実績	○令和5年度末までのマイナンバーカード交付累積枚数	14,725 枚	13,576 枚	○うち、令和5年度マイナンバーカード交付枚数	1,149 枚	6,125 枚	○マイナンバーカード交付率(住民基本台帳人口による)	91.7 %	81.2 %
		※前年度実績											
○令和5年度末までのマイナンバーカード交付累積枚数	14,725 枚	13,576 枚											
○うち、令和5年度マイナンバーカード交付枚数	1,149 枚	6,125 枚											
○マイナンバーカード交付率(住民基本台帳人口による)	91.7 %	81.2 %											
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">担当課による評価</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">B 進展が大きくない</td> </tr> </table>	担当課による評価	B 進展が大きくない										
担当課による評価	B 進展が大きくない												
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 ①国の制度改正に併せて、情報連携業務の追加や項目の拡張を図る必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ①国から示されるデータ標準レイアウトの改版に対応した情報連携項目の拡張を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 本事業は、番号法に基づく国の運用方針に合わせて、情報連携基盤の運用を行ったため、B進展が大きくないと評価しました。</p>												
今後の 取り組み の 方向	<p>国は、個人番号(マイナンバー)活用を進めており、情報連携対象業務の追加や項目の拡張を毎年実施しているため、琴浦町においても、対象件数等で有効性を見極めながら、対応していきます。</p> <p>直近においては、戸籍情報にふりがなを付記した後、住基ネットとの連携により、マイナンバーカードへのふりがな・ローマ字併記対応を行う必要があります。</p>												

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	42	事業名	電算管理(ネットワーク関係)			会計区分	一般会計			
担当課	総務課		担当係	DX推進室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	電算機管理費	
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				④行政サービスのデジタル化					
	重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和5年度	24,790	24,438	0	0	0	0	24,438			
事業目的	庁内及び出先機関のネットワーク設備の維持管理を行い、安定した通信環境を確保します。									
事業の 主な 実施状況	①行政ネットワークの常時稼働を実現するため、障害を未然に防ぐための保守や、障害が発生した際には速やかな復旧を行えるよう維持管理を行いました。									
		NO	項目	金額 (円)	備考					
		1	鳥取情報ハイウェイ接続に係る保守管理業務	1,025,200	情報ハイウェイの安定稼働に必要な機器の保守・管理業務の委託料 ・情報ハイウェイにより鳥取県・県内市町村の各庁舎と相互に通信を行っています。					
		2	行政ネットワークリモート接続環境整備業務	307,560	テレワーク用リモート接続環境のハウジング及び保守料【R9年までの長期継続契約 総事業費 7,294,806】					
		3	既存機器リース料	12,163,800	行政ネットワーク基幹スイッチ 10,164,000円 本庁舎LANフロアスイッチ 1,999,800円					
		4	自治体セキュリティクラウド運用経費負担金	1,784,396	鳥取県及び県内市町村で共同運用を行っているインターネット接続要する負担金					
		5	その他使用料ほか	629,894	消耗品購入、回線使用料、負担金ほか					
			合計	15,910,850						
		②ネットワークの安定的な稼働を図るため、更新した設備の継続使用のほか、ライセンス更新を図りました。								
			NO	項目	金額 (円)	備考				
			1	公衆用Wi-Fi認証装置ライセンス更新	880,000	公衆用Wi-Fiの認証装置のライセンス更新を行いました。				
			3	ネットワークセキュリティ強靱化システム再構築	7,647,200	ネットワーク分離に伴うセキュリティ強靱化設備(メールセキュリティ、ウイルス対策、ICカード多段階認証等)について、5ヶ年長期継続契約による更新【R9年まで】 ・クラウドサーバーの活用と構成見直しにより、導入コスト削減とサーバーの冗長化や常時異常監視等の耐障害の向上を図りました。 総事業費:41,873,384円				
				合計	8,527,200					

	担当課による評価	B 進展が大きくない
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 ①庁内業務システムやサービスを支えているネットワークの見直しや設備更新を終えることができたため、以降は安定的な稼働を図るための措置を継続します。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ①令和4年度までに順次更新を図った行政ネットワークは、安定稼働を継続しています。保守点検のほか、ルータやFW等の重要なネットワーク機器については、職員の日常的な監視により、致命的なネットワーク障害を回避しており、安定的な稼働が継続できています。</p> <p>【担当課による評価の理由】 令和4年度までに行政ネットワーク基盤の設備更新を終え、令和5年度においては安定稼働に向けた取り組みであったため、B進展が大きくないと評価しました。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>自治体専用のセキュアネットワークであるLGWANが基盤更改の次期を迎えていることから、令和6年度にJ-LISの主導により次期LGWANへ切替を行うことから、琴浦町においても、安全かつ円滑に次期LGWANへ移行するよう対応します。</p> <p>公衆用Wi-Fiは、導入から8年が経過し、無線通信の制御装置が保守終息しています。災害時における避難所での通信手段を確保する面からも、機器更新に向けた検討を行います。</p>	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1238	事業名	電算管理(職員用関連)			会計区分	一般会計		
担当課	総務課		担当係	DX推進室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	電算機管理費
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				⑥近隣自治体との行政サービス共同化の推進				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	29,617	29,201	0	0	0	0	29,201		
事業目的	職員用パソコン・プリンタ・複合機の更新や維持管理を行い、安定稼働及び業務効率化を図ります。								
事業の 主な 実施状況	①職員が書類等作成を行うために使用する、パソコンやプリンタ、複合機等の維持管理を行いました。								
	NO	業務名	金額(円)	備考					
	1	プリンタ、インク等消耗品購入	505,481	プリンタートナー等の消耗品を購入					
	2	レーザープリンタリース料	799,212	職員用プリンタ27台【H30～R1導入】					
	3	シンククライアントシステム関連リース料	26,647,500	職員はサーバー上にある仮想のパソコンを使用しています。すべてサーバーで処理されて端末に情報が残らないほか、端末を使い分けることなくLGWANとインターネットを使用可能です。 端末296台、ソフトウェア、サーバーホスティングにかかるリース料【R1導入290台 R4導入6台】					
4	サービス・ソフトウェアライセンス使用料	1,248,500	ファイル無害化サービス 891,000円 ゼンリン住宅地図LGWAN版 357,492円						
	合計		29,200,693						
事業目的の 達成状況	担当課による評価			B 進展が大きくない					
	【前年度の課題の概要】								
	①次期シンククライアント環境の検討 職員のPC使用は、シンククライアント環境で提供しているところですが、一連のリース契約が令和7年1月末に満了するため、基盤更新に向けた仕様について検討する必要があります。								
【前年度課題についての対応及び成果】									
①国から、現在のネットワーク三層分離の見直しに向けて検討を始めたことが通知され、今後の職員PC環境にも影響を与える事案であることから、次期シンククライアント基盤の更新については、令和7年度以降に行うものとして、国から出される情報を注視しつつ仕様の検討を継続することとしました。									
【担当課による評価の理由】									
令和5年度においては、クライアント等の整備はリース契約期間中であつたことから、当初の予定どおり維持管理を実施。次期シンククライアント基盤の仕様検討については、国のネットワーク三層分離見直しの動向を注視することとしたため、B進展が大きくないとしました。									
今後の 取り組みの 方向	シンククライアント関連のリース契約が令和7年1月末で満了するため、国のネットワーク三層分離見直しの動きを注視しつつ、より業務を効率的に執行できる環境の整備に向けて、仕様の検討を行います。 【検討事項】 ・シンククライアント仮想環境提供サーバの強化 ・インターネットから内部ネットワークへのファイル無害化(転送)処理の簡易化による業務効率向上 ・USBメモリの使用制限強化によるセキュリティ向上 など								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1239	事業名	電算管理(総合行政システム)			会計区分	一般会計		
担当課	総務課		担当係	DX推進室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	電算機管理費
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				④行政サービスのデジタル化				
	重点項目	—							
年度	最終予算額(千円)	決算額(千円)	事業費財源内訳(千円)					備考	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	(その他収入・町債の内訳)	
令和5年度	52,798	51,046	0	0	95	0	50,951	他会計負担金 95千円	
事業目的	住民基本台帳や税・保険等の主要業務を施行するために要する総合行政システムの維持管理・改修を行い、安定稼働及び業務効率化を図ります。								
事業の 主な 実施状況	①総合行政(基幹業務、内部情報業務)システムの改修や維持管理を行いました。								
		業務名	金額(円)	備考					
	1	消耗品費	1,032,016	窓口用プリンター等の消耗品					
	2	電算出力専用紙印刷	1,090,540	納税通知書や納付書等の電算出力専用紙の印刷 他会計からの負担金52,800円を充当しています。					
	3	総合行政システム・関連機器保守関連委託料	26,943,444	クラウドサーバー使用のほか、ソフトウェア・ハードウェア保守、ネットワーク分離環境構築など、総合行政システム全体の保守業務について委託					
	4	住民基本台帳ネットワーク関係保守委託料	2,112,000	2市4町による住民基本台帳ネットワークの共同利用機器について運用・保守管理の委託					
	5	高速連帳プリンター調達リース及び初期設定費用	969,100	既設機器の保守対応ができなくなったため機器の更新を行いました。(令和10年度までの長期継続契約 総事業費10,576,500円)					
	6	窓口・電算室プリンタ更新リース及び初期設定費用	1,132,120	既設機器の保守対応ができなくなったため機器の更新を行いました。(令和10年度までの長期継続契約 総事業費4,989,600円)					
	7	制度改正等に伴う総合行政システム改修委託料	6,138,000	毎年度改正・改定される住民税や給与ほか5業務について、制度改正に対応するためシステム改修の委託					
	8	FW機器更新業務	2,090,000	既設機器の保守対応ができなくなったため機器の更新を行いました。 LGWAN用1,430,000円 中間サーバ用660,000円					
	9	機器更新に伴うリース料	5,001,480	グループウェアや内部メールほか3種の内部情報系サーバに係るリース料 4,026,000円【R3年度～R8年度】 住民情報系端末リース料 975,480円【R1年度～R6年度】					
10	その他手数料ほか	4,537,177	ICT共同事務費、作業室消火装置点検、修繕料等						
	合計	51,045,877							

	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>①自治体情報システム標準化に向けた対応 自治体情報システムの標準化においては、令和7年度末までの対応が法律で定められており、標準仕様準拠システム発注に向けた要件の整理が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①令和6年度の標準仕様準拠システム移行着手に向けて、システムの特徴や移行方針、概算事業費等の情報収集を図るため、県内ベンダーに対して、情報提供依頼(RFI)の公募を実施し、発注に向けた要件の整理を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>琴浦町の住民情報に関する基幹システムである総合行政システムの安定的な稼働と運用を行うことができています。 また、自治体情報システム標準化においても、情報提供依頼(RFI)の公募を実施し、令和6年度当初予算計上、システム移行発注に向けて準備を行っており、現時点においては予定どおり進捗しています。</p>	
今後の 取り組み の 方向	<p>自治体情報システムの標準化においては、令和7年度末までの対応が法律で定められており、標準仕様対応のシステム調達を令和6年度に行い、令和7年度の稼働に向けて準備を進めます。</p>	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1422	事業名	DX化推進事業			会計区分	一般会計		
担当課	総務課		担当係	DX推進室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	電算機管理費
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				④行政サービスのデジタル化				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	13,032	11,307	0	61	0	0	11,246		

事業目的 社会全体で従来の仕組みを変革するデジタル活用の流れが進んでおり、行政分野においても積極的にデジタル技術の導入と業務の在り方の見直しにより、行政の高度化・効率化を図ります。

①外部人材を活用したDX推進に向けた体制整備を行い、今後に向けた取り組みの整理を図りました。

業務名	金額 (円)	備考
DX先進地視察	300,330	母子健康管理システム、窓口DXSaaSを導入している自治体の視察を行い、今後の導入・運用の参考としました。
琴浦町デジタル専門人材支援業務	2,448,800	CIO補佐官委託業務によるDX推進に向けた助言を受けています。
窓口DXコンサルティング業務委託契約	1,740,000	令和6年度の書かない窓口導入に向けて、現行の窓口における業務フロー等の現況確認、ベンダー4社が提供する窓口DXSaaSの機能・非機能を比較する調査を実施しました。
その他委託料	264,000	職員向け研修費用等
合計	4,753,130	

OCIO補佐官の支援、主な取組み

毎月1～2日のオンラインによる打合せを基本に、状況に合わせて現地協議

取組	概要
DX推進に向けた課題整理と助言	各課ヒアリングを実施し、官民取組みの動向や事例を見ながら、と町が抱える課題の洗い出しや目指す取組みに関してデジタル技術のフィッティング。 【一例】 ・業務の過程でデジタル化しても、最後に押印が必要となるとデジタル完結しない、特に請求書押印は早急に見直した方が良い。 ・書かない窓口に関する全国事例の調査とデジタル庁のうごきを整理、有効性について提言を受け、窓口DXに向けた取り組みの一つとする。 ・chatGPT等の生成AI技術の積極的活用提言 ほか
システム標準化対応への助言	システム情報提供依頼(RFI)実施に向けて、ベンダーに要求する情報の項目等について、担当職員案の確認と内容を助言。
システム導入時における調整	令和6年度母子保健カルテ電子化に向けた仕様の確認と助言。 地域交通デマンド化MaaS導入の検討段階における助言。 琴浦町公式Webサイト管理システムのCMS更新についての相談対応。

事業の
主な
実施状況

②ICTツールを継続的に使用するための費用を負担しました。

業務名	金額（円）	備考
回線通信料	237,734	モバイル回線型のタブレット端末に要する通信料、モバイルwifiルータ本体代及び通信料
ペーパーレス会議システム使用料	990,000	ペーパーレスにて議会の議事進行を図る会議システムの使用に要した経費 ・議会だけにとどまらず、庁内会議にも利用しており、資料作成の軽減や会議進行の効率化を図っています。
公共施設予約システム	1,254,000	体育施設等公共施設のオンライン予約システムの使用料です。
各種ICTツール使用料	3,619,616	オンライン会議システム、RPA、AI-OCR、AI議事録ライセンス料
その他サービス使用料	452,650	二要素認証サービス等
合計	6,554,000	

担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

①他団体で実施している取組み事例の調査を行い、琴浦町において課題解決となり得るか検証を図ります。

【前年度課題についての対応及び成果】

①業務のバックヤード改善にむけて、AI-OCRやRPAのデジタルツールを揃えて、税業務や給付金業務に適用し、試行しています。業務の処理時間短縮や効率化に効果が見られる反面、ツールの使いこなしに一定のスキルが必要となることが分かりました。
職員への教育支援や業務適用の伴走を行いながら、適用業務の拡大を図ります。

【担当課による評価の理由】

AI-OCRやRPAのデジタルツールの検証のほか、書かない窓口導入に向けた準備作業を行うことができ、デジタル技術の導入により業務の在り方や仕組みを変えていく素地を整えることができました。

事業目的
の
達成状況

今後の
取組み
の
方向

DXに向けた取組みを整理していますが、技術革新がめまぐるしく行われる分野であるため、見直しに向けて取組む必要があります。
また、職員が使用するシンクライアント基盤や公衆用Wi-Fiの基盤更新が迫るため、単に更新するのではなく、新たな価値の付与について、CIO補佐官の支援を受けながら検討を図ります。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1485	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業(マスク等消耗品費)			会計区分	一般会計							
担当課	総務課		担当係	防災危機管理室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続						
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11						
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			—										
	重点項目	—												
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)						
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源							
令和5年度	1,000	270	0	0	0	0	270							
事業目的	公共施設等で使用する手指消毒液等の消耗品を整備し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止します。													
事業の 主な 実施状況	<p>① 新型コロナウイルス感染症感染予防対策として、手指消毒液、消毒液を購入し、公共施設へ設置しました。 消耗品費:270千円 【購入した主な資機材】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>物品名</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手指消毒液</td> <td>135 ℓ</td> </tr> <tr> <td>消毒液</td> <td>252 ℓ</td> </tr> </tbody> </table>								物品名	数量	手指消毒液	135 ℓ	消毒液	252 ℓ
物品名	数量													
手指消毒液	135 ℓ													
消毒液	252 ℓ													
	担当課による評価			A 相当程度進展あり										
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、感染状況に応じて対策が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 県内の感染状況等をホームページ等で確認しながら、消毒や換気の徹底など感染予防対策を実施しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 手指消毒や共用物の消毒、換気等の実施により、公共施設で来庁者や職員間での感染拡大を防止する取り組みができたため、A相当程度進展ありとしました。</p>													
今後の 取り組み の 方向	引き続き、感染状況を確認しながら、適切な感染予防対策を実施します。													

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1619	事業名	物価高騰対策町民支援商品券配付事業	会計区分	一般会計			
担当課	総務課	担当係	行政総務室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 11	新型コロナウイルス感染症対策費		
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ④地産地消の促進により地域の中で経済がまわる仕組みづくり							
重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	55,794	54,391	44,290	0	0	0	10,101	
令和5年度(明許)	52,554	50,791	50,791	0	0	0	0	
令和5年度	国際情勢等により、電気・燃料・食料品等の価格高騰が継続している中、町民の家計負担を軽減すること、加えて新型コロナウイルス感染症の影響で低下した消費行動の活性化を目的として、全住民へことうら商品券の配布を行います。							
事業の 主な 実施状況	①【第1弾】物価高騰対策！ことうら商品券配付事業 令和4年度からの繰越							
	令和4年度の執行額 3,398 千円							
	令和5年度の執行額(下表)							
	項目		説明ほか			R5年度執行額(円)	備考	
	基準日		令和5年3月1日現在					
	郵便代		商品券再配送代(ゆうパック)			953		
	商品券換金等委託料		琴浦町商工会委託(商品券代、事務費等)			50,790,178		
	合計					50,791,131		
	事業実施状況							
	項目		説明ほか			実績値	備考	
商品券配付枚数		6,444世帯×6枚(500円券)=38,664枚			38,664枚	19,332,000円分		
		16,362人×4枚(500円券)=65,448枚			65,448枚	32,724,000円分		
商品券換金実績		101,204枚(使用率97.2%)			101,204枚	50,602,000円分		
②【第2弾】物価高騰対策！ことうら商品券配布事業								
項目		説明ほか			R5年度執行額(円)	備考		
基準日		令和5年7月15日現在						
印刷製本費		商品券作成代			868,230			
郵便代		商品券配送代(ゆうパック)			2,617,779			
商品券換金等委託料		琴浦町商工会委託(商品券代、換金作業等)			50,905,257			
合計					54,391,266			
事業実施状況								
項目		説明ほか			実績値	備考		
商品券配布枚数		6,495世帯×6枚(500円券)=38,970枚			38,970枚	19,485,000円分		
		16,270人×4枚(500円券)=65,080枚			65,080枚	32,540,000円分		
商品券換金実績		101,478枚(使用率97.5%)			101,478枚	50,739,000円分		
担当課による評価				S 目的達成				
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】							
	令和4年度については、準備行為であり、令和5年度に商品券の使用等、事業が大きく進展します。							
	【前年度課題についての対応及び成果】							
令和5年度に、第1弾事業の主要部分の実施、続けて第2弾の商品券配付及び換金を行うことができました。								
【担当課による評価の理由】								
第1弾、第2弾事業ともに、商品券の使用率が97%を超え、新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ、住民の消費行動や、物価高騰下での家計負担の軽減に寄与することができました。								
今後の 取り組み の 方向								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1652	事業名	物価高騰対応重点支援商品券配付事業			会計区分	一般会計																																		
担当課	総務課	担当係	行政総務室			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続																																		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費																																
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			④地産地消の促進により地域の中で経済がまわる仕組み																																					
	重点項目																																								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																		
令和5年度	56,388	16,986	16,986	0	0	0	0																																		
事業目的	国際情勢等により、電気・燃料・食料品等の価格高騰が継続している中、町民の家計負担を軽減することを目的として、全住民へことうら商品券の配付を行います。																																								
事業の 主な 実施状況	①【第3弾】物価高騰対策！ことうら商品券配付事業																																								
	令和5年度の執行額(下表)																																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">項目</th> <th style="width: 40%;">説明ほか</th> <th style="width: 20%;">R5年度執行額(円)</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準日</td> <td>令和6年2月15日現在</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>時間外勤務手当</td> <td>商品券配送準備による職員時間外勤務手当</td> <td style="text-align: right;">414,469</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>事務用品等</td> <td style="text-align: right;">2,631</td> <td></td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>商品券作成代</td> <td style="text-align: right;">915,486</td> <td></td> </tr> <tr> <td>郵便代</td> <td>商品券配送代(ゆうパック)</td> <td style="text-align: right;">2,843,997</td> <td></td> </tr> <tr> <td>商品券換金等委託料</td> <td>琴浦町商工会委託(商品券代、換金作業等)</td> <td style="text-align: right;">12,809,580</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">16,986,163</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									項目	説明ほか	R5年度執行額(円)	備考	基準日	令和6年2月15日現在			時間外勤務手当	商品券配送準備による職員時間外勤務手当	414,469		消耗品費	事務用品等	2,631		印刷製本費	商品券作成代	915,486		郵便代	商品券配送代(ゆうパック)	2,843,997		商品券換金等委託料	琴浦町商工会委託(商品券代、換金作業等)	12,809,580		合計		16,986,163	
	項目	説明ほか	R5年度執行額(円)	備考																																					
基準日	令和6年2月15日現在																																								
時間外勤務手当	商品券配送準備による職員時間外勤務手当	414,469																																							
消耗品費	事務用品等	2,631																																							
印刷製本費	商品券作成代	915,486																																							
郵便代	商品券配送代(ゆうパック)	2,843,997																																							
商品券換金等委託料	琴浦町商工会委託(商品券代、換金作業等)	12,809,580																																							
合計		16,986,163																																							
事業実施状況																																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">項目</th> <th style="width: 40%;">説明ほか</th> <th style="width: 20%;">実績値</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">商品券配付枚数</td> <td>6,472世帯×6枚(500円券)=38,832枚</td> <td style="text-align: right;">38,832枚</td> <td style="text-align: right;">19,416,000円分</td> </tr> <tr> <td>16,129人×4枚(500円券)=64,516枚</td> <td style="text-align: right;">64,516枚</td> <td style="text-align: right;">32,258,000円分</td> </tr> <tr> <td>商品券換金実績</td> <td>令和5年度 25,008枚(使用率24%)</td> <td style="text-align: right;">25,008枚</td> <td style="text-align: right;">12,504,000円分</td> </tr> </tbody> </table>									項目	説明ほか	実績値	備考	商品券配付枚数	6,472世帯×6枚(500円券)=38,832枚	38,832枚	19,416,000円分	16,129人×4枚(500円券)=64,516枚	64,516枚	32,258,000円分	商品券換金実績	令和5年度 25,008枚(使用率24%)	25,008枚	12,504,000円分																		
項目	説明ほか	実績値	備考																																						
商品券配付枚数	6,472世帯×6枚(500円券)=38,832枚	38,832枚	19,416,000円分																																						
	16,129人×4枚(500円券)=64,516枚	64,516枚	32,258,000円分																																						
商品券換金実績	令和5年度 25,008枚(使用率24%)	25,008枚	12,504,000円分																																						
令和6年度へ繰越 39,401 千円																																									
事業目的 の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり																																						
	【前年度の課題の概要】 新規事業																																								
	【前年度課題についての対応及び成果】 新規事業																																								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 令和5年度については、商品券の作成や配付等の事業実施に向けた準備行為であり、事業が大きく進展するのは令和6年度となります。(令和6年度への繰越事業)																																								
	商工会と連携し、商品券取扱店舗の誘致や広報活動を行い、令和6年6月30日までを使用期限とする商品券の使用促進を図ります。																																								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	45	事業名	式典事業	会計区分	一般会計			
担当課	総務課	担当係	行政総務室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 12	諸費		
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			—				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	983	745	0	0	0	0	745	

事業目的	二十歳のつどいを開催することにより、対象者を祝い、励まします。同時に、旧友や新たな出会いの場を提供し、故郷である琴浦町へのふるさと愛の醸成を図ります。		
事業の 主な 実施状況	<p>① 琴浦町二十歳のつどいの開催 令和6年1月3日(水)に開催しました。 出席者:126名/対象者:178名</p> <p>〔経費内訳〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記念品(写真台紙、オープニング演奏出演謝礼) 539千円 ・消耗品費(スタンド花、パンフレット用紙等) 84千円 ・通信運搬費 122千円 <p>② 成人年齢の引き下げに伴う成人式のあり方について 民法改正により、成人年齢が令和4年4月1日から18歳に引き下げられたことに伴い、成人式のあり方について検討し、現行どおり年度内に二十歳を迎える方を対象に実施することとしました。式典の名称は、対象者にアンケートを実施し、最も回答の多かった「二十歳のつどい」に決定しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="font-size: small; text-align: center;">令和6年 琴浦町二十歳のつどい 令和6年1月3日 於 琴浦町生涯学習センター</p>		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">担当課による評価</td> <td style="width: 50%;">S 目的達成</td> </tr> </table>	担当課による評価	S 目的達成
担当課による評価	S 目的達成		
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 新型コロナウイルス感染拡大防止を適正に行える開催方法の検討が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 リモート参加を可能とし、新型コロナウイルス感染拡大防止と式との両立を図りました。式典の内容を一部変更及び手指消毒・マスクの着用等呼びかけることにより、クラスターが発生することなく、出席者に安心して出席してもらうことができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 新型コロナウイルス感染拡大防止を適正に行うことができたことと判断し、S 目的達成と評価しました。</p>		
今後の 取り組み の 方向	新型コロナウイルス感染拡大防止を適正に行いつつ、参加者のニーズに沿った開催方法の検討が必要です。		

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1063	事業名	定期借地権設定事業		会計区分	一般会計																																														
担当課	総務課	担当係	財務監理室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																														
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 12	諸費																																														
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				①住宅の確保と移住定住の推進																																															
重点項目	若者の定住・UIJターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整備																																																			
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																												
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																													
令和5年度	18,036	16,989	0	0	15,000	0	1,989	ふるさと未来夢基金繰入金15,000千円																																												
事業目的	人口減少が深刻化するなか、定期借地権制度により定住希望者に対して土地を貸付ます。 ※定期借地権制度とは 町が分譲地を購入し、その土地を51年間にわたり定住希望者に貸付を行います。これにより、定住希望者は、初期の土地購入費用が軽減され、安価にマイホームを所有することができます。																																																			
事業の主な実施状況	① 定期借地権設定事業(土地購入費) 16,989千円 現在、定期借地権制度の対象は、下記に分譲地となっており、本年度の実績は以下の通りです。 (槻下団地は令和5年度に完売しました) <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>分譲団地</th> <th>全区画数</th> <th>R4年度までの契約済区画</th> <th>今年度契約区画数 土地購入者含む</th> <th>左のうち定期借地権制度利用数</th> <th>残区画数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>槻下団地</td> <td>92 区画</td> <td>91 区画</td> <td>1 区画</td> <td>1 区画</td> <td>0 区画</td> </tr> <tr> <td>きらりタウン赤碕</td> <td>174 区画</td> <td>154 区画</td> <td>3 区画</td> <td>2 区画</td> <td>17 区画</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;"> きらり団地定期借地権設定用地 2区画分 12,163千円 槻下団地定期借地権設定用地 1区画分 4,826千円 ※3区画全て、町内在住者からの申込 ▼新規定期借地権設定契約数実績 (単位: 件) </p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>契約数(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>4</td></tr> <tr><td>H25</td><td>7</td></tr> <tr><td>H26</td><td>12</td></tr> <tr><td>H27</td><td>8</td></tr> <tr><td>H28</td><td>16</td></tr> <tr><td>H29</td><td>7</td></tr> <tr><td>H30</td><td>10</td></tr> <tr><td>R1</td><td>7</td></tr> <tr><td>R2</td><td>5</td></tr> <tr><td>R3</td><td>4</td></tr> <tr><td>R4</td><td>6</td></tr> <tr><td>R5</td><td>3</td></tr> </tbody> </table>								分譲団地	全区画数	R4年度までの契約済区画	今年度契約区画数 土地購入者含む	左のうち定期借地権制度利用数	残区画数	槻下団地	92 区画	91 区画	1 区画	1 区画	0 区画	きらりタウン赤碕	174 区画	154 区画	3 区画	2 区画	17 区画	年度	契約数(件)	H24	4	H25	7	H26	12	H27	8	H28	16	H29	7	H30	10	R1	7	R2	5	R3	4	R4	6	R5	3
分譲団地	全区画数	R4年度までの契約済区画	今年度契約区画数 土地購入者含む	左のうち定期借地権制度利用数	残区画数																																															
槻下団地	92 区画	91 区画	1 区画	1 区画	0 区画																																															
きらりタウン赤碕	174 区画	154 区画	3 区画	2 区画	17 区画																																															
年度	契約数(件)																																																			
H24	4																																																			
H25	7																																																			
H26	12																																																			
H27	8																																																			
H28	16																																																			
H29	7																																																			
H30	10																																																			
R1	7																																																			
R2	5																																																			
R3	4																																																			
R4	6																																																			
R5	3																																																			
事業目的の達成状況	担当課による評価				B 進展が大きくない																																															
	【前年度の課題の概要】 ① 令和5年度よりきらりタウン赤碕未分譲地の管理が鳥取県住宅供給公社から琴浦町土地開発公社に変更になりました。これまで以上に、利用促進に向け、県内外に広く発信する必要があります。																																																			
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 新聞広告や地域情報紙にて定期借地権制度のPRを行いました。 ② 申込者は前年度より減少となりましたが、槻下団地は全区画契約済みとなりました。																																																			
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 新規定期借地権設定契約数は3件となり、前年度比3件減となりました。きらりタウン赤碕の未分譲率は11.5%(17区画)となりましたが、定期借地権契約件数が伸び悩んだため「B 進展が大きくない」と評価しました。																																																			
	移住者・定住者誘致増加に向けて関係課と連携するとともに、引き続き新聞広告やホームページ等でのPRを行います。 利用促進に向け、従来の新聞広告等による情報発信だけではなく、より広域に発信できるような方法を関係課と協力し取り組む必要があります。																																																			

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	44	事業名	部落自治振興費補助	会計区分	一般会計			
担当課	総務課	担当係	行政総務室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目	12	諸費	
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			—				
重点項目	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	31,359	27,245	0	0	5,800	15,500	6,445 (一財)自治総合センター 5,800千円 過疎対策事業債15,500 千円	

事業目的 町民と町の協働による住みよい豊かな地域社会の形成を及び地域自治の振興を図ります。

① 自治会の振興策として、以下の補助金、交付金を交付しました。


補助金、交付金の名称	金額(円)	対象	備考
部落自治振興交付金	15,437,100	154自治会	
部落自治振興交付金追加交付金	3,202,000	135自治会が実施	敬老事業分
	920,000	71自治会が実施	防災活動促進分
	50,000	5自治会が該当	認可地縁団体分
	1,048,200	35自治会が実施	除雪活動分
地区区長会補助金	226,082	7地区区長会	
小型除雪機等購入支援事業補助金	562,000	1自治会が実施	

② 自治会に対し、コミュニティ活動に直接必要な設備等の購入費を補助しました。


事業実施主体	事業内容	補助金額(円)
下市公民館	エアコン他コミュニティ活動備品の整備	2,200,000
逢東自治公民館	エアコンの整備	1,600,000
上三本杉自主防災会	小型動力消防ポンプ1台	2,000,000




公民館備品(エアコン)(下市公民館)



公民館備品(お座敷チェア)(下市公民館)



公民館備品(エアコン)(逢東自治公民館)



小型動力消防ポンプ1台(上三本杉自主防災会)

担当課による評価 A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】
コロナ後の自治会活性化策を検討します。

【前年度課題についての対応及び成果】
① 令和5年度は地域除雪活動に対する補助金と、部落内の広場整備に対する補助金を統合し、令和6年度からは認可地縁団体となっている自治会を対象に、公民館用地・建物の登記費用に対する補助金を追加し、役員の負担軽減と自治会支援を図ります。

【担当課による評価の理由】
① 各種補助事業を統合し、部落役員の負担軽減と自治会支援を図りました。また、自治会に対する活動支援及び事務支援を適切に遂行できました。また、小型除雪機等の購入に対する補助制度を設け、自治会の行う除雪活動を支援しました。

今後の取り組みの方向 引き続き、自治会活性化策を検討します。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	59	事業名	選挙管理委員会の運営	会計区分	一般会計
担当課	総務課	担当係	行政総務室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
予算区分	款 2	総務費	項 4	選挙費	目 1
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり		②町民参画・協働の仕組みづくり		
重点項目	—				

年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	176	152	0	0	0	0	152	

事業目的 地方自治法第181条第1項に基づき設置し、国及び地方公共団体の選挙に関する事務、政治団体に関する事務等を実施します。また、選挙人の政治・選挙に対する意識の向上を図るため、鳥取県明るい選挙推進協議会が実施する各種研修会等に参加する他、啓発活動を実施します。

事業の主な実施状況

① 選挙管理委員会を開催し、選挙人名簿の定時登録を行いました。

登録月	男(人)	女(人)	計(人)	前回増減
6月	6,510	7,296	13,806	△53
9月	6,456	7,239	13,695	△111
12月	6,440	7,218	13,658	△37
3月	6,416	7,213	13,629	△29

② 選挙管理委員会の運営等にかかった費用

支払項目	金額(円)	備考
選挙管理委員報酬	103,600	委員長及び委員が出席した際の、条例に基づいた報酬 委員長:4日×8,300円=33,200円 委員3名:3日×6,400円=57,600円 委員2名:1日×6,400円=12,800円
その他負担金ほか	48,280	明るい選挙推進協議会連合会負担金、選挙制度解説図書他

③ 直近選挙の投票率推移

選挙区分	当日有権者数(人)	投票率
H30町議	14907	54.62%
H32知事選	14553	65.59%
R1参議院	14691	57.00%
R3衆議院	14219	66.18%
R4町長・町議	14066	67.07%
R4参議院	14046	57.50%
R6知事・県議選	13818	61.75%

担当課による評価 B 進展が大きくない

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】
近年、投票率の低下が続いているため、主権者教育、投票機会の確保、コロナにより自粛していた街頭啓発等広報活動の再開等、投票率向上を図ります。

【前年度課題についての対応及び成果】
投票箱の貸し出しや啓発ポスターコンクールへの参加呼びかけなどの主権者教育と、広報誌・ホームページ等での広報活動を行い、投票率確保に努めました。

【担当課による評価の理由】
投票率については変わらず低下傾向にあるため、引き続き啓発活動に努めます。

今後の取り組みの方向 投票率については変わらず低下傾向にあるため、引き続き啓発活動に努めます。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	822	事業名	県知事・県議会議員選挙		会計区分	一般会計			
担当課	総務課		担当係	行政総務室	事業区分	■新規 □継続			
予算区分	款	2	総務費	項	4	選挙費	目	2	県知事・県議会議員選挙費
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				②町民参画・協働の仕組みづくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	7,879	7,099	0	7,099	0	0	0		
事業目的	鳥取県知事選挙・鳥取県議会議員一般選挙を適正に執行します。								
事業の 主な 実施状況	① 令和5年3月23日(県知事選挙)、3月31日(県議会議員選挙)告示、4月9日投開票執行								
	項目		内容						
	期日前投票所		本庁舎：令和5年3月24日～4月8日 分庁舎：令和5年4月2日、7日、8日 ※期日前投票所から2km以上離れている集落18箇所に 無料送迎車輛運行 3名利用(八反田)						
	投票所		町内16箇所						
	当日有権者数		県知事選挙：13,681人、県議会議員選挙：13,681人						
	投票者数		県知事選挙：8,455人、県議会議員選挙：8,448人						
	投票率【 】は前回H31		県知事選挙：61.80%【65.59%】、県議会議員選挙：61.75%【65.52%】						
	② 執行経費								
	業務等名称		金額(円)	備考					
	選挙管理委員会委員報酬		46,700	選挙期間中に開催した選挙管理委員会の出席に応じた報酬					
選挙長、投票管理者、立会人報酬		962,200	投票に関する管理者や立会人の報酬 投票管理者11人 【4月1日～8日 期日前(分庁・本庁)】 投票立会人22人 【4月1日～8日 期日前(分庁・本庁)】 開票管理者1人、開票立会人7人						
時間外勤務手当		3,926,462	選挙事務従事職員の時間外勤務手当 期日前70人、投票事務76人、開票事務52人、事務局3人						
ポスター掲示場管理・撤去ほか		895,100	ポスター掲示場95箇所の設置及び広報ポスターの貼付、選挙公報の配布						
選挙使用機器点検等手数料		409,200	入場券、氏名表等の印刷物の作成						
選挙事務郵便代		22,401	入場券発送等の郵便						
その他消耗品費等		837,206	選挙事務に要した消耗品						
合計		7,099,269							
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】								
	—								
	【前年度課題についての対応及び成果】 投票率は、県知事選挙 61.80%、県議会議員選挙61.75%でした。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 投票率の確保、選挙事務の適性執行に努めました。また、前回選挙時に比較し開票時間の短縮が図れました。								
	—								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書




事業番号	240	事業名	常備消防費	会計区分	一般会計			
担当課	総務課	担当係	防災危機管理室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款 8	消防費	項 1	消防費	目 1	常備消防費		
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり				
	重点項目	—						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	250,899	245,227	0	0	0	0	245,227	

事業目的	鳥取中部ふるさと広域連合が行う常備消防事務(消防局の運営)に係る経費を負担し、住民の生命、財産を守ります。																																										
事業の 主な 実施状況	<p>①鳥取中部ふるさと広域連合に対し、常備消防の運営に係る経費の負担を行いました。 負担金:245,227千円</p> <p>【常備消防の出動回数】 単位:回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">令和5年</th> <th colspan="3">令和4年</th> </tr> <tr> <th>火災</th> <th>救急</th> <th>救助</th> <th>火災</th> <th>救急</th> <th>救助</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中部管内</td> <td>26</td> <td>5462</td> <td>68</td> <td>38</td> <td>5350</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>琴浦町内</td> <td>4</td> <td>893</td> <td>15</td> <td>4</td> <td>837</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【町内火災内容】 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>令和5年</th> <th>令和4年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>林野</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	令和5年			令和4年			火災	救急	救助	火災	救急	救助	中部管内	26	5462	68	38	5350	68	琴浦町内	4	893	15	4	837	8	区分	令和5年	令和4年	建物	3	4	林野	1	0	その他	0	0	計	4	4
	区分		令和5年			令和4年																																					
		火災	救急	救助	火災	救急	救助																																				
	中部管内	26	5462	68	38	5350	68																																				
琴浦町内	4	893	15	4	837	8																																					
区分	令和5年	令和4年																																									
建物	3	4																																									
林野	1	0																																									
その他	0	0																																									
計	4	4																																									
 																																											
<p align="center">東伯郡消防連合演習</p>																																											

事業目的 の 達成状況	担当課による評価	A 相当程度進展あり
	<p>【前年度の課題の概要】 災害現場で適切に対応できるよう、常備消防と連携した訓練が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 1市4町実動訓練や東伯郡連合演習等により、消防局や他町消防団と連携した訓練に参加したほか、琴浦消防署と火災現場における連携について研修会を開催しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 毎年実施される訓練のほか、町独自で琴浦消防署と研修会等を開催し、災害時における連携について確認を行ったため、A相当程度進展ありとしました。</p>	
	<p>今後の取り組みの方向</p> <p>様々な場面を想定し、消防局と訓練や研修を実施していきます。</p>	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	928	事業名	地域防災力向上事業		会計区分	一般会計			
担当課	総務課		担当係	防災危機管理室	事業区分	□新規 ■継続			
予算区分	款	8	消防費	項	1	消防費	目	2	非常備消防費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり					
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	2,918	1,721	0	853	0	0	868		

事業目的	災害に対する備えなど防災意識や地域防災力の向上を図るため、自主防災組織への防災資機材整備や地域での避難体制の整備、地域防災リーダー育成等の支援を行います。																												
事業の 主な 実施状況	<p>① 自主防災組織が行う資機材整備及び可搬ポンプ修繕に対して補助金を交付しました。 補助金 807千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>組織数</th> <th>補助金額</th> <th>整備資機材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資機材整備</td> <td>19</td> <td>747千円</td> <td>消防ホース、格納箱、管鎗、ヘルメットなど</td> </tr> <tr> <td>ポンプ修繕</td> <td>3</td> <td>60千円</td> <td>可搬ポンプ修繕</td> </tr> </tbody> </table> <p>自主防災組織数の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>H30まで</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>合計</th> <th>結成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48</td> <td>22</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>80</td> <td>59.7%</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	区分	組織数	補助金額	整備資機材	資機材整備	19	747千円	消防ホース、格納箱、管鎗、ヘルメットなど	ポンプ修繕	3	60千円	可搬ポンプ修繕	H30まで	R1	R2	R3	R4	R5	合計	結成率	48	22	2	5	2	1	80	59.7%
	区分	組織数	補助金額	整備資機材																									
資機材整備	19	747千円	消防ホース、格納箱、管鎗、ヘルメットなど																										
ポンプ修繕	3	60千円	可搬ポンプ修繕																										
H30まで	R1	R2	R3	R4	R5	合計	結成率																						
48	22	2	5	2	1	80	59.7%																						
<p>② 災害時に地域で支え合う仕組みづくりや支援を必要とする人などを地図化する「支え愛マップ」づくりに取り組んだ集落に対し、補助金を交付しました。 補助金 250千円 支えあい活動支援事業(マップづくり) :6集落 支えあい活動支援事業(ステップアップ) :2集落 R5年度末取組集落数:49集落(作成率 31.8%)</p> <p>③ 地域の防災リーダーとなりうる防災士の育成を支援したほか、自主防災組織及び防災士を対象に研修会を開催しました。 防災士研修負担金 74千円 令和5年度防災士資格取得者数:4名(令和5年度末防災士数:77名)</p> <p>④ 避難時に支援を必要とする人を対象に、支援者、避難経路、避難場所などを定める個別避難計画の作成に対し交付金を交付しました。 交付金 103千円 R5作成計画数:39計画(令和5年度末作成計画数:45計画)</p> <p>⑤ 令和2年度に発行した防災マップの修正箇所にはり付けるシールを作成し、全戸配布しました。 委託料 404千円</p> <p>⑥ web版防災マップ保守業務委託料 83千円</p>																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">担当課による評価</td> <td style="width: 50%;">B 進展が大きくない</td> </tr> </table>	担当課による評価	B 進展が大きくない																										
担当課による評価	B 進展が大きくない																												
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 地域等の取組状況を確認しながら、防災意識の啓発、自助・共助の取組を進めていますが、働きかけが十分でないことが考えられます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 区町会や集落訪問等で、区長及び地域住民の方へ防災意識の啓発や取組推進を実施しました。</p> <p>集落訪問回数: 19回 研修回数: 14回 支え愛マップ作成支援: 7回</p>																												

	<p>【担当課による評価の理由】 取組みの意向がある集落等へ対しては支援を行うことができましたが、全町的な働きかけ以外は推進を図ることができなかつたため、Bとしました。</p>
<p>今後の 取組み の 方向</p>	<p>各地区での防災研修会開催や防災の取組みに係る案内等により、各地域での取組みの推進を図っていきます。</p>

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	241	事業名	非常備消防事務経費	会計区分	一般会計			
担当課	総務課	担当係	防災危機管理室	事業区分	□新規 ■継続			
予算区分	款 8	消防費	項 1	消防費	目 2	非常備消防費		
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり				
重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	68,265	63,392	0	407	875	31,100	31,010	緊急防災減災事業債 31,100千円 全国町村会災害対策費用保険 875千円

事業目的 火災時の消火活動等を行う消防団の活動を支援するほか、台風・大雨等自然災害への対応を行い、災害被害の減少を図ります。

- ① 消防団関連経費 53,612千円
町内にある10の分団を運営し、火災、風水害の対応を行ったほか、火災予防啓発を実施しました。
単位: 千円

経費の内容	金額	備考
消防団員年額報酬	7,127	団員数 148人(R6.1.1現在)
消防団員出動報酬	6,830	延べ出動人員 1,609人
消耗品等	1,543	ヘッドライト、整備スプレー、安全靴、ホース等
退職基金等負担金	4,188	退職報償金、賞じゅつ金等に係る負担金
消防団員福祉共済負担金	438	団員負傷に備えた福祉共済負担金
消防車等維持管理費	3,660	修繕料、消防車・車庫維持管理に係る経費
消防ポンプ車購入	29,370	消防ポンプ車(第6分団)の導入に要した経費
各種負担金等	456	県消防協会、郡消防協会等負担金
合計	53,612	



琴浦町消防ポンプ操法大会



東伯郡消防連合演習での中継訓練



・消防団員数

条例定数	R5.1.1	退職者数	入団者数	R6.1.1
172人	150人	6人	4人	148人

※ 条例定数の内訳(カッコ内は、R5.1.1現在の人数)

団長1名(1名)、副団長6名(3名)、女性班15名(4名)、分団員150名(140名)

・消防団出動回数

	火災	風水害	搜索	研修・訓練	訓練指導	警戒	その他(会議等)	計
R5年度	3回 192人	1回 13人	0回 0人	14回 516人	13回 65人	10回 325人	24回 498人	65回 1,609人
R4年度	3回 95人	2回 10人	1回 50人	4回 62人	10回 62人	8回 342人	19回 470人	47回 1,091人

事業の
主な
実施状況

- ② 災害等への対応に要する経費 9,780千円
災害に備え、職員待機や従事者に対する保険、備蓄等に要した経費です。

単位: 千円

経費の内容	金額	備考
災害応急業務に係る傷害保険料	701	災害応急に係る測量設計及び土木工事従事者の保険料
災害対策費用保険料	674	災害発生時に生じる町負担(避難所開設、食料等)を補填する保険料
被災者住宅再建支援基金負担金	1,547	災害等で住宅に被害を受けた方への支援金にかかる負担金

警報発令に伴う対応に要した経費	1,574	警報発令時の職員待機、避難所運営職員に係る時間外手当 ・令和5年8月 台風第7号:延べ47人 ・令和6年1月 津波注意報:延べ41人 ・令和6年1月 大雪警報:6人 ※令和6年9月の大雨は勤務時間中の警報発令
連携備蓄品購入に係る経費	2,380	水、非常食、トイレ等備蓄品消耗品購入に要した経費
避難所用非常電源装置購入に要した経費	2,904	避難所での停電対策として、発電機を購入し、本庁、まなびタウン、古布庄地区公民館、旧以西小学校、東伯総合公園体育館に設置
合計	9,780	

避難所用非常電源装置




まなびタウン設置状況



総合体育館設置状況

	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 ・消防団員の訓練や研修会の実施、必要な資機材整備を進め、消防団の機能強化が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ・町消防ポンプ操法大会や各種演習・訓練への参加、研修会の開催により、団員の技術向上に努めました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 消防団員の訓練や研修、災害対応に係る訓練や研修をとおり、知識の取得や技能向上が図れたため、Aと評価しました。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>消防団員からのニーズも確認しながら、研修や訓練を実施し、引き続き地域の消防力の中核を担う消防団の機能強化を推進していきます。</p>	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	242	事業名	消防施設経費			会計区分	一般会計		
担当課	総務課		担当係	防災危機管理室		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	8	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				—				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	20,030	18,599	0	677	0	5,400	12,522	緊急防災・減災事業債 5,400千円	
事業目的	防災行政無線等を活用し、災害時の情報伝達手段の確保を図るとともに、消火栓や防火水槽の維持管理を行い、火災発生時の水利の確保を行います。								
事業の 主な 実施状況	<p>① 火災発生時の主要な水利である消火栓の修繕等適切な維持管理を行いました。 負担金、修繕料等 5,277千円 消火栓修繕(11基)、撤去(1基) 修繕:八橋、別宮(2)、三本杉(2)、田越、笠見、下伊勢、赤碕、国実、浦安 撤去:西宮</p> <p>② 漏水していた赤碕地域コミュニティセンター駐車場の防火水槽を修繕し、水利の確保を行いました。 工事請負費 5,410千円</p> <p>③ 消火栓・防火水槽の位置図をデータ化し業務の効率化を図りました。 委託料 275千円</p>  <p>④ 消防団が使用する無線機の使用に係る経費 使用料 752千円</p> <p>⑤ 災害情報伝達手段である防災行政無線等の保守及び修繕を行いました。 防災行政無線保守業務委託料等 4,093千円 屋外拡声子局バッテリー交換 1,354千円</p> <p>⑥ 県と市町村の情報伝達手段である県防災行政無線に係る経費を負担しました。 負担金 1,438千円</p>								
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり					
	<p>【前年度の課題の概要】 消火栓・防火水槽等の老朽化対策が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 消防団や地域が行う消火栓の点検結果に基づき、使用不能の消火栓修繕を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 防災行政無線等の適正管理を行うことで、情報伝達手段の確保ができたほか、消火栓修繕により消防水利の確保が図れたことからAと評価しました。</p>								
	<p>今後の取り組みの方向 引き続き、消防水利の確保、情報伝達手段の確保を図るとともに、消防水利の適正な配置を推進していきます。</p>								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	355 356 859	事業名	○起債償還元金 ○起債償還利子・一時借入金利子 ○起債繰上償還元金	会計区分	一般会計																																															
担当課	総務課	担当係	財務監理室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																															
予算区分	款 11 公債費	項 1 公債費	目 1.2 元金・利子																																																	
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり		①町民に伝わる情報発信と情報共有																																																	
重点項目	—																																																			
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)				備考 (その他収入・町債の内訳)																																													
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																													
令和5年度	1,474,521	1,437,953	0	0	40,533	0	1,397,420	船上山発電所会計繰入金1,162千円 町営住宅使用料39,371千円																																												
事業目的	<p>これまでに発行を行った地方債の元金、利子の償還を行います。 また、地方債残高は県内自治他でも高い水準となっていることから繰上償還により将来の負担軽減を積極的に検討します。</p>																																																			
事業の主な実施状況	<p>① 償還金(元金) 1,307,638千円 ② 償還金(利子) 55,949千円 ③ 繰上償還 74,366千円</p> <p>令和5年度9月補正にて、前年度繰越金及び普通交付税を財源に地方債の繰上償還に必要な予算を計上し、繰上償還を実施しました。これにより、後年度に支払う予定であった約6百万円の利払いの削減を行うことができました。</p> <p>○繰上償還を行った地方債 H24合併特例・赤碓中学校プール改築事業(利率:0.81%) 74,366千円</p> <p>地方債残高の推移 地方債残高は、ピーク時より65億円減少しました。</p> <p>(百万円)</p> <p>H20 H22 H23 H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5</p> <p>【参考】新たな地方債(借金) 1,249,500千円 ▼令和5年度に発行を行った地方債の内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>起債名</th> <th>発行額(千円)</th> <th>交付税算入率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>臨時財政対策債</td><td>0</td><td>100%</td></tr> <tr><td>公共事業等債</td><td>61,800</td><td>22%</td></tr> <tr><td>防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債</td><td>10,900</td><td>50%</td></tr> <tr><td>災害復旧事業(補助災害)</td><td>7,400</td><td>95%</td></tr> <tr><td>災害復旧事業(小災害・単独)</td><td>2,200</td><td>※47.5~100%</td></tr> <tr><td>一般補助施設整備等事業債</td><td>16,500</td><td>30%</td></tr> <tr><td>合併特例事業債</td><td>3,500</td><td>70%</td></tr> <tr><td>緊急防災・減災事業債</td><td>85,700</td><td>70%</td></tr> <tr><td>緊急自然災害防止対策債</td><td>19,300</td><td>70%</td></tr> <tr><td>緊急浚渫推進事業</td><td>1,400</td><td>70%</td></tr> <tr><td>辺地対策事業債</td><td>3,900</td><td>80%</td></tr> <tr><td>過疎対策事業債(ハード)</td><td>950,900</td><td>70%</td></tr> <tr><td>過疎対策事業債(ソフト)</td><td>86,000</td><td>70%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>1,249,500</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>※各年度の財政力指数により算入率が異なる</p>							起債名	発行額(千円)	交付税算入率	臨時財政対策債	0	100%	公共事業等債	61,800	22%	防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	10,900	50%	災害復旧事業(補助災害)	7,400	95%	災害復旧事業(小災害・単独)	2,200	※47.5~100%	一般補助施設整備等事業債	16,500	30%	合併特例事業債	3,500	70%	緊急防災・減災事業債	85,700	70%	緊急自然災害防止対策債	19,300	70%	緊急浚渫推進事業	1,400	70%	辺地対策事業債	3,900	80%	過疎対策事業債(ハード)	950,900	70%	過疎対策事業債(ソフト)	86,000	70%	合計	1,249,500	
起債名	発行額(千円)	交付税算入率																																																		
臨時財政対策債	0	100%																																																		
公共事業等債	61,800	22%																																																		
防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	10,900	50%																																																		
災害復旧事業(補助災害)	7,400	95%																																																		
災害復旧事業(小災害・単独)	2,200	※47.5~100%																																																		
一般補助施設整備等事業債	16,500	30%																																																		
合併特例事業債	3,500	70%																																																		
緊急防災・減災事業債	85,700	70%																																																		
緊急自然災害防止対策債	19,300	70%																																																		
緊急浚渫推進事業	1,400	70%																																																		
辺地対策事業債	3,900	80%																																																		
過疎対策事業債(ハード)	950,900	70%																																																		
過疎対策事業債(ソフト)	86,000	70%																																																		
合計	1,249,500																																																			
事業目的の達成状況	担当課による評価	S 目的達成																																																		
今後の取り組みの方向	<p>【前年度の課題の概要】 ① 新たな地方債の発行が増加することが見込まれるため、財政調整基金残高の確保とバランスを取りながら積極的な繰上償還を検討します。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ① 令和5年度9月補正にて繰上償還を予算化したことで令和5年度末地方債残高は前年度より減少しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 地方債残高が前年度末よりも減少したことから、「S 目的達成」としました。</p> <p>公共施設の老朽化が喫緊の課題となる中、地方債発行額が増加することが見込まれます。発行にあっては優れた地方債の活用を行うとともに、財政調整基金残高の確保とバランスを取りながら積極的な繰上償還を行い、地方債残高を抑制する必要があります。</p>																																																			

会計 款-項-目 事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
町民生活課				
2.総務費				
3.戸籍住民登録費				
1.戸籍住民登録費				
戸籍住民登録事務	33,600	20,854	3-1	
個人番号交付事務	912	402	3-3	
3.民生費				
1.社会福祉費				
5.国民年金事務費				
国民年金・敬老福祉年金事務	55	43	3-4	
4.衛生費				
1.保健衛生費				
4.環境衛生費				
動物愛護	1,487	664	3-5	
環境保全	1,797	1,747	3-6	
再生可能エネルギー推進事業	1,400	1,100	3-7	
斎場管理	10,817	10,457	3-8	
2.清掃費				
1.じん芥処理費				
じん芥処理	229,622	220,754	3-9	
エコライフサイクル確立事業	10,833	9,562	3-10	
不法投棄廃棄物処理事業	1,198	288	3-11	
公共水域環境保全事業	3,637	2,965	3-12	
2.し尿処理費				
し尿処理対策	27,359	26,191	3-13	
6.商工費				
1.商工費				
1.商工総務費				
消費者対策	1,166	1,166	3-14	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	58	事業名	戸籍住民登録事務		会計区分	一般会計				
担当課	町民生活課			担当係	総合窓口係		□新規 ■継続			
予算区分	款	2	総務費	項	3	戸籍住民登録費	目	1	戸籍住民登録費	
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり					—				
	重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和5年度	33,600	20,854	0	39	9,252	0	11,563	戸籍等各種証明手数料 9,252千円		

事業目的 住民の住民票及び戸籍を適切に登録、管理します。
証明書等を適切に発行し、住民サービスの向上を図ります。

- ① 住民基本台帳人口、世帯数、高齢化率
住民基本台帳人口は、16,012人、前年と比較し251人減少しました。世帯数6,472世帯で、前年と比較し、44世帯増加しました。なお、それぞれの状況は下記のとおりです。

人口と世帯	R5年度末		R4年度末	前年比
	合計	16,012人	16,263人	-251人
	男	7,589人	7,732人	-143人
	女	8,423人	8,531人	-108人
	世帯	6,472世帯	6,428世帯	44世帯
高齢化率(65歳以上)	38.5%		38.2%	+0.3%

- ② 住民基本台帳関係事務処理件数(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

種別(A)	人数	種別(B)	人数	種別	件数
転入者	455人	転出者	495人	転居者	215件
出生者	84人	死亡者	292人	世帯変更	212件
その他	8人	その他	11人	職権修正	300件
計(A)	547人	計(B)	798人	違反通知	0件
増減数(A-B)			-251人	計	727件

- ③ 印鑑登録関係件数(令和6年3月31日現在)

登録	廃止	年度末登録者数
436件	601件	11,440人

- ④ 外国人登録者数

国籍名	韓国	中国	アメリカ	フィリピン	インドネシア	モンゴル	ベトナム
R5年度末	30人	12人	8人	14人	23人	1人	152人
R4年度末	31人	13人	6人	12人	22人	1人	131人
国籍名	台湾	その他	合計				
R5年度末	4人	30人	274人				
R4年度末	4人	12人	232人				

- ⑤ 本籍数及び本籍人口(令和6年3月31日現在)

前年と比較して、本籍数は134戸籍減少し、本籍人口も400人減少しました。

本籍数	10,149戸	本籍人口	23,949人
-----	---------	------	---------

事業の
主な
実施状況

⑥ 戸籍届出書の取扱い件数(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

事件の種類	件数	事件の種類	件数
出生	156	入籍	29
死亡	383	分籍	8
国籍留保	4	帰化	0
認知	2	氏名の変更	1
養子縁組	11	転籍	48
養子離縁	11	戸籍訂正	17
婚姻	189	その他	0
離婚	43	離婚の際に称した姓を称する届	15
不受理申出	1	合計件数	959

⑦ 戸籍・住民票等取扱い件数(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

区分	窓口・郵送	コンビニ
戸籍謄本	2,165	544
戸籍抄本	529	
除籍・原戸籍謄本	4,099	
除籍・原戸籍抄本	28	
婚姻受理証明書	5	
受理証明・届書写	10	
小計	6,836	544
住民票	4,119	1,164
戸籍の附票	654	41
印鑑登録証明書	2,979	987
印鑑登録	402	
税証明他	3,517	186
臨時運行許可書	153	
個人番号カード再発行手数料	40	
通知カード再発行手数料		
小計	11,864	2,378
合計	18,700	2,922

⑧ 本人通知制度(令和6年3月31日)

本人通知事前登録者数:194名
 事前登録者に対する通知件数:0件
 委任状取得による通知件数:270件

担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

- ① 窓口手続の集約に努め、来庁者の滞在時間短縮を図り、住民サービスの向上に努めます。
- ② コンビニ利用の向上のため、TCC、町報等でコンビニ交付のPRの強化に努めます。

【前年度課題についての対応及び成果】

- ① 窓口体験調査を行い、関係課と手続きの集約を協議し、窓口受付の環境を整えることができた。
- ② コンビニ交付を利用した証明取得件数も前年度より1,100件増加し、住民の利便性が向上しました。

【担当課による評価の理由】

- ・窓口業務の集約に努め、窓口受付の環境を整え、住民の負担の軽減に努めました。
- ・マイナンバーカード取得者が増加し、コンビニ交付件数も増加し、住民の利便性は向上しています。
- ・戸籍届、住民異動、その他手続きに対し、迅速、丁寧な対応に努めました。

事業目的
の
達成状況

今後の
取り組み
の
方向

- ・引き続き住民の利便性向上のため、コンビニ交付・らくらく窓口利用のPRに努めます。
- ・DX推進室と連携し、手書き申請を減らし、窓口を集約し、待ち時間の短縮を目指した窓口業務の改善を図ります。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1324	事業名	個人番号交付事務			会計区分	一般会計																																																														
担当課	町民生活課			担当係	総合窓口係		□新規 ■継続																																																														
予算区分	款	2	総務費	項	3	戸籍住民登録費	目	1	戸籍住民登録費																																																												
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり					—																																																															
	重点項目	—																																																																			
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																													
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																														
令和5年度	912	402	402	0	0	0	0																																																														
事業目的	マイナンバーカードの普及率の向上により、コンビニでの証明書発行、行政手続きのオンライン化など、窓口業務での住民サービスの向上を図ります。																																																																				
事業の 主な 実施状況	<p>マイナンバーカードの取得に対して啓発を強化し、交付率が大きく向上しました。それに伴い、マイナンバーカードを利用したコンビニ交付件数も増加しました。</p> <p>① マイナンバーカード交付枚数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>枚数</th> <th>交付率</th> <th>人口(3月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H30</td><td>338</td><td>1.94%</td><td>17,392</td></tr> <tr><td>R1</td><td>668</td><td>3.89%</td><td>17,173</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,644</td><td>9.73%</td><td>16,888</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,875</td><td>11.32%</td><td>16,569</td></tr> <tr><td>R4</td><td>6,128</td><td>37.68%</td><td>16,263</td></tr> <tr><td>R5</td><td>1,149</td><td>6.99%</td><td>16,435</td></tr> <tr><td>累計</td><td>14,725</td><td>89.60%</td><td>16,435</td></tr> </tbody> </table> <p>(累計はH28~29年分含む)</p> <p>② コンビニ交付証明書取得件数(令和5年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>証明書種類</th> <th>今年度</th> <th>前年度</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>住民票</td><td>1164 件</td><td>753 件</td><td>154.6%</td></tr> <tr><td>印鑑証明書</td><td>987 件</td><td>613 件</td><td>161.0%</td></tr> <tr><td>各種税証明書</td><td>186 件</td><td>116 件</td><td>160.3%</td></tr> <tr><td>戸籍謄抄本</td><td>544 件</td><td>313 件</td><td>173.8%</td></tr> <tr><td>戸籍の附票</td><td>41 件</td><td>25 件</td><td>164.0%</td></tr> <tr><td>合計</td><td>2,922 件</td><td>1,092 件</td><td>267.6%</td></tr> </tbody> </table>									年度	枚数	交付率	人口(3月末)	H30	338	1.94%	17,392	R1	668	3.89%	17,173	R2	1,644	9.73%	16,888	R3	1,875	11.32%	16,569	R4	6,128	37.68%	16,263	R5	1,149	6.99%	16,435	累計	14,725	89.60%	16,435	証明書種類	今年度	前年度	前年比	住民票	1164 件	753 件	154.6%	印鑑証明書	987 件	613 件	161.0%	各種税証明書	186 件	116 件	160.3%	戸籍謄抄本	544 件	313 件	173.8%	戸籍の附票	41 件	25 件	164.0%	合計	2,922 件	1,092 件	267.6%
年度	枚数	交付率	人口(3月末)																																																																		
H30	338	1.94%	17,392																																																																		
R1	668	3.89%	17,173																																																																		
R2	1,644	9.73%	16,888																																																																		
R3	1,875	11.32%	16,569																																																																		
R4	6,128	37.68%	16,263																																																																		
R5	1,149	6.99%	16,435																																																																		
累計	14,725	89.60%	16,435																																																																		
証明書種類	今年度	前年度	前年比																																																																		
住民票	1164 件	753 件	154.6%																																																																		
印鑑証明書	987 件	613 件	161.0%																																																																		
各種税証明書	186 件	116 件	160.3%																																																																		
戸籍謄抄本	544 件	313 件	173.8%																																																																		
戸籍の附票	41 件	25 件	164.0%																																																																		
合計	2,922 件	1,092 件	267.6%																																																																		
事業目的の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり																																																																	
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① さらなるマイナンバーカードの交付率向上と、カードの利用推進。 ② マイナンバーカードの利用向上として、コンビニ交付の利用率を向上させる。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 介護施設入所者への出張申請受付など、申請・交付の場を増やし、交付率90%となりました。 ② コンビニ交付件数も年々増加傾向にあり、利用が浸透してきている。本庁窓口の来庁者に対しても、マイナンバーカードを使って、らくらく窓口利用の推奨に努めることができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>・マイナンバーカードの交付において、目標の交付率に達成し、保険証利用、転出入の手続きの利用等、活用において啓発することができました。 ・介護施設や町内医療機関の出張申請を強化し、取得者の増加とマイナンバーカードの利用啓発を行いました。</p>																																																																				
今後の 取り組み の 方向	<p>・マイナンバーカードの更新手続き、転入時の券面記載変更に対し、マニュアルに沿って的確に作業を進めます。 ・マイナンバーカードを利用したオンライン行政手続きについても関係課と連携し、進めていきます。</p>																																																																				


令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	81	事業名	国民年金・敬老福祉年金事務			会計区分	一般会計															
担当課	町民生活課			担当係	総合窓口係		事業区分	□新規 ■継続														
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	国民年金事務費													
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり																					
	重点項目	—																				
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)														
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源															
令和5年度	55	43	43	0	0	0	0															
事業目的	町民が老齢、障がい、家族の死亡によって、生活の安定が損なわれることのないよう、年金制度によって生活の維持及び向上を図ることを目的とします。																					
事業の 主な 実施状況	① 町民からの各種届出書について以下のとおり、受付し、日本年金機構 岡山広域事務センターに引き継ぎ、手続きを完了しました。																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">届出内容</th> <th style="width: 30%;">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資格取得届</td> <td style="text-align: center;">295</td> </tr> <tr> <td>納付免除・猶予申請書</td> <td style="text-align: center;">119</td> </tr> <tr> <td>学生納付特例申請書</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> <tr> <td>未支給請求書</td> <td style="text-align: center;">70</td> </tr> <tr> <td>年金生活者支援給付金</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>障害基礎年金請求書</td> <td style="text-align: center;">12</td> </tr> <tr> <td>口座振替申出書</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>クレジットカード納付申出書</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">539</td> </tr> </tbody> </table>	届出内容	件数	資格取得届	295	納付免除・猶予申請書	119	学生納付特例申請書	27	未支給請求書	70	年金生活者支援給付金	1	障害基礎年金請求書	12	口座振替申出書	6	クレジットカード納付申出書	9	合計	539
届出内容	件数																					
資格取得届	295																					
納付免除・猶予申請書	119																					
学生納付特例申請書	27																					
未支給請求書	70																					
年金生活者支援給付金	1																					
障害基礎年金請求書	12																					
口座振替申出書	6																					
クレジットカード納付申出書	9																					
合計	539																					
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり																		
	【前年度の課題の概要】 ① 年金機構から借り受けているねんきんネットWMの利用頻度が低く、職員による活用が必要です。																					
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① ねんきんネットWMの利用者を本庁と分庁で1名ずつ申請し、利用できるようになったが、操作に不慣れな期間が長く、あまり活用できなかった。 ② マイナポータルとの連携もできるようになり、マイナンバーカード取得との相乗効果が図れるため、町民側にもメリットがある事を伝える広報を進める必要があります。																					
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 ・国民年金手続きについて、倉吉年金事務所と連携し、各種手続きや制度説明を的確に行いました。																					
	・国民年金の未加入者や未納者を抑制するため、適切な制度説明および制度案内が必要です。																					



令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	113	事業名	動物愛護			会計区分	一般会計																									
担当課	町民生活課			担当係	ゼロカーボン推進室		事業区分	□新規 ■継続																								
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	環境衛生費																							
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり					—																										
	重点項目	—																														
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																								
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																									
令和5年度	1,487	664	0	218	195	0	251	犬の登録関係手数料: 195千円																								
事業目的	愛玩動物の適正飼養及び狂犬病を未然に防ぎます。生活環境の保全を図ります。																															
事業の 主な 実施状況	① 町内の犬を台帳に登録して管理し、狂犬病予防法により義務付けられている狂犬病予防注射を、公益社団法人鳥取県獣医師会と連携しながら実施しました。																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録頭数</td> <td>762頭</td> <td>723頭</td> <td>702頭</td> <td>709頭</td> <td>721頭</td> </tr> <tr> <td>接種頭数</td> <td>543頭</td> <td>518頭</td> <td>516頭</td> <td>514頭</td> <td>518頭</td> </tr> <tr> <td>接種率</td> <td>71.26%</td> <td>71.65%</td> <td>73.50%</td> <td>72.50%</td> <td>71.84%</td> </tr> </tbody> </table>										R1	R2	R3	R4	R5	登録頭数	762頭	723頭	702頭	709頭	721頭	接種頭数	543頭	518頭	516頭	514頭	518頭	接種率	71.26%	71.65%	73.50%	72.50%
	R1	R2	R3	R4	R5																											
登録頭数	762頭	723頭	702頭	709頭	721頭																											
接種頭数	543頭	518頭	516頭	514頭	518頭																											
接種率	71.26%	71.65%	73.50%	72.50%	71.84%																											
事業目的 の 達成状況	② 新たに飼われることになった犬へ鑑札を交付しました。 令和5年度 66 件																															
	③ 飼い主のいない猫への不妊・去勢手術費用の助成を行いました。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施頭数</td> <td>5頭</td> <td>20頭</td> <td>74頭</td> <td>103頭</td> <td>55頭</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>45,000円</td> <td>190,000円</td> <td>645,000円</td> <td>885,000円</td> <td>435,000円</td> </tr> </tbody> </table>										R1	R2	R3	R4	R5	実施頭数	5頭	20頭	74頭	103頭	55頭	補助金額	45,000円	190,000円	645,000円	885,000円	435,000円					
	R1	R2	R3	R4	R5																											
実施頭数	5頭	20頭	74頭	103頭	55頭																											
補助金額	45,000円	190,000円	645,000円	885,000円	435,000円																											
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			B 進展が大きくない																												
	【前年度の課題の概要】 <p>① 狂犬病予防注射の予防接種推進のため、普及啓発を進めるとともに、接種指導や迷い犬対応のため台帳の精査、未登録の犬への登録の指導などを行っていく必要があります。</p> <p>② 飼い主のいない猫への苦情をなくすため、地域猫活動の普及を行うとともに、不妊・去勢手術を推進していく必要があります。</p>																															
今後の 取り組み の 方向	【前年度課題についての対応及び成果】 <p>① 集団予防接種による接種機会の提供や行政放送などによる呼びかけを行うことで、接種率の向上を図りましたが、接種率は微減となりました。また、未登録の犬については、登録の指導などを行いました。</p> <p>② 地域猫活動の啓発及び、不妊去勢・手術の実施・推進を行いました。 飼い主のいない猫対策補助金の実際の実施状況にあわせて、頭数制限の緩和に向けた検討・準備を行いました。(令和5年4月要綱改正)</p>																															
	【担当課による評価の理由】 <p>・狂犬病予防接種の推進を行いました。接種率を伸ばすことができませんでした。</p> <p>・飼い主のいない猫に関する問題が増加傾向にあるため、解消に向けた方策の1つとして不妊・去勢手術を推進しましたが、実施頭数は減となりました。</p>																															

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	116	事業名	環境保全			会計区分	一般会計		
担当課	町民生活課		担当係	ゼロカーボン推進室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	環境衛生費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				④ごみの減量化とリサイクルの推進				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入等の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	1,797	1,797	0	0	123	0	1,674	公害防止対策費負担金 123千円	
事業目的	琴浦町環境保全条例に基づき、環境保全に係る業務を行います。 (公害防止及び生活環境の保全(町民・事業者への普及啓発))								
事業の 主な 実施状況	<p>① 水質検査等の実施 河川や工場排水の水質検査、赤碕港の沿岸の生態等の調査を行いました。(委託料:611千円) ・河川水水質検査:16河川(17箇所) 全ての河川で水質基準の範囲内でした。</p> <p>・工場排水:1事業者 年間を通じて排水の水質基準の範囲内でした。</p> <p>・沿岸海水汚染調査:主に赤碕港周辺 濁りも少なく綺麗な状態ではあるものの、ムラサキウニの食害により磯焼けの状態が見られました。</p> <p>・河川緊急採水分析:馬込川 まなびタウンとうはくの泡消火器が誤作動を起こし、泡消火剤が河川に流出したため、河川及び流域の井戸について水質検査を行い、安全を確認しました。</p> <p>② 生態系の保全 町内に点在して群生する特定外来生物のオオキンケイギクの除去作業を行い、繁殖の拡大防止を図りました。(委託料:91千円)</p> <div style="text-align: center;">  <p>群生するオオキンケイギク</p> </div>								
事業目的の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり					
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 前年度の第3次環境基本計画の立案・審議・パブリックコメントを経て、策定を完了させなければなりません。</p> <p>② ゼロカーボンシティ宣言を行うなど、脱炭素社会の実現に向けた行動を検討します。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 第3次環境基本計画を策定しました。また、計画期間を終えて未策定であった第3次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を策定しました。</p> <p>② 令和5年12月議会において、「ことらゼロカーボンチャレンジ宣言」を宣言し、脱炭素社会の実現に向けて行動していくことを示しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>・環境基本計画、地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の改定を行うとともに、ゼロカーボンシティ宣言を行い、今後の方向性を示すことができました。</p>								
今後の 取り組み の 方向	・地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定し、脱炭素社会の実現に向けて「ことらゼロカーボンチャレンジ宣言」を基に、町民・事業者などと共に行動していく指針を策定していくことが望まれます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	707	事業名	再生可能エネルギー推進事業			会計区分	一般会計																																
担当課	町民生活課			担当係	ゼロカーボン推進室		事業区分	□新規 ■継続																															
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	環境衛生費																														
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				③再生可能エネルギーの利活用による脱炭素社会への転換																																		
	重点項目 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり																																						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																															
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																
令和5年度	1,400	1,100	0	550	0	0	550																																
事業目的	再生可能エネルギー等の導入促進を図り、脱炭素社会の推進を図ります。																																						
事業の 主な 実施状況	<p>① クリーンエネルギー等導入設置補助 (補助金: 750千円) 再生可能エネルギーを活用する機器等の導入を補助し、脱炭素社会の推進に寄与しました。</p> <p>(1) 薪ストーブ 2件 150,000円 × 2件 = 300,000円</p> <p>(2) 蓄電池 2件 400,000円 × 2件 = 800,000円</p> <p>(3) 補助実績</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>太陽光発電</th> <th>薪ストーブ</th> <th>蓄電池</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>-</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;">   </div> <p style="text-align: center;">導入された蓄電池設備(左)と薪ストーブ(右)</p>										太陽光発電	薪ストーブ	蓄電池	合計	R1	3	2	-	5	R2	0	2	-	2	R3	3	2	-	5	R4	5	1	-	6	R5	0	2	2	4
	太陽光発電	薪ストーブ	蓄電池	合計																																			
R1	3	2	-	5																																			
R2	0	2	-	2																																			
R3	3	2	-	5																																			
R4	5	1	-	6																																			
R5	0	2	2	4																																			
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり																																			
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 太陽光発電の固定価格による買取期間が順次終了を迎えるにあたり、蓄電池の整備に対して関心が高まっているため、新たに補助していく体制を整えます。</p> <p>② 地域新電力会社と協働して、公共施設への脱炭素による電力の供給を進めます。引き続き、公共施設等への再生可能エネルギー施設の導入を検討し、脱炭素社会への挑戦を目指します。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 新たに蓄電池の導入に対する補助を整備し、再エネ電源の活用に寄与しました。</p> <p>② 地域新電力会社と調整して契約を行い、ほとんどの公共施設において電力供給を受けることとなり、エネルギーの地産地消と地域内経済循環がスタートしました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池導入に対する補助への要望に応えることができました。 ・地域新電力会社から供給を受けるものは、実質再エネ100%の電力であり、脱炭素社会の実現に向けて前進したと言えます。 																																						
今後の 取り組み の 方向	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電の固定価格による買取期間が順次終了を迎えるにあたり、蓄電池導入に対する補助の要望が増加してきているため、再エネ電源の活用を推進するためにも維持・拡充を検討していきます。 																																						

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	114	事業名	斎場管理			会計区分	一般会計																																																		
担当課	町民生活課		担当係	ゼロカーボン推進室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																																		
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	環境衛生費																																																
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				—																																																				
	重点項目	—																																																							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																		
令和5年度	10,817	10,457	0	0	5,149	5,000	308	斎場使用料4,169千円 他市町負担金等980千円 過疎対策事業債5,000千円																																																	
事業目的	斎場の管理運営を適切に行うことにより、利用者の福祉と利便性向上を図ります。																																																								
事業の 主な 実施状況	① 火葬業務 (需用費:3,553千円/負担金980千円) 琴浦斎場の利用状況は316人、前年と比較して5人増加しました。 なお、それぞれの状況については下記のとおりです。 (人) <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>琴浦町</th> <th>倉吉市</th> <th>北栄町</th> <th>湯梨浜町</th> <th>三朝町</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>258</td> <td>3</td> <td>23</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>302</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>253</td> <td>2</td> <td>19</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>278</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>257</td> <td>6</td> <td>19</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>287</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>276</td> <td>3</td> <td>24</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>311</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>263</td> <td>4</td> <td>39</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>316</td> </tr> </tbody> </table>									年度	琴浦町	倉吉市	北栄町	湯梨浜町	三朝町	その他	合計	R1	258	3	23	1	0	17	302	R2	253	2	19	0	0	4	278	R3	257	6	19	1	0	4	287	R4	276	3	24	3	0	5	311	R5	263	4	39	2	0	8	316
年度	琴浦町	倉吉市	北栄町	湯梨浜町	三朝町	その他	合計																																																		
R1	258	3	23	1	0	17	302																																																		
R2	253	2	19	0	0	4	278																																																		
R3	257	6	19	1	0	4	287																																																		
R4	276	3	24	3	0	5	311																																																		
R5	263	4	39	2	0	8	316																																																		
	② 琴浦斎場の維持管理業務を下記のとおり実施しました。 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th>委託業務の名称</th> <th>金額</th> <th>委託先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火葬炉設備保守点検</td> <td>308千円</td> <td>(株)宮本工業所</td> </tr> <tr> <td>飲料水検査</td> <td>207千円</td> <td>鳥取県保険事業団</td> </tr> <tr> <td>フロア清掃</td> <td>84千円</td> <td>港ビルサービス</td> </tr> <tr> <td>浄化槽保守点検</td> <td>30千円</td> <td>鳥取広域事業(株)</td> </tr> <tr> <td>残骨灰の処理</td> <td>0千円</td> <td>西日本環境(株)</td> </tr> <tr> <td>ロビー空調工事</td> <td>2,552千円</td> <td>(株)足立水道設備</td> </tr> <tr> <td>火葬炉設備修繕工事</td> <td>2,530千円</td> <td>(株)宮本工業所</td> </tr> </tbody> </table>									委託業務の名称	金額	委託先	火葬炉設備保守点検	308千円	(株)宮本工業所	飲料水検査	207千円	鳥取県保険事業団	フロア清掃	84千円	港ビルサービス	浄化槽保守点検	30千円	鳥取広域事業(株)	残骨灰の処理	0千円	西日本環境(株)	ロビー空調工事	2,552千円	(株)足立水道設備	火葬炉設備修繕工事	2,530千円	(株)宮本工業所																								
委託業務の名称	金額	委託先																																																							
火葬炉設備保守点検	308千円	(株)宮本工業所																																																							
飲料水検査	207千円	鳥取県保険事業団																																																							
フロア清掃	84千円	港ビルサービス																																																							
浄化槽保守点検	30千円	鳥取広域事業(株)																																																							
残骨灰の処理	0千円	西日本環境(株)																																																							
ロビー空調工事	2,552千円	(株)足立水道設備																																																							
火葬炉設備修繕工事	2,530千円	(株)宮本工業所																																																							
	担当課による評価				B 進展が大きくない																																																				
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ふるさと斎場との連携推進、協定の活用を進めること。																																																								
	【前年度課題についての対応及び成果】 停電等その他施設に関する事故発生時にふるさと斎場へ移送したケースも見受けられました。引き続き円滑な連携を推進する必要があります。																																																								
	【担当課による評価の理由】 利用者の円滑な対応、設備の維持管理を徹底しました。その他不具合箇所の抽出と計画反映をさらに検討する必要があります。																																																								
今後の 取り組み の 方向	斎場料金の適正化について調査と思索をする必要があります。 また正面入口の屋根防水工事(既に劣化し剥がれている箇所等)、施設修繕における計画も見直す必要があります。																																																								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	119	事業名	じん芥処理		会計区分	一般会計		
担当課	町民生活課		担当係	ゼロカーボン推進室	事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	1	じん芥処理費	
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			④ごみの減量化とリサイクルの推進				
重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	229,622	220,754	0	0	25,642	0	195,112 ごみ収集手数料17,302千円 廃棄物許可申請手数料162千円 ふるさと未来夢基金7,500千円 資源ごみ売却代678千円	
事業目的	廃棄物の適正な分別・保管・収集運搬・処分を行い、生活環境の保全及び公衆衛生を維持します。							
事業の 主な 実施状況	① 家庭ごみの収集運搬を行いました。(委託料:103,735千円 / 負担金:108,450千円) ほうきりサイクルセンター搬入量 単位:kg							
		収集形態	R1	R2	R3	R4	R5	
	可燃ごみ	週2回	4,175,520	4,014,220	3,924,150	3,813,740	3,700,980	
	不燃ごみ	月1回	139,010	154,220	142,130	132,140	111,880	
小型家電ごみ	月1回	21,910	17,050	17,740	13,510	14,140		
有害ごみ	年3回	—	—	—	3,680	3,790		
可燃性粗大ごみ	年3回	211,180	208,550	204,490	209,980	178,510		
不燃性粗大ごみ	年3回	62,520	71,470	64,670	58,450	54,270		
	② 指定ごみ袋の作成、販売を行いました。(需用費:6,996千円 / 委託料:848千円)							
	作成数			販売数				
	大袋 _{50枚入} : 6,000袋	10枚入: 20,000袋	大袋 _{50枚入} : 8,110袋		10枚入: 13,300袋			
	小袋 _{50枚入} : 2,000袋	10枚入: 15,000袋	小袋 _{50枚入} : 1,710袋		10枚入: 7,700袋			
	③ 資源ごみ回収小屋の設置、備品整備等に対して、補助金を交付しました。							
	設置部落数	10	金額(円)	254千円				
事業目的 の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり					
	【前年度の課題の概要】							
	① 令和5年度に生ごみとプラスチックごみを分別回収する実証実験を行い、ごみ減量化とリサイクル推進に向けた課題を洗い出し、今後の検討材料とします。							
	② コロナ禍を過ぎた後も、ごみを減らす努力をしつつ共に発展していく方策を見出すため、今後も町民・事業者と協働して取り組む必要があります。							
【前年度課題についての対応及び成果】								
①② 生ごみとプラスチックごみの分別回収に向けて実証実験を行いました。生ごみは課題が多く見つかったものの、プラスチックの分別回収に対する評価は高く、本格実施を期待される声が多くありました。5集落・76世帯の方に参画していただく中で、課題も見つかると同時に「プラスチックを分別することで可燃ごみが大きく減ることが分かった」など効果を実感する声も聞かれました。								
【担当課による評価の理由】								
・他県等の先進事例を参考に町民の方とともに実証実験に取組んだことで、今後解決すべき課題や進むべき方向性が確認できたため、今後のごみ減量やリサイクル推進に向けて有益であったと考えます。								
今後の 取り組み の 方向	・令和7年度からプラスチックごみの分別回収を本格的に実施できるよう準備を進めていきます。 ・生ごみは水分を多く含むために、焼却炉に対して負荷をかけています。また、可燃ごみに占める重量の割合は可燃ごみ全体の約4割にも上ります。生ごみの減量は、炉の寿命を延ばすことにつながるほか、ごみ処理に係る市町の負担金が軽減することにもつながります。今後も堆肥化などによるリサイクルの方法を検討していきます。							

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	120	事業名	エコライフサイクル確立事業		会計区分	一般会計																																																						
担当課	町民生活課			担当係	ゼロカーボン推進室		事業区分	□新規 ■継続																																																				
予算区分	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	1	じん芥処理費																																																			
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				④ごみの減量化とリサイクルの推進																																																							
	重点項目		—																																																									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																				
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																					
令和5年度	10,833	9,562	0	0	4,000		5,562	ふるさと未来夢基金4,000千円																																																				
事業目的	ごみの分別を推進し、琴浦町のごみの減量を進めます。																																																											
事業の 主な 実施状況	<p>① 各地区、小学校へ、資源ごみの回収量に応じて、報奨金を交付しました。(報奨金:2,191千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>116 団体</td> <td>118 団体</td> <td>118 団体</td> <td>114 団体</td> <td>114 団体</td> </tr> <tr> <td>古紙類</td> <td>506,480 kg</td> <td>504,087 kg</td> <td>545,058 kg</td> <td>495,669 kg</td> <td>387,234 kg</td> </tr> <tr> <td>金属類</td> <td>8,306 kg</td> <td>9,703 kg</td> <td>8,270 kg</td> <td>6,561 kg</td> <td>6,547 kg</td> </tr> <tr> <td>びん</td> <td>4,151 本</td> <td>2,913 本</td> <td>2,505 本</td> <td>1,536 本</td> <td>937 本</td> </tr> </tbody> </table> <p>※報奨金単価 古紙、金属類 5円/kg、びん 5円/本</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>古紙類</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>金属類 びん</p> </div> </div> <p>② 軟質プラスチック回収ボックス(町内6箇所)で、試験回収を行いました。(委託料:4,127千円) 回収された軟質プラスチックは、固形燃料(RPF)としてリサイクルされています。 設置箇所: トライアル琴浦店、ショッピングセンターアパート、Aコープピア店、 Aコープ赤碕店及び東宝ストア赤碕店、本庁舎、分庁舎</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収集量</td> <td>10,080 kg</td> <td>19,790 kg</td> <td>22,840 kg</td> <td>24,840 kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 生ごみとプラスチックごみを分別回収する実証実験を行いました。(委託料等:2,523千円) 生ごみは堆肥に、プラスチックごみはプラスチック原料にリサイクルされました。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td>参画集落数</td> <td>5集落</td> </tr> <tr> <td>参画世帯数</td> <td>76世帯</td> </tr> <tr> <td>実証期間</td> <td>7月から8月</td> </tr> <tr> <td>生ごみ収集量</td> <td>1,900.7kg</td> </tr> <tr> <td>プラごみ収集量</td> <td>360kg</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> </div> <p style="text-align: center;">分別回収の状況(左:生ごみ、右:プラスチックごみ)</p>											R1	R2	R3	R4	R5	団体数	116 団体	118 団体	118 団体	114 団体	114 団体	古紙類	506,480 kg	504,087 kg	545,058 kg	495,669 kg	387,234 kg	金属類	8,306 kg	9,703 kg	8,270 kg	6,561 kg	6,547 kg	びん	4,151 本	2,913 本	2,505 本	1,536 本	937 本	年度	R2	R3	R4	R5	収集量	10,080 kg	19,790 kg	22,840 kg	24,840 kg	参画集落数	5集落	参画世帯数	76世帯	実証期間	7月から8月	生ごみ収集量	1,900.7kg	プラごみ収集量	360kg
		R1	R2	R3	R4	R5																																																						
団体数	116 団体	118 団体	118 団体	114 団体	114 団体																																																							
古紙類	506,480 kg	504,087 kg	545,058 kg	495,669 kg	387,234 kg																																																							
金属類	8,306 kg	9,703 kg	8,270 kg	6,561 kg	6,547 kg																																																							
びん	4,151 本	2,913 本	2,505 本	1,536 本	937 本																																																							
年度	R2	R3	R4	R5																																																								
収集量	10,080 kg	19,790 kg	22,840 kg	24,840 kg																																																								
参画集落数	5集落																																																											
参画世帯数	76世帯																																																											
実証期間	7月から8月																																																											
生ごみ収集量	1,900.7kg																																																											
プラごみ収集量	360kg																																																											
	担当課による評価				A 相当程度進展あり																																																							
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 令和5年度に生ごみとプラスチックごみを分別回収する実証実験を行い、ごみ減量化とリサイクル推進に向けた課題を洗い出し、今後の検討材料とします。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 生ごみとプラスチックごみの分別回収に向けた実証実験に参画する集落を募集し、5集落76世帯に協力いただき2ヶ月間の試験回収を行いました。 生ごみは分別・収集ともに負担感も多く、収集回数や方法など改善が必要であり、また、家畜の糞尿と混合して製造した堆肥をどのように活用するかなど、課題が多く見つかりました。 プラスチックは分別回収に対する評価も高く、本格実施を期待される声が多くありました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>・他県等の先進事例を参考に町民の方とともに実証実験に取り組んだことで、今後解決すべき課題や進むべき方向性が確認できたため、今後のごみ減量やリサイクル推進に向けて有益であったと考えます。</p>																																																											
	今後の 取り組み の 方向	<p>・令和7年度からプラスチックごみの分別回収を本格的に実施できるよう準備を進めていきます。 ・資源ごみ回収報奨金の実績が下がっています。ごみの排出量自体は減少傾向にあるため、単にリサイクルが後退しているとは言えませんが、今後もごみ減量とリサイクル推進を両輪で進めていくことが必要です。</p>																																																										

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	121	事業名	不法投棄廃棄物処理事業			会計区分	一般会計								
担当課	町民生活課			担当係	ゼロカーボン推進室		事業区分	□新規 ■継続							
予算区分	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	1	じん芥処理費						
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				④ごみの減量化とリサイクルの推進										
	重点項目	—													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源								
令和5年度	1,198	288	0	0	0	0	288								
事業目的	不法投棄の防止及び早期発見、不法投棄廃棄物を撤去し地域環境の保全、美化を図ります。														
事業の 主な 実施状況	<p>① 不法投棄監視員が、月2回のパトロールを行い、不法投棄の早期発見を行いました。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">監視員</th> <th style="width: 10%;">回数</th> <th style="width: 80%;">主な不法投棄案件</th> </tr> <tr> <td>2人</td> <td>48回</td> <td>山林の家庭ごみ・タイヤ、海岸の家庭ごみ、林道沿いの農作物等</td> </tr> </table> <p>② 不法投棄廃棄物が発見された場合、早期に撤去しました。また、再発防止のために看板設置を行いました。</p> <p>・設置箇所 4箇所</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>									監視員	回数	主な不法投棄案件	2人	48回	山林の家庭ごみ・タイヤ、海岸の家庭ごみ、林道沿いの農作物等
監視員	回数	主な不法投棄案件													
2人	48回	山林の家庭ごみ・タイヤ、海岸の家庭ごみ、林道沿いの農作物等													
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			B 進展が大きくない											
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 不法投棄をなくすため、監視とともに啓発を行っていく必要があります。</p> <p>② 監視カメラなどを効率的に運用し、不法投棄の監視を続けていく必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 不法投棄物の早期発見・撤去をするとともに、行政放送などでの呼びかけを行いました。</p> <p>② 看板設置などにより、不法投棄の検視に努めました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>・不法投棄に関する報告や相談を受け、さらなる投棄物につながることはないよう、迅速に対応することができました。</p> <p>・看板設置や行政放送などの啓発を進めるも、依然として不法投棄の減少にはつながりませんでした。</p>														
今後の 取り組み の 方向	<p>・不法投棄をなくすため、監視と共に啓発を行っていく必要があります。</p> <p>・不法投棄の監視を続けるとともに、悪質なものと原因者が特定できるもの等については、警察と連携し不法投棄の根絶を目指します。</p>														



令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	122	事業名	公共水域環境保全事業			会計区分	一般会計																																						
担当課	町民生活課			担当係	ゼロカーボン推進室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																					
予算区分	款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	1	じん芥処理費																																				
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり					—																																							
	重点項目	—																																											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																						
令和5年度	3,637	2,966	0	2,801	0	0	0	165																																					
事業目的	海岸清掃を行い美化を図り沿岸環境、景観を保全します。また、不審な漂着物の早期発見、撤去を行います。																																												
事業の 主な 実施状況	① 沿岸自治会、団体に清掃の委託を行い、海岸漂着物の収集を行いました。(委託料:2,801千円)																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>18団体</td> <td>18団体</td> <td>18団体</td> <td>17団体</td> <td>17団体</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>60回</td> <td>55回</td> <td>66回</td> <td>58回</td> <td>55回</td> </tr> <tr> <td>可燃ごみ</td> <td>20.38t</td> <td>13.89t</td> <td>13.71t</td> <td>10.39t</td> <td>9.19t</td> </tr> <tr> <td>不燃ごみ</td> <td>0.57t</td> <td>0.52t</td> <td>0.45t</td> <td>0.65t</td> <td>0.44t</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6.92t</td> <td>4.14t</td> <td>4.03t</td> <td>3.07t</td> <td>3.17t</td> </tr> </tbody> </table>											R1	R2	R3	R4	R5	団体数	18団体	18団体	18団体	17団体	17団体	実施回数	60回	55回	66回	58回	55回	可燃ごみ	20.38t	13.89t	13.71t	10.39t	9.19t	不燃ごみ	0.57t	0.52t	0.45t	0.65t	0.44t	その他	6.92t	4.14t	4.03t	3.07t
	R1	R2	R3	R4	R5																																								
団体数	18団体	18団体	18団体	17団体	17団体																																								
実施回数	60回	55回	66回	58回	55回																																								
可燃ごみ	20.38t	13.89t	13.71t	10.39t	9.19t																																								
不燃ごみ	0.57t	0.52t	0.45t	0.65t	0.44t																																								
その他	6.92t	4.14t	4.03t	3.07t	3.17t																																								
	② ボランティア団体により鳴り石の浜、海水浴場等の清掃活動が行われました。																																												
	③ 不審な漂着物、産業廃棄物などの撤去を行いました。(手数料:795千円)																																												
																																													
	担当課による評価					B 進展が大きくない																																							
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 海岸漂着物の内容、量など、また周辺環境の保全が河川などを通じて海岸にも影響すること等を周知。																																												
	【前年度課題についての対応及び成果】 看板、行政放送等によるポイ捨て防止の啓発等を行い、日ごろからの周辺環境の保全を推進しました。																																												
	【担当課による評価の理由】 ・実際に清掃活動をされている団体と連携し、周辺環境の保全の推進を行うことができました。 ・ボランティア団体の受入れや、地域で清掃を行う団体との連携により、海岸保全を推進できました。 ・高齢化等による参加者の減少により収集量も減少傾向にあります。																																												
今後の 取り組み の 方向	引き続き沿岸自治会、団体と連携し、海岸漂着物の収集を行うとともに、日頃からの周辺環境の保全が海岸の保全にもつながることを町民に広く啓発します。自治会だけでは高齢化による活動参加者の減少が見受けられるため、民間企業等の連携を推進し、より海岸保全に関する理解者と賛同者を募る必要があります。																																												

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	123	事業名	し尿処理対策		会計区分	一般会計																											
担当課	町民生活課(旧上下水道課)		担当係	ゼロカーボン推進室	事業区分	□新規		■継続																									
予算区分	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 し尿処理費																											
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理																												
	重点項目	—																															
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																									
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																										
令和5年度	27,359	26,191	0	0	0	0	26,191																										
事業目的	し尿の適正処理を実施し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。																																
事業の 主な 実施状況	<p>① 鳥取中部ふるさと広域連合の処理施設(クリーンセンター)で、汲み取ったし尿、浄化槽汚泥を一括処理するための経費を負担しました。(負担金:26,104千円)</p> <p>し尿等回収量 (単位:kg)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>し尿</td> <td>2,326,450</td> <td>2,134,710</td> <td>1,976,220</td> <td>1,821,870</td> <td>1,726,900</td> </tr> <tr> <td>浄化槽汚泥</td> <td>1,010,320</td> <td>1,148,580</td> <td>1,078,230</td> <td>883,010</td> <td>788,560</td> </tr> <tr> <td>農業集落排水汚泥</td> <td>1,202,650</td> <td>1,209,040</td> <td>1,226,220</td> <td>1,265,890</td> <td>1,126,300</td> </tr> </tbody> </table>										R1	R2	R3	R4	R5	し尿	2,326,450	2,134,710	1,976,220	1,821,870	1,726,900	浄化槽汚泥	1,010,320	1,148,580	1,078,230	883,010	788,560	農業集落排水汚泥	1,202,650	1,209,040	1,226,220	1,265,890	1,126,300
		R1	R2	R3	R4	R5																											
し尿	2,326,450	2,134,710	1,976,220	1,821,870	1,726,900																												
浄化槽汚泥	1,010,320	1,148,580	1,078,230	883,010	788,560																												
農業集落排水汚泥	1,202,650	1,209,040	1,226,220	1,265,890	1,126,300																												
事業目的の 達成状況	担当課による評価				B 進展が大きくない																												
今後の 取り組み の 方向	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 琴浦町の下水道整備は、令和5年度完成予定であり、クリーンセンターの設備の老朽化により新設も検討されており、必要最小限度の施設となるよう、下水道への接続を促進する必要があります。</p>																																
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 下水道接続が進み、し尿回収量が減少しました。</p>																																
	<p>【担当課による評価の理由】</p> <p>・人口が減少しているという要素はあるものの、下水道接続が進んできたことにより、し尿、浄化槽汚泥の回収量が順調に減少しているため。</p>																																
<p>・引き続き下水道接続を促進するとともに、し尿回収を実施し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。</p>																																	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	723	事業名	消費者対策		会計区分	一般会計									
担当課	町民生活課		担当係	総合窓口係	事業区分	□新規		■継続							
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	1	商工総務費						
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				—										
	重点項目	—													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源								
令和5年度	1,166	1,166	0	0	0	0	1,166								
事業目的	消費者と事業者との間の情報の質と量、交渉力の格差がある中で、啓発活動、相談業務を通して、町民の消費生活の安定と向上を図ります。														
事業の 主な 実施状況	<p>① 消費者被害、詐欺被害防止のため、以下のとおり啓発活動を実施し、被害を未然に防止しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの掲載及び臨時放送・定時放送 啓発頻度 毎月1回 ・各地区公民館祭において啓発グッズの配布 啓発人数 400人 ・消費者行政推進連絡協議会の消費者トラブル出前講座 地区公民館において合計5回開催 (内容) スマートフォン利用の消費者トラブル対処法講座 〔講座の様子〕 古布庄地区公民館  上郷地区公民館  <p>② 中部消費生活センターの消費生活相談と連携し、相談に対応しました。 (消費生活相談員に係る鳥取中部ふるさと広域連合への負担金: 1,126千円)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 33%;">窓口相談受付件数</th> <th style="width: 33%;">電話相談受付件数</th> <th style="width: 33%;">合計</th> </tr> <tr> <td>21件</td> <td>30件</td> <td>51件</td> </tr> </table> <p>相談内容に対し、消費生活相談員と連携し、被害を未然に防ぐことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅配、海外通販トラブル 5件 ・ゲーム、メール、サイトトラブル 9件 ・会費、出資金トラブル 1件 ・購入物品トラブル 16件 ・債務その他関係 20件 									窓口相談受付件数	電話相談受付件数	合計	21件	30件	51件
	窓口相談受付件数	電話相談受付件数	合計												
21件	30件	51件													
	担当課による評価				A 相当程度進展あり										
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 消費生活の多様化に伴い、消費者の知識・経験不足につけ込んだトラブルが発生しているため、トラブルを未然防止できるよう啓発していく必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 各地区公民館祭において、来場者へ啓発グッズの配布を行い啓発に努めました。 ② 消費者行政連絡協議会の消費者トラブル出前講座を地区公民館で開催し啓発を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動、相談業務を適宜行って対応しています。 														
	今後の 取り組み の 方向	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、特殊詐欺による被害が増加しており、ホームページ等で啓発チラシを掲載し注意喚起を行います。 ・消費者行政連絡協議会の消費者トラブル出前講座を、地区公民館等で実施し引き続き啓発に努めます。 													

会予款項目	会計-款-項目-事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
一般会計					
企画政策課					
2.総務費					
1.総務管理費					
2.文書広報費					
	情報発信	8,030	6,432	4-1	
	惑星コトウラ若手職員提案事業	508	286	4-2	
6.CATV管理費					
	光ケーブル施設維持管理	55,239	52,189	4-3	
	防災行政無線システム維持管理	4,019	3,900	4-4	
7.企画費					
	企画関係事務	499	452	4-5	
	琴浦町総合計画・過疎計画・地方創生戦略事業	343	184	4-6	
	官学連携事業	43	36	4-7	
	琴浦町男女共同参画推進事業	165	97	4-8	
	縁結び事業	225	213	4-9	
	国際交流の推進	919	571	4-10	
	地域交通対策事業	101,163	99,410	4-11	
	地域おこし協力隊員活動事業	6,605	3,455	4-13	
	町内地域づくり団体の連携	2,220	2,110	4-14	
	古布庄地区まちづくり事業	3,003	2,449	4-15	
	安田地区まちづくり事業	3,150	2,612	4-16	
	以西地区まちづくり事業	8,330	2,969	4-17	
	成美地区まちづくり事業	450	80	4-18	
	三本杉ふるさと分校管理	69	66	4-19	
	移住定住促進事業	38,135	23,225	4-20	
	関係人口創出事業	2,150	745	4-22	
	熱中小学校事業	1,930	1,930	4-23	
11.新型コロナウイルス感染症対策費					
	コロナ禍における移住定住等推進PR事業	550	550	4-24	



令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	10	事業名	情報発信			会計区分	一般会計		
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	2 文書広報費			
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				①町民に伝わる情報発信と情報共有				
	重点項目	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	8,030	6,432	0	0	500	0	5,932	○広告掲載料 500千円	
事業目的	<p>【広報紙】毎月1回、町報「広報ことうら」を発行し、町からのお知らせ周知や町の魅力発信を図ります。</p> <p>【ホームページ】行政情報を広く提供するため町のホームページを運用します。</p> <p>【SNS】行政情報やまちの話題などをより広く届けるため、即時性や拡散力を生かし発信します。</p> <p>【行政放送】町からのお知らせを幅広い世代の町民へ広く届けるため、防災無線を活用した行政放送を行います。</p>								
事業の 主な 実施状況	<p>① 広報ことうらの発行 4,353千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 町広報紙「広報ことうら」を毎月6,320部発行し、各世帯へ配布しました。 毎月開催する広報・情報発信チーム会議で、広報紙で取り上げる内容や表現方法などについて確認するとともに、効果的な情報発信に向けた検討を行いました。 年度末には、翌年度の広報広聴計画を作成し、特集記事等を決定しました。 <p>② ホームページ保守運用 343千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政情報の発信を安全に行うため、保守運用を行いました。 スライドショーや注目情報を活用し、その時々で必要な情報や旬の情報を発信しました。 <p>③ LINE機能拡張ツール保守・運用管理 1,716千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 町公式LINEの行政情報の発信を安全に行うための保守運用を行いました。 ユーザーへの利便性を図るため、受信設定機能、メニュー切替機能、災害時の被災箇所通報機能、予約受付機能、アンケート機能の運用を行いました。 <p>④ SNSの運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 町公式LINEで防災情報やイベント情報等の発信を行いました。 FacebookはInstagramとの連携を行いました。 動画を使ってわかりやすく行政情報を伝えるため、YouTubeを活用し情報発信しました。 <p>⑤ 行政放送の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 町防災無線で行政情報やイベント情報等の放送を行いました。 <p>⑥ その他(消耗品、負担金) 20千円</p>						    		
事業目的の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり					
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 町の課題や取り組みを町民に理解していただくため、政策的な特集記事の掲載、わかりやすい記事の作成を継続して行う必要があります。 リニューアルにおいてLINE公式アカウントへ追加した機能を効果的に活用するよう、広報を行う必要があります。 SNSの登録者数を増やし、より多くのユーザーへ効率的に情報を届ける必要があります。 								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 町の事業や取り組みを特集記事にして掲載しました。 LINE公式アカウントへ追加した機能を効果的に活用するよう、リニューアルについて広報ことうらで周知を行いました。 SNSの登録者数について、LINEは4,591人(前年度から252人増加)、Instagramは1,119人(前年度から238人増加)、youtubeは349人(前年度から180人増加)で、全体的に増加しました。 <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>町広報紙と行政放送、SNSを活用し、幅広い世代に向けた行政情報や町の魅力の発信に努めました。SNSの登録者数も増加し、多様な媒体を活用した情報発信を進めることができたため、相当程度進展ありと評価しました。</p>								
今後の 取り組み の方向	<ol style="list-style-type: none"> 町の課題や取り組みを町民に理解していただくため、政策的な特集記事の掲載、わかりやすい記事の作成を継続して行う必要があります。 ホームページCMSのリニューアルについて検討を行う必要があります。 								



令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1540	事業名	惑星コトウラ若手職員提案事業(TNG)		会計区分	一般会計			
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室	事業区分	□新規 ■継続			
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	2	文書広報費
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				①町民に伝わる情報発信と情報共有				
	重点項目		情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	508	286	0	85	0	0	201	○市町村創成交付金 85千円	
事業目的	<p>様々なメディア露出、サウナ等の来客コンテンツの充実により注目度が全国的に上がっている琴浦町。令和5年度は惑星コトウラの町内の理解度をあげ、行政職員、町民が広報を自発的に行えるような環境づくり、町外へのPRを強化することにより、全国的な知名度のさらなる向上、ふるさと納税額向上等を目指します。</p>								
事業の 主な 実施状況	<p>① 惑星コトウラPR事業 175千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 広報誌掲載: 現在、探索惑星コトウラ! をvol.24、BUYコトウラをvol.10まで継続発行 ■ 公式ホームページ管理運営・SNS更新: Instagram フォロワー 1,119人(前年比139%) ■ ユニフォーム作成: 職員でも利用可能なジャケットタイプのユニフォームを作成し、より一層プロジェクトに対する統一感を持たせました。 ■ フォトコンテスト実施: 155件の投稿。町の魅力発信に大きく貢献しました。 								
	 <p>【制作したユニフォーム】</p>			 <p>【フォトコンテスト投稿写真】</p>					
	<p>② 惑星コトウラ衛星探索事業 111千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ インスタライブの開催: 全24回 総再生数約10,000回達成。 町のイベント告知や魅力発信を積極的に行いました。 ■ 「コトーク！」東京遠征イベント開催 参加者約300人。コトウラファンサポーターが2名ゲスト出演。参加者には琴浦町に興味のある20代が多く参加されました。 								
 <p>【インスタライブ】</p>			 <p>【「コトーク！」東京遠征】</p>						
<p>③ 惑星コトウラ保全事業</p> <p>惑星コトウラの環境保全を目的として、様々な団体が主催される海岸清掃等に積極的に参加しました。</p> <p>【主な活動実績等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 海岸清掃 日本列島クリーン大作戦参加 ■ 大父木地親水公園池清掃活動 ■ ゴミ拾いウォーキングの開催 									
 <p>【ゴミ拾いウォーキング】</p>									
担当課による評価					S 目的達成				
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 惑星コトウラの町内の理解度をあげ、行政職員、町民が広報を自発的に行えるような環境づくり、町外へのPRを強化することにより、全国的な知名度のさらなる向上を目指す必要があります。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 内部の活動だけでなく、町民や民間企業にスポットライトをあてた活動を積極的に実践できました。全国ネットの番組に出演する機会があったり、多くの媒体で琴浦町をPRすることができました。</p>								
	<p>【担当課による評価の理由】</p> <p>継続的なPRの成果もあり、琴浦町へ訪れる方や移住される方が増加しました。特異的な取り組みであると、他自治体から参考にしたいとの問い合わせが多数あり、琴浦町の注目度が高くなっていると実感しています。</p>								
今後の 取り組み の方向	<p>町民参加型のイベント等の開催や、地元の民間企業を巻き込んだ活動を行い、全国的な知名度のさらなる向上に努めます。令和6年度が事業の最終年度となるため、総括に向けて5年間の取り組みの成果や実績の整理を行います。</p>								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	15	事業名	光ケーブル施設維持管理			会計区分	一般会計	
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		事業区分	□新規 ■継続	
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				①町民に伝わる情報発信と情報共有			
重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	55,239	52,189	0	0	27,614	0	24,575	○移転補償費 5,327千円 ○加入金 760千円 ○工事分担金2,788千円 ○施設使用料3,638千円 ○基金利子 112千円 ○保守負担金 14,830千円 ○建物共済分担金 159千円
事業目的	光ケーブル施設の適切な維持管理を行うことで、ケーブルテレビによる行政情報や地域情報の安定的な提供、高速通信サービスの安定的な提供を通じ、高度情報化社会に適応した情報格差のない住みよい町づくりを推進します。							
事業の 主な 実施状況	① 光ケーブル施設の維持管理 52,189千円 光ケーブル施設の維持管理として下記のとおり実施しました。							
	内容		金額(円)		備考			
	光ケーブル維持管理・施設保守料		39,811,200		新規引込32件、移設24件、撤去21件、障害対応25件、ネット新規26件、共架移設34件、その他3件 光ファイバー芯線及び各センター設備の保守料			
	共架料及び賃借料		7,858,486		共架及び自営柱建柱に係る賃借料			
その他光ケーブル施設維持管理費		4,519,149		消耗品、中電柱共架強度計算料、火災保険料、広域光ケーブル負担金、光ファイバーネットワーク施設基金積立金・利子				
【光ケーブル新規引込み】				【共架移設】				
								
担当課による評価				C 進展なし				
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ① 経費削減、事務手続きの簡素化に向けて、維持管理等の業務内容の更なる見直しが必要です。							
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 光ケーブル施設については、本町・北栄・湯梨浜の3町の施設をTCC(鳥取中央有線放送株式会社)が共通して利用していることから、事務手続きの簡素化、維持管理等の業務内容の見直し検討の場を設ける必要があると考えますが、令和5年度中の開催ができませんでした。							
	【担当課による評価の理由】 3町での業務内容見直しの場を設けることができなかったため、「進展なし」としています。							
今後の 取り組み の方向	引き続き事務手続きの簡素化、維持管理等の業務内容の見直しを行っていく。H27年度から敷設した光ケーブルについて、耐用年数(15~20年)を見据えながら、次期更新時の方向性などについて、北栄・湯梨浜を含めた3町で検討する場を設ける必要があります。							

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1022	事業名	防災行政無線システム維持管理			会計区分	一般会計													
担当課	企画政策課			担当係	SDGs推進室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続													
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	CATV管理費											
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり															
	重点項目																			
	—																			
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)												
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源													
令和5年度	4,019	3,900	0	0	0	0	3,900													
事業目的	防災行政無線システムの適切な維持管理を行い、行政情報や緊急放送等の情報を安定的に伝達します。																			
事業の 主な 実施状況	① 防災行政無線システムの維持管理 3,900千円 防災行政無線システムの維持管理として、下記のとおり実施しました。																			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">内容</th> <th style="width: 20%;">金額(円)</th> <th style="width: 40%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災行政無線戸別受信機取付け等</td> <td style="text-align: right;">1,675,410</td> <td> ・地区遠隔制御装置 R5年度末設置率85% 新規設置3地区 (八幡町、港町、太一垣) ・戸別受信機 新規取付35件、交換対応43件 </td> </tr> <tr> <td>防災行政無線戸別受信機購入</td> <td style="text-align: right;">1,960,200</td> <td>60台購入</td> </tr> <tr> <td>その他防災行政無線システム維持管理</td> <td style="text-align: right;">264,269</td> <td>火災保険料</td> </tr> </tbody> </table>									内容	金額(円)	備考	防災行政無線戸別受信機取付け等	1,675,410	・地区遠隔制御装置 R5年度末設置率85% 新規設置3地区 (八幡町、港町、太一垣) ・戸別受信機 新規取付35件、交換対応43件	防災行政無線戸別受信機購入	1,960,200	60台購入	その他防災行政無線システム維持管理	264,269
内容	金額(円)	備考																		
防災行政無線戸別受信機取付け等	1,675,410	・地区遠隔制御装置 R5年度末設置率85% 新規設置3地区 (八幡町、港町、太一垣) ・戸別受信機 新規取付35件、交換対応43件																		
防災行政無線戸別受信機購入	1,960,200	60台購入																		
その他防災行政無線システム維持管理	264,269	火災保険料																		
	【戸別受信機新規取り付け前】				【戸別受信機新規取り付け後】															
																				
事業目的の 達成状況	担当課による評価				B 進捗が大きくない															
	【前年度の課題の概要】 本庁舎にある防災行政無線の親卓について、設置から10年以上経過しており機器更新の時期にきています。 機器更新の方向性(引き続き防災行政無線を継続するのか、別の仕組みを導入するのか)について検討が必要です。																			
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 現在導入している防災行政無線システムについて、現状や仕組みを共通認識し、管理体制の見直しについて検討をはじめました。																			
今後の 取り組み の方向	【担当課による評価の理由】 戸別受信機・地区遠隔制御装置(自治会放送)ともに新規設置以外の対応としては、保守対応(故障交換)が主なものとなっているため「進捗が大きくない」としています。																			
	機器更新の方向性(引き続き防災行政無線を継続するのか、別の仕組みを導入するのか)を定める必要があります。																			


令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	17	事業名	企画関係事務			会計区分	一般会計																						
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続																						
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費																				
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり					—																							
	重点項目	—																											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																						
令和5年度	499	452	0	0	0	0	452																						
事業目的	企画関係事務等において円滑な事務を行います。																												
事業の 主な 実施状況	企画関係事務等について、以下の経費を支出しました。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: yellow;">項目</th> <th style="background-color: yellow;">金額</th> <th style="background-color: yellow;">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企画事務用品の購入</td> <td align="right">101,046</td> <td>消耗品</td> </tr> <tr> <td></td> <td align="right">92,730</td> <td>燃料費</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">公用車の管理</td> <td align="right">19,220</td> <td>保険料</td> </tr> <tr> <td align="right">191,400</td> <td>リース借上料</td> </tr> <tr> <td>広域連携業務</td> <td align="right">5,000</td> <td>中部地区行政振興協議会負担金</td> </tr> <tr> <td>携帯電話移動通信施設の管理</td> <td align="right">42,209</td> <td>火災保険料・鉄塔用地賃借料</td> </tr> </tbody> </table>									項目	金額	概要	企画事務用品の購入	101,046	消耗品		92,730	燃料費	公用車の管理	19,220	保険料	191,400	リース借上料	広域連携業務	5,000	中部地区行政振興協議会負担金	携帯電話移動通信施設の管理	42,209	火災保険料・鉄塔用地賃借料
	項目	金額	概要																										
企画事務用品の購入	101,046	消耗品																											
	92,730	燃料費																											
公用車の管理	19,220	保険料																											
	191,400	リース借上料																											
広域連携業務	5,000	中部地区行政振興協議会負担金																											
携帯電話移動通信施設の管理	42,209	火災保険料・鉄塔用地賃借料																											
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成																								
	【前年度の課題の概要】																												
	【前年度課題についての対応及び成果】																												
	【担当課による評価の理由】																												
今後の 取り組み の方向																													

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	618	事業名	琴浦町総合計画・過疎計画・地方創生戦略事業			会計区分	一般会計		
担当課	企画政策課			担当係	SDGs推進室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				②町民参画・協働の仕組みづくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	343	184	0	0	0	0	184		
事業目的	琴浦まちづくりビジョン、琴浦町まち・ひと・くらし創生戦略、琴浦町過疎地域持続的発展計画の検証を行い、必要に応じた計画の見直しを行います。								
事業の主な実施状況	<p>① 第2期琴浦町まち・ひと・くらし創生戦略の検証と見直し 21千円 令和4年度の数値目標・KPIを取りまとめ、進捗状況を推進会議及び町議会に報告しました。令和6年3月には、DX分野の取り組みについて計画に追記しました。 ○地方創生推進会議の開催 委員8人 地方創生戦略の検証・変更協議にあたり、推進会議を2回開催しました。</p> <p>② 県地域振興対策協議会(過疎地域振興部会)負担金 163千円</p>								
事業目的の達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① まちづくりビジョン、過疎地域持続的発展計画、まち・ひと・くらし創生戦略の検証・評価を行い、関係会議及び議会に報告するとともに、次年度に向けた政策形成の基礎資料とします。</p> <p>② 国のデジタル田園都市国家構想戦略にあわせて、町の地方創生戦略の改定を行います。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 各種計画の検証、評価を行い必要な見直しを行いました。</p> <p>② 現戦略の改定を行うとともに、来年度の策定に向けた新たな手法について協議を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>第2期総合戦略の検証を行うとともに、国のデジタル田園都市国家構想戦略にあわせ改定を行いました。また、次年度策定に向け、Liqidの導入に向けた手続きを進めるなどできたため、相当程度進展ありとしました。</p>								
今後の取り組みの方向	<p>①Liqidを活用し住民意見を把握しながら、デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定を行います。</p> <p>②令和7年度からのデジタル田園都市国家構想総合戦略策に向けた検証・協議を行います。</p>								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1143	事業名	官学連携事業			会計区分	一般会計			
担当課	企画政策課			担当係	総務管理費		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	SDGs推進室	目	7	企画費	
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				—					
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和5年度	43	36	0	0	0	0	0	36		
事業目的	鳥取大学と幅広い分野で連携を行うことにより、活力あるまちづくりを推進します。地元高校生などによる地域に関する調査研究に学校と連携し協力することで、ふるさと教育の場とします。									
事業の 主な 実施状況	① 鳥取大学との連携 21千円 町と鳥取大学とが連携して行う「地方創生政策体験学習」において、学生が琴浦町を訪問しました。 令和5年度は、「SNSを活用した自治体広報のあり方」をテーマに、若い世代からの意見や提案を収集しました。また、大学が開催する「地方創生PJ成果発表・選考会」の発表会を傍聴し、学生が体験学習を元に考案したプロジェクトを共有しました。 県内市町村について学び地元定着を図る「とっとり暮らし早期体験学習」においても学生を受け入れ、町内団体の協力のもと、塩谷定好写真記念館、鳴り石の浜の2カ所でフィールドワークを行いました。									
		◀ 左:「地方創生政策体験学習」にて「SNSを活用した自治体広報のあり方」について、SNSを効果的に使う町内企業等を訪問しました。 ▶ 右:「鳥取暮らし早期体験学習」にて琴浦町へ訪れ、町内団体の活動内容や活動に対する思いを聞きました。								
	② 鳥取中央育英高校との連携 学校運営協議会による連携を行いました。									
	③ その他(負担金等) 15千円									
事業目的の 達成状況	担当課による評価					B 進展が大きくない				
	【前年度の課題の概要】 ① 鳥取中央育英高校については、近隣自治体であり町内からも一定数進学している町として、令和5年度以降の方針について、引き続きどのように連携していくか、学校と協力して検討が必要です。									
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 高校魅力化の具体策としてコーディネーターを設置(北栄町)されました。将来の進学・就職に向けた進学コース、地域コース、スポーツコースを設置し、地域コースの専門学習について今後も行政・民間と連携していく方針です。									
	【担当課による評価の理由】 引き続き幅広い分野で学校と連携・協力していく必要があることから、進展が大きくないと評価しました。									
今後の 取り組み の方向	①鳥取大学については、町と連携が必要な事業の有無について、各課との調整が必要です。 ②鳥取中央育英高校については、近隣自治体であり町内からも一定数進学していることから、引き続きどのように連携していくか、学校運営協議会での検討が必要です。									

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書



事業番号	1160	事業名	琴浦町男女共同参画推進事業			会計区分	一般会計		
担当課	企画政策課			担当係	SDGs推進室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				④支え合いと共生のまちづくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	165	97	0	40	0	0	57	○市町村創生交付金 40千円	
事業目的	性別に関わりなく互いに人権を尊重し、一人一人が能力を十分に発揮でき、心豊かにいきいきと暮らすことができる男女共同参画社会を目指します。 第4次琴浦町男女共同参画プランの普及など、継続的な啓発活動を展開します。								
事業の 主な 実施状況	<p>① 琴浦町男女共同参画推進会議活動補助金 83千円 琴浦町男女共同参画推進会議主催の女性模擬議会に関わる活動等の支援を行いました。 ○事前研修会及びリハーサルの開催(9/2、9/16、11/13) 参加した町民が意見を出し合う機会の提供、現職の女性議員を講師とした勉強会を開催するなど、町民が声を発し、政治に関心を持つ機会をつくりました。(全3回) ○女性模擬議会の開催(11/18) 子育て、福祉、教育、環境、国際等の分野について3人が登壇し、一般質問を行いました。</p> <p>② 男女共同参画プランの推進 第4次琴浦町男女共同参画プランの普及及び啓発活動を行いました。 ○男女共同参画週間におけるパネル展示や関連図書の貸出 ○町報にて男女共同参画に関する啓発記事を毎月掲載 ○「琴浦町審議会等の委員の選任に関する要綱」を施行 審議会等の委員の選任にあたっては、「原則として定数の6割を越えて一方の性で占めることのないよう選任する」ことを明記し、女性登用率が改善しました。</p> <p>③ 琴浦町男女共同参画審議会開催 14千円 第4次琴浦町男女共同参画プランへの取組に対する意見交換を行いました。 ○琴浦町男女共同参画審議会の開催(8/3、3/13) ジェンダー教育、職場環境作り、防災における女性リーダーの育成、ネットリテラシーの啓発等について意見交換し、第4次琴浦町男女共同参画プランに基づく令和5年度の取組実績について報告し、意見交換を実施しました。</p>								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 ① 第4次琴浦町男女共同参画プランの普及とともに、プラン実施計画に基づいて、関係機関、団体と連携して啓発活動を展開していきます。 ② 男女共同参画の啓発活動の一環として、女性が町政へ声を発しやすい環境をつくるために男女共同参画推進会議の活動支援を行う必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ① 機会を捉えて、展示や町報等にて普及及び啓発活動を行い、町民へ周知することができました。 ② 男女共同参画推進会議の活動を支援し、町民への啓発活動につなげることができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 全国の自治体及び企業等の男女共同参画・女性活躍等の取組を紹介するサイトで当町の男女共同参画の取組を取材いただくなど、周知効果及び町民の意識の高まりによるものと理解しています。 また、琴浦町男女共同参画推進会議の取組により、女性が政治に興味を持つ機会を3年連続で創出できており、今後もあらゆる分野で啓発が必要であるため、相当程度進展ありと評価しました。</p>								
今後の 取り組み の方向	① プランの推進にあたっては、具体的なアクションのもと町全体で取り組むとともに、その実績と成果が見える化し、発信します。 ② 町民が男女共同参画について考える機会の提供を行います。								




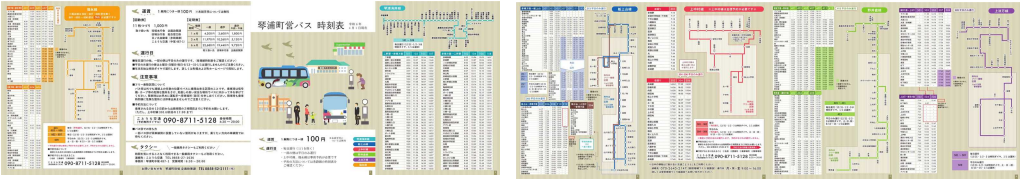
令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1229	事業名	縁結び事業		会計区分	一般会計																															
担当課	企画政策課			担当係	SDGs推進室	事業区分	□新規		■継続																												
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費																												
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				⑤パートナーと出会い、幸せを共感できるまちづくり																																
	重点項目	—																																			
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																													
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																														
令和5年度	225	213	0	100	0	0	113	○市町村創生交付金 100千円																													
事業目的	結婚を希望する独身男女の出会いの機会を創出し、人口減少の一因でもある未婚・晩婚化の解消を図ります。 令和5年度は広域で連携をはかり、結婚を希望する町民に対して出会いの機会を創出します。																																				
事業の 主な 実施状況	<p>① ふるさと広域連合負担金 200千円 中部1市4町及び鳥取ふるさと広域連合連携事業として、つぎの取り組みを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交流イベント 実施日：令和5年7月30日、8月19日、9月27日、12月18日、令和6年2月24日、3月17日(全6回) 内容：グループ交流、1対1のトークタイム等 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">イベント名</th> <th style="width: 50%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">恋活交流会①</td> <td>男性 4名(うち町内0名)</td> </tr> <tr> <td>女性 4名(うち町内0名)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">恋活交流会②</td> <td>男性 4名(うち町内0名)</td> </tr> <tr> <td>女性 6名(うち町内0名)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大人の恋活交流会in Lapala</td> <td>男性 6名(うち町内2名)</td> </tr> <tr> <td>女性 4名(うち町内0名)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">クリスマススイーツ教室</td> <td>男性 9名(うち町内2名)</td> </tr> <tr> <td>女性 8名(うち町内0名)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スイーツ交流会</td> <td>男性 9名(うち町内3名)</td> </tr> <tr> <td>女性 6名(うち町内0名)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">恋活交流会③</td> <td>男性 9名(うち町内3名)</td> </tr> <tr> <td>女性 6名(うち町内0名)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● えんトリー共催個別相談 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">性別</th> <th style="width: 70%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>14名(うち町内1名)</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>9名(うち町内0名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>② えんトリー入会登録補助金 13千円 えんトリー入会を希望する町民の方へ半額(最大5,000円まで)を補助し、入会支援を行いました。 ★えんトリーとは… 鳥取県が開設した1対1の出会いをサポートする会員制のマッチングシステムです。 結婚を希望する独身の方がプロフィールを登録し、相手の情報を閲覧して会いたい方を探します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>申請者数</td> <td>3名</td> </tr> </table>									イベント名	参加者数	恋活交流会①	男性 4名(うち町内0名)	女性 4名(うち町内0名)	恋活交流会②	男性 4名(うち町内0名)	女性 6名(うち町内0名)	大人の恋活交流会in Lapala	男性 6名(うち町内2名)	女性 4名(うち町内0名)	クリスマススイーツ教室	男性 9名(うち町内2名)	女性 8名(うち町内0名)	スイーツ交流会	男性 9名(うち町内3名)	女性 6名(うち町内0名)	恋活交流会③	男性 9名(うち町内3名)	女性 6名(うち町内0名)	性別	参加者数	男性	14名(うち町内1名)	女性	9名(うち町内0名)	申請者数	3名
	イベント名	参加者数																																			
恋活交流会①	男性 4名(うち町内0名)																																				
	女性 4名(うち町内0名)																																				
恋活交流会②	男性 4名(うち町内0名)																																				
	女性 6名(うち町内0名)																																				
大人の恋活交流会in Lapala	男性 6名(うち町内2名)																																				
	女性 4名(うち町内0名)																																				
クリスマススイーツ教室	男性 9名(うち町内2名)																																				
	女性 8名(うち町内0名)																																				
スイーツ交流会	男性 9名(うち町内3名)																																				
	女性 6名(うち町内0名)																																				
恋活交流会③	男性 9名(うち町内3名)																																				
	女性 6名(うち町内0名)																																				
性別	参加者数																																				
男性	14名(うち町内1名)																																				
女性	9名(うち町内0名)																																				
申請者数	3名																																				
事業目的の 達成状況	<p style="text-align: center;">担当課による評価</p> <p style="text-align: right;">B 進展が大きくない</p> <p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 引き続き、えんトリーの周知と入会登録補助金制度により、町民の方の入会支援が必要です。</p> <p>② 新しい出会いや結婚を希望される町民の方へ出会いの場を創出するため、鳥取ふるさと広域連合連携事業で開催するイベントなどの情報発信を行う必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① えんトリー入会登録補助金を予算化し、町民の入会を支援しました。(令和5年度までで終了)</p> <p>② 鳥取中部ふるさと広域連合で主催する婚活イベントを、町ホームページやSNSで案内しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>引き続き、結婚を希望される方へ出会いの場の提供等を行っていく必要があるため、進展が大きくないと評価しました。</p>																																				
今後の 取り組み の方向	①新しい出会いや結婚を希望される町民の方へ出会いの場を創出するため、引き続き鳥取ふるさと広域連合連携事業で開催するイベントなどの情報発信を行う必要があります																																				

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	20	事業名	国際交流の推進			会計区分	一般会計													
担当課	企画政策課			担当係	SDGs推進室		事業区分	□新規 ■継続												
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費											
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				④支え合いと共生のまちづくり															
	重点項目	—																		
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)												
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源													
令和5年度	919	571	0	132	0	0	439	○市町村創生交付金 132千円												
事業目的	住民レベルでの国際交流を推進し、多様な文化や生活様式に触れることで文化等の違いに理解のあるまちづくりを目指します。																			
事業の 主な 実施状況	<p>① 韓国麟蹄郡との交流 366千円 新型コロナウイルスが5類になったこと及び米子-ソウル便も10月から復活することに伴い、交流再開を図るため10/13~14に町長が表敬訪問しました。</p> 																			
	<p>② 台湾台中市日南中学校及び大甲区との交流 170千円 8/28に日南中学校と町内の中学校との学校間交流推進のため、町長と教育長が日南中学校と所在地の大甲区へ表敬訪問しました。 また、12/1~2に日南中学校から校長先生および担当教諭が来訪し、学校間交流のための町内視察を行いました。</p>  <p>③ 琴浦町国際交流協会補助金 32千円 多文化共生、相互理解を図ることを目的に、琴浦町国際交流協会に補助金を交付し、活動を支援しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>活動</td> <td>ワールド料理教室</td> </tr> <tr> <td>日にち</td> <td>令和5年6月12日</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td>活動</td> <td>白鳳祭(輪投げ)</td> </tr> <tr> <td>日にち</td> <td>令和5年8月6日</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>15名</td> </tr> </table> <p>④ その他(負担金等) 3千円</p>									活動	ワールド料理教室	日にち	令和5年6月12日	参加者数	29名	活動	白鳳祭(輪投げ)	日にち	令和5年8月6日	参加者数
活動	ワールド料理教室																			
日にち	令和5年6月12日																			
参加者数	29名																			
活動	白鳳祭(輪投げ)																			
日にち	令和5年8月6日																			
参加者数	15名																			
	担当課による評価				A 相当程度進展あり															
事業目的の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 多文化共生の観点から、町内在住の外国籍の方へ向けた交流の場提供と、地域との相互理解に向け、引き続き町国際交流協会の支援を行う必要があります。</p> <p>② 韓国麟蹄郡との交流再開、台湾との新たな交流実現に向けた検討が必要です。</p>																			
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 町内在住の外国籍の方へ向けた交流の場提供と地域における相互理解を図ることについて、町国際交流協会主催イベントの支援を行いました。</p> <p>② 韓国麟蹄郡、台湾台中市日南中学校及び大甲区への表敬訪問を行いました。麟蹄郡は令和6年度の琴浦町誕生20周年事業へ招聘します。台湾日南中学校と町内の中学校との学校間交流のため、町教育委員会と協定を結び令和6年度から学校間交流を開始します。</p>																			
今後の 取り組み の方向	<p>【担当課による評価の理由】</p> <p>町国際交流協会主催イベントの支援を行いました。韓国麟蹄郡、台湾台中市日南中学校については令和6年度の交流について方針が決まったため、相当程度進展ありと評価しました。</p>																			
	<p>①多文化共生の観点から、町内在住の外国籍の方へ向けた交流の場提供と、地域との相互理解に向け、引き続き町国際交流協会の支援を行う必要があります。</p> <p>②韓国麟蹄郡からの琴浦町誕生20周年事業招聘についての準備・協議が必要です。</p> <p>③韓国麟蹄郡、台湾台中市大甲区との今後の交流に向けた検討が必要です。</p>																			

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	38	事業名	地域交通対策事業			会計区分	一般会計																																							
担当課	企画政策課	担当係	SDGs推進室		事業区分	□新規		■継続																																						
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費																																								
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				⑦持続可能で利用したい地域交通の構築																																									
重点項目	—																																													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																						
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																							
令和5年度	101,163	99,410	0	28,166	5,268	0	65,976	○運賃収入5,268千円 ○市町村創生交付金55千円 ○特別交付税措置																																						
事業目的	町民の生活に必要な移動手段として、町営バスをはじめとする地域交通事業を展開します。また、将来的なドアツードア型の生活交通構築に向け、バス、タクシー、共助交通などさまざまな交通を複合的に掛け合わせた持続可能な地域交通のあり方について引き続き検討を行います。																																													
事業の 主な 実施状況	① 町営バスの運行委託 90,528千円 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>路線名</th> <th>委託事業者</th> <th>R5利用者(人)</th> <th>委託費(円)</th> <th>一人あたり経費(円)</th> <th>R4利用者(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野井倉線</td> <td rowspan="4">(株)田中商店</td> <td>12,493</td> <td rowspan="4">59,785,965</td> <td rowspan="4">2,829</td> <td>12,199</td> </tr> <tr> <td>上法万線</td> <td>6,690</td> <td>6,689</td> </tr> <tr> <td>福永線</td> <td>1,630</td> <td>1,576</td> </tr> <tr> <td>上中村線</td> <td>318</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>琴浦海岸線</td> <td>日ノ丸</td> <td>15,747</td> <td rowspan="2">30,742,470</td> <td rowspan="2">1,208</td> <td>16,648</td> </tr> <tr> <td>船上山線</td> <td>自動車(株)</td> <td>9,704</td> <td>9,613</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td>46,582</td> <td>90,528,435</td> <td>1,943</td> <td>46,780</td> </tr> </tbody> </table>									路線名	委託事業者	R5利用者(人)	委託費(円)	一人あたり経費(円)	R4利用者(人)	野井倉線	(株)田中商店	12,493	59,785,965	2,829	12,199	上法万線	6,690	6,689	福永線	1,630	1,576	上中村線	318	55	琴浦海岸線	日ノ丸	15,747	30,742,470	1,208	16,648	船上山線	自動車(株)	9,704	9,613	合計		46,582	90,528,435	1,943	46,780
	路線名	委託事業者	R5利用者(人)	委託費(円)	一人あたり経費(円)	R4利用者(人)																																								
	野井倉線	(株)田中商店	12,493	59,785,965	2,829	12,199																																								
	上法万線		6,690			6,689																																								
	福永線		1,630			1,576																																								
	上中村線		318			55																																								
	琴浦海岸線	日ノ丸	15,747	30,742,470	1,208	16,648																																								
	船上山線	自動車(株)	9,704			9,613																																								
	合計		46,582	90,528,435	1,943	46,780																																								
	② 交通空白地域タクシー助成事業 217千円 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>23人</th> <th>要件</th> <th colspan="3">交通空白地に居住する高齢者又は独居世帯 自家用車の運転ができない者(免許返納など)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行数</td> <td>401回</td> <td>助成額1/2</td> <td>216,440円</td> <td>1回あたり助成額</td> <td>540円</td> </tr> </tbody> </table>									対象者	23人	要件	交通空白地に居住する高齢者又は独居世帯 自家用車の運転ができない者(免許返納など)			運行数	401回	助成額1/2	216,440円	1回あたり助成額	540円																									
対象者	23人	要件	交通空白地に居住する高齢者又は独居世帯 自家用車の運転ができない者(免許返納など)																																											
運行数	401回	助成額1/2	216,440円	1回あたり助成額	540円																																									
③ 広域バス路線(赤碕⇄倉吉)運行に係る補助金交付 7,693千円 路線バスの赤字補填のため、関係自治体で経費負担を行いました。 補助金額:7,692,631円																																														
④ 共助交通の推進 ▼ 移動支援自動車保険料補助事業 110千円 <ul style="list-style-type: none"> ・内容 団体等が地域住民の移動支援を行う際に使用車両に係る自動車保険料を助成 ・利用団体 徳万たすけあいトクク会(会員数:26人) 〔移動支援運行回数:46回、のべ利用者数:131人〕 ・利用団体 岩本いきいきクラブ(会員数:15人) 〔移動支援運行回数:60回、延べ利用者数:75人〕 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">住民による移動支援(アプト)</p> </div>																																														
⑤ 新たな町営バス時刻表の作成 407千円 令和6年4月からの琴浦町営バス路線再編及びJR時刻表改正に伴い、新たな時刻表を作成しました。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #fff9c4;">変更の概要</th> <td> ・運行時刻の変更(JRとの接続を考慮) ・フリー乗降区間の拡大 </td> </tr> </thead> </table> <div style="margin-top: 10px;">  </div>									変更の概要	・運行時刻の変更(JRとの接続を考慮) ・フリー乗降区間の拡大																																				
変更の概要	・運行時刻の変更(JRとの接続を考慮) ・フリー乗降区間の拡大																																													
⑥ その他(消耗品、修繕料、負担金、手数料、公課費等) 455千円																																														

	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 令和7年度交通再編に向けた琴浦町における交通体系のあり方について、更なる検討を行います。</p> <p>② 共助交通を通じた、住民同士が支え合える地域づくりを推進していきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①公共交通会議を開催し、令和7年度交通再編の方向性を確認しました。</p> <p>②新たに上郷地区での共助交通実施に向けた協議を行い、令和6年度に実証実験を行います。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町営バスを始め、交通空白地タクシー助成、共助交通等住民の交通利便性向上に寄与しました。 ・利用者のニーズに合わせた改善(路線・時刻表・事業対象者)を行いました。 ・ただし、交通体系の詳細について継続した検討が必要なため、相当程度進展ありと評価しました。 	
今後の 取り組み の方向	<p>① 令和7年度交通再編に向けて事業者協議、地域連携を進めます。</p> <p>② 共助交通の定着、実施に向け地元団体との連携、支援を行います。</p>	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1193	事業名	地域おこし協力隊員活動事業			会計区分	一般会計		
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				③町民主役の地域づくり				
	重点項目	若者の定住・UIターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整備							
年度	最終予算額(千円)	決算額(千円)	事業費財源内訳(千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	6,605	3,455	0	0	0	0	3,455	○特別交付税措置	
事業目的	総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、都市部から転入した人材の意欲や能力を活かした新しい発想の地域おこし策による地域活性化、移住定住による地域力の充実・強化を図ります。 令和3年度に採用した地域おこし協力隊の卒業後に向けた具体的な取り組みをサポートします。								
事業の主な実施状況	【委嘱状況】 ①令和3年5月1日(土)～令和6年4月30日(土) 石黒明日香(いしぐろあすか)・・・神奈川県川崎市出身 ②令和3年5月1日(土)～令和6年4月30日(土) 正田好実(しょうだこのみ)・・・埼玉県新座市出身 ③令和4年10月1日(土)～令和7年9月30日(火) 谷敷友香(やしきゆか)・・・北海道恵庭市出身								
	地域おこし協力隊活動費 3,455千円 【主な活動実績】 ○石黒隊員 サウナの活動を主に関係人口の創出に貢献しました。 また県事業「ととのうとっとり」CEAやアウフグース世界大会などで活躍しました。 卒業後、「コウラファンクリエイター」として、関係人口の創出に携わる予定です。			 <p>【世界大会凱旋報告会】</p>					
○正田隊員 関係人口創出イベント「コトトーク!」を継続的に開催しました。 町出身で県外に在住している大学生や社会人などが町の魅力を知る機会を提供し、関係人口の創出に貢献しました。 卒業後、地域おこし協力隊ネットワーク団体(鳥の巣)で、町内の隊員のサポートを行う予定です。また、「コウラファンクリエイター」として、関係人口の創出に携わる予定です。			 <p>【コトトークin東京の様子】</p>						
○谷敷隊員 主に町公式YouTubeの動画作成を行い、「体操お兄チャンネル」や「食改さんのレシピ」シリーズ、地元イベントや風景などに密着した動画配信で町の魅力発信に貢献しました。 また、地域おこし協力隊主催イベント「カラコロマーケット」開催を手掛け、各隊員と協力して地域住民へ隊員の地域活動のPRを行います。			 <p>【谷敷隊員の制作動画】</p>						
その他の経費 ※会計年度任用職員報酬として別事業(No.1538)で計上 報酬:8,497千円 社会保険料:2,145千円			 <p>←カラコロマーケット チラシ</p>						
担当課による評価			A 相当程度進展あり						
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 ① 隊員の家賃補助や備品管理について、整理する必要があります。 ② 今後の活動指針や活動状況を担当者と共有するための時間を定期的につくることで協力隊の活動を日頃からサポートする必要があります。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 家賃補助の要綱を実情に即したものに改正し、備品台帳を整理しました。 ② 毎月1回協力隊の定例会を開催しました。業務のことだけでなく、いち移住者として困りごとがないかなど、生活面やメンタル面でのサポートも行いました。その他定期的に個人面談を行い、現在の協力隊活動の内容や今後の活動方針について共有しサポートしました。								
【担当課による評価の理由】 家賃補助の要綱改正、備品台帳の整理、毎月1回定例会を開催し、生活面やメンタル面でのサポートを行ってきました。今後も卒業後に向けて継続してサポートしていく必要があります。									
今後の取り組みの方向	①委託型の地域おこし協力隊募集にあたり、要綱の整備をする必要があります。 ②協力隊の日頃の活動についてのきめ細かなサポートを行うため、協力隊サポート事業を協力隊のネットワーク団体へ委託します。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1195	事業名	町内地域づくり団体の連携			会計区分	一般会計			
担当課	企画政策課			担当係	SDGs推進室	事業区分	□新規 ■継続			
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費	
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				③町民主役の地域づくり					
	重点項目	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和5年度	2,220	2,110	0	360	0	0	1,750	○市町村創生交付金 360千円		
事業目的	町内地域活性化団体の連携を目的に設立した中間支援組織「琴浦まちづくりネットワーク」の維持及び発展を行います。 町内地域活性化団体を対象とし琴浦町のさらなる発展に資するまちづくりを支援するため補助金を設置し、協働によるまちづくりの推進を図ります。									
事業の主な実施状況	① 琴浦まちづくりネットワーク補助金 1,550千円 まちネットの活動や今後のあり方、運営について検証を行い、事務局運営経費の一部を補助するとともに、情報提供や助言、広報協力などの支援を行いました。また、担当課とまちネットとの間で、まちネット組織やまちづくりに対する意見交換を随時行いました。 まちネットでは、本補助金を活用し、まちネット会員の活動支援を行ったほか、「まちネットフォーラム」が開催されました。									
	② 元気づくり応援事業費補助金 490千円 【スタートアップ型 1件】 補助率 10/10 ・ことうら環境アクションチーム(家庭ゴミ減量事業) 【ステップアップ型 3件】 補助率 2/3 ・コトウラ3区(音楽人形劇の開催) ・農業青年会議(ひまわり畑を通じた地域活性化) ・田町楽団(参加者全員で音楽を楽しみ地域活性化)									
										
	【音楽人形劇】		【田町楽団】		【ことうら環境アクションチーム】		【農業青年会議】			
	③ その他(負担金等) 70千円									
事業目的の達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり					
	【前年度の課題の概要】 ① 会員全体がまちネットに関わり、活動が継続できる仕組みを強化することが必要です。									
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 会議等へ参加し、担当課とまちネットとで随時意見交換を行いました。役員だけでなく一般会員からの意見や思いも聞くことができ、組織全体で思いを共有することができました。									
	【担当課による評価の理由】 「元気づくり応援事業補助金」について、4件の申請がありました。昨年に続き新規に立ち上げを行った団体への補助もあり、今後の活動も期待できるため、「相当程度進展あり」と評価しました。									
今後の取り組みの方向	まちネットと町との意見交換の場を設けるなどして、まちネットの活動について方向性や重要性を共有することが必要です。									

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1614	事業名	古布庄地区まちづくり事業		会計区分	一般会計					
担当課	企画政策課			担当係	SDGs推進室	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続				
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費		
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				②町民参画・協働の仕組みづくり						
	重点項目 情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり										
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)			
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源				
令和5年度	3,003	2,449	0	0	0	0	2,449	○特別交付税措置			
事業目的	公民館事業と地域振興事業をあわせて住民による地域づくり活動を主体的に行うため、古布庄地区においてモデル事業を行います。										
事業の 主な 実施状況	<p>① 集落支援員配置 ※会計年度任用職員報酬(No.1538)で計上 集落支援員(公民館主事を兼ねる) 2名配置</p> <p>② 旧古布庄保育園施設管理 <u>1,053千円</u> (内訳:光熱水費、修繕料、手数料、火災保険料、委託料、使用料)</p> <p>③ 古布庄地区まちづくり活動モデル事業 <u>1,396千円</u> 古布庄まちづくり協議会の事務局として、地域活動全般の支援を行いました。協議会と行政のパイプ役として、地域の状況把握や、住民同士の話し合いの場づくり、地域課題の発見などを促進しました。</p> <p>(生活あんしん部)スマホ教室、まちづくり研修、防災訓練、人権・同和教育活動 等 (いきいき健康部)百歳体操、トレーニング教室、ものづくり教室、女性教室、教養講座 等 (地域ふれあい部)せいごうキッズ、ニュースポーツ交流会、夏まつり、ふれあい交流会 等 (まちおこし部)カフェみなくる、星空観察会、民芸教室、バイクトライアル・サウナ体験会 等</p>										
	 百歳体操  古布庄夏まつり	 ふれあい交流会  サウナ体験会									
事業目的の 達成状況	担当課による評価					A 相当程度進展あり					
	<p>【前年度の課題の概要】 地域の实情に応じた地域づくりを推進するため、集落支援員による活動を継続し、住民同士の話し合いや地域の实情把握を進めます。</p>										
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 地域運営組織に集落支援員を配置することで各地区の地域づくり活動を推進することができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 地域運営組織条例を制定し、地域運営組織による地域づくり活動の推進を制度化しました。</p>										
今後の 取り組み の方向	古布庄まちづくり協議会が主体となり地区公民館事業と一体的に事業を継続し、地区公民館を基軸とした地域づくり推進します。										




令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1615	事業名	安田地区まちづくり事業			会計区分	一般会計																			
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続																			
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費																				
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				②町民参画・協働の仕組みづくり																					
	重点項目 情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり																									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																			
令和5年度	3,150	2,612	0	350	0	0	2,262	○特別交付税措置																		
事業目的	公民館事業と地域振興事業をあわせて住民による地域づくり活動を主体的に行うため、安田地区においてモデル事業を行います。																									
事業の 主な 実施状況	<p>① 安田・成美地区における交通空白地有償運送支援事業 716千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">運行期間</td> <td style="width: 40%;">令和5年4月～令和6年3月</td> <td style="width: 45%;">内容</td> </tr> <tr> <td>運行形式</td> <td>区域運行(ドアツードア)</td> <td rowspan="6"> ・R3.9～本格運行開始。 ・団体等が地域住民の移動支援を行う際に係る経費(人件費、車両リース料、燃料費等)を助成。 </td> </tr> <tr> <td>運行区域</td> <td>安田地区・成美地区(一部) ⇄ 赤碕駅周辺エリア</td> </tr> <tr> <td>予約方法</td> <td>電話による予約</td> </tr> <tr> <td>登録ドライバー</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>利用登録者数</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>のべ利用者数</td> <td>539人</td> </tr> </table> <p>② 集落支援員配置 ※会計年度任用職員報酬(No.1538)で計上 集落支援員(公民館主事を兼ねる) 2名配置</p> <p>③ 旧安田保育園施設管理 455千円 (内訳:光熱水費、修繕料、手数料、火災保険料、委託料、使用料)</p> <p>④ 安田地区まちづくり活動モデル事業 1,441千円 安田地域づくり協議会の事務局として、地域活動全般の支援を行いました。協議会と行政のパイプ役として、地域の状況把握や、住民同士の話し合いの場づくり、地域課題の発見などを促進しました。 (社会教育部)町民運動会、公民館のつどい、ニュースポーツ交流会 等 (ふれあい地域づくり部)わくわく体験交流会、ワイワイ祭り、ふれあい朝市 等 (防災安全部)安田地区一斉防災訓練、安田地区一斉清掃、非常時対応体験会 等 (健康福祉部)健康マーじゃん教室、小中学生勉強会 等</p>										運行期間	令和5年4月～令和6年3月	内容	運行形式	区域運行(ドアツードア)	・R3.9～本格運行開始。 ・団体等が地域住民の移動支援を行う際に係る経費(人件費、車両リース料、燃料費等)を助成。	運行区域	安田地区・成美地区(一部) ⇄ 赤碕駅周辺エリア	予約方法	電話による予約	登録ドライバー	7人	利用登録者数	41人	のべ利用者数	539人
	運行期間	令和5年4月～令和6年3月	内容																							
	運行形式	区域運行(ドアツードア)	・R3.9～本格運行開始。 ・団体等が地域住民の移動支援を行う際に係る経費(人件費、車両リース料、燃料費等)を助成。																							
	運行区域	安田地区・成美地区(一部) ⇄ 赤碕駅周辺エリア																								
	予約方法	電話による予約																								
	登録ドライバー	7人																								
	利用登録者数	41人																								
	のべ利用者数	539人																								
																										
	ふれあい朝市			ワイワイ祭りin安田																						
																										
ふれあい食堂			安田地区清掃活動																							
担当課による評価					A 相当程度進展あり																					
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 地域の实情に応じた地域づくりを推進するため、集落支援員による活動を継続し、住民同士の話し合いや地域の实情把握を進めます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 地域運営組織に集落支援員を配置することで各地区の地域づくり活動を推進することができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 地域運営組織条例を制定し、地域運営組織による地域づくり活動の推進を制度化しました。</p>																									
今後の取り組みの方向	安田地域づくり協議会が主体となり地区公民館事業と一体的に事業を継続し、地区公民館を基軸とした地域づくり推進します。																									

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1616	事業名	以西地区まちづくり事業			会計区分	一般会計		
担当課	企画政策課			担当係	SDGs推進室		事業区分	■新規 □継続	
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				②町民参画・協働の仕組みづくり				
	重点項目 情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
		国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和5年度	8,330	2,969	0	0	0	0	2,969	○特別交付税措置	
事業目的	公民館事業と地域振興事業をあわせて住民による地域づくり活動を主体的に行うため、以西地区においてモデル事業を行います。								
事業の 主な 実施状況	<p>① 集落支援員配置 ※会計年度任用職員報酬(No.1538)で計上 集落支援員(公民館主事を兼ねる) 2名配置</p> <p>② 旧以西小学校施設管理 1,959千円 (内訳:光熱水費、修繕料、通信運搬費、手数料、火災保険料、委託料、使用料)</p> <p>③ 以西地区まちづくり活動モデル事業 1,010千円 以西地区振興協議会の事務局として、活動全般を支援しました。 協議会の活動の様子は毎月発行する「以西地区振興協議会だより」で状況報告するなどして地区内に周知を図りました。 (産業振興部)笑学校、元気貯筋、防災教室、パワーアップ教室 等 (地域福祉部)じげもん屋、竹の子・枝豆収穫体験、軽トラ市 等 (地域づくり部)いさい夢まつり、クリーン大作戦、歴史探訪、子供交流事業 等 (生涯学習部)町民運動会、ホタルウォーク、星を見る会、ニュースポーツ 等</p>								
	 R5年度新規事業「ふれあい食堂」		 旧以西小学校クリーン作戦		 軽トラ市		 第7回いさい夢まつり		
※以西小学校改修設計業務については、令和6年度へ繰り越し(4,917千円)									
事業目的の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】 地域の实情に応じた地域づくりを推進するため、集落支援員による活動を継続し、住民同士の話し合いや地域の实情把握を進めます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 地域運営組織に集落支援員を配置することで各地区の地域づくり活動を推進することができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 地域運営組織条例を制定し、地域運営組織による地域づくり活動の推進を制度化しました。</p>								
	<p>今後の取り組みの方向</p> <p>以西地区振興協議会が主体となり地区公民館事業と一体的に事業を継続し、地区公民館を基軸とした地域づくり推進します。 旧以西小学校の改修について、設計業務委託料を令和6年度に繰り越し実施設計を進めます。</p>								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1620	事業名	成美地区まちづくり事業			会計区分	一般会計		
担当課	企画政策課			担当係	SDGs推進室		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				②町民参画・協働の仕組みづくり				
	重点項目 情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)		事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
		国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和5年度	450	80	0	0	0	0	0	80	○特別交付税措置
事業目的	成美地区に新たに集落支援員を配置し、住民主体の地域運営に向けた準備を行います。								
事業の主な実施状況	<p>① 集落支援員配置 ※会計年度任用職員報酬(No.1538)で計上 集落支援員 1名配置</p> <p>② 集落支援員活動費 80千円 成美地区に集落支援員を配置し、地区公民館との連携による地域活動を推進しました。 (内訳:消耗品、燃料費、通信運搬費、借上料)</p> <p>成美地区公民館との連携により、地域活動全般の支援を行いました。地域の状況把握や、住民同士の話し合いの場づくり、地域課題の発見などを促進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習事業の推進 → 公民館祭、みちくさ、スマホ教室、シニア教室 等 ・地域づくり活動の推進 → 成美市場(毎月開催) ・新事業立ち上げ → いまここ食堂、いのちをいただく授業 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>いのちをいただく授業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>みちくさ(子ども居場所づくり)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>いまここ食堂</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>成美市場</p> </div> </div>								
事業目的の達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】 地域課題に対応した地域づくり事業推進の必要性から令和5年度からの新規事業として活動を始めました。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 従前から取り組んでいた成美市場等を主に事業推進を行い、安定的な定着を図るとともに、地域の住民の協力を得て新たな事業の立ち上げに向けて活動を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 1年間で協力者の組織化を図り、住民参画による新規事業「いまここ食堂」の立ち上げを実現しました。</p>								
今後の取り組みの方向	地区公民館を基軸とした地域づくり推進し、地区公民館事業とあわせて事業を継続します。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	26	事業名	三本杉ふるさと分校管理			会計区分	一般会計									
担当課	企画政策課		担当係	SDGs推進室		事業区分	□新規 ■継続									
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費							
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				③町民主役の地域づくり											
	重点項目	—														
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)								
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源									
令和5年度	69	66	0	0	0	0	66									
事業目的	三本杉ふるさと分校及び南部ふるさと広場は、地域住民の交流等を図るため、平成6年に設置されたものであり、三本杉ふるさと分校管理委員会と指定管理契約を締結し、管理運営を行います。															
事業の 主な 実施状況	三本杉ふるさと分校管理について、以下の経費を支出しました。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">施設維持管理費</td> <td>41,712</td> <td>火災保険料</td> </tr> <tr> <td>24,200</td> <td>集落排水使用料</td> </tr> </tbody> </table>									項目	金額	概要	施設維持管理費	41,712	火災保険料	24,200
項目	金額	概要														
施設維持管理費	41,712	火災保険料														
	24,200	集落排水使用料														
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成											
	【前年度の課題の概要】															
	【前年度課題についての対応及び成果】															
今後の 取り組み の方向	【担当課による評価の理由】															

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	902	事業名	移住定住促進事業			会計区分	一般会計																																																						
担当課	企画政策課			担当係	移住定住推進室	事業区分	□新規 ■継続																																																						
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費																																																				
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				①住宅の確保と移住定住の推進																																																								
	重点項目	若者の定住・UIターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整備																																																											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																						
令和5年度	38,135	23,225	0	3,799	90	6,400	12,936	○過疎対策事業債 6,400千円 ○お試し住宅利用料 90千円																																																					
事業目的	人口減少対策としてきめ細やかな移住希望者の相談対応、専用ホームページを中心とした情報発信のほか、新築奨励金や空き家活用補助金等の交付により、転出抑制、移住者の増加につなげ、町内への定住を目指します。																																																												
事業の主な実施状況	<p>① 空き家活用等にかかる補助金 21,646千円 移住の推進及び空き家の有効活用を図るため、令和5年度より新たな助成制度の運用を開始し、以下の補助金・奨励金を交付しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>補助金・交付金の名称</th> <th>金額(円)</th> <th>件数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>暮らそうコウラ！新築奨励金(若者子育て世帯)</td> <td>9,500,000</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>暮らそうコウラ！新築奨励金(きらりタウン)</td> <td>5,000,000</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>暮らそうコウラ！新築奨励金(槻下団地)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>暮らそうコウラ！空き家活用補助金(購入)</td> <td>5,200,000</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>暮らそうコウラ！空き家活用補助金(賃貸リフォーム)</td> <td>1,143,000</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>暮らそうコウラ！空き家活用補助金(家財撤去)</td> <td>803,000</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>② 移住定住アドバイザーの配置 移住定住アドバイザーを1名雇用し、移住に関する相談対応、「空き家ナビ」の運営、県外移住相談会への参加等を行いました。(移住相談92件、空き家登録相談56件、空き家内見42件)</p> <p>③ 移住相談業務 316千円 県外移住相談会でブース出展を行い、都市部の移住希望者と対面で移住相談を受けるとともに、町のPRを行いました。また、移住相談サポーターを委嘱し、空き家内見等の一部業務を依頼しました。</p> <p>移住定住サポート業務 移住相談サポーター1名 18時間 県外相談会 大阪2回、東京3回</p> <p>④ 空き家ナビホームページの整備 89千円 町内の空き家を空き家ナビに登録し、ホームページで物件を紹介。利用希望者とのマッチングを行いました。(登録件数22件、成約件数19件)</p> <p>⑤ 移住リーフレット・チラシ発行 397千円 移住者向けリーフレットを最新の移住制度等の情報に更新しました。 きらりタウン・槻下団地のPRチラシを印刷しました。</p> <p>⑥ お試し住宅管理費 619千円 お試し住宅での宿泊を通して琴浦町の暮らしを体験していただきました。 内訳: 通信料、火災保険料、機械警備委託料、光熱水費等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>利用期間</th> <th>人数</th> <th>利用者住所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/25～4/2</td> <td>8泊9日</td> <td>4 大阪府和泉市</td> </tr> <tr> <td>4/15～4/16</td> <td>1泊2日</td> <td>4 大阪府枚方市</td> </tr> <tr> <td>7/1～7/3</td> <td>2泊3日</td> <td>2 大阪府大阪市</td> </tr> <tr> <td>8/7～8/15</td> <td>8泊9日</td> <td>4 東京都墨田区</td> </tr> <tr> <td>8/27～9/2</td> <td>6泊7日</td> <td>7 沖縄県中頭郡他</td> </tr> <tr> <td>11/1～11/23</td> <td>22泊23日</td> <td>2 神奈川県横浜市</td> </tr> <tr> <td>12/1～12/4</td> <td>3泊4日</td> <td>2 兵庫県尼崎市</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑦ その他(負担金等) 158千円</p>									補助金・交付金の名称	金額(円)	件数	備考	暮らそうコウラ！新築奨励金(若者子育て世帯)	9,500,000	18		暮らそうコウラ！新築奨励金(きらりタウン)	5,000,000	5		暮らそうコウラ！新築奨励金(槻下団地)	0	0		暮らそうコウラ！空き家活用補助金(購入)	5,200,000	8		暮らそうコウラ！空き家活用補助金(賃貸リフォーム)	1,143,000	4		暮らそうコウラ！空き家活用補助金(家財撤去)	803,000	6		利用期間	人数	利用者住所	3/25～4/2	8泊9日	4 大阪府和泉市	4/15～4/16	1泊2日	4 大阪府枚方市	7/1～7/3	2泊3日	2 大阪府大阪市	8/7～8/15	8泊9日	4 東京都墨田区	8/27～9/2	6泊7日	7 沖縄県中頭郡他	11/1～11/23	22泊23日	2 神奈川県横浜市	12/1～12/4	3泊4日	2 兵庫県尼崎市
補助金・交付金の名称	金額(円)	件数	備考																																																										
暮らそうコウラ！新築奨励金(若者子育て世帯)	9,500,000	18																																																											
暮らそうコウラ！新築奨励金(きらりタウン)	5,000,000	5																																																											
暮らそうコウラ！新築奨励金(槻下団地)	0	0																																																											
暮らそうコウラ！空き家活用補助金(購入)	5,200,000	8																																																											
暮らそうコウラ！空き家活用補助金(賃貸リフォーム)	1,143,000	4																																																											
暮らそうコウラ！空き家活用補助金(家財撤去)	803,000	6																																																											
利用期間	人数	利用者住所																																																											
3/25～4/2	8泊9日	4 大阪府和泉市																																																											
4/15～4/16	1泊2日	4 大阪府枚方市																																																											
7/1～7/3	2泊3日	2 大阪府大阪市																																																											
8/7～8/15	8泊9日	4 東京都墨田区																																																											
8/27～9/2	6泊7日	7 沖縄県中頭郡他																																																											
11/1～11/23	22泊23日	2 神奈川県横浜市																																																											
12/1～12/4	3泊4日	2 兵庫県尼崎市																																																											

	担当課による評価	A 相当程度進展あり				
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 琴浦町に合った移住者補助制度を検討し、推進することで移住者のさらなる呼び込みを図ります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 新築や空き家活用といった住宅取得への助成を軸とした新たな移住定住の助成制度の運用を開始し、制度活用件数が大幅に増加しました。(R4:29件→R5:41件)</p> <p>【担当課による評価の理由】 補助制度の見直しにより制度活用が増加し、空き家ナビ登録及び成約件数の増加につながりました。 メディアを活用したPRを推進し、雑誌やTV番組での注目度が上がったことで移住者数増となりました。</p>					
今後の 取り組み の方向	補助金、奨励金の効果検証を行うことで、より効果的な制度検討の基礎データを収集します。					

	R1	R2	R3	R4	R5
県外移住者数	121	114	151	170	190
移住相談件数	19	20	52	97	92
空き家ナビ登録件数	21	15	33	45	56
空き家成約件数	11	12	8	12	19





令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	414	事業名	関係人口創出事業			会計区分	一般会計																	
担当課	企画政策課		担当係	移住定住推進室	事業区分	□新規		■継続																
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費															
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				②関係人口の拡大とつながりの強化																			
	重点項目	若者の定住・UIターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整備																						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																	
令和5年度	2,150	745	0	157	400	0	188	○市町村創生交付金 157千円 ○ふるさと未来夢基金 400千円																
事業目的	<p>琴浦町出身者やふるさと納税納税者、琴浦と関わりを持ちたい人等に町に興味を持ってもらい、琴浦町と関わる関係人口を増やします。関係人口にはまちづくりへの参加や地元企業での短期就業などの関わりを持ち、人材不足解消、人口減少の抑制につなげます。R5年度はコトウラファンサポーターの拡充と活用、地域おこし協力隊を主とした惑星コトウラ若手提案事業等とも連携し、都市部の若者を中心に関係人口の拡大を図ります。</p>																							
事業の主な実施状況	<p>① 琴浦会 389千円 琴浦会会員へ町の情報を町報とともに毎月発送しました。 新型コロナウイルスまん延により開催できていなかった交流会を4年ぶりに東日本で開催しました。 西日本交流会は令和6年度開催予定です。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>旅費</td><td>320千円</td></tr> <tr><td>消耗品</td><td>31千円</td></tr> <tr><td>通信運搬費</td><td>26千円</td></tr> <tr><td>負担金</td><td>12千円</td></tr> </table> <p>琴浦会会員数: 103人(東日本44人、西日本59人)</p> <div style="text-align: right;">  東日本交流会の様子 </div> <p>② 都市の若者とのマッチング支援補助金 314千円 短期的に働く都市部の若者を募り、関係を築きました。 受入場所拡大のために事業者の負担する経費を助成しました。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>マッチング手数料(報酬の25%)の10/10</td></tr> <tr><td>保険料(350円/日)の10/10</td></tr> <tr><td>滞在費(宿泊経費+食費)の2/3</td></tr> </table> <p>利用者合計22人(前年比130%) 決算額=314千円</p> <div style="text-align: right;">  【おてつたびの様子】 </div> <p>③ ふるさと住民票(コトウラファンサポーター)制度 42千円 琴浦町に関心のある人をコトウラファンサポーターとして登録。 登録いただいた方は、琴浦町により濃密な関係人口として関わっていただき、イベントの企画運営にも携わっていただきました。</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>専用品刺制作7名分</td><td>42千円</td></tr> <tr><td>コトウラファンサポーター登録者数</td><td>18名(前年比163%)</td></tr> </table>									旅費	320千円	消耗品	31千円	通信運搬費	26千円	負担金	12千円	マッチング手数料(報酬の25%)の10/10	保険料(350円/日)の10/10	滞在費(宿泊経費+食費)の2/3	専用品刺制作7名分	42千円	コトウラファンサポーター登録者数	18名(前年比163%)
旅費	320千円																							
消耗品	31千円																							
通信運搬費	26千円																							
負担金	12千円																							
マッチング手数料(報酬の25%)の10/10																								
保険料(350円/日)の10/10																								
滞在費(宿泊経費+食費)の2/3																								
専用品刺制作7名分	42千円																							
コトウラファンサポーター登録者数	18名(前年比163%)																							
	担当課による評価				A 相当程度進展あり																			
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】																							
	コトウラファンサポーターの増加、より効果的な活用方法を見出す必要があります。																							
	【前年度課題についての対応及び成果】																							
関係人口事業へ関わっていただいた関係者へ積極的にアプローチし、コトウラファンサポーターの登録者数を伸ばしました。また、東京で開催した関係人口創出イベントへ企画段階から携わるなど、ファンサポーター登録後の活動も企画し、関係人口としての効果的な関わりを模索しました。																								
【担当課による評価の理由】																								
琴浦町独自の関係人口指標「コトウラファンサポーター」の登録人数前年比163%を達成しました。都市の若者とのマッチング支援(おてつたび)の推進についても利用者前年比130%を達成しました。おてつたびで琴浦を訪れ、ファンサポーター登録、さらに移住へつながった好事例も生まれました。																								
今後の取り組みの方向	都市の若者とのマッチング支援補助金について、新規受け入れ事業者の拡充を図る必要があります。コトウラファンサポーターの効果的な活用方法を見出す必要があります。数年間開催できていない琴浦会西日本交流会の開催について計画し、実施します。																							

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1411	事業名	熱中小学校事業			会計区分	一般会計		
担当課	企画政策課			担当係	SDGs推進室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	7	企画費
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				②関係人口の拡大とつながりの強化				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	1,930	1,930	0	0	1,930	0	0	○企業版ふるさと納税 1,930千円	
事業目的	地域の人材育成と講師や生徒との交流による関係人口拡大のため、全国のトップランナーを講師陣として抱え、都市圏企業とのネットワークを構築している熱中小学校事業の運営を支援します。								
事業の主な実施状況	<p>① 熱中小学校事業運営補助金 1,930千円</p> <p>「一般社団法人熱中ことうら」により熱中小学校事業が行われており、令和5年度は第9期、第10期の運営が行われました。</p> <p>【第9期授業】 4月～9月(月1回、第4土曜日の午後) ・生徒数 個人62人 法人11社 (のべ279人が受講)</p> <p>【第10期授業】 10月～3月(月1回、第4土曜日の午後) ・生徒数 個人55人 法人11社 (のべ255人が受講)</p> <p>授業のほかにも生徒会活動が行われています。 町内の「椿の森」の保全作業を毎月実施し、多くの生徒の力で琴浦町の美しい景観の維持活動が行われました。 以西の圃場で「丹波黒豆」を栽培し、琴浦の新たな名産品づくりにも取り組まれました。 熱中シアターとして上映会を実施されました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>授業の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生徒会活動の様子</p> </div> </div>								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 引き続き自主財源の確保に取り組んでいく必要があります。また、授業による人材育成はもちろん、生徒会活動等による地域課題の解決にも取り組んでいくことが望まれます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 寄附による自主財源確保や新規法人会員の増加による生徒確保に取り組まれました。生徒会活動や、そのほかの活動も精力的に取り組まれ、地域の人材育成を推進されました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>様々な分野で活躍されている講師を迎えて、魅力ある授業が行われています。また、リモート受講や体験入学など新しい生徒の確保にも取り組まれています。企業版ふるさと納税を財源とした組織運営を行うため、町外企業に寄附をお願いし都会から地方への資金の流れをつくるなど地域活性化に資する取組みも実施しています。</p>								
今後の取り組みの方向	熱中小学校事業だけでなく町内の地域づくり団体の取組みを支援するため企業版ふるさと納税を財源とした活動支援制度を検討します。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1614	事業名	コロナ禍における移住定住等推進PR事業		会計区分	一般会計		
担当課	企画政策課		担当係	移住定住推進室	事業区分	■新規 □継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				①住宅の確保と移住定住の推進			
	重点項目	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度(明許)	550	550	550	0	0	0	0	○新型コロナウイルス臨時交付金対象
事業目的	コロナ禍により遠方への旅行が難しい中、人気芸人を起用したテレビ番組で町のPRを行うことで、山陰地方はもとより県内や町民に対し、本町の魅力発信を行う。まずは本町への興味・関心を持ってもらい、訪れるきっかけを創出する事で、最終的な移住増加を目指す。							
事業の主な実施状況	<p>① メディア媒体でのPR 550千円 芸人のガンバレルーヤ出演の「週末移住バラエティ 冠ルーヤ」で琴浦町の観光や移住情報の発信を行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p>町内の取材先 鳴り石の浜 牛骨ラーメン 香味徳 大山乳業工場見学 グランサーモン養殖見学 林養魚場 道の駅琴浦 和星水産 あごかつカレー レストラングレイ いちご狩り むらかみファーム ふろしきまんじゅう工場見学 山本おたふく堂 一向平キャンプ場 サウナ体験 お試し住宅 こうらさんち</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">    </div> <p>放送日程 4月 8日(土) 16:25~16:55 4月 15日(土) 16:25~16:55 4月 22日(土) 16:25~16:55 4月 29日(土) 16:25~16:55 ○別途再放送(翌金曜日15:50~16:20)4回 ○動画配信サービス「TVer」や「hulu」で配信 ○山陰エリア外でも放映(BSよしもと、群馬テレビ、広島テレビ等)</p> <p>【契約業者】 日本海テレビジョン放送(株) 【契約金額】 550千円</p>							
	担当課による評価				S 目的達成			
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>【担当課による評価の理由】 山陰地方はもとより、配信等により山陰エリア外へのPRも実現し、移住者の増加につながりました。</p>							
今後の取り組みの方向								

会計 款-項-目 事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
商工観光課				
2.総務費				
1.総務管理費				
11.新型コロナウイルス感染症対策費				
新型コロナウイルス感染症対策事業(緊急経済対策)	14,771	14,369	5-1	
燃油高騰対策特別金融支援事業	773	296	5-2	
ポストコロナインバウンド誘致対策促進事業	517	328	5-3	
5.統計調査費				
1.統計調査費				
基幹統計調査	1,323	1,127	5-4	
6.商工費				
1.商工費				
2.商工振興費				
商工業の振興	33,662	22,607	5-5	
琴浦町未来人材奨学金返還支援事業	3,203	3,128	5-6	
3.観光費				
白鳳祭	6,000	5,780	5-7	
観光振興事業	15,689	14,278	5-8	
一向平キャンプ場の管理と清掃活動事業	18,487	18,280	5-9	
船上山管理運営	3,289	3,018	5-10	
道の駅ポート赤碕運営管理	14,760	14,648	5-11	
道の駅琴の浦管理運営事業	7,079	6,818	5-12	
旧中井旅館管理運営事業	736	678	5-13	
地方創生推進交付金事業(観光)	5,259	5,157	5-14	
地域おこし協力隊活動事業(商工観光課)	2,337	1,441	5-15	
4.地域振興費				
八橋ふれあいセンター管理	1,473	1,456	5-16	
日韓友好交流公園管理運営	3,567	2,905	5-17	
12.諸支出金				
1.諸費				
1.国県支出金返納金				
国県返納金	273	273		事務費

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1486	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業(緊急経済対策)			会計区分	一般会計												
担当課	商工観光課		担当係	商工担当		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続												
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11											
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			—															
重点項目	—																		
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)											
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源												
令和5年度	14,771	14,369	0	7,184	7,185	0	0	新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給事業基金繰入金7,185千円											
事業目的	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により打撃を受けた事業者等に対し、鳥取県地域経済変動対策資金に係る令和2～4年度の借入分の利子を負担して事業継続のための支援を行います。																		
事業の 主な 実施状況	細事業等		内容				決算額 (千円)												
	新型コロナウイルス対策特別金融支援利子補給金	・ 補助金	経営に深刻な影響を受けている事業者の借り入れた鳥取県地域経済変動対策資金に係る利子を負担するための経費 (ア) 融資利率 0.7% (イ) 補助内容 5年間の利子を補助 (債務負担により5年間実質無利子) 14,369千円 利子補給件数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th>借入年度</th> <th>補助件数</th> <th>補助金額</th> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>192件</td> <td>13,473千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>19件</td> <td>704千円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>3件</td> <td>192千円</td> </tr> </table>				借入年度	補助件数	補助金額	令和2年度	192件	13,473千円	令和3年度	19件	704千円	令和4年度	3件	192千円	14,369
借入年度	補助件数	補助金額																	
令和2年度	192件	13,473千円																	
令和3年度	19件	704千円																	
令和4年度	3件	192千円																	
合計							14,369												
事業目的の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり															
	【前年度課題の概要】 ① コロナの影響で引き続き経営状態が厳しい事業所が多くある中、返済にかかる資金繰りが課題となっています。 【前年度課題についての対応及び成果】 ① 借入事業者は借入条件の変更(据置期間延長)などにより資金繰りに対応し、その間の利子相当額を支援しました。 【担当課による評価の理由】 ① 厳しい経営状況下にある事業者に対して、借入にかかる負担を軽減し、事業継続を支援することができました。																		
今後の 取り組み の方向	① 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により打撃を受けた事業者等に対し、引き続き利子補給を行い、事業継続を支援していきます。																		

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1592	事業名	燃油高騰対策特別金融支援事業			会計区分	一般会計												
担当課	商工観光課		担当係	商工担当		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続											
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11											
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			—															
	重点項目	—																	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)											
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源												
令和5年度	773	296	148	148	0	0	0												
事業目的	エネルギー・原材料価格高騰に起因する融資に係る利子を補助することにより町内中小企業の負担の軽減を図る。																		
事業の 主な 実施状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>細事業等</th> <th>内容</th> <th>決算額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">令和5年度エネルギー・原材料価格高騰対策特別金融支援事業補助金</td> <td> 経済変動事象により影響を受けている事業者の借り入れた鳥取県地域経済変動対策資金に係る利子を負担するための経費 (ア) 融資利率 1.43% (イ) 補助内容 3年間の利子を補助 </td> <td rowspan="2">296</td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <th>補助金交付件数</th> <th>補助金交付合計</th> </tr> <tr> <td>12件</td> <td>296千円</td> </tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table>		細事業等	内容	決算額 (千円)	令和5年度エネルギー・原材料価格高騰対策特別金融支援事業補助金	経済変動事象により影響を受けている事業者の借り入れた鳥取県地域経済変動対策資金に係る利子を負担するための経費 (ア) 融資利率 1.43% (イ) 補助内容 3年間の利子を補助	296	<table border="1"> <tr> <th>補助金交付件数</th> <th>補助金交付合計</th> </tr> <tr> <td>12件</td> <td>296千円</td> </tr> </table>	補助金交付件数	補助金交付合計	12件	296千円						
	細事業等	内容	決算額 (千円)																
令和5年度エネルギー・原材料価格高騰対策特別金融支援事業補助金	経済変動事象により影響を受けている事業者の借り入れた鳥取県地域経済変動対策資金に係る利子を負担するための経費 (ア) 融資利率 1.43% (イ) 補助内容 3年間の利子を補助	296																	
	<table border="1"> <tr> <th>補助金交付件数</th> <th>補助金交付合計</th> </tr> <tr> <td>12件</td> <td>296千円</td> </tr> </table>		補助金交付件数	補助金交付合計	12件	296千円													
補助金交付件数	補助金交付合計																		
12件	296千円																		
事業目的の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり																
事業目的の 達成状況	【前年度課題の概要】 ① エネルギー、原材料価格の影響で経営状態が厳しい事業所がある中、返済にかかる資金繰りが課題となっています。																		
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 鳥取県地域経済変動対策資金に係る令和5年度融資を借り入れた事業者に対し、利子分を補助し返済にかかる負担を軽減しました。																		
	【担当課による評価の理由】 ① エネルギー・原材料価格高騰により影響を受けた町内事業者の経営安定・事業継続への支援につながりました。																		
今後の 取り組み の方向	① エネルギー・原材料価格高騰が続いています。融資実行状況を注視し、利子補給の支援を検討する必要があります。																		


令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1599	事業名	ポストコロナインバウンド誘致対策促進事業			会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	観光担当		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				⑨グルメ×アウトドアによるコウラニューツーリズム				
重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0		
令和5年度(明許)	517	328	0	0	0	0	328		
事業目的	インバウンド誘致対策として、鳥取県の支援制度と協調した支援施策を講じることにより、中部圏域への訪日外国人観光客の誘客を図ります。								
事業の主な実施状況	<p>① DMOインバウンド誘致対策促進負担金 328千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾旅行会社等へのトップセールス 1市4町首町の香港・台湾旅行社等へのトッププロモーションを行いました。 期間 R6.2.18~2.21 訪問 香港旅行会社4社 台湾旅行会社2社 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">旅行社へのトップセールス</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">トップセールス時の資料</p>								
事業目的の達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度課題の概要】</p> <p>① コロナ禍からのV字回復へ向けて、インバウンド誘客を図るため広域で連携した対応が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 香港・台湾でのトップセールスにより、今後の誘客に繋げることができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>① 単町では難しいインバウンド誘客を中部市町のトップセールスという形で実施しました。</p>								
今後の取り組みの方向	① 引き続きインバウンド誘客対策等について広域で連携しながら対応していきます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	913	事業名	基幹統計調査			会計区分	一般会計																									
担当課	商工観光課		担当係	商工担当		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																									
予算区分	款	2	総務費	項	5	統計調査費	目	1	統計調査費																							
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり					—																										
	重点項目	—																														
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																								
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																									
令和5年度	1,323	1,127	0	1,127	0	0	0																									
事業目的	統計法に基づき、各種政策立案のための統計情報を的確に収集します。																															
事業の 主な 実施状況	① 住宅・土地統計調査、漁業センサスなどを実施しました。																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">調査名</th> <th style="width: 20%;">金額(千円)</th> <th style="width: 30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年住宅・土地統計調査</td> <td style="text-align: center;">868</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2023年漁業センサス</td> <td style="text-align: center;">242</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和5年度学校基本調査</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>教育総務課実施</td> </tr> <tr> <td>2025年農林業センサス(準備)</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>調査区管理</td> </tr> <tr> <td>令和5年度経済センサス調査区管理</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和5年度統計調査員確保対策事業</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: center;">1,127</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 									調査名	金額(千円)	備考	令和5年住宅・土地統計調査	868		2023年漁業センサス	242		令和5年度学校基本調査	5	教育総務課実施	2025年農林業センサス(準備)	1	調査区管理	令和5年度経済センサス調査区管理	2		令和5年度統計調査員確保対策事業	9		合計	1,127
調査名	金額(千円)	備考																														
令和5年住宅・土地統計調査	868																															
2023年漁業センサス	242																															
令和5年度学校基本調査	5	教育総務課実施																														
2025年農林業センサス(準備)	1	調査区管理																														
令和5年度経済センサス調査区管理	2																															
令和5年度統計調査員確保対策事業	9																															
合計	1,127																															
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり																												
	【前年度課題の概要】 ① 調査員の高齢化により、なり手の確保が難しくなっています。																															
今後の 取り組み の方向	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 調査員確保対策として、登録調査員募集のチラシを作成し、確保に努めました。																															
	【担当課による評価の理由】 ① 令和5年度の統計調査はすべて調査員の事故もなく、期日どおり調査を終えることができました。																															
① 町報やチラシのほか、調査員の経験がある方への声かけ等により、引き続き、調査員の確保に努めます。																																

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	210	事業名	商工業の振興			会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	商工担当		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				④地産地消の促進により地域の中で経済がまわる仕組みづくり				
	重点項目 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	33,662	22,607	0	1,909	8,350	1,300	11,048	研修会参加補助金50千円 ふるさと未来夢基金繰入金8,300千円 過疎対策事業債1,300千円	
事業目的	町内事業者に対して必要な施策を講じることにより、各事業者の自主的な努力を助長することで、町内の人材確保及び地域経済の活性化を図ります。								
事業の 主な 実施状況	① 企業支援策として以下の補助金を交付しました。 11,549千円								
	補助金						金額(千円)	件数	
	中小企業イメージアップ推進事業補助金						300	3	
	琴浦でスタート！応援補助金						1,873	3	
	小規模事業者経営改善資金利子補給補助金						229	9	
令和4年度燃油高騰対策事業利子補給金						1,708	9		
新事業展開・販路開拓等支援補助金						939	2		
琴浦町商工会補助金						6,500	—		
② BUYコトウラ運動(地域内経済循環)の促進 173千円 白バラ牛乳を活用したBUYコトウラ運動の広告やBUYコトウラバスツアーを実施し、多世代へ地元産品の購入をPRしました。									
③ 「食」プロモーション事業 1,159千円 東京のアンテナショップで琴浦フェアを開催し、琴浦産品のPRを行いました。 イベント集客数:約325人									
 									
④ しごとプラザ琴浦との連携									
				目標数	実績	達成率			
施設利用者数				5,000人	4,531人	90.6%			
就職率(紹介就職/新規求職者数)				45%	47%	104.9%			
⑤ 国道9号商工街路灯撤去工事設計業務 5,903千円 老朽化により倒壊の危険性がある街路灯の撤去工事の設計を行いました。 撤去予定数R6～R8:87箇所									
事業目的の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	【前年度課題の概要】								
	① アフターコロナとなり地域内経済循環、事業者の新たな取組に対する支援が必要です。								
	【前年度課題についての対応及び成果】								
① 多世代へ地元産品の購入をPRしました。 また、新事業展開・販路開拓等支援補助金により事業者への新たな取組への支援を行いました。									
【担当課による評価の理由】									
① 事業者の自主的な努力への支援を行うことで地域活性化を促進することができました。									
今後の 取り組み の方向	① 地域内経済循環の促進を図るため「BUYコトウラ運動」の継続的な取組が必要です。 ② 国道9号沿いにある街路灯は老朽化により倒壊の危険性があるため、今後、計画的に撤去していきます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1532	事業名	琴浦町未来人材奨学金返還支援事業		会計区分	一般会計				
担当課	商工観光課		担当係	商工担当		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費	
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり		⑥企業のデジタル化と多様な働き方・雇用対策の推進							
重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					町債	一般財源	備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入					
令和5年度	3,203	3,128	0	0	1,057	0	2,071	ふるさと未来夢基金繰入金 500千円 未来人材奨学金返還支援基金繰入金508千円 未来人材奨学金返還支援基金利子49千円		

事業目的 大学等で修学した者の、県内就職または就業を促進するとともに、若者の琴浦町へのIUターン及び定住を図り、地域で活躍する人材を確保することを目的として、奨学金の返済を支援します。

事業の主な実施状況

- ① 交付の状況 補助金 508千円

	申請者	R5年度補助額
R5年度新規申請者	5人	508千円
R2～5年度申請者(累計)	15人	

- ② 基金積立金 2,620千円

未来人材奨学金返還支援基金積立金	2,571千円
未来人材奨学金返還支援基金利子	49千円

- ③ 周知方法
 - ・広報ことうら及びホームページに掲載
 - ・商工会会員への周知(チラシ配布)
 - ・鳥取県の奨学金助成金対象者へ県を通じてチラシ送付
 - ・成人式参加者にチラシを配布
 - ・しごとプラザ琴浦を通して事業者へ定期的にチラシ送付
 - ・学校の進路指導担当者を通して学生へ周知



担当課による評価 A 相当程度進展あり

事業目的の達成状況

【前年度課題の概要】

① 制度の認知が進んでいないことから、商工会や事業所へ周知を行うとともに、学生に対しても周知を実施する必要があります。

【前年度課題についての対応及び成果】

① 事業所に対して周知を行ったほか、学校の進路指導担当者を通して学生へ周知を図りました。

【担当課による評価の理由】

① 奨学金返還を支援することにより、町内定住につながりました。また、制度も徐々に認知されるようになりました。

今後の取り組みの方向

① 本補助金が町内定住のきっかけになるよう移住定住担当課とも連携し、継続して周知を図っていく必要があります。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	35	事業名	白鳳祭			会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	観光担当		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ④地産地消の促進により地域の中で経済がまわる仕組みづくり 重点項目 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	6,000	5,780	0	0	4,000	0	1,780	ふるさと未来夢基金繰入金4,000千円	

事業目的

まちの活性化を図るため、住民参加による白鳳祭の運営支援を行います。

事業の
主な
実施状況

① 4年ぶりに開催された第30回記念白鳳祭の運営に対する補助金を交付しました。

項目	内容
日時	・8月6日(日)16時00分～20時30分
場所	・東伯総合公園
内容	・大抽選会 ・Paix²(ペペ)コンサート ・逢東盆踊り ・ことら音頭 ・白鳳太鼓 ・たいまつ行列 ・レーザーライト花火ショー
集客数	・約5,000人
出店数	・19店舗



告知チラシ



大抽選会



Paix²(ペペ)コンサート



逢東盆踊り



白鳳太鼓



レーザーライト・花火ショー

担当課による評価

A 相当程度進展あり

事業目的
の
達成状況

【前年度課題の概要】

- ① 実施、運営に携わる住民の参画を更に促すため、実行委員会の活動を周知していく必要があります。
- ② 熱中症や事故等に対する安全の確保について、イベントの実施方法を模索する必要があります。

【前年度課題についての対応及び成果】

- ① 新たに若い町民の方が実行委員に加わりました。
- ② 熱中症対策のため、イベント当日、冷風ミストを設置しました。

【担当課による評価の理由】

- ① 文化芸能等における住民の活動再開のきっかけづくりや感染症等への安全対策について実行委員会で十分に協議することができました。
- ② TCC、YOUTUBEライブ配信等により、祭りを広く住民の方へ周知することができました。

今後の
取り組み
の方向

- ① 運営に携わる住民の参画をさらに促すため、実行委員会の活動を周知していく必要があります。
- ② 熱中症や事故等に対する安全の確保について、イベントの実施方法を模索する必要があります。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	215	事業名	観光振興事業		会計区分	一般会計				
担当課	商工観光課	担当係	観光担当	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続					
予算区分	款 6	商工費	項 1	商工費	目 3	観光費				
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			⑨グルメ×アウトドアによるコウラニューツーリズム						
重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和5年度	15,689	14,278	0	730	1,248	0	12,300	ふるさと未来夢基金繰入金 700千円 鳴り石の浜公衆トイレコインシャワー収入94千円 観光支援自動販売機電気料 454千円		

事業目的 「稼ぐ観光」をテーマとして観光振興により交流人口を増やし、地域経済の活性化を図ります。

事業の
主な
実施状況

① 琴浦町観光案内所運營業務委託料 4,954千円
観光情報発信を行うため、道の駅「琴の浦」の観光案内の運営を町観光協会に委託しました。

② 琴浦町観光協会補助金 788千円
観光振興を図るため、PRTIMESでの情報発信や観光PR商談会等を支援しました。



「ことうら観光情報」ネット活用発信



観光PR商談会 (イメージ写真)

③ グルメウォーク事業実施補助金 1,552千円 参加者214名
地域経済の活性化を目的に町のグルメ・観光・歴史をコラボしたウォーキングを実施しました。



告知チラシ



琴浦ととのうらフェスタ(同時開催)

④ 海岸線ステンレス・護岸看板修繕工事 1,084千円
老朽化した海岸線ステンレス・護岸看板を修繕しました。

修繕前



▶

修繕後



担当課による評価	A 相当程度進展あり						
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度課題の概要】</p> <p>① ポート赤碕のリニューアルと神崎神社等のPRが必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① まちなかへの流入を促すため、ポート赤碕のリニューアルと神崎神社等のPRを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の観光入り込み客数は前年比121%でした。 ・増加要因はコロナ禍からの回復です。 						
	<table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>町の観光入込客数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年</td> <td>690,448人</td> </tr> <tr> <td>令和5年</td> <td>837,705人</td> </tr> </tbody> </table>	年	町の観光入込客数	令和4年	690,448人	令和5年	837,705人
	年	町の観光入込客数					
令和4年	690,448人						
令和5年	837,705人						
<p>【担当課による評価の理由】</p> <p>① コロナ禍からの回復に向けて、ポート赤碕のリニューアルと神崎神社のPR等が効果がありました。</p> <p>神崎神社ツアー (R5.4~R6.3) : 110件 2,645名</p>							

今後の取り組みの方向



① ねんりんピックや万博へ向けた観光情報発信が必要です。

② インバウンド対策のため、GOOGLEMAPSを活用した情報発信が必要です。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	217	事業名	一向平キャンプ場の管理と清掃活動事業			会計区分	一般会計			
担当課	商工観光課		担当係	観光担当		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費	
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				⑨グルメ×アウトドアによるコトウラニューツーリズム					
重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					町債	一般財源	備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入					
令和5年度	18,487	18,280	0	146	0	13,100	5,034	過疎対策事業債13,100千円		

事業目的 観光誘客や中山間地域の振興を図るため一向平キャンプ場等の適切な管理を行います。

事業の 主な 実施状況	<p>① 一向平キャンプ場指定管理委託料 3,000千円 指定管理者の効果的な情報発信によりサウナの利用者が増加しています。 ・指定管理者: 株式会社一向平キャンプ場 ・指定管理期間: 令和2年度～令和6年度 ▼キャンプ利用実績(件)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>86</td><td>139</td><td>15</td><td>74</td><td>145</td><td>90</td><td>51</td><td>29</td><td>5</td><td>/</td><td>/</td><td>15</td><td>649</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>39</td><td>128</td><td>28</td><td>72</td><td>75</td><td>63</td><td>93</td><td>46</td><td>4</td><td>/</td><td>/</td><td>5</td><td>553</td> </tr> </tbody> </table> <p>▼サウナ実績(人) 男性 1,434人(76.0%) 女性 453人(24.0%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>130</td><td>245</td><td>173</td><td>222</td><td>231</td><td>178</td><td>173</td><td>169</td><td>44</td><td>/</td><td>/</td><td>74</td><td>1,639</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>168</td><td>216</td><td>207</td><td>243</td><td>356</td><td>270</td><td>231</td><td>156</td><td>40</td><td>/</td><td>/</td><td>62</td><td>1,949</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 一向平キャンプ場森林体験・交流センター屋根修繕工事 13,199千円 森林体験・交流センター屋根の雨漏りを修繕しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>森林体験・交流センター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>修繕前</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>修繕後</p> </div> </div>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和4年度	86	139	15	74	145	90	51	29	5	/	/	15	649	令和5年度	39	128	28	72	75	63	93	46	4	/	/	5	553		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	令和4年度	130	245	173	222	231	178	173	169	44	/	/	74	1,639	令和5年度	168	216	207	243	356	270	231	156	40	/	/	62	1,949
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																								
令和4年度	86	139	15	74	145	90	51	29	5	/	/	15	649																																																																								
令和5年度	39	128	28	72	75	63	93	46	4	/	/	5	553																																																																								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																								
令和4年度	130	245	173	222	231	178	173	169	44	/	/	74	1,639																																																																								
令和5年度	168	216	207	243	356	270	231	156	40	/	/	62	1,949																																																																								

事業目的の 達成状況	<p style="text-align: center;">担当課による評価</p> <p style="text-align: right;">A 相当程度進展あり</p> <p>【前年度課題の概要】</p> <p>① 森林体験・交流センター雨漏りの修繕が必要です。 ② 一向平キャンプ場利用者にまちなかを巡ってもらう取組が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 森林体験・交流センターの雨漏りを修繕しました。 ② 指定管理者によりネイチャーサウナページの充実や宿泊付きサウナプランも導入し、民間ノウハウを発揮しています。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>① キャンプについては、週末の悪天候が多かったため、利用者数が減少しています。 しかし、サウナは昨年対比115%と増加するとともに、町内の飲食店や地元との連携は進んでいます。 現地にて県内産の食材を楽しめるテロワールキャンププランを導入しました。</p>
---------------	---

今後の 取り組み の方向	① ネイチャーサウナとして水の良さを活かして利用者の増加を図るため、水風呂の設置を行います。
--------------------	--

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	407	事業名	船上山管理運営			会計区分	一般会計								
担当課	商工観光課		担当係	観光担当		事業区分	□新規 ■継続								
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費						
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ⑨グルメ×アウトドアによるコトウラニューツーリズム														
重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり														
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源								
令和5年度	3,058	2,841	0	0	269	0	2,572	船上山万本桜公園整備 基金繰入金264千円 茶園原休憩所余剰電力 販売料5千円							
令和5年度(明許)	231	177	0	0	0	0	177								
事業目的	観光誘客や中山間地域の振興を図るため船上山の諸施設の適切な管理を行います。														
事業の 主な 実施状況	<p>① 万本桜復活戦略事業委託料 264千円 万本桜公園内の桜の適切な維持管理を行いました。</p>  <p>さくらの里</p> <p>② 船上山トイレ管理委託料 875千円 船上山公衆トイレ等の清潔を保持するため、地元団体へ清掃を委託しました。</p>  <p>船上山山頂休憩所の清掃</p>  <p>船上山登山道の整備</p>														
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			B 進捗が大きい											
	<p>【前年度課題の概要】</p> <p>① 山頂までの登山道やトイレの適切な維持管理が必要となっています。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 登山道、トイレの清掃、維持に努めました。 ② 利用者数(船上山少年自然の家利用者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>観光入込客数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年</td> <td>10,409人</td> </tr> <tr> <td>令和5年</td> <td>15,503人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>① 例年どおり、船上山に関する維持管理を行いました。</p>									年	観光入込客数	令和4年	10,409人	令和5年	15,503人
年	観光入込客数														
令和4年	10,409人														
令和5年	15,503人														
今後の 取り組み の方向	<p>① 琴浦アルプスの一角を担う船上山におけるアウトドア体験等をさらに推進します。 ② 引き続き、民間による「さくらの里」の有効活用を模索していきます。</p>														

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	408	事業名	道の駅ポート赤碕運営管理			会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課	担当係	観光担当			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款 6	商工費	項 1	商工費	目 3	観光費			
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ⑧道の駅を核とした周遊促進と観光消費の拡大 重点項目 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	3,060	2,948	0	0	2,919	0	29	ポート赤碕物産館使用料 2,919千円	
令和5年度(明許)	11,700	11,700	0	0	0	11,000	700	過疎対策事業債11,000 千円	

事業目的 観光振興及び地域の活性化を図るため、道の駅ポート赤碕の適切な管理を行います。

事業の
主な
実施状況

① ポート赤碕運営負担金 2,136千円
道の駅施設やトイレ清掃など適切な維持管理を行いました。

② ポート赤碕内通路リニューアル工事 11,700千円
ポート赤碕内通路をリニューアルしました。



リニューアル前



リニューアル後

② ポート赤碕リニューアルオープンイベント
道の駅の事業者と連携し、ポート赤碕リニューアルオープンイベントを開催しました。



担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度課題の概要】

① 各店舗のリニューアルなどと連携したイベント実施や広報の強化を図ることが必要です。

【前年度課題についての対応及び成果】

① ポート赤碕観光客入込客数
コロナ禍からの回復により、地元密着の店舗として来場者数は約38万人でした。

年	観光入込客数
令和4年	330,967人
令和5年	376,862人

② 令和5年4月のたご公園等のリニューアルオープンに際して、店舗等と連携したイベントを行いました。

【担当課による評価の理由】

① たご公園や赤碕町漁協のリニューアルと連携し、ポート赤碕内通路をリニューアルしました。

今後の
取り組み
の方向

① 各店舗のリニューアルなどと連携したイベント実施や広報の強化をさらに推進することが必要です。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1079	事業名	道の駅琴の浦管理運営事業			会計区分	一般財源		
担当課	商工観光課		担当係	観光担当		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				⑧道の駅を核とした周遊促進と観光消費の拡大				
重点項目	次世代につながる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	7,079	6,818	0	0	914	0	5,904	物産館ことうら利益還元納付金914千円	

事業目的 観光振興及び地域の活性化を図るため、道の駅琴の浦の適切な管理を行います。

事業の
主な
実施状況

- ① 道の駅琴の浦清掃委託料 4,479千円
道の駅「琴の浦」を適切に維持管理運営を行いました。
公衆トイレの清掃を1日2回実施し、清潔な状態を保ちました。
- 

道の駅琴の浦外観



道の駅琴の浦公衆トイレ
- ② 物産館ことうら運営基金積立金 914千円
物産館ことうらの指定管理者である株式会社ことうらから令和4年度分の利益還元納付金を受け、今後の修繕等に備えるため物産館ことうら運営基金に積み立てました。
- 

琴浦うまいもんや



和星水産

担当課による評価

A 相当程度進展あり

事業目的
の
達成状況

- 【前年度課題の概要】**
- ① 物産館ことうらにおいて、さらなる情報発信の強化、定期的なイベントの開催が必要です。
 - ② 道の駅琴の浦からまちなかへ誘導する仕組みづくりが必要です。
- 【前年度課題についての対応及び成果】**
- ① 定期的なイベント、情報発信による認知度がアップしました。
 - ② 物産館ことうらリニューアルに伴い、来場者数が大幅に増加しました。
- | 年 | 観光入込客数 |
|------|----------|
| 令和4年 | 248,972人 |
| 令和5年 | 336,527人 |

【担当課による評価の理由】

- ① 物産館ことうらリニューアルとコロナ禍からの回復により大幅に入込客・売上が増加しました。

今後の
取り組み
の方向

- ① 物産館ことうらにおいて、指定管理者が中心となり土産物・飲食販売の強化が必要です。
- ② 道の駅琴の浦の観光案内所と連携した情報発信の強化が必要です。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1142	事業名	旧中井旅館管理運営事業			会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	観光担当		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ⑨グルメ×アウトドアによるコトウラニューツーリズム								
重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	736	678	0	0	19	0	659	旧中井旅館使用料 19千円	

事業目的 地域住民の交流促進及び観光振興を図ります。

事業の
主な
実施状況

① 施設の維持管理、運営を行いました。

・年間利用者数

令和5年度	887人
-------	------

町内利用団体名	利用内容
八橋一步の会	役員会・総会
八橋若衆会	会議
琴浦こども塾	語琵琶音による紙芝居
八橋小学校	遠足(立ち寄り所)
夢現の風	展示会
ハートクラブ	認知症予防教室
語琵琶音	紙芝居、琵琶演奏

② 経年劣化に伴う施設の修繕を行いました。467千円

・北側塀屋根修繕



着工前



着工後

担当課による評価

B 進展が大きくない

事業目的
の
達成状況

【前年度課題の概要】

① 施設の老朽化が進み、小規模な修繕が生じています。

【前年度課題についての対応及び成果】

① 施設の修繕を実施しました。

【担当課による評価の理由】

① 地域団体の活動の場として利用されました。

今後の
取り組み
の方向

① 施設の適切な維持管理を行います。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1395	事業名	地方創生推進交付金事業(観光)			会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	観光担当		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ⑨グルメ×アウトドアによるコトウラニューツーリズム								
重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	5,259	5,157	2,578	0	0	0	2,579		

事業目的 「稼ぐ観光」をテーマとして観光振興により交流人口を増やし地域経済の活性化を図ります。

事業の
主な
実施状況

- ① 大山山麓・日野川流域観光推進協議会負担金 1,403千円
大山山麓・日野川流域観光推進協議会において、各種広域観光事業を実施しました。
- | NO | 主な実施項目 | 実施内容 |
|----|--------------------|--|
| 1 | 大山山麓の謎解き宝探し | 圏域で謎解きと宝探しを楽しんでもらいながら、観光客等が地域を周遊するデジタルスタンプラリーを行いました。
・施設 道の駅琴の浦 他
・参加者数 16,432人
・実施期間 R5.7.29～11.30 |
| 2 | 「田舎で泊まろう！(農泊)」広域推進 | 琴浦町モニターツアーとして、フォレストウォーク、豆腐作り体験等を実施しました。
・実施時期 R5.11月(1泊2日)
・参加人数:4名(イギリス人・アメリカ人 他) |
- ② 広域観光連携推進事業負担金(中部ふるさと広域連合) 3,754千円
鳥取中部ふるさと広域連合が鳥取中部観光推進機構に委託し、各種広域観光事業を実施しました。
- | NO | 主な実施項目 | 実施内容 |
|----|--------------------------------|--|
| 1 | 地域と一体となった観光地の再生・観光サービス高付加価値化事業 | コロナ禍からの観光のV字回復を図るため、中部市町で連携した施設の改修等を行いました。
・町内宿泊施設 1件 |
| 2 | 観光再始動事業 癒しの旅プランモニターツアー | 魅力ある観光商品を造成するため、県中部で連携したモニターツアーを実施しました。
・時期 R5.12.12～12.14
・立寄 石見会館 道の駅琴の浦 |

担当課による評価

A 相当程度進展あり

事業目的
の
達成状況

- 【前年度課題の概要】
- ① 単町では実施が難しいインバウンド誘客対策や三朝温泉等との広域連携の強化が必要です。
- 【前年度課題についての対応及び成果】
- ① コロナ禍からの回復やインバウンド対策、県中部の連携により、県中部の観光入込客は増加しました。
- ▼鳥取中部(6エリア)年間観光入込客数
- | 年 | 年間入込客 |
|------|-------|
| 令和4年 | 499万人 |
| 令和5年 | 526万人 |

【担当課による評価の理由】

- ① 国庫補助金を活用した宿泊施設の改修やインバウンド誘客対策事業等の効果がありました。

今後の
取り組み
の方向

- ① 単町では実施が難しいインバウンド誘客対策や中部市町で連携した観光商品の造成が必要です。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1567	事業名	地域おこし協力隊活動事業(商工観光課)		会計区分	一般会計		
担当課	商工観光課		担当係	商工担当		事業区分	□新規 ■継続	
予算区分	款	6 商工費	項	1 商工費	目	3 観光費		
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				⑨グルメ×アウトドアによるコトウラニューツーリズム			
重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	2,337	1,441	0	0	0	0	1,441	

事業目的 観光情報の発信やアウトドアツーリズムの振興を図るため、2名の地域おこし協力隊にかかる活動経費です。

- ① 地域おこし協力隊(観光情報発信:前田桃子氏)
観光情報の発信を図るため、チラシやSNS等の作成を行いました。



Instagram投稿
投稿58/フォロー300人増



ホート赤碓通路のデザイン

事業の
主な
実施状況

- ② 地域おこし協力隊(アウトドアツーリズム:吉野亜紀氏)
アウトドアツーリズムの振興を図るため、各種研修受講やイベント開催等を行いました。



ウイスキー講習会



以西公民館主催のイベントに参加

担当課による評価

A 相当程度進展あり

事業目的
の
達成状況

【前年度課題の概要】

- ① 地域おこし協力隊の活動を町民の方に知ってもらうことが必要です。

【前年度課題についての対応及び成果】

- ① TCC等を活用して、地域おこし協力隊の活動自体をPRしました。
② 地区公民館などでの地域イベントに積極的に参加しました。

【担当課による評価の理由】

- ① SNS等を通じた観光情報の発信を強化できました。

今後の
取り組み
の方向

- ① 卒業後も地域おこし協力隊が町内で活躍できるよう支援していく必要があります。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	25	事業名	八橋ふれあいセンター管理			会計区分	一般会計						
担当課	商工観光課		担当係	商工担当		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
予算区分	款	6	商工費	項	1	商工費	目	4	地域振興費				
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				②誰でも参加できる居場所づくり・生きがいづくり								
	重点項目	—											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源						
令和5年度	1,473	1,456	0	0	0	0	1,456						
事業目的	地域住民の交流等を図るため、維持管理を行います。												
事業の 主な 実施状況	<p>① 八橋ふれあいセンター指定管理委託料 755千円 指定管理者制度により、施設の適切な管理運営を行いました。 指定管理者:やばせ振興会 ・施設、備品等の維持管理 ・施設内外の清掃 ・施設利用申請の受付、許可等の事務</p> <p>施設利用者数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>令和4年度</td> <td>3,155人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>3,223人</td> </tr> </table>									令和4年度	3,155人	令和5年度	3,223人
	令和4年度	3,155人											
令和5年度	3,223人												
	<p>② 八橋ふれあいセンター屋根瓦修繕 220千円 経年劣化で破損した屋根瓦の修繕を行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>着工前</p>  </div> <div style="font-size: 2em; color: #4f81bd;">➤</div> <div style="text-align: center;"> <p>着工後</p>  </div> </div>												
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				B 進展が大きくない								
	<p>【前年度課題の概要】</p> <p>① 施設の老朽化が進み、小規模な修繕が生じています。</p>												
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 修繕を行い、施設の維持に努めました。</p>												
今後の 取り組み の方向	<p>【担当課による評価の理由】</p> <p>① 地域住民が継続的に利用されており、地域住民の交流の場となっています。</p>												
	<p>① 八橋地域の振興拠点として引き続き施設の利用促進を図ります。</p>												

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	415	事業名	日韓友好交流公園管理運営		会計区分	一般会計			
担当課	商工観光課	担当係	商工担当	事業区分	□新規		■継続		
予算区分	款 6	商工費	項 1	商工費	目 4	地域振興費			
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				⑧道の駅を核とした周遊促進と観光消費の拡大				
	重点項目	次世代につながる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	3,567	2,905	0	0	0	0	2,905		

事業目的

資料館の展示物等を通して韓国との交流の歴史などを広く知っていただくことで韓国との友好を深めるきっかけとします。また、公園は町民や観光客の憩いの場、ふれあいの場として利用していただきます。

事業の
主な
実施状況

- ① 日韓友好交流公園管理委託料 800千円
施設の維持管理、交流公園内の芝、植栽の管理を適切に行いました。



- ② 日韓友好資料館企画運営委員会補助金 79千円
グルメめぐるウォークのイベント時に韓国の伝統的な楽器を使ったワークショップを開催し、韓国の魅力と日韓友好資料館及び風の丘のPRをしました。



担当課による評価

B 進展が大きくない

事業目的
の
達成状況

【前年度課題の概要】

- ① リピーターの獲得に向け、情報発信を強化します。

【前年度課題についての対応及び成果】

- ① アフターコロナとなり、来場者は少しずつ回復しています。

年度	年間入込客
令和3年度	2,821人
令和4年度	5,420人
令和5年度	5,610人

【担当課による評価の理由】

- ① 資料館雨漏り修繕や公園の管理など、施設の維持管理に努めました。
② 今後の施設の利活用に向けて、サイクリングの拠点となるよう模索しました。

今後の
取り組み
の方向

- ① 施設の維持のため、外観の補修を検討します。
② 今後の施設に利活用として、サイクリングの拠点となるような取組が必要です。

所属名称：税務課

[単位：千円]

会計 款-項-目 事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
一般会計				
税務課				
2.総務費				
2.徴税費				
2.賦課徴収費				
評価事務	4,225	4,111	6-1	
課税事務	18,192	17,364	6-2	
徴収事務	17,185	15,952	6-3	
5.農林水産業費				
1.農業費				
6.地籍調査事業費				
国土地籍調査事業	12,265	12,098	6-4	
住宅新築資金等貸付事業特別会計				
住宅新築資金等貸付事業	8,066	2,621	6-5	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1257	事業名	評価事務			会計区分	一般会計																																
担当課	税務課	担当係	評価係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																		
予算区分	款	2	総務費	項	1	徴税费	目	2	賦課徴収費																														
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり																																						
	重点項目	—																																					
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																															
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																
令和5年度	4,225	4,111	0	0	17	0	4,094	農業投資価格調査手数料17千円																															
事業目的	固定資産税の適正かつ均衡のとれた評価と課税を行います。 現地調査を行い、課税台帳を整備します。																																						
事業の 主な 実施状況	① 固定資産税(土地・家屋・償却資産)の適正かつ均衡のとれた評価と課税を行いました。																																						
	<ul style="list-style-type: none"> 土地の状況と推移 各年とも1月1日現在(概要調書より抜粋) 																																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項 目</th> <th style="width: 15%;">H31</th> <th style="width: 15%;">R02</th> <th style="width: 15%;">R03</th> <th style="width: 15%;">R04</th> <th style="width: 15%;">R05</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納税義務者(人)</td> <td>9,484</td> <td>9,439</td> <td>9,435</td> <td>9,405</td> <td>9,343</td> </tr> <tr> <td>総地積面積(m²)</td> <td>61,811,903</td> <td>61,943,158</td> <td>62,359,924</td> <td>62,256,755</td> <td>62,353,274</td> </tr> <tr> <td>総評価額(千円)</td> <td>41,213,813</td> <td>41,423,173</td> <td>40,214,240</td> <td>40,373,495</td> <td>40,537,131</td> </tr> <tr> <td>評価総筆数</td> <td>64,316</td> <td>63,934</td> <td>63,044</td> <td>62,927</td> <td>62,805</td> </tr> </tbody> </table> <p>※地籍調査により、総地積面積が増加しました。</p>									項 目	H31	R02	R03	R04	R05	納税義務者(人)	9,484	9,439	9,435	9,405	9,343	総地積面積(m ²)	61,811,903	61,943,158	62,359,924	62,256,755	62,353,274	総評価額(千円)	41,213,813	41,423,173	40,214,240	40,373,495	40,537,131	評価総筆数	64,316	63,934	63,044	62,927	62,805
	項 目	H31	R02	R03	R04	R05																																	
納税義務者(人)	9,484	9,439	9,435	9,405	9,343																																		
総地積面積(m ²)	61,811,903	61,943,158	62,359,924	62,256,755	62,353,274																																		
総評価額(千円)	41,213,813	41,423,173	40,214,240	40,373,495	40,537,131																																		
評価総筆数	64,316	63,934	63,044	62,927	62,805																																		
<ul style="list-style-type: none"> 家屋の状況と推移 各年とも1月1日現在(概要調書より抜粋) 																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項 目</th> <th style="width: 15%;">H31</th> <th style="width: 15%;">R02</th> <th style="width: 15%;">R03</th> <th style="width: 15%;">R04</th> <th style="width: 15%;">R05</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納税義務者(人)</td> <td>8,450</td> <td>8,373</td> <td>8,341</td> <td>8,309</td> <td>8,255</td> </tr> <tr> <td>総延べ床面積(m²)</td> <td>2,187,395</td> <td>2,185,294</td> <td>2,179,701</td> <td>2,179,164</td> <td>2,177,768</td> </tr> <tr> <td>総評価額(千円)</td> <td>31,302,747</td> <td>31,863,943</td> <td>30,669,947</td> <td>31,025,058</td> <td>31,375,834</td> </tr> <tr> <td>評価総棟数</td> <td>19,770</td> <td>19,680</td> <td>19,548</td> <td>19,526</td> <td>19,493</td> </tr> </tbody> </table> <p>※住宅の新築により総評価額が増加しました。一方で取り壊される家屋も増加していますが、取り壊された家屋は評価額が低いものが多いため、大きな下落要因となっていません。</p>									項 目	H31	R02	R03	R04	R05	納税義務者(人)	8,450	8,373	8,341	8,309	8,255	総延べ床面積(m ²)	2,187,395	2,185,294	2,179,701	2,179,164	2,177,768	総評価額(千円)	31,302,747	31,863,943	30,669,947	31,025,058	31,375,834	評価総棟数	19,770	19,680	19,548	19,526	19,493	
項 目	H31	R02	R03	R04	R05																																		
納税義務者(人)	8,450	8,373	8,341	8,309	8,255																																		
総延べ床面積(m ²)	2,187,395	2,185,294	2,179,701	2,179,164	2,177,768																																		
総評価額(千円)	31,302,747	31,863,943	30,669,947	31,025,058	31,375,834																																		
評価総棟数	19,770	19,680	19,548	19,526	19,493																																		
<ul style="list-style-type: none"> 償却資産の状況と推移 各年とも1月1日現在(概要調書より抜粋) 																																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項 目</th> <th style="width: 15%;">H31</th> <th style="width: 15%;">R02</th> <th style="width: 15%;">R03</th> <th style="width: 15%;">R04</th> <th style="width: 15%;">R05</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>納税義務者(人)</td> <td>1,822</td> <td>1,839</td> <td>1,822</td> <td>1,817</td> <td>1,804</td> </tr> <tr> <td>課税標準額(千円)</td> <td>14,025,814</td> <td>14,183,604</td> <td>13,138,710</td> <td>14,685,855</td> <td>14,073,533</td> </tr> </tbody> </table> <p>※減価償却により、課税標準額が減少しました。</p> <p>各資産について、免税点未満(課税免除分)も含まれます。 免税点の基準(各課税標準額:土地30万円 家屋20万円 償却資産150万円)</p>									項 目	H31	R02	R03	R04	R05	納税義務者(人)	1,822	1,839	1,822	1,817	1,804	課税標準額(千円)	14,025,814	14,183,604	13,138,710	14,685,855	14,073,533													
項 目	H31	R02	R03	R04	R05																																		
納税義務者(人)	1,822	1,839	1,822	1,817	1,804																																		
課税標準額(千円)	14,025,814	14,183,604	13,138,710	14,685,855	14,073,533																																		
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				B 進捗が大きい																																		
	【前年度の課題の概要】																																						
	① 償却資産の申告漏れ調査は、令和4年度までは青色申告(紙申告)について調査を行っていましたが、調査範囲を拡大し、法人や電子申告に対しても調査範囲を広げます。さらには新規法人、新規個人についても調査の余地があるため、倉吉税務署と協議を行い調査方法について検討を行います。 ③ 家屋外形図マップについて、継続作成、効率の良い登録方法を検討し、引き続き、年間進捗率の向上を目指します。																																						
	【前年度課題についての対応及び成果】																																						
今後の 取り組み の 方向	① 税務調査に基づく申告漏れの指摘により、課税額が4,452千円(前年1,973千円)の増加となりました。調査方法については、倉吉税務署と連携、他市町村と情報共有を行い、ノウハウを蓄積しています。 ③ 進捗率は3.05ポイント増加の36.54%となりました。																																						
	【担当課による評価の理由】																																						
	償却資産の申告漏れ調査においては、調査ノウハウを蓄積しており、課税額として数字に表れている。一方で、家屋外形図マップの作成においては、進捗率が伸びておらず、調査方法の改善が必要であるため。																																						
①償却資産申告漏れ調査の方法の検討・拡大を行います。やみくもに調査範囲を拡大するのではなく、効率のよい方法を模索します。 ②課税漏れ家屋の発見するためのツールである家屋外形図マップの作成については、引き続き、効率のよい登録方法を模索し、年間進捗率を向上させます。																																							

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1258	事業名	課税事務		会計区分	一般会計		
担当課	税務課		担当係	課税係	事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	2	総務費	項	2	徴税費	目	
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				2	賦課徴収費		
重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	18,192	17,364	0	0	3	0	17,361	軽自標識紛失弁償金2.7千円

事業目的 地方税法並びに関係法令に基づく適正な賦課を行い、自主財源の確保を図ります。


事業の
主な
実施状況

【令和5年度 現年賦課分】 (円)

科目	R5調定済額	R5収入済額	R4収入済額	R3収入済額
個人町民税	575,897,559	571,100,246	572,826,047	564,760,364
法人町民税	83,963,000	84,076,200	79,064,500	94,922,400
固定資産税	900,823,200	890,157,414	890,862,496	839,749,269
軽自動車税	72,288,000	71,747,539	70,394,763	68,482,600
たばこ税	96,346,458	96,346,458	99,024,708	98,188,618
合計	1,729,318,217	1,713,427,857	1,712,172,514	1,666,103,251
国民健康保険税	370,598,000	358,464,064	381,522,943	366,353,183
介護保険料	410,518,750	409,957,050	409,279,080	407,249,229
後期高齢者医療保険料	195,796,800	196,016,000	184,758,500	159,052,021

【令和5年分確定申告実績】 申告相談会場：保健センター
日程：令和6年2月16日～3月15日 土日祝日を除く 19日間

	来庁者数	受付申告数	所得税申告	住民税申告	自主申告
令和5年	1,561人	2,187件	1,619件	568件	38件
令和4年	1,612人	2,251件	1,683件	568件	47件
令和3年	1,616人	2,275件	1,701件	574件	51件



事業目的
の
達成状況

担当課による評価	A 相当程度進展あり
<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 基幹業務システムの標準化にむけた課税通知書等の様式変更など検討します。</p> <p>② 申告、納税等のデジタル化による利便性の向上を図るとともに、インターネットの利用が得意でない人を取り残さないように努めます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 基幹業務システムの標準化に向けたシステム改修についてベンダーとの調整を順次進めており、引き続き検討を進めます。</p> <p>② 地方税お支払いサイト(eLTAX)を利用した納税に固定資産税と軽自動車税を追加し利便性の向上を図りました。確定申告会場を設置し税申告相談を実施しました。住民税申告については12月から町報などで周知し申告を促しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>業務システムの標準化については、引き続き検討をしていきます。また、確定申告については例年どおり申告会場設置や予約システムの活用により混雑なく遂行できたものと判断し、A相当程度進展ありと評価しました。</p>	

今後の
取り組み
の
方向

- ・例年どおり確定申告会場を設置し申告相談を受け付けます。また、スマホ申告推奨のため税務署と合同の説明会を予定しており、自主申告の推進を図ります。
- ・基幹業務システムの標準化に向けたシステム改修について、ベンダーとの調整を引き続き進めていきます。
- ・事務の効率化を図るため、住民税申告におけるRPA活用の検討を行います。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1259	事業名	徴収事務		会計区分	一般会計		
担当課	税務課	担当係	徴収係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款 2	総務費	項 2	徴税費	目 2	賦課徴収費		
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				—			
	重点項目	—						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	17,185	15,952	0	0	0	0	15,952	

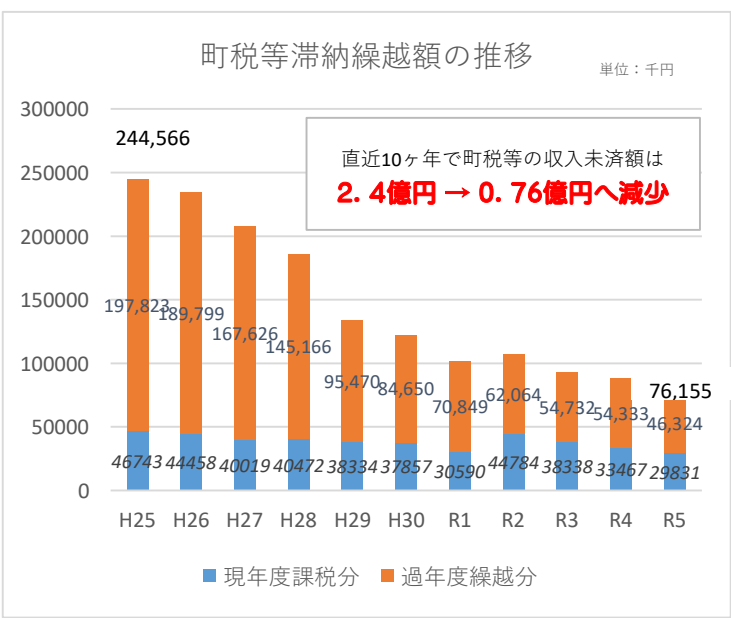
事業目的 税等収入並びに町民負担の公平性の確保

[財産調査]
 預金、給与、保険 1,255 件
 家宅搜索実施 6件

[滞納処分]
 差押処分 123件(債権105件)
 公売(動産21件)

	R2	R3	R4	R5
調査	2,205	672	2,352	1,255
差押	82	51	110	123

[徴収委託]
 委託状況
 合計:91人 35,679,234 円



徴収状況
 徴収額 22,673,377円(本税18,107,120円、延滞金4,566,257円)
 中部ふるさと広域連合への負担金(滞納整理) 15,244,000円

	R2	R3	R4	R5
徴収額(延滞金含)	19,120,354	14,145,633	23,631,166	22,673,377
負担金(滞納整理)	12,074,000	11,978,000	13,267,000	15,244,000
差引	7,046,354	2,167,633	10,364,166	7,429,377

事業の
主な
実施状況

担当課による評価 A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

- ① 現年度徴収に力を入れ、新たな滞納を増やさないことが重要です。
- ② 滞納整理(財産調査、差押、執行停止等)の早期着手・早期完納に導くことが大切です。滞納繰越調定額を92,700千円まで減らします。

【前年度課題についての対応及び成果】


- ① 給与照会や預貯金などの財産調査と差押えを実施しました。
- ② 納税交渉の成果として、滞納繰越額は76,155千円でした。(前年度比△11,645千円)

【担当課による評価の理由】
 徴収率は、前年度より上昇を維持しました。
 ○町税滞納繰越額7460千円減少、現年分徴収率0.15%増加⇒軽自動車税現年徴収率99.0%以上
 ○国保税現年分徴収率0.08%増加、滞納繰越分6.29%増加⇒国保現年徴収率96.73%で国庫補助金増額

今後の取り組みの方向

これまでの取り組みの更なる徹底と再検証、職員研修による専門スキルの向上などによる徴収体制の強化等の推進を図ることで、徴収率の向上と滞納繰越額の減少を目指します。
 県内中間値の町村の現年度徴収率99.4%を目標とする。【R5実績99.1%、R4実績98.9%】
 口座振替を積極的に推進するとともに、過誤納金還付事務の効率化を図ります。
 AI-OCRの活用などで事務処理の効率化を図ります。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	191	事業名	国土地籍調査事業			会計区分	一般会計		
担当課	税務課	担当係	地籍調査係			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款 5	農林水産業費	項 1	農業費		目 6	地籍調査事業費		
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理				
重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	12,265	12,098	5,264	2,632	0	0	4,202		
事業目的	国土調査法(昭和26年制定)に基づく第7次国土調査事業十箇年計画(R2~R11)により調査を実施し、地籍図及び地籍簿を整備します。また、登記完了後は地籍データを管理し、土地財産の保全を図ります。 琴浦町調査対象面積:121.68km ² (全町面積139.97km ² から国有林及び公有水面を除く)								
事業の 主な 実施状況	① 一筆地調査(現地調査)及び測量を実施しました。(1年目工程の実施)								
	調査地区		行政区等		計画区域面積 (km ²)	換算面積[R5実 施工分](km ²)	筆数		
大字佐崎、太一垣、西宮の各一部		佐崎、国主、太一垣、西宮周辺の林地部		0.15	0.11	126			
				現地調査の様子 (佐崎周辺の林地)		地権者数		現地調査日数	
						27名		8日	
② 地籍図・地籍簿作成及び閲覧を実施しました。(2年目工程の実施)									
調査地区		行政区等		計画区域面積 (km ²)	換算面積[R5実 施工分](km ²)	筆数			
大字佐崎、太一垣、西宮、中村の各一部		佐崎、国主、太一垣、西宮、中村周辺の林地部		0.35	0.08	169			
				閲覧の様子 (佐崎・太一垣・国主周辺の林地)		地権者数		閲覧確認	
						66名		100%	
担当課による評価					A 相当程度進展あり				
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ① 事業の進捗率を上げるため、新たな手法(航空レーザー測量データ等を活用した調査)導入の検討								
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 新たな手法(航空レーザー測量データ等を活用した調査)導入にあたっては、課題があり、情報収集や業者への聞き取り等行った <新手法導入の課題> ・地域住民(地権者)の理解及び同意 ・新手法導入について、調査方法の理解・歩係(積算条件)の整理 ・国・県の補助対象とするため、補助対象の整理や国・県への申請準備								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 予定どおり、円滑に事業の進捗ができた。 地籍調査実施進捗率44.6%であり、進捗率を上げていくため、新たな手法(航空レーザー測量データ等を活用した調査)の導入のため情報収集・検討を進めた。								
	・計画的に、国の認証承認を受け法務局へ送付します。 ・今後の調査区域が山奥の急傾斜地が多くなるため、新たな手法(航空レーザー測量データ等を活用した調査)導入について、先行自治体に聞き取り・地元説明(意向確認)を行い実施に向けて準備します。								

令和 5 年度事業成果説明書 兼 評価書																							
事業番号	469	事業名	住宅新築資金等貸付事業(事業費)			会計区分	住宅新築資金等貸付金特別会計																
担当課	税務課		担当係	徴収係		事業区分	□新規 ■継続																
予算区分	款	1	資金貸付事業費	項	1	資金貸付事業費	目	1	資金貸付事業費														
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり					—																	
	重点項目	—																					
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)															
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																
令和5年度	8,066	2,621	0	260	2,361	0	0	貸付金元利収入金 10,142千円 前年度繰越金 3,873千円															
事業目的	生活環境改善のため住宅新築等に必要な資金の貸付を行った事業で、現在は償還事務のみ行っています。																						
事業の主な実施状況	<p>○町の方針として、令和8年度末までに債務整理を完了する目標を立てました。</p> <p>○個別の状況を詳細に把握するため、下記の事項を実施しました。 ・土地、建物の登記確認 ・債務承認書、調査同意書の回収(本人・相続人・保証人) ・調査同意書に基づく預金調査 ・他社の抵当権による債権現在額調査 ・生活保護照会</p> <p>○保証人への交渉等希薄であったため、保証人に対して、債務者だけでなく保証人にも返済義務があること、債務者へ早期に返済を促すよう通知、交渉等を行いました。</p> <p>○令和5年度までは特別会計で運用していましたが、債務整理にあたり必要な経費を確保するため、令和6年度からは一般会計に引き継いで執行します。</p> <div style="text-align: center;"> <p>住宅新築資金等貸付事業 債務者の未返済残高</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>未返済残高 (万円)</th></tr> <tr><td>R1</td><td>13,971</td></tr> <tr><td>R2</td><td>13,182</td></tr> <tr><td>R3</td><td>12,976</td></tr> <tr><td>R4</td><td>12,827</td></tr> <tr><td>R5</td><td>11,813</td></tr> <tr><td>R6 (予定)</td><td>10,813</td></tr> </table> </div>									年度	未返済残高 (万円)	R1	13,971	R2	13,182	R3	12,976	R4	12,827	R5	11,813	R6 (予定)	10,813
年度	未返済残高 (万円)																						
R1	13,971																						
R2	13,182																						
R3	12,976																						
R4	12,827																						
R5	11,813																						
R6 (予定)	10,813																						
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり																			
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>①少額分納者、不定期分納者に対する、預金調査や財産調査の強化、返済額の償還交渉や競売等を行うか検討します。</p> <p>②一般会計への償還は、引き続き徴収努力を行い、繰出金の確保に努めます。</p> <p>③債権管理条例を制定し、徴収困難債権の処理基準を明確にして公正な債権管理を図ります。</p> <p>④根本的な解決に向け、他自治体を参考に、費用対効果を分析しつつ、債権回収業者への徴収委託が出来ないか模索していきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①完済者1名(残りの債務者数:30人、未返済残高:118,134,988円) 借受人や相続人(以下、借受人)及び保証人に対して、債務承認や調査同意を得ることに努め、保証人から借受人への返済催促や、借受人の返済努力により、令和5年度には10,142,228円の返済に至りました。 なお、弁護士相談を複数回行い、令和6年度から行う訴訟や競売等について、具体的に協議を重ねました。</p> <p>②一般会計への償還は、令和5年度に1,937,000円であり、年度末残高は15,653,600円となりました。令和8年度末までに完済予定です。</p> <p>③債権管理条例の制定はできませんでしたが、今後、私債権等マニュアルを改訂予定であり、徴収困難債権については、債権放棄など検討し整理します。</p>																						

<p>事業目的の達成状況</p>	<p style="text-align: center;">一般会計から借り入れた6,000万円の各年度末の償還状況</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>借入残高 (万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>5,981</td></tr> <tr><td>H25</td><td>5,740</td></tr> <tr><td>H26</td><td>5,402</td></tr> <tr><td>H27</td><td>4,785</td></tr> <tr><td>H28</td><td>4,010</td></tr> <tr><td>H29</td><td>3,513</td></tr> <tr><td>H30</td><td>3,193</td></tr> <tr><td>R1</td><td>2,945</td></tr> <tr><td>R2</td><td>2,412</td></tr> <tr><td>R3</td><td>2,008</td></tr> <tr><td>R4</td><td>1,759</td></tr> <tr><td>R5</td><td>1,565</td></tr> <tr><td>R6 (予定)</td><td>400</td></tr> </tbody> </table> <p>【担当課による評価の理由】 町の方針を決定し計画に沿って債権回収を実施しました。催告書の送付、面談交渉などで町の方針等説明し、具体的な返済計画の提示を一定の期限内に行ってもらいました。保証人とも直接交渉を行った結果、多くの債権を回収できました。</p>	年度	借入残高 (万円)	H24	5,981	H25	5,740	H26	5,402	H27	4,785	H28	4,010	H29	3,513	H30	3,193	R1	2,945	R2	2,412	R3	2,008	R4	1,759	R5	1,565	R6 (予定)	400
年度	借入残高 (万円)																												
H24	5,981																												
H25	5,740																												
H26	5,402																												
H27	4,785																												
H28	4,010																												
H29	3,513																												
H30	3,193																												
R1	2,945																												
R2	2,412																												
R3	2,008																												
R4	1,759																												
R5	1,565																												
R6 (予定)	400																												
<p>今後の取り組みの方向</p>	<p>①町の債権回収方針を基に、引き続き弁護士相談を行い、財産調査や実態調査を行った結果も踏まえ、訴訟や担保不動産競売を行い債権回収を図ります。</p> <p>②具体的な分納計画を策定中の者に対し、毎月報告や窓口相談を行うよう指導し、具体性が無い返済計画は受け付けず再検討させるなど、毅然とした対応を行います。</p> <p>③一般会計への償還については、これまでは前年度決算剰余金の1/2以上を返済していましたが、令和6年度予算から一般会計に移行したことにより、剰余金の全額を返済に充てることが出来るため、早期に完済出来るよう努めます。(現状では令和8年度に完済予定。)</p>																												

会計 款-項目 事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
一般会計				
農林水産課				
2.総務費				
1.総務管理費				
11.新型コロナウイルス感染症対策費				
畜産経営緊急救済事業	47,500	34,911	7-1	
国営造成施設等電気価格高騰対策支援事業	831	831	7-2	
肥料価格高騰対策事業	17,964	3,791	7-3	
漁業者等電気価格高騰対策支援事業	200	200	7-4	
化学肥料低減定着促進事業	1,070	248	7-5	
5.農林水産業費				
1.農業費				
2.農業総務費				
一般事務	5,928	5,332	7-6	
3.農業振興費				
農業振興対策事業	32,814	28,210	7-8	
担い手育成対策事業	12,181	10,037	7-9	
野菜振興対策事業	33,431	29,010	7-11	
有害鳥獣対策事業	6,874	6,130	7-13	
果樹振興対策事業	107,168	62,534	7-14	
経営所得安定対策推進事業	4,728	4,231	7-16	
農業後継者育成対策事業	27,229	21,310	7-17	
農地中間管理事業	5,038	5,002	7-19	
農業研修事業	4,592	3,078	7-20	
スマート農業推進事業	26,250	19,322	7-21	
気象災害による農業施設等復旧対策事業	668	627	7-22	
4.畜産業費				
畜産振興対策事業	28,145	24,361	7-23	
5.農地費				
一般事務	9,015	6,784	7-24	
しっかり守る農林基盤整備事業	9,820	9,378	7-25	
県営ほ場整備幹線道路等事業費及び利子補給事業債務負担事業	45,119	45,118	7-26	
土地改良事業の推進	94,461	90,864	7-27	
国営かんがい排水事業	16,726	16,725	7-28	
ため池防災減災対策推進事業	45,119	23,983	7-29	
農地中間管理機構関連農地整備事業	15,704	10,076	7-30	
田越・笠見地区浸水対策事業	56,479	10,772	7-31	
日本型直接支払交付金事業	144,620	144,619	7-32	
農地耕作条件改善事業	14,307	11,796	7-33	
農村整備事業	27,573	25,937	7-34	
農業体質強化基盤整備促進支援事業	18,155	7,370	7-35	
2.林業費				
1.林業総務費				
一般事務	1,004	1,002	7-36	
2.林業振興費				
森林病虫害等防除事業	13,737	10,503	7-37	
林業振興対策事業	24,376	21,354	7-38	
森林整備促進事業	3,600	3,600	7-40	
3.水産業費				
1.水産業総務費				
水産業振興対策事業	51,809	27,361	7-41	
10.災害復旧費				
1.農林水産業災害復旧費				
1.現年発生農地災害復旧費				
現年発生農地災害復旧事業	6,342	1,141	7-43	
現年発生農地小災害復旧事業	800	770	7-44	
2.現年発生農業用施設災害復旧費				
現年発生農業用施設災害復旧事業	25,552	10,047	7-45	
現年発生農業用施設小災害復旧事業	1,425	1,395	7-46	
3.現年発生林道災害復旧費				
現年発生林道災害復旧事業	20	20	7-47	
現年発生林道小災害復旧事業	6,800	2,336	7-48	
5.過年発生農地災害復旧費				
過年発生農地災害復旧事業	7,379	7,015	7-49	
6.過年発生農業用施設災害復旧費				
過年発生農業用施設災害復旧事業	37,925	36,185	7-50	
12.諸支出金				
1.諸費				
1.国県支出金返納金				
国県支出金返納金	7,353	7,353		事務費
船上山発電所管理特別会計				
農林水産課				
1.電気事業費用				
1.営業費用				
1.水力発電費				
船上山小水力発電施設管理運営事業	20,054	19,979	7-51	
2.予備費				
1.予備費				
予備費	4,530	0		事務費

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1594	事業名	畜産経営緊急救済事業			会計区分	一般会計							
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	■新規 □継続							
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費					
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成													
	重点項目	—												
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)						
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源							
令和5年度	47,500	34,911	34,911	0	0	0	0							
事業目的	飼料価格・資材・燃料代などの高騰により、経営を圧迫している町内畜産農家に対し、生産組織等を通じて緊急的に支援を行うことにより畜産経営の維持・継続を図り事業廃業ゼロを目指します。													
事業の 主な 実施状況	酪農家に対し、大山乳業農業協同組合を通じて以下のとおり飼料価格の一部助成を行いました。 単位:円													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>畜産経営緊急救済事業(酪農経営支援) 34事業者 計 2,045頭</td> <td>260,981,264</td> <td>32,622,658</td> </tr> </tbody> </table>			事業内容	事業費	補助金額	畜産経営緊急救済事業(酪農経営支援) 34事業者 計 2,045頭	260,981,264	32,622,658	肉用牛・肉豚肥育農家に対し、鳥取中央農業協同組合を通じて以下のとおりマルキン補填金の対象とならない部分について助成を行いました。 単位:円				
事業内容	事業費	補助金額												
畜産経営緊急救済事業(酪農経営支援) 34事業者 計 2,045頭	260,981,264	32,622,658												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>畜産経営緊急救済事業(肉用牛肥育経営支援) 6事業者 1,236頭</td> <td>9,153,791</td> <td>2,288,444</td> </tr> </tbody> </table>			事業内容	事業費	補助金額	畜産経営緊急救済事業(肉用牛肥育経営支援) 6事業者 1,236頭	9,153,791	2,288,444						
事業内容	事業費	補助金額												
畜産経営緊急救済事業(肉用牛肥育経営支援) 6事業者 1,236頭	9,153,791	2,288,444												
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			S 目的達成										
	【前年度の課題の概要】 依然として飼料価格は高止まりしているため、状況を確認しつつ、引き続き支援が必要な農家に対しての支援策を講じる必要がある。 【前年度課題についての対応及び成果】 原油価格および飼料価格の高騰により経営が圧迫されている農家へ引き続き支援を行うことで、これらの要因による廃業を防いだ。 【担当課による評価の理由】 中国における飼料需要の増加、原油高や円安などの影響により飼料価格、資材・燃料代が高騰し、経営が圧迫されている農家への支援を行うことで、これらの要因による廃業を防いだことから「S」としました。													
今後の 取り組み の 方向	飼料価格の高騰は落ち着きを見せていますが、依然として高い水準にあり、今後もこのような状況は続くことが想定されます。今後は自給飼料生産に取り組む作業受託団体の機械購入にかかる経費を支援することで、飼料価格高騰の影響を受けにくい生産体制の強化を行います。													

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1606	事業名	国営造成施設等電気価格高騰対策支援事業			会計区分	一般会計								
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続								
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費						
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ③農地・農業用施設の保全活動の推進														
	重点項目	—													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源								
令和5年度	831	831	575	0	0	0	256								
事業目的	東伯地区土地改良区連合が受託管理している国営造成施設管理等における電気価格高騰に対して支援を行う。														
事業の主な実施状況	燃料費高騰の影響を受けている国営造成施設等の農業水利施設の電気代を支援するため、以下の補助金を交付しました。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #ffff00;"> <th style="text-align: center;">補助金の名称</th> <th style="text-align: center;">金額(円)</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国営造成施設等電気価格高騰対策支援事業費補助金</td> <td style="text-align: center;">831,000</td> <td style="text-align: center;">1件</td> </tr> </tbody> </table>									補助金の名称	金額(円)	備考	国営造成施設等電気価格高騰対策支援事業費補助金	831,000	1件
補助金の名称	金額(円)	備考													
国営造成施設等電気価格高騰対策支援事業費補助金	831,000	1件													
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり											
	<p>【前年度の課題の概要】 令和5年度補正事業</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 令和5年度補正事業</p> <p>【担当課による評価の理由】 電気価格高騰分(燃料費調整額)のうち、国補助金の対象とならない部分(全体の62.5%部分)について、十分に支援ができたものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>														
今後の取り組みの方向	電気代は引き続き高止まりすると予想されることから機器の更新時期に高効率化を進めるなどの対策を検討する必要があります。														

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1607	事業名	肥料価格高騰対策事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	■新規 □継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	59	58	58	0	0	0	0		
令和5年度(明許)	17,905	3,733	3,733	0	0	0	0		
事業目的	世界的なエネルギー価格の高騰等による肥料価格上昇による所得減少の影響を緩和するため、化学肥料使用量の低減の取組を行う農業者に対し肥料価格上昇相当額の一部を琴浦町農業再生協議会を通じて支援をします。								
事業の 主な 実施状況	肥料価格の高騰に伴う町内農業者の所得減少の影響緩和を図るため、化学肥料低減の取組みを行う町内農業者に対し支援金を交付するために必要な経費を琴浦町農業再生協議会に支援しました。								
	補助金の名称等		金額(円)	備考					
	肥料価格高騰緊急対策事業費補助金 秋肥: 57件 春肥: 401件		2,864,226	交付対象: 琴浦町農業再生協議会 【内訳】 肥料価格高騰支援分: 2,740,969円 事業推進費分: 123,257円 【補助率】10/10					
○その他経費									
	項目	金額	概要						
	報酬	617,472	会計年度任用職員報酬						
	職員手当	190,337	会計年度任用職員期末手当						
	共済費	103,372	会計年度任用職員共済費・社会保険料						
	旅費	16,800	会計年度任用職員交通費						
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			S 目的達成					
	【前年度の課題の概要】 令和4年度補正(明許繰越)事業								
	【前年度課題についての対応及び成果】 令和4年度補正(明許繰越)事業								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 申請のあった令和4年秋肥分及び令和5年春肥分を申請者全員に対し交付することができたことから「S」と評価しました。								
	肥料価格の高騰は落ち着いているものの高止まりしている状況です。取組要件である化学肥料低減の取組計画の実施状況について、引き続き要綱に基づき確認します。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1610	事業名	漁業者等電気価格高騰対策支援事業			会計区分	一般会計							
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	■新規 □継続							
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費					
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成									
	重点項目	—												
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)						
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源							
令和5年度	200	200	200	0	0	0	0							
事業目的	電気価格の高騰に伴い経営上の影響を受けた漁業者等の事業継続を支援し、事業廃業ゼロを目指します。													
事業の 主な 実施状況	電気価格の高騰に伴い経営上の影響を受けた漁業者等の事業継続を支援するため、以下の交付金を交付しました。													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金の名称</th> <th>金額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漁業者等電気価格高騰対策支援事業交付金</td> <td>200,000</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table>						補助金の名称	金額(円)	備考	漁業者等電気価格高騰対策支援事業交付金	200,000	1件		
補助金の名称	金額(円)	備考												
漁業者等電気価格高騰対策支援事業交付金	200,000	1件												
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			S 目的達成										
	【前年度の課題の概要】 状況を確認しつつ、引き続き支援が必要な漁業者に対しての支援策を講じる必要があります。													
	【前年度課題についての対応及び成果】 漁協内の冷蔵庫等の電気代の一部を助成し、漁業者の負担を軽減しました。													
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 電気価格の高騰により経営が圧迫されている漁業者への支援を行うことで、これらの要因による廃業を防いだため「S」と評価しました。													
	電気代や燃料価格は引き続き高止まりしていることから経営改善やコストを反映した価格設定への取組への支援を検討する必要があります。													

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1648	事業名	化学肥料低減定着促進事業			会計区分	一般会計							
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	■新規 □継続							
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費					
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成									
	重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり												
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)						
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源							
令和5年度	1,070	248	248	0	0	0	0							
事業目的	肥料価格高騰対策支援事業において交付対象要件とした化学肥料使用量低減の取組の実行性を高めるため、国内支援活用肥料の購入・散布における経費の一部を琴浦町農業再生協議会を通じて支援する。													
事業の 主な 実施状況	肥料価格高騰対策事業において化学肥料低減の取組み(国内資源活用肥料の利用拡大)を行う町内農業者に対し取組みに必要なかかりまし経費の一部を支援するために必要な経費を琴浦町農業再生協議会に支援しました。													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金の名称等</th> <th>金額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肥料価格高騰緊急対策事業費補助金 (化学肥料低減定着事業分) 堆肥:38件 有機ペレット:30件</td> <td align="center">247,789</td> <td>交付対象:琴浦町農業再生協議会 【内訳】 国内資源活用肥料の利用拡大支援 247,789円 【補助率】10/10</td> </tr> </tbody> </table>			補助金の名称等	金額(円)	備考	肥料価格高騰緊急対策事業費補助金 (化学肥料低減定着事業分) 堆肥:38件 有機ペレット:30件	247,789	交付対象:琴浦町農業再生協議会 【内訳】 国内資源活用肥料の利用拡大支援 247,789円 【補助率】10/10					
補助金の名称等	金額(円)	備考												
肥料価格高騰緊急対策事業費補助金 (化学肥料低減定着事業分) 堆肥:38件 有機ペレット:30件	247,789	交付対象:琴浦町農業再生協議会 【内訳】 国内資源活用肥料の利用拡大支援 247,789円 【補助率】10/10												
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成									
	【前年度の課題の概要】 令和5年度補正事業													
	【前年度課題についての対応及び成果】 令和5年度補正事業													
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 申請のあった国内資源活用肥料の利用拡大に係るかかりまし経費の一部を申請者全員に対し交付することができたことから「S」と評価しました。													
	国要綱に基づく支援の取組みが図れたとともに、高騰する肥料価格による農家の廃業はなく目的を達成したことから、事業を終了します。 環境と調和のとれた農業生産の取組みは、令和6年度改正の食料・農業・農村基本法において取組むことが必須となることから引き続き、国、県等の動向を踏まえつつ新たな取組みを検討する必要があります。													

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	134	事業名	一般事務		会計区分	一般会計			
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係	事業区分	□新規 ■継続			
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	2	農業総務費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成					
重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	59,280	5,332	0	245	499	0	4,588	施設使用料499千円	

事業目的 農林水産課の管理する公園等施設の維持管理を行います。

各公園等施設を適切に維持管理するために、草刈りや光熱水費といった以下の経費を支出しました。

【維持管理費等】

公園等施設名	金額(円)	備考
白鳳館	908,711	管理委託
大父木地親水公園	652,748	管理委託
水辺公園	21,533	直営
ふれあい交流会館	1,034,813	管理委託

参考(施設利用者数)
389人
308人

【修繕費】

公園等施設名	金額(円)	備考
白鳳館	204,040	駐車区画線修繕等
大父木地親水公園	27,500	トイレ修繕工事
ふれあい交流会館	305,090	駐車区画線修繕等

【浄化槽清掃手数料】

公園等施設名	金額(円)	備考
浄化槽法定検査料金	22,700	
大父木地親水公園浄化槽清掃	153,010	
白鳳館浄化槽清掃	211,200	

【火災保険料】

公園等施設名	金額(円)	備考
農林課管理施設	96,300	12件

消耗品費	金額(円)	備考
日本農業新聞購読料	31,475	
その他消耗品	41,501	

テレビ受信料	金額(円)	備考
NHK放送受信料	27,300	2台

公用車管理	金額(円)	備考
公用車ガソリン代	321,963	
公用車バンク修理	5,170	
公用車共済分担金	73,760	
公用車リース借上料	625,680	4台

農家の利子負担の軽減を図るため、以下の補助金を交付しました。

補助金の名称	金額(円)	備考
農業経営基盤強化資金利子補助金	490,857	11件
果樹等経営安定資金利子補助金	23,660	6件

負担金を支払いました。

負担金の名称	金額(円)	備考
鳥取県地域振興対策協議会	52,700	

事業の
主な
実施状況

	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 こまめな維持管理の継続と、適切な修繕を行う必要があります。 また、白鳳館の施設改修等については、社会教育課と連携し取り組む必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 公園等施設の管理委託者と連携しながら住民が利用しやすいように維持管理を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 適切に維持管理が行われたため、Aとしました。</p>	
今後の 取り組み の 方向	<p>白鳳館の施設改修等については、社会教育課と連携し取り組む必要があります。 大父木地親水公園の管理について継続・廃止も含め検討する必要があります。</p>	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	145	事業名	農業振興対策事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成 重点項目 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	32,814	28,210	0	18,306	5,000	0	9,904	ふるさと未来夢基金: 5,000千円	
事業目的	地元の農林水産物を県内外の消費者に広くPRし、農林水産業の生産・販売拡大を促進します。 意欲のある農業経営体の取り組みを支援することで、地域農業の振興と活性化を図ります。								
事業の 主な 実施状況	農業振興対策として、以下の負担金、補助金、交付金を交付しました。								
	① 中部発！食のみやこフェスティバル負担金 単位:円								
	内容			事業費	負担金額				
	令和5年6月10日(土)、11日(日)に開催した第11回食のみやこフェスティバルの運営費負担 出展71団体、来場者数 30,600人			8,268,668	355,000				
	② 農業経営収入保険加入促進事業補助金(補助率:町10/10) 単位:円								
事業内容		人数(人)	事業費	補助金額					
農業経営収入保険加入者の事務費部分への助成 初年度加入 4,500円×19人 継続加入 3,200円×137人		156	523,900	523,900					
③ 環境保全型農業直接支援対策交付金(補助率:国1/2、県1/4、町1/4) 単位:円									
取組内容		人数(人)	事業費	補助金額					
有機農業への取組に対する助成 12,000円/10a×861a(取組面積)		11	1,033,200	1,033,200					
④ 園芸産地活力増進事業補助金(補助率:県1/3、町1/6) 単位:円									
事業内容		事業費	補助金額						
産地強化のため出荷施設の改良や作業の効率化対策などを支援 梨:梨選果場システム更新 13,850,000円 スイカ:スイカ選果場機能向上 11,915,000円 ネギ:土寄せ機、軽労化支援 532,475円		61,204,814	26,297,475						
事業目的 の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり						
	【前年度の課題の概要】								
	② 農業経営収入保険加入促進事業 増加する自然災害に対し、引き続き農業経営収入保険加入促進を図る必要があります。								
	③ 環境保全型農業直接支払交付金事業 国、県が目指す有機農業の計画に沿って取組の拡大を検討する必要があります。								
【前年度課題についての対応及び成果】									
② 農業経営収入保険加入促進事業 新規加入 19件									
③ 環境保全型農業直接支払交付金事業 事業申請 1団体(11名)									
【担当課による評価の理由】									
②近年は異常気象による農業災害により、離農のリスクが高まっていることから収入を補償する制度への加入の意義が大きくなっており、加入が増えたことによるものです。									
③取組面積が減少したものの(1,213a→861a)、概ね昨年並の取り組みが実施されたことによるものです。									
④産地の維持拡大のための取組が促進されたことによるものです。									
今後の 取り組み の 方向	②引き続き農業経営収入保険加入促進を図る必要があります。 ③国、県が目指す有機農業の計画に沿って取組の拡大を検討する必要があります。 ④産地の維持拡大、ブランド化については生産者、関係機関と一体となって、担い手育成対策と伴に進めていくことが必要です。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	162	事業名	担い手育成対策事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成				
	重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	12,181	10,037	0	6,530	0	3,000	507	過疎対策事業債3,000千円	

事業目的

農地の流動化や地域農業の振興を図るため、認定農業者など地域の中心となる経営体の活動支援、育成を行います。

事業の
主な
実施状況

- ① 農業経営改善計画の認定審査会を開催し、認定農業者の認定を行いました。
農業経営改善計画認定審査会 計3回開催(報償費 延18名分)36千円
- ② 認定農業者の資質向上を目指し組織する認定農業者協議会の活動に対し助成を行いました。
認定農業者協議会活動費補助金 170千円
- ③ 農業後継者の育成を目的とする農業士会の活動に対して負担金を支払いました。
東伯地区農業士会の負担金 35千円
主な活動内容 新規就農者に対する栽培や経営に関する指導・育成
東伯地区農業士会の構成 琴浦町5名・北栄町5名 計10名
- ④ がんばる農家プラン事業(補助率:県1/3、町1/6 補助上限額:個人4,500千円、法人10,500千円)
単位:円

プラン名	事業費	補助金額
琴浦町特産のスイカとミニトマトの高反収モデルで規模拡大を！将来的なスマート農業導入への1歩を踏み出すプラン(ハウス、循環扇)	7,261,210	3,630,605
「地域の農業を守り、水田拡大で収益強化を目指す」プラン(乾燥機、粃摺機、色彩選別機)	9,000,000	4,500,000
山影ファーム露地野菜(白ねぎ)経営発展プラン～地域に貢献できる持続可能な経営を目指して～(作業場、コンプレッサー)	3,330,000	1,665,000
計	19,591,210	9,795,605



ミニトマトハウス



粃摺機、色彩選別機



ねぎ皮むき用コンプレッサー

担当課による評価

B 進展が大きくない

【前年度の課題の概要】

- ① 町全体の地域計画を令和6年度末までに策定する必要があることから、中心となる担い手のある地域では将来方針をまとめ、担い手のない地域に対しては関係機関と連携して話し合いを推進していく必要があります。
- ② 新型コロナウイルス感染症による活動自粛の影響も緩和され、認定農業者協議会の活動も琴浦町、大山町、北栄町の3町の認定農業者による研修会や県外視察研修を行うことができました。今後も農業者の経営改善に向けた研修等活動を引き続き支援する必要があります。

<p>事業目的 の 達成状況</p>	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 平和地区や笹津・坂ノ上地区等で農業委員や地域の中心経営体となる担い手農家が中心となり、意向調査の実施や話し合いに向けての準備を行いました。</p> <p>② 人・農地チーム会議を開催し協議を重ね、町内3箇所の農地の再生及び活用について協議を行い、中間保有地再生事業につなげることができました。</p> <p>認定農業者数については、高齢等により認定の更新を行わない方もあり、減員となりました。 (認定農業者数 R5年度末153人[参考:R4年度末159人])</p> <p>③ 規模の拡大、収益向上を目指す担い手に対し機械・施設などの導入費用の助成を行うことができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>地域計画の取組みは地域への説明等地区に働きかけを行いましたが大きく進展が図れませんでした。その一方で担い手への支援など取組みを進めることができたことなどから評価を「B」としました。</p>
<p>今後の 取り組み の 方向</p>	<p>策定が法定化された地域計画の期限が令和6年度末に迫っていることから、策定作業を強力に進めるとともに、認定農業者協議会の活動など、担い手農家の取組み支援を強力に進める必要があります。</p>

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	164	事業名	野菜振興対策事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成					
重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	33,431	29,010	0	23,751	0	0	5,259		

事業目的
 価格差補給交付金の資金造成を行い、市場での販売価格が市場平均価格を大幅下回った場合の生産農家が受ける打撃の軽減を図ります。
 琴浦ブロッコリー産地の生産拡大に取組み、地域農業の活性化を図ります。
 鳥取県型低コストハウスや寒冷紗等の生産資材の導入を推進し、高収益な野菜等のハウス栽培品目の生産振興を図ります。

野菜振興対策として、以下の負担金、補助金を交付しました。

事業の 主な 実施状況	① 野菜価格安定対策事業負担金 単位:円		
	事業内容		負担金額
	春キャベツ・春ネギ等の販売価格が産地(農協)の平均価格を下回った際、その差額を補填するための負担金。負担率:交付金造成額の15%		
	県ブランド野菜価格安定対策事業負担金		75,364
	② 産地生産基盤パワーアップ事業(補助率:1/2[国10/10]) 単位:円		
	事業内容		事業費
	補助金額		
	施設園芸においてスイカの作付面積拡大を目指す農業者に、生産資材(寒冷紗)の導入に必要な経費を助成 内容:寒冷紗導入 取組農家3戸(ハウス4棟分)		1,279,091
	581,405		
	③ 鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業 (補助率:2/3[国は資材費の1/2、残りの対象経費を県2/3・町1/3で負担]) 単位:円		
	事業内容		事業費
	補助金額		
	施設園芸においてスイカの作付面積拡大を目指す農業者が建設する低コストハウスの導入に必要な経費を助成 内容:低コストハウス導入 取組農家2戸(ハウス9棟)		25,503,000
	16,927,680		
	④ ブロッコリー産地の広域化・生産強化総合対策事業 単位:円		
事業内容		事業費	
補助金額			
生産規模拡大支援事業補助金(産地パワーアップ事業) 国事業の産地パワーアップ事業を活用して農業機械のリース導入に必要な経費を助成。(補助率:1/2[国1/3、県1/9、町1/18]) 内容:乗用管理機等の機械リース 取組農家3戸		6,239,000	
3,119,500			
生産技術向上・規模拡大支援補助金(ブロッコリー特出事業) 国事業対象外の機械・施設等の導入に必要な経費を助成。(補助率:1/2[県1/3、町1/6]) 内容:管理機・フレールモア等の農業機械 取組農家4戸		1,293,091	
646,545			
基盤整備支援補助金(ブロッコリー特出事業) 遊休農地の解消等による農地の生産環境維持及び条件整備等に必要な経費を助成。(補助率:10/10[県1/2、町1/2]) 内容:果樹園跡整備 取組農家2戸(230a)		1,500,000	
1,500,000			
生産技術確立支援補助金(産地パワーアップ事業) 適正品種の選定、栽培経費の低コスト化などの実証試験を行う試験ほ場の設置運営に必要な経費を助成。(補助率:2/3[県1/2、町1/6]) 内容:新品種苗、緑肥等		178,910	
119,273			
計		9,211,001	
5,385,318			

⑤ 琴浦ブロッコリーがんばる地域プラン事業

単位:円

事業内容	事業費	補助金額
令和3年度に策定した琴浦ブロッコリー地域プランの実現に向けた取り組みについて支援 事業期間:令和4年度～令和8年度 事業費上限:1億円(5年間) ソフト事業(補助率:2/3[県1/2、町1/6]) 内容:堆肥・緑肥の導入、PRチラシ等作成、先進地視察の取組 R5年度はハード事業実施なし	8,850,445	5,900,298
計	8,850,445	5,900,298

⑥ 緊急防除事業

事業内容	事業費	補助金額
台風第7号で被害があった白ネギに対し、緊急防除に要する経費を支援し病害虫の蔓延を防いだ。 17件 830a	210,605	140,380

担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

琴浦ブロッコリーがんばる地域プランの実施

令和3年度に策定した琴浦ブロッコリーがんばる地域プランの実現に向けて、生産規模拡大を推進する必要があります。

【前年度課題についての対応及び成果】

がんばる地域プランの計画を適切に実施し、栽培面積の拡大を図りました。

【担当課による評価の理由】

R5年度については販売額5億円を突破(前年度比12%増)し、プランの取組による栽培面積、販売高の拡大が図られたため。

事業目的
の
達成状況

今後の
取り組み
の
方向

令和4年度から事業実施している琴浦ブロッコリーがんばる地域プランの実現に向けて、生産規模拡大など販売額の向上に取り組めます。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	801	事業名	有害鳥獣対策事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成					
	重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	6,874	6,130	0	3,908	0	0	2,222		

事業目的

イノシシ、シカ、ヌートリアなど町内に生息する有害鳥獣から農産物への被害を防ぎます。捕獲活動費を助成することにより、有害鳥獣の捕獲に従事する者を支援します。

事業の
主な
実施状況

① イノシシ、シカ、ヌートリアを捕獲した者に以下の報償金を交付しました。

報償金名	金額(円)	対象人数	備考
有害鳥獣捕獲報償金			期間: R5.1.1~R5.12.31
イノシシ			イノシシ
・成獣、猟期 @7,000円			・成獣、猟期 66頭
・成獣、猟期外 @12,000円			・成獣、猟期外 169頭
・幼獣、猟期 @1,000円			・幼獣、猟期 1頭
・幼獣、猟期外 @12,000円			・幼獣、猟期外 36頭
ニホンジカ			ニホンジカ
・成獣、猟期 @14,500円			・成獣、猟期 17頭
・成獣、猟期外 @22,000円			・成獣、猟期外 47頭
・幼獣、猟期 @8,500円			・幼獣、猟期 0頭
・幼獣、猟期外 @16000円			・幼獣、猟期外 0頭
ヌートリア @3,000円			ヌートリア 128頭
実施隊活動報償金 @2,000円/日	300,000	14人	委嘱期間: R5.7.1~R6.3.31 延べ150日間分

② 有害鳥獣から農作物への被害を防ぐ取り組みや射撃の技能向上に取り組んだ者に以下の補助金を交付しました。

補助金名	金額(円)	対象人数	備考
侵入防止柵等設置補助金 (県1/3、町1/3)	335,133	1団体	電気柵 約1,200m×2段
有害鳥獣捕獲業務補助金 (県1/3、町1/3)	347,001	2団体	鳥取中央農業協同組合 家畜改良センター鳥取牧場
射撃環境改善事業補助金 (県1/3、町1/3)	25,000	5人	猟友会メンバー

③ 集落単位などの広い範囲で整備する侵入防止柵の購入経費を町が負担し、野生鳥獣の侵入を防ぎました。(国10/10)

備品名	金額(円)	対象地区	備考
鳥獣被害施設設置器具	522,786	1地区	尾張地区 ワイヤーメッシュ柵(イノシシ用) 約540m

担当課による評価

B 進展が大きくない

事業目的
の
達成状況

【前年度の課題の概要】

有害鳥獣による被害を効果的に防ぐために、侵入防止柵と合わせたわなの設置や、集落単位での対策を引き続き進める必要があります。

【前年度課題についての対応及び成果】

国の交付金事業を活用し、集落単位で行う侵入防止柵の設置を行いました。また、イノシシについては、猟期も捕獲奨励金の対象となるよう国の制度が変わり、年間の捕獲頭数が増加しました。

【担当課による評価の理由】

山間部における被害は近年の侵入防止柵の設置より減少傾向にある一方、有害鳥獣の生息域が平野部へと広がってきており、平野部での被害が増加傾向にあります。全体としては被害が減少するまでに至っていない状況のため、B 進展が大きくないと評価しました。

今後の
取り組み
の
方向

有害鳥獣による被害を効果的に防ぐため、今後は平野部においても侵入防止柵と合わせた罠の設置や、集落単位での対策を進める必要があります。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	899	事業名	果樹振興対策事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成				
重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	102,488	59,156	0	54,965	900	0	3,291	ふるさと未来夢基金:900千円	
令和5年度(明許)	4,680	3,379	0	3,378	0	0	0		

事業目的 梨等の果樹振興のため、ブランド化を目的とした鳥取県育成オリジナル新品種の早期導入とそれに伴う生産基盤の整備を図ります。併せて、導入後5年間の育成経費相当額を交付することにより、生産農家の意欲を高め、新品種の生産体制の整備を図ります。

果樹振興対策として、以下の補助金を交付しました。

① 鳥取梨生産振興事業

単位:円

事業実施主体: JA鳥取中央	事業費	補助金額
「新甘泉」特別対策事業 ・生産基盤対策(財源内訳:県10/10) 内容:新植・改植118アール、取組農家5戸	34,181,896	24,475,721
・育成促進対策(財源内訳:県1/2、町1/2) 内容:改植67アール、取組農家3戸	1,353,000	1,353,000
ジョイント栽培拡大事業 ・生産基盤対策(財源内訳:県10/10) 内容:新植・改植32アール、取組農家3戸	8,207,250	4,798,404
・育成促進対策(財源内訳:県1/2、町1/2) 内容:苗木本数1,620本、取組農家13戸	632,800	632,800
・育苗委託促進対策(財源内訳:県10/10) 内容:苗木本数1,620本、取組農家13戸	9,795,400	6,530,260
低コスト・体制強化事業 内容:苗木本数1,620本、取組農家13戸	1,466,000	488,666
計	55,636,346	38,278,851

① 鳥取梨生産振興事業【繰越】

事業実施主体: JA鳥取中央	事業費	補助金額
「新甘泉」特別対策事業 ・生産基盤対策(財源内訳:県10/10) 内容:防除用機械(SS)1台	4,504,000	3,378,750

② 戦略的スーパー園芸団地整備事業(スーパー梨団地整備事業)

単位:円

事業実施主体: JA鳥取中央	事業費	補助金額
・生産基盤対策(財源内訳:県10/10) 内容:新植・改植78.5アール、取組農家6戸	3,200,057	1,731,148
・生産基盤対策(財源内訳:県10/10) 内容:果樹棚・網掛け施設52アール、取組農家4戸	23,068,730	17,301,546
・生産基盤対策(財源内訳:県10/10) 内容:かん水施設61アール、取組農家3戸	4,599,740	3,449,804
・育成促進対策(財源内訳:県1/2、町1/2) 内容:新植・98アール、取組農家5戸	5,920,200	5,920,200
計	36,788,727	28,402,698

事業の
主な
実施状況

	③ 醸造用ぶどう生産拡大事業		
	事業内容		
	生産基盤対策(財源内訳:県10/10) 内容:かん水設備197アール	2,136,040	737,186
	生産基盤対策(財源内訳:県10/10) 内容:果樹棚197アール	445,842	445,842
	計	2,581,882	1,183,028
	④ 柿ぶどう等生産振興事業		
	事業内容		
	「輝太郎」特別対策事業 生産基盤対策(財源内訳:県10/11) 内容:新植6アール 1戸	50,250	5,863
	育成促進対策(県1/2、町1/2) 内容:改植6アール 1戸	29,472	29,472
	計	79,722	35,335
事業目的 の 達成状況	担当課による評価	A 相当程度進展あり	
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>果樹生産者の経営安定や産地の維持発展のために継続した支援を行うとともに、後継者の確保・育成のために必要な取組について、関係機関と連携し、引き続き検討していく必要があります。 ワイナリー事業に向けて、引き続き醸造用ぶどうの生産拡大を実施する必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>梨生産:県事業(県10/10)において、予算要求時と比較して事業規模が減少したものの、各生産者の経営規模に応じた振興対策を、JA及び琴浦梨生産部と連携のうえ、実施した。 醸造用ブドウ:ワイナリー事業者予定者の人材不足により、小規模な取組となった。R7年度までの計画達成に向けて人材確保及び農地の確保を支援する必要があります。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>県の鳥取梨生産振興事業や戦略的スーパー園芸団地整備事業を活用し、鳥取県育成オリジナル新品種の早期導入とそれに伴う生産基盤の整備ができたものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>		
今後の 取り組み の 方向	果樹生産者の経営安定や産地の維持発展のために継続した支援を行います。		

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1138	事業名	経営所得安定対策推進事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課	担当係	農林水産振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款 5	農林水産業費	項 1	農業費	目 3	農業振興費			
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成								
重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	4,728	4,231	0	4,187	42	0	2	農業再生協議会事務負担金 42千円	
事業目的	農業再生協議会が農業生産への意欲向上や米の生産調整等を目指し、経営所得安定対策等事業交付金の事務を行います。これに対する補助を行うことにより、地域農業の振興と活性化を図ります。								
事業の主な実施状況	<p>① 農業再生協議会の事務を行う事務に要する通信運搬費を支払いました。</p> <p style="text-align: right;">通信運搬費(直通電話利用料) 44千円</p> <p>② 経営所得安定対策等推進事業費補助金として、県、町を経由して交付される国庫補助金を農業再生協議会へ交付しました。</p> <p style="text-align: right;">経営所得安定対策等推進事業費補助金 4,187千円 【国10/10】</p>								
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり					
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>令和5年度が水田収益力強化ビジョンの最終年度となることから、目標の達成に向けて取組みを進めます。</p> <p>一方で、畑作物への転換が図られた水田のうち今後、水稲作付計画のないほ場については畑地化を進めます。</p> <p>また、事業推進団体である琴浦町農業再生協議会については、肥料価格高騰対策支援事業や産地パワーアップ事業など求められる役割が増えており、機能強化を図るための支援が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>令和5年度に改めた水田を活用して収益力強化を目指す「水田収益力強化ビジョン」に基づき263名に対して総額61,103千円が産地交付金として交付されました。(交付金は町の予算を経由せず国から直接農業者へ交付)</p> <p>畑地化促進事業を活用し、26名、61ほ場が畑地化認定され、水田の畑作物の本作化を推進しました。</p> <p>農業再生協議会として求められる役割が増加するなか、機能強化が必要であり、推進費の増額など国や県に求めているところですが、拡充には至っておらず引き続き要望を行ってまいります。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>水稲作付面積は減ったものの、飼料作物等転作により概ね昨年並みの水田活用が図られました。(昨年比97.2%)</p> <p>円滑な事業推進により、適切に産地交付金の交付ができたことから、A評価としました。</p>								
今後の取り組みの方向	<p>令和6年度は水田収益力強化ビジョンの初年度(R6～R8)となることから、適切な目標設定を行い達成に向けて取組みを進めます。</p> <p>一方で、畑作物への転換が図られた水田のうち、令和8年度までに水張りを行わない水田は令和9年度以降水田活用の直接支払交付金の対象水田とならないことから、耕作者に情報提供を行い、水稲作付計画のないほ場については、畑地化を進めます。</p> <p>また、事業推進団体である琴浦町農業再生協議会については、経営所得安定対策交付金の他にも各事業の取りまとめなど求められる役割が増えており、推進費用の増額など機能強化を図るための支援が必要です。</p>								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1139	事業名	農業後継者育成対策事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成					
	重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	27,229	21,310	10,644	7,093	0	0	3,573		

事業目的

就農定着を支援し、新規就農者の就農初期の営農経費負担軽減を図ります。

新規就農者の経営開始時の負担を軽減するため、以下の補助金、交付金等を交付しました。

① 農業次世代人材投資事業(補助率:国10/10) 単位:円

事業内容	事業費	交付金額
対象者9名(農業次世代人材投資資金6名・経営開始資金3名)	10,644,222	10,644,222

② 親元就農促進支援交付金事業(補助率:県2/3、町1/3) 単位:円

事業内容	事業費	交付金額
対象者6名(継続3名)	6,600,000	6,600,000

④ 就農条件整備事業(補助率:県1/3、町1/6) 単位:円

事業内容	事業費	補助金額
ブロッコリー:フレールモア	671,000	335,500
スイカ・ミニトマト:井戸	5,456,000	2,728,000
ぶどう:動力噴霧機	435,000	217,500
白ネギ:根葉切り機・ラジコン動噴	1,370,000	685,000
計	7,932,000	3,966,000

事業の
主な
実施状況



根葉切り機



動力噴霧機

琴浦町農業青年会議が行なう遊休農地における景観形成の取組に対して、補助金を交付しました。

農業青年会議活動助成事業補助金（事業費の1/2補助・上限10万円）

単位：円

事業内容	事業費	補助金額
種苗代および耕運代	203,440	100,000



担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

各種事業により新規就農者の経済的負担の軽減を図っていますが、事業終了後も安定した経営が行えるよう関係機関との連携を強化し、新規就農者への支援・指導を継続していくことが必要です。

事業目的
の
達成状況

【前年度課題についての対応及び成果】

経営開始初期の資金負担軽減を行うことで、新規就農者の定着、経費の低減及び経営の安定化につながりました。関係機関との連携を行い、新規就農者への支援・指導を継続して行うことができました。


【担当課による評価の理由】

関係機関と連携を行いながら、事業を進めることができたと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。


今後の
取り組み
の
方向

- ・就農計画の策定過程において、支援事業が実際に活用可能か、新規就農者の聞き取り・関係機関との連携をさらに深めていくことが必要です。（支援事業適用要件の確認、支援事業の説明など）
- ・就農定着となるよう就農計画の実績を確認するなど、関係機関と情報共有しながら支援を行います。



令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1237	事業名	農地中間管理事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	5,004	5,002	0	2,499	0	0	2,503		
事業目的	農地中間管理事業を通して農地を認定農業者等の担い手農家に集積することで、効率的な経営と農地の有効利用を図るとともに遊休農地の拡大防止を図ります。								
事業の主な実施状況	<p>① 中間管理事業による農地の貸借に係る事務を行う臨時職員の賃金等、事務に係る経費を執行しました。経費については、鳥取県農業農村担い手育成機構(中間管理機構)からの委託金にて執行しています。 通信運搬費 2千円</p> <p>② 中間管理事業による貸借の対象となった荒廃農地を耕作に適した農地に再生するために鳥取県農業農村担い手育成機構が行う工事費等を助成しました。(補助率: 県1/2、町1/2) 機構中間保有地再生活用事業補助金 5,000千円 (下光好、赤碕、湯坂、杉下 計1.6ha)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>再生前</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【赤碕地区】</p>  <p>再生後</p> </div> </div>								
事業目的の達成状況	担当課による評価			B 進展が大きくない					
	<p>【前年度の課題の概要】 担い手への農地集積や人・農地の話し合いをより多くの地域で進めていくためにも、引き続きチーム会議によって関係機関が情報を出し合うなどさらなる連携強化を図る必要があります。また、農地中間管理機構関連農地整備事業や地域集積についても推進を行っていきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 中間管理機構、県、JA、土地改良区など関係機関による情報共有の場として人・農地チーム会議において連携をとりながら担い手への荒廃農地の再生事業等諸課題へ対応することができました。(地域計画の策定(人・農地プランの実質化)に向けた協議、中間保有地再生事業の推進に関する協議 等)</p> <p>【担当課による評価の理由】 主に、中間保有地再生事業について事業を進められた一方、地域計画協議などが進んでいなかったことを踏まえ、「B」評価としました。</p>								
今後の取り組みの方向	引き続き、荒廃農地の再生による担い手への農地の集積を図るとともに集約化を図るため、地域計画の策定の推進を農業委員と連携して取組みを進め、円滑な事業実施が図れるよう取組みを進めます。								


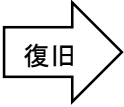

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1412	事業名	農業研修事業		会計区分	一般会計											
担当課	農林水産課	担当係	農林水産振興係	事業区分	□新規		■継続										
予算区分	款 5	農林水産業費	項 1	農業費	目 3	農業振興費											
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生まれる地域経済好循環のまちづくり			①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成													
重点項目	若者の定住・UJターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整備																
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)									
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源										
令和5年度	4,592	3,078	0	0	787	0	2,291	施設使用料787千円									
事業目的	地域おこし協力隊制度を活用し、都市部から就農希望する方に農業研修を実施し、移住定住の促進及び新規就農者の確保を図ります。																
事業の 主な 実施状況	<p>新規就農者、担い手となりうる農業者を確保するため、就農希望者を募集し、研修等を実施しました。</p> <p>①就農フェアへの参加や就農希望者体験ツアーを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業体験ツアー3回実施(4/22～24、9/16～18、11/18～20) 合計5人 ・マイナビ農林FEST 2回参加(大阪) 琴浦町ブース来訪 計7人 ・新農業人フェア 2回参加(大阪、東京オンライン) 琴浦町ブース来訪7人 <div style="text-align: right;">  <p>〈農業体験ツアーの様子〉</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">事業内容</th> <th style="width: 30%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体験ツアー講師謝金、保険代等</td> <td style="text-align: right;">149,336</td> </tr> <tr> <td>農業フェア参加費</td> <td style="text-align: right;">561,875</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">711,211</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">単位:円</p>								事業内容	事業費	体験ツアー講師謝金、保険代等	149,336	農業フェア参加費	561,875	計	711,211	
	事業内容	事業費															
	体験ツアー講師謝金、保険代等	149,336															
	農業フェア参加費	561,875															
計	711,211																
<p>②新たに地域おこし協力隊1名を任命し、担い手となるための支援を行いました。(現在2名)</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">事業内容</th> <th style="width: 30%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指導農家報奨金</td> <td style="text-align: right;">560,000</td> </tr> <tr> <td>農業大学校研修費、道具代他</td> <td style="text-align: right;">177,296</td> </tr> <tr> <td>宿泊使用料、公用車使用・修繕等</td> <td style="text-align: right;">1,453,171</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">2,190,467</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">単位:円</p>								事業内容	事業費	指導農家報奨金	560,000	農業大学校研修費、道具代他	177,296	宿泊使用料、公用車使用・修繕等	1,453,171	計	2,190,467
事業内容	事業費																
指導農家報奨金	560,000																
農業大学校研修費、道具代他	177,296																
宿泊使用料、公用車使用・修繕等	1,453,171																
計	2,190,467																
<p>③地域おこし協力隊の受入農家を対象とした研修を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師:NPO法人 熊本県就農支援機関協議会 事務局長 平岡浩晃氏 「プロ農家」が「新規就農者」を育てることの意義 ～トラブルも未然に防ぐ！就農研修、その課題への対応 ～ <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">事業内容</th> <th style="width: 30%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修委託料</td> <td style="text-align: right;">176,384</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">単位:円</p>								事業内容	事業費	研修委託料	176,384						
事業内容	事業費																
研修委託料	176,384																
担当課による評価			A 相当程度進展あり														
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 引き続き生産部役員等と連携・協議して、ミニトマト以外の研修受入れ体制の拡充を図り、新規就農者の確保に努めます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 生産部役員とともに県外での募集イベントに出展し、琴浦町の農業への関心を深めてもらうことができました。農業体験ツアーでは、新たにブロッコリーのツアーを募集し、県外から参加者がいました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 琴浦町の新規就農者の確保に向け、新たに地域おこし協力隊を1名任命しました。また、県外募集イベントの参加者を農業体験ツアーへ参加することにつなげることができたため、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>																
今後の取り組みの方向	引き続き各生産部役員等と連携・協議して、ミニトマト・ブロッコリー・梨以外の研修受入れ体制の拡充を図り、新規就農者の確保に努めます。																

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1443	事業名	スマート農業推進事業			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続							
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係										
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	3	農業振興費					
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ②スマート農業の推進 重点項目 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)						
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源							
令和5年度	26,250	19,322	0	11,411	5,000	1,500	2,911	ふるさと未来夢基金5,000千円 過疎対策事業費:1,500千円						
事業目的	IoTやAIなどの農業新技術を導入し、新規就農者や研修生等の技術習得支援に活用することで、新規就農者等の技術習得支援及び町内生産者の栽培管理技術向上を図ります。													
事業の 主な 実施状況	スマート農業推進対策として、以下の補助金を交付しました。													
	① 琴浦町スマート農業推進協議会運営費補助金(補助率:10/10[町10/10]) 単位:円													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ソフト事業 ・ミニトマト栽培技術コンサルティング 環境モニタリングデータの収集や圃場での育成状態の観察などについて学び、栽培管理技術の習得を図った。 ・環境モニタリングによる生育調査 ハウス内の環境モニタリング(気温、湿度、土壌水分、CO2など)を行い、生育状況調査や病害虫発生状況の確認などを実施した。 ・アシストスーツの導入及び実証 重量物の持ち上げなどの農作業の負担軽減が期待できる製品の導入を行い、アシストスーツ着用の有無による身体負担と作業効率を調査した。 ・スマート農業研修ハウスの運営 ICTを活用したスマート農業設備を導入し、生産性や収益性を高める栽培管理方法を学ぶ研修施設の運営。 </td> <td align="center">2,205,050</td> </tr> <tr> <td align="center">計</td> <td align="center">2,205,050</td> </tr> </tbody> </table>							事業内容	補助金額	ソフト事業 ・ミニトマト栽培技術コンサルティング 環境モニタリングデータの収集や圃場での育成状態の観察などについて学び、栽培管理技術の習得を図った。 ・環境モニタリングによる生育調査 ハウス内の環境モニタリング(気温、湿度、土壌水分、CO2など)を行い、生育状況調査や病害虫発生状況の確認などを実施した。 ・アシストスーツの導入及び実証 重量物の持ち上げなどの農作業の負担軽減が期待できる製品の導入を行い、アシストスーツ着用の有無による身体負担と作業効率を調査した。 ・スマート農業研修ハウスの運営 ICTを活用したスマート農業設備を導入し、生産性や収益性を高める栽培管理方法を学ぶ研修施設の運営。	2,205,050	計	2,205,050	
	事業内容	補助金額												
ソフト事業 ・ミニトマト栽培技術コンサルティング 環境モニタリングデータの収集や圃場での育成状態の観察などについて学び、栽培管理技術の習得を図った。 ・環境モニタリングによる生育調査 ハウス内の環境モニタリング(気温、湿度、土壌水分、CO2など)を行い、生育状況調査や病害虫発生状況の確認などを実施した。 ・アシストスーツの導入及び実証 重量物の持ち上げなどの農作業の負担軽減が期待できる製品の導入を行い、アシストスーツ着用の有無による身体負担と作業効率を調査した。 ・スマート農業研修ハウスの運営 ICTを活用したスマート農業設備を導入し、生産性や収益性を高める栽培管理方法を学ぶ研修施設の運営。	2,205,050													
計	2,205,050													
② スマート農業社会実装促進事業補助金(補助率:1/2[県1/3、町1/6]) 単位:円														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> スマート農業技術の社会実装を促進するために、スマート農機等の導入経費の支援 内容:自動操縦トラクター・ブームスプレーヤ(小麦・水稻)・農業用ドローン(プロッコリー)・スマート操舵システム(水稻)・農業用ドローン・直進アシスト田植え機(主食・飼料用米) 取組法人4団体 </td> <td align="center">34,233,773</td> <td align="center">17,116,886</td> </tr> </tbody> </table>							事業内容	事業費	補助金額	スマート農業技術の社会実装を促進するために、スマート農機等の導入経費の支援 内容:自動操縦トラクター・ブームスプレーヤ(小麦・水稻)・農業用ドローン(プロッコリー)・スマート操舵システム(水稻)・農業用ドローン・直進アシスト田植え機(主食・飼料用米) 取組法人4団体	34,233,773	17,116,886		
事業内容	事業費	補助金額												
スマート農業技術の社会実装を促進するために、スマート農機等の導入経費の支援 内容:自動操縦トラクター・ブームスプレーヤ(小麦・水稻)・農業用ドローン(プロッコリー)・スマート操舵システム(水稻)・農業用ドローン・直進アシスト田植え機(主食・飼料用米) 取組法人4団体	34,233,773	17,116,886												
 農業用ドローン		直進アシスト田植え機												
事業目的の 達成状況	担当課による評価		B 進展が大きくない											
	【前年度の課題の概要】 琴浦町スマート農業推進協議会において、ミニトマトの栽培管理研修を行い、担い手の確保や収量の増加を図ります。 スマート農業機械の社会実装を促進するため、各生産部において実演会など導入検討を行います。													
	【前年度課題についての対応及び成果】 琴浦町スマート農業推進協議会において、ミニトマトの栽培管理研修を行い、栽培管理技術の習得を図りました。 スマート農業機械の各生産部においての実演会は実施できませんでした。													
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 スマート農業社会実装促進事業において、スマート農業機械を導入があったものの、各生産部への導入促進ができなかったため B 進展が大きくないと評価しました。													
	琴浦町スマート農業推進協議会において、ICTを活用したミニトマトの栽培管理データを活用し、担い手の確保や収量の増加を図ります。 スマート農業機械の社会実装を促進するため、各生産部において実演会など導入検討を行います。													

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1162	事業名	気象災害による農業施設等復旧対策事業			会計区分	一般会計										
担当課	農林水産課	担当係	農林水産振興係			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続										
予算区分	款 5	農林水産業費	項 1	農業費		目 3	農業振興費										
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生ま出す地域経済好循環のまちづくり			①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成													
重点項目	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり																
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)									
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源										
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0										
令和5年度(明許)	668	627	0	313	0	0	314										
事業目的	自然災害により被災した農業用ハウス、畜舎・堆肥舎について、再生産に向け施設復旧を支援します。																
事業の 主な 実施状況	① 令和4年度雪害園芸施設等復旧対策事業補助金 * 令和5年度に繰り越し 単位:円																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: yellow;">事業内容</th> <th style="background-color: yellow;">補助対象経費</th> <th style="background-color: yellow;">補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年1月24日に発生した大雪被害による施設復旧支援 農業用ビニールハウス1棟(補助率:2/3[県1/3、町1/3])</td> <td style="text-align: right;">940,000</td> <td style="text-align: right;">626,666</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">940,000</td> <td style="text-align: right;">626,666</td> </tr> </tbody> </table>			事業内容	補助対象経費	補助金額	令和5年1月24日に発生した大雪被害による施設復旧支援 農業用ビニールハウス1棟(補助率:2/3[県1/3、町1/3])	940,000	626,666	計	940,000	626,666					
事業内容	補助対象経費	補助金額															
令和5年1月24日に発生した大雪被害による施設復旧支援 農業用ビニールハウス1棟(補助率:2/3[県1/3、町1/3])	940,000	626,666															
計	940,000	626,666															
農業用ビニールハウス被害状況 (野井倉)																	
																	
担当課による評価			S 目的達成														
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】 災害復旧事業のため特になし																
	【前年度課題についての対応及び成果】 災害復旧事業のため特になし																
	【担当課による評価の理由】 被災した農業用ハウスについて、再生産に向けた施設復旧ができたので、S 目的達成と評価しました。																
今後の 取り組み の 方向	県が指定した自然災害により被災した農業用ハウスについては、再生産に向けた施設復旧を支援します。																




令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	175	事業名	畜産振興対策事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	4	畜産業費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成 重点項目 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	14,395	10,611	0	3,558	1,700	0	5,353	ふるさと未来夢基金: 1,700千円	
令和5年度(事故)	13,750	13,750	0	13,750	0	0	0		
事業目的	個体の品質向上や増産等に向け、畜産農家に各種補助金および奨励金等を交付し、畜産振興を推進します。								
事業の 主な 実施状況	畜産の振興を図るため、以下のとおり補助金等を交付し、規模拡大や増頭の意欲のある生産者に対して支援を行いました。								
	負担金、補助及び交付金の名称			金額(円)		備考			
	鳥取和牛振興計画推進事業補助金(県1/3、町1/6) 旧:担い手の増頭に対する緊急支援			5,338,000		導入実績頭数:29頭			
	酪農振興対策関係事業補助金(町1/6) 生産性向上支援のため、遮熱対策として二重屋根改修等について補助			833,333		対象農家:1戸			
	肉用牛肥育経営安定特別対策事業補助金(町1/6) 牛マルキンの生産者積立金への助成			4,195,559		対象農家:6戸 (1,617頭)			
	養豚経営安定特別対策事業費補助金(町1/6) 豚マルキンの生産者積立金への助成			72,006		対象農家:2戸 (1,091頭)			
	品評会出品奨励事業費補助金(@3,000円/頭) 品評会に出品した牛に助成			78,000		和牛:10頭 乳牛:16頭			
	県畜産推進機構負担金			94,400					
【事故繰越】 酪農振興対策関係事業補助金(国1/2) クラスター事業による施設整備について補助で事故繰越となった牛の導入への補助。			13,750,000		対象農家:1戸				
事業目的の 達成状況	担当課による評価			B 進展が大きくない					
	【前年度の課題の概要】 生産者が減少、高齢化している中で、現頭数の維持・拡大に向けた生産基盤の強化や経営の安定を図る必要があります。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 規模拡大や増頭の意欲のある生産者や若手、後継者に対する施設整備や増頭にかかる経費を一部助成し、生産者の負担軽減や町内飼養頭数の維持・増頭を図りました。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 酪農家が減る中、畜産クラスター事業の補助金により大規模経営を行う酪農家も出てきたことで、生産量の確保につながったものの、成果はまだ不十分であることから、B 進展が大きくないと評価しました。								
	生産者が減少、高齢化している中で、現頭数の維持・拡大に向けた生産基盤の強化や経営の安定を図る必要があります。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	178	事業名	一般事務			会計区分	一般会計																																												
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																												
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費																																										
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ③農地・農業用施設の保全活動の推進																																																		
	重点項目		—																																																
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																											
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																												
令和5年度	9,015	6,784	0	0	8	0	6,776	農道占有料 8千円																																											
事業目的	土地改良事業の実施及び施設の適正な維持管理に必要な体制を整えます。国や関係機関に対する情報収集、国等へ協議会等により陳情・要望を行います。																																																		
事業の主な実施状況	土地改良事業の実施及び施設の適正な維持管理に必要な経費を支出しました。 【消耗品費】 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:40%;">名称</th> <th style="width:30%;">金額(円)</th> <th style="width:30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地改良工事積算基準</td> <td align="right">31,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 【手数料】 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:40%;">名称</th> <th style="width:30%;">金額(円)</th> <th style="width:30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CAD保守手数料</td> <td align="right">55,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水土里情報保守手数料</td> <td align="right">162,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Web建設物価標準版 年間利用料</td> <td align="right">52,800</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 【委託料】 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:40%;">名称</th> <th style="width:30%;">金額(円)</th> <th style="width:30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業用施設塗膜調査</td> <td align="right">5,943,300</td> <td>PCB調査</td> </tr> </tbody> </table> 【負担金】 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:40%;">名称</th> <th style="width:30%;">金額(円)</th> <th style="width:30%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道台帳管理負担金</td> <td align="right">135,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県土地改良事業団体連合会負担金</td> <td align="right">25,000</td> <td>一般賦課金</td> </tr> <tr> <td></td> <td align="right">339,000</td> <td>特別賦課金</td> </tr> <tr> <td>農業農村整備事業推進協議会負担金</td> <td align="right">24,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中部土地改良事業推進協議会負担金</td> <td align="right">16,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									名称	金額(円)	備考	土地改良工事積算基準	31,000		名称	金額(円)	備考	CAD保守手数料	55,000		水土里情報保守手数料	162,800		Web建設物価標準版 年間利用料	52,800		名称	金額(円)	備考	農業用施設塗膜調査	5,943,300	PCB調査	名称	金額(円)	備考	農道台帳管理負担金	135,000		県土地改良事業団体連合会負担金	25,000	一般賦課金		339,000	特別賦課金	農業農村整備事業推進協議会負担金	24,000		中部土地改良事業推進協議会負担金	16,000	
名称	金額(円)	備考																																																	
土地改良工事積算基準	31,000																																																		
名称	金額(円)	備考																																																	
CAD保守手数料	55,000																																																		
水土里情報保守手数料	162,800																																																		
Web建設物価標準版 年間利用料	52,800																																																		
名称	金額(円)	備考																																																	
農業用施設塗膜調査	5,943,300	PCB調査																																																	
名称	金額(円)	備考																																																	
農道台帳管理負担金	135,000																																																		
県土地改良事業団体連合会負担金	25,000	一般賦課金																																																	
	339,000	特別賦課金																																																	
農業農村整備事業推進協議会負担金	24,000																																																		
中部土地改良事業推進協議会負担金	16,000																																																		
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり																																															
	【前年度の課題の概要】																																																		
	PCB特別措置法に基づき、令和9年3月31日までに低濃度PCB廃棄物を処分する必要があることから琴浦町内にある農業用施設の調査・分析を行う必要があります。																																																		
【前年度課題についての対応及び成果】																																																			
PCB含有の可能性が高い昭和41年から昭和49年の期間に塗装(建設)された琴浦町内にある農業用施設(樋門11基・橋梁1箇所)の調査・分析を行った結果PCBは検出されませんでした。																																																			
【担当課による評価の理由】																																																			
PCB特別措置法に基づき低濃度PCB廃棄物の処分期限内に対応することができたため A 相当程度進展ありと判断しました。																																																			
今後の取り組みの方向	負担金、手数料等の事務処理を適正に行います。																																																		

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	180	事業名	しっかり守る農林基盤整備事業		会計区分	一般会計				
担当課	農林水産課	担当係	農村整備係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規		<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款 5	農林水産業費	項 1	農業費	目 5	農地費				
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ③農地・農業用施設の保全活動の推進									
重点項目	—									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和5年度	5,470	5,033	0	2,253	210	0	2,570	地元負担金210千円		
令和5年度(明許)	4,350	4,346	0	1,620	217	0	2,509	地元負担金217千円		
事業目的	圃場整備から約30年経過し、施設も耐用年数を迎え、老朽化が著しい状況となっています。農林業を営むうえで必要となる農林基盤の改修・補修等を行い、農林業の振興を図ります。特に水路については、降雨時には防災・減災を図る上で欠かせない社会生活基盤となっています。									
事業の 主な 実施状況	○ 農林基盤の改修・補修等について以下の事業を実施しました。									
		項目	金額(千円)	対象件数						
	繰越	工事請負費	4,346	工事 1件						
	現年	工事請負費	1,174	工事 5件						
補助金		420	補助金 1件							
原材料費等助成		2,839	原材料助成 19件							
	<ul style="list-style-type: none"> ・丸尾地区水路改良工事(現年) 水路の溢水対策として、流量調節の堰設置を実施しました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>着工前</p>  </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">→</div> <div style="text-align: center;"> <p>完成</p>  </div> </div> ・農道東峰線法面修繕工事(繰越) 崩落した法面の修繕工事を実施しました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>着工前</p>  </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">→</div> <div style="text-align: center;"> <p>完成</p>  </div> </div> 									
	担当課による評価				A 相当程度進展あり					
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】									
	水田地帯においては、基盤整備を行ってから30～40年が経過しており、農業用施設等の老朽化が営農に支障をきたしているため、引き続き国の補助事業等での実施を検討する必要があります。									
	【前年度課題についての対応及び成果】									
国補助事業での実施を検討しましたが、事業規模等の実施要件の対象とならない農業用水路及び農道等の簡易な維持修繕を行いました。町内農業農村生産基盤等の整備を行い、本町の農業振興及び強い農村づくりに貢献しました。										
【担当課による評価の理由】										
令和4年度からの繰越の法面修繕も完了し、地元要望等で修繕、改良が必要な箇所を優先順位を付け、工事を実施することができたためA判定としました。										
今後の 取り組み の 方向	基盤整備を行ってから30～40年が経過しており、今後も農業用施設等の老朽化が進行していきます。よって、本事業を活用し計画的に農業用施設の維持を図る必要があります。また、突発的、散発的な維持修繕については、中山間地域等直接支払や多面的機能支払の活用を推進し、地域で対応していただく体制を維持、構築していく必要があります。									


令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	183	事業名	県営ほ場整備幹線道路等事業費及び利子補給事業債務負担事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ③農地・農業用施設の保全活動の推進								
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	45,119	45,118	0	0	0	0	45,118		
事業目的	土地改良区の負担する県営土地改良事業にかかる地元負担金を助成することで、農家の負担を軽減し、経営安定を図ります。								
事業の 主な 実施状況	土地改良区の負担する県営土地改良事業に係る地元負担金に対して、以下の補助金を交付しました。								
	負担金、補助及び交付金								
	補助金の名称			交付先		金額 (円)			
琴浦町土地改良事業地元負担軽減補助金 (債務負担行為：令和11年度まで)			東伯町土地改良区		45,117,636				
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】 繰上償還等による総支出額の縮減を検討すべきです。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 土地改良区に対して受益者負担金を交付することで、農家の負担軽減を図り、農業経営の安定化に貢献しました。 土地改良区での繰上償還(全額)しました。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 前年度からの課題である琴浦町土地改良事業地元負担軽減補助金について土地改良区での全額繰上償還を行ったため S 目的達成としました。								
	繰り上げ償還したため、今後は取り組む事業が無くなります。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	184	事業名	土地改良事業の推進			会計区分	一般財源															
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	□新規 ■継続															
予算区分	款	5	農林水産費	項	1	農業費	目	5	農地費													
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ③農地・農業用施設の保全活動の推進																					
重点項目	—																					
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)														
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源															
令和5年度	85,286	81,693	0	30,000	12,170	6,700	32,823	北栄町負担分5,670千円、地元負担分1,428千円、他目的使用料14千円、船上山発電所管理会計繰入金 5,058千円、一般補助施設整備等事業債6,700千円														
令和5年度(明許)	9,175	9,171	0	0	1,829	6,500	842	地元負担分1829千円、一般補助施設整備等事業債6,500千円														
事業目的	東伯町土地改良区、赤碕町土地改良区及び東伯地区土地改良区連合に対して、土地改良施設の維持・管理を行うための運営費助成を行います。																					
事業の 主な 実施状況	① 土地改良施設の適切な維持管理を行うため、下記業務について委託等を行いました。																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>金額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基幹水利施設管理委託業務</td> <td>42,770,000</td> <td rowspan="5">国1/3、県1/3、町1/3(うち北栄町37.8%、琴浦町62.2%)</td> </tr> <tr> <td>ダム施設電気保安委託業務</td> <td>545,952</td> </tr> <tr> <td>ダム関連施設機能監視・保安委託業務</td> <td>910,800</td> </tr> <tr> <td>浄化槽維持管理委託業務</td> <td>105,600</td> </tr> <tr> <td>ダム施設の回線使用料等</td> <td>668,384</td> </tr> </tbody> </table>			内容	金額(円)	備考	基幹水利施設管理委託業務	42,770,000	国1/3、県1/3、町1/3(うち北栄町37.8%、琴浦町62.2%)	ダム施設電気保安委託業務	545,952	ダム関連施設機能監視・保安委託業務	910,800	浄化槽維持管理委託業務	105,600	ダム施設の回線使用料等	668,384					
内容	金額(円)	備考																				
基幹水利施設管理委託業務	42,770,000	国1/3、県1/3、町1/3(うち北栄町37.8%、琴浦町62.2%)																				
ダム施設電気保安委託業務	545,952																					
ダム関連施設機能監視・保安委託業務	910,800																					
浄化槽維持管理委託業務	105,600																					
ダム施設の回線使用料等	668,384																					
事業の 主な 実施状況	② 県が行う国営造成ダム施設の水管理施設更新について、負担をしました。																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>金額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県営基幹水利施設更新事業負担金(繰越)</td> <td>9,170,995</td> <td>県事業繰越分</td> </tr> <tr> <td>県営基幹水利施設更新事業負担金</td> <td>7,140,920</td> <td>3,122,078円をR6へ繰越</td> </tr> </tbody> </table>			内容	金額(円)	備考	県営基幹水利施設更新事業負担金(繰越)	9,170,995	県事業繰越分	県営基幹水利施設更新事業負担金	7,140,920	3,122,078円をR6へ繰越										
内容	金額(円)	備考																				
県営基幹水利施設更新事業負担金(繰越)	9,170,995	県事業繰越分																				
県営基幹水利施設更新事業負担金	7,140,920	3,122,078円をR6へ繰越																				
事業の 主な 実施状況	③ 改良区、改良区連合の適正な運営のため補助金を交付しました。																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金の名称</th> <th>交付先</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>琴浦町土地改良区運営補助金</td> <td>赤碕町土地改良区 東伯町土地改良区</td> <td>19,816,841</td> </tr> <tr> <td>琴浦町東伯地区土地改良区連合賦課金補助金</td> <td>赤碕町土地改良区 東伯町土地改良区</td> <td>2,813,760</td> </tr> <tr> <td>東伯地区土地改良区連合運営補助金</td> <td>東伯地区土地改良区連合</td> <td>5,058,798</td> </tr> </tbody> </table>			補助金の名称	交付先	金額 (円)	琴浦町土地改良区運営補助金	赤碕町土地改良区 東伯町土地改良区	19,816,841	琴浦町東伯地区土地改良区連合賦課金補助金	赤碕町土地改良区 東伯町土地改良区	2,813,760	東伯地区土地改良区連合運営補助金	東伯地区土地改良区連合	5,058,798							
補助金の名称	交付先	金額 (円)																				
琴浦町土地改良区運営補助金	赤碕町土地改良区 東伯町土地改良区	19,816,841																				
琴浦町東伯地区土地改良区連合賦課金補助金	赤碕町土地改良区 東伯町土地改良区	2,813,760																				
東伯地区土地改良区連合運営補助金	東伯地区土地改良区連合	5,058,798																				
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり																		
	<p>【前年度の課題の概要】 将来的に持続可能な運営体制の確立が求められます。また、今後到来するダム施設の更新について県等関係組織と連携して予算措置を行う必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 農業者により組織する各土地改良区において、農業基盤の維持管理及び県営土地改良事業の推進を行いました。また、国営造成施設を適切に維持・管理し、農業生産基盤の核である水資源を有効に活用しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 国営造成施設を適正に維持・管理したものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>																					
今後の 取り組み の 方向	国営造成施設を適正に管理することで、受益地に農業用水を安定的に供給して農業生産性の向上を図るとともに、併せてダム下流における洪水被害や土砂流出防止、河川流況の安定化により、環境や国土の保全を図っていきます。																					

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	185	事業名	国営かんがい排水事業			会計区分	一般財源								
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	□新規 ■継続								
予算区分	款	5	農林水産費	項	1	農業費	目	5	農地費						
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ③農地・農業用施設の保全活動の推進														
	重点項目	—													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源								
令和5年度	16,726	16,663	0	12,497	1,574	0	2,592	北栄町負担分 1,574千円							
事業目的	国営・県営の水利施設の多面的機能発揮のため支援強化に関する経費の助成を行います。														
事業の 主な 実施状況	<p>① ダム等国営造成施設の操作を委託している東伯地区土地改良区連合へ、水利施設の多面的機能発揮に貢献している部分及び通常の管理を上回る部分に係る経費に対して補助しました。 (強化支援事業 国50%、県25%)</p> <p>負担金、補助及び交付金 単位:千円</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: yellow;">補助金、交付金の名称</th> <th style="background-color: yellow;">事業費</th> <th style="background-color: yellow;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>琴浦町国営造成施設管理体制整備促進事業補助金</td> <td align="right">16,663</td> <td>強化支援事業</td> </tr> </tbody> </table> <p>ダム施設の見学(小学生)</p> 									補助金、交付金の名称	事業費	備考	琴浦町国営造成施設管理体制整備促進事業補助金	16,663	強化支援事業
	補助金、交付金の名称	事業費	備考												
琴浦町国営造成施設管理体制整備促進事業補助金	16,663	強化支援事業													
事業目的の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり												
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、県外者によるダム施設見学等啓発活動を中止していましたが、今後はダム見学の要望がありましたら実施していきます。														
	【前年度課題についての対応及び成果】 小学生を対象としたダム施設の見学について、実施しました。														
	【担当課による評価の理由】 土地改良施設を地域が適切・有効に活用できるような管理体制づくりが推進できているものと判断し、A相当程度進展ありと評価しました。														
今後の 取り組み の 方向	土地改良施設の適切な管理方法について検討するとともに、多面的機能の発揮に向けた検討を行い、地域が該当施設を適切・有効に活用できるような管理体制づくりを推進していきます。 また、土地改良施設の多面的機能の発揮に向けた地域への普及啓発活動を行っていきます。														

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1298	事業名	ため池防災減災対策推進事業			会計区分	一般会計													
担当課	農林水産課	担当係	農村整備係			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続													
予算区分	款 5	農林水産業費	項 1	農業費		目 5	農地費													
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり															
	重点項目	—																		
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)												
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源													
令和5年度	17,622	2	0	0	0	0	2													
令和5年度(明許)	27,497	23,981	0	0	0	22,600	1,381	防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債(銀行融資) 22,600千円												
事業目的	農村地域の防災力向上を図るため、ため池の防災・減災対策を行い、農林業の振興に資するとともに、ため池の有する社会生活基盤としての機能の確保を図り、住民の安心と安全に寄与することを目的としています。																			
事業の 主な 実施状況	○ 県が行う松谷第3ため池改修工事の事業費の一部を負担しました。																			
	負担金、補助及び交付金 (負担割合: 国55%、県34%、町11%) 単位: 千円 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #ffff00;">負担金等の名称</th> <th style="background-color: #ffff00;">事業費</th> <th style="background-color: #ffff00;">町負担額</th> <th style="background-color: #ffff00;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県営地域ため池総合整備事業(松谷第3地区)負担金</td> <td style="text-align: right;">17</td> <td style="text-align: right;">2</td> <td>現年</td> </tr> <tr> <td>県営地域ため池総合整備事業(松谷第3地区)負担金</td> <td style="text-align: right;">218,006</td> <td style="text-align: right;">23,981</td> <td>繰越</td> </tr> </tbody> </table>									負担金等の名称	事業費	町負担額	備考	県営地域ため池総合整備事業(松谷第3地区)負担金	17	2	現年	県営地域ため池総合整備事業(松谷第3地区)負担金	218,006	23,981
負担金等の名称	事業費	町負担額	備考																	
県営地域ため池総合整備事業(松谷第3地区)負担金	17	2	現年																	
県営地域ため池総合整備事業(松谷第3地区)負担金	218,006	23,981	繰越																	
																				
	堤内工事状況 (重機の足回りが埋まり作業続行困難となる)		地盤改良後の堤内																	
	○ 令和6年度への繰越額: 17,621千円(松谷第3地区分)																			
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			B 進捗が大きい																
	【前年度の課題の概要】 堤内工事用道路設置位置の汚泥層が想定より深いことが判明し、汚泥対策として調査設計を実施したため施工が一時中止されました。 そのほか設計変更が重なり、ため池改修の完了が令和8年度末まで延伸されることとなりました。																			
	【前年度課題についての対応及び成果】 県の施工実施に伴い、必要に応じて地元調整を図りました。																			
	【担当課による評価の理由】 工法変更により、工事完了が令和8年度まで延伸されることが判明したためBと判断しました。																			
今後の 取り組み の 方向	工期延伸と事業費の増加による計画変更について地元と調整を図りながら進めます。																			

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1413	事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業			会計区分	一般会計																																	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続																																
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費																															
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ③農地・農業用施設の保全活動の推進																																							
重点項目	—																																							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																	
令和5年度	10,124	5,175	0	995	0	3,700	480	公共事業等債 3,700千円																																
令和5年度(明許)	5,580	4,901	0	0	0	4,000	901	公共事業等債 4,000千円																																
事業目的	担い手への集積を進めるにあたり、基盤整備が十分でない農地は借り受けが進んでいません。このため、農家負担なく基盤整備事業を実施できる本事業を活用することで、担い手への集積を加速化させます。																																							
事業の 主な 実施状況	<p align="center">○ 農地中間管理機構関連農地整備事業の実施に向けて換地業務の契約及び地元換地委員との協議を実施しました。</p> <p align="right">単位:円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>事業費</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金</td> <td>農地中間管理機構関連農地整備事業負担金</td> <td>4,449,840</td> <td>R5明許</td> </tr> <tr> <td>公有財産購入費</td> <td>創設換地公有財産購入費(森藤工区)</td> <td>450,900</td> <td>R5明許</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>森藤地区県営土地改良事業換地計画関係業務</td> <td>906,400</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報奨金</td> <td>農地中間管理機構関連農地整備事業換地委員</td> <td>76,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>消耗品購入</td> <td>24,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>農地中間管理機構関連農地整備事業負担金</td> <td>4,167,801</td> <td></td> </tr> <tr> <td align="center" colspan="2">合 計</td> <td>10,075,741</td> <td>R5明許 4,900,740 R5支出 5,175,001</td> </tr> </tbody> </table>								項目	内容	事業費	備考	負担金	農地中間管理機構関連農地整備事業負担金	4,449,840	R5明許	公有財産購入費	創設換地公有財産購入費(森藤工区)	450,900	R5明許	委託料	森藤地区県営土地改良事業換地計画関係業務	906,400		報奨金	農地中間管理機構関連農地整備事業換地委員	76,800		消耗品費	消耗品購入	24,000		負担金	農地中間管理機構関連農地整備事業負担金	4,167,801		合 計		10,075,741	R5明許 4,900,740 R5支出 5,175,001
	項目	内容	事業費	備考																																				
負担金	農地中間管理機構関連農地整備事業負担金	4,449,840	R5明許																																					
公有財産購入費	創設換地公有財産購入費(森藤工区)	450,900	R5明許																																					
委託料	森藤地区県営土地改良事業換地計画関係業務	906,400																																						
報奨金	農地中間管理機構関連農地整備事業換地委員	76,800																																						
消耗品費	消耗品購入	24,000																																						
負担金	農地中間管理機構関連農地整備事業負担金	4,167,801																																						
合 計		10,075,741	R5明許 4,900,740 R5支出 5,175,001																																					
 <p align="center">平和工区施工後(R6.6月)</p> <p>○ 令和6年度への繰越額:4,736千円</p>																																								
事業目的の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり																																					
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>森藤工区の早期完了と平和工区の設計の修正、それに係る地元協議調整を行うにあたり、関係耕作者の理解を得ながら事業を執行していく必要があります。</p>																																							
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>平和工区が完成間近となりました。今年度はアスファルト舗装を行い、換地業務で本事業は完了となります。事業の実施に伴う地元との協議が必要となるため、日程調整などを行いました。</p>																																							
今後の 取り組み の 方向	<p>【担当課による評価の理由】</p> <p>平和工区の工事が完了間近となりました。ほぼ計画通りの進捗であるため進展ありとしました。</p>																																							
	平和工区の換地業務及び舗装工を早期に着手、完了し、作付けが行えるように地元関係者との調整を密に行います。																																							

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1566	事業名	田越・笠見地区浸水対策事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	56,479	10,772	0	0	0	10,700	72	緊急自然災害防止対策事業債 10,700千円	
事業目的	田越・笠見地区の浸水対策を実施し、農地及び周辺地域の湛水被害の防止を図ります。								
事業の 主な 実施状況	① 田越・笠見地区の浸水対策として、下記工事を発注しました。								
	内容		金額(千円)	備考					
	笠見地区農業用排水路改修工事(1工区) 工期: R6.1.30 ~ R6.8.9 工事請負金額: 25,960千円		10,380	18,231,000円をR6へ繰越					
	② 水路改修に伴う用地買収を行いました。								
内容		金額(千円)	備考						
土地購入費(事業用資産)		392	1,625,950円をR6へ繰越						
③ 田越・笠見地区の浸水対策として、下記業務を委託しました。									
内容		金額(千円)	備考						
田越地区放水路新設及び水路改修測量設計業務 履行期間: R5.6.21 ~ R6.7.31 工事請負金額: 25,960千円		0	25,850,000円をR6へ繰越 (完成払)						
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり					
	【前年度の課題の概要】 当該水路下流は県が管理する二級河川であるため、河川管理者との調整が必要であること、水路改修における用地確保にむけ関係者へ理解と協力を得ながら用地交渉を行う必要があります。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 二級河川元旧川の管理者である県(中部総合事務所県土整備局)と連携して、事業を進めております。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 実施計画ロードマップに基づいて、浸水対策事業が進んでいるものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。								
	田越・笠見地区浸水対策事業の実施計画ロードマップ(R3年度～R7年度)に基づいて、年次的に浸水対策を実施していきます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1577	事業名	日本型直接支払交付金事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	■新規 □継続		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ③農地・農業用施設の保全活動の推進								
重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	14,620	144,619	0	109,653	0	0	34,966		

事業目的 近年、後継者不足、高齢化等による耕作放棄が相次いでおり、農業・農村が有する多面的機能の低下が懸念されています。農業振興地域の農地荒廃を防ぎ地域を活性化するために本交付金を交付します。

○ 中山間地域の農地を保全するために中山間地域等直接支払交付金を交付しました。

地域	協定数	単価割合	面積		交付金額
			急傾斜	緩傾斜	
通常地域	34協定	10割	10,065a	55,005a	65,141,148 円
	2協定	8割※	149a	2,925a	2,122,521 円
合計	36協定	—	68,144a		67,263,669 円

※ 8割: 集落戦略未策定 (負担割合: 国1/2、県1/4、町1/4)

○ 多面的機能支払交付金として、以下のとおり交付しました。

活動項目	組織数	面積		交付金額
		田	畑	
農地維持	40 組織	95,951 a	19,843 a	32,753,900 円
資源向上(共同活動)	25 組織	63,543 a	19,843 a	13,733,978 円
資源向上(長寿命化)	37 組織	89,253 a	19,808 a	30,667,612 円
計	42 組織	97,973 a	19,843 a	77,155,490 円

(補助金負担割合 国:1/2、県:1/4、町:1/4)



ワイヤーメッシュ設置
(尾張農地保全会)



施設の長寿命化・水路の更新
(槻下地域資源・景観保全活動組織)

担当課による評価 A 相当程度進展あり

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】
 高齢化に伴い担い手が不足しており、取り組みを断念する協定があるため、既存の協定及び取り組みを中止した組織を含めて広域化等を行い、負担を軽減するための体制を整える必要があります。

【前年度課題についての対応及び成果】
【中山間直接支払交付金事業】
 過疎法の改正・要件の見直しに伴い、琴浦等全域が過疎地域に指定され、中山間地域等直接支払制度の対象地域となりました。これに伴い、令和5年度、中山間地域等直接支払制度に取組む協定が9集落(東伯金屋、杉下、岩本、大石、尾張、出上、国主、上光好、下野田)増加しました。
【多面的機能支払交付金事業】
 令和5年度の更新は1件でした。また、赤碓水土里の会が優良事例としてネット掲載されました。

【担当課による評価の理由】
 中山間地域等直接支払交付金事業では取組面積が187ha増加したためA判定としました。

今後の取り組みの方向

【中山間直接支払交付金事業】
 過疎法の改正により琴浦町全域が中山間地域等直接支払制度の対象地域となり6年度は1地区(下光好)、1組織(赤碓水土里)が取組予定としているため、地元や役員に対して地元説明会を開催し、事務負担軽減のため計画書作成など支援を行います。
【多面的機能支払交付金事業】
 農業者の高齢化や後継者不足による農村環境の交配を防ぐため、町内広域活動組織のさらなる広域化を推進することで、当該事業の継続を図る必要があります。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1441	事業名	農地耕作条件改善事業		会計区分	一般会計			
担当課	農林水産課	担当係	農村整備係	事業区分	■新規		□継続		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ③農地・農業用施設の保全活動の推進								
重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0		
令和5年度(明許)	14,307	11,796	6,488	2,359	590	2,100	259	地元負担金 590千円 一般補助施設整備等事業債 2,100千円	

事業目的

本地区で営農する担い手(認定農業者)のニーズである水路改修を行い、営農リスクの軽減を図ること
で、担い手へ農地中間管理機構による農地集積への意欲向上に繋げ、集積実績の向上を図ります。

- 町内2地区について、水路の改修工事を行いました。
負担割合：国55%、県20%、町20%、地元負担5%

単位：千円

地区	細事業等	内容	事業費	備考
東伯2工区	古長地区水路改修工事(2工区)	水路底張りコンクリート	6,793	令和4年度からの繰越
	法万地区水路改修工事(2工区)	水路底・壁改修	5,003	令和4年度からの繰越
合計			11,796	

- ・東伯2工区 古長地区水路改修工事(2工区)

着工前



着工後



劣化した水路を改修

- ・東伯2工区 法万地区水路改修工事(2工区)

着工前



着工後



劣化した水路を改修

**事業の
主な
実施状況**

担当課による評価

S 目的達成

**事業目的
の
達成状況**

【前年度の課題の概要】

引き続き工事を行い、きめ細やかな耕作条件の改善を機動的に実施します。

【前年度課題についての対応及び成果】

農業用水路機能の回復を図り、継続可能な農業の確立に寄与しました。
また、担い手への農地集積を推進することができました。

【担当課による評価の理由】

工事が予定通り完成したためS評価としました。

**今後の
取り組み
の
方向**

担い手と地権者が機構を活用するための工夫が必須です。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1442	事業名	農村整備事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	■新規 □継続		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ③農地・農業用施設の保全活動の推進								
重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	37	37	0	0	0	0	37		
令和5年度(明許)	27,536	25,900	0	10,099	0	9,500	6,301	公共事業等債 9,500千円	

事業目的

農道の機能を適切に維持するため、点検に基づき損傷が軽微な段階から対策を検討し、保全対策費用の最小化、平準化を図りながら、構造物の保全対策を計画的、効率的に実施する予防保全を行います。

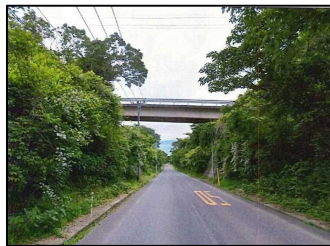
- 岩船橋について、橋梁補修設計を行いました。
負担割合：国50%、町50%

単位：千円

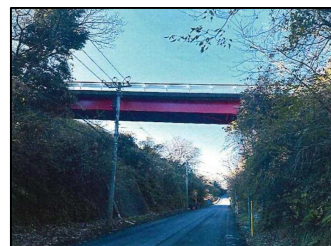
	細事業等	内容	事業費
現年	岩船橋橋梁修繕工事に係る支障物件移転	配電設備移設	37
繰越	岩船橋橋梁修繕工事	修繕工事	25,365
	岩船橋橋梁修繕設計技術支援業務	設計支援	536
合計			25,938

岩船橋

着工前



完成



全 景

着工前



完成



桁端部

事業の
主な
実施状況

担当課による評価

S 目的達成

【前年度の課題の概要】

施設の老朽化に伴う機能低下を定期的に把握し、結果に応じて対策工事を行うことにより、ライフサイクルコストの低減を図る必要があります。

【前年度課題についての対応及び成果】

橋梁補修に向け、工事を実施しました。

【担当課による評価の理由】

工事が予定通り完成したためS評価としました。

事業目的
の
達成状況

今後の
取り組み
の
方向

定期的な点検を実施し、適切な維持管理を行う必要があります。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1624	事業名	農業体質強化基盤整備促進支援事業			会計区分	一般会計																	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	■新規 □継続																	
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費															
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ③農地・農業用施設の保全活動の推進																							
重点項目	次世代につながる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり																							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																	
令和5年度	18,155	7,370	0	5,528	368	1,300	174	公共事業等債 1,300千円 地元負担金 368千円																
事業目的	担い手への農地集積・集約化や、生産効率の向上、農業の高付加価値化を図る農地の大区画化・汎用化など、農地の整備を推進し、農業の構造改革を図ります。																							
事業の 主な 実施状況	○ 畑かんを設置するため、設計業務の委託及び工事を発注しました。																							
	<p align="right">単位:円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>事業費</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>森藤地区畑地かんがい施設設計業務</td> <td>2,750,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>森藤地区畑地かんがい施設工事</td> <td>4,620,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td align="center" colspan="2">合計</td> <td>7,370,000</td> <td>R5支出 7,370,000</td> </tr> </tbody> </table>									項目	内容	事業費	備考	委託料	森藤地区畑地かんがい施設設計業務	2,750,000		工事費	森藤地区畑地かんがい施設工事	4,620,000		合計		7,370,000
項目	内容	事業費	備考																					
委託料	森藤地区畑地かんがい施設設計業務	2,750,000																						
工事費	森藤地区畑地かんがい施設工事	4,620,000																						
合計		7,370,000	R5支出 7,370,000																					
			 <p align="center">工事着手前</p>																					
	○ 令和6年度への繰越額: 10,785千円																							
事業目的の 達成状況	担当課による評価				B 進捗が大きい																			
	【前年度の課題の概要】 令和5年度補正事業																							
	【前年度課題についての対応及び成果】 令和5年度補正事業																							
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 計画通りに進捗出来なかったため、Bとしました。																							
	工事が早期完了出来る様に調整を行います。																							

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	194	事業名	一般事務		会計区分	一般会計			
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	1	林業総務費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ⑥企業のデジタル化と多様な働き方・雇用対策の推進								
重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	1,004	1,002	0	0		0	1,002		
事業目的	負担金や土地及びシステム使用料を支出し、林業振興の振興を図ります。								
事業の 主な 実施状況	① 鳥取県森林クラウドシステムの初期設定および年間利用にかかる経費を支払いました。 委託料 単位:円								
	内容		事業費	備考					
	森林クラウドシステム初期設定業務委託料		572,000						
	使用料 単位:円								
	内容		事業費	備考					
	森林クラウドシステム年間使用料		198,000						
	② 使用料を支払いました。 単位:円								
	内容		事業費	備考					
	国有林野有償貸付料		4,700						
	③ 負担金を支払いました。 単位:円								
	内容		事業費	備考					
	県緑化推進委員会負担金		17,300						
	天神川流域林業活性化センター負担金		10,000						
	治山林道協会負担金		10,000						
	林業労働者福祉向上推進事業負担金		171,657						
	④ 消耗品を購入しました。 単位:円								
内容		事業費	備考						
消耗品費(林道工事積算基準図書購入等)		18,000							
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり					
	【前年度の課題の概要】								
	事務事業のため前年度の評価なし								
	【前年度課題についての対応及び成果】								
事務事業のため前年度の評価なし									
【担当課による評価の理由】									
森林クラウドシステムの初期設定について適正に業務が行われたことによりです。 各種負担金・使用料の支払いが適正に行われたことによりです。									
今後の 取り組み の 方向	林業振興の振興を図るため、引き続き業務を行う必要があります。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	196	事業名	森林病虫害等防除事業		会計区分	一般会計																												
担当課	農林水産課	担当係	農林水産振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																												
予算区分	款 5	農林水産業費	項 2	林業費	目 2	林業振興費																												
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成																																	
重点項目	—																																	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																										
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																											
令和5年度	13,737	10,503	0	5,807	4,500	0	196	ふるさと未来夢基金 4,500千円																										
事業目的	公益的機能の高い保全すべき松林において、松くい虫被害の拡大を防止し、重要な松林を保全するため、ヘリコプターによる薬剤散布及び被害木の伐倒駆除を行います。 平成25年度から琴浦町でもナラ枯れ被害が確認されており、拡大を防ぐために県、大山周辺ナラ枯れ被害対策協議会と協議を行いながら対策を行います。																																	
事業の主な実施状況	<p>○松くい虫特別防除事業 実施日 令和5年6月7日(水) 内容 対象となる松林にヘリコプターで薬剤散布を行いました。</p> <p>① 役務費</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">内容</th> <th style="width: 30%;">事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手数料(チラシ新聞折込)</td> <td style="text-align: right;">19,090</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 委託料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">内容</th> <th style="width: 30%;">事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料(地上作業)</td> <td style="text-align: right;">7,205,000</td> </tr> <tr> <td>委託料(空中散布)</td> <td style="text-align: right;">2,450,800</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">9,655,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 補償、補填及び賠償金</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">内容</th> <th style="width: 30%;">事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補償金(養蜂移転)</td> <td style="text-align: right;">13,900</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ナラ枯れ被害対策事業 ナラ枯れを予防するため、下記の事業を行いました。</p> <p>① 委託料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">内容</th> <th style="width: 30%;">事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料(カシナガトラップ処理)</td> <td style="text-align: right;">561,000</td> </tr> <tr> <td>委託料(ナラガレシート撤去)</td> <td style="text-align: right;">253,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">814,000</td> </tr> </tbody> </table>										内容	事業費(円)	手数料(チラシ新聞折込)	19,090	内容	事業費(円)	委託料(地上作業)	7,205,000	委託料(空中散布)	2,450,800	計	9,655,800	内容	事業費(円)	補償金(養蜂移転)	13,900	内容	事業費(円)	委託料(カシナガトラップ処理)	561,000	委託料(ナラガレシート撤去)	253,000	計	814,000
内容	事業費(円)																																	
手数料(チラシ新聞折込)	19,090																																	
内容	事業費(円)																																	
委託料(地上作業)	7,205,000																																	
委託料(空中散布)	2,450,800																																	
計	9,655,800																																	
内容	事業費(円)																																	
補償金(養蜂移転)	13,900																																	
内容	事業費(円)																																	
委託料(カシナガトラップ処理)	561,000																																	
委託料(ナラガレシート撤去)	253,000																																	
計	814,000																																	
	担当課による評価				A 相当程度進展あり																													
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 松くい虫被害木の発生を抑制するため、継続した空中散布が必要です。 ナラ枯れの被害を抑制するため、カシナガトラップの設置等の継続が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 空中散布により松くい虫被害の発生を抑制し、松林から広葉樹への樹種転換が進んでいます。 引き続きカシナガトラップ処理を実施し、ナラ枯れ被害の抑制しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 空中散布及びカシナガトラップ処理により森林病虫害による被害の発生を抑制したため、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>																																	
今後の取り組みの方向	松くい虫被害木の発生を抑制してきたことにより多くの松林にて広葉樹への樹種転換が進んできています。 今後は松林として維持するのではなく、樹種転換による自然的な森林形成を進めるよう監視・管理していきます。 ナラ枯れの被害は収束傾向にあることから今後は被害木の適切な処理などへの移行を検討する必要があります。																																	



カシナガトラップ設置後の樹木


令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	201	事業名	林業振興対策事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成					
重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	24,376	21,354	0	1,057	7,529	0	12,768	森林環境譲与税基金 7,529千円	

事業目的

戦後植林した木材が伐期をむかえる中、材価低迷等による間伐搬出量の減少に歯止めをかけるために、県の助成事業に町が嵩上げをすることにより間伐施業を促進します。
 森林環境譲与税を活用した森林の適正な管理を図るため、経営管理権の集積計画策定を行います。
 森林整備促進事業として、以下の補助金を交付しました。

① 竹林整備事業補助金(補助率:県8/10) 単位:円

事業内容	事業費	補助金額
竹林整備に係る経費を補助 1件 (光1筆 0.18ha)	660,160	660,160
 整備後の竹林		

② 林業再生事業補助金 単位:円

事業内容	事業費	補助金額
林業作業道整備に係る経費を補助 1件	543,000	352,500

② 森林整備担い手育成総合対策事業 単位:円

事業内容	事業費	補助金額
新規林業労働者の社会保険料掛金に係る経費を補助 (県1/4、町1/4)	178,143	89,071

事業の
主な
実施状況

間伐施業を推進するため、かさ上げ補助を行いました。

③ 緊急間伐実施事業補助金 ※基金充当 単位:円

実施主体	実施箇所	事業量(m ³)	補助金額
鳥取県造林公社	山川 外	616,685	616,685
鳥取県中部森林組合	竹内 外	1,415,850	1,415,850
森林所有者	別宮	105,000	105,000
計		2,137,535	2,137,535

④ 竹の粉砕機共同利用負担金(負担割合:北栄町1/2、琴浦町1/2)
 北栄町と共同利用している竹の粉砕機のメンテナンス費(2,200円)を負担しました。

森林経営管理法に基づく新たな森林経営管理システムを実施するため、森林所有者に対し、森林経営管理に関する調査業務を実施しました。

・調査対象区域:集積計画(大杉)、意向調査(三保、光好、太一垣)

① 委託料 ※基金充当 単位:円

内容	事業費
集積計画策定、森林経営管理意向調査業務	5,392,200
計	5,392,200

② 積立金

内容	事業費
基金積立て(森林環境譲与税)	12,656,000
基金積立て(利子)	63,900
計	12,719,900

	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>放置竹林や未間伐の森林が増えないよう、適正管理のための支援を継続して行うことが必要です。 林業の担い手及び指導者への支援を継続して行うことが必要です。 森林の適正な管理に向けて、計画的な意向調査及び経営管理権集積計画策定が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>竹林の適正管理や未間伐森林の伐採のための支援を行いました。 森林整備につながる路網整備へ支援を行いました。 経営管理権集積計画策定に向け、森林所有者の意向を集約できました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>全町13地区に分けて13年計画で意向調査を進めており、現在5年目を終了し、計画どおり実施できているため A 評価としました。</p>	
	<p>今後の取り組みの方向</p> <p>放置竹林や未間伐の森林が増えないよう、適正管理のための支援を継続して行うことが必要です。 林業の担い手及び指導者への支援を継続して行うことが必要です。 森林の適正な管理に向けて、計画的な意向調査及び経営管理権集積計画策定が必要です。</p>	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	200	事業名	森林整備促進事業			会計区分	一般会計							
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続							
予算区分	款	5	農林水産業費	項	2	林業費	目	2	林業振興費					
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり ①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成 重点項目													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)						
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源							
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0							
令和5年度(事故)	3,600	3,600	0	0	0	0	3,600							
事業目的	荒廃竹林拡大防止のため竹林抜き伐り施策を促進することにより竹林の有効利用を図ります。 新たな林業労働者の育成・確保のため、労働条件の改善を支援します。													
事業の 主な 実施状況	【事故繰越】森林整備促進事業として、以下の補助金を交付しました。													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基幹的路網整備事業費補助金 (R3年度事故繰越)</td> <td>3,600,000</td> <td>3,600,000</td> </tr> </tbody> </table>						事業内容	事業費	補助金額	基幹的路網整備事業費補助金 (R3年度事故繰越)	3,600,000	3,600,000		
事業内容	事業費	補助金額												
基幹的路網整備事業費補助金 (R3年度事故繰越)	3,600,000	3,600,000												
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成									
	【前年度の課題の概要】 1件の事故繰越を年度内完成するよう支援が必要です。 【前年度課題についての対応及び成果】 事故繰越した補助事業が完了しました。 【担当課による評価の理由】 本件は路網整備に係る唯一の進入路である県道が令和3年度豪雨災害に被災しており復旧工事完成に遅延が生じたために開設工事が年度内完了しなかったもの。 補助事業が完了しました。													
今後の 取り組み の 方向														

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	203	事業名	水産業振興対策事業		会計区分	一般会計			
担当課	農林水産課	担当係	農林水産振興係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款 5	農林水産業費	項 3	水産業費	目 1	水産業総務費			
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生まれる地域経済好循環のまちづくり				①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成				
重点項目	次世代につながる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	36,809	12,371	0	4,885	0	0	7,486	特別交付税4,999千円	
令和5年度(明許)	15,000	14,990	0	9,993	0	0	4,997		

事業目的 県事業の負担抛出、赤碕町漁業協同組合の運営経費の支援、同組合員の資金利子補給、共済掛金の負担軽減等を支援し、水産業の振興を図ります。

漁村センターの維持管理に必要な下記の経費について支払を行いました。

経費	金額(円)
光熱水費,修繕料	332,101
手数料(浄化槽清掃、消防用設備機器点検等)	89,350
火災保険料	22,300
計	443,751

【特別交付税対象事業】道の駅ポート赤碕魅力向上リニューアル支援業務として、琴浦町地域力創造アドバイザー派遣にかかる委託料(4,999,500円)を支払いました。

水産振興対策として、以下の負担金および補助金を交付しました。

- ① 鳥取県町村水産業振興対策協議会負担金
鳥取県地域振興対策協議会の水産振興部会運営に係る負担金(60千円)を支払いました。
- ② 鳥取県ウニ被害藻場緊急回復対策事業負担金
鳥取県が実施する県下全域におけるウニ集中駆除事業に係る負担金(290千円)を支払いました。

③ 持続可能な栽培漁業推進事業補助金 単位:円

事業内容	数量(個)	事業費	補助金額
アワビの種苗購入(補助率:県1/4、町1/6)	25,000	1,387,500	578,125
サザエの種苗購入(補助率:県1/3、町1/6)	15,000	250,500	125,250
計	40,000	1,638,000	703,375



購入したアワビ



購入したサザエ

④ 栽培漁業地域支援対策事業費補助金 (補助率:[種苗代]県3/4、町1/6 [輸送費]町2/3) 単位:円

事業内容	数量(尾)	事業費	補助金額
キジハタの種苗購入	3,647	364,700	334,308
輸送費	-	21,364	14,242
計		386,064	348,550

- ⑤ 漁業近代化資金利子補給事業補助金(補助率:国1/2、県1/4、町1/4)
漁業近代化資金を借受けている漁業者7名(16件)に対し、利子の1.0%以内の金額(合計137,399円)を助成し、漁業者の負担を軽減しました。
- ⑥ 漁獲共済掛金軽減事業補助金(補助率:国1/2、県1/4、町1/4)
漁業共済への加入を促進するため、漁業共済組合に加入している赤碕町漁業協同組合員13名について、共済掛金の10%(合計150,197円)を助成し、漁業者の負担を軽減しました。

事業の
主な
実施状況

⑦ 漁業研修事業費補助金

鳥取林養魚場において養殖業を開始する2名の研修生の指導者に対して、研修期間中に要した経費の一部を補助しました。

事業内容	事業費	補助金額
指導経費（補助率：[独立型]県1/2、町1/3 [雇atype]町1/2）	31,566	15,780
研修手当（補助率：[独立型]県10/10 [雇atype]県2/3）	2,915,384	1,943,586
研修用具費（補助率：県10/10）	60,000	60,000
住居・通勤手当（補助率：県10/10）	130,800	130,800
計	3,137,750	2,150,166

⑧ 水産多面的機能発揮対策補助金(補助率：国1/2、県1/4、町1/4)

1.06haの食害生物の駆除及びアラムプレート設置に係る活動経費の一部(18,000円)を支援しました。

⑨ 【繰越明許】もうかる6次化・農商工連携支援事業費補助金

水産物の高付加価値化を通じた漁協直売事業の再構築計画(プラン1年目)に要した経費の一部を補助しました。

事業内容	事業費	補助金額
ポート赤碕直売所の一部を食堂に改装する経費(補助率：県1/2、町1/6)	29,979,458	14,989,725

⑩ もうかる6次化・農商工連携支援事業費補助金

水産物の高付加価値化を通じた漁協直売事業の再構築計画(プラン2年目)に要した経費の一部を補助しました。

事業内容	事業費	補助金額
直売所の改装工事に係る経費 冷風乾燥機の導入に係る経費(補助率：県1/2、町1/6)	6,140,275	3,070,135

担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

持続可能な漁業を推進するため、放流活動の支援を継続して行うことが必要です。漁業の担い手及び指導者への支援を継続して行うことが必要です。

【前年度課題についての対応及び成果】

放流活動への支援を行うことで、水産物の安定供給、地域振興に資することができました。新たに漁業を開始する研修生と指導する漁業者両方への支援を行うことで、新規就漁者の定着を後押しすることができました。

【担当課による評価の理由】

放流活動への支援により水産物の安定供給に資することができました。今年度は1名の漁業研修の修了生があり、新規就業者の定着につながりました。水産物の高付加価値化の目指した漁協直売事業の再構築計画にかかる経費への支援により、漁協の経営運営の改善に資することができました。

事業目的
の
達成状況

今後の
取り組み
の
方向

持続可能な漁業を推進するため、放流活動の支援を継続して行うことが必要です。漁業の担い手及び指導者への支援を継続して行うことが必要です。漁協直売事業の再構築計画(3年目)に要する支援を継続して行うことが必要です。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	667	事業名	現年発生農地災害復旧事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	10	災害復旧費	項	1	農林水産業災害復旧費	目	1	現年発生農地災害復旧費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	6,257	1,110	0	903	0	0	207		
令和5年度(明許)	85	31	0	22	4	0	5	地元分担金 4千円	

事業目的

自然災害により被災した農地について、国庫補助を受け復旧を行うことで農業の維持を図り、農業経営の安定に貢献します。

事業の
主な
実施状況

○ 令和4年8月豪雨及び 令和5年7月豪雨で被災した農地について、災害復旧工事を行いました。

繰越区分	災害名	細事業等	内容	補助率	事業費	備考
繰越	令和4年8月豪雨災害	災害復旧工事 1箇所	畦畔復旧	84.8%	32	工事請負費 32千円
現年	令和5年台風7号災害	災害復旧工事 1箇所	フンかご	95.6%	4,410	委託料 1,090千円、工事請負費 3,300千円、消耗品費 20千円

着工前



着工後



令和4年災 33-1三保地区災害復旧工事(畦畔部分)



令和5年災 33-1金屋地区災害復旧工事(現在施工中)

○ 令和6年度への繰越額: 5,103千円

担当課による評価

A 相当程度進展あり

事業目的
の
達成状況

【前年度の課題の概要】

水路整備等農地耕作条件事業など国補助事業を活用し、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。

【前年度課題についての対応及び成果】

災害復旧工事を行い、生産機能の回復に努め、継続可能な農業の確立に貢献しました。



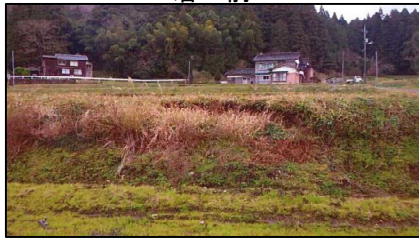

【担当課による評価の理由】

令和5年度に繰越した令和4年災は完了しました。
令和5年災は、耕作時期の調整があり令和6年度に繰り越していますが発災年度内の発注が完了していることからAと評価しています。

今後の
取り組み
の
方向

引き続き国補助事業を活用し、災害の発生防止に努めるとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。







令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	770	事業名	現年発生農地小災害復旧事業			会計区分	一般会計						
担当課	農林水産課	担当係	農村整備係			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
予算区分	款 10	災害復旧費	項 1	農林水産業災害復旧費	目 1	現年発生農地災害復旧費							
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり								
	重点項目	—											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源						
令和5年度	800	770	0	0	77	500	193	地元分担金 77千円 災害復旧事業債 500千					
事業目的	自然災害により被災した農地について、国庫補助の災害復旧事業に該当しない小規模な農地の災害復旧を行うことで農業の維持を図り、その経営の安定に貢献します。												
事業の 主な 実施状況	<p>○ 令和5年8月豪雨により被災した農地について、災害復旧工事を行いました。 (負担割合: 町90%、地元10%)</p> <p>工事請負費 単位: 千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #ffff00;"> <th style="width: 80%;">内容</th> <th style="width: 20%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地小災害復旧工事 2件</td> <td style="text-align: center;">770</td> </tr> </tbody> </table>									内容	事業費	農地小災害復旧工事 2件	770
	内容	事業費											
農地小災害復旧工事 2件	770												
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>着工前</p>  </div> <div style="font-size: 2em; color: orange;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>完成</p>  </div> </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">令和5年災 小農-1赤碕地区小災害復旧工事</p>													
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>着工前</p>  </div> <div style="font-size: 2em; color: orange;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>完成</p>  </div> </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">令和5年災 小農-2大杉地区小災害復旧工事</p>													
事業目的 の 達成状況	担当課による評価		S 目的達成										
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>水路整備等が実施出来る農地耕作条件改善事業等の国補助事業を活用し、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。</p>												
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>災害復旧工事を行い、生産機能の回復を図り、継続可能な農業の確立に貢献しました。</p>												
今後の 取り組み の 方向	<p>【担当課による評価の理由】</p> <p>工事は完了しました。</p>												
	<p>早期発注、早期復旧が出来る体制づくりが必要です。</p>												

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	354	事業名	現年発生農業用施設災害復旧事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課	担当係	農村整備係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款 10	災害復旧費	項 1	農林水産業災害復旧費	目 2	現年発生農業用施設災害復旧費			
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり					
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	22,112	7,691	0	2,703	0	0	4,988		
令和5年度(明許)	3,440	2,356	0	2,206	82	0	68	地元分担金 82千円	
事業目的	自然災害により被災した農業用施設について、国庫補助を受け復旧を行うことで農業用施設の有する多面的機能の確保を行い、農業経営の安定に貢献します。								
事業の 主な 実施状況	○ 令和4年8月豪雨及び 令和5年8月豪雨で被災した農業用施設について、災害復旧工事を行いました。								
	繰越区分	災害名	細事業等	内容	補助率	事業費	備考		
	繰越	令和4年8月豪雨災害	災害復旧工事 1箇所	ブロック積	95.3%	2,356	工事請負費 2,356千円		
	現年	令和5年8月豪雨災害	災害復旧工事 3箇所	ふとんかご・ブロック積等	98.7%	7,692	消耗品費 20千円 委託料 7,672千円		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>着工前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>着工後</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">令和4年災 33-201三保地区災害復旧工事(法面+水路部分)</p>								
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>着工前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>着工後</p>  </div> </div> <p style="text-align: right; color: red;">※令和6年4月5日完成</p> <p style="text-align: center;">令和5年災 33-203福永地区災害復旧工事(水路敷)</p>									
○ 令和6年度への繰越額: 14,362千円									
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】 水路整備等農地耕作条件事業など国補助事業を活用し、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 災害復旧工事を行い、生産機能の回復に努め、継続可能な農業の確立に貢献しました。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 令和4年災については完了しました。 令和5年災については、全件年度内発注をし完了に向かっているためAと評価しました。								
	引き続き国補助事業を活用し、災害の発生防止に努めるとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。								


令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	669	事業名	現年発生農業用施設小災害復旧事業			会計区分	一般会計					
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続				
予算区分	款	10	災害復旧費	項	1	農林水産業災害復旧費	目	2				
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり							
重点項目	—											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)				
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源					
令和5年度	1,425	1,395	0	0	38	600	757	地元負担金 38千円 災害復旧事業債 600千円				
事業目的	自然災害により被災した農業用施設について、国庫補助の災害復旧事業に該当しない小規模な農業用施設の災害に対し、復旧を行うことで農業用施設の有する多面的機能の確保を行い、農業経営の安定に貢献します。											
事業の 主な 実施状況	<p>○ 令和5年8月豪雨で被災した農業用施設について、災害復旧工事等を実施しました。 (負担割合: 町95%、地元5%)</p> <p>工事請負費 単位: 千円</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:60%;">内容</th> <th style="width:40%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業用施設小災害復旧工事 2件</td> <td align="right">770</td> </tr> </tbody> </table>								内容	事業費	農業用施設小災害復旧工事 2件	770
	内容	事業費										
	農業用施設小災害復旧工事 2件	770										
	着工前								完成			
												
令和5年災 小施-1 槻下地区小災害復旧工事												
着工前								完成				
												
令和5年災 小施-2 松谷地区小災害復旧工事												
補助金								単位: 千円				
内容								事業費				
災害復旧に係る地元対応に対する補助金 8件								626				
担当課による評価				S 目的達成								
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】											
	水路整備等が実施出来る農地耕作条件改善事業等の国補助事業を活用し、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。											
	【前年度課題についての対応及び成果】											
取水が困難となった防火用水を兼ねる農業用水の河川取水口の用水確保作業を支援し、受益者の負担軽減を図りました。 災害復旧工事を行い、農業用施設機能の回復を図り、継続可能な農業の確立に貢献しました。												
【担当課による評価の理由】												
工事は完了しました。												
今後の 取り組み の 方向	早期発注、早期復旧が出来る体制づくりが必要です。											




令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	668	事業名	現年発生林道災害復旧事業			会計区分	一般会計							
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続							
予算区分	款	10	災害復旧費	項	1	農林水産業災害復旧費	目	3						
まちづくり ビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり									
	重点項目	—												
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)						
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源							
令和5年度	20	20	0	0	0	0	20							
事業目的	自然災害により被災した林道について、国庫補助を受け復旧を行うことで林道の維持を図り、その経営の安定に貢献します。													
事業の 主な 実施状況	○ 事務に必要な消耗品を購入しました。 <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%;"> <tr> <td align="left">消耗品費</td> <td align="right">単位:千円</td> </tr> <tr> <td align="center" colspan="2">内容</td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td align="right">20</td> </tr> </table>								消耗品費	単位:千円	内容		消耗品	20
消耗品費	単位:千円													
内容														
消耗品	20													
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				C 進展なし									
	<p>【前年度の課題の概要】 林道整備事業等、国補助事業を活用し、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制作りが必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 年に数回、草刈り等の維持管理と数回の点検を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 消耗品を購入したのみなので進展はなしとしました。</p>													
今後の 取り組み の 方向	引き続き林道整備事業等、国補助事業を活用し、災害の発生防止を図ると共に、災害発生時の速やかな対応が可能な体制作りが必要です。													

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	771	事業名	現年発生林道小災害復旧事業			会計区分	一般会計						
担当課	農林水産課	担当係	農村整備係			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
予算区分	款 10	災害復旧費	項 1	農林水産業災害復旧費	目 3	現年発生林道災害復旧費							
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり								
	重点項目	—											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源						
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0						
令和5年度(事故)	6,800	2,336	0	0	48	1,100	1,188	地元負担金 48千円 災害復旧事業(起債) 1,100千円					
事業目的	自然災害により被災した林道について、国庫補助の災害復旧事業に該当しない小規模な林道の災害に対し、復旧を行うことで林道の維持を図り、その経営の安定に貢献します。												
事業の主な実施状況	<p>○ 令和3年7月豪雨により被災した林道について、災害復旧工事等を実施しました。 (負担割合: 町95%、地元負担5%)</p> <p>工事請負費 単位: 千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">内容</th> <th style="width: 40%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事 9件</td> <td style="text-align: right;">2,337</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>(復旧前)</p>  </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>(復旧後)</p>  </div> </div>									内容	事業費	工事 9件	2,337
内容	事業費												
工事 9件	2,337												
	担当課による評価			A 相当程度進展あり									
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 林道整備事業等国補助事業を活用し、災害の発生防止を図ると共に、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 復旧工事の早期発注を行い、林道機能の回復を図り、継続可能な林業の確立に貢献しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 令和3年7月豪雨による災害復旧が完了しました。</p>												
今後の取り組みの方向	引き続き林道整備事業等国補助事業を活用し、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。												

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1433	事業名	過年度発生農地災害復旧事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	10	災害復旧費	項	1	農林水産業災害復旧費	目	1	過年度発生農地災害復旧費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0		
令和5年度(明許)	7,379	7,015	0	3,473	219	100	3,223	地元負担金 219千円 災害復旧事業債 100千円	
事業目的	自然災害により被災した農地について、国庫補助を受け復旧を行うことで農業の維持を図り、農業経営の安定に貢献します。								
事業の主な実施状況	<p>○ 令和4年度に予算を組替えて発注した令和3年7月豪雨で被災した農地について、施工を実施しました。</p> <p>被災直後全景</p>  <p>着工前</p>  <p>完成</p>  <p>33-38、237八橋地区災害復旧工事(施設との合併災)</p>								
事業目的の達成状況	担当課による評価			S 目的達成					
	<p>【前年度の課題の概要】 他事業と連携して、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 災害復旧工事を行い、生産機能の回復に努め、継続可能な農業の確立に貢献しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 工事は完了しました。</p>								
今後の取り組みの方向	早期発注、早期復旧が出来る体制づくりが必要です。								


令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1432	事業名	過年度発生農業用施設災害復旧事業			会計区分	一般会計		
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	10	災害復旧費	項	1	農林水産業災害復旧費	目	1	現年度発生農地災害復旧費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0		
令和5年度(明許)	37,925	36,185	0	9,134	660	100	26,291	地元負担金 660千円 災害復旧事業債 100千円	

事業目的 自然災害により被災した農業用施設について、国庫補助を受け復旧を行うことで農業の維持を図り、農業経営の安定に貢献します。


事業の主な実施状況

○ 令和4年度に予算を組替えて発注した令和3年7月豪雨で被災した農業用施設について、施工を実施しました。




被災箇所全景(八橋地区)

着工前




完成




33-38、237八橋地区災害復旧工事(農地との合併災)

着工前



完成



204 三本杉地区災害復旧工事

担当課による評価 S 目的達成

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】
他事業と連携して、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。

【前年度課題についての対応及び成果】
災害復旧工事を行い、生産機能の回復に努め、継続可能な農業の確立に貢献しました。

【担当課による評価の理由】
工事が予定通り完了したため。

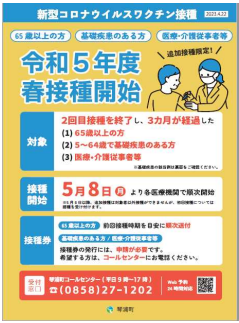
今後の取り組みの方向 早期発注、早期復旧が出来る体制づくりが必要です。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1244	事業名	船上山小水力発電施設管理運営事業			会計区分	船上山発電所管理特別会計																												
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		事業区分	□新規 ■継続																												
予算区分	款	1	電気事業費用	項	1	営業費用	目	1	水力発電費																										
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				③再生可能エネルギーの活用による脱炭素社会への転換																														
重点項目	—																																		
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																											
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																												
令和5年度	20,054	19,979	0	0	19,979	0	0	発電額19,801千円、基金収益178千円																											
事業目的	土地改良施設に再生可能エネルギー発電装置を設置する等の農村地域の再生可能エネルギー活用を積極的に導入し、土地改良施設の維持管理費の削減を図ります。																																		
事業の 主な 実施状況	① 船上山発電所で発電業務を実施しました。 発電実績 543,985 kWh 売電収入 20,345,034円																																		
	維持管理に必要な下記の経費について支払を行いました。																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th align="center" colspan="2">内容</th> <th align="right">事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">発電所施設操作委託</td> <td align="right">3,192,200</td> </tr> <tr> <td colspan="2">自家用電気工作物保安管理業務</td> <td align="right">529,892</td> </tr> <tr> <td colspan="2">発電設備年次点検業務</td> <td align="right">701,800</td> </tr> <tr> <td colspan="2">施設経常経費(電気料金、通信費、建物共済費、流水占用料、公課費)</td> <td align="right">657,815</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一般会計繰出金(町債償還分)</td> <td align="right">1,339,781</td> </tr> <tr> <td align="center">"</td> <td align="center">(土地改良区連合運営費補助)</td> <td align="right">5,058,798</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基金積立(災害準備、修繕、利子分)</td> <td align="right">8,498,412</td> </tr> <tr> <td align="center" colspan="2">合計</td> <td align="right">19,978,698</td> </tr> </tbody> </table>								内容		事業費(円)	発電所施設操作委託		3,192,200	自家用電気工作物保安管理業務		529,892	発電設備年次点検業務		701,800	施設経常経費(電気料金、通信費、建物共済費、流水占用料、公課費)		657,815	一般会計繰出金(町債償還分)		1,339,781	"	(土地改良区連合運営費補助)	5,058,798	基金積立(災害準備、修繕、利子分)		8,498,412	合計		19,978,698
	内容		事業費(円)																																
	発電所施設操作委託		3,192,200																																
	自家用電気工作物保安管理業務		529,892																																
	発電設備年次点検業務		701,800																																
	施設経常経費(電気料金、通信費、建物共済費、流水占用料、公課費)		657,815																																
	一般会計繰出金(町債償還分)		1,339,781																																
	"	(土地改良区連合運営費補助)	5,058,798																																
基金積立(災害準備、修繕、利子分)		8,498,412																																	
合計		19,978,698																																	
基金積立残高状況(R6.3.31時点)																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th align="center" colspan="2">基金名称</th> <th align="right">金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">建設改良積立基金</td> <td align="right">47,431,018</td> </tr> <tr> <td colspan="2">修繕積立基金</td> <td align="right">17,100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">欠損調整積立基金</td> <td align="right">13,250,434</td> </tr> <tr> <td colspan="2">災害準備積立基金</td> <td align="right">12,297,682</td> </tr> <tr> <td align="center" colspan="2">合計</td> <td align="right">72,996,234</td> </tr> </tbody> </table>								基金名称		金額(円)	建設改良積立基金		47,431,018	修繕積立基金		17,100	欠損調整積立基金		13,250,434	災害準備積立基金		12,297,682	合計		72,996,234										
基金名称		金額(円)																																	
建設改良積立基金		47,431,018																																	
修繕積立基金		17,100																																	
欠損調整積立基金		13,250,434																																	
災害準備積立基金		12,297,682																																	
合計		72,996,234																																	
担当課による評価			A 相当程度進展あり																																
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 オーバーホール後、5年が経過することから機器更新が必要です。																																		
	【前年度課題についての対応及び成果】 日常点検及び年次点検でのメンテナンスにより、発電施設の長寿命化と修繕費の削減に取り組み、安定的な発電を行いました。																																		
	【担当課による評価の理由】 耐用年数に応じた機器更新を行うなど、不測の機器故障による長期間発電ができない事態を回避したものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。																																		
今後の 取り組み の 方向	「小水力発電施設の管理に係る発電事業会計の手引き」や「電気事業経営戦略」に基づいて、建設改良積立等適切に基金を積み立てていきます。 水車(ランナ)についてキャビテーションによる壊食が進行しており、部分的に金属パテによる補修対策を実施し効果を検証していく。																																		

会計 款-項-目事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
一般会計				
すこやか健康課				
2.総務費				
1.総務管理費				
11.新型コロナウイルス感染症対策費				
新型コロナウイルスワクチン接種事業	50,771	32,772	8-1	
医療・社会福祉施設物価高騰対策支援事業	10,168	10,154	8-2	
3.民生費				
1.社会福祉費				
1.社会福祉総務費				
国保財政基盤強化対策繰出金	145,713	142,801	8-3	
6.老人福祉費				
老人福祉事業	9,176	7,922	8-4	
7.特別医療費助成事業費				
特別医療費助成事業	118,721	107,615	8-5	
8.心身障がい者医療費				
心身障がい者医療費	4,012	2,743	8-6	
9.障がい者福祉費				
自立支援医療事業	21,605	20,123	8-7	
腎臓機能障がい者交通費助成事業	754	355	8-8	
10.介護保険事業費				
介護保険事業	406,435	347,254	8-9	
11.後期高齢者医療費				
後期高齢者医療事務	382,704	372,845	8-10	
4.衛生費				
1.保健衛生費				
1.保健衛生総務費				
一般管理	4,592	3,398	8-11	
2.予防費				
献血推進事業	58	58	8-12	
食生活改善推進事業	623	479	8-13	
予防接種	13,891	8,419	8-14	
未熟児養育医療費給付事業	1,263	930	8-15	
3.健康づくり推進事業費				
健康教育	517	170	8-16	
健康診査	39,794	30,329	8-17	
健康寿命延伸事業(地方創生)	2,562	764	8-18	
12.諸支出金				
1.諸費				
1.国県支出金返納金				
国県返納金	27,755	27,627		事務費
国民健康保険特別会計	2,055,801	2,018,963	8-19	
介護保険特別会計	2,272,222	2,201,630	8-22	
後期高齢者医療特別会計	272,181	268,054	8-24	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1528	事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業			会計区分	一般会計																																																						
担当課	すこやか健康課		担当係	健康推進係		事業区分	□新規 ■継続																																																						
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費		目	11 新型コロナウイルス感染症対策費																																																						
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進																																																								
	重点項目	—																																																											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																						
令和5年度	50,771	32,772	32,453	0	319	0	0 ワクチン接種費(町外者分) 319千円																																																						
事業目的	予防接種法に基づき新型コロナウイルスのワクチン接種を実施し、感染症の発病・重症化を予防するとともに、蔓延を予防します。																																																												
事業の 主な 実施状況	<p>① 新型コロナウイルスワクチン接種(1~7回目)を中部1市4町共同体制で実施しました。</p> <table border="1"> <tr> <td>接種方法</td> <td colspan="9">個別接種(中部1市4町医療機関)、集団接種(琴浦町保健センター) 巡回接種(町内高齢者施設)</td> </tr> </table> <p>② 新型コロナウイルスワクチン接種対象者に接種勧奨を行いました。</p> <table border="1"> <tr> <td>周知方法</td> <td colspan="9">行政放送、広報紙(広報ことうら)、折込チラシ、ホームページ</td> </tr> </table> <p>③ 新型コロナウイルスワクチン接種証明書を希望者に交付しました。</p> <p>接種状況 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>人数</th> <th>接種率</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目</td> <td>13,186</td> <td>88.7%</td> <td>16歳以上</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>13,089</td> <td>88.0%</td> <td>16歳以上</td> </tr> <tr> <td>3回目</td> <td>10,977</td> <td>76.5%</td> <td>18歳以上</td> </tr> <tr> <td>4回目</td> <td>6,542</td> <td>88.8%</td> <td>60歳以上</td> </tr> <tr> <td>5回目</td> <td>8,764</td> <td>58.2%</td> <td>12歳以上</td> </tr> <tr> <td>6回目</td> <td>3,252</td> <td>62.3%</td> <td>65歳以上</td> </tr> <tr> <td>7回目</td> <td>4,401</td> <td>28.0%</td> <td>5歳以上</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">令和6年3月31日時点</p> <div style="text-align: right;">  <p>折込チラシ</p> </div>									接種方法	個別接種(中部1市4町医療機関)、集団接種(琴浦町保健センター) 巡回接種(町内高齢者施設)									周知方法	行政放送、広報紙(広報ことうら)、折込チラシ、ホームページ									種別	人数	接種率	対象者	1回目	13,186	88.7%	16歳以上	2回目	13,089	88.0%	16歳以上	3回目	10,977	76.5%	18歳以上	4回目	6,542	88.8%	60歳以上	5回目	8,764	58.2%	12歳以上	6回目	3,252	62.3%	65歳以上	7回目	4,401	28.0%	5歳以上
	接種方法	個別接種(中部1市4町医療機関)、集団接種(琴浦町保健センター) 巡回接種(町内高齢者施設)																																																											
周知方法	行政放送、広報紙(広報ことうら)、折込チラシ、ホームページ																																																												
種別	人数	接種率	対象者																																																										
1回目	13,186	88.7%	16歳以上																																																										
2回目	13,089	88.0%	16歳以上																																																										
3回目	10,977	76.5%	18歳以上																																																										
4回目	6,542	88.8%	60歳以上																																																										
5回目	8,764	58.2%	12歳以上																																																										
6回目	3,252	62.3%	65歳以上																																																										
7回目	4,401	28.0%	5歳以上																																																										
事業目的の 達成状況	担当課による評価			S 目的達成																																																									
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 特例臨時接種期間延長に伴い、ワクチン供給の管理や医療機関との調整など、引き続き希望者が接種を受けられる体制を維持することが必要です。</p> <p>② 希望者の接種機会損失とならないよう、接種可能日が近づいた人への接種券発行を切れ目なく行う必要があります。</p> <p>③ 接種希望者が確実に接種機会を把握できるよう、さまざまな媒体を利用した広報活動が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 前年度に引き続き、ワクチン供給の管理や医療機関との調整等を行い、希望者が接種を受けられる体制を維持し、また、接種機会の損失とならないよう、対象者への接種券発行を適切に行いました。</p> <p>② 折込チラシ等各種媒体での広報活動により、接種機会の周知や接種勧奨を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>ワクチン供給、医療機関等との調整、広報活動、適切な接種券発行等により、希望者が確実にワクチン接種できる体制を実施できたことから、S 目的達成と評価しました。</p>																																																												
今後の 取り組みの 方向	令和6年度からは65歳以上の方及び60歳以上で障がい等により日常生活が極度に制限される方を対象に、定期接種化となるため、予防接種費用の一部を助成し、発症予防、重症化予防、蔓延防止に引き続き努めます。																																																												

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1603	事業名	医療・社会福祉施設物価高騰対策支援事業			会計区分	一般会計		
担当課	すこやか健康課		担当係	高齢福祉係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	10,168	10,154	10,154	0	0	0	0		
事業目的	医療機関・社会福祉施設等においては、物価高騰で光熱費や食材費等の負担が増えている一方、収入は原則公定価格であり高騰分を価格転嫁できない状況であることから、支援金により事業の継続を図ります。								
事業の主な実施状況	① 町内の内科・歯科・薬局・介護施設に対し支援金を交付しました。 交付金総額 10,154千円 ○医療・歯科 16ヶ所 1,586千円(内訳:15ヶ所×100千円+1ヶ所86千円) ○薬局 7ヶ所 245千円(内訳:7ヶ所×35千円) ○介護 35ヶ所 8,323千円(内訳:1施設35千円～175千円+定員等加算)								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 価格転嫁できない事業者に対し、社会情勢に応じた支援を行う必要があります。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 前年より支援額を増額し、事業の継続を支援することができました。								
	【担当課による評価の理由】 支援を行うことにより、全ての事業所が継続して事業経営を行っていることから、地域の医療・介護体制の確保を図ることができたものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。								
今後の取り組みの方向	今後も社会情勢に応じ、必要な支援を実施します。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	651	事業名	国保財政基盤強化対策繰出金			会計区分	一般会計		
担当課	すこやか健康課		担当係	保険係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	145,713	142,801	18,253	56,000	0	0	68,548		
事業目的	国民健康保険事業の円滑な運営を図ります。								
事業の 主な 実施状況	① 国民健康保険特別会計に対し、次のとおり繰出を行いました。								
	(単位:千円)								
		名称	内容						繰出額
		出産育児一時金	出産育児一時金に係る費用の2/3を繰出しました。 R5実績 50万円×4件×2/3=133万円						1,334
		基盤安定	【保険税軽減分】保険税の法定軽減分(2割・5割・7割)を繰出しました(県3/4負担)。						62,498
			【保険者支援分】保険税の負担緩和と財政安定化のための繰出しを行いました(国1/2、県1/4負担)。						35,802
			【未就学児均等割保険税軽減分】対象者の保険税軽減分について繰出しを行いました(国1/2、県1/4負担)。						693
			【産前産後保険税軽減分】対象者の保険税軽減分について繰出しを行いました(国1/2、県1/4負担)。						11
		財政安定化支援	保険者の責に帰することができない特別事情(所得や高齢者の構成等)について普通交付税として交付を受け、国保会計へ繰出しました。						18,559
		職員給与等	職員の給与や会計運営事務費、国保連合会へ支払う各種手数料や負担金等の一般管理費、国保運営協議会の費用等を繰出しました。						21,629
	その他(法定外)	地方単独事業(特別医療)に係る国庫負担の減額分を繰出しました。 ※ 鳥取県では県内全体で地方独自の医療費助成(特別医療)を行っているため、国庫負担分の減額措置を受けていますが、R6年度から子ども医療費に係る減額措置は撤廃となりました。						2,275	
	合計							142,801	
事業目的の 達成状況	担当課による評価			S 目的達成					
	【前年度の課題の概要】								
	① 国民健康保険被保険者の減少にともなう保険税の収入減や、1人当たりの医療費の増加により保険財政は厳しさを増す一方ですが、一般会計から国民健康保険特別会計への法定外繰入(赤字繰入)は行わないよう国・県から指導されています。								
	【前年度課題についての対応及び成果】								
① 被保険者の減少数が約200人で国保税は前年と比べ約2,100万円の収入減となったが、基金の取り崩しを行うことなく安定した国民健康保険財政を運営することができました。また、昨年度に引き続き法定外繰入は地方単独事業(鳥取県全体で行う特別医療)に係る経費に留めることができました。									
【担当課による評価の理由】									
国民健康保険特別会計への赤字繰入を行うことがなく、また必要分については法定内での繰入を行い、安定した国民健康保険財政の運営を行えたため、S 目的達成と評価しました。									
今後の 取り組みの 方向	今後も被保険者の減少や1人当たりの医療費の増加が考えられ、また令和6年度から県の激変緩和措置が廃止になる影響とあわせて、町の国民健康保険財政の運営がより厳しくなることが予想されることから、法定外繰入(赤字繰入)を行うことがないよう、引き続き健全な財政運営が行えるよう努めます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	83	事業名	老人福祉事業			会計区分	一般会計														
担当課	すこやか健康課		担当係	高齢福祉係	事業区分	□新規		■継続													
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	6	老人福祉費												
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				②誰でも参加できる居場所づくり・生きがいづくり																
	重点項目	—																			
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)													
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源														
令和5年度	9,176	7,922	0	1,263	800	0	5,859	ふるさと未来夢基金 800千円													
事業目的	高齢者の福祉を向上し、高齢になっても生きがいをもって生活を送れるよう各種事業を実施します。																				
事業の 主な 実施状況	<p>① 補助金6,695千円 下記の活動に対して補助を行いました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金の名称</th> <th>補助金額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単位高齢者クラブ補助金(9クラブ)</td> <td>337千円</td> <td>県2/3 町1/3</td> </tr> <tr> <td>高齢者クラブ連合会運営等補助金</td> <td>1,558千円</td> <td>県2/3 町1/3</td> </tr> <tr> <td>シルバー人材センター運営補助金</td> <td>4,800千円</td> <td>町10/10</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 長寿祝い品給付事業 983千円 88歳と100歳以上の長寿者に祝品を贈呈し、長寿のお祝いをしました。 対象者191人(内訳:88歳159人、100歳10人、101歳以上22人) ・商品券 5千円分×191人=955千円 ・事務費 28千円</p> <p>③ 事務費 244千円 燃料費、通信運搬費、公用車管理費用等</p>									補助金の名称	補助金額	備 考	単位高齢者クラブ補助金(9クラブ)	337千円	県2/3 町1/3	高齢者クラブ連合会運営等補助金	1,558千円	県2/3 町1/3	シルバー人材センター運営補助金	4,800千円	町10/10
補助金の名称	補助金額	備 考																			
単位高齢者クラブ補助金(9クラブ)	337千円	県2/3 町1/3																			
高齢者クラブ連合会運営等補助金	1,558千円	県2/3 町1/3																			
シルバー人材センター運営補助金	4,800千円	町10/10																			
事業目的の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり																	
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① シルバー人材センターの運営について、インボイス制度等への対応に伴い事務量が増加するため、事務局の体制強化が必要となっています。</p>																				
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① シルバー人材センターの運営補助金を増額することで職員を1名増員することができ、インボイス制度の対応等事務局の体制を強化することができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 シルバー人材センターの運営費補助金を増額し事務局の体制強化を支援することができたため、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>																				
今後の 取り組みの 方向	高齢者クラブ補助金に係る申請手続きの負担軽減を図るため、申請書類等の簡素化を検討します。																				

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	85	事業名	特別医療費助成事業			会計区分	一般会計																																	
担当課	すこやか健康課		担当係	保険係	事業区分	□新規		■継続																																
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	7	特別医療費助成事業費																															
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進																																			
	重点項目	—																																						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																	
令和5年度	118,721	107,615	0	50,185	30,262	0	27,168	高額療養費戻入金等 8,162千円 過疎対策事業債 22,100千円																																
事業目的	医療費助成を行うことにより、対象者の健康の保持・生活の安定を図ります。また、子育て家庭の医療費に係る経済的負担を軽減し子育て支援を行います。																																							
事業の 主な 実施状況	① 対象者に対し、次のとおり医療費助成を行いました。(財源: 県1/2、町1/2)																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>受給資格</th> <th>受給者数</th> <th>給付額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身障</td> <td>身体障害者手帳1・2級所持者</td> <td>303人</td> <td>37,919</td> </tr> <tr> <td>重度</td> <td>療育手帳A所持者または療育手帳Bと身体障害者手帳3・4級所持者</td> <td>30人</td> <td>2,143</td> </tr> <tr> <td>精神</td> <td>精神障害者保健福祉手帳1級所持者</td> <td>12人</td> <td>2,720</td> </tr> <tr> <td>特定疾病</td> <td>小児慢性特定疾病にかかっている20歳未満の者(一部疾病は20歳以上も対象)</td> <td>1人</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td>ひとり親</td> <td>18歳の年度末に達するまでの者を扶養しているひとり親家庭の者(所得税非課税世帯)</td> <td>86人</td> <td>3,517</td> </tr> <tr> <td>小児</td> <td>18歳の年度末までの者</td> <td>2,291人</td> <td>57,967</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>2,723人</td> <td>104,440</td> </tr> </tbody> </table>									種別	受給資格	受給者数	給付額(千円)	身障	身体障害者手帳1・2級所持者	303人	37,919	重度	療育手帳A所持者または療育手帳Bと身体障害者手帳3・4級所持者	30人	2,143	精神	精神障害者保健福祉手帳1級所持者	12人	2,720	特定疾病	小児慢性特定疾病にかかっている20歳未満の者(一部疾病は20歳以上も対象)	1人	174	ひとり親	18歳の年度末に達するまでの者を扶養しているひとり親家庭の者(所得税非課税世帯)	86人	3,517	小児	18歳の年度末までの者	2,291人	57,967	合計		2,723人
種別	受給資格	受給者数	給付額(千円)																																					
身障	身体障害者手帳1・2級所持者	303人	37,919																																					
重度	療育手帳A所持者または療育手帳Bと身体障害者手帳3・4級所持者	30人	2,143																																					
精神	精神障害者保健福祉手帳1級所持者	12人	2,720																																					
特定疾病	小児慢性特定疾病にかかっている20歳未満の者(一部疾病は20歳以上も対象)	1人	174																																					
ひとり親	18歳の年度末に達するまでの者を扶養しているひとり親家庭の者(所得税非課税世帯)	86人	3,517																																					
小児	18歳の年度末までの者	2,291人	57,967																																					
合計		2,723人	104,440																																					
事業目的の 達成状況	② 事業実施のため次の経費を支出しました。(財源: 県1/2、町1/2)																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審査支払手数料</td> <td>2,630</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>									内容	金額(千円)	審査支払手数料	2,630	通信運搬費	36																									
内容	金額(千円)																																							
審査支払手数料	2,630																																							
通信運搬費	36																																							
事業目的の 達成状況	③ R6年度からの小児医療費無償化に向け、次の経費を支出しました。(財源: 県1/2、町1/2)																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料(システム改修費等)</td> <td>281</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費・消耗品費等</td> <td>228</td> </tr> </tbody> </table>									内容	金額(千円)	委託料(システム改修費等)	281	印刷製本費・消耗品費等	228																									
内容	金額(千円)																																							
委託料(システム改修費等)	281																																							
印刷製本費・消耗品費等	228																																							
今後の 取り組みの 方向	担当課による評価				S 目的達成																																			
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 鳥取県では令和6年度に、小児医療費を無償化とする方針が決まったため、滞りなく移行できるよう適正な事務執行に努めます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 令和6年度からの小児医療費無償化に向け、システム改修や無償化後の受給者証発送など滞りなく実施することができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>医療費助成を行うことにより、対象者の健康の保持・生活の安定を図るとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減することができました。</p> <p>また、令和6年度からの小児医療費無償化に伴う対応について、滞りなく事務執行できたため、S 目的達成としました。</p>																																							
今後の 取り組みの 方向	鳥取県では令和6年度から、小児医療費が無償化となりましたが、これに伴いコンビニ受診等が増加しないよう、周知の徹底や状況把握に努めます。																																							

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	572	事業名	心身障がい者医療費			会計区分	一般会計																
担当課	すこやか健康課			担当係	保険係	事業区分	□新規 ■継続																
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	8	心身障がい者医療費														
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進																		
	重点項目	—																					
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)															
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																
令和5年度	4,012	2,743	0	1,290	0	0	1,453																
事業目的	心身等に障がいのある方に対し医療費助成をすることで、疾病の重度化を防ぎ、健康の保持及び生活の安定を図ります。																						
事業の 主な 実施状況	<p>① 対象者に対し、次のとおり医療費自己負担額の半額を助成しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>受給者数</th> <th>給付額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体障害者手帳3・4級所持者</td> <td>10人</td> <td rowspan="3">2,709</td> </tr> <tr> <td>療育手帳B所持者</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>精神障害者保健福祉手帳2級所持者</td> <td>104人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【受給要件】(次のすべてを満たすこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者手帳3・4級、療育手帳B、精神障害者保健福祉手帳2級のいずれかを所持している ・特別医療に該当しない ・高齢受給者(70~74歳)に該当しない ・後期高齢者医療に加入していない ・町民税が本人非課税 ・町税などの滞納が無い ・生活保護を受給していない <p>② 事業実施のため次の経費を支出しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>									種別	受給者数	給付額(千円)	身体障害者手帳3・4級所持者	10人	2,709	療育手帳B所持者	13人	精神障害者保健福祉手帳2級所持者	104人	内容	金額(千円)	通信運搬費	34
種別	受給者数	給付額(千円)																					
身体障害者手帳3・4級所持者	10人	2,709																					
療育手帳B所持者	13人																						
精神障害者保健福祉手帳2級所持者	104人																						
内容	金額(千円)																						
通信運搬費	34																						
事業目的の 達成状況	担当課による評価	S 目的達成																					
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 本事業の対象とならなくなった方へ、引き続き他制度移行へのフォローをする必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 本事業の対象とならなくなった70歳以上の人に対し、希望される方については、後期高齢者医療制度への移行相談対応を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>心身等に障がいのある方に対して医療費助成をすることで、疾病の重度化を防ぎ、健康の保持及び生活の安定を図ったため、S 目的達成と評価しました。</p>																						
今後の 取り組みの 方向	心身等に障がいのある方に対して医療費助成をすることで、疾病の重度化を防ぎ、健康の保持及び生活の安定を図っていきます。対象者に対して制度の説明を適切に行うとともに、本事業の対象とならなくなった人に対しては、引き続き他制度移行等のフォローを行います。 また、新規手帳取得者のうち、対象者となる方については漏れなく案内できるよう、関係課との連携を図ります。																						

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1252	事業名	自立支援医療事業			会計区分	一般会計		
担当課	すこやか健康課		担当係	保険係	事業区分	□新規		■継続	
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	9	障がい者福祉費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	21,605	20,123	10,014	5,007	0	0	5,102		
事業目的	障がいの軽減・除去や機能回復のための医療費を公費負担することで、対象者の経済的な負担を軽減します。								
事業の 主な 実施状況	① 対象者に対し、次のとおり医療費助成を行いました。								
	【育成医療】(財源:国1/2、県1/4、町1/4) 治療により将来的に治癒効果が見込める疾患を有する児童等に支給しました。								
	種別		受給者数	給付額(千円)					
	音声・言語・そしゃく機能障害		3人	126					
心臓機能障害		0人	0						
その他(肢体不自由)		1人	226						
合計		4人	352						
【更生医療】(財源:国1/2、県1/4、町1/4) 治療により身体機能の改善、維持が見込まれる18歳以上の身体障害者手帳所持者に支給しました。									
種別		主な内容		受給者数	給付額(千円)				
心臓機能障害		ペースメーカー植込み等		14人	1,792				
腎臓機能障害		人工透析等		79人	17,885				
合計				93人	19,677				
② 事業実施のため次の経費を支出しました。									
内容		金額(千円)							
審査支払手数料		65							
通信運搬費		29							
事業目的の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】 ① 法律に基き、常に適切な給付が行われるよう努めていく必要があります。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 適切な給付が行われるよう、医療機関と適宜連携をとりつつ、事務を遂行しました。								
【担当課による評価の理由】 障がいの軽減・除去や機能回復のための医療費を公費負担することにより、対象者の経済的な負担を軽減したため、S 目的達成と評価しました。									
今後の 取り組みの 方向	障がいの軽減・除去や機能回復のための医療費を公費負担することで、対象者の経済的な負担を軽減します。法律に基づく適切な事務遂行となるよう努めるとともに、医療機関等との連携を心掛けます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1312	事業名	腎臓機能障がい者交通費助成事業			会計区分	一般会計																	
担当課	すこやか健康課		担当係	保険係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																		
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	9	障がい者福祉費															
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進																			
	重点項目	—																						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																	
令和5年度	754	355	0	175	0	0	180																	
事業目的	腎臓機能に障がいを持つ方が人工透析療法を受けるため通院した場合に、自宅からの通院距離に応じて交通費を助成し、負担軽減を図ります。																							
事業の 主な 実施状況	① 腎臓機能に障がいを持つ方に対し、下記のとおり自宅からの通院距離に応じて交通費を助成しました。																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>通院距離</th> <th>助成月額</th> <th>受給者数</th> <th>給付額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2km以上5km未満</td> <td>1,000円</td> <td>4人</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>5km以上</td> <td>3,000円</td> <td>9人</td> <td>297</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>13人</td> <td>345</td> </tr> </tbody> </table> <p>【受給要件】(次のすべてを満たすこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回以上血液透析を受けている在宅の方 ・自宅から通院先まで片道2km以上ある ・町民税が本人非課税 ・町税等の滞納がない ・医療機関での送迎事業を利用されていない ② 事業実施のため次の経費を支出しました。									通院距離	助成月額	受給者数	給付額(千円)	2km以上5km未満	1,000円	4人	48	5km以上	3,000円	9人	297	合計		13人
通院距離	助成月額	受給者数	給付額(千円)																					
2km以上5km未満	1,000円	4人	48																					
5km以上	3,000円	9人	297																					
合計		13人	345																					
			担当課による評価			B 進展が大きくない																		
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ① 助成金額の見直しや通院回数による受給の厳格化等、引き続き制度のあり方について検討を重ねていく必要があります。																							
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 国においてガソリン等の価格抑制策を行っていることを踏まえ、現状維持としました。今後も情勢に応じて、見直しを検討します。																							
今後の 取り組みの 方向	【担当課による評価の理由】 人工透析療法を受けるための通院に対する交通費を助成し、対象者の経済的な負担の軽減を図りました。制度の見直しを行った結果、現状維持としたことから、B 進展が大きくないと評価しました。																							
	人工透析療法を受けるための通院に対し交通費を助成することで、対象者の経済的な負担の軽減を図っていきます。今後も適切な給付が行われるよう他制度の動向等に注意しつつ、制度の在り方を検討していきます。																							


令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	86	事業名	介護保険事業			会計区分	一般会計																	
担当課	すこやか健康課		担当係	高齢福祉係		事業区分	□新規 ■継続																	
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	10	介護保険事業															
まちづくり ビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進																			
	重点項目	—																						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																	
令和5年度	406,435	347,254	31,869	5,784	0	0	309,601																	
事業目的	町義務負担分を介護保険特別会計へ繰り出し、介護保険事業の適正な運営を図ります。																							
事業の 主な 実施状況	① 介護保険事業を運営するために必要な町負担分を介護保険特別会計へ繰出しました。																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護給付費</td> <td>249,498千円</td> </tr> <tr> <td>地域支援(介護予防)</td> <td>10,092千円</td> </tr> <tr> <td>地域支援(包括・任意)</td> <td>7,186千円</td> </tr> <tr> <td>職員給与分</td> <td>13,555千円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>23,437千円</td> </tr> <tr> <td>低所得者保険料負担軽減(国1/2、県1/4、町1/4)</td> <td>23,016千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>326,784千円</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	金 額	介護給付費	249,498千円	地域支援(介護予防)	10,092千円	地域支援(包括・任意)	7,186千円	職員給与分	13,555千円	事務費	23,437千円	低所得者保険料負担軽減(国1/2、県1/4、町1/4)	23,016千円	合 計	326,784千円						
区 分	金 額																							
介護給付費	249,498千円																							
地域支援(介護予防)	10,092千円																							
地域支援(包括・任意)	7,186千円																							
職員給与分	13,555千円																							
事務費	23,437千円																							
低所得者保険料負担軽減(国1/2、県1/4、町1/4)	23,016千円																							
合 計	326,784千円																							
② 生活困難者の介護サービス利用者負担軽減を行った社会福祉法人に対し、軽減額の一部を補助しました。 社会福祉法人 2件 109千円																								
③ 地域介護・福祉空間整備等事業費補助金 高齢者施設利用者等の安全・安心を確保するため、非常用自家発電設備を導入する事業所に補助金を交付しました。 グループホーム事業所 3件 20,361千円(国10/10)																								
事業目的の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり																				
	【前年度の課題の概要】 繰出金等、事務経費のため、介護保険に係る課題等は、介護保険特別会計に記載しました。																							
	【前年度課題についての対応及び成果】 繰出金等、事務経費のため、介護保険に係る課題等は、介護保険特別会計に記載しました。 グループホーム事業所に補助金を交付し、高齢者施設の防災・減災対策を推進しました。																							
【担当課による評価の理由】 グループホーム事業所の高齢者の防災・減災対策の推進及び介護保険事業の適正運営を図れたものと判断し、A相当程度進展ありと評価しました。																								
今後の 取り組みの 方向	介護保険事業の運営のため、各種法令を遵守した事業費を計上し、介護保険サービスの適正運営を図ります。																							

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	866	事業名	後期高齢者医療事務			会計区分	一般会計												
担当課	すこやか健康課		担当係	保険係	事業区分	□新規		■継続											
予算区分	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	11	後期高齢者医療費												
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進														
	重点項目	—																	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)											
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源												
令和5年度	382,704	372,845	0	51,739	4,889	0	316,217	保険事業等収入 6,183千円											
事業目的	後期高齢者医療制度の円滑な運営を図ります。また、被保険者の疾病の早期発見及び健康増進を図るために健診事業を行います。																		
事業の 主な 実施状況	① 保険者の疾病の早期発見及び健康増進を図るために次のとおり保健事業を行いました。																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>支払額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康診査</td> <td>特定健康診査を行い、生活習慣病の予防や重症化の抑制を図りました。675人</td> <td>5,039</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者みなし健診</td> <td>令和5年4月から後期高齢者のみなし健診事業が開始されたため、受診勧奨通知を発送しました。1,171通</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業</td> <td>高齢者の健康に関するデータから個人、地域レベルで課題を分析し、訪問指導や健康教室を実施することで、高齢者のフレイル予防、重症化予防を図りました。 (広域連合受託金収入:1,309千円 人件費等に充当)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								事業名	内容	支払額(千円)	健康診査	特定健康診査を行い、生活習慣病の予防や重症化の抑制を図りました。675人	5,039	後期高齢者みなし健診	令和5年4月から後期高齢者のみなし健診事業が開始されたため、受診勧奨通知を発送しました。1,171通	117	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	高齢者の健康に関するデータから個人、地域レベルで課題を分析し、訪問指導や健康教室を実施することで、高齢者のフレイル予防、重症化予防を図りました。 (広域連合受託金収入:1,309千円 人件費等に充当)
事業名	内容	支払額(千円)																	
健康診査	特定健康診査を行い、生活習慣病の予防や重症化の抑制を図りました。675人	5,039																	
後期高齢者みなし健診	令和5年4月から後期高齢者のみなし健診事業が開始されたため、受診勧奨通知を発送しました。1,171通	117																	
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	高齢者の健康に関するデータから個人、地域レベルで課題を分析し、訪問指導や健康教室を実施することで、高齢者のフレイル予防、重症化予防を図りました。 (広域連合受託金収入:1,309千円 人件費等に充当)																		
事業の 主な 実施状況	② 後期高齢者医療制度の運営のため、次のとおり事業を行いました。																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>内容</th> <th>支払額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>療養給付費負担金</td> <td>後期高齢者の保険給付費の1/12に相当する額を市町村負担分として後期高齢者医療広域連合へ支払いました。【内過年度分 11,278千円】</td> <td>285,647</td> </tr> <tr> <td>広域連合共通経費負担金</td> <td>後期高齢者医療広域連合の運営にかかる共通経費を後期高齢者医療広域連合へ支払いました。</td> <td>11,559</td> </tr> <tr> <td>他会計繰出金</td> <td>保険料軽減にかかる費用、保険証更新等の事務にかかる費用を後期高齢者医療特別会計へ繰出しました。</td> <td>70,483</td> </tr> </tbody> </table>								事業名	内容	支払額(千円)	療養給付費負担金	後期高齢者の保険給付費の1/12に相当する額を市町村負担分として後期高齢者医療広域連合へ支払いました。【内過年度分 11,278千円】	285,647	広域連合共通経費負担金	後期高齢者医療広域連合の運営にかかる共通経費を後期高齢者医療広域連合へ支払いました。	11,559	他会計繰出金	保険料軽減にかかる費用、保険証更新等の事務にかかる費用を後期高齢者医療特別会計へ繰出しました。
事業名	内容	支払額(千円)																	
療養給付費負担金	後期高齢者の保険給付費の1/12に相当する額を市町村負担分として後期高齢者医療広域連合へ支払いました。【内過年度分 11,278千円】	285,647																	
広域連合共通経費負担金	後期高齢者医療広域連合の運営にかかる共通経費を後期高齢者医療広域連合へ支払いました。	11,559																	
他会計繰出金	保険料軽減にかかる費用、保険証更新等の事務にかかる費用を後期高齢者医療特別会計へ繰出しました。	70,483																	
事業目的の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり															
	【前年度の課題の概要】 ① 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について、今後、保健指導等を行った高齢者の健康状態の改善等を評価する体制作りが必要です。																		
事業目的の 達成状況	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 個人宅へ訪問しての保健指導では、年度内に2回訪問を行い、個々の健康状態の改善等の評価を行いました。 ② 鳥取大学から助言を受け、過年度指導対象者の要介護認定状況に基づき事業評価を行い、次年度計画へ反映させました。																		
	【担当課による評価の理由】 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について、鳥取大学からの事業評価を受けるとともに、地域包括支援センター等関係者との連携を強化し高齢者のサポート体制を整えたことから、A 相当程度進展ありと評価しました。																		
今後の 取り組みの 方向	広域連合が「みなし健診」を開始するにあたり、被保険者の新たな疾病を発見し、早期医療に繋げるため、該当者へ健診勧奨通知を発送します。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業による保健指導等を継続して実施します。 あわせて、医療給付が必要な被保険者については、法律に基づき適切な事務執行となるよう努めます。																		

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	96	事業名	一般管理			会計区分	一般会計		
担当課	すこやか健康課	担当係	健康推進係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続				
予算区分	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 1	保健衛生総務費			
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			③地域で取り組む町民一人ひとりの健康づくりと介護予防					
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	4,592	3,398	0	0	0	0	3,398		
事業目的	<p>健康寿命日本一を目指して、よい生活習慣・運動習慣の定着、健康増進の推進を図り、町民の健康寿命延伸を実現するため、第4期「健康ことうら計画」の策定を行います。</p> <p>休日でも救急医療が24時間体制で提供できるよう、中部ふるさと広域連合に委託し、休日・夜間の医療体制の充実に取り組めます。</p>								
事業の主な実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康づくり推進委員会 健康づくり推進委員会を3回開催し、第4期「健康ことうら計画」の策定を行いました。 計画期間 6年間 (R6～R11) 報償費 16千円 消耗品費 19千円 ○ 休日急患診療所及び病院群輪番制病院運営 鳥取中部ふるさと広域連合に委託し、休日・夜間の医療体制の確保を行いました。 負担金 3,363千円 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 —</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 健康づくり推進委員会を開催し、委員からの様々な意見を反映させた計画の策定を行うことができました。 休日救急診療所、病院群輪番制の運営に必要な支援を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 健康ことうら計画の策定と休日・夜間の医療体制確保に加え、休日の二次救急医療が24時間確保できる体制を維持するため、必要な支援を継続して行ったことから、A 相当程度進展有りと評価しました。</p>								
今後の取り組みの方向	<p>健康ことうら計画の目標「健康寿命1歳延伸」に向け、庁内及び関係団体とともに取組みを進めて行く必要があります。また、中部圏域における初期救急医療体制及び二次救急医療体制を鳥取県中部医師会等と連携して維持し、救急医療体制の診療機能として必要な運営等に対し、引き続き支援を行っていきます。</p>								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	99	事業名	献血推進事業			会計区分	一般会計		
担当課	すこやか健康課		担当係	健康推進係		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	58	58	0	0	0	0	58		


事業目的 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律第5条の規定に基づき血液製剤の安定した供給を図ることを目的とします。

① 町内事業所を会場に4日間、延べ16事業所で400mlの全血献血を行いました。
その結果、協力者数：173人、採血量：69リットルの協力をいただきました。

【令和5年度事業所献血実績】

月日	場所	実績(人)	月日	場所	実績(人)
6月28日 (水)	役場本庁舎	30	10月20日 (金)	役場本庁舎	27
	福助(株)鳥取工場	5		鳥取部品(株)	5
	JA鳥取中央赤碕支所	4		鳥取中央有線放送(株)	9
	(株)高野組	11		馬野建設(株)	10
7月26日 (水)	役場分庁舎	12	12月18日 (月)	琴浦大山警察署	12
	大山乳業農業協同組合	3		福助(株)鳥取工場	6
	琴浦大山警察署	9		役場分庁舎	7
	(株)井木組	16		(株)高野組	7

・記念品等(白バラ牛乳、サランラップ、ボックスティッシュ) 58千円



献血推進キャラクター「けんけつちゃん」

担当課による評価 A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】
献血目標達成に向け、引き続き関係団体と連携を行いながら協力依頼に努めるとともに、若い世代に対し、献血に関する理解を深め、推進して行く必要があります。

【前年度課題についての対応及び成果】
琴浦町建設協議会及び町商工会と連携を行い、事業所に対し周知し、協力者数の確保に努めました。また、「二十歳の集い」に献血リーフレットを配付し、周知を行いました。献血実施事業所の周辺事業所に出向き協力依頼を行ったことで、目標数には達しなかったものの、昨年より多くの献血協力を得ることが出来ました。

【担当課による評価の理由】
献血目標には達しませんでした、昨年度より周知範囲を拡大したこともあり、献血協力者が増加したため、A 相当程度進展ありと評価しました。
・献血協力者目標値 190人
・実績 令和4年度(165人)、令和5年度(173人)

今後の取り組みの方向 引き続き関係団体と連携を行いながら協力依頼に努めます。また、若い世代や献血未経験者等に対し、献血に関する理解を深め、推進して行く必要があります。


令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	102	事業名	食生活改善推進事業			会計区分	一般会計		
担当課	すこやか健康課		担当係	健康推進係		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				③地域で取り組む町民一人ひとりの健康づくりと介護予防				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	623	479	0	6	11	0	462	教室参加費 11千円	


事業目的 町民が食や健康に関する知識と食を選択する力を身につけ、よい食習慣を実践できるよう各種食育推進事業を行い、健康寿命の延伸を図ります。

① 食生活改善推進員と連携し、子どもから高齢者まで幅広い年代に対し生活習慣病予防やフレイル予防、よい食習慣の定着、地産地消等を目的とした講習会や啓発を行いました。
(食生活改善推進員 119人)


事業名	実施回数	延参加者数
ヘルスアップ教室	1	22
生活習慣病予防講習会	17	370
フレイル予防講習会	15	167
町報への地産地消レシピ掲載	6	289
家庭訪問等による減塩の推進		
その他食育啓発活動	11	421



【ヘルスアップ教室での講演と調理実習】



【検診会場での啓発】



【町報へのレシピ掲載】

② 食生活改善推進員の資質向上のための研修会を実施し、医療費分析により明らかになった町の健康課題の提示を行うなど、地域での健康づくりを推進するための支援を行いました。

担当課による評価 A 相当程度進展あり

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】
① 地産地消レシピの動画を作成して配信するなど、新たな啓発方法も検討していく必要があります。

【前年度課題についての対応及び成果】
① 町内事業所で作られた製品を使ったレシピを作成し、調理動画を町公式YouTubeチャンネルで配信したり検診会場での配布を行うなどの取り組みを行いました。

【担当課による評価の理由】
講習会の実施回数および参加人数が前年度に比べ増えたこと、またSNS等を活用した新たな啓発に取り組んだことから、A 相当程度進展ありと評価しました。

今後の取り組みの方向 引き続き子どもから高齢者まで幅広い年代に対し啓発ができるよう、関係機関と連携して講習会や食育啓発を実施していきます。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	104	事業名	予防接種			会計区分	一般会計																																				
担当課	すこやか健康課			担当係	健康推進係	事業区分	□新規 ■継続																																				
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費																																		
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進																																						
	重点項目	—																																									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																			
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																				
令和5年度	13,891	8,419	321	41	7,600	0	457	ふるさと未来夢基金 7,600千円																																			
事業目的	予防接種法に定める成人を対象とする予防接種を実施し、感染症の感染・発病・重症化を予防するとともに、感染症の蔓延を予防します。また、先天性による風しんに関する感染症の蔓延予防、重症化予防を図ります。																																										
事業の 主な 実施状況	① 定期予防接種(高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌、風しん)を実施しました。 ② 風しん定期接種の対象者に接種勧奨を行いました。 【定期接種】 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>接種種別</th> <th>対象者数</th> <th>実施人数</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者肺炎球菌(※1)</td> <td align="center">714</td> <td align="center">151</td> <td align="center">21.1%</td> </tr> <tr> <td>高齢者インフルエンザ</td> <td align="center">6,216</td> <td align="center">3,614</td> <td align="center">58.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成人風しん(抗体検査)</td> <td align="center">R5</td> <td align="center">73</td> <td align="center">6.8%</td> </tr> <tr> <td align="center">H31～R5</td> <td align="center">560</td> <td align="center">47.5%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成人風しん(予防接種) (※2)</td> <td align="center">R5</td> <td align="center">23</td> <td align="center">59.0%</td> </tr> <tr> <td align="center">H31～R5</td> <td align="center">179</td> <td align="center">81.7%</td> </tr> </tbody> </table> (※1) 過去に接種した者は助成対象外 (※2) 抗体検査受検者のうち抗体が低く、接種が必要とされた者 ③ 先天性風しん症候群を予防するため、妊娠を希望する女性及び妊婦の配偶者、その家族に対し、任意予防接種にかかる費用の助成を行いました。 【任意接種】 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>接種種別</th> <th>対象者数</th> <th>接種人数</th> <th>接種率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成人麻しん・風しん</td> <td align="center">—</td> <td align="center">13</td> <td align="center">—</td> </tr> </tbody> </table>									接種種別	対象者数	実施人数	実施率	高齢者肺炎球菌(※1)	714	151	21.1%	高齢者インフルエンザ	6,216	3,614	58.1%	成人風しん(抗体検査)	R5	73	6.8%	H31～R5	560	47.5%	成人風しん(予防接種) (※2)	R5	23	59.0%	H31～R5	179	81.7%	接種種別	対象者数	接種人数	接種率	成人麻しん・風しん	—	13	—
接種種別	対象者数	実施人数	実施率																																								
高齢者肺炎球菌(※1)	714	151	21.1%																																								
高齢者インフルエンザ	6,216	3,614	58.1%																																								
成人風しん(抗体検査)	R5	73	6.8%																																								
	H31～R5	560	47.5%																																								
成人風しん(予防接種) (※2)	R5	23	59.0%																																								
	H31～R5	179	81.7%																																								
接種種別	対象者数	接種人数	接種率																																								
成人麻しん・風しん	—	13	—																																								
事業目的の 達成状況	担当課による評価	B 進展が大きくない																																									
	【前年度の課題の概要】 風しん抗体検査助成事業が令和6年度で終了となるため、未接種者へ再度の接種勧奨通知を送るほか、実施率を高められるよう、町内事業所との連携を図る必要があります。																																										
	【前年度課題についての対応及び成果】 風しん定期接種対象者(抗体検査・予防接種未実施者)に対して、年度初めと年度末の2回、接種クーポン券を送付し接種率向上に努めましたが、実施率は例年と同程度でした。年度末に送付したクーポン券については、翌年度も引き続き接種状況を注視していく必要があります。町内事業所との連携は図ることができませんでしたが、広報による接種勧奨や、集団セット検診会場でクーポン券を交付し、検診と同時の抗体価検査を勧め、実施率の向上を図りました。																																										
	【担当課による評価の理由】 成人風しんの接種率は横ばいであり、大きく進展を図ることができなかつたため、B 進展が大きくないと評価しました。																																										
今後の 取り組みの 方向	令和6年度で風しん抗体検査助成事業は最終年度になるため、さまざまな媒体による未接種者への接種勧奨や、町内事業所と連携して対象者への接種勧奨も行き、より一層の接種率向上を図る必要があります。																																										

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1171	事業名	未熟児養育医療費給付事業			会計区分	一般会計							
担当課	すこやか健康課			担当係	保険係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続							
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費					
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進									
	重点項目	—												
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)						
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源							
令和5年度	1,263	930	255	193	157	0	325	個人負担 157千円						
事業目的	未熟児及び一定の症状が出ている乳児が、指定の医療機関で入院治療をする場合に、養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図ります。													
事業の 主な 実施状況	① 対象者に対し、次のとおり医療費助成を行いました。													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>受給者数</th> <th>給付額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>養育医療費</td> <td>5人</td> <td>929</td> </tr> </tbody> </table> <p>【受給対象者】(1か2のいずれかの症状を有する乳児)</p> <ol style="list-style-type: none"> 出生体重が2,000g以下の未熟児 次のいずれかの症状等に該当する方 <ol style="list-style-type: none"> 運動不安、けいれんがある。運動が異常に少ない。 体温が摂氏34度以下。 呼吸器、循環器系 強度のチアノーゼが持続する。出血傾向が強い。 消化器系 生後24時間以上排便がない。生後48時間以上嘔吐が持続している。 黄疸 生後数時間以内に現れるか、異常に強い黄疸がある。 									内容	受給者数	給付額(千円)	養育医療費	5人
内容	受給者数	給付額(千円)												
養育医療費	5人	929												
事業目的の 達成状況	② 事業実施のため次の経費を支出しました。													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審査支払手数料</td> <td>318</td> </tr> </tbody> </table>									内容	金額(円)	審査支払手数料	318	
内容	金額(円)													
審査支払手数料	318													
事業目的の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成									
	【前年度の課題の概要】 ① 法律に基づき、引き続き適切な事業実施に努めていく必要があります。													
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 多胎児の増加や医療の進歩により、対象者や医療費は増加傾向にあります。制度を必要とする方のため、引き続き適切な事業実施に努めていく必要があります。													
今後の 取り組みの 方向	【担当課による評価の理由】 適切に事務を執行できたため、S 目的達成と評価しました。													
	医療を必要とする未熟児に、法律に基づいた適正な医療給付を行い、乳児の健康管理と健全な育成を図ります。													

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	107	事業名	健康教育			会計区分	一般会計																			
担当課	すこやか健康課			担当係	健康推進係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																		
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	健康づくり推進事業費																	
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				③地域で取り組む町民一人ひとりの健康づくりと介護予防																					
	重点項目	—																								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																			
令和5年度	517	170	0	12	49	0	109	後期高齢者医療一体的実施委託料 49千円																		
事業目的	がんや生活習慣病およびフレイル予防などをテーマとした各種健康教育を実施して正しい知識の普及・啓発を行い、検診受診や生活習慣改善等健康管理への意識を高め、町民の健康寿命の延伸を目指します。																									
事業の 主な 実施状況	① がんや生活習慣病およびフレイル予防に関する正しい知識の普及・啓発を行い、健康の保持増進・健康寿命の延伸を図るため、健康教育を実施しました。 健康教育の対象団体は部落、高齢者クラブ、女性会、サークル、企業などでした。																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">項目</th> <th style="width: 25%;">実施回数</th> <th style="width: 25%;">延参加者数</th> <th style="width: 25%;">40～64歳(再掲)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康教育</td> <td>28回</td> <td>574人</td> <td>128人</td> </tr> <tr> <td>(R4年度実績)</td> <td>(40回)</td> <td>(655人)</td> <td>(101人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【健康教育の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>運動教室 (理学療法士)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>歯と口の健康教室 (歯科衛生士)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>健康チェック</p> </div> </div> <p>② 健康相談では、予約による健康相談(面談、電話、訪問)の他、健康教室等の際に健康チェックや保健師による健康に関する相談、栄養士による栄養相談を実施しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">項目</th> <th style="width: 30%;">実施回数</th> <th style="width: 40%;">延相談者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康相談</td> <td>89回</td> <td>101人</td> </tr> </tbody> </table>									項目	実施回数	延参加者数	40～64歳(再掲)	健康教育	28回	574人	128人	(R4年度実績)	(40回)	(655人)	(101人)	項目	実施回数	延相談者数	健康相談	89回
項目	実施回数	延参加者数	40～64歳(再掲)																							
健康教育	28回	574人	128人																							
(R4年度実績)	(40回)	(655人)	(101人)																							
項目	実施回数	延相談者数																								
健康相談	89回	101人																								
事業目的の 達成状況	担当課による評価				C 進展なし																					
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 新型コロナウイルスの感染拡大により、高齢者等の外出機会が減少しているため、フレイル等へ繋がるのが危惧されます。また事業実施にあたっては、新型コロナウイルスに対する十分な感染対策をする必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、感染対策に留意しながら事業を実施しました。 ② 昨年度より回数は減りましたが、1回あたりの教室参加人数を増やして開催できました。 ③ フレイル予防の内容を盛り込み、必要な人には介護予防事業への繋ぎ支援を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、教室開催の増加を見込んでいましたが、回数の増加に至らなかったため、C 進展なしと評価しました。</p>																									
今後の 取り組みの 方向	引き続き、健康教育を実施し、健康意識の向上に繋がります。 働き世代など若年層の方にも、開催の場を広げられるよう、案内・周知を行います。																									

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	109	事業名	健康診査			会計区分	一般会計																																			
担当課	すこやか健康課		担当係	健康推進係		事業区分	□新規 ■継続																																			
予算区分	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3	健康づくり推進事業費																																			
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり																																									
	重点項目	—																																								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																			
令和5年度	39,794	30,329	0	511	900	0	28,918	ふるさと未来夢基金 800千円 各種検診自己負担金 100千円																																		
事業目的	各種がん検診を中心に、肝炎ウイルス検査・基本健診等を実施し、疾病の早期発見・早期治療で医療費の削減を図るとともに、町民の健康づくりの推進を図ることを目的とします。																																									
事業の 主な 実施状況	<p>1 各種検診事業</p> <p>① 集団セット検診及び医療機関委託検診、部落巡回肺がん・結核・大腸がん検診等を実施しました。 【集団セット検診】平日：15日、休日：2日実施(実施期間：6月～12月) 【医療機関委託検診】中部・西部(子宮・乳のみ)医療機関で実施(実施期間：5月～翌年2月) 【部落巡回検診】2日実施(実施期間：10月)</p> <p>② 休日セット検診を年2日実施し、就労者でも受診しやすい体制を確保しました。</p> <p>【がん検診受診状況】(子宮がん20歳以上、その他40歳以上)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>胃がん</th> <th>大腸がん</th> <th>子宮がん</th> <th>乳がん</th> <th>肺がん</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診率</td> <td>22.7%</td> <td>24.6%</td> <td>23.2%</td> <td>16.0%</td> <td>24.4%</td> <td rowspan="2">全体受診率：22.7%</td> </tr> <tr> <td>受診者数</td> <td>1419人</td> <td>1533人</td> <td>906人</td> <td>583人</td> <td>1522人</td> </tr> <tr> <td>精検者数</td> <td>33人</td> <td>111人</td> <td>2人</td> <td>19人</td> <td>56人</td> <td rowspan="2">全体精検受診率：85.1%</td> </tr> <tr> <td>精検受診率</td> <td>84.8%</td> <td>78.4%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>92.9%</td> </tr> </tbody> </table>									区分	胃がん	大腸がん	子宮がん	乳がん	肺がん		受診率	22.7%	24.6%	23.2%	16.0%	24.4%	全体受診率：22.7%	受診者数	1419人	1533人	906人	583人	1522人	精検者数	33人	111人	2人	19人	56人	全体精検受診率：85.1%	精検受診率	84.8%	78.4%	100.0%	100.0%	92.9%
	区分	胃がん	大腸がん	子宮がん	乳がん	肺がん																																				
受診率	22.7%	24.6%	23.2%	16.0%	24.4%	全体受診率：22.7%																																				
受診者数	1419人	1533人	906人	583人	1522人																																					
精検者数	33人	111人	2人	19人	56人	全体精検受診率：85.1%																																				
精検受診率	84.8%	78.4%	100.0%	100.0%	92.9%																																					
	<p>③ 肝炎ウイルス検査による陽性判定者に精密検査の受診勧奨(R5該当者なし)及び定期検査受診の受診勧奨を行いました。</p> <p>2 歯周疾患検診 20歳～70歳までの5歳刻み年齢の方を対象に、医療機関での歯周疾患検診を実施しました。(20歳、25歳は令和5年度から新規追加)</p> <p>3 ピロリ菌検査 中学2年生(166人)のうち、意向のあった118人を対象にピロリ菌検査を実施しました。結果、ピロリ菌の感染者はいませんでした。</p>																																									
事業目的の 達成状況	担当課による評価			C 進展なし																																						
	<p>【前年度の課題の概要】 検診受診を推進し、疾病の早期発見・早期治療に繋がるように、検診環境の整備や、受診勧奨を行いました。各種がん検診受診率は横ばい、平均精密検査受診率の低下が見られます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 健康教室時に、受診の必要性和検診日時の周知や、集団セット検診日に併せて音声放送や町報での広報を行うほか、協会けんぽと連携して検診受診勧奨として新聞折り込みチラシを作成しました。 また、集団検診の受診環境整備のため、予約制度を開始しました。精密検査未受診者へは、受診勧奨通知を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 受診勧奨等を実施した結果、乳がん検診は増加したものの、その他各種がん検診受診率は全体的に低下、精密検査受診率も横ばいであるため、C 進展なしと評価しました。</p>																																									
	<p>今後の取り組みの方向 集団検診の受診環境を改善するため、受付方法の変更を行い、待ち時間の軽減を図ります。集団検診の予約制、子宮・乳がん検診の西部地区医療機関実施は継続して実施します。 また、検診受診について住民へのアンケートを実施し、より検診を受けやすくなるよう検討を行います。</p>																																									

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1256	事業名	健康寿命延伸事業(地方創生)			会計区分	一般会計		
担当課	すこやか健康課		担当係	健康推進係		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	健康づくり推進事業費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				③地域で取り組む町民一人ひとりの健康づくりと介護予防				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	2,562	764	0	70	600	0	94	ふるさと未来夢基金 600千円	

事業目的 健康で自分らしい幸せな暮らしを見つめる契機として、「そろいそろい手帳」の普及を行うとともに、健康寿命の延伸を目指し、各種事業を行う。

事業の主な実施状況

① そろいそろい手帳の普及
誰もが自分らしい幸せな暮らしを送れるよう「そろいそろい手帳」の利用を図るため、配付場所の拡大(病院、薬局、介護福祉施設、町内寺院等)を行い、活用を推進しました。
また、家にある思い出の品を活用した手帳のバンドを作成するワークショップを行いました。
5回開催(高齢者サークル、子育て支援センター等)
ワークショップ講師報酬費(5回) 22千円




ワークショップの様子

② 健康経営モデル事業補助金
町内事業所の健康経営に取り組む事業所を支援するため、商工会や町内事業所へ訪問し、PRを行いました。また、町内事業所対象の研修会の中で、事業の説明を行いました。
今年度は1事業所を支援し、従業員の健康向上にむけ、取り組むことができました。
補助金 142千円

③ 補聴器購入費補助事業
軽度難聴者に対し、日常生活やコミュニケーション機能の維持を図るため、補聴器購入費用の一部を助成しました。
補助金 600千円(30千円×20件)

担当課による評価 A 相当程度進展あり

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】
そろいそろい手帳については、配付場所の拡大を行うとともに、様々な年代に対しPRしていく必要があります。また、健康経営については様々な場所において事業所に広く周知をしながら、実践する事業所を支援する必要があります。

【前年度課題についての対応及び成果】
そろいそろい手帳の配付先を拡大することで、多くの方の活用に繋がりました。また、健康経営についても広く事業所に周知し、1事業所の取組みを支援することができました。

【担当課による評価の理由】
そろいそろい手帳については、子育て世代や高齢者サークル等を対象としたワークショップを数回開催することができ、活用を広く周知することが出来ました。健康経営についても町内事業所に広く知っていただけるようあらゆる場で周知ができました。また、新規事業として補聴器が必要な方に対する購入費の助成を実施することができたことから A 相当程度進展ありと評価しました。

今後の取り組みの方向
そろいそろい手帳については、今後も活用を推進するため、引き続き様々な年代に対しPRして行きます。健康経営については関係団体と連携しながら、実践する事業所を支援します。また、補聴器が必要な方へ事業を利用していただけるよう関係機関や各媒体を通じ周知していく必要があります。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号		事業名	国民健康保険特別会計			会計区分	国民健康保険特別会計	
担当課	すこやか健康課		担当係	保険係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
予算区分	款		項			目		
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進			
	重点項目	—						

年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	2,055,801	2,018,963	32	1,491,336	147,820	0	379,775	一般会計繰入金 ・出産育児一時金 1,334千円 ・基盤安定 98,300千円 ・未就学児均等割 693千円 ・産前産後 11千円 ・財政安定化支援 18,559千円 ・職員給与費等 21,629千円 ・その他(法定外) 2,275千円 財産収入 172千円 延滞金 2,996千円 雑入 1,851千円

事業目的 国民健康保険事業の円滑な運営を図ることを目的とします。

① 国民健康保険の被保険者に対して次のとおり保険給付を行いました(審査支払手数料を除く)。

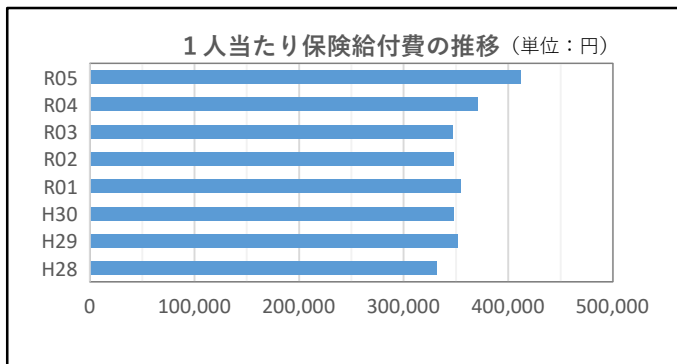
平均被保険者数 一般 : 3,553人

給付種別	内容	支払額(千円)
療養給付費	医療費から被保険者の自己負担を除いた部分を保険給付しました。 61,821件	1,258,616
療養費	補装具、柔道整復、はり・きゅう等に関する保険給付を行いました。 449件	3,395
高額療養費	1ヶ月の医療費が一定の限度額を超えた分を保険給付しました。 3,171件	201,945
高額介護合算療養費	1年間の医療・介護の合計が限度額を超えた分を保険給付しました。 7件	146
出産育児一時金	被保険者が出産したときの一時金を支払いしました(最大50万円/件)。 4件	2,000
葬祭費	被保険者が死亡したときに喪主に対して支給しました(2万円/件)。 29件	580
移送費	医師の指示により移送された際の費用を保険給付するものです。 0件	0
傷病手当金	国民健康保険に加入している被用者で、新型コロナウイルス感染症に感染した人等へ傷病手当金を支給するものです。 0件	0
審査支払手数料	鳥取県国保連合会へレセプト審査・処理手数料として払いました。 62,287件	3,924
合計		1,470,606

② 1人当たり保険給付費の推移について

令和5年度は、被保険者全体に占める高齢者の割合と高額医療の増加にともない、1人当たり医療費は増加しています。また、コロナ禍の受診控えの状況から、コロナ禍以前の状況を超えて医療費は大幅に増加しています。

年度	1人当たり 保険給付費(円)
H28	332,169
H29	351,208
H30	348,052
R01	354,163
R02	347,685
R03	347,183
R04	370,763
R05	412,075



※出産育児一時金・葬祭費・傷病手当金・審査支払手数料は除く

③ 増え続ける医療費の適切な抑制を図るため、次のとおり保健事業を実施しました。

事業名	内容	支払額(千円)
ジェネリック医薬品普及啓発	保険証更新時や新規加入時等にジェネリック医薬品希望カード・シールを配布しました。また、ジェネリック医薬品差額通知を対象者に送付しました。(年4回 計205件)	207
医療費通知	医療費通知を対象者に送付し、医療費に対する関心を促しました。(年4回 12ヶ月分 計12,274件)	970
レセプト資格確認	レセプト資格確認を審査機関に委託し、医療費の適正化に繋がりました。	159
データヘルス計画策定支援	第3期データヘルス計画の策定のため、医療費のデータ分析を委託し、琴浦町の健康課題を踏まえ計画を策定しました。	408
特定健康診査 特定保健指導	特定健康診査を行い、生活習慣病の予防や重症化の抑制を図りました。また、特定健診の結果から、生活習慣病の発症リスクが高い人に対して保健指導を行いました。(健康診査 974人、保健指導 38人)	9,308
人間ドック助成	疾病の早期発見及び健康増進を図るため、人間ドックの受診費用の一部助成を行いました。(89人)	2,501
合計		13,553

④ 保険給付、保健事業以外に、国民健康保険の円滑な運営のため、次のとおり事業を実施しました。

事業名	内容	支払額(千円)
一般管理費	正規職員2名の給与等や会計運営に係る事務経費等を支払いました。	17,242
	国保連合会へ各種手数料や負担金等の事務経費を支払いました。	7,058
運営協議会費	国保運営協議会を2回(令和5年5月、令和6年2月)開催しました。	20
国民健康保険事業費納付金	県が国民健康保険の運営を行うために必要な財源として県が決定した金額を納付しました。	508,299
基金積立金	財政調整基金利子分を基金に積み立てました。	172
諸支出金	保険税が過誤納となったときに、還付金・還付加算金を支払いました。	2,013
合計		534,804

	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 保険給付について、適切な執行ができるよう、課題意識を持って取り組む必要があります。</p> <p>② 被保険者は減少傾向ですが1人当たりの医療費の増加問題を解決するためには、定期的な健診等による病気の早期発見・早期治療が重要課題と考えます。そのため、さらなる特定健診の受診率向上に向けて保健事業に取り組む必要があります。</p> <p>③ 令和6年度の県の激変緩和措置廃止により急激な財政負担の増加とならないよう、安定した財政運営に取り組む必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 各種医療給付について資格確認や給付内容の確認を行い、給付の適正化を図りました。</p> <p>② 年代別に応じた健診の受診勧奨通知を発送しました。また、医療機関と連携し、みなし健診の情報提供通知を発送したことにより、医療機関での受診件数が上がりました。</p> <p>③ 基金を取り崩すことなく、安定した運営を行うことができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>医療機関と連携を図り実施したみなし健診の受診件数は、前年度より増加させることができました。また、年間を通して適切な保険給付を行えたこと、基金についても、年間の保険給付額の約5%にあたる額を保有できたこと、一般会計からの赤字補てん等を行うことなく安定した会計運営を行えたことから、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>① 引き続き、適切な保険給付を行えるよう取り組んでいくとともに、12月実施予定の保険証廃止についても、適切に対応できるように努めます。</p> <p>② 令和5年度中に第3期データヘルス計画の策定を行った内容を踏まえ、被保険者の健康保持と将来的な医療費の抑制のため、目標値を目指して事業を進めていきます。</p> <p>③ 国民健康保険財政の今後の先行きは未だ不透明なため、引き続き慎重な財政運営を進めていきます。</p>	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号		事業名	介護保険特別会計			会計区分	介護保険特別会計		
担当課	すこやか健康課		担当係	高齢福祉係・地域包括支援センター		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款		項			目			
まちづくり ビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	2,272,222	2,201,630	582,802	298,895	1,319,933	0	0	介護保険料362,295千円 支払基金566,807千円 繰入金326,783千円 繰越金56,151千円 諸収入7,897千円	

事業目的 介護や支援を必要とする状態になった高齢者が、尊厳を保持したまま安心して自立した生活を送れるように介護サービスを提供し、介護を社会全体で支えます。

- ① 介護保険事務を適正に実施し、資格認定、介護認定、給付等を実施しました。

介護保険第1号被保険者数(年度末)6,174人

介護認定等申請		要介護認定者 計1,071人						
新規	291人	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
更新	308人	76人	141人	191人	205人	200人	153人	105人
変更	163人	※介護予防・日常生活支援総合事業 事業対象者 33人						

保険給付費の状況

サービス	介護保険給付費	受給者数	内容
居宅サービス	831,762千円	延べ14,554人	通所介護、訪問介護、通所リハ、居宅支援など
地域密着型サービス	353,715千円	延べ1,395人	認知症グループホーム、地域密着型通所介護など
施設サービス	626,999千円	延べ2,380人	介護老人福祉施設、介護老人保健施設など
特定入所者介護	36,414千円	延べ1,230人	施設入所者等の食費、居住費の軽減
高額介護サービス等	43,248千円	延べ3,826件	高額介護、高額医療合算
サービス計画費	93,272千円	延べ7,152人	ケアプラン作成費
福祉用具購入費	2,711千円	78件	福祉用具購入の給付
住宅改修費	5,455千円	71件	住宅改修費の給付
審査支払手数料	2,410千円	25,371件	国保連への手数料

- ② 地域支援事業として要支援・要介護状態となる前からの介護予防事業に取り組みました。また、要介護になっても住み慣れた地域で暮らせるように地域包括支援センターが主体となって地域における包括的な支援を行いました。

事業の
主な
実施状況

主な事業	利用者等	事業内容
訪問介護	延べ255人	要支援1.2、事業対象者が利用できるデイサービスとヘルパーサービス
通所介護	延べ1,508人	
生活援助サービス	延べ1,132人	要支援1.2、事業対象者が利用できる家事援助サービス
健口栄養教室	延べ31人	口腔機能の改善や食生活の見直しを行い、介護予防に取り組むことで元気高齢者を増やす
介護予防教室(いきがい・はればれ)	延べ3,927人	教室での認知症・閉じこもり等予防に取り組む
介護予防教室(げんきもん)	延べ435人	運動機能の向上を目的とし、体操やレクリエーション、脳トレを実施
タッチパネル検査	延べ263人	認知症への関心を高め、必要な人を相談や医療につなげる
認知症サポーター養成	延べ30人	認知症への理解を深める普及啓発
わくわく琴浦体操(参加)	延べ29,536人	体操の普及啓発を図り介護予防、仲間作りを推進
総合相談	延べ6,180人	高齢者の多様な各種相談や関係機関との調整に対応
介護予防サークル活動支援	97サークル	地域の生きがい活動参加の支援 1,352人登録



介護予防教室「げんきもん」の様子

	担当課による評価	S 目的達成
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢化が進み認知機能だけでなく運動機能の低下を予防するための予防事業が必要となっています。 ② 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、多様な主体による生活支援サービスの提供体制の構築や、集いの場の整備、高齢者を支える地域の体制づくりが必要です。 <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 運動機能向上を目的とした介護予防教室「げんきもん」の事業効果を評価した結果、参加者の約7割に運動機能の向上がみられました。また、琴浦町公式YouTubeで誰でも手軽に取り組める体操を配信し、運動習慣が定着するよう取り組みました。 ② 生活支援コーディネーターによるサークル訪問から地域の課題を把握し、課題解決のための地域ケア会議開催や地域資源の活用、生活支援サービスとのマッチングを行い、高齢者が住み慣れた地域での暮らしが継続できるよう支援しました。 <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>運動の専門職によって行う介護予防教室「げんきもん」の実施により、事業参加者の運動機能向上が見られました。介護予防の取り組みにより、介護給付費の抑制が図られており、次期介護保険料も大幅な上昇なく適切な保険運営が実施できていることから、S 目的達成と評価しました。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>第9期琴浦町介護保険事業計画・高齢者福祉計画に基づき、高齢者が生きがいを持ち住み慣れた地域で暮らせるよう、介護予防や住民主体の地域活動、生活支援サービス等の充実を推進していきます。</p>	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号		事業名	後期高齢者医療特別会計			会計区分	後期高齢者医療特別会計																		
担当課	すこやか健康課		担当係	保険係		事業区分	□新規 ■継続																		
予算区分	款		項			目																			
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進																				
	重点項目	—																							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																		
令和5年度	272,181	268,054	0	0	71,781	0	196,273	一般会計繰入金 ・保険基盤安定 68,985千円 ・事務費 1,497千円 繰越金 896千円 延滞金 14千円 還付金 389千円																	
事業目的	後期高齢者医療制度を円滑に運営します。																								
事業の 主な 実施状況	<p>① 後期高齢者医療の被保険者に対して、保険証等の交付を行いました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>郵便代</td> <td>1,490</td> </tr> <tr> <td>その他消耗品</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 被保険者の納付した保険料を後期高齢者医療広域連合へ納付しました。また、低所得者への保険料軽減分を保険基盤安定制度分として、後期高齢者医療広域連合へ併せて納付しました。</p> <p>後期高齢者医療広域連合納付金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保険料分</td> <td>197,160</td> </tr> <tr> <td>保険基盤安定制度分</td> <td>68,985</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 保険基盤安定制度分の3/4は県負担</p> <p>③ 過年度分の保険料の過払い分を還付しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>還付金・還付加算金</td> <td>411</td> </tr> </tbody> </table>									内容	金額(千円)	郵便代	1,490	その他消耗品	8	内容	金額(千円)	保険料分	197,160	保険基盤安定制度分	68,985	内容	金額(千円)	還付金・還付加算金	411
内容	金額(千円)																								
郵便代	1,490																								
その他消耗品	8																								
内容	金額(千円)																								
保険料分	197,160																								
保険基盤安定制度分	68,985																								
内容	金額(千円)																								
還付金・還付加算金	411																								
事業目的の 達成状況	担当課による評価			S 目的達成																					
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 法律や後期高齢者医療広域連合の方針に基づき、引き続き適切な事業実施に努めていく必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 被保険者証の発送、保険料の取り扱いなど円滑に業務を行うことに努めました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>法律に基づき、適切に事務を執行できたため、S 目的達成と評価しました。</p>																								
今後の 取り組みの 方向	円滑な後期高齢保険事業実施のため、法律に基づき、適切な事務執行となるように努めます。令和6年12月2日の被保険者証の廃止に伴い被保険者が混乱しないように周知、説明に努めます。																								

会計 款-項-目事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
福祉あんしん課				
2.総務費				
1.総務管理費				
11.新型コロナウイルス感染症対策費				
生活困窮世帯等光熱費助成事業	30,804	28,257	9-1	
医療・社会福祉施設物価高騰対策支援事業	562	562	9-2	
物価高騰重点支援事業(低所得世帯支援枠)給付金支給事業	64,380	57,093	9-3	
物価高騰対応重点支援給付金(低所得世帯支援枠)	200,998	160,687	9-4	
3.民生費				
1.社会福祉費				
2.社会福祉事業費				
社会福祉事業費	18,659	18,313	9-5	
9.障がい者福祉費				
障がい者福祉費	24,479	16,282	9-6・7	
障がい者自立支援給付事業	557,658	555,681	9-8	
地域生活支援事業	23,984	21,774	9-9・10	
療養介護医療費事業	10,328	8,792	9-11	
2.児童福祉費				
1.児童福祉総務費				
特別児童扶養手当支給事業	154	154	9-12	
児童扶養手当支給事業	74,783	71,634	9-13	
4.母子福祉費				
ひとり親福祉事業	4,366	35	9-14	
5.児童措置費				
障がい児通所給付事業	27,671	20,383	9-15	
6.子育て世帯生活支援特別給付金				
低所得の子育て世帯生活支援特別給付金支給事業	26,035	20,193	9-16	
3.生活保護費				
1.生活保護総務費				
生活保護総務事業	7,298	6,365	9-17	
2.生活保護扶助費				
生活保護扶助事業	158,010	142,041	9-18	
4.生活困窮者自立支援費				
1.生活困窮者自立支援費				
自立相談支援事業	8,750	7,315	9-19	
12.諸支出金				
1.諸費				
1.国県支出金返納金				
国県返納金	44,401	44,395		事務費

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1598	事業名	生活困窮世帯等光熱費助成事業			会計区分	一般会計		
担当課	福祉あんしん課		担当係	生活支援係		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり					①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
	重点項目								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	30,804	28,257	0	14,067	0	0	14,190		
事業目的	最近の物価高騰を受けて、生活に深刻な影響を受ける生活困窮世帯等に対し光熱費等を助成し、生活支援を行います。								
事業の 主な 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象世帯 1,655世帯 〔内訳〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度住民税非課税世帯 1,410世帯 ・ 生活保護受給世帯 43世帯 ・ 児童扶養手当受給世帯 133世帯 ・ 特別児童扶養手当受給世帯 46世帯 ・ 特別障害者手当受給世帯 19世帯 ・ 家計急変世帯 4世帯 ○ 支給額 1世帯あたり17千円 (昨年度からの電気料金上昇分約5.5千円×3月分) ○ 事業費 28,257千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 扶助費 17千円 × 1,655世帯 28,135千円 ・ 役務費(通信運搬費) 122千円 								
事業目的 の 達成状況	担当課による評価					S 目的達成			
	【前年度の課題の概要】								
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 最近の燃油価格高騰を受けて、生活に深刻な影響を受ける生活困窮世帯等に対し光熱費を助成し、生活支援を行いました。								
【担当課による評価の理由】 適正に執行したものと判断し、S 目的達成と評価しました。									
今後の 取り組み の 方向									

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1603	事業名	医療・社会福祉施設物価高騰対策支援事業	会計区分	一般会計																							
担当課	福祉あんしん課	担当係	障がい福祉係	事業区分	■新規 □継続																							
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 11	新型コロナウイルス感染症対策費																						
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり			①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実																								
	重点項目																											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																				
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																					
令和5年度	562	562	562	0	0	0	0																					
事業目的	社会福祉施設は、物価高騰に伴い、光熱費や食材費の負担が急激に増えている一方、高騰分を価格転嫁できない業態であることから、緊急的な支援を実施し社会生活の持続を図ります。																											
事業の 主な 実施状況	① 物価高騰対策支援交付金 障がい施設8箇所 562千円 【国10/10】 町内の障がい者施設に対し支援金を交付しました。																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>法人等の名称</th> <th>種別</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">社会福祉法人琴浦町社会福祉協議会</td> <td>生活介護</td> <td>120,000円</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援B型</td> <td>77,500円</td> </tr> <tr> <td>障害児相談支援</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td>計画相談支援</td> <td>25,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特定非営利活動法人 東伯けんこう</td> <td>就労継続支援B型</td> <td>77,500円</td> </tr> <tr> <td>共同生活援助</td> <td>64,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">社会福祉法人 敬仁会</td> <td>就労継続支援B型</td> <td>77,500円</td> </tr> <tr> <td>共同生活援助</td> <td>85,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※支給額は、種別及び定員により算出</p>							法人等の名称	種別	支給額	社会福祉法人琴浦町社会福祉協議会	生活介護	120,000円	就労継続支援B型	77,500円	障害児相談支援	35,000円	計画相談支援	25,000円	特定非営利活動法人 東伯けんこう	就労継続支援B型	77,500円	共同生活援助	64,000円	社会福祉法人 敬仁会	就労継続支援B型	77,500円	共同生活援助
法人等の名称	種別	支給額																										
社会福祉法人琴浦町社会福祉協議会	生活介護	120,000円																										
	就労継続支援B型	77,500円																										
	障害児相談支援	35,000円																										
	計画相談支援	25,000円																										
特定非営利活動法人 東伯けんこう	就労継続支援B型	77,500円																										
	共同生活援助	64,000円																										
社会福祉法人 敬仁会	就労継続支援B型	77,500円																										
	共同生活援助	85,000円																										
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり																								
	【前年度の課題の概要】 ① 新規事業につき該当なし。																											
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 町内の障がい者施設に対し支援金を交付し物価高騰に伴う光熱費や食材費の負担軽減を行いました。																											
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 町内の障がい者施設に対し支援金を交付し物価高騰に伴う光熱費や食材費の負担軽減し事業所の運営継続を図れたので、相当程度進展ありと評価しました。																											
	今後も社会情勢に応じ、必要な支援を実施します。																											

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1646	事業名	物価高騰対応重点支援給付金(低所得世帯支援枠)			会計区分	一般会計		
担当課	福祉あんしん課	担当係	生活支援係			事業区分	■新規 □継続		
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費		目 11	新型コロナウイルス感染症対策費		
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実				
	重点項目								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	200,998	160,688	160,688	0	0	0	0		
事業目的	食費等の物価高騰に直面し、家計への影響の大きい住民税均等割非課税世帯に対し1世帯あたり7万円、住民税均等割のみ課税世帯に対し1世帯あたり10万円、また、それぞれの世帯に属する18歳以下の児童1人につき5万円を支給することにより、生活の支援を行います。								
事業の 主な 実施状況	<p>○ 対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 令和5年度住民税非課税世帯 1,620世帯 ② 令和5年度住民税均等割のみ課税世帯 328世帯 ③ ①②に属する18歳以下の児童がいる世帯 118世帯(児童数:229人) <p>○ 支給額</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 令和5年度住民税非課税世帯 1世帯あたり 7万円 ② 令和5年度住民税均等割のみ課税世帯 1世帯あたり 10万円 ③ ①②に属する18歳以下の児童がいる世帯 児童1人あたり 5万円 <p>○ 事業費 160,688千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扶助費 157,650千円 ・正規職員時間外 73千円 ・需用費(消耗品・印刷製本費) 112千円 ・役務費(通信運搬費・振込手数料) 658千円 ・システム改修費 2,195千円 								
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 食費等の物価高騰に直面し、家計への影響の大きい低所得世帯に対し、給付金を支給することにより生活の支援を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>法に基づき適正に執行したものと判断し、S 目的達成と評価しました。</p>								
今後の 取り組み の 方向	繰り越し時点で、約200世帯ある未申請者に対し、再度申請勧奨通知を送付する等により、引き続き支給を行います。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	568	事業名	社会福祉事業費			会計区分	一般会計																
担当課	福祉あんしん課			担当係	生活支援係		事業区分	□新規 ■継続															
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2 社会福祉事業費															
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり					①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実																	
	重点項目																						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)															
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																
令和5年度	18,659	18,313	0	10	0	0	18,303																
事業目的	住民が安心して暮らせる地域をめざして、地域における福祉の増進を目的とする地域福祉事業の実施や福祉団体への補助金の交付等により公的制度和住民同士の相互扶助による福祉の充実を目指します。(地域共生社会の推進)																						
事業の 主な 実施状況	<p>① 補助金交付事業</p> <p>【社会福祉協議会】 14,923千円</p> <p>(1) 地域福祉事業補助金: 地域福祉事業に関係する人件費や事業費を事業の優先度により補助率(10/10・1/2・1/3)を変えて補助しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">事業</th> <th style="width: 40%;">補助率判断基準</th> <th style="width: 30%;">支出済額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">地域福祉事業</td> <td>補助率10/10</td> <td>重要度が高く、積極的に取組む必要あり</td> <td>9,655</td> </tr> <tr> <td>補助率1/2</td> <td>継続して取り組む必要あり</td> <td>3,096</td> </tr> <tr> <td>補助率1/3</td> <td>優先度は低いが補助が必要</td> <td>2,172</td> </tr> </tbody> </table> <p>地域福祉事業</p> <p>補助率 10/10 福祉委員活動支援・福祉連絡会、愛の輪推進員活動支援、集落訪問による福祉課題の把握、支え愛マップ推進事業、福祉連絡会の立ち上げ・実施 地域での福祉体験講座、ふれあいいきいきサロン、ボランティアセンターの運営 福祉教育(出前講座・福祉職場体験)、えんくるり事業(相談)、フードサポート事業 生活用品支援事業、学用品・子ども服リサイクル事業、成年後見事業 日常生活自立支援事業、福祉資金・生活福祉資金貸付事業</p> <p>1/2 福祉大会、福祉体験会、広報活動、福祉機器、レク用具の貸し出し 歳末たすけあい運動配分(入学児童・生徒祝い品贈呈)、寄付金(受付・事務) 共同募金(事務局・事務・受付)、団体事務局(事務)</p> <p>1/3 法人運営(理事会・評議員会他)、会計(予算、決算、補正予算) 給与、福利厚生、社会保険等全般、事務機器の保守、管理</p> <p>【民生児童委員協議会】 779千円 【町10/10】 活動費、資質向上のための各種研修費の補助を行いました。</p> <p>② 民生児童委員日常活動費助成金交付事業 2,611千円 民生委員・児童委員の日常活動にかかる費用として委員65名に対し活動費を交付しました。</p>										事業	補助率判断基準	支出済額(千円)	地域福祉事業	補助率10/10	重要度が高く、積極的に取組む必要あり	9,655	補助率1/2	継続して取り組む必要あり	3,096	補助率1/3	優先度は低いが補助が必要	2,172
	事業	補助率判断基準	支出済額(千円)																				
地域福祉事業	補助率10/10	重要度が高く、積極的に取組む必要あり	9,655																				
	補助率1/2	継続して取り組む必要あり	3,096																				
	補助率1/3	優先度は低いが補助が必要	2,172																				
事業目的の 達成状況	担当課による評価					A 相当程度進展あり																	
今後の 取り組み の 方向	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 複合的な課題を抱える世帯も増加しており、関係課や社会福祉協議会と連携して、支援していく事が求められます。 地域福祉計画の進捗状況や目標達成に向けて、関係課・関係機関で内容等を協議します。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 必要時には琴浦町社会福祉協議会、民生児童委員、医療機関、地域包括支援センター等とケース会議を開催し連携しながら、相談対応を行いました。 令和6年度から始まる重層的支援体制整備事業計画を策定しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>令和6年度から重層的支援体制整備事業に取り組むことになりました。地域福祉が充実したものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>																						
	福祉団体の補助金は、社会情勢の変化や適正な執行のために補助対象を見直していく必要があります。																						

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	573	事業名	障がい者福祉費			会計区分	一般会計		
担当課	福祉あんしん課		担当係	障がい福祉係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	9 障がい者福祉費	
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実				
重点項目									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	24,479	16,282	5,886	2,968	0	0	7,428		
令和5年度(明許)									
事業目的	障がい児・者の自立促進・生活改善・社会参加を増進するため、国の制度(自立支援医療・自立支援給付・地域生活支援事業等)では、十分対応できない部分についても細やかな支援を行うことで、障がい児・者の福祉の充実を図る。必要とする人に必要な支援が行き届くよう、保健、医療、教育、雇用など各関係機関との連携を図りながら施策を推進します。								
事業の 主な 実施状況	① 障がい者交通費助成 利用人数 6人 377千円 当初見込み 4人 作業所に通所する障がい者に対し、交通費の一部を助成しました。								
	② 重度障がい者タクシー料金助成事業 利用人数 165人 243千円 当初見込み378人 身体障がい1・2級、精神障がい1級、療育Aの手帳所持者に対しタクシー料金の一部を助成し、社会参加の促進を図りました。								
	③ 障がい者インフルエンザ予防接種給付費 利用者20人 57千円 当初見込み58人 身体障がい1・2級、精神障がい1級、療育Aの手帳所持者に対し、予防接種の助成を行いました。								
	④ 重度在宅障がい児・者福祉手当 対象者28人 618千円 当初見込み37人 在宅生活をされている重度障がい児・者に対し、月額2千円の手当を支給しました。								
	⑤ 各種団体への補助金・負担金 265千円 会員の活動を支援するために補助を行いました。								
	実施事業			支出済額(千円)					
	身体障がい者福祉協会補助金			120					
	手をつなぐ育成会補助金			90					
	郡身体障がい者福祉協会負担金			55					
	合計			265					
⑥ 単県補助事業 5,936千円 【県1/2】 グループホームの運営の安定化等のため補助を行いました。									
実施事業			事業所数		支出済額(千円)				
障がい者グループホーム夜間世話人配置事業補助金			4		969				
重度障がい児者支援事業補助金			1		940				
琴浦町在宅重度障がい児者等支援体制強化事業補助金			1		2,762				
要医療障がい児者受入事業所看護師等配置事業給付費			1		1,265				
合計			7		5,936				
⑦ 特別障がい者手当支給事業 30人 7,848千円 【国3/4】 申請の受付から支給決定、支払い事務まで福祉事務所で実施しました。特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、在宅で生活する重度障がいがある人に対し手当を支給し福祉の増進を図りました。 ・障がい児福祉手当 5人 月額15,220円 当初見込み 5人 ・特別障がい者手当 25人 月額27,980円 当初見込み33人									
⑧ 委託料 839千円 県中部の1市4町が合同で成年後見支援業務、相談員に相談業務委託を行いました。									
事業名			主な事業所			支出済額(千円)			
中部成年後見支援センター運営事業委託料			成年後見ネットワーク倉吉			789			
琴浦町障がい者相談員委託料			身体障がい者相談員、知的障がい者相談員			50			
合計						839			
中部成年後見支援センター運営事業委託料			相談件数 高齢者なし、障がい者6件						
琴浦町障がい者相談員委託料			相談件数なし						
⑨ 手話通訳者等派遣事業 2回 54千円 当初見込み3回 聴覚障がいの方が社会参加できるように、町主催のイベントに手話通訳者を派遣しました。									

		実施事業	実施日	参加人数
		琴浦町人権フェスティバル	7月23日	163人
		ことら健康フェスタ	10月6日	83人
		⑩ その他 44千円 ・消耗品費1千円、通信運搬費38千円、手数料5千円		
		担当課による評価	B 進展が大きくない	
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ①② 利用者の意見を聴き取った上で、交通費助成制度の見直しが必要です。			
	【前年度課題についての対応及び成果】 ①② 対象者の自立促進、生活改善、社会参加の増進の為、タクシー料金助成、作業所に通所に対する交通費の助成、インフルエンザ予防接種の助成、福祉手当の支給、グループホームの夜間世話人配置に対する補助を行いました。			
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 交通費助成制度の利用者が減少しており、制度の見直し等の課題があります。また、強度行動障がい者の施設入所の取組が進展せず、強度行動障がい者入居等補助金の利用に至りませんでした。第7期障がい福祉計画、第3期障がい児福祉計画を策定しましたが、第3期障がい者計画が策定できていないため、進展が大きくないと評価しました。			
	第3期障がい者計画を策定し、令和6年度以降の障がい者施策及び障がい者サービスの適正な運用を行うための必要な事項を定めます。			

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1251	事業名	障がい者自立支援給付事業			会計区分	一般会計		
担当課	福祉あんしん課		担当係	障がい福祉係		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	9 障がい者福祉費	
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実				
	重点項目								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	557,658	555,681	249,845	166,368	0	0	139,468	県支出金の内訳 自立支援給付費124,923千円、重度訪問介護等利用促進補助金41,445千円	
事業目的	障がい児・者の自立促進・生活改善・社会参加を増進するため、障害福祉サービスの充実及び補装具給付を行う。多様化する対象者のニーズに即し、それぞれが望む生活を実現するために、必要な支援として訪問サービス・日中活動サービス・居住サービス・相談支援等のサービス利用の支給決定を行います。								
事業の 主な 実施状況	① 自立支援給付費 4,796人(延人数) 552,297千円 【国1/2 県1/4】 申請に基づき、訪問、日中活動、就労の各種福祉サービスを提供しました。 【内訳】(人数は延人数:サービスを複数利用している人あり)								
							参考: 令和4年度	対比	
	サービス		人数(人)	支出済額(千円)	人数(人)	支出済額(千円)			
	居宅介護	99	6,001	116	5,920	81			
	重度訪問介護	12	57,033	12	46,844	10,189			
	同行援護	24	4,797	20	2,097	2,700			
	療養介護	121	33,168	144	35,872	-2,704			
	生活介護	849	157,469	827	152,788	4,681			
	短期入所	39	2,220	25	1,553	667			
	施設入所	393	51,444	408	51,332	112			
共同生活援助	438	67,959	456	69,103	-1,144				
宿泊型自立訓練	32	4,306	34	4,217	89				
就労継続支援A型	163	25,713	125	19,035	6,678				
就労継続支援B型	901	123,087	866	118,629	4,458				
計画相談支援	490	8,539	447	7,511	1,028				
特定障害者特別給付費	829	8,331	860	8,762	-431				
その他	100	2,229	99	1,877	352				
合計	4,490	552,297	4,439	525,540	26,757				
② 補装具給付費 30人 2,656千円 【国1/2 県1/4】 申請に基づき補装具(義肢、車椅子、補聴器等)を支給しました。									
③ その他 728千円 ・手数料675千円、借上料53千円									
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				B 進展が大きくない				
	【前年度の課題の概要】								
	① 就労継続支援事業の利用者の中で、一般就労できる能力がある人に対し自立に向けた支援が必要です。								
	【前年度課題についての対応及び成果】								
① 申請者のニーズに合わせたサービス利用支援を行い、在宅や施設での生活環境の向上を図りました。									
② 就労継続支援事業の利用者を関係機関と支援し、一般就労に繋がったケースがありました。									
③ 補装具の給付を行い、日常生活や就業生活の安定を図りました。									
【担当課による評価の理由】									
一般就労に移行する利用者より、一般就労が困難で就労継続支援を新規利用する利用者が増加しており、自立が進まない現状があります。また、強度行動障がい者の施設入所及び生活介護等の日中活動の取組が進展せず、在宅での重度訪問介護の利用が継続している状況もあり、進展が大きくないと評価しました。									
今後の 取り組み の 方向	就労継続支援事業の利用者の中で、一般就労できる能力がある人に対し就労移行支援へのステップアップ等により自立に向けた支援を行います。また、強度行動障がい者のグループホームへの入所の取組を継続します。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1255	事業名	地域生活支援事業			会計区分	一般会計		
担当課	福祉あんしん課		担当係	障がい福祉係		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	9	障がい者福祉費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり					①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
	重点項目								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	23,984	21,774	8,469	3,974	1,400	0	7,931	ふるさと未来夢基金繰入金	

事業目的 障がい児・者の自立促進・生活改善・社会参加の増進を図ります。

① 委託料 7,935千円
 県中部の1市4町が合同で業務委託、県全域で失語症関連の業務委託し事業を行いました。

事業名	主な事業所	支出済額(千円)
中部圏域障がい者自立支援協議会運営事業	中部圏域障がい者地域自立支援協議会	978 ※
障がい者相談支援事業	中部障がい者地域生活支援センター	1,455 ※
障がい児相談支援事業	ライフサポートリッカ	182 ※
障がい者相談支援事業(過年度)	中部障がい者地域生活支援センター	772
意思疎通支援事業	鳥取県聴覚障害者協会	2,275
手話奉仕員養成研修事業	鳥取県聴覚障害者協会	624
聴覚障がい者生活支援事業	鳥取県聴覚障害者協会	66
失語症者向け意思疎通支援者派遣事業	鳥取県	68
※の財源は地方交付税。※以外は【国27.2% 県25% 町47.8%】		合計 6,420

障がい者相談支援事業 利用人数112人、利用件数573件
 障がい児相談支援事業 利用人数13人、利用件数178件
 意思疎通支援事業(手話通訳者派遣) 利用件数23件
 意思疎通支援事業(要約筆記者派遣) 利用件数0件
 手話奉仕員養成研修事業 利用人数2人
 聴覚障がい者生活支援事業 利用人数3人
 失語症者向け意思疎通支援者派遣事業 利用件数なし

障がい者自立支援システム保守等の業務委託、区分認定調査の業務委託を行いました。

事業名	主な事業所	支出済額(千円)
障がい者自立支援システム保守業務	ケイズ	343
障がい者自立支援システム改修業務	ケイズ	1,040
障害支援区分認定調査委託業務	ライフサポートリッカ	133

障害支援区分認定調査委託業務 委託件数29件

② 中部ふるさと広域連合負担金 648千円
 障がい支援区分認定審査会の運営費を中部1市4町で負担しました。
 審査依頼件数40件

③ 日常生活用具給付事業 4,318千円 【国27.2% 県25% 町47.8%】
 ストマ等の日常生活用具を支給しました。
 利用人数43人、利用件数197件

④ 日中一時支援事業 7,144千円 【国27.2% 県25% 町47.8%】
 事業所で食事や入浴の支援、レクリエーションなどを行う活動の場を提供しました。
 利用人数30人、利用回数2,252回

⑤ 移動支援事業給付費 1,406千円 【国27.2% 県25% 町47.8%】
 外出の支援を行い、地域での自立及び社会参加を促進しました。
 利用人数9人、利用時間403時間

⑥ 障がい者自動車運転免許取得費助成 対象者1人 100千円
 障がい者手帳等所持者が運転免許を取得された場合に助成を行いました。

⑦ 成年後見利用支援事業 対象者なし
 成年後見人への報酬の助成するものですが、今年度の利用はありませんでした。

⑧ その他 222千円

事業の
 主な
 実施状況

	・通信運搬費3千円、手数料219千円	
	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ① 今後も、障がい児・者の自立促進、生活環境の整備、社会参加の促進を図ります。	
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 必要な支援を行うことで、対象者の自立促進、生活環境の整備、社会参加の促進を図りました。 障害支援区分認定調査の委託業務を開始し、職員の業務負担の軽減を図りました。	
	【担当課による評価の理由】 相談支援事業の委託業務において、国から消費税の扱いについての指摘を受けて、過年度分を含めて消費税を支払いました。成年後見制度における町長申立てを1件行い、保佐人の審判を受けました。	
今後の 取り組み の 方向	中部1市4町での自立支援協議会運営事業の委託業務が終了し、令和6年度から直営で各市町が部会の運営を行うことになり、本町はあいサポートフェスタ実行委員会、地域移行支援部会の運営を行っていきます。	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1311	事業名	療養介護医療費事業			会計区分	一般会計		
担当課	福祉あんしん課		担当係	障がい福祉係		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	9	障がい者福祉費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実				
	重点項目								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	10,328	8,792	4,393	2,197	0	0	2,203		
事業目的	障がいの軽減、除去や機能回復のために受ける医療の費用を負担することで対象者の経済的負担を軽減します。								
事業の主な実施状況	<p>① 療養介護医療給付費 対象者11人 8,786千円 【国1/2 県1/4】 日常生活上の世話、医療を要する障がい者であって常時介護を要する人を対象に、医療機関において行われる機能訓練、看護、医学的管理のもとに介護を行う中で、医療にかかる費用を給付しました。</p> <p>② その他 6千円 ・手数料6千円</p>								
事業目的の達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 今後も、障がいの軽減、除去や機能回復のために受ける医療の費用を負担することで対象者の経済的負担を軽減します。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 医療型入所施設で行われる機能訓練、療養上の管理、看護、医療ケア、介護にかかる費用を給付し、経済的負担の軽減を図りました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>療養介護の利用人数が12人から10人に減少し給付額が減少しましたが、目的どおり利用者の支援を実施できているため、目的達成と評価しました。</p>								
今後の取り組みの方向	今後も、障がいの軽減、除去や機能回復のために受ける医療の費用を負担することで対象者の経済的負担を軽減します。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	582	事業名	特別児童扶養手当支給事業			会計区分	一般会計		
担当課	福祉あんしん課		担当係	障がい福祉係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実				
	重点項目								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	154	154	154	0	0	0	0		
事業目的	精神又は身体に障がいをもつ児童の保護者等に手当を支給することにより福祉の増進を図ります。								
事業の主な実施状況	① 特別児童扶養手当支給事業 154千円 【国10/10】 事務手続きを円滑に行うため、事務費が支給されました。 児童の福祉の増進を図ることを目的とし、障がいのある児童に県が特別児童扶養手当を支給します。 窓口で申請の受付、県への進達、決定通知の送付を行いました。 特別児童扶養手当支給事務を行うための消耗品、通信運搬費に使用しました。 支給人数:75人								
事業目的の達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】 ① 今後も、精神又は身体に障がいをもつ児童の保護者等に県が速やかに手当を支給できるよう、事務を適正に行います。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 特別児童扶養手当の申請窓口として、事務手続きを円滑に行うことができました。								
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 特別児童扶養手当に関する事務を実施する事業であり、内容が変わるものでないため、目的達成と評価しました。								
今後の取り組みの方向	今後も、精神又は身体に障がいをもつ児童の保護者等に県が速やかに手当を支給できるよう、事務を適正に行います。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1185	事業名	児童扶養手当支給事業		会計区分	一般会計			
担当課	福祉あんしん課		担当係	生活支援係	事業区分	□新規 ■継続			
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実				
	重点項目								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	74,783	71,634	23,807	0	0	0	47,827		

事業目的 ひとり親家庭の生活の安定と自立に寄与することを目的として手当を支給します。

事業の主な実施状況

① 児童扶養手当支給 71,626千円 【国1/3】
 対象者 142人 【新規21人(離婚15人、転入2人、支給停止解除4人)】
 【喪失19人(年齢到達7人、転出4人、全部停止7人、その他1人)】

【内 訳】

- ・全部支給 69人
- ・一部支給 73人
- ・全部停止者 27人

支給月:5月、7月、9月、11月、1月、3月

② 児童扶養手当受給者の前年の所得状況や児童の養育状況を確認するため、8月に現況届を受付けました。

【児童扶養手当年次推移】
 離婚による新規認定の増加が著しく、年齢到達等の資格喪失を上回り手当総額は増加している。

年度	全額支給	一部支給	2子加算	3子以降加算	合計	受給者数
R1	55,000	35,000	5,000	4,101	99,101	157
R2	40,000	30,000	5,000	575	75,575	150
R3	40,000	30,000	5,000	872	74,872	153
R4	38,000	25,000	5,000	583	70,583	140
R5	38,000	25,000	5,000	627	71,627	142

担当課による評価 S 目的達成

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】

① 今後も児童扶養手当の新規申請、廃止手続きに漏れが生じないよう、住民異動票の確認と町民生活課との連携を徹底します。

【前年度課題についての対応及び成果】

① 法に基づき適正に執行しました。
 ② 児童扶養手当の新規申請、廃止手続きに漏れがないよう住民異動票の確認を徹底しました。
 ③ 児童扶養手当現況届送付時に、ひとり親家庭への各種助成制度パンフレットを同封し制度を周知しました。
 ④ 公的年金受給による返還金が発生しないよう、年2回年金受給状況を確認しました。

【担当課による評価の理由】
 法に基づき適正に執行したものと判断し、S 目的達成と評価しました。

今後の取り組みの方向 今後も児童扶養手当の新規申請、廃止手続きに漏れが生じないよう、住民異動票の確認と町民生活課との連携を徹底し、適正な処理を行います。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1141	事業名	ひとり親福祉事業			会計区分	一般会計		
担当課	福祉あんしん課		担当係	生活支援係		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	4	母子福祉費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実				
	重点項目								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	4,366	35	17	0	0	0	18		
事業目的	母子家庭および父子家庭への就労支援、生活支援を行い、その自立を促進します。								
事業の主な実施状況	<p>① 高等職業訓練促進給付金 【国3/4】 就職に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進するため、半年以上養成機関で修業している方に給付金を支給します。 給付金支給実績:0円 0件</p> <p>② 母子自立支援教育訓練給付金 【国3/4】 就職に有利な資格の取得を促進するため、雇用保険制度の教育訓練指定講座を受講し、修了した場合に受講費用の一部を給付金として支給します。 給付金支給実績:0円 0件</p> <p>③ 養育費にかかる公正証書等作成促進事業 35千円 【国1/2】 養育費の確保を支援するため、公正証書作成手数料等の助成を行いました。 公正証書作成手数料助成実績:35千円 2件</p>								
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり					
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 母子生活支援施設入所者はありませんでした。</p> <p>② 児童扶養手当現況届通知に「ひとり親家庭のしおり」を同封し、事業の周知を行いました。</p> <p>③ 養育費にかかる公正証書等作成促進事業は2名が申請されました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 相談支援が充実したものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>								
今後の取り組みの方向	<p>今後も児童扶養手当現況届通知、町ホームページに「ひとり親家庭のしおり」を同封し、事業の周知を行います。</p> <p>令和5年度から実施した養育費にかかる公正証書等作成促進事業の周知に引き続き取り組みます。</p> <p>ひとり親家庭を対象にした学習支援事業の必要性の有無を検討していきます。</p>								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1140	事業名	障がい児通所給付事業			会計区分	一般会計																								
担当課	福祉あんしん課		担当係	障がい福祉係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続																							
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	5																							
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実																										
	重点項目																														
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																								
令和5年度	27,671	20,383	10,119	5,073	0	0	5,191																								
事業目的	児童が心身ともに健やかに育つよう、集団生活への適応訓練、理学療法・機能訓練、生活能力向上のために必要な訓練を行います。																														
事業の 主な 実施状況	① 障がい児通所給付事業 665人(延人数) 20,206千円 【国1/2 県1/4】 集団生活への適応訓練、理学療法・機能訓練、生活能力向上に必要な訓練等のため、通所サービスの提供を行いました。 【内訳】(人数は延人数)サービスを2種類使っている人あり																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス</th> <th>人数(人)</th> <th>支出済額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童発達支援</td> <td>82</td> <td>2,371</td> </tr> <tr> <td>医療型児童発達支援</td> <td>18</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td>放課後等デイサービス</td> <td>396</td> <td>14,010</td> </tr> <tr> <td>保育所等訪問支援</td> <td>28</td> <td>878</td> </tr> <tr> <td>障がい児相談支援</td> <td>132</td> <td>2,713</td> </tr> <tr> <td>高額サービス給付費</td> <td>9</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>665</td> <td>20,206</td> </tr> </tbody> </table>								サービス	人数(人)	支出済額(千円)	児童発達支援	82	2,371	医療型児童発達支援	18	219	放課後等デイサービス	396	14,010	保育所等訪問支援	28	878	障がい児相談支援	132	2,713	高額サービス給付費	9	15	合計	665
サービス	人数(人)	支出済額(千円)																													
児童発達支援	82	2,371																													
医療型児童発達支援	18	219																													
放課後等デイサービス	396	14,010																													
保育所等訪問支援	28	878																													
障がい児相談支援	132	2,713																													
高額サービス給付費	9	15																													
合計	665	20,206																													
	② 障がい児施設医療給付費 31千円 【国1/2 県1/4】 医療型児童発達センター利用者の医療費の負担を軽減しました。																														
	③ 児童発達支援センター利用者負担金軽減実施事業給付費 29千円 【県1/2】 対象児童の保護者の負担を軽減しました。																														
	④ その他 117千円 ・手数料117千円																														
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり																											
	【前年度の課題の概要】 ① 幼児と児童で利用できるサービスが異なるため、小学校に進学する際は関係機関と連携し利用調整が必要です。																														
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 関係機関と連携しながら対象者の様子を把握し、サービスや地域資源の提案を行うことで対象者のニーズに沿った支援ができるよう努めました。 対象児童が心身ともに健やかに成長するよう、必要な訓練や支援等を行うことができました。																														
	【担当課による評価の理由】 放課後デイサービス等へのニーズが高まっていて、町内に事業所がなくニーズに対応できない状況になっていましたが、年度末に事業所が開設されましたので、相当程度進展ありと評価しました。																														
今後の 取り組み の 方向	今後も関係機関と連携してサービスの提供により支援を進めていきます。																														

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1541	事業名	低所得の子育て世帯生活支援特別給付金支給事業			会計区分	一般会計																						
担当課	福祉あんしん課		担当係	生活支援係		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続																						
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	6	子育て世帯生活支援特別給付金																				
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実																								
	重点項目																												
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																						
令和5年度	26,035	20,194	20,194	0	0	0	0																						
事業目的	食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を支給することにより、その実情を踏まえた生活の支援を行います。																												
事業の 主な 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象者 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>・児童扶養手当受給世帯</td> <td style="text-align: right;">142世帯</td> <td>児童: 235人</td> </tr> <tr> <td>・公的年金受給中のひとり親世帯</td> <td style="text-align: right;">2世帯</td> <td>児童: 4人</td> </tr> <tr> <td>・収入が減少したひとり親世帯</td> <td style="text-align: right;">2世帯</td> <td>児童: 4人</td> </tr> <tr> <td>・両親が住民税非課税の子育て世帯</td> <td style="text-align: right;">66世帯</td> <td>児童: 141人</td> </tr> </table> ○ 支給額 児童1人当たり5万円(18歳まで) ○ 事業費 20,194千円 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>・扶助費</td> <td style="text-align: right;">19,200千円</td> </tr> <tr> <td>・需用費(消耗品・印刷製本費)</td> <td style="text-align: right;">3千円</td> </tr> <tr> <td>・役務費(通信運搬費・振込手数料)</td> <td style="text-align: right;">39千円</td> </tr> <tr> <td>・システム改修費</td> <td style="text-align: right;">952千円</td> </tr> </table> 									・児童扶養手当受給世帯	142世帯	児童: 235人	・公的年金受給中のひとり親世帯	2世帯	児童: 4人	・収入が減少したひとり親世帯	2世帯	児童: 4人	・両親が住民税非課税の子育て世帯	66世帯	児童: 141人	・扶助費	19,200千円	・需用費(消耗品・印刷製本費)	3千円	・役務費(通信運搬費・振込手数料)	39千円	・システム改修費	952千円
・児童扶養手当受給世帯	142世帯	児童: 235人																											
・公的年金受給中のひとり親世帯	2世帯	児童: 4人																											
・収入が減少したひとり親世帯	2世帯	児童: 4人																											
・両親が住民税非課税の子育て世帯	66世帯	児童: 141人																											
・扶助費	19,200千円																												
・需用費(消耗品・印刷製本費)	3千円																												
・役務費(通信運搬費・振込手数料)	39千円																												
・システム改修費	952千円																												
事業目的の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成																								
	【前年度の課題の概要】																												
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を支給することにより、その実情を踏まえた生活の支援を行いました。																												
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】																												
	法に基づき適正に執行したものと判断し、S 目的達成と評価しました。																												

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1132	事業名	生活保護総務事業			会計区分	一般会計		
担当課	福祉あんしん課		担当係	生活支援係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	3	民生費	項	3	生活保護費	目	1	生活保護総務費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり					①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	7,298	6,365	4,994	103	0	0	1,268		
事業目的	日本国憲法第25条に規定する理念に基づき、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じ必要な保護を行ない、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的としています。								
事業の主な実施状況	① 嘱託医審査 108千円 医療扶助の適正実施のため、内科、歯科及び精神科の医師に給付可否意見書等の内容確認と助言を依頼しました。 内科7回、精神科2回 ② 生活保護業務 1,160千円 ケースワーカー、査察指導員が生活保護の実施や相談等に対応しました。 相談件数44件、申請受理件数19件、開始決定18件、廃止12件 相談件数、申請受理件数とも昨年を上回っており、高齢者や障がい者からの申請が増加してきています。 ③ 生活保護等版レセプト管理クラウドサービス 4,994千円【国1/2】 令和6年3月からのオンライン資格確認に速やかに移行できるよう準備を進め、システム改修とオンライン資格確認に必要な被保護者のマイナンバーカード取得に努めました。 ④ 社会保障生計調査 103千円【県10/10】 被保護世帯(2世帯)の家計収支の実態を明らかにすることによって、生活保護基準の改定等生活保護制度の企画運営のために必要な基礎資料を得ることを目的に実施しました。								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 ① 生活保護申請ケースの中で「8050問題」に起因するケースが数件ありました。今後も増加する事が考えられます。就労による自立や障がいサービスにつながるよう関係機関と連携して支援していく必要があります。 【前年度課題についての対応及び成果】 ① 相談者と共に資産の活用や、他法で利用できる制度やサービスを考えました。 聴き取りの結果、生活保護に至らない場合は、生活困窮者相談支援員や多機関の協働による包括的相談支援員へ繋がりました。 【担当課による評価の理由】 法に基づき適正に執行したものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。								
今後の取り組みの方向	オンライン資格確認に速やかに移行できるよう今後も被保護者のマイナンバーカード取得に努めます。今後も様々な生活課題を抱える相談者に対応できるよう、引き続き資質向上に努める必要があります。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1133	事業名	生活保護扶助事業			会計区分	一般会計				
担当課	福祉あんしん課		担当係	生活支援係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続				
予算区分	款	3	民生費	項	3	生活保護費	目	2	生活保護扶助費		
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実						
	重点項目										
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)			
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源				
令和5年度	158,010	142,041	108,257	3,219	306	0	30,259	生活保護返還金306千円			
事業目的	日本国憲法第25条に規定する理念に基づき、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じ必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的としています。										
事業の 主な 実施状況	財源：【国3/4】 ① 生活扶助 (食費、被服費、電気、ガス、水道などの日常生活費) 31,062千円 ② 住宅扶助 (家賃、地代、家の簡単な修理費用) 16,791千円 ③ 教育扶助 (義務教育に必要な学用品、教材費、給食費、学級費など) 0千円 ④ 生業扶助 (技能を修得したり、就労、高等学校就学に必要な学用品) 0千円 ⑤ 出産扶助 (出産に必要な費用) 0千円 ⑥ 葬祭扶助 (葬式に必要な費用) 0千円 ⑦ 施設入所 (救護施設入所者への生活扶助、事務費、施設管理費) 6,285千円 ⑧ 就労自立給付金 (就業等により保護を必要としなくなった世帯に支給) 35千円 ⑨ 医療扶助 (病院、診療所にかかる費用) 79,500千円 ⑩ 介護扶助 (介護サービス、福祉用具、移送費など) 7,982千円										
	財源：【県10/10】 ⑪ 夏季見舞金の支給 386千円 鳥取県から委託を受け、77世帯に夏季見舞金5,000円(3人以上世帯については5,300円)を支給しました。 【生活保護世帯年次推移】 世帯数は昨年度新規申請が多かったため増加し、高齢者の占める割合も年々増えてきています。										
	生活保護世帯年次推移					■ 高齢 ■ その他世帯					
事業目的 の 達成状況	担当課による評価					A 相当程度進展あり					
	【前年度の課題の概要】 ① 引き続き被保護者の健康増進支援を行い、医療扶助の削減につながるよう努めます。										
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 前年度と比較すると医療、介護扶助が大幅に減少しましたが、保護開始した世帯が多かったためその他の扶助費は昨年より微増しました。引き続き健康増進事業に取り組み、家庭訪問時に被保護者へ健康診査の受診勧奨や保健師・管理栄養士による保健指導、栄養指導を行います。										
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 法に基づき適正に執行したものと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。										
	被保護者の高齢化に伴い、医療扶助、介護扶助の増加が見込まれるため、引き続き、すこやか健康課と連携して健康増進事業に取り組み、早期発見と生活習慣病の継続治療について助言を行い、医療扶助の削減に努めます。										

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1249	事業名	自立相談支援事業			会計区分	一般会計																																																																																																			
担当課	福祉あんしん課			担当係	生活支援係	事業区分	□新規		■継続																																																																																																	
予算区分	款	3	民生費	項	4	生活困窮者自立支援費	目	1	生活困窮者自立支援費																																																																																																	
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり					①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実																																																																																																				
	重点項目																																																																																																									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																																																																		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																																																																			
令和5年度	14,872	12,906	10,421	600	0	0	1,885																																																																																																			
事業目的	生活困窮者自立相談支援事業、生活困窮者住居確保給付金、その他生活困窮者に対する自立の支援に関する措置を講じ、生活困窮者の自立の促進を図ります。また、「しごとプラザ琴浦」と連携をとりながら県・町の関係機関、町の相談支援員、ケースワーカー等と共に生活困窮者及び被保護者の社会参加・就労支援に繋がります。																																																																																																									
事業の 主な 実施状況	<p>① 必須事業 3,533千円【国3/4】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立相談支援事業 新規相談件数 27件、自立に向けたプラン作成件数 1件、延べ支援回数141回 琴浦町社会福祉協議会による緊急小口資金貸付へのつなぎ 3件 被保護者就労支援事業 支援者実人数 5人 <p>② 任意事業 6,888千円【国3/4】</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療報酬明細書点検等の充実 委託によるレセプト点検の実施 点検回数：内容点検12回、縦覧点検12回 重層的支援体制整備事業の移行準備事業 相談受付件数：直営25件、委託49件 福祉あんしん課、東伯文化センター、赤碕文化センター(直営)と琴浦町社会福祉協議会(委託)に相談窓口を設置し、単独の相談機関では十分に対応できない複合的な課題を抱える者に対し、関係機関とケース会議等を14回開催し、包括的に支援を行いました。 悩み何でも相談 まなびタウン、各地区公民館で月1回、悩み何でも相談を行い、当事者だけでなく家族からの相談にも対応しました。電話やメール等でも随時相談を受け付けています。 何でも相談件数 15件 ひきこもり世帯訪問事業 600千円【県10/10】 令和2年から3年計画で実施した全戸訪問調査で把握したひきこもり世帯への定期訪問を行い、関係機関と連携しながら自立に向けた包括的な支援につなげました。 <p>重層的支援体制整備事業の移行準備事業実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談・訪問他</td> <td>15</td> <td>30</td> <td>18</td> <td>25</td> <td>44</td> <td>48</td> <td>61</td> <td>37</td> <td>26</td> <td>37</td> <td>52</td> <td>43</td> <td>436</td> </tr> <tr> <td>悩み何でも相談</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">相談</td> <td>福祉あんしん</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>琴浦社協</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>文化センター</td> <td>20</td> <td>38</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>17</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>24</td> <td>36</td> <td>233</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>45</td> <td>79</td> <td>47</td> <td>42</td> <td>65</td> <td>78</td> <td>88</td> <td>61</td> <td>44</td> <td>65</td> <td>79</td> <td>89</td> <td>782</td> </tr> </tbody> </table>											4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	相談・訪問他	15	30	18	25	44	48	61	37	26	37	52	43	436	悩み何でも相談	4	1	6	2	1	4	6	3	1	2	3	6	39	相談	福祉あんしん	3	2	1	0	1	4	4	3	4	1	2	25	琴浦社協	3	8	5	2	8	5	6	4	1	1	2	49	文化センター	20	38	17	13	11	17	11	14	12	24	36	233	合計	45	79	47	42	65	78	88	61	44	65	79	89	782
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計																																																																																												
相談・訪問他	15	30	18	25	44	48	61	37	26	37	52	43	436																																																																																													
悩み何でも相談	4	1	6	2	1	4	6	3	1	2	3	6	39																																																																																													
相談	福祉あんしん	3	2	1	0	1	4	4	3	4	1	2	25																																																																																													
	琴浦社協	3	8	5	2	8	5	6	4	1	1	2	49																																																																																													
	文化センター	20	38	17	13	11	17	11	14	12	24	36	233																																																																																													
合計	45	79	47	42	65	78	88	61	44	65	79	89	782																																																																																													
事業目的の 達成状況	担当課による評価					A 相当程度進展あり																																																																																																				
今後の 取り組み の 方向	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 生活困窮者やひきこもり者の社会参加に向けて、居場所づくりなど、地域の社会資源を掘り起こすため関係機関と連携して体制を整えていく必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 必要に応じてケース会議を開催するなど関係機関と連携しながら、相談対応を行いました。今後も社協、関係機関と連携して生活困窮者の把握と早期対応体制を整えていく必要があります。</p> <p>② 重層的支援体制整備事業実施に向けて、関係機関と調整を行い、必須事業の実施に繋げることができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>6年度から開始する重層的支援体制整備事業の参加支援事業、地域づくり事業の委託先等が決定したため、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>																																																																																																									
	6年度から開始する重層的支援体制整備事業では、制度の狭間や複合的な課題に対応するため、庁内の各課及び関係機関と定期的に会議を行い、ケースの共通認識を図り、支援に向けた円滑なネットワークを作ることを目指します。また、町内就労継続支援B型事業所に委託して実施する参加支援事業に希望者を繋ぎ自立に向けて支援していきます。																																																																																																									

会計 款-項-目事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
一般会計				
子育て応援課				
2.総務費				
1.総務管理費				
7.企画費				
デジタル田園都市国家構想事業(母子健康管理システム導入事業)	30,029	27,272	10-1	
11.新型コロナウイルス感染症対策費				
私立こども園・保育園及び地域子ども・子育て支援事業への感染拡大防止事業	2,000	500	10-2	
こども園感染拡大防止事業	1,864	1,817	10-3	
3.民生費				
2.児童福祉費				
1.児童福祉総務費				
放課後健全育成事業	56,696	55,802	10-4	
児童手当支給事業	221,819	219,351	10-5	
要保護児童対策事業	830	69	10-6	
ファミリーサポートセンター事業	129	93	10-7	
子ども・子育て支援事業	103	34	10-8	
教育・保育施設型給付事業	146,330	146,304	10-9	
乳幼児家庭保育支援給付事業	9,077	9,077	10-10	
2.保育所運営費				
保育所運営(配分外)	158,501	151,634	10-11	
特別保育	37,026	33,286	10-12	
しらとりこども園	21,799	20,364	10-13	
やばせこども園	18,846	16,239	10-13	
こがねこども園	14,685	13,202	10-13	
ことうらこども園	10,945	10,208	10-13	
ふなのえこども園	14,092	13,166	10-13	
4.衛生費				
1.保健衛生費				
2.予防費				
母子保健事業	18,979	11,114	10-14	
予防接種	38,691	36,785	10-15	
子育て世代包括支援センター事業	3,196	1,985	10-16	
出産・子育て応援交付金事業	9,650	7,900	10-17	
12.諸支出金				
1.諸費				
1.国県支出金返納金				
国県支出金返納金	1,312	1,312		事務費

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1622	事業名	デジタル田園都市国家構想事業（母子健康管理システム導入事業）		会計区分	一般会計										
担当課	子育て応援課	担当係	子育て世代包括支援センター		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 継続										
予算区分	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費										
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり			④持続可能な医療・保健・介護事業の推進												
重点項目	—															
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳（千円）					備考 (その他収入・町債の内訳)								
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源									
令和5年度	30,029	27,272	13,892	257	0	0	13,123									
事業目的	母子健康管理システムを導入し、母子保健事業のDX化を推進することで、保護者の利便性向上と、職員の業務効率化を図り、相談業務や保護者支援を充実させます。															
事業の 主な 実施状況	<p>① 母子健康管理システムを導入し、保護者がスマホやタブレット端末により、乳幼児健診の間診票・アンケートの入力及び妊娠届出時や訪問時のアンケートの入力や、相談・事業参加の予約等がWEB上で可能となる環境を整えました。</p> <p>② 母子健康管理システムを導入し、今まで紙で管理していた母子保健の個人カルテを電子化し、健診・相談事業等の記録や、訪問・面談・電話相談等の記録を職員が健診会場や訪問先等でノートパソコンやタブレットで入力可能となる体制を整備し、システムでデータを管理する環境を整えました。</p>															
	<p>【経費内訳】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">内 容</th> <th style="width: 40%;">金 額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>模擬健診従事者報償費</td> <td style="text-align: right;">6,000</td> </tr> <tr> <td>母子健康管理システム導入委託料</td> <td style="text-align: right;">27,198,600</td> </tr> <tr> <td>母子健康管理システム回線使用料</td> <td style="text-align: right;">67,514</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">27,272,114</td> </tr> </tbody> </table> <p>【母子健康管理システム運用イメージ】</p>							内 容	金 額(円)	模擬健診従事者報償費	6,000	母子健康管理システム導入委託料	27,198,600	母子健康管理システム回線使用料	67,514	合 計
内 容	金 額(円)															
模擬健診従事者報償費	6,000															
母子健康管理システム導入委託料	27,198,600															
母子健康管理システム回線使用料	67,514															
合 計	27,272,114															
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			S 目的達成												
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>—</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 母子健康管理システムの導入により、母子保健事業のDX化を図り、保護者の利便性向上と、職員の業務効率化を図ることが可能となる環境を整備することができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>母子保健事業のDX化が適切に遂行できたものと判断し、「S 目標達成」と評価しました。</p>															
今後の 取り組み の 方向	令和6年度から母子健康管理システムが本稼働となるため、システムを有効に活用し、保護者の利便性向上と、職員の業務効率化を図り、相談業務や保護者支援を充実させることができるよう努めていきます。また、システムでのデータ管理が可能となるため、データ集計、各種台帳管理等においてシステムを十分に活用できるようにしていきます。															

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1524	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業			会計区分	一般会計		
担当課	子育て応援課			担当係	こども未来係			事業区分	□新規 ■継続
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり								
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	2,000	500	250	0	0	0	250		
事業目的	私立こども園・保育園および地域子ども・子育て支援事業等における消毒作業等感染症対策の徹底を図りながら事業を実施していくための必要経費(かかり増し経費)の支援や、マスク・消毒液等の衛生用品の購入に対する支援を行い、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止します。								
事業の 主な 実施状況	① 赤碓こども園に対し新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として補助金を交付しました。 私立保育園等新型コロナウイルス感染症対策支援補助金 500,000円								
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】 ① 今後の新型コロナウイルス感染症の発生動向を見ながら引き続き必要な支援を行うことが必要です。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 衛生用品購入費用を補助することで、赤碓こども園において感染対策に必要な物品をそろえ、消毒をはじめとした感染対策の強化を図ることができました。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 補助金により消毒液等の購入費用を補助したことにより、赤碓こども園ではクラスター発生事例もなかったため、一定の効果を示すことができたものと判断し、「S 目標達成」と評価しました。								
	新型コロナウイルス感染症の収束に伴い補助事業は無くなりましたが、各施設で感染防止対策は継続していく必要があるため、感染症の発生動向を見ながら必要な支援を検討していきます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1596	事業名	こども園感染拡大防止事業			会計区分	一般会計																										
担当課	子育て応援課		担当係	こども未来係		事業区分	□新規 ■継続																										
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	11	新型コロナウイルス感染症対策費																								
まちづくりビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり																																
	重点項目	—																															
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																									
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																										
令和5年度	1,864	1,817	86	0	0	0	1,731																										
事業目的	<p>新型コロナウイルス感染予防対策として保育施設内の消毒徹底や、朝夕の延長保育時間等における異年齢クラスでの合同保育実施を控えるよう求められており、保育職員の業務負担が増大しています。コロナ禍における保育施設の感染予防対策を継続して実施し、また職員の業務改善を図るため、保育室や備品等の日々の清掃・消毒業務を委託します。</p>																																
事業の主な実施状況	<p>① 公立こども園において平日の夕方、保育施設内や備品の消毒を行いました。</p> <p>【実施内容】 保育施設内(保育室、廊下、玄関)や備品の消毒を各園週3日、1日1時間程度実施</p> <p>【実施施設】 やばせこども園、しらとりこども園、こがねこども園、ことうらこども園、ふなのえこども園</p> <p>【委託の内訳】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">委託先</th> <th style="width: 20%;">実施場所</th> <th style="width: 20%;">作業実績時間 (7月～3月末)</th> <th style="width: 20%;">委託額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">シルバー人材センター</td> <td>しらとりこども園</td> <td>474</td> <td>525</td> </tr> <tr> <td>やばせこども園</td> <td>468</td> <td>519</td> </tr> <tr> <td>こがねこども園</td> <td>237</td> <td>263</td> </tr> <tr> <td>ことうらこども園</td> <td>235</td> <td>261</td> </tr> <tr> <td>ふなのえこども園</td> <td>225</td> <td>249</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>1,639</td> <td>1,817</td> </tr> </tbody> </table>									委託先	実施場所	作業実績時間 (7月～3月末)	委託額 (千円)	シルバー人材センター	しらとりこども園	474	525	やばせこども園	468	519	こがねこども園	237	263	ことうらこども園	235	261	ふなのえこども園	225	249	合計		1,639	1,817
委託先	実施場所	作業実績時間 (7月～3月末)	委託額 (千円)																														
シルバー人材センター	しらとりこども園	474	525																														
	やばせこども園	468	519																														
	こがねこども園	237	263																														
	ことうらこども園	235	261																														
	ふなのえこども園	225	249																														
合計		1,639	1,817																														
事業目的の達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり																														
	【前年度の課題の概要】																																
	<p>① 新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、今後補助金がなくなる可能性があるため、事業の継続について検討が必要でした。</p>																																
【前年度課題についての対応及び成果】																																	
<p>① 新型コロナウイルス感染症の収束後も引き続き事業を継続することで、他の感染症拡大も最小限にとどめることができた考えられます。また、業務委託することにより、保育職員の業務負担軽減につながっています。</p>																																	
【担当課による評価の理由】																																	
<p>感染症拡大防止と、保育職員の業務負担軽減につながったと判断し、「A 相当程度進展あり」と評価します。</p>																																	
今後の取り組みの方向	<p>新型コロナウイルス感染症の収束に伴い補助事業は無くなりましたが、各施設で感染防止対策は継続していく必要があるため、感染症の発生動向を見ながら事業の継続を検討していきます。</p>																																

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	576	事業名	放課後健全育成事業			会計区分	一般会計																						
担当課	子育て応援課		担当係	こども未来係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																						
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費																				
まちづくりビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり																												
	重点項目	—																											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																						
令和5年度	56,696	55,802	15,044	15,043	4,627	0	21,088	児童クラブ利用料 4,349千円 アエル施設利用料 278千円																					
事業目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に小学校の余裕教室、児童館等を利用し、適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図ります。																												
事業の主な実施状況	① 各小学校区ごとに、放課後児童クラブを開設しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 浦安放課後児童クラブ(多世代交流施設) ・ 八橋放課後児童クラブ(八橋小学校) ・ 聖郷放課後児童クラブ(聖郷小学校) ・ 船上放課後児童クラブ(赤碕文化センター) ・ しおかぜクラブ(旧赤碕保育園) <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">R6.3月末時点 (人)</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">公立放課後児童クラブ</th> <th style="width: 15%;">浦安</th> <th style="width: 15%;">八橋</th> <th style="width: 15%;">聖郷</th> <th style="width: 15%;">船上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定員</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> <tr> <td>利用人数(登録)</td> <td style="text-align: center;">57</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">33</td> </tr> <tr> <td>長期休業期間のみ利用者</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> 赤碕小学校区については、社会福祉法人赤碕保育園が放課後児童健全育成事業を実施(しおかぜクラブ:定員40人)									公立放課後児童クラブ	浦安	八橋	聖郷	船上	定員	70	50	40	40	利用人数(登録)	57	40	30	33	長期休業期間のみ利用者	6	5	4	2
公立放課後児童クラブ	浦安	八橋	聖郷	船上																									
定員	70	50	40	40																									
利用人数(登録)	57	40	30	33																									
長期休業期間のみ利用者	6	5	4	2																									
	【令和5年度の変更点】 <ol style="list-style-type: none"> (1) 日々の預かりや保護者対応、行事計画などの運營業務を民間企業へ委託しました。 (2) 令和4年度まで実施していた「学習支援員の巡回指導」は、指導員の民間企業の移籍に伴い、町としては終了しました。(企業の中で巡回指導は引き続き実施されています。) (3) 聖郷課後児童クラブのミーティングルーム照明(12ヵ所)取替工事を行いました。 浦安放課後児童クラブのエアコン老朽化に伴い、エアコン1台の取り替えを行いました。 浦安放課後児童クラブの園庭のフェンス撤去及び設置を行いました。 浦安放課後児童クラブの室内照明が古くなっており、2部屋の照明を取り替えました。 																												
	担当課による評価			A 相当程度進展あり																									
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 <ol style="list-style-type: none"> ① 「第3期琴浦すくすくプラン」に向けたニーズ調査を令和5年度に予定しており、その中で児童クラブのニーズについて項目を追加することとしました。 【前年度課題についての対応及び成果】 <ol style="list-style-type: none"> ① 令和6年3月にニーズ調査の集計を行いました。結果の分析を行い、赤碕小学校区をはじめ、今後の児童クラブのあり方について検討を進めます。 ② 令和5年度から運營業務を民間企業に委託し放課後児童クラブの活動が安定して行えるよう、民間企業と連携し、事業を実施しました。 【担当課による評価の理由】 児童クラブを民間に委託できたことで様々な面で業務改善がありました。また、ニーズ調査の結果分析に基づき今後の児童クラブのあり方について検討を進めることから、「A 相当程度進展あり」と評価しました。																												
今後の取り組みの方向	継続して放課後児童クラブの活動をよいものにするために民間企業と協力して事業に取り組みます。ニーズ調査の結果分析を行い、赤碕小学校区をはじめ、今後の児童クラブのあり方について検討を進めます。																												

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	581	事業名	児童手当支給事業			会計区分	一般会計																																								
担当課	子育て応援課		担当係	こども未来係		事業区分	□新規 ■継続																																								
予算区分	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費																																									
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				⑥子どもを産み育てやすい環境づくり																																										
	重点項目	—																																													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																								
令和5年度	221,819	219,351	155,407	30,622	0	0	33,322																																								
事業目的	児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として実施します。																																														
事業の 主な 実施状況	<p>① 児童手当(令和5年2月～令和6年1月分の支給)を次のとおり支給しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">児童手当支払区分</th> <th>手当月額(円)</th> <th>延児童数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">0～3歳未満(被用者受給)</td> <td style="text-align: center;">15,000</td> <td style="text-align: center;">2,436</td> </tr> <tr> <td colspan="2">0～3歳未満(非被用者受給)</td> <td style="text-align: center;">15,000</td> <td style="text-align: center;">387</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3歳～小学校修了前(被用者区分)</td> <td>第1・2子</td> <td style="text-align: center;">10,000</td> <td style="text-align: center;">7,600</td> </tr> <tr> <td>第3子以降</td> <td style="text-align: center;">15,000</td> <td style="text-align: center;">2,079</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3歳～小学校修了前(非被用者区分)</td> <td>第1・2子</td> <td style="text-align: center;">10,000</td> <td style="text-align: center;">1,609</td> </tr> <tr> <td>第3子以降</td> <td style="text-align: center;">15,000</td> <td style="text-align: center;">440</td> </tr> <tr> <td colspan="2">中学生</td> <td style="text-align: center;">10,000</td> <td style="text-align: center;">4,567</td> </tr> <tr> <td colspan="2">特例給付 ※所得制限を超過している受給者の児童</td> <td style="text-align: center;">5,000</td> <td style="text-align: center;">155</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td></td> <td style="text-align: center;">19,273</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">※令和5年度 児童手当総支給額: 219,145,000 円</p>									児童手当支払区分		手当月額(円)	延児童数(人)	0～3歳未満(被用者受給)		15,000	2,436	0～3歳未満(非被用者受給)		15,000	387	3歳～小学校修了前(被用者区分)	第1・2子	10,000	7,600	第3子以降	15,000	2,079	3歳～小学校修了前(非被用者区分)	第1・2子	10,000	1,609	第3子以降	15,000	440	中学生		10,000	4,567	特例給付 ※所得制限を超過している受給者の児童		5,000	155	合計			19,273
	児童手当支払区分		手当月額(円)	延児童数(人)																																											
0～3歳未満(被用者受給)		15,000	2,436																																												
0～3歳未満(非被用者受給)		15,000	387																																												
3歳～小学校修了前(被用者区分)	第1・2子	10,000	7,600																																												
	第3子以降	15,000	2,079																																												
3歳～小学校修了前(非被用者区分)	第1・2子	10,000	1,609																																												
	第3子以降	15,000	440																																												
中学生		10,000	4,567																																												
特例給付 ※所得制限を超過している受給者の児童		5,000	155																																												
合計			19,273																																												
	<p>② その他実施に要した費用は次のとおりです。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>費用(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: center;">9,761</td> </tr> <tr> <td>郵便料</td> <td style="text-align: center;">196,503</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">206,264</td> </tr> </tbody> </table>									科目	費用(円)	消耗品費	9,761	郵便料	196,503	合計	206,264																														
科目	費用(円)																																														
消耗品費	9,761																																														
郵便料	196,503																																														
合計	206,264																																														
事業目的 の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり																																												
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 令和6年度以降も、児童手当の拡充など大きく制度改正が見込まれるため、その周知と変更内容に注意した事務処理対応が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 制度改正に伴い、国からの通知や内部システムの改修についてできる限り情報を収集しました。改正内容の周知を、次年度の可能な時期に町ホームページ等で速やかに行います。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>年度末時点で改正内容について不明なところが多く、事務対応が想定していたよりも少ないものとなりましたが、児童手当支給の対象となっている方に漏れなく支給できたことから、「A 相当程度進展あり」と評価しました。</p>																																														
今後の 取り組み の 方向	令和6年10月以降は、児童手当支給対象者の範囲変更や所得制限の撤廃など、大きな制度改正が行われるため、手続きの周知や変更内容に対応した適切な事務処理が必要です。																																														

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	839	事業名	要保護児童対策事業			会計区分	一般会計		
担当課	子育て応援課			担当係	子育て世代包括支援センター			事業区分	□新規 ■継続
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				⑥子どもを産み育てやすい環境づくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	830	69	0	0	0	0	69		
事業目的	要保護児童等の発生予防、早期発見、早期対応及び再発防止のための自立支援を行います。								
事業の 主な 実施状況	<p>① 個別支援会議等の開催等 支援が必要な児童等について、関係者を招集し、随時個別支援会議等を開催しました。支援方針の決定や役割分担等を行い、関係機関と連携しながら、虐待発生予防や早期発見、早期対応等に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者会議 1回 ・実務者会議 2回 ・個別支援会議 13回 (9ケース) ・ケース連絡会 3回 ・学校ケース連絡会 12回 <p>② 子育て短期支援事業 保護者の疾病、その他の理由により、家庭において一時的に養育することが困難になった児童を、委託先の児童養護施設において、一定期間養育・保護を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績なし <p>③ 養育支援訪問事業 養育に必要な世帯へ訪問支援員が訪問し、相談、指導、助言等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績なし <p>④ 子育て世帯訪問支援事業 家事支援が必要な家庭をヘルパーが訪問し、家事支援を実施することにより、家庭や養育環境を整えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績なし 								
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 関係機関と連携し、要保護児童等の発生予防、早期発見、早期対応及び再発防止に努めていきます。</p> <p>② R6年度以降に設置が努力義務とされている「こども家庭センター」の体制の検討や、実施が必要となる事業の検討・準備等を行います。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 町内各小中学校及び子ども園・保育所を巡回し関係機関との連携強化に努め、適宜情報収集・情報共有・協議を行い、必要な対応・支援に繋がりました。</p> <p>② 子育て短期支援事業の拡充やペアレント・トレーニングの対象の拡大など先行実施している市町や関係機関の状況を確認しつつ、R6年度の実施に向けて検討・準備を行いました。また、こども家庭センターについては国の動向を注視し、説明会出席や他自治体の検討状況等情報収集を行いました。国からのガイドライン発出が令和6年3月末となったため、令和6年度に設置準備を行い、令和7年度設置予定としました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>虐待予防、虐待発生時の迅速・的確な対応ができるよう、関係機関との連携強化に努め、情報収集・情報共有・協議を行い、必要な対応・支援に繋がることができたと判断し、「A 相当程度進展あり」と評価しました。</p>								
今後の 取り組み の 方向	<p>今後も引き続き、関係機関と連携し、要保護児童等の発生予防、早期発見、早期対応及び再発防止に努めていきます。また、R6年度は、関係機関を対象としたヤングケアラー研修の開催、子育て短期支援事業の拡充やペアレント・トレーニングの対象の拡大など体制整備を行い、早期発見・対応の強化及び家庭支援が必要な家庭の養育環境等を整え、支援に繋げるなど虐待リスク等の高まりを未然に防ぎます。こども家庭センター設置については、令和7年度の設置に向け、ガイドラインを基に体制整備・運営準備を行います。</p>								


令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1062	事業名	ファミリーサポートセンター事業		会計区分	一般会計													
担当課	子育て応援課		担当係	子育て世代包括支援センター	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続												
予算区分	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1	児童福祉総務費												
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				①誰一人取り残さない地域内での福祉の充実														
	重点項目	—																	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)											
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源												
令和5年度	129	93	20	20	0	0	53												
事業目的	アドバイザーによる会員相互の育児援助活動の調整に関する業務を行い、子育て世帯の支援を行います。																		
事業の 主な 実施状況	① 援助活動の調整 アドバイザーが会員間の利用調整を行い、以下のとおり援助活動を行いました。																		
	<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>利用実人数</td><td>16人</td></tr> <tr><td>利用延人数</td><td>48人</td></tr> <tr><td>内訳</td><td></td></tr> <tr><td> 預り</td><td>47人</td></tr> <tr><td> 送迎</td><td>1人</td></tr> <tr><td> 送迎と預り</td><td>0人</td></tr> </table>								利用実人数	16人	利用延人数	48人	内訳		預り	47人	送迎	1人	送迎と預り
利用実人数	16人																		
利用延人数	48人																		
内訳																			
預り	47人																		
送迎	1人																		
送迎と預り	0人																		
② 事業の啓発活動 子育て支援センターや園訪問、母子保健事業等の機会を利用し、事業説明及び啓発を行いました。																			
<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>会員数</td><td>367人</td></tr> <tr><td>内訳</td><td></td></tr> <tr><td> 依頼会員</td><td>272人</td></tr> <tr><td> 提供会員</td><td>77人</td></tr> <tr><td> 両方会員</td><td>18人</td></tr> </table> (R6.3月末時点)								会員数	367人	内訳		依頼会員	272人	提供会員	77人	両方会員	18人		
会員数	367人																		
内訳																			
依頼会員	272人																		
提供会員	77人																		
両方会員	18人																		
担当課による評価			B 進展が大きくない																
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ① 援助活動体制を維持していくため、新規提供会員や両方会員を確保し、援助依頼に十分に答えられる体制が今後も重要です。障がいのある子どもの援助活動は、対応が可能な提供会員が少なく、多様なニーズに応える体制とはなっていないのが課題です。																		
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 母子保健事業に参加されるボランティアに個別に啓発を行いました。そこからの提供会員入会へは繋がりませんでした。昨年度から提供会員は4名増加にとどまりました。																		
【担当課による評価の理由】 昨年度から依頼会員1名増加、提供会員4名増加、両方会員は5名減少しましたが、会員数全体は昨年度から変わらなかったため、「B 進展が大きくない」と評価しました。																			
今後の 取り組み の 方向	今後も援助活動体制を維持していくため、また、障がいのある子どもの援助活動といった多様なニーズに応えるため、新規提供会員や両方会員を確保することが必要となります。新規提供会員・両方会員確保のため個人や団体への啓発を行っていきます。現在活動していない提供会員・両方会員が活動しやすい仕組み作りに取り組んでいく必要があります。																		

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1198	事業名	子ども・子育て支援事業			会計区分	一般会計		
担当課	子育て応援課			担当係	こども未来係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				⑥子どもを産み育てやすい環境づくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	103	34	0	0	0	0	34		
事業目的	「琴浦すくすくプラン」に基づき、教育・保育及び子育て支援の充実に取り組み、子育てしやすいまちづくりを総合的に進めます。また、今後一層進む少子化への対策として、結婚・妊娠・出産・子育ての一連のライフステージの中で「切れ目のない支援」を行うために各課が連携・強化を図り、施策を更に有効なものとしていきます。 将来的な子どもの人数予測に基づき、こども園の適正な規模等の検討を行います。								
事業の主な実施状況	① 子ども・子育て会議の開催 2回 「琴浦すくすくプラン」の進捗状況の点検・評価を行いました。 また、庁内プロジェクトチーム会議での意見・協議内容を共有し、今後の取り組みに向けた協議を行いました。								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】								
	—								
	【前年度課題についての対応及び成果】								
	① 令和5年度新たに庁内プロジェクトチーム会議を設置し、定期的を開催したことで、関係各課の情報が共有でき、連携を図ることができました。また、子ども・子育て会議と庁内プロジェクトチーム会議相互の意見・協議結果を共有することで、相互の連携を図ることができ、より有効な会議を行うことができました。								
	【担当課による評価の理由】								
	庁内プロジェクトチーム会議を設置・開催することで、これまで課題と感じていた庁内各課の情報共有・連携を図ることができました。また、子ども・子育て会議においても、庁内プロジェクトチーム会議での情報・協議結果を共有することで、相互の会議の連携を図ることができ、施策等の推進につながったため、「A 相当程度進展あり」と評価しました。								
今後の取り組みの方向	令和7年度からの第3期琴浦すくすくプランの策定に向けて、ニーズ調査の結果や意見聴取の結果等を基に令和6年度は計画内容の見直しを行い、意見を計画に反映させます。また、今後一層進む少子化への対策として、結婚・妊娠・出産・子育ての一連のライフステージの中で「切れ目のない支援」を行うために、引き続き各課の情報共有・連携の推進を図り、施策が更に有効なものとなるよう努めます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1272	事業名	教育・保育施設型給付事業			会計区分	一般会計								
担当課	子育て応援課			担当係	こども未来係		事業区分	□新規 ■継続							
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費						
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり														
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源								
令和5年度	146,330	146,304	71,413	35,931	0	0	38,960								
事業目的	特定教育・保育施設設置者に教育・保育給付費を支給することにより、子どもが健やかに成長するように支援します。また、教育・保育給付の対象外である認可外保育施設や預かり保育事業に対し施設等利用給付費を支給し、保護者の経済的負担を軽減します。														
事業の 主な 実施状況	① 子ども・子育て支援法第65条第2項の規定より、教育・保育給付費を設置者に支給しました。 <table border="1" style="margin: 5px auto; width: 80%;"> <tr> <td>支給対象施設 (私立こども園)</td> <td>3施設 (うち町内1施設)</td> </tr> <tr> <td>給付額</td> <td>146,200,074円</td> </tr> <tr> <td>対象児童数 (3月末)</td> <td>105人</td> </tr> </table>									支給対象施設 (私立こども園)	3施設 (うち町内1施設)	給付額	146,200,074円	対象児童数 (3月末)	105人
	支給対象施設 (私立こども園)	3施設 (うち町内1施設)													
給付額	146,200,074円														
対象児童数 (3月末)	105人														
② 子ども・子育て支援法第65条第5項の規定より、認可外保育施設及び預かり保育事業の利用について、施設等利用給付費を支給しました。 <table border="1" style="margin: 5px auto; width: 80%;"> <tr> <td>支給対象施設 (私立幼稚園)</td> <td>1施設 (町外)</td> </tr> <tr> <td>給付額</td> <td>104,400円</td> </tr> <tr> <td>対象児童数 (3月末)</td> <td>1人</td> </tr> </table>									支給対象施設 (私立幼稚園)	1施設 (町外)	給付額	104,400円	対象児童数 (3月末)	1人	
支給対象施設 (私立幼稚園)	1施設 (町外)														
給付額	104,400円														
対象児童数 (3月末)	1人														
					町内対象施設 赤碕こども園										
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成										
	【前年度の課題の概要】														
	—														
【前年度課題についての対応及び成果】															
① 公定価格に基づき適正に教育・保育給付費を各私立認定こども園に支給できました。															
【担当課による評価の理由】															
保育に必要な必要な給付を行い、子育て環境を確保できたため、「S 目標達成」と評価します。															
今後の 取り組み の 方向	保育園・こども園の運営に関する制度は毎年改正等があるため、引き続き国・県の動向に注意し、適正な給付事務の執行に努めます。														

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1309	事業名	乳幼児家庭保育支援給付事業			会計区分	一般会計		
担当課	子育て応援課			担当係	こども未来係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				⑥子どもを産み育てやすい環境づくり				
重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	9,077	9,077	0	1,455	0	0	7,622		
事業目的	在宅で育児をする家庭に対し給付金を支給することにより、経済的支援及び乳幼児との愛着形成の深化の助長を図り、乳幼児の健全な育成に資することを目的とします。 (対象:生後6ヶ月～2歳までの乳幼児)								
事業の 主な 実施状況	① 令和5年度は、62家庭(延べ 319 ヶ月・日割含む)の在宅育児家庭に対し、支給を行いました。								
	年度	支給家庭数	内生後6ヶ月～12ヶ月 (県補助金対象)	内生後12ヶ月～24ヶ月 (単町費)	【参考】2歳未満の 児童数(年度末)				
	R5	62家庭	延べ100ヶ月	延べ214ヶ月	177人				
	R4	57家庭	延べ109ヶ月	延べ215ヶ月	188人				
R3	72家庭	延べ153ヶ月	延べ266ヶ月	191人					
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり					
	【前年度の課題の概要】								
	—								
【前年度課題についての対応及び成果】									
① 家庭での子育てを希望する方の経済的負担を軽減し、安心して子育てができるよう支援を行いました。また、1歳以降も育児休業を延長される等、引き続き家庭で子育てを希望される方への給付もを行い、親子の愛着形成の支援に繋がっています。									
【担当課による評価の理由】									
保護者から、「給付金があり、とてもありがたい」という声もいただき、この事業が家庭での子育て支援及び経済的負担の軽減につながっていると判断し、「A 相当程度進展あり」と評価しました。									
今後の 取り組み の 方向	引き続き、毎月の案内送付等で事業の周知を行い、より多くの方に活用いただけるように努めていきます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	89	事業名	保育所運営（配分外）			会計区分	一般会計																								
担当課	子育て応援課			担当係	こども未来係		事業区分	□新規 ■継続																							
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	保育所運営費																						
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり																														
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開																													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳（千円）					備考 (その他収入・町債の内訳)																							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																								
令和5年度	158,501	151,634	47,658	20,751	5,625	0	77,600	保育所児童措置費負担金4,125千円 ふるさと未来夢基金1,500千円																							
事業目的	各園の環境整備、職員の資質向上のための研修、働きやすい環境づくりを行い、子どもを安全・健やかに育てるために必要な保育環境の充実・整備を行います。																														
事業の 主な 実施状況	<p>① 公立こども園の嘱託医報酬、共通維持管理等の経費の支出を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘱託医報酬（内科医師：2人[5園]、歯科医師：4人[5園]、学校薬剤師：4人[5園]） ・施設修繕料 ・医薬材料費（フッ化物洗口用ミラノール）・保険料（学校安全会） ・各種手数料（遊具点検：年1回、法定細菌検査、衛生管理等） ・負担金 ・委託料（浄化槽管理、樹木消毒・選定作業、緊急通報装置保守、火災報知器点検、警備、体育指導、病児保育、除雪、消毒業務、園庭芝の管理 こども園給食調理等（やばせこども園・しらとりこども園） こども園ICTシステム保守（公立5園） <p>② 町内の私立保育園に保育を委託しました。 また、広域（町外）保育について、関係自治体と連携し保護者ニーズに対応しました。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>支給対象施設（私立保育園）</td> <td>4施設（うち町内1施設）</td> </tr> <tr> <td>委託額</td> <td>86,212,060円</td> </tr> <tr> <td>対象児童数（3月末）</td> <td>70人</td> </tr> </table> <p>③ 公立こども園全園が、幼児教育・保育の質の向上のための研究や研修の機会を充実させました。</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">研修名</td> <td style="text-align: right;">参加人数</td> </tr> <tr> <td>発達支援テーマ別研修</td> <td style="text-align: right;">90人</td> </tr> <tr> <td>新人・中堅職員研修</td> <td style="text-align: right;">10人</td> </tr> <tr> <td>会計年度任用職員研修</td> <td style="text-align: right;">45人</td> </tr> <tr> <td>人材育成・マネジメント研修（係長以上）</td> <td style="text-align: right;">15人</td> </tr> <tr> <td>音楽リズム・マーチング研修</td> <td style="text-align: right;">20人</td> </tr> <tr> <td>実技研修(外部)</td> <td style="text-align: right;">5人</td> </tr> <tr> <td>園内研修</td> <td style="text-align: right;">117人</td> </tr> </table> <p>④ 複業人材を活用し、こども園組織戦略アドバイザーによる保育教諭の離職防止や業務改善に向けて検討を行いました。</p>									支給対象施設（私立保育園）	4施設（うち町内1施設）	委託額	86,212,060円	対象児童数（3月末）	70人	研修名	参加人数	発達支援テーマ別研修	90人	新人・中堅職員研修	10人	会計年度任用職員研修	45人	人材育成・マネジメント研修（係長以上）	15人	音楽リズム・マーチング研修	20人	実技研修(外部)	5人	園内研修	117人
	支給対象施設（私立保育園）	4施設（うち町内1施設）																													
委託額	86,212,060円																														
対象児童数（3月末）	70人																														
研修名	参加人数																														
発達支援テーマ別研修	90人																														
新人・中堅職員研修	10人																														
会計年度任用職員研修	45人																														
人材育成・マネジメント研修（係長以上）	15人																														
音楽リズム・マーチング研修	20人																														
実技研修(外部)	5人																														
園内研修	117人																														
事業目的の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり																												
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 令和4年度離職者が多かったことから、こども園の業務改善や離職防止策の検討する必要性がありました。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>② 令和5年10月より複業人材を活用し、こども園の業務改善に向けての調査や検討を行いました。職員のニーズや必要性に応じた研修内容にすることで保育の実践につながりました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>コロナ禍終息後も引き続き、消毒業務などの委託を維持し職員の負担軽減となっています。また、新たに人材育成やマネジメントなど園運営に関わる研修やこども園組織戦略アドバイザーとの面談などで業務改善への意識の醸成につながりつつあります。</p>																														
今後の 取り組み の 方向	こども園組織戦略アドバイザーと協力し、園の業務改善に引き続き取り組み、安定した教育・保育の提供や質の向上につなげます。																														

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	91	事業名	特別保育			会計区分	一般会計																																								
担当課	子育て応援課		担当係	こども未来係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																								
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	保育所運営費																																						
まちづくりビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり																																														
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開																																													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																								
令和5年度	37,026	33,286	7,261	12,016	0	0	14,009																																								
事業目的	私立園に補助金を交付し、保育が必要な家庭の乳幼児の受入等保育ニーズへの対応を促進し、子育てを支援します。また、町の副食費免除基準に該当する第2子以降の広域入所園児に対し、副食費支援補助金を支給し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。																																														
事業の 主な 実施状況	① 国、県の補助事業等を活用し、利用者にサービスを提供するため、各種補助金を交付しました。																																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">補助金及び事業名</th> <th style="width: 20%;">補助金額(円)</th> <th style="width: 30%;">対象施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子ども・子育て支援交付金</td> <td>22,072,700</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延長保育事業</td> <td>1,349,700</td> <td>赤碕こども園・みどり保育園</td> </tr> <tr> <td>病後児保育事業</td> <td>2,357,000</td> <td>みどり保育園</td> </tr> <tr> <td>地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)</td> <td>16,842,000</td> <td>赤碕こども園・みどり保育園</td> </tr> <tr> <td>一時預かり事業</td> <td>1,524,000</td> <td>みどり保育園</td> </tr> <tr> <td>保育サービス多様化促進事業等</td> <td>8,610,640</td> <td></td> </tr> <tr> <td>障がい児保育事業</td> <td>2,647,200</td> <td>みどり保育園</td> </tr> <tr> <td>乳児保育事業</td> <td>1,819,440</td> <td>みどり保育園</td> </tr> <tr> <td>低年齢児受入施設保育士等特別加配事業 (1歳児の保育士配置4.5:1)</td> <td>4,144,000</td> <td>赤碕こども園・みどり保育園</td> </tr> <tr> <td>保育対策総合支援事業費補助金</td> <td>175,000</td> <td>赤碕こども園</td> </tr> <tr> <td>送迎用バス安全装置補助金</td> <td>175,000</td> <td>赤碕こども園</td> </tr> <tr> <td>買物環境確保推進補助金</td> <td>686,400</td> <td>みどり保育園</td> </tr> </tbody> </table>									補助金及び事業名	補助金額(円)	対象施設	子ども・子育て支援交付金	22,072,700		延長保育事業	1,349,700	赤碕こども園・みどり保育園	病後児保育事業	2,357,000	みどり保育園	地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)	16,842,000	赤碕こども園・みどり保育園	一時預かり事業	1,524,000	みどり保育園	保育サービス多様化促進事業等	8,610,640		障がい児保育事業	2,647,200	みどり保育園	乳児保育事業	1,819,440	みどり保育園	低年齢児受入施設保育士等特別加配事業 (1歳児の保育士配置4.5:1)	4,144,000	赤碕こども園・みどり保育園	保育対策総合支援事業費補助金	175,000	赤碕こども園	送迎用バス安全装置補助金	175,000	赤碕こども園	買物環境確保推進補助金	686,400
補助金及び事業名	補助金額(円)	対象施設																																													
子ども・子育て支援交付金	22,072,700																																														
延長保育事業	1,349,700	赤碕こども園・みどり保育園																																													
病後児保育事業	2,357,000	みどり保育園																																													
地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)	16,842,000	赤碕こども園・みどり保育園																																													
一時預かり事業	1,524,000	みどり保育園																																													
保育サービス多様化促進事業等	8,610,640																																														
障がい児保育事業	2,647,200	みどり保育園																																													
乳児保育事業	1,819,440	みどり保育園																																													
低年齢児受入施設保育士等特別加配事業 (1歳児の保育士配置4.5:1)	4,144,000	赤碕こども園・みどり保育園																																													
保育対策総合支援事業費補助金	175,000	赤碕こども園																																													
送迎用バス安全装置補助金	175,000	赤碕こども園																																													
買物環境確保推進補助金	686,400	みどり保育園																																													
	② 町の副食費免除基準に該当する広域(町外)施設利用者に補助金を交付し経済的負担の軽減を図りました。																																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">補助金名</th> <th style="width: 20%;">補助金額(円)</th> <th style="width: 30%;">対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>琴浦町特定教育・保育施設副食費支援補助金</td> <td>108,000</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>									補助金名	補助金額(円)	対象者	琴浦町特定教育・保育施設副食費支援補助金	108,000	2人																																
補助金名	補助金額(円)	対象者																																													
琴浦町特定教育・保育施設副食費支援補助金	108,000	2人																																													
事業目的の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成																																										
	【前年度の課題の概要】 —																																														
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 国、県の補助事業等の活用により、私立園が実施する利用者サービスを支援し、連携して子育て施策の充実を図りました。また、私立の保育士等に対する処遇改善補助を行い、安定的な人材確保の支援を行いました。 ② 町外施設の利用者に対しても、副食費の補助を行うことにより、町内の園の利用者と同等に経済的負担の軽減を行うことができました。																																														
	【担当課による評価の理由】 私立園においても、公立園と遜色のない保育体制を確保することができました。																																														
今後の 取り組み の 方向	保護者の保育ニーズに対応できるよう、引き続き必要な補助を行います。																																														

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	369他	事業名	しらとりこども園 他4園			会計区分	一般会計																																															
担当課	子育て応援課			担当係	こども未来係		事業区分	□新規 ■継続																																														
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	保育所運営費																																													
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり																																																					
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開																																																				
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																														
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																															
令和5年度	80,367	73,179	0	0	21,453	0	51,726	保育所児童措置費負担金 13,700千円 ふるさと未来夢基金700千円 一時保育料148千円 保育職員給食費 6,750千円																																														
事業目的	保護者の就労等により、保育を必要とする乳幼児の保育を行います。また、就学前の子どもに関する、幼児教育を実施し、保護者に対する子育て支援を総合的に提供します。																																																					
事業の 主な 実施状況	① 各園で、教育・保育を実施しました。また、子育て支援ニーズに対応し、こども園で各種事業を実施しました。																																																					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業</th> <th colspan="4">園児数(3月末)</th> <th rowspan="2">事業費(千円)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>1号</th> <th>2号</th> <th>3号</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>369 しらとりこども園</td> <td>9</td> <td>69</td> <td>31</td> <td>109</td> <td>20,364</td> <td>休日保育</td> </tr> <tr> <td>371 やばせこども園</td> <td>0</td> <td>69</td> <td>25</td> <td>94</td> <td>16,239</td> <td>一時保育</td> </tr> <tr> <td>372 こがねこども園</td> <td>2</td> <td>53</td> <td>19</td> <td>74</td> <td>13,202</td> <td></td> </tr> <tr> <td>374 ことうらこども園</td> <td>3</td> <td>33</td> <td>15</td> <td>51</td> <td>10,208</td> <td></td> </tr> <tr> <td>375 ふなのえこども園</td> <td>5</td> <td>53</td> <td>21</td> <td>79</td> <td>13,166</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◆教育・保育給付の認定区分◆ 1号: 満3歳以上の小学校就学前の子どもであって、2号認定以外の幼児 2号: 満3歳以上の小学校就学前の子どもであって、保護者の労働又は疾病等により家庭において必要な保育を受けることが困難である幼児 3号: 満3歳未満の子どもであって、保護者の労働又は疾病等により家庭において必要な保育を受けることが困難である乳幼児</p>									事業	園児数(3月末)				事業費(千円)	備考	1号	2号	3号	計	369 しらとりこども園	9	69	31	109	20,364	休日保育	371 やばせこども園	0	69	25	94	16,239	一時保育	372 こがねこども園	2	53	19	74	13,202		374 ことうらこども園	3	33	15	51	10,208		375 ふなのえこども園	5	53	21	79	13,166
事業	園児数(3月末)				事業費(千円)	備考																																																
	1号	2号	3号	計																																																		
369 しらとりこども園	9	69	31	109	20,364	休日保育																																																
371 やばせこども園	0	69	25	94	16,239	一時保育																																																
372 こがねこども園	2	53	19	74	13,202																																																	
374 ことうらこども園	3	33	15	51	10,208																																																	
375 ふなのえこども園	5	53	21	79	13,166																																																	
事業目的の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり																																																	
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 各施設とも経年劣化や老朽化により修繕箇所が増えています。子どもたちが安心して・安全に過ごせるよう、日々点検し対応していく必要があります。また、ふなのえこども園・成美地区公民館建設については、完成まで引き続き対応協議などが必要です。 定員に満たない園については適正な定員の検討が必要です。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 修繕箇所については、計画的に進めることができました。新園舎建設については、令和6年度開園に向け準備を行う予定でしたが、工期の延長等に伴い進捗を見ながら対応しています。 園児数の減少に伴い、定員の変更を行いました。(ことうらこども園)</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>計画していた修繕については適切に行いました。一方で小さな修繕などが予算の都合で翌年度に対応になるケースもあるため、「A 相当程度進展あり」としました。</p>																																																					
今後の 取り組み の 方向	<p>大規模修繕については、計画的に早めの対応を行います。 新ふなのえこども園について、引き続き関係各課と連携をしながら、子どもたちにとってよりよい保育環境となるよう施設づくりに努めます。 R6年度からのみどり保育園の定員変更に対応し、各こども園への入園申し込みの調整を行いました。入園の申請時期を早めに行い、引き続き安定した保育の提供ができるように努めます。</p>																																																					



令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	100	事業名	母子保健事業			会計区分	一般会計																																																																					
担当課	子育て応援課			担当係	子育て世代包括支援センター			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																																																			
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費																																																																			
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進																																																																							
重点項目	—																																																																											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																																				
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																																					
令和5年度	18,979	11,114	33	719	0	0	10,362																																																																					
事業目的	妊娠中から就学前までの親子の健康を守り、父母や家族が安心して子育てを行えるようサポートします。また、妊娠前から自分自身の健康に目を向けられるような思春期世代への意識啓発や、子どもを持ちたいと願う夫婦へ不妊・不育症治療費助成を行い、経済的支援等を行います。																																																																											
事業の主な実施状況	① 各健診・相談事業 (医療機関委託健診等) <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>健診費用を助成(千円)</th> <th colspan="2">受診状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妊婦健診(全14回分助成)</td> <td>7,009</td> <td>受診延人数</td> <td>912人</td> </tr> <tr> <td>妊婦歯科健診(1回分助成)</td> <td>71</td> <td>受診延人数</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>新生児聴覚検査(2,000円助成)</td> <td>154</td> <td>受検人数</td> <td>77人</td> </tr> <tr> <td>3-4か月児健診</td> <td rowspan="2">955</td> <td>受診率</td> <td>98.8%</td> </tr> <tr> <td>9-10か月児健診</td> <td>93.6%</td> </tr> </tbody> </table> (集団健診) <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施数</th> <th>受診率</th> <th>経過観察率</th> <th>精検率</th> <th>精検受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤ちゃん健診</td> <td>5回</td> <td>96.7%</td> <td>12.6%</td> <td>3.4%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>1歳6か月児健診</td> <td>6回</td> <td>97.9%</td> <td>21.5%</td> <td>2.2%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>3歳児健診</td> <td>7回</td> <td>99.0%</td> <td>15.6%</td> <td>19.8%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>5歳児健診(2次)</td> <td>4回</td> <td>100.0%</td> <td>13.3%</td> <td>33.3%</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table> (相談事業等) <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施数</th> <th>参加延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>離乳食講習会</td> <td>6回</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>乳児相談</td> <td>12回</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>2歳児子育て相談</td> <td>6回</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td>歯みがき教室</td> <td>4回</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table> ② 乳児家庭全戸訪問 87件 ③ 不妊・不育治療費の助成 特定不妊治療費助成 件数 0件 不育症治療費助成 件数 0件									事業名	健診費用を助成(千円)	受診状況		妊婦健診(全14回分助成)	7,009	受診延人数	912人	妊婦歯科健診(1回分助成)	71	受診延人数	27人	新生児聴覚検査(2,000円助成)	154	受検人数	77人	3-4か月児健診	955	受診率	98.8%	9-10か月児健診	93.6%	事業名	実施数	受診率	経過観察率	精検率	精検受診率	赤ちゃん健診	5回	96.7%	12.6%	3.4%	100%	1歳6か月児健診	6回	97.9%	21.5%	2.2%	100%	3歳児健診	7回	99.0%	15.6%	19.8%	100%	5歳児健診(2次)	4回	100.0%	13.3%	33.3%	60%	事業名	実施数	参加延人数	離乳食講習会	6回	25人	乳児相談	12回	64人	2歳児子育て相談	6回	79人	歯みがき教室	4回	15人
事業名	健診費用を助成(千円)	受診状況																																																																										
妊婦健診(全14回分助成)	7,009	受診延人数	912人																																																																									
妊婦歯科健診(1回分助成)	71	受診延人数	27人																																																																									
新生児聴覚検査(2,000円助成)	154	受検人数	77人																																																																									
3-4か月児健診	955	受診率	98.8%																																																																									
9-10か月児健診		93.6%																																																																										
事業名	実施数	受診率	経過観察率	精検率	精検受診率																																																																							
赤ちゃん健診	5回	96.7%	12.6%	3.4%	100%																																																																							
1歳6か月児健診	6回	97.9%	21.5%	2.2%	100%																																																																							
3歳児健診	7回	99.0%	15.6%	19.8%	100%																																																																							
5歳児健診(2次)	4回	100.0%	13.3%	33.3%	60%																																																																							
事業名	実施数	参加延人数																																																																										
離乳食講習会	6回	25人																																																																										
乳児相談	12回	64人																																																																										
2歳児子育て相談	6回	79人																																																																										
歯みがき教室	4回	15人																																																																										
事業目的の達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり																																																																							
	【前年度の課題の概要】 ① 子育てを取りまく環境は多様化しており、子育てのしづらさを抱えながらも、相談に行けない保護者も多くいます。各種事業を通して、保護者及び家族の相談支援を細やかにを行い、相談しやすい環境づくりに努め、より一層安心して子育てができる町を目指します。																																																																											
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 電話・訪問等で育児不安や悩みに早期に気づき、各種事業を通して、継続フォローを行いました。保護者及び家族全体が安心して過ごせるよう、必要に応じて関係課、関係機関とも連携しながら相談支援を行うことができました。																																																																											
今後の取り組みの方向	【担当課による評価の理由】 保護者及び家族との関係づくりに努め、電話や訪問等で早めのアプローチと相談支援を行い、各種事業で継続フォローしながら、安心して子育てができるよう支援ができたことと判断し、「A 相当程度進展あり」と評価します。																																																																											
	今後も、保護者の育児不安や悩み事に早期に気づき、支援ができるよう、各事業で丁寧に子及び保護者に関わっていくことが大切です。引き続き、時期を捉えて心配ごとや悩みごとを相談できる機会を持ち、ストレスの軽減や悩みごとの解消に務め、安心して子育てができる環境作りに努めます。																																																																											

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	104	事業名	予防接種			会計区分	一般会計																																																																												
担当課	子育て応援課		担当係	子育て世代包括支援センター		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																																																												
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費																																																																										
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				④持続可能な医療・保健・介護事業の推進																																																																														
	重点項目	—																																																																																	
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																																											
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																																												
令和5年度	38,691	36,785	0	500	20,000	1,100	15,185	ふるさと未来夢基金 20,000千円 過疎対策事業債 1,100千円																																																																											
事業目的	感染症の発病・重症化等の予防、感染症蔓延防止を目的とした各種予防接種費の助成と啓発を行います。																																																																																		
事業の 主な 実施状況	① 定期予防接種の実施と任意予防接種の費用助成を行いました。 ② 接種率の維持向上のため、各対象者へ接種勧奨を行いました。																																																																																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">接種種別</th> <th>規定回数</th> <th>新規 対象者数</th> <th>接種 延回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">定期</td> <td>4種混合</td> <td>4</td> <td>84</td> <td>354</td> </tr> <tr> <td>B型肝炎</td> <td>3</td> <td>84</td> <td>247</td> </tr> <tr> <td>ヒブ</td> <td>4</td> <td>84</td> <td>327</td> </tr> <tr> <td>小児用肺炎球菌</td> <td>4</td> <td>84</td> <td>325</td> </tr> <tr> <td>BCG</td> <td>1</td> <td>84</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>ロタウイルス(1価)</td> <td>2</td> <td>84</td> <td>198</td> </tr> <tr> <td>ロタウイルス(5価)</td> <td>3</td> <td>84</td> <td>198</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん混合1期</td> <td>1</td> <td>80</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>麻しん風しん混合2期</td> <td>1</td> <td>115</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>水痘</td> <td>2</td> <td>80</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎1期</td> <td>3</td> <td>81</td> <td>321</td> </tr> <tr> <td>日本脳炎2期</td> <td>1</td> <td>155</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td>2種混合</td> <td>1</td> <td>138</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん(定期)</td> <td>3</td> <td>274</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん(特例対象者)</td> <td>3</td> <td>528</td> <td>236</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">任意</td> <td>子どもインフルエンザ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>924</td> </tr> <tr> <td>おたふくかぜ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>89</td> </tr> </tbody> </table>									接種種別		規定回数	新規 対象者数	接種 延回数	定期	4種混合	4	84	354	B型肝炎	3	84	247	ヒブ	4	84	327	小児用肺炎球菌	4	84	325	BCG	1	84	83	ロタウイルス(1価)	2	84	198	ロタウイルス(5価)	3	84	198	麻しん風しん混合1期	1	80	86	麻しん風しん混合2期	1	115	110	水痘	2	80	167	日本脳炎1期	3	81	321	日本脳炎2期	1	155	181	2種混合	1	138	125	子宮頸がん(定期)	3	274	67	子宮頸がん(特例対象者)	3	528	236	任意	子どもインフルエンザ	—	—	924	おたふくかぜ	—	—
接種種別		規定回数	新規 対象者数	接種 延回数																																																																															
定期	4種混合	4	84	354																																																																															
	B型肝炎	3	84	247																																																																															
	ヒブ	4	84	327																																																																															
	小児用肺炎球菌	4	84	325																																																																															
	BCG	1	84	83																																																																															
	ロタウイルス(1価)	2	84	198																																																																															
	ロタウイルス(5価)	3	84	198																																																																															
	麻しん風しん混合1期	1	80	86																																																																															
	麻しん風しん混合2期	1	115	110																																																																															
	水痘	2	80	167																																																																															
	日本脳炎1期	3	81	321																																																																															
	日本脳炎2期	1	155	181																																																																															
	2種混合	1	138	125																																																																															
	子宮頸がん(定期)	3	274	67																																																																															
	子宮頸がん(特例対象者)	3	528	236																																																																															
任意	子どもインフルエンザ	—	—	924																																																																															
	おたふくかぜ	—	—	89																																																																															
事業目的 の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり																																																																																
	【前年度の課題の概要】 ① 子宮頸がん予防ワクチン定期接種に新たに導入された9価ワクチンの情報提供及び未接種者への接種勧奨を行うとともに、接種に関する相談等の充実を図る必要があります。 ② 各定期予防接種の未接種者に対して、今後も効果的な接種勧奨を行う必要があります。																																																																																		
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 子宮頸がん予防ワクチンの対象者及び特例対象者(定期接種対象期間を過ぎた方)に対して、9価ワクチンの導入や相談機関等の個別案内や町報、HP等で情報提供を行いました。また、保健師等と情報共有を行い、ワクチン接種の相談体制の充実を図りました。 ② 乳幼児健診、相談事業等の機会を利用して接種勧奨を行うとともに、町内医療機関等と連携を図って予防接種の必要性について啓発を行いました。																																																																																		
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 子宮頸がん予防ワクチンの9価ワクチン導入における情報提供及び未接種者への接種勧奨、5種混合ワクチン導入等の各関係機関との連絡調整や準備対応を行うとともに、各種予防接種対象者への接種案内、ワクチン接種の有効性等についての情報提供を確実に行うことができたことと判断し、「A 相当程度進展あり」と評価します。																																																																																		
	今後も各種予防接種対象者への接種案内、ワクチン接種の有効性等についての情報提供を確実にを行います。また、感染症流行情報等を踏まえ、関係機関等と連携を図り、ワクチン接種の啓発や接種勧奨を行い、感染症の発病・重症化等の予防、蔓延防止に努めていきます。																																																																																		

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1394	事業名	子育て世代包括支援センター事業			会計区分	一般会計		
担当課	子育て応援課			担当係	子育て世代包括支援センター		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				⑥子どもを産み育てやすい環境づくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	3,196	1,985	649	369	7	0	960	産後ヘルパー派遣事業 利用者負担金 7千円	
事業目的	妊娠期から出産・子育て期にわたり切れ目ない支援を行うため、相談支援体制及び子育て支援体制の充実を図ります。								
事業の 主な 実施状況	① 産前産後支援 家庭訪問や電話等での相談対応や保健指導、また、健診や産後ケア事業等の支援事業により、産前産後の母子が心身共に健康な生活が送れるようサポートしました。 ・家庭訪問 延べ486件 (内訳:妊婦70、産婦192、新生児10、未熟児10、乳児179、幼児13、その他12) ・相談件数 延べ39件 ・産後健康診査 受診者数 実 86人、延159人 ・産後ケア事業 利用実人数9組(18人) 利用日数37日間 ・産後ヘルパー事業 利用実人数1人 利用延10時間 ② 子育て支援 子育て世帯の経済的負担軽減や、各種教室を通して、よりよい親子関係の構築や保護者の困り感に寄り添いながら、育児負担感の軽減を図りました。 ・チャイルドシート等購入費助成事業 助成者数:48人 ・発達支援事業(遊びの教室) 開催数 8回 参加延人数 17人 ・ペアレント・トレーニング教室 ※子どもへのより良い関わり方を学ぶプログラム 利用実績なし ・プレママ・プレパパ交流会 開催数 4回 参加延人数 17人								
事業目的の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】 ① 参加者が集まらず一部実施できない子育て支援事業もありました。子育て世代の仲間作りの場や、子どもへの関わりを学ぶ機会を持てるよう、事業の見直し・改善を行い、事業の啓発を実施していく必要があります。 【前年度課題についての対応及び成果】 ① 子育て支援事業が一部中止となりましたが、妊娠期の交流事業は回数を増やし年4回開催しました。妊婦とパートナーが交流し、妊娠期やこれからの子育ての楽しみや悩みを共有する機会となりました。 【担当課による評価の理由】 子育て支援事業の一部は実施できませんでしたが、妊娠期から産後をとおして、家庭訪問などでこまめに妊産婦の状況把握に努め、関係機関と連携しながら、必要な支援に繋ぐ等早期支援を行ったため、「A相当程度進展あり」と評価しました。								
今後の 取り組みの 方向	今後も産前産後の母子が心身共に健康な生活が送れるようサポートします。また子育て家庭に寄り添い家庭訪問や産前産後支援・子育て支援事業を通して保護者の声を聴きながら、経済的負担や育児負担感の軽減が図れるよう、既存事業の見直し・改善を行い、子育て世代のニーズに沿った事業となるよう努めます。 子育て負担の軽減に繋がる1つの方法として、健診や相談事業の場面で子どもへのより良い関わり方について保護者に広く周知を行い、子どもへの関わり方を学ぶことに関心を持てるよう啓発を行います。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1612	事業名	出産・子育て応援交付金事業			会計区分	一般会計													
担当課	子育て応援課			担当係	子育て世代包括支援センター		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続												
予算区分	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費											
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				⑥子どもを産み育てやすい環境づくり															
	重点項目	—																		
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)												
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源													
令和5年度	4,500	3,600	2,400	600	0	0	600													
令和5年度(明許)	5,150	4,300	2,867	716	0	0	717													
事業目的	核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安を抱く妊婦・子育て家庭も少なくありません。全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整えるため、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援と経済的支援を一体として実施します。																			
事業の 主な 実施状況	① 妊娠届出時、産前訪問時、出生届出後の赤ちゃん訪問時などの機会をとらえ面談等の伴走型相談支援を実施すると共に、妊娠届出時及び出生届出後に経済的支援として現金を各50,000円ずつ支給しました。																			
	【対象】 妊娠届出をされた妊婦及び出産された方のうち、申請時点で琴浦町内に住所のある方																			
【支給状況】																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 20%;">支給件数</th> <th style="width: 50%;">支給金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出産応援ギフト</td> <td>75</td> <td>3,750,000</td> </tr> <tr> <td>子育て応援ギフト</td> <td>83</td> <td>4,150,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>158</td> <td>7,900,000</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	支給件数	支給金額(円)	出産応援ギフト	75	3,750,000	子育て応援ギフト	83	4,150,000	合計	158	7,900,000
区 分	支給件数	支給金額(円)																		
出産応援ギフト	75	3,750,000																		
子育て応援ギフト	83	4,150,000																		
合計	158	7,900,000																		
※出産応援ギフト: 妊娠届出時に申請受付 子育て応援ギフト: 赤ちゃん訪問時(生後2か月頃まで)に申請受付																				
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり															
	【前年度の課題の概要】 ① 引き続き、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した情報提供や必要な支援につなぐ伴走型の相談支援と経済的支援を一体として実施することが必要です。																			
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 妊娠届出時から出産・子育て期に渡り継続して身近で相談に応じ、個々に応じた様々なニーズに即した必要な情報提供や支援につなぐ伴走型の相談支援を行うと共に経済的支援を一体として実施しました。支援が必要な家庭には通常の訪問・電話連絡以外に地区担当保健師が随時相談対応を継続して行うことにより、支援することができました。																			
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 地区担当保健師を中心として、妊娠届出時から出産・子育て期に渡り継続した伴走型相談支援と共に、経済的支援を一体として実施することにより、妊婦・子育て家庭への必要な支援ができたものと判断し、「A 相当程度進展あり」と評価しました。																			
	今後も、地区担当保健師を中心として、必要に応じて関係機関等と連携しながら、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した情報提供や必要な支援につなぐ伴走型の相談支援と経済的支援を一体として実施します。																			

所属名称：建設住宅課

[単位：千円]

会計 款-項-目 事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
建設住宅課				
2.総務費				
1.総務管理費				
1.一般管理費				
公共施設直営管理事業	12,544	9,546	11-1	
7.土木費				
1.土木管理費				
1.土木総務費				
土木総務事業	2,369	1,981	11-2	
単県斜面崩壊復旧事業	6,000	5,998	11-3	
防災減災浸水被害防止対策事業	42,000	9,790	11-4	
2.道路橋梁費				
1.道路維持費				
道路維持管理事業	65,944	63,435	11-5	
2.道路新設改良費				
町道等改良整備事業	442,611	355,426	11-7	
3.除雪対策費				
除雪対策事業	83,857	54,804	11-9	
3.河川費				
1.河川維持費				
河川維持管理事業	11,860	8,216	11-11	
4.都市計画費				
1.都市計画総務費				
一般管理費	3,240	928	11-12	
5.住宅費				
1.住宅管理費				
住宅管理事業	102,945	66,797	11-14	
コーポラスことら管理事業	18,107	18,107	11-16	
空き家対策事業	34,340	11,835	11-18	
10.災害復旧費				
2.公共土木施設災害復旧費				
1.公共土木施設災害復旧費				
公共土木施設災害復旧事業	69,367	33,162	11-20	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	936	事業名	公共施設直営管理事業			会計区分	一般会計																																																																																																			
担当課	建設住宅課		担当係	地域整備室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																																																																																			
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費																																																																																																	
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理																																																																																																					
	重点項目																																																																																																									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																																																																		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																																																																			
令和5年度	12,544	9,546	0	0	0	0	9,546																																																																																																			
事業目的	町が管理する道路や施設の機能及び性能等を常に発揮できるよう適切な状態に保ち、利用者が安全かつ快適に利用できるような環境を保持します。																																																																																																									
事業の 主な 実施状況	① ワークセンターで町有施設の維持管理、修繕作業を行いました。																																																																																																									
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">作業体制</td> <td colspan="8">作業員7人</td> </tr> <tr> <td>作業内容</td> <td colspan="8"> 町道及び農道の除草、側溝清掃 道路陥没の修繕 水源等水道施設の除草 農村公園の除草 斉尾廃寺跡、大高野遺跡、水辺公園の芝管理 その他町有施設の除草、維持管理 </td> </tr> <tr> <td>作業に要した費用</td> <td colspan="7"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7">除草や道路修繕等に伴う消耗品費(除草剤、原材料等)</td> <td>3,218,891</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7">草刈り機等の故障に伴う修繕費</td> <td>425,482</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7">ダンプトラック等公用車の燃料費</td> <td>940,825</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7">作業員の傷害保険料、公用車の自動車保険料</td> <td>301,600</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7">ダンプトラック等公用車のリース料</td> <td>964,161</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7">ラジコン草刈機の購入費</td> <td>3,695,450</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7" style="text-align: center;">合 計</td> <td>9,546,409</td> <td>円</td> </tr> </table>							作業体制	作業員7人								作業内容	町道及び農道の除草、側溝清掃 道路陥没の修繕 水源等水道施設の除草 農村公園の除草 斉尾廃寺跡、大高野遺跡、水辺公園の芝管理 その他町有施設の除草、維持管理								作業に要した費用											除草や道路修繕等に伴う消耗品費(除草剤、原材料等)							3,218,891	円		草刈り機等の故障に伴う修繕費							425,482	円		ダンプトラック等公用車の燃料費							940,825	円		作業員の傷害保険料、公用車の自動車保険料							301,600	円		ダンプトラック等公用車のリース料							964,161	円		ラジコン草刈機の購入費							3,695,450	円		合 計							9,546,409
作業体制	作業員7人																																																																																																									
作業内容	町道及び農道の除草、側溝清掃 道路陥没の修繕 水源等水道施設の除草 農村公園の除草 斉尾廃寺跡、大高野遺跡、水辺公園の芝管理 その他町有施設の除草、維持管理																																																																																																									
作業に要した費用																																																																																																										
	除草や道路修繕等に伴う消耗品費(除草剤、原材料等)							3,218,891	円																																																																																																	
	草刈り機等の故障に伴う修繕費							425,482	円																																																																																																	
	ダンプトラック等公用車の燃料費							940,825	円																																																																																																	
	作業員の傷害保険料、公用車の自動車保険料							301,600	円																																																																																																	
	ダンプトラック等公用車のリース料							964,161	円																																																																																																	
	ラジコン草刈機の購入費							3,695,450	円																																																																																																	
	合 計							9,546,409	円																																																																																																	
			作業前			作業後																																																																																																				
																																																																																																										
事業目的の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成																																																																																																					
	【前年度の課題の概要】 ① ラジコン草刈り機等の導入により、人力作業の負担を減らすことと作業効率化を進め、持続可能で無理のない作業体制を構築します。																																																																																																									
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 廃校舎の校庭など、平地で広い用地の除草をラジコン草刈り機で行い、作業時間の短縮を図れました。 ② 町道の支障木の枝打ちを冬に重点的に行い、道路の通行幅確保と、葉が側溝に詰まるリスクを減らしたことで、繁忙期(夏場)の作業の軽減を図りました。																																																																																																									
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 これまで膨大な時間を費やしてきた広い町有地の除草をラジコン草刈り機で行うようにしたことで、作業時間の短縮、作業員の身体的負担を減らすことができました。また、今年度から芝管理の作業が追加となり、当初は不慣れではありましたが対応することができました。以上のことから判断し、S 目的達成と評価しました。																																																																																																									
	作業用途に合った機械等の導入を検討し、さらなる効率化と負担の軽減を図ります。																																																																																																									



令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	222	事業名	土木総務事業			会計区分	一般会計																	
担当課	建設住宅課		担当係	地域整備室		事業区分	□新規 ■継続																	
予算区分	款	7	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木総務費															
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理																			
	重点項目																							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																	
令和5年度	2,369	1,981	0	0	0	0	1,981																	
事業目的	①県内自治体で組織する期成会等に参加し、情報の共有化や政府、国機関へ要望活動を実施することで、道路や河川等の整備促進を図ります。 ②海岸環境の整備と保全を図ります。																							
事業の 主な 実施状況	① 県内自治体で組織する各種団体に対し、負担金、年会費を支払いました。																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>負担金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国道9号整備・山陰自動車道建設促進期成会</td> <td>36,000 円</td> </tr> <tr> <td>中国国道協会</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>道路整備促進期成同盟会</td> <td>26,000 円</td> </tr> <tr> <td>全国治水砂防協会鳥取県支部</td> <td>30,000 円</td> </tr> <tr> <td>全国道路利用者会議</td> <td>12,600 円</td> </tr> <tr> <td>海岸・港湾関係協会</td> <td>47,900 円</td> </tr> <tr> <td align="center">負担金、年会費 計</td> <td>182,500 円</td> </tr> </tbody> </table>									団体名	負担金額	国道9号整備・山陰自動車道建設促進期成会	36,000 円	中国国道協会	30,000 円	道路整備促進期成同盟会	26,000 円	全国治水砂防協会鳥取県支部	30,000 円	全国道路利用者会議	12,600 円	海岸・港湾関係協会	47,900 円	負担金、年会費 計
団体名	負担金額																							
国道9号整備・山陰自動車道建設促進期成会	36,000 円																							
中国国道協会	30,000 円																							
道路整備促進期成同盟会	26,000 円																							
全国治水砂防協会鳥取県支部	30,000 円																							
全国道路利用者会議	12,600 円																							
海岸・港湾関係協会	47,900 円																							
負担金、年会費 計	182,500 円																							
事業の 主な 実施状況	② 地元の漁業組合が実施する、逢東海岸の堆積砂の整理に使用する重機借上代を助成しました。																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 逢東海岸浚渫重機借上</td> <td>158,248 円</td> </tr> </tbody> </table>									工事名	助成金額	1 逢東海岸浚渫重機借上	158,248 円											
工事名	助成金額																							
1 逢東海岸浚渫重機借上	158,248 円																							
事業の 主な 実施状況	③ 建設住宅課内の公用車の車検・法定12ヶ月点検を受検し、公用車の適正管理に努めました。																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>費目</th> <th>支出金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 修繕料</td> <td>25,289 円</td> </tr> <tr> <td>2 手数料</td> <td>81,008 円</td> </tr> <tr> <td>3 任意保険料・自賠責保険</td> <td>139,630 円</td> </tr> <tr> <td>4 公用車リース料</td> <td>1,388,170 円</td> </tr> <tr> <td>4 自動車重量税</td> <td>6,600 円</td> </tr> <tr> <td align="center">計</td> <td>1,640,697 円</td> </tr> </tbody> </table>									費目	支出金額	1 修繕料	25,289 円	2 手数料	81,008 円	3 任意保険料・自賠責保険	139,630 円	4 公用車リース料	1,388,170 円	4 自動車重量税	6,600 円	計	1,640,697 円	
費目	支出金額																							
1 修繕料	25,289 円																							
2 手数料	81,008 円																							
3 任意保険料・自賠責保険	139,630 円																							
4 公用車リース料	1,388,170 円																							
4 自動車重量税	6,600 円																							
計	1,640,697 円																							
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成																			
	【前年度の課題の概要】 ① 社会資本整備総合交付金の配分額が減少傾向にある中で、橋梁の老朽化対策に関する必要事業費は増えています。地方が抱える現状や課題を期成会等を通じて、国へ要望を行っていきます。																							
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 各種団体の要望活動に参加し、町が必要としている補助制度や道路整備の促進等について要望を行うことができました。																							
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 継続して国への要望活動ができたこと、逢東海岸の維持管理を適正に実施できたことから、S 目的達成と評価しました。																							
	社会資本整備総合交付金の配分額が減少傾向にある中で、橋梁の老朽化対策に関する必要事業費は増えています。引き続き、地方が抱える現状や課題を期成会等を通じて国へ要望を行っていきます。																							

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	843	事業名	単県斜面崩壊復旧事業			会計区分	一般会計								
担当課	建設住宅課			担当係	地域整備室		事業区分	□新規 ■継続							
予算区分	款	7	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木総務費						
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり										
	重点項目														
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源								
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0	0							
令和5年度(明許)	6,000	5,998	0	2,399	1,200	2,300	99	地元負担金1,200千円 緊急自然災害防止対策 事業債2,300千円							
事業目的	土砂災害特別警戒区域に指定された地域にある急傾斜地の崩壊を復旧し、町民の生命・財産の保護を図ります。														
事業の 主な 実施状況	① 以下のとおり崩壊復旧工事を行いました。														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 65%;">工事名</th> <th style="width: 30%;">請負金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>杉地地区単県斜面崩壊復旧工事</td> <td>5,998,300 円</td> </tr> </tbody> </table>										工事名	請負金額	1	杉地地区単県斜面崩壊復旧工事	5,998,300 円
		工事名	請負金額												
1	杉地地区単県斜面崩壊復旧工事	5,998,300 円													
 ⇒ 			復旧前						完成						
事業目的の 達成状況	担当課による評価		S 目的達成												
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 設計に基づき工事発注を行い、復旧工事に着手します。また、その他に対策が必要な箇所があれば、地元・県と協議の上、対策を進めます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 復旧工事において、設計通りに施工できない場面もありましたが、施工業者との協議を密に行い、地元の理解を得ながら一つずつ課題を解決することができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>斜面崩壊復旧工事を、重機の設置位置やかご枠両端の植生土のう設置など、困難な課題を解決し完成できたことから、S 目的達成と評価しました。</p>														
今後の 取り組み の 方向	今後も法面対策が必要な箇所があれば、地元・県と十分に協議した上で、対策を進めます。														

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1611	事業名	防災減災浸水被害防止対策事業		会計区分	一般会計									
担当課	建設住宅課		担当係	地域整備室	事業区分	□新規		■継続							
予算区分	款	7 土木費	項	1 土木管理費	目	1	土木総務費								
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり										
	重点項目														
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源								
令和5年度	42,000	9,790	0	0	9,700	0	90	ふるさと未来夢基金9,200千円、企業版ふるさと納税500千円							
事業目的	災害等により被害のあった地区を対象に、浸水被害防止のための対策の推進を図り、公共福祉の確保を図ります。														
事業の 主な 実施状況	<p>① 三保・鋤地区について浸水被害防止対策流域等調査業務を行い、対策案の検討を行いました。今後は、作成した案に基づき、測量設計業務に取り組みを進めます。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 65%;">業務名</th> <th style="width: 30%;">請負金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>三保・鋤地区浸水被害防止対策流域等調査業務</td> <td>9,790,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>三保地区の水路溢水状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>聖郷グラウンドの冠水状況(鋤地区)</p> </div> </div> <p>② 公文地区について浸水被害防止対策測量設計業務を行いました。設計見直し、地元協議等に時間を要したため、年度内に業務完成できず、次年度に繰越を行っています。</p>										業務名	請負金額	1	三保・鋤地区浸水被害防止対策流域等調査業務	9,790,000 円
		業務名	請負金額												
1	三保・鋤地区浸水被害防止対策流域等調査業務	9,790,000 円													
事業目的の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり												
事業目的の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 調査結果をもとに、地元協議を図りながら改善案を決定していかなければなりません。本業務完了後は、財源を確保し、詳細設計、工事を進める必要があります。</p> <p>② 浸水被害が懸念される他地区についても、業務実施の検討が必要です。</p>														
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 地元集落、関係者等と協議を行い、対策案の検討を進めました。</p> <p>② 浸水被害が懸念される他地区については、流域治水及び減災対策協議会にて、県とも情報共有しながら対策を検討しています。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>三保・鋤地区については流域等調査業務を行い、対策案を決定することができました。しかし、公文地区の測量設計業務については、設計見直し、地元協議等に時間を要し、次年度に繰越を行っているため、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>														
今後の 取り組み の 方向	<p>作成した対策案に基づき、測量設計業務、対策工事を行います。また、流域治水及び減災対策協議会で抽出されたその他の要対策地区についても検討を行ってまいります。</p> <p>本事業の測量設計業務や対策工事については、緊急自然災害防止対策事業債が財源となっていますが、令和7年度までと年限が定められており、本起債の継続やそれに代わる補助制度の創設について要望を行っていくなど財源確保の必要があります。</p>														

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	226	事業名	道路維持管理事業			会計区分	一般会計		
担当課	建設住宅課		担当係	地域整備室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	1	道路維持費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理				
重点項目									
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	62,944	60,435	0	507	5,595	34,800	19,533	道路占用料2,508千円 法定外公共物占用料 2,866千円 屋外広告物許可手数料 221千円 過疎対策事業債34,800 千円	
令和5年度(明許)	3,000	3,000	0	0	0	0	3,000		

事業目的

町道において、一般の交通に支障を及ぼさないよう、道路や道路施設、道路付属物についての維持修繕を行い、道路機能を良好に保ちます。

① 町道施設の適切な維持管理のため、以下の工事を行いました。

	工事名	事業費
1	琴浦町区画線設置工事	2,768,700 円
2	LED道路照明灯更新工事	1,287,000 円
3	町道赤松線横断暗渠改修工事	1,850,200 円
4	町道筥津国主線路肩張コンクリート打設工事	1,127,500 円
5	町道的場立道線道路擁壁修繕工事	1,046,100 円
6	町道光好線道路拡幅工事	2,084,500 円
7	赤碕駅南地区浸水被害防止対策工事	5,030,300 円
8	杉地地区作業道路設置工事	986,700 円
9	下伊勢地区道路拡幅工事(現年度分)	353,900 円
町道維持修繕工事 小計		16,534,900 円
10	町道街路保浦安線ほか街路樹剪定工事	2,676,300 円
町道街路樹剪定工事 小計		2,676,300 円
11	町道森藤伊勢野線ほか舗装修繕工事	3,347,300 円
12	町道一向線舗装修繕工事(3工区)	15,292,200 円
町道舗装修繕工事 小計		18,639,500 円
13	下伊勢地区道路拡幅工事(明許繰越分)	3,000,000 円
町道維持修繕工事(明許繰越分) 小計		3,000,000 円
工事請負費 合計		40,850,700 円

【工事完成】LED道路照明灯更新工事



着工前



完成

【工事完成】赤碕駅南地区浸水被害防止対策工事



着工前



完成

事業の
主な
実施状況

② 町道施設の適切な維持管理のため、以下の修繕を行いました。

主な修繕内容	件数	修繕料
道路舗装・陥没、側溝、カーブミラー、街路灯等	68 件	10,670,816 円

③ 町道施設の適切な維持管理のため、以下の業務委託を行いました。

業務名	委託料
赤碕駅南地区浸水被害防止対策測量設計業務	1,722,600 円
琴浦町道路台帳作成業務	1,939,300 円
町道赤碕駅南線清掃業務	537,477 円
町道光好線道路拡幅に伴う登記資料作成等委託業務	207,128 円
委託料 合計	4,406,505 円

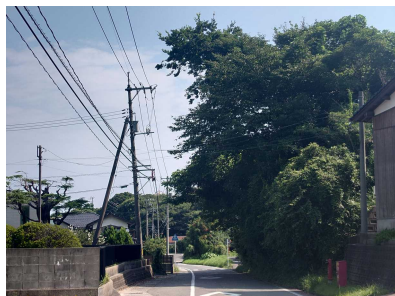
④ 地元等による道路、水路施設の維持管理を支援するため、原材料等の支給を行いました。

主な原材料支給内容	件数	支給額
生コンクリート、アスファルト、真砂土、グレーチング等	11 件	1,247,113 円

⑤ 地元等による道路、水路施設の維持管理を支援するため、補助金、交付金を交付しました。

主な原材料支給内容	件数	交付額
町道支障木伐採支援事業補助金	10 件	946,200 円
土木施設愛護ボランティア団体活動交付金	12 件	223,950 円
補助金、交付金 合計	22 件	1,170,150 円

町道支障木伐採支援事業補助金を活用した伐採



着工前



完成

担当課による評価

S 目的達成

【前年度の課題の概要】

- ① 部落要望箇所全ての修繕等は困難であり、優先順位を定め、修繕等を行っていく必要があります。
- ② 道路、水路(赤線・青線)等の維持管理について、地域活動を引き続き支援していく必要があります。
- ③ 災害・事故未然防止のため、道路に張り出した支障木への対応が必要です。

【前年度課題についての対応及び成果】

- ① 部落要望箇所について、優先度を検証の上、修繕工事などを行いました。
- ② 修繕に関する原材料等の支給を行うなど、地元による道路、水路施設の維持管理を支援しました。
- ③ 令和5年度、新たに町道支障木伐採支援事業補助金を創設し、地元や土地所有者による町道の通行上支障のある立竹木の伐採を支援しました。

【担当課による評価の理由】

赤碕駅南地区浸水被害防止対策工事施工箇所は、令和3年7月豪雨等により冠水の被害が発生しており、工事の必要性が高いものでした。

このような災害・事故未然防止策や、発生した道路陥没等の修繕など緊急度、優先度の高い工事、修繕を行うことができたことと判断し、S 目的達成と評価しました。

事業目的の達成状況

今後の取り組みの方向

限られた予算の中で、災害・事故未然防止策など、緊急度、優先度を検証のうえ、必要な対策を行います。
また、原材料等支給制度や補助金制度により、引き続き、地元による道路、水路施設の維持管理を支援します。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	228	事業名	町道等改良整備事業		会計区分	一般会計		
担当課	建設住宅課		担当係	地域整備室	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	目	2 道路新設改良費		
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理				
	重点項目							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	301,630	215,465	120,546	3,263	0	78,600	13,056	過疎対策事業債76,300千円、辺地債2,300千円
令和5年度(明許)	140,981	139,961	78,949	1,600	0	47,600	11,812	過疎対策事業債21,300千円、公共事業等債24,700千円、辺地債1,600千円

事業目的

町道の歩行者及び通行車両の安全確保、アクセス向上、道路や橋梁の大規模修繕を実施し、道路ストック効果の向上を図ります。

- ① 社会資本整備総合交付金事業、道路メンテナンス事業において、道路施設の機能向上や老朽化対策として以下の工事、業務を行いました。

(単位:円)

	業務名	事業費	
		明許繰越	現年度
1	令和4年度防災・安全交付金橋梁耐震事業松ヶ丘橋外工事(町道勸上野線)	16,364,927	
2	令和5年度防災・安全交付金橋梁耐震事業松ヶ丘橋外工事(町道勸上野線)		43,182,196
3	町道八橋小学校線道路改良工事測量設計業務(その2)	10,501,700	
4	佐崎線橋梁修繕工事現場技術業務	1,162,700	
5	佐崎線橋梁修繕工事(2工区)現場技術業務		1,281,500
6	上法万線高欄修繕工事現場技術業務	950,400	
7	上法万線高欄修繕工事(2工区)現場技術業務		964,700
8	町道笠見一号線道路改良工事測量設計業務		4,405,500
9	ゴリン橋架替工事2023年度協定		3,402,583
10	琴浦町橋梁点検業務		13,399,100
11	2023年度鳥取県管内道路橋梁点検(JR協定点検)		3,441,130
12	琴浦町橋梁長寿命化修繕計画策定業務		9,939,600
委託料 合計		28,979,727	80,016,309

	工事名	事業費	
		明許繰越	現年度
1	町道小学校松谷線道路改良工事(2工区)	19,604,200	
2	町道八橋小学校線道路改良工事(1工区)	14,869,800	
3	町道桜ヶ丘住宅線道路改良工事(1工区)	27,976,300	
4	佐崎線橋梁修繕工事(1工区)	28,343,700	
5	佐崎線橋梁修繕工事(2工区)		37,426,400
6	上法万線高欄修繕工事	10,268,676	
7	上法万線高欄修繕工事(2工区)	5,674,900	8,972,700
8	町道駅前八幡線道路改良工事(1工区)		20,263,100
9	町道野井倉市内線道路改良工事(2工区)		10,510,000
10	ゴリン橋仮設ヤード整備工事		45,875,500
工事請負費 合計		106,737,576	123,047,700

【工事完成】佐崎橋(修繕)

事業の
主な
実施状況



着工前

完成

【工事完成】上法万橋(高欄修繕)



着工前



完成

【一部区間完成】町道駅前八幡線(歩道のバリアフリー化、路肩カラー舗装)



着工前



完成

担当課による評価

A 相当程度進展あり

事業目的
の
達成状況

【前年度の課題の概要】

- ① 国補助配分の低下が予見されます。国が示す重点配分事業である通学路安全対策や橋梁老朽化対策を中心に事業を進めていく必要がありますが、防災対策や生活道路の対策についても継続して取り組んでいきます。

【前年度課題についての対応及び成果】

- ① 地元要望や現場状況等により優先順位をつけ、通学路安全対策や橋梁老朽化対策を中心に事業を進めました。

【担当課による評価の理由】

地元へ説明を行い、ご協力をいただきながら工事発注等事業を進めましたが、関係者、関係機関との調整に時間を要したことで一部の事業を次年度へ繰り越していることから、A 相当程度進展ありと評価しました。

今後の
取り組み
の
方向



今後も国の重点配分事業である通学路安全対策や橋梁老朽化対策を中心に、地元要望や地元の協力、現場状況を考慮して優先順位をつけ、事業を推進していきます。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書





事業番号	787	事業名	除雪対策事業			会計区分	一般会計		
担当課	建設住宅課		担当係	地域整備室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	7	土木費	項	2	道路橋梁費	目	3	除雪対策費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理				
	重点項目								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	60,537	31,484	0	1,023	0	0	30,461		
令和5年度(明許)	23,320	23,320	15,547	0	0	6,900	873	公共事業等債6,900千円	
事業目的	安全で円滑な冬期交通の確保や通学路における児童・生徒の安全確保を図ります。								
事業の 主な 実施状況	① 積雪時に除雪作業を行いました。								
			町有除雪車両貸与による除雪委託費				5,916,825 円		
			町内事業者保有除雪車両借り上げによる除雪				15,023,100 円		
	町道除雪作業(委託・借上げ)								
									
	② 降雪時に作動する融雪装置の管理を委託しました。								
		融雪装置管理委託料				1,472,600 円			
	③ 町所有車両の老朽化のため、除雪ドーザーを更新しました。								
		琴浦町除雪ドーザー購入業務				23,320,000 円			
	新規納入車両 除雪ドーザー(東伯地区)								
									
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】 ① 町保有の除雪車両の更新を交付金を活用しながら今後も進めていく必要があります。除雪は冬季交通の安全確保のために欠かすことのできない住民サービスであることから、現在の除雪体制の維持継続が重要になってきます。 【前年度課題についての対応及び成果】 ① 町保有の除雪車両の更新を計画的に進めています。今年度は除雪ドーザー(赤碕地区)の購入業務を発注しましたが、半導体不足で納入に期間を要し次年度へ繰越となりました。(納入時期:令和6年11月予定) ② 昨年の11月に除雪ドーザー(東伯地区)の納入が完了しました。 ③ 1月に複数回雪に見舞われ、委託・借り上げ各業者に昼夜作業を実施してもらい、早期の交通開放に努めました。								

	<p>【担当課による評価の理由】 除雪シーズンの対応については、除雪作業および緊急対応等行い、目標を達成していますが、半導体不足により除雪ドーザー(赤碕地区)の納入が遅れているため、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>
今後の 取り組み の 方向	町で実施する町道等の除雪作業については、業者と連携を取りながら安全で円滑な通行の確保に努めます。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	231	事業名	河川維持管理事業			会計区分	一般会計						
担当課	建設住宅課		担当係	地域整備室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続						
予算区分	款	7	土木費	項	3	河川費	目	1	河川維持費				
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理								
	重点項目												
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源						
令和5年度	2,200	1,807	0	0	0	1,400	407	緊急浚渫推進事業債 1,400千円					
令和5年度(明許)	9,660	6,409	0	0	0	6,300	109	緊急自然災害防止対策 事業債6,300千円					
事業目的	河川機能の保全を図り、災害等に対する安全性や安定した水利用を確保します。												
事業の 主な 実施状況	① 土砂堆積により河川が閉塞状態となり水流が著しく阻害されている兵川について、河床掘削を行いました。												
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">工事名</th> <th style="width: 50%;">事業費</th> </tr> <tr> <td>準用河川兵川河床掘削工事</td> <td style="text-align: right;">1,448,700 円</td> </tr> </table>			工事名	事業費	準用河川兵川河床掘削工事	1,448,700 円				
	工事名	事業費											
	準用河川兵川河床掘削工事	1,448,700 円											
													
着工前			完成										
② 茅町川への流末水路は土水路で水路断面も小さく、上流部で溢水が発生する一因となっているため、水路断面を広げるよう水路改修を行いました。													
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">工事名</th> <th style="width: 50%;">事業費</th> </tr> <tr> <td>笠見地区水路改修工事(R4前払金支出、R5へ繰越)</td> <td style="text-align: right;">6,408,800 円</td> </tr> </table>			工事名	事業費	笠見地区水路改修工事(R4前払金支出、R5へ繰越)	6,408,800 円					
工事名	事業費												
笠見地区水路改修工事(R4前払金支出、R5へ繰越)	6,408,800 円												
③ 水路、河川の適切な維持管理のため、以下の工事を行いました。													
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%;">工事名</th> <th style="width: 50%;">事業費</th> </tr> <tr> <td>赤碕地区防護柵修繕工事</td> <td style="text-align: right;">258,500 円</td> </tr> </table>			工事名	事業費	赤碕地区防護柵修繕工事	258,500 円					
工事名	事業費												
赤碕地区防護柵修繕工事	258,500 円												
担当課による評価			A 相当程度進展あり										
事業目的の 達成状況	【前年度の課題の概要】												
	① 引き続き河川の補修、土砂撤去により、河川機能の保全を行うことが必要です。 ② 地元から要望が出ている河川・水路関係箇所も、災害未然防止のための対策が必要です。												
	【前年度課題についての対応及び成果】												
① 兵川河床の掘削工事を行い、河川断面の確保と災害未然防止対策を実施しました。 ② 笠見地区の水路改修工事を行い、上流部での溢水発生の一因を解消しました。													
【担当課による評価の理由】													
兵川は、土砂堆積によりブロック積護岸の天端付近まで水位が上がっており、豪雨による災害発生の恐れがあり、工事の必要性が高い箇所でした。このような災害未然防止策など緊急度、優先度の高い工事、修繕を行うことができました。 ただ、兵川は、予算の関係上、撤去が必要な土砂の全てを撤去できなかったことから、A 相当程度進展ありと評価しました。													
今後の取り組みの方向	限られた予算の中で、災害未然防止策など、緊急度、優先度を検証のうえ、必要な対策を行います。兵川については、令和6年度も継続し河床掘削工事を行い、堆積土砂を撤去します。												

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	233	事業名	一般管理費			会計区分	一般会計				
担当課	建設住宅課			担当係	住宅係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費		
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				①自助・共助・公助による災害に強いまちづくり						
	重点項目										
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)			
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源				
令和5年度	3,240	928	320	159	0	0	449				
事業目的	①まちの健全な発展と秩序ある整備を図ります。 ②住宅・建築物の耐震化を促進し、町民の生命・財産を守ります。 ③特定建築物のバリアフリー化を支援することにより、福祉のまちづくりを推進します。										
事業の 主な 実施状況	① 住宅・建築物及びブロック塀の耐震化を促進し、町民の生命・財産を守るため、耐震診断、改修費用の助成を行いました。										
	○震災に強いまちづくり促進事業補助金 ブロック塀撤去改修 4 件 309,000 円										
											
			ブロック塀除却前			⇒			ブロック塀除却後		
② 福祉のまちづくりを推進するため、特定建築物のトイレのバリアフリー化に補助金を交付しました。											
○福祉のまちづくり推進事業補助金 1 件 334,000 円 大杉公民館の和式トイレを洋式トイレに改修											
											
			改修前			⇒			改修後		
担当課による評価			B 進展が大きくない								
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ① 各種補助金について、更なる推進・PRが必要です。 ② 町内の建築物の耐震化目標を定め、耐震改修促進計画を改定する必要があります。										
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① ホームページで、耐震診断及びブロック塀の撤去・改修、福祉のまちづくり推進事業についての補助金制度を周知しましたが、申請件数が少ない状況です。 特に耐震診断、耐震設計、耐震改修が近年申請が無いため、更なるPRが必要です。 ② 耐震改修促進計画は、改定の素案を作成しました。										

	<p>【担当課による評価の理由】 各種補助金の申請件数が目標に達していませんでした。 このことから判断し、B 進展が大きくないと評価しました。</p>
<p>今後の 取り組み の 方向</p>	<p>① 目標達成のため町民の皆さんに、住宅の耐震性について関心を持っていただけるように、耐震診断・耐震改修やアスベスト調査の必要性及びその補助金制度を町報やホームページを活用し更なるPRを行います。</p> <p>② 町内の建物の耐震化目標を定め、耐震改修促進計画を改定します。</p>

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	237	事業名	住宅管理事業		会計区分	一般会計		
担当課	建設住宅課		担当係	住宅係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	7 土木費	項	5 住宅費	目	1 住宅管理費		
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理				
重点項目	若者の定住・UJターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整備							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	102,945	66,797	21,589	757	18,542	0	25,909	家賃収入

事業目的 町営住宅344戸、特定公共賃貸住宅28戸、改良住宅30戸、県営住宅34戸
住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃で賃貸し、住民生活の安定と社会福祉の増進に寄与します。

① 経年劣化、老朽化等による住宅設備の破損について、修繕を行いました。

	修繕内容	件数	修繕料
退去修繕	畳・襖・クロス張替、クリーニング等	17 件	3,184,390 円
一般修繕	サッシ、給湯器、ガス供給設備、蛇口等	238 件	11,759,556 円
修繕料 合計		255 件	14,943,946 円

② 経年劣化、老朽化等による住宅の大規模な修繕を行いました。

業務名	委託料
改良住宅成美団地解体工事設計委託業務	2,035,000 円
一里松団地及び浦安団地集会所屋根修繕工事設計委託業務	4,730,000 円
町営住宅浦安団地集会所屋根修繕工事監理委託業務	550,000 円
工事請負費 合計	7,315,000 円

工事名	工事請負費
朝日ヶ丘集会所修繕工事	1,837,000 円
町営住宅浦安団地集会所屋根修繕工事	5,497,800 円
町営住宅一里松第1団地・第4団地屋根修繕工事	32,400,000 円
工事請負費 合計	39,734,800 円

【工事完成】町営住宅浦安団地集会所屋根修繕

事業の
主な
実施状況



着工前



完成

③ 町営住宅の維持管理を適切に行うため、以下の業務委託を行いました。

業務名	委託料・手数料
とうはくハイツエレベータ保守委託業務	660,000 円
遊具点検業務	59,400 円
住宅維持管理委託業務	545,050 円
消防用設備点検委託業務	82,500 円
委託料・手数料 合計	1,346,950 円

担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

① 滞納者や連帯保証人に対する納付指導を引き続き粘り強く行っていくとともに、必要に応じて法的措置の検討も必要です。

事業目的 の 達成状況	<p>② 令和4年に実施した集合住宅の外壁等の定期点検の結果を基に、予防保全的な修繕等を計画し、建物の長寿命化を図る必要があります。また、耐用年数を迎える住宅等については、町営住宅等としての用途廃止に向け、入居者と調整の上、解体や払下げの計画を検討する必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 家賃滞納者に対し、電話や面談による催告を行い、高額滞納者や退去済等で連絡の取れない滞納者に対しては、催告書を送付しました。滞納者や連帯保証人と協議を重ね、一括納付の難しい滞納者に対しては分納誓約を交わしました。</p> <p>また、電話、書面での催告を重ねたものの納付がなく、分納誓約を交わすこともできない滞納者に対しては、解除予告、解除通知兼明渡し請求といった段階を踏んで最終的に明渡し訴訟を提起し、明渡し判決が確定したため、明渡しの強制執行を行いました。</p> <p>② 建物の老朽化に伴う屋根の大規模な修繕を行い、維持管理に努めました。</p> <p>長寿命化計画を改定し、町営住宅毎の修繕計画と今後30年の管理方法について計画しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>① 現滞納者については、状況に合わせて支払交渉や通知等を行い、納付に繋げました。</p> <p>また、未納家賃が続く入居者に早い段階で通知を送ることにより、新たな滞納者増加を未然に防止することができました。通知等を行ってもなお納付のない滞納者に対しては、明渡し請求を行い、法的根拠に基づき明渡しを受けることができました。</p> <p>② 大規模な修繕を行い、老朽化に対する適切な維持管理を行うことができました。また、日々の修繕依頼についても、迅速に対応することができました。</p> <p>以上のことから判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>
今後の 取り組み の 方向	<p>① 滞納者に対し、引き続き粘り強い納付指導や訴訟等(明渡しを含む)を行います。また、入居者だけでなく、連帯保証人に対しても納付指導を行います。</p> <p>② 令和6年4月1日付で改訂した琴浦町町営住宅長寿命化計画に基づき、建物の長寿命化を図ります。</p> <p>耐用年数を迎える住宅等については、町営住宅等としての用途廃止に向け、入居者と調整して解体や払い下げを計画します。</p>

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書


事業番号	1028	事業名	コーポラスことうら管理事業		会計区分	一般会計		
担当課	建設住宅課		担当係	住宅係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	7 土木費	項	5 住宅費	目	1 住宅管理費		
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理				
重点項目	若者の定住・Uターンへの足掛かりとなる「住まい」と「しごと」の環境整備							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	18,107	18,107	0	0	18,107	0	0	家賃収入

事業目的 コーポラスことうら80戸
住宅に困窮する者に対して賃貸し、住民生活の安定と社会福祉の増進に寄与します。

① 経年劣化、老朽化等による住宅設備の破損について、修繕を行いました。


	修繕内容	件数	修繕料
退去修繕	畳・襖・クロス張替、クリーニング等	2 件	953,700 円
一般修繕	サッシ、風呂釜、ガス供給設備、蛇口、遊具撤去等	49 件	5,286,857 円
修繕料 合計		51 件	6,240,557 円

【一般修繕】浴室ドアロック交換



修繕前

⇒



修繕後

② 入居者の駐車場を確保するための用地の借上げを行いました。

区画	単価	月数	維持管理費	借上料
30	× 3,000 円	× 12 月	- 70,779 円	= 1,009,221 円

③ コーポラスことうら1号棟と2号棟等の解体費用のため、コーポラスことうら基金の積立を行いました。

コーポラスことうら基金積立金	8,933,284 円
コーポラスことうら基金利子積立金	452,200 円

担当課による評価 A 相当程度進展あり

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】

① 滞納者や連帯保証人に対するの納付指導を引き続き粘り強く行っていくとともに、必要に応じて法的措置の検討も必要です。

【前年度課題についての対応及び成果】




① 家賃滞納者に対し、電話や面談による催告を行い、高額滞納者や退去済等で連絡の取れない滞納者に対しては、催告書を送付しました。滞納者や連帯保証人と協議を重ね、一括納付の難しい滞納者に対しては分納誓約を交わしました。
また、納付忘れや新たな滞納者の増加防止対策として、新規入居者に口座振替を推奨し、新規入居者のうち77%の方から口座振替の申請を受けました。この取組みを行ったことにより、口座振替を利用している令和5年度新規入居者のうち、家賃滞納者は0名となっています。

【担当課による評価の理由】

① 現滞納者については、状況に合わせて、支払交渉や通知等を行い、納付に繋げました。また、未納家賃が続く入居者に早い段階で通知を送ることにより、新たな滞納者増加を未然に防止することができたと判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。

今後の 取り組み の 方向	<p>① 滞納者に対し、引き続き粘り強い納付指導や訴訟等(明渡しを含む)の滞納整理が必要です。入居者だけでなく、連帯保証人に対しても納付指導を行う必要があります。交渉を行い、必要に応じて法的措置を講じます。</p> <p>② 令和6年4月1日付で改訂した琴浦町町営住宅長寿命化計画に基づき、必要に応じた修繕を行う等して建物の長寿命化を図ります。</p>
------------------------	--

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1235	事業名	空き家対策事業		会計区分	一般会計							
担当課	建設住宅課		担当係	住宅係	事業区分	□新規 ■継続							
予算区分	款	7 土木費	項	5 住宅費	目	1 住宅管理費							
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				②空き家の適正管理の指導と除却の支援								
	重点項目	—											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源						
令和5年度	34,340	11,835	3,302	3,031	1,550	2,000	1,952	ふるさと未来夢基金1,550千円、過疎対策事業債2,000千円					
事業目的	適切な管理が行われていない空き家等が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることから、地域住民の生命・身体または財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図ることにより、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与します。												
事業の 主な 実施状況	① 危険空き家の除却に対して補助金を交付しました。また、危険空き家の未然防止のため、空き家除却の補助金を交付しました。												
	<table border="1"> <tr> <td>危険空き家除却費用補助金</td> <td>4 件</td> <td>4,404,000 円</td> </tr> <tr> <td>空き家除却費用支援補助金</td> <td>23 件</td> <td>3,450,000 円</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">【危険空き家除却費用補助金を活用して除却した危険空き家】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>除却前</p> </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="text-align: center;">  <p>除却後</p> </div> </div>								危険空き家除却費用補助金	4 件	4,404,000 円	空き家除却費用支援補助金	23 件
危険空き家除却費用補助金	4 件	4,404,000 円											
空き家除却費用支援補助金	23 件	3,450,000 円											
事業目的 の 達成状況	② 老朽化や大雨等で倒壊寸前となった危険空き家への応急措置を行いました。												
	琴浦町危険空き家の応急措置 506,000 円												
 <p>八橋5区の危険空き家 (道路への倒壊予防の応急措置として、メッシュフェンスを設置)</p>													
担当課による評価				A 相当程度進展あり									
【前年度の課題の概要】													
① 危険空き家の代執行を実施します。 ② 空き家の所有者に向け、今後の空き家に対する意向確認を行い、町が実施する事業への誘導や空き家の適正管理を呼びかけます。													
【前年度課題についての対応及び成果】													
① 危険空き家の略式代執行を1件計画しましたが、実施設計の段階で解体工事の計画を見直す必要が生じたため、解体工事を次年度に繰越しました。 また、代執行の1件については所有者や相続人の調査に時間を要しているため次年度に相続人を特定し、改めて代執行を実施します。													

	<p>② 固定資産税の納税通知に「空き家適正管理チラシ」を同封し、町内に固定資産を持つ所有者等に空き家の適正管理及び利活用、空き家解体の補助金制度を案内しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 危険空き家の略式代執行の解体工事は次年度に繰越となりましたが、琴浦町で3件目となる略式代執行に着手できました。 町内に固定資産を持つ所有者等に「空き家適正管理チラシ」を配付し、空き家の適正管理の必要性を啓発しました。 以上のことから判断し、A 相当程度進展ありと評価しました。</p>
今後の 取り組み の 方向	<p>① 代執行に係る費用の削減のため発注方法を見直します。 ② 空き家の所有者に向け、今後の空き家に対する意向確認を行い、町が実施する事業への誘導や空き家の適正管理を呼びかけます。</p>

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	673	事業名	公共土木施設災害復旧事業			会計区分	一般会計		
担当課	建設住宅課		担当係	地域整備室		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	10	災害復旧費	項	2	公共土木施設災害復旧費	目	1	公共土木施設災害復旧費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理				
	重点項目								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	69,367	33,162	10,411	0	0	7,200	15,551	公共土木施設災害復旧事業費7,200千円	

事業目的 災害により被害を受けた施設(道路・河川等)の速やかな復旧を図ることにより、公共の福祉を確保します。

- ① 令和5年7月豪雨及び台風第7号により発生した災害について、以下のとおり復旧工事を実施しました。

	工事名	事業費	備考
1	第26号町道勦上野線道路災害復旧工事	11,080,000 円	前金払
2	第27号町道勦上野線道路災害復旧工事	5,899,300 円	
3	町道勦上野線災害応急工事(奥萩野工区)	88,000 円	
4	町道勦上野線災害応急工事	990,000 円	
工事請負費 合計		18,057,300 円	

- ② 令和5年7月豪雨及び台風第7号により発生した災害について、以下のとおり測量設計業務を実施しました。

	業務名	事業費	備考
1	町道勦上野線道路災害復旧工事測量設計業務	7,682,400 円	
2	町道高野線道路災害復旧工事測量設計業務	3,381,400 円	
委託料 合計		11,063,800 円	

【工事完成】第27号町道勦上野線道路災害復旧工事



着工前



完成

【応急対応状況】町道勦上野線災害応急工事



着工前



応急対応後

事業の
主な
実施状況

担当課による評価

A 相当程度進展あり

【前年度の課題の概要】

- ① 災害が発生した場合に備え、職員のより一層の知識向上を図る必要があります。人材育成、人材確保が重要です。

<p>事業目的 の 達成状況</p>	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 災害発生に備え、県や建設技術センターが主催する技術研修に参加し、職員の技術力向上に努めました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>令和5年度発生 of 災害について、一部復旧工事が完了しましたので、A 相当程度進展ありと評価しました。次年度も引き続き復旧工事を行います。</p>
<p>今後の 取り組み の 方向</p>	<p>災害が発生した場合、迅速に対応し復旧に努めます。</p>

所属名称：上下水道課

[単位：千円]

会計 款-項目 事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
上下水道課				
2.総務費				
1.総務管理費				
10.分庁管理費				
分庁舎管理	60,875	59,414	12-1	
4.衛生費				
1.保健衛生費				
1.保健衛生総務費				
浄化槽法事務	127	38	12-2	
4.環境衛生費				
合併処理浄化槽設置整備事業	2,504	2,206	12-3	
3.上水道費				
1.上水道費				
水道安定供給事業	11,823	9,816	12-4	
7.土木費				
4.都市計画費				
2.公共下水道事業費				
公共下水道事業繰出金	411,656	411,656	12-5	
5.農林水産業費				
1.農業費				
7.農業集落排水事業費				
農業集落排水事業繰出金	207,005	207,005	12-5	
水道事業会計				
1.水道事業費用	291,953	268,072	12-6	
1.資本の支出	393,789	256,433	12-7	
下水道事業会計				
1.下水道事業費用	953,178	924,407	12-8	
1.資本の支出	633,736	550,801	12-9	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	558	事業名	分庁舎管理			会計区分	一般会計																																						
担当課	上下水道課		担当係	分庁舎総合窓口係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																						
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	10	分庁舎管理費																																				
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理																																								
	重点項目	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり																																											
年度	最終予算額(千円)	決算額(千円)	事業費財源内訳(千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																						
令和5年度	57,564	56,136	0	0	902	26,800	28,434	赤碕地域コミュニティーセンター使用料902千円 緊急防災・減災事業債26,800千円																																					
令和5年度(明許)	3,311	3,278	0	0	0	0	3,278																																						
事業目的	住民サービスを円滑に行うための窓口として、また、コミュニティ施設の安全な運営管理を行う。																																												
事業の 主な 実施状況	① 施設設備の保守管理委託 <table border="1"> <thead> <tr> <th>委託業務の名称</th> <th>金額(円)</th> <th>委託先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>分庁舎清掃業務</td><td>2,472,327</td><td>(株)アベックス</td></tr> <tr><td>電気設備保守業務</td><td>231,000</td><td>宮川電気管理事務所</td></tr> <tr><td>エレベーター保守業務</td><td>649,440</td><td>山陰東芝エレベータ(株)</td></tr> <tr><td>消防用設備保守業務</td><td>269,500</td><td>(株)上田商事</td></tr> <tr><td>電動式移動観覧席保守業務</td><td>182,600</td><td>コトブキシーティング(株)</td></tr> <tr><td>自動ドア保守業務</td><td>39,600</td><td>ナブコドア(株)</td></tr> <tr><td>分庁舎機械警備業務</td><td>343,200</td><td>協同警備保障(株)</td></tr> <tr><td>印刷機保守業務</td><td>106,810</td><td>(有)ふじもと</td></tr> <tr><td>エアコン定期点検保守業務</td><td>674,850</td><td>大和設備倉吉(株)</td></tr> <tr><td>多目的ホール音響・照明・映像・吊物設備総合点検業務</td><td>330,000</td><td>ジャトー(株)</td></tr> <tr><td>分庁舎非常用発電機更新工事設計業務(繰越)</td><td>3,278,000</td><td>(有)亀山設計</td></tr> </tbody> </table>									委託業務の名称	金額(円)	委託先	分庁舎清掃業務	2,472,327	(株)アベックス	電気設備保守業務	231,000	宮川電気管理事務所	エレベーター保守業務	649,440	山陰東芝エレベータ(株)	消防用設備保守業務	269,500	(株)上田商事	電動式移動観覧席保守業務	182,600	コトブキシーティング(株)	自動ドア保守業務	39,600	ナブコドア(株)	分庁舎機械警備業務	343,200	協同警備保障(株)	印刷機保守業務	106,810	(有)ふじもと	エアコン定期点検保守業務	674,850	大和設備倉吉(株)	多目的ホール音響・照明・映像・吊物設備総合点検業務	330,000	ジャトー(株)	分庁舎非常用発電機更新工事設計業務(繰越)	3,278,000	(有)亀山設計
	委託業務の名称	金額(円)	委託先																																										
分庁舎清掃業務	2,472,327	(株)アベックス																																											
電気設備保守業務	231,000	宮川電気管理事務所																																											
エレベーター保守業務	649,440	山陰東芝エレベータ(株)																																											
消防用設備保守業務	269,500	(株)上田商事																																											
電動式移動観覧席保守業務	182,600	コトブキシーティング(株)																																											
自動ドア保守業務	39,600	ナブコドア(株)																																											
分庁舎機械警備業務	343,200	協同警備保障(株)																																											
印刷機保守業務	106,810	(有)ふじもと																																											
エアコン定期点検保守業務	674,850	大和設備倉吉(株)																																											
多目的ホール音響・照明・映像・吊物設備総合点検業務	330,000	ジャトー(株)																																											
分庁舎非常用発電機更新工事設計業務(繰越)	3,278,000	(有)亀山設計																																											
② 施設設備の改修及び修繕 <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修及び修繕工事の名称</th> <th>金額(円)</th> <th>請負先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>分庁舎非常用発電機更新工事</td><td>23,852,400</td><td>(株)中電工 倉吉営業所</td></tr> <tr><td>空調設備改修工事</td><td>9,829,600</td><td>大和設備倉吉(株)</td></tr> <tr><td>エレベーター制御盤内マイコン基板他交換工事</td><td>880,000</td><td>山陰東芝エレベータ(株)</td></tr> <tr><td>多目的ホール音響設備補修工事</td><td>309,100</td><td>ジャトー(株)</td></tr> <tr><td>分庁舎駐車場区画線設置工事</td><td>330,000</td><td>(株)高野組</td></tr> <tr><td>分庁舎屋外看板建替工事</td><td>332,200</td><td>(有)駒工藝</td></tr> <tr><td>自動ドア開閉装置取替工事</td><td>385,000</td><td>ナブコドア(株)</td></tr> <tr><td>2階流し台用小型電気温水器取替工事</td><td>356,400</td><td>(株)足立水道設備</td></tr> <tr><td>授乳室空調更新工事</td><td>281,600</td><td>大和設備倉吉(株)</td></tr> <tr><td>その他修繕(分庁舎入口自動ドア修繕他)</td><td>1,077,670</td><td></td></tr> </tbody> </table>									改修及び修繕工事の名称	金額(円)	請負先	分庁舎非常用発電機更新工事	23,852,400	(株)中電工 倉吉営業所	空調設備改修工事	9,829,600	大和設備倉吉(株)	エレベーター制御盤内マイコン基板他交換工事	880,000	山陰東芝エレベータ(株)	多目的ホール音響設備補修工事	309,100	ジャトー(株)	分庁舎駐車場区画線設置工事	330,000	(株)高野組	分庁舎屋外看板建替工事	332,200	(有)駒工藝	自動ドア開閉装置取替工事	385,000	ナブコドア(株)	2階流し台用小型電気温水器取替工事	356,400	(株)足立水道設備	授乳室空調更新工事	281,600	大和設備倉吉(株)	その他修繕(分庁舎入口自動ドア修繕他)	1,077,670					
改修及び修繕工事の名称	金額(円)	請負先																																											
分庁舎非常用発電機更新工事	23,852,400	(株)中電工 倉吉営業所																																											
空調設備改修工事	9,829,600	大和設備倉吉(株)																																											
エレベーター制御盤内マイコン基板他交換工事	880,000	山陰東芝エレベータ(株)																																											
多目的ホール音響設備補修工事	309,100	ジャトー(株)																																											
分庁舎駐車場区画線設置工事	330,000	(株)高野組																																											
分庁舎屋外看板建替工事	332,200	(有)駒工藝																																											
自動ドア開閉装置取替工事	385,000	ナブコドア(株)																																											
2階流し台用小型電気温水器取替工事	356,400	(株)足立水道設備																																											
授乳室空調更新工事	281,600	大和設備倉吉(株)																																											
その他修繕(分庁舎入口自動ドア修繕他)	1,077,670																																												
担当課による評価			B 進展が大きくない																																										
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 建築から16年が経過し、施設及び設備の老朽化や塩害等による被害が見受けられます。今後、調査・点検を行い、計画的な修繕と対応が必要です。																																												
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 多目的ホール利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>81</td> <td>90</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>うち有料(一般利用分)</td> <td>24</td> <td>19</td> <td>▲ 5</td> </tr> <tr> <td>うち無料(町利用分)</td> <td>57</td> <td>71</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>4,940</td> <td>4,420</td> <td>▲ 520</td> </tr> </tbody> </table> ② 総合窓口利用状況 各種証明書の交付、窓口での受付件数:4,163 件 出納窓口での公金処理件数:4,676件 ③ 施設設備(非常用発電機、3階空調設備)の更新、多目的ホールの総合点検、音響設備修繕工事を実施しました。									項目	R4	R5	増減	利用件数(件)	81	90	9	うち有料(一般利用分)	24	19	▲ 5	うち無料(町利用分)	57	71	14	利用者数(人)	4,940	4,420	▲ 520																
項目	R4	R5	増減																																										
利用件数(件)	81	90	9																																										
うち有料(一般利用分)	24	19	▲ 5																																										
うち無料(町利用分)	57	71	14																																										
利用者数(人)	4,940	4,420	▲ 520																																										
【担当課による評価の理由】 経年劣化や塩害による施設及び設備の不具合が多く発生し、修繕が追いついていない状況であることから、B 進展が大きくないと評価しました。																																													
今後の取り組みの方向	建築から17年が経過し、施設及び設備の老朽化や塩害等による劣化が見受けられるため、修繕計画に基づき修繕を行っていきます。																																												

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1015	事業名	浄化槽法事務	会計区分	一般会計
担当課	上下水道課	担当係	分庁総合窓口係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続
予算区分	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 1 保健衛生総務費		
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり		⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理		
重点項目	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり				

年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	127	38	0	0	0	0	38	

事業目的

浄化槽の適正使用を推進し、琴浦町の水資源の保全を図る。

- ① 浄化槽の利用に当たって義務化されている保守点検、清掃記録及び年1回の法定検査に関する結果報告を受け、不適正な管理者に対し、通知等による指導を行いました。
- ② 法定検査の未受験者に対し、法定検査を受検するよう通知による指導を行いました。

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
対象数	710件	847件	837件	706件	690件	690件	661件	645件
未受検数	281件	242件	231件	194件	185件	177件	183件	179件
受検率	60.42%	71.43%	72.40%	72.52%	73.19%	74.35%	72.31%	72.25%

事業の
主な
実施状況

〔 通知に同封しているチラシ 〕



事業目的の
達成状況

担当課による評価	B 進展が大きくない
<p>【前年度の課題の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 公共用水域の水質保全のため、更に受検率を向上させていく必要があります。 ② 適正な管理指導など行うため、浄化槽台帳の精査を進めます。 <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 法定検査の未受験者へ受検するよう通知を行いました。 ② 浄化槽台帳データの精査に取り組みました。 <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>浄化槽台帳データについて、11条検査を行う保健事業団の台帳が別システムであり、管理者や廃止などの突合が十分に行っていません。 適正な維持管理の推進に向け、今後も精査を進める必要があるため、B 進展が大きくないと評価しました。</p>	
<p>今後の取り組みの方向</p> <p>県が浄化槽の適正管理に向けた検討を進めているため、町も当該検討内容を踏まえて普及啓発を行っていく必要があります。</p>	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	118	事業名	合併処理浄化槽設置整備事業			会計区分	一般会計																																							
担当課	上下水道課		担当係	分庁総合窓口係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																							
予算区分	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 環境衛生費																																								
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理																																									
	重点項目 情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり																																													
年度	最終予算額(千円)	決算額(千円)	事業費財源内訳(千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																						
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																							
令和5年度	2,504	2,206	418	407	0	0	1,381																																							
事業目的	合併処理浄化槽の整備を推進することで、公共下水道事業区域外及び農業集落排水事業区域外の町民の生活環境の向上並びに公共水域の水質改善を図る。																																													
事業の主な実施状況	① 下水道事業計画区域外に居住し、新たに合併浄化槽を設置する2基に対して設置費用の一部を補助しました。 ● 合併浄化槽整備事業区域(公共下水道事業・農業集落排水事業計画区域外) 梅田、上中村、野井倉、杉下の一部、八橋の一部、松谷の一部、赤碕の一部他 ● 補助実績 5人槽 1基:984.6千円 7人槽 1基:1,221.6千円																																													
	合併浄化槽区域の内訳(R6.3.31現在) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">合計</th> <th colspan="2">合併浄化槽</th> <th colspan="2">単独浄化槽</th> <th colspan="2">汲取</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>使用率</th> <th>件数</th> <th>使用率</th> <th>件数</th> <th>使用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数計</td> <td>156</td> <td>58</td> <td>37.2%</td> <td>19</td> <td>12.2%</td> <td>79</td> <td>50.6%</td> </tr> <tr> <td>東伯処理区</td> <td>111</td> <td>38</td> <td>34.2%</td> <td>17</td> <td>15.3%</td> <td>56</td> <td>50.5%</td> </tr> <tr> <td>赤碕処理区</td> <td>45</td> <td>20</td> <td>44.4%</td> <td>2</td> <td>4.4%</td> <td>23</td> <td>51.1%</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 〔 浄化槽(5人槽)設置の様子 〕 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>										合計	合併浄化槽		単独浄化槽		汲取		件数	使用率	件数	使用率	件数	使用率	件数計	156	58	37.2%	19	12.2%	79	50.6%	東伯処理区	111	38	34.2%	17	15.3%	56	50.5%	赤碕処理区	45	20	44.4%	2	4.4%	23
	合計	合併浄化槽		単独浄化槽		汲取																																								
		件数	使用率	件数	使用率	件数	使用率																																							
件数計	156	58	37.2%	19	12.2%	79	50.6%																																							
東伯処理区	111	38	34.2%	17	15.3%	56	50.5%																																							
赤碕処理区	45	20	44.4%	2	4.4%	23	51.1%																																							
事業目的の達成状況	担当課による評価		B 進捗が大きい																																											
今後の取り組みの方向	【前年度の課題の概要】 ① 合併浄化槽整備事業区域の整備率の向上が必要です。 ② 合併浄化槽の設置費用を補助していますが、汲み取りから合併浄化槽への切り替えは宅内の改築等を伴い、多額の個人負担が発生するため、下水道事業計画区域外の方に早期に合併浄化槽へ切り替えてもらうことは困難です。																																													
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 合併浄化槽の設置費用を補助することで、個人負担が減少し、汲み取りから合併浄化槽へ切り替わり、公共水域の水質改善につなげることができました。 ② 新築も補助対象とするよう制度の拡充を行いました。																																													
	【担当課による評価の理由】 下水道区域の浄化槽からの変更があまり行われなかったため、 B 進捗が大きいと評価しました。																																													
今後の取り組みの方向	① 汲み取り、単独浄化槽から合併浄化槽への切り替えには、継続しての啓発・助成が必要です。 ② 助成については、国・県の補助内容を考慮し拡充等を検討していく必要があります。 ③ 法定点検を受けない人の対応について指導を強化していく必要があります。																																													

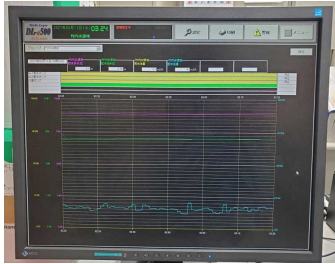


令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1613	事業名	水道安定供給事業			会計区分	一般会計		
担当課	上下水道課			担当係	上水道係		事業区分	□新規 ■継続	
予算区分	款	4	衛生費	項	3	上水道費	目	1	上水道費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	11,823	9,816	0	0	1,700	7,800	316	ふるさと未来夢基金1,700千円 過疎対策事業債7,800千円	
事業目的	町内専用水道等の継続的な使用を図るため、町管理へ移行するための業務を行う。								
事業の 主な 実施状況	<p>①6専用水道、3飲料水供給施設を町管理の簡易水道へ編入するため、簡易水道事業経営認可申請書作成業務を行いました。 令和7年度に用水組合等を上水道へ編入するため、令和6年度の1年度間、町管理の簡易水道とするために必要な認可申請を行いました。</p> <p>②補助金の交付 2件 岩本、別宮用水組合で水道管の老朽化による漏水が発生したため、修繕費に対して補助金を交付しました。</p>								
	 岩本漏水 (T字管割れ)	 別宮漏水 (配水管割れ)							
	担当課による評価				S 目的達成				
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 用水組合の区域では、人口減少と水道施設の老朽化により、将来的に維持管理が難しくなると考えられるため、上水道への編入について検討していきます。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 上水道への編入を希望した用水組合9地区について、R7年度より上水道へ編入するために、R6年度は簡易水道として町管理とするための認可申請を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 簡易水道の認可申請を行い、上水道編入へのステップを進めることができました。 また、水道施設の修繕に対して補助金の交付を行い、安定的な給水を継続することができました。</p>								
今後の 取り組み の 方向	上水道への編入を希望された9地区の用水組合について、R6年度は簡易水道として管理を行い、上水道への編入の手続きを進め、上水道編入後、施設の更新工事を順次行っていきます。								











令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	639・641	事業名	公共下水道事業繰出金、農業集落排水事業繰出金		会計区分	一般会計		
担当課	上下水道課		担当係	下水道係		□新規 ■継続		
予算区分	款	7・5 土木費・農林水産業費	項	4・1 都市計画費・農業費	目	2・7 公共下水道事業費・農業集落排水事業費		
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理				
	重点項目	—						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	618,661	618,661	0	0	83,531	0	535,130 下水道事業推進基金繰入金63,688千円 農業集落排水事業推進基金繰入金19,843千円	
事業目的	公共下水道事業及び農業集落排水事業の減価償却費等の資本費の一部、企業債の元利償還金の支払い、維持管理費の一部に充てるため、下水道事業会計へ繰出を行う。							
事業の 主な 実施状況	① 一般会計から下水道事業会計へ繰り出しを行いました。							
	細事業等	内容					決算額(千円)	
	公共下水道事業繰出金	【基準内】収益的収入(3条予算) 公共下水道事業の減価償却費等の資本費の一部及び企業債利息償還金の支払いに充当するため、繰り出しを行いました。 [公共]149,791千円 [特環]142,889千円					292,680	
		【基準内】資本的収入(4条予算) 公共下水道事業の企業債元金償還金の支払いに充当するため、繰り出しを行いました。 [公共]408千円 [特環]408千円					816	
		【基準外】資本的収入(4条予算) 公共下水道事業の企業債元金償還金の資金不足分に充当するため、繰り出しを行いました。 [公共]59,503千円 [特環]58,657千円					118,160	
	農業集落排水事業繰出金	【基準内・基準外】収益的収入(3条予算) 農業集落排水事業の維持管理費の一部、減価償却費等の資本費の一部及び企業債利息償還金の支払いに充当するため、繰り出しを行いました。 [農集]78,833千円					78,833	
		【基準内】資本的収入(4条予算) 農業集落排水事業の企業債元金償還金の支払いに充当するため、繰り出しを行いました。 [農集]55,568千円					55,568	
		【基準外】資本的収入(4条予算) 農業集落排水事業の企業債元金償還金の資金不足分に充当するため、繰り出しを行いました。 [農集]72,604千円					72,604	
合計					618,661			
事業目的の 達成状況	担当課による評価		B 進展が大きくない					
	【前年度の課題の概要】							
	① 使用料の見直し、接続率の向上、施設の統廃合による維持管理費の低減等に取り組む必要があります。							
	【前年度課題についての対応及び成果】							
① 使用料の見直し等に取り組んだものの、令和6年4月請求分から反映されること及び収益的支出・資本的支出の増に伴い、一般会計からの繰出金が前年度より増額となりました。								
【担当課による評価の理由】								
① 令和6年度まで企業債に係る元利償還額の増加が見込まれることから、それに伴う一般会計繰出金の増加はやむを得ないと判断しています。また、使用料改定は令和6年4月請求分より反映されることから、令和5年度としては、B 進展が大きくないと評価しました。								
今後の取り組みの方向	令和6年度中に琴浦町下水道事業経営戦略の改定に取り組む予定としており、今後も当該戦略に基づいた計画的な事業運営及び繰出金の低減に努めます。							


令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	-	事業名	水道事業費用			会計区分	水道事業会計		
担当課	上下水道課			担当係	上水道係	事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	1	水道事業費用	項	-	目	-	-	
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理				
	重点項目	-							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	291,953	268,072	0	0	5,904	0	262,168	他会計負担金4,488千円 他会計補助金1,413千円 雑収益3千円	
事業目的	安全で安心して飲める水の安定供給を図るための、維持管理及び会計処理を行う。								
事業の 主な 実施状況	<p>①水源地等の施設及び水道管の維持管理を行いました。 配水池の水位低下など各種警報発生時には早急に対応し、給水が止まることのないよう維持管理を行いました。</p> <p>②漏水箇所の早期発見及び修繕に努めました。 漏水箇所の修繕を16件行いました。</p> <p>③定期的に水質検査を行い、安心・安全な水の供給を行いました。 水質検査計画に基づき、検査を実施しました。</p>								
	 <p>中央監視装置による監視</p>  <p>配水管漏水修繕</p>  <p>水質検査 (残留塩素測定)</p>								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 有収率80%以上を目標に、計画的な水道管布設替工事を行うとともに、漏水調査を行い漏水箇所の発見と修繕に努めます。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 漏水箇所を発見し、早急に16件の漏水修繕を行いました。しかしながら、配水管の老朽化による漏水が起きたことにより、有収率は前年度から5.6ポイント低下し、74.5%となりました。</p>								
	<p>【担当課による評価の理由】 配水管の漏水により有収率は昨年より低下しましたが、安全な水を持続的に供給することができました。</p>								
今後の 取り組み の 方向	<p>水道ビジョン(経営戦略)に基づき、計画的な事業運営に努めます。安全な水を安定的に供給するため、日々の管理を適切に行っていきます。漏水調査等を実施し、有収率の向上に努めます。 専用水道等9地区が、令和6年4月から簡易水道となり、町管理となりました。令和7年4月からの上水道編入を見据えて、水道事業が継続していくことができるように、水道ビジョン(経営戦略)の見直しなどを行っていきます。</p>								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	-	事業名	資本的支出			会計区分	水道事業会計		
担当課	上下水道課			担当係	上水道係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	1	資本的支出	項	-	目	-	-	
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理				
	重点項目	-							
年度	最終予算額(千円)	決算額(千円)	事業費財源内訳(千円)					備考(その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	306,789	185,387	0	0	712	73,100	111,575	工事負担金712千円 水道事業債73,100千円	
令和5年度(明許)	87,000	71,046	0	0	0	40,000	31,046	水道事業債40,000千円	
事業目的	安全で安心して飲める水の安定供給を図るため、施設の新設・更新を行う。								
事業の 主な 実施状況	①道路改良及び橋梁工事に伴う水道管布設替工事						駅前地区R5-1工区		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事件数 1件 ・ 水道管の更新延長 L=90.0m 								
	②老朽化による水道管布設替工事						松谷地区R5-1工区		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事件数 10件 ・ 水道管の更新延長 L=2,375.3m 								
	③水道管の布設替えに伴う舗装工事						松谷地区R4-3工区		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事件数 4件 ・ 舗装面積 A=5,677.7㎡ 									
④水源地等の整備						上野地区R5-1工区			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 取水量計修繕 1件 									
⑤竹内配水池更新測量調査設計業務						国実流量計修繕			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 配水池更新に伴う測量調査設計の委託 									
担当課による評価			A 相当程度進展あり						
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 水道ビジョン(経営戦略)に基づき、計画的な水道施設の更新を行うことが必要です。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 計画的に、老朽化した水道管を、耐震継手によって布設替工事を行いました。								
	【担当課による評価の理由】 水道ビジョン(経営戦略)に基づき、計画的に水道施設の更新を行うことができました。 なお、一部の工事(八反田、杉地、山川木地)について、繰越で実施することになりました。								
今後の 取り組み の 方向	水道ビジョン(経営戦略)に基づき、計画的に水道施設の更新を実施していきます。竹内配水池についても、統合・更新を進めていきます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	-	事業名	下水道事業費用			会計区分	下水道事業会計		
担当課	上下水道課			担当係	下水道係		□新規	■継続	
予算区分	款	1	下水道事業費用	項	-	-	目	-	
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理				
	重点項目	-							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	923,568	897,127	0	0	371,729	0	525,398	一般会計繰入金371,513千円 県補償金216千円 (公営企業会計適用債1,200千円 =令和4年度事業費財源)	
令和5年度(明許)	29,610	27,280	11,000	0	0	0	16,280		
事業目的	町民の生活環境の向上及び公共用水域の水質改善を図るため、公共下水道施設及び農業集落排水施設の適正な維持管理を行います。								
事業の 主な 実施状況	① 適正な汚水処理のため、公共下水道施設及び農業集落排水施設の維持管理に努めました。 ● 主な施設 東伯浄化センター、赤碕浄化センター、八幡中継ポンプ場、倉坂処理場、伊勢崎処理場、川東処理場、古布庄東処理場、上郷処理場、古布庄北処理場、古布庄南処理場、山川木地処理場、以西処理場、マンホールポンプ113箇所 ● 主な維持管理業務 ・汚泥の運搬処分 ・施設の保守点検 ・施設の修繕(各種設備の取替、汚水ポンプの取替や改造等) ・非常通報装置の保守管理 ・水質検査 ・電気工作物の保安管理								
	② 琴浦町下水道事業審議会からの答申を受け、令和6年4月請求分からの使用料改定及び住民周知を行いました。 ③ 前年度に引き続き、道の駅琴の浦(琴浦町観光協会)にて琴浦町のマンホールカードを配布し、下水道の普及啓発に努めました。								
			~R元	R2	R3	R4	R5	合計	
			作成枚数	6,000	2,000	2,000	2,000	2,000	14,000
			配布枚数	3,250	1,670	1,755	2,376	3,873	12,924
								 マンホールカード	
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】 ① 使用料収入の増加に向け、引き続き接続促進及び徴収強化に取り組む必要があります。 ② 人口減少に伴い、接続人口が減少するなか、今後は使用料収入の減が見込まれます。 ③ 処理施設の統廃合を推進し、維持管理費の低減に取り組むことが重要です。 【前年度課題についての対応及び成果】 ① 使用料収入は、前年比14,863千円減の244,993千円となりました。 この大幅減は、令和4年度から公営企業会計へ移行するため、令和3年度を3月31日で決算したことに伴い、令和4年3月請求分の口座振替(3/31引落、4/4入金)17,692千円を令和4年度収入としたことが原因です。これらの影響を差し引くと前年比2,829千円の増となります。 なお、増収の主な要因は、事業所における下水道接続件数が増加したためです。								
			項目	R4	R5	増減	※R6.3.29時点		
			使用料収入(千円)	259,856	244,993	-14,863 ↓	令和4年3月請求分含む。		
			使用料収入(千円)	242,164	244,993	2,829 ↑	" 含まない。		
	② 琴浦町下水道事業審議会からの答申結果を踏まえ、令和6年4月請求分から使用料改定(人数制から従量制へ変更)を行うため、住民周知・条例改正・システム整備等を実施しました。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 琴浦町政で初めて使用料の料金改定(※消費税増税に伴う改定を除く。)を実施することができた点及び施設の適正な維持管理を行うことができた点などを勘案し、S 目的達成と評価しました。								
	引き続き接続促進及び徴収強化に取り組む、収入増に取り組むとともに、処理施設の統廃合を推進し、維持管理費の低減に取り組みます。 また、使用料改定後の使用料収入状況を踏まえ、適切な料金体系の在り方を検討していきます。 なお、令和6年度中に琴浦町下水道事業経営戦略の改定に取り組む予定としており、今後も当該戦略に基づいた計画的な事業運営に努めます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	-	事業名	資本的支出			会計区分	下水道事業会計																													
担当課	上下水道課			担当係	下水道係			□新規	■継続																											
予算区分	款	1	資本的支出	項	-	-	目	-	-																											
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑥公共インフラ(道路・上下水道など)の適正な維持管理																															
	重点項目	-																																		
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																												
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																													
令和5年度	628,783	547,387	20,670	0	247,148	27,700	251,869		一般会計繰入金247,148千円 下水道事業債16,100千円 過疎対策事業債11,600千円																											
令和5年度(明許)	4,953	3,414	0	0	0	2,100	1,314		下水道事業債1,900千円(うち90千円=令和4年度事業費財源) 過疎対策事業債1,900千円(うち80千円=令和4年度事業費財源)																											
事業目的	町民の生活環境の向上及び公共用水域の水質改善を図るため、公共下水道施設及び農業集落排水施設の整備を行います。																																			
事業の 主な 実施状況	<p>① 老朽化したマンホールポンプの更新を実施しました。</p> <p>② 老朽化した機械・電気設備の更新を実施しました。</p> <p>③ 下水道工事に伴う舗装復旧工事を実施しました。</p> <p>④ 東伯浄化センターの電気・機械設備の更新工事を実施しました。</p> <p>⑤ 公共下水道事業及び農業集落排水事業の施設整備に係る企業債の償還を行いました。</p>																																			
	<p>事業実施地域</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>主な地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 管路施設</td> <td>徳万、港町、朝日町</td> </tr> <tr> <td>② 処理場施設</td> <td>逢束(東伯浄化センター)、笹津(赤碓浄化センター)</td> </tr> <tr> <td>③ 舗装復旧(繰越)</td> <td>中村</td> </tr> </tbody> </table> <p>企業債元利償還額の推移(令和5年度末確定分)</p> <table border="1"> <caption>企業債元利償還額の推移(令和5年度末確定分)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>元利償還額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>580,000</td></tr> <tr><td>R1</td><td>590,000</td></tr> <tr><td>R3</td><td>600,000</td></tr> <tr><td>R5</td><td>643,050</td></tr> <tr><td>R7</td><td>630,000</td></tr> <tr><td>R9</td><td>620,000</td></tr> <tr><td>R11</td><td>560,000</td></tr> <tr><td>R13</td><td>420,000</td></tr> <tr><td>R15</td><td>300,000</td></tr> </tbody> </table>									項目	主な地域	① 管路施設	徳万、港町、朝日町	② 処理場施設	逢束(東伯浄化センター)、笹津(赤碓浄化センター)	③ 舗装復旧(繰越)	中村	年度	元利償還額(千円)	H29	580,000	R1	590,000	R3	600,000	R5	643,050	R7	630,000	R9	620,000	R11	560,000	R13	420,000	R15
項目	主な地域																																			
① 管路施設	徳万、港町、朝日町																																			
② 処理場施設	逢束(東伯浄化センター)、笹津(赤碓浄化センター)																																			
③ 舗装復旧(繰越)	中村																																			
年度	元利償還額(千円)																																			
H29	580,000																																			
R1	590,000																																			
R3	600,000																																			
R5	643,050																																			
R7	630,000																																			
R9	620,000																																			
R11	560,000																																			
R13	420,000																																			
R15	300,000																																			
事業目的の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成																															
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 下水道整備に伴う舗装復旧や下水道管渠の維持管理、処理施設や設備の計画的な改築・更新が必要です。</p> <p>② 令和6年度まで企業債償還額の増加が見込まれます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① ストックマネジメント計画及び琴浦町下水道事業経営戦略に基づいたマンホールポンプ交換や処理場施設の更新を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>ストックマネジメント計画及び琴浦町下水道事業経営戦略に基づいてマンホールポンプ交換や処理場施設の更新を行うことができたため、S 目的達成と評価しました。</p>																																			
今後の 取り組み の 方向	<p>施設整備に充てる国からの交付金の配分も少なくなってきた現状もあるため、マンホールポンプや処理場施設の改築・更新については、財源や緊急度などを考慮しながら、事業実施していく必要があります。</p> <p>なお、令和6年度中に琴浦町下水道事業経営戦略の改定に取り組む予定としており、今後も当該戦略に基づいた計画的な事業運営に努めます。</p>																																			

所属名称：出納室

[単位：千円]

会計款-項目事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
一般会計				
出納室				
2.総務費				
1.総務管理費				
4.会計管理費				
会計管理事務	6,801	5,151	13-1	
12.諸費				
源泉所得税	1,701	1,700	13-2	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	13	事業名	会計管理事務		会計区分	一般会計			
担当課	出納室	担当係	出納係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	4	会計管理費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			—					
重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	6,801	5,151	0	295	0	0	4,856	市町村創生交付金	

事業目的 町税、使用料等の収納及び一般会計、特別会計予算の支出を適正に行います。

○会計管理事務経費 総額 5,151 千円

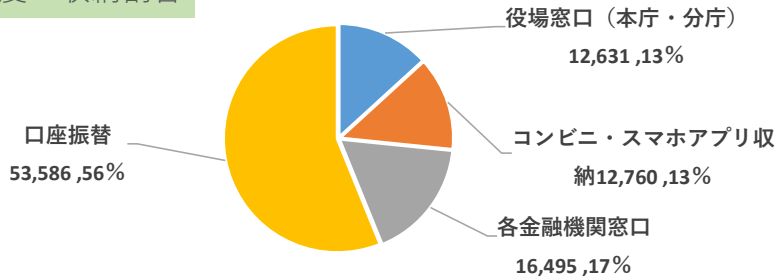
需用費 (印刷製本、消耗品)	1,251
役場封筒印刷製本	1,052
町税等口座振替依頼書印刷製本	113
消耗品	86
役務費 (手数料)	2,501
金融機関収納(窓口・口座振替)	771
コンビニ・スマートフォンアプリ収納手数料	843
証明発行、入金帳発行、指定金融機関事務取扱手数料	887
委託料	1,333
コンビニ収納科目追加システム改修	1,056
口座振替対応システム改修	215
窓口キャッシュレス決済事業	62
使用料及び賃借料 (使用料)	66
キャッシュレス決済端末使用料・決済手数料	66

事業の主な実施状況

【取扱い別収納件数】

		令和5年度	令和4年度	増 減	取扱手数料
金融機関	窓 口	16,495	20,957	△ 4,462	10円/件(税別)
	口座振替	53,586	57,921	△ 4,335	
コ ン ビ ニ		12,025	11,509	516	60円/件(税別)
スマートフォンアプリ		735	1,156	△ 421	
役場窓口(本庁・分庁)		12,631	15,635	△ 3,004	
合 計		95,472	107,178	△ 11,706	

令和5年度 収納割合



担当課による評価 A 相当程度進展あり

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】
 ① 口座振替の推進、キャッシュレス決済の拡充により住民の利便性向上及び税・料金の収納率増加を図ります。
 ② 税務署調査の結果を踏まえて、源泉徴収事務を適正に実施します。

【前年度課題についての対応及び成果】
 ① 口座振替依頼書の様式を分かりやすく記入しやすいものに変更しました。
 コンビニ収納科目を追加したことで、住民等の支払方法の選択肢が増え利便性が向上しました。
 ② 集計表を活用し、同日支払いの源泉徴収税額控除を適正に実施しました。

【担当課による評価の理由】
 ① 口座振替依頼の受付件数が前年度と比較して増加し、収納率も増加しました。
 コンビニ収納科目を追加したことにより、コンビニ・スマホアプリの利用件数及び収納率が増加しました。
 ② 源泉徴収税額控除を適正に実施できました。

今後の取り組みの方向

① セミセルフレジを導入することで、窓口での迅速で正確、安全な公金収納を実施し住民サービスを向上させます。
 ② 東伯総合体育館窓口にキャッシュレス決済ができるよう端末を整備し、利用者の利便性を向上させます。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	13	事業名	会計管理事務			会計区分	一般会計	
担当課	出納室		担当係	出納係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	12 諸費
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			—				
	重点項目	—						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	1,701	1,700	0	0	1,400	0	300	特定財源(追徴税額)
事業目的	税務署調査による源泉の追徴税額、不納付加算税及び延滞税を支払うもの。							
事業の 主な 実施状況	○補填金 1,400 千円							
								千円
	補填金							1,400
	追徴税額							1,400
○延滞税及び加算税 300 千円								
							千円	
延滞税及び加算税							300	
延滞税及び加算税							300	
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			S 目的達成				
	<p>【前年度の課題の概要】 なし</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 なし</p> <p>【担当課による評価の理由】 特になし</p>							
今後の 取り組み の 方向	源泉徴収税額の適正控除を実施します。							

所属名称：農業委員会事務局

[単位：千円]

会計 款-項-目 事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
一般会計				
農業委員会事務局				
5.農林水産業費				
1.農業費				
1.農業委員会費				
農業委員会組織関係	20,441	19,821	14-1	
農地流動化推進事業	4,500	2,604	14-2	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	623	事業名	農地流動化推進事業			会計区分	一般会計																																
担当課	農業委員会事務局		担当係	農地係・農政係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																
予算区分	款	5	農林水産業費	項	1	農業費	目	1	農業委員会費																														
まちづくりビジョン	④魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			①農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成																																			
	重点項目 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり																																						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)																															
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																
令和5年度	4,500	2,604	0	1,225	0	0	1,379																																
事業目的	農地の賃貸借を促進することにより、認定農業者の農地の利用集積と集約化を増進し、地域農業の担い手となる効率的な経営体の育成を図ります。																																						
事業の 主な 実施状況	○農地流動化推進事業交付金 新規は3年以上、更新は5年以上の賃借権設定により農地を借り受け、農地利用集積を行った町内の認定農業者に交付金を交付しました。(交付対象者46名)																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>10a当たり単価</th> <th>筆数</th> <th>面積</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規 3~4年</td> <td>4,000 円</td> <td>22 筆</td> <td>5.5471 ha</td> <td>221,884 円</td> </tr> <tr> <td>新規 5年以上</td> <td>8,000 円</td> <td>76 筆</td> <td>7.89 ha</td> <td>631,200 円</td> </tr> <tr> <td>新規 中間管理事業</td> <td>8,000 円</td> <td>61 筆</td> <td>11.4153 ha</td> <td>913,224 円</td> </tr> <tr> <td>更新 5年以上一律</td> <td>2,000 円</td> <td>452 筆</td> <td>41.8932 ha</td> <td>837,864 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>611 筆</td> <td>66.7456 ha</td> <td>2,604,172 円</td> </tr> </tbody> </table>									区分	10a当たり単価	筆数	面積	交付金額	新規 3~4年	4,000 円	22 筆	5.5471 ha	221,884 円	新規 5年以上	8,000 円	76 筆	7.89 ha	631,200 円	新規 中間管理事業	8,000 円	61 筆	11.4153 ha	913,224 円	更新 5年以上一律	2,000 円	452 筆	41.8932 ha	837,864 円	合計	—	611 筆	66.7456 ha	2,604,172 円
区分	10a当たり単価	筆数	面積	交付金額																																			
新規 3~4年	4,000 円	22 筆	5.5471 ha	221,884 円																																			
新規 5年以上	8,000 円	76 筆	7.89 ha	631,200 円																																			
新規 中間管理事業	8,000 円	61 筆	11.4153 ha	913,224 円																																			
更新 5年以上一律	2,000 円	452 筆	41.8932 ha	837,864 円																																			
合計	—	611 筆	66.7456 ha	2,604,172 円																																			
事業目的の 達成状況	担当課による評価		A 相当程度進展あり																																				
	【前年度の課題の概要】 ・契約更新を行わない農地については、農地が遊休化する前に新たな担い手へつなげる取組が必要です。 ・現在の農業経営基盤強化促進法による相対の賃借は令和6年度で終了し、令和7年度からは農地中間管理法に基づく鳥取県農業農村担い手育成機構を交えた三者契約へ移行するため、円滑に移行できるよう周知及び適切な事務処理対応が必要です。																																						
	【前年度課題についての対応及び成果】 ・契約更新を行わない農地については、担い手農家への情報提供を行い、本事業の周知に取り組みました。 ・令和7年度からの農地中間管理法に基づく鳥取県農業農村担い手育成機構を交えた三者契約への完全移行に向けて、チラシの配布等で情報の周知に取り組みました。																																						
今後の 取り組みの 方向	【担当課による評価の理由】 年間の賃借権設定筆数611筆のうち、契約期間5年以上が528筆(86%)を占め、賃借年数の長期化が進みました。賃借筆数も前年度に比べ新規分で約35%増加(118筆→159筆)、全体で約50%増加(407筆→611筆)したため A 相当程度進展あり と判断しました。																																						
	・契約更新を行わない農地については、農地が遊休化する前に新たな担い手へつなげる取組が必要です。 ・現在の農業経営基盤強化促進法による相対の賃借は令和6年度で終了し、令和7年度からは農地中間管理法に基づく鳥取県農業農村担い手育成機構を交えた三者契約へ移行するため、円滑に移行できるよう周知及び事業の見直しが必要です。																																						

会計款-項-目事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
教育総務課				
9.教育費				
1.教育総務費				
1.教育委員会費				
教育委員会	2,078	1,815	15-1	
2.事務局費				
教育委員会事務局費	28,629	26,906	15-2	
ALT配置事業	7,079	6,815	15-3	
進学支援事業	14,731	10,575	15-4	
コミュニティスクール推進事業	1,350	689	15-5	
共同学校事務室	796	726	15-6	
ICT教育推進事業(共通)	29,724	29,587	15-7	
2.小学校費				
1.学校管理費				
一般経常経費(八橋小)	7,754	7,579	15-8	
一般経常経費(浦安小)	7,943	7,540	15-8	
一般経常経費(聖郷小)	8,495	6,744	15-8	
一般経常経費(赤碕小)	8,008	7,735	15-8	
一般経常経費(船上小)	6,411	6,136	15-8	
一般経常経費(配分外)	89,283	88,057	15-8	
2.教育振興費				
一般教育振興費(八橋小)	2,767	2,718	15-9	
一般教育振興費(浦安小)	3,137	3,135	15-9	
一般教育振興費(聖郷小)	2,277	1,996	15-9	
一般教育振興費(赤碕小)	2,855	2,378	15-9	
一般教育振興費(船上小)	2,656	2,646	15-9	
通級指導教室	72	72	15-9	
一般教育振興費(配分外)	13,735	10,546	15-9	
3.中学校費				
1.学校管理費				
一般経常経費(東伯中)	10,983	10,645	15-10	
一般経常経費(赤碕中)	8,977	8,494	15-10	
一般経常経費(配分外)	70,028	69,524	15-10	
2.教育振興費				
一般教育振興費(東伯中)	6,182	5,666	15-11	
一般教育振興費(赤碕中)	5,164	4,957	15-11	
通級指導教室(中学校)	41	41	15-11	
一般教育振興費(配分外)	18,849	15,115	15-11	
5.保健体育費				
4.給食センター運営費				
学校給食事業	181,470	169,453	15-12	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	243	事業名	教育委員会費			会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課			担当係	総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	1	教育委員会費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				①子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	2,078	1,815	0	0	0	0	1,815		
事業目的	教育委員会は教育行政における重要事項や基本的事項を決定、これに基づき教育長が具体的な事務を執行する。 事務執行状況を監視、評価し、広く地域住民の意向を反映した教育行政を実現する。								
事業の主な実施状況	<p>教育委員会会議や総合教育会議等により、町の教育行政について協議を行うとともに、地域の実情把握のため活動を行いました。</p> <p style="text-align: right;">教育委員会委員報酬等 1,751 千円 各種負担金等 64 千円</p> <p>■教育委員会の主な活動状況 教育委員会会議 13回 総合教育会議 1回 11/28 町教育行政について *ホームページにて会議資料と議事録を公開</p> <p>■その他の活動状況 (1)学校計画訪問 小中学校:8回 子ども園:4回 ・校長、園長から運営方針等聞き取り ・授業及び保育参観 ・教職員との意見交換と指導、助言</p> <p>(2)町内会議・行事等への参加 教職員宣誓式、小中学校入学式、卒業式等</p> <p>(3)研修・視察・調査等 6/2 東伯地区教育委員会連絡協議会総会・研修会 7/21 鳥取県市町村教育委員会研究協議会総会 2/2 令和4年度市町村教育委員会委員等研修会 10/16 先進地視察(岡山市立山南学園) 10/27 先進地視察(岡山県浅口市教育委員会)</p>								
事業目的の達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	<p>【前年度の課題の概要】 教育現場の状況などの把握に努めるとともに、各種研修会等を通じて教育行政について見識を広げるとともに、今後の琴浦町の教育行政のあり方について検討が必要です。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 町内各学校への計画訪問、研修会への参加等により、子どもたちの学習環境の把握に努めました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 各学校や子ども園への訪問により、小中連携や教育環境の実情把握に努めました。</p>								
今後の取り組みの方向	引き続き、教育現場の状況などの把握に努めるとともに、各研修会等を通じて見識を広げ、今後の町教育行政のあり方について議論を深めていきます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	245	事業名	教育委員会事務局費				会計区分	一般会計																																	
担当課	教育総務課			担当係			総務係			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																														
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費																																
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり					①子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進																																			
	重点項目	—																																							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)						備考 (その他収入・町債の内訳)																																
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																		
令和5年度	28,629	26,906	0	50	0	5,700	21,156	過疎債5,700千円																																	
事業目的	町立小中学校の教職員の健康管理や校務用システム環境の整備など、町内の小中学生全般に関わる事務を行うことで、義務教育環境を整える。 鳥取県基準による少人数学級を実現するとともに、不登校児童生徒の支援を行う。																																								
事業の 主な 実施状況	<p>○ 少人数学級負担金 6,000 千円 少人数学級の実現により、子どもたちの学びやすい環境を整えるとともに、教員の学級経営の負担軽減を図りました。 2,000千円×3クラス(赤碕小学校3年、4年、浦安小学校3年) ◆配置基準(1学級上限人数)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>小1</td><td>小2</td><td>小3</td><td>小4</td><td>小5</td><td>小6</td><td>中1</td><td>中2</td><td>中3</td> </tr> <tr> <td>国基準</td> <td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td> </tr> <tr> <td>県基準</td> <td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>35</td><td>35</td><td>33</td><td>35</td><td>35</td> </tr> </table> <p>○ 教職員校務用PC等維持管理費 17,179 千円 パソコン本体のほか学校業務専用ネットワーク回線及び県下統一の学校業務支援システムに係る経費を負担し、教職員の業務負担軽減を図りました。 PCリース料 ネットワーク保守 システム負担金</p> <p>○ 保護者への経済的支援等 210 千円 フリースクール利用料補助金 就学支援診断書料補助金</p> <p>○ 学習支援員等配置(別事業) 41,865千円 29名 学習支援員、部活動指導員、日本語学習支援員、外国語活動支援員 スクール・ソーシャル・ワーカー、特別支援教育コーディネーター、CSディレクター等</p> <p>○ その他事務費 3,517 千円 ・各種負担金等 ・教職員健康診断 ・消耗品等事務費</p>												小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	国基準	35	35	35	35	40	40	40	40	40	県基準	30	30	30	30	35	35	33	35	35
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3																																
国基準	35	35	35	35	40	40	40	40	40																																
県基準	30	30	30	30	35	35	33	35	35																																
事業目的 の 達成状況	担当課による評価					S 目的達成																																			
	<p>【前年度の課題の概要】 鳥取県内でも教員不足は深刻です。 また、日本語支援や特別な支援を必要とする児童生徒が増加する中、きめ細かな対応ができるよう、引き続き学習支援員等の配置を行う必要があります。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 県基準による学級編成を行うことで、少人数学級を実現。 また、日本語支援や特別な支援を必要とする児童生徒にきめ細かな対応ができるよう、学習支援員等の配置を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 少人数学級の実現に加えて学習支援員をはじめとする必要な職員を配置することで、多様化するニーズに対応する学校現場の負担軽減を図ることができました。</p>																																								
	<p>今後の取り組みの方向</p> <p>県費負担教職員の増員、処遇改善等については、引き続き国や県に働きかけを行います。 日本語支援や特別な支援を必要とする児童生徒が増加する中、きめ細かな対応ができるよう、引き続き学習支援員等の配置を行う必要があります。</p>																																								



令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	246	事業名	ALT配置事業			会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課			担当係	指導係・総務係	事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				④グローバルな社会で活躍できる人材の育成				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	7,079	6,815	0	0	0	5,600	1,215	過疎債 5,600千円	
事業目的	<p>学校生活の中で外国語や外国文化に興味を持つきっかけを作ることで、外国語に対して苦手意識を持つことなく、コミュニケーション手法の一つとしての英語力を身につけた人材を育成する。</p>								
事業の 主な 実施状況	<p>○中学校へのALT配置 1,138千円 JETプログラムを活用して、東伯中学校と赤崎中学校にそれぞれ1名ずつALTを配置しました。 英語の授業をサポートするほか、校内掲示物や図書を通じて英語と親しむ機会を作るなどの活動を行いました。</p> <p style="margin-left: 40px;">各種負担金、ALT家賃補助金等 1,138千円 ALT人件費(別事業) 7,173千円</p> <p>○小学校へのALT配置 5,676千円 民間事業者への委託により、ALTが町内の全小学校を巡回、指導を行いました。 外国語活動や外国語教科をサポートすることで、教員の負担軽減を図りました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>								
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	<p>【前年度の課題の概要】 引き続き各中学校に1名ずつ、小学校に1名、ALTを配置します。 授業以外での活動について、各校の意見を取り入れながら拡充し、英語力の向上に努めます。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 任期を終えたALTに代わり東伯中学校に新たなALTを配置することができました。 小学校にもALTを配置し、外国語活動等のサポートを行うことができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 中学校にはそれぞれ常勤で配置し、英語の授業はもとより校内掲示等により生徒とのコミュニケーションを図るなどの活動も行われています。 小学校については1名のALTが5校を巡回し、児童の外国語への興味を高めることができました。</p>								
今後の 取り組み の 方向	<p>任期を終えて帰国するALTに代わり新たなALTを中学校に1名配置します。 各校の意見や活用状況を参考に、今後の配置や活動の場などを検討していきます。</p>								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	247	事業名	進学支援事業			会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課			担当係	総務係	事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				④グローバルな社会で活躍できる人材の育成				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	14,731	10,575	0	2,319	2,992	4,000	1,264	ふるさと未来夢基金2,000千円 過疎債 4,000千円 林原育英奨学金貸付元金収入 林原育英奨学金基金繰入金 林原育英奨学金基金利息	
事業目的	高校生、大学生の就学に係る経費負担を軽減し、就学機会を拡大する。								
事業の 主な 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進学奨励金給付事業 4,840千円 高校生を対象とした給付型の奨学金を支給しました。 月額 5,000円 高校生 82人 ○ 高校生通学費補助金 4,576千円 高校への通学費の一部を助成することで、保護者の負担軽減を図りました。 高校生 115人 ○ 高校生町内バス通学費補助金 66千円 高校への通学費のうち、琴浦町営バスの定期代については8割を助成しました。 高校生 5人 ○ 林原育英奨学金貸付 720千円 無利子の奨学金を貸し付け、高校、大学等への進学を支援しました。 貸与者 1人 ○ 償還金積立その他 373千円 								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 対象者への周知方法について、さらに工夫を行います。 申請手続きの簡素化などについても検討を進めます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 情報発信ツールとして新たに琴浦町公式LINEも活用し、制度の周知と運用を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 経済的理由によって進路の変更を余儀なくされる生徒がないよう、制度の周知と運用を行いました。 保護者負担軽減のため申請手続きの簡素化などについては、引き続き検討を行います。</p>								
今後の 取り組み の 方向	申請の簡素化、保護者負担の軽減を目指し電子申請の導入など検討を進めます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1125	事業名	コミュニティスクール推進事業			会計区分	一般会計			
担当課	教育総務課			担当係	指導係・総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり					
	重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和5年度	1,350	689	0	273	0	0	416			
事業目的	学校、保護者、地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒になって子どもたちの成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める。									
事業の 主な 実施状況	<p>○ コミュニティ・スクールの推進 15 千円 各校学校運営協議会長、校長、外部有識者によるコミュニティ・スクール連絡協議会を開催し、各校の取組状況の共有や意見交換などを行いました。 また米子市で開催された全国コミュニティ・スクール研究大会に各校委員が参加し、先進地・先進校の実践から学ぶ研修を行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: right;">研修会講師謝金等 15 千円</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;">  </div> </div> <p>○ 学校運営協議会の設置、運営 264 千円 町立学校全7校に学校運営協議会を設置し、地域や家庭の代表となる委員の皆さんと、めざす子ども像について熟議を重ねました。 そして、めざす子ども像に向かって、地域人材等、各校の特色を生かした取り組みが少しずつ展開されつつあります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: right;">学校運営協議会委員報酬 264 千円</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: right;">  </div> </div> <p>○ 学校支援ボランティア活動 410 千円 各校では、保護者や地域のみなさんに学校支援ボランティアとして、登下校、遠足の見守り、読み聞かせ、家庭科等の学習支援などにご協力いただきました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: right;">各種活動用消耗品等 109 千円 ボランティア保険 124 千円 ボランティアコーディネーター報償費 177 千円</p> </div> </div>									
事業目的の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成					
	<p>【前年度の課題の概要】 令和4年度より聖郷小学校と船上小学校で先行導入を行い、令和5年度は全校をコミュニティ・スクールとすることを目指します。</p>									
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 学校長や地域の方を対象とした研修会の開催や、町広報紙での取組紹介など、コミュニティ・スクールに対する関心を高める取組を行い、町内全7校でコミュニティ・スクールをスタートすることができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 年次計画のとおり町内全校での取組開始を達成することができました。</p>									
今後の 取り組みの 方向	<p>「めざす子ども像」の熟議がなされた1年間でした。次年度からはめざす子ども像に向けて、地域・家庭・学校がそれぞれ、子どもを育てる主体者としての自覚をもち、協働してどのような取り組みを行っていくのか、少しずつ活動が展開されていくと考えます。 各校の情報交換を行う場(町コミュニティ・スクール連絡協議会)や、他地域の事例を学ぶ場(県コミュニティ・スクール推進研修会への参加、県外視察研修)などを設定します。</p>									

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1476	事業名	共同学校事務室			会計区分	一般会計								
担当課	教育総務課			担当係	指導係・総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続							
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費						
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり										
	重点項目	—													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源								
令和5年度	796	726	0	0	0	0	726								
事業目的	学校事務の平準化、業務処理の効率化及び適正化を図ることと、教職員の負担軽減を図ることを目的として、共同学校事務室を設置。														
事業の主な実施状況	<p>○ 共同事務の実施</p> <p>学校事務職員が東伯中学校に月3日程度参集し、集中業務や各校での業務確認などを行いました。</p> <p>加配事務職員が各校を巡回、財務システムによる起票等の業務支援を行いました。</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>学校徴収金管理システム使用料</td> <td style="text-align: right;">323千円</td> </tr> <tr> <td>インターネットバンキング使用料</td> <td style="text-align: right;">96千円</td> </tr> <tr> <td>共同事務用消耗品</td> <td style="text-align: right;">307千円</td> </tr> </table>									学校徴収金管理システム使用料	323千円	インターネットバンキング使用料	96千円	共同事務用消耗品	307千円
学校徴収金管理システム使用料	323千円														
インターネットバンキング使用料	96千円														
共同事務用消耗品	307千円														
	担当課による評価				S 目的達成										
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>学校事務の共同実施は学校間の事務の平準化とともに、OJTによる事務職員の育成に効果があるため、継続して実施していきます。</p> <p>予算要求に関する資料など、事務の効率化を図るための検討を行います。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>学校事務の共同実施を進め、事務の平準化を図りました。</p> <p>予算要求に関する資料を見直し、事務の効率化を図りました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>システム活用や事務の平準化により業務負担が軽減されました。</p>														
今後の取り組みの方向	学校事務の共同実施による平準化を進め、更なる効率化を図るため検討を行います。														

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1533	事業名	ICT教育推進事業			会計区分	一般会計			
担当課	教育総務課		担当係	指導係・総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				③ICTを活用した個別最適な学びの提供					
	重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和5年度	29,724	29,587	0	0	15,000	0	14,587	ふるさと未来夢基金15,000千円		
事業目的	Society5.0時代を生きる子どもたちにふさわしい、すべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、ICTを活用した教育を推進する。									
事業の主な実施状況	<p>○学習支援ソフトの活用 2,734千円 授業等で端末を活用するための学習支援ソフトを導入。自分の考えをまとめたり、意見を共有したりするときなどに活用しています。</p> <p>○教員研修の実施 440千円 Apple Professional Learning学習活動スペシャリストより授業におけるiPadの活用方法について学びました。後半のワークショップではiPadの基本アプリの活用方法について学びました。</p> <p>実施日 8月10日 対象者 町立小中学校の教員 内容 講演「授業におけるiPad活用について」 ワークショップ(iPad基本操作、紙飛行機をつくろう)</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>○備品等整備 26,413千円 教員用PCのリース料及び教室変更に対応させるためのプロジェクタ設置など、環境整備を行いました。</p>									
事業目的の達成状況	担当課による評価				S 目的達成					
	<p>【前年度の課題の概要】 ICT機器の計画的な更新のほか、ソフト面の検討も必要です。ICT支援員の配置等、支援体制について検討を行います。</p>									
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 タブレット端末の更新については、国県の方針が示され、共同調達に向けて検討を進めることとしました。現在活用している学習支援ソフトやICT支援員の活用実態等を踏まえ、方向性について検討を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 児童生徒のタブレット端末については、適宜日常的に使用されるようになってきています。また、教職員を対象とした研修を実施しました。</p>									
今後の取り組みの方向	ハード面、ソフト面ともに更新に向けた検討が必要です。学校現場はもとより、近隣自治体も含めた協議を進めます。									

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	256他	事業名	小学校管理費			会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課			担当係	総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	2	小学校費・中学校費	目	1	学校管理費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	127,894	123,791	15,448	0	1,527	42,000	64,816	ふるさと未来基金1,200千円 日本スポーツ振興センター保護者負担金327千円 過疎債42,000千円	
事業目的	小学校の運営を円滑にするために施設維持及び整備、環境整備を行う。								
事業の 主な 実施状況	○各校維持管理経費								
		予算額	決算額	主な支出内容					
	八橋小学校	7,754	7,579	学校施設維持管理費					
	浦安小学校	7,943	7,540	光熱水費					
	聖郷小学校	8,495	6,744	通信運搬費					
	赤碕小学校	8,008	7,735	消耗品費					
	船上小学校	6,411	6,136	その他					
	配分外	89,283	88,057	* 下記のとおり					
	計	127,894	123,791						
	・スクールバス運行业務委託料 11,455千円 聖郷小学校、船上小学校の児童の通学のためスクールバスを運行しました。 利用児童 聖郷小学校 29人 船上小学校 46人								
	・学校施設の保守・管理費 5,290千円 電気・消防設備等の保守管理、その他管理委託費								
	・嘱託医報酬、児童生徒健康診断等 2,529千円								
	・改修工事・修繕費 63,177千円 教室ホワイトボード改修工事(浦安) 232千円 八橋小学校屋外木造倉庫解体撤去工事 242千円 八橋小学校駐車場南側倉庫屋根修繕工事 369千円 八橋小学校体育館北面パラペット修繕工事 484千円 旧給食センター雨漏り対策工事 495千円 小学校空調設備更新工事設計・管理委託料 3,707千円 小学校空調設備更新工事 54,641千円 その他修繕等 3,007千円								
	・その他経費 5,606千円 (手数料、火災保険料、スポーツ振興センター共済負担金他)								
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	【前年度の課題の概要】 老朽化が進む中、公共施設としての役割を果たすため、適切な維持管理を行います。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 各学校施設、設備の状況把握を行い、優先順位をつけながら対応を行いました。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 危険性の高いものの修繕、撤去等を行いました。 また、年次計画により小学校4校の空調設備を更新しました。								
	引き続き、年次計画による空調等の設備更新等、適切な維持管理を行っていきます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	262他	事業名	小学校教育振興費			会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課		担当係	指導係・総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	27,499	23,491	864	0	2,532	0	20,095	ふるさと未来夢基金1,400千円 寄付金732千円 赤碕中学校区小学校図書購入基金繰入金400千円	
事業目的	誰一人取り残さない質の高い教育の実現 教育振興のため、教材・図書等の教育環境を整備し、学力及び体力の向上を目指す。								
事業の 主な 実施状況	○各校経費一覧								
		予算額	決算額	主な支出内容					
	八橋小学校	2,767	2,718	備品購入費(教材・図書)					
	浦安小学校	3,137	3,135	消耗品費等					
	聖郷小学校	2,277	1,996						
	赤碕小学校	2,855	2,378						
	船上小学校	2,656	2,646						
	通級指導教室	72	72						
	配分外	13,735	10,546	* 下記のとおり					
	計	27,499	23,491						
	・総合的な学習、学校独自事業		12,223千円						
	各学校が独自に行う課題解決のための取組み、または各学校の特徴を活かした取組みなどを推進し、それぞれ特色ある学校づくりに努めました。								
	・就学援助費等		8,344千円						
	・備品購入費		205千円						
	教師用教科書及び指導書 205千円								
	・学習者用インターネット回線使用料		396千円						
	・その他経費		1,601千円						
	借上料(修学旅行バス、農業体験学習用梨の木)及び小学校の各連盟等への負担金等の支出を行いました。								
	担当課による評価				S 目的達成				
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】								
	それぞれの地域の特徴をいかした体験学習や調べ学習など、各校の特色ある取組みを引き続き支援します。								
	【前年度課題についての対応及び成果】								
	地域の歴史や自然や文化などを知り、体験し、調べるなどの各校の取組みを支援しました。								
	【担当課による評価の理由】								
	これまでの取組みをさらに発展させるため、琴浦町のふるさと教育を体系化し「琴浦Myスター☆」とネーミングして、地域の特性を活かした取組みについて各校で検討を進めました。								
今後の 取り組み の 方向	全ての学校がコミュニティ・スクールとなり、各校でさらに地域の方とともにふるさと教育の取組みを検討していくこととしています。								



令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	277他	事業名	中学校管理費			会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課			担当係	総務係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	3	中学校費	目	1	学校管理費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり				
重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	89,988	88,663	0	0	470	31,400	56,793	ふるさと未来夢基金300千円 日本スポーツ振興センター保護者負担金170千円 過疎債31,400千円	
令和5年度(明許)	12,727	12,702	0	0	0	0	12,702		

事業目的 中学校の運営を円滑にするために施設維持及び整備、環境整備を行う。

事業の 主な 実施状況	○各校維持管理経費			
		予算額	決算額	主な支出内容
	東伯中学校	10,983	10,645	学校施設維持管理費
	赤碕中学校	8,977	8,494	光熱水費、通信運搬費 消耗品費等
	配分外	70,028	69,524	* 下記のとおり
	計	89,988	88,663	
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の保守・管理費 3,214千円 ・嘱託医報酬、児童生徒健康診断等 1,024千円 ・改修工事・修繕等 62,402千円 <ul style="list-style-type: none"> 赤碕中学校エレベーター部品交換 2,052千円 赤碕中学校体育館器具庫照明取替 594千円 東伯中学校コンテナ室湯沸器新設 370千円 赤碕中学校防火改修 22,481千円 赤碕中学校自転車置場新設 9,497千円 東伯中学校バリアフリー化対応工事 11,578千円 赤碕中学校バリアフリー化対応工事 792千円 その他修繕 2,339千円 【繰越】産廃処分手数料 184千円 【繰越】赤碕中学校自転車置場新設 12,518千円 ・備品購入費 983千円 生徒用机椅子、防犯カメラ等 ・その他経費 1,901千円 (手数料、火災保険料、スポーツ振興センター共済負担金他) 			



担当課による評価 S 目的達成

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】
老朽化が進む中、公共施設としての役割を果たすため、適切な維持管理を行います。

【前年度課題についての対応及び成果】
各学校施設、設備の状況把握を行い、優先順位をつけながら対応を行いました。

【担当課による評価の理由】
自転車駐輪場の新設工事など、必要な工事、修繕等を実施しました。

今後の取り組みの方向

引き続き、適切な維持管理を行っていきます。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	280他	事業名	中学校教育振興費			会計区分	一般会計		
担当課	教育総務課		担当係	指導係・総務係		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				①子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	30,236	25,779	465	253	1,100	0	23,961	ふるさと未来夢基金1,100千円 赤碕中学校図書購入基金繰入金 166千円	

事業目的 誰一人取り残さない質の高い教育の実現
教育振興のため、教材・図書等の教育環境を整備し、学力及び体力の向上を目指す。

事業の主な実施状況

○各校経費一覧

	予算額	決算額	主な支出内容
東伯中学校	6,182	5,666	備品購入費(教材備品、図書)
赤碕中学校	5,164	4,957	
通級指導教室	41	41	消耗品費
配分外	18,849	15,115	* 下記のとおり
計	30,236	25,779	



- ・学校独自事業、総合的な学習 544千円
各学校が独自に行う課題解決のための取組み、または各学校の特徴を活かした取組みなどを推進し、それぞれ特色ある学校づくりに努めました。
- ・就学援助費等 8,913千円
- ・部活動外部指導者報償金 500千円
部活動指導のため、地域の人を活用しました。
- ・学習者用インターネット回線使用料 159千円
- ・その他経費 5,543千円
バス通学生への通学費補助、英語検定料補助金等、中学校の各連盟等への負担金、各種大会参加のためのバス借上料等の支出を行いました。




担当課による評価 S 目的達成

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】
それぞれの地域の特徴をいかしたふるさと教育など各校の取組みを引き続き支援します。

【前年度課題についての対応及び成果】
地域の歴史や自然や文化などを知り、体験し、調べるなどの各校の取組みを支援しました。

【担当課による評価の理由】
これまでの取組みをさらに発展させるため、琴浦町のふるさと教育を体系化し「琴浦Myスター☆」とネーミングして、地域の特性を活かした取組みについて各校で検討を進めました。

今後の取り組みの方向 全ての学校がコミュニティ・スクールとなり、各校でさらに地域の方とともにふるさと教育の取組みを検討していくこととしています。

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	353	事業名	学校給食事業			会計区分	一般会計																								
担当課	教育総務課			担当係	学校給食センター		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																							
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	4	給食センター運営費																						
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり																										
	重点項目	—																													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																								
令和5年度	181,470	169,453	0	0	78,890	0	90,563	ふるさと未来夢基金3,400千円 給食費保護者負担金75,490千円																							
事業目的	児童生徒の心身の健全な発達に資するよう、バランスのとれた栄養豊かな給食を提供する。学校給食を通じて日常生活での食事について正しい理解と望ましい食習慣を養うなど、「食を通して生きる力を育む」ことを目的に、教育の一環として実施する。																														
事業の 主な 実施状況	○ 年間を通して米飯またはパン、牛乳、副食の完全給食を実施しました。 調理業務、配送業務は民間事業者のノウハウを活用し、安心安全な給食の提供を行いました。 年間提供基準回数 185回																														
		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>給食費</th> <th>保護者負担</th> <th>町負担</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>314円</td> <td>285円</td> <td>29円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>358円</td> <td>326円</td> <td>32円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">必要に応じ、アレルギー対応食の提供を行いました。 アレルギー食対応 28人 23品目</p>									給食費	保護者負担	町負担	小学校	314円	285円	29円	中学校	358円	326円	32円										
	給食費	保護者負担	町負担																												
小学校	314円	285円	29円																												
中学校	358円	326円	32円																												
事業目的 の 達成状況	○ 食育の取り組み 「食育だより」等により食に関する知識や習慣などの情報発信に努めました。学校と給食センターが連携し、各小中学校で食育指導等を行いました。地元産品を活用した「惑星コトウラ給食」を3回実施し、児童生徒に町の魅力を発信しました。その際に地区公民館での試食会実施、町内団体による給食コラボ弁当が販売されました。																														
	○ 経費内訳			<table style="width: 100%;"> <tr> <td>給食物資購入費</td> <td style="text-align: right;">84,070</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td style="text-align: right;">14,064</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>調理業務委託料</td> <td style="text-align: right;">49,390</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>配送業務委託料</td> <td style="text-align: right;">12,783</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>保守管理点検等</td> <td style="text-align: right;">2,435</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>調理室床修繕工事設計委託料</td> <td style="text-align: right;">990</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他維持管理費</td> <td style="text-align: right;">5,721</td> <td>千円</td> </tr> </table>						給食物資購入費	84,070	千円	光熱水費	14,064	千円	調理業務委託料	49,390	千円	配送業務委託料	12,783	千円	保守管理点検等	2,435	千円	調理室床修繕工事設計委託料	990	千円	その他維持管理費	5,721	千円	
給食物資購入費	84,070	千円																													
光熱水費	14,064	千円																													
調理業務委託料	49,390	千円																													
配送業務委託料	12,783	千円																													
保守管理点検等	2,435	千円																													
調理室床修繕工事設計委託料	990	千円																													
その他維持管理費	5,721	千円																													
	担当課による評価				S 目的達成																										
今後の 取り組み の 方向	【前年度の課題の概要】 調理業者、配送業者と連携し、安全な給食の安定提供を進めます。 調理機器や施設などの更新計画を作成し、年次的に更新、修繕を実施していきます。 安心安全な食材の安定調達に努めます。																														
	【前年度課題についての対応及び成果】 町内産の食材を優先的に活用し、安心安全な給食を提供することができました。 調理機器等の更新計画を作成するとともに、機器の故障等への速やかな対応を心がけました。																														
【担当課による評価の理由】 町内事業所の撤退に伴い関係先との協議を行い、町内産野菜の供給ルートを確認することができました。 調理委託事業者や機器の点検事業者等を含めた協議を行い、年次的な更新にむけた計画を立てることができました。																															
年次計画により、必要な機器更新等を行っていきます。																															

会計 款-項-目 事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
社会教育課				
9.教育費				
4.社会教育費				
1.社会教育総務費				
社会教育振興	1,973	1,731	16-1	
青少年育成啓発事業	128	65	16-2	
次世代こども子育て推進事業	1,937	1,420	16-3	
無盡庵管理	266	123	16-4	
2.公民館費				
一般管理	3,021	2,565	16-5	
赤碕地区公民館事業	2,612	2,254	16-6	
安田地区公民館事業	1,112	1,040	16-7	
成美地区公民館事業	1,958	1,420	16-8	
以西地区公民館事業	929	770	16-9	
八橋地区公民館事業	17,243	16,610	16-10	
浦安地区公民館事業	10,036	7,510	16-11	
下郷地区公民館事業	1,316	1,152	16-12	
上郷地区公民館事業	1,097	956	16-13	
古布庄地区公民館事業	716	654	16-14	
3.文化財保護費				
町内文化財保護事業	5,242	3,910	16-15	
文化財活用啓発事業(文化財センター)	155	131	16-16	
民俗資料館管理	292	289	16-17	
特別史跡斎尾廃寺跡指定地買上事業	11,775	11,721	16-18	
4.埋蔵文化財発掘調査費				
町内遺跡発掘調査事業	2,633	2,620	16-19	
5.生涯学習センター運営費				
生涯学習センター管理費	57,258	55,862	16-20	
6.図書館費				
図書館活動費	19,800	19,708	16-22	
7.文化芸術振興費				
文化振興事業	2,892	1,890	16-23	
2.総務費				
1.総務管理費				
5.財産管理費				
カウベルホール管理	2,084	1,967	16-25	
9.教育費				
5.保健体育費				
1.保健体育総務費				
一般管理	144	142	16-26	
こども健康寿命延伸活動(社会教育課)	219	54	16-27	
2.体育振興費				
スポーツ・運動推進事業	15,372	11,569	16-28	
3.体育施設費				
社会体育利用施設管理	3,550	2,455	16-29	
平岩記念会館管理運営	1,415	1,153	16-30	
東伯総合公園管理事業	18,368	17,535	16-31	
農業者トレーニングセンター運営	2,052	1,895	16-32	
赤碕総合運動公園管理	6,161	6,158	16-33	
東伯総合公園改修事業	16,797	6,160	16-34	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	292	事業名	社会教育振興			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	1,973	1,731	160	0	0	0	1,571		
事業目的	「学びあい・高めあい『幸せ』感じるまちづくり」を推進します。(社会教育における地方公共団体の任務[学び・教え合いの奨励による住民自ら課題解決に向けて高め合う機運の醸成]と生涯学習の理念[豊かな人生]のイメージの具現化を目指します。)								
事業の 主な 実施状況	① 補助金交付 347千円 町内で活動する社会教育関係団体に補助金を交付し、地域住民主役の地域学習活動推進を奨励・支援しました。 交付団体:東伯文化協会、赤碕文化協会、町連合婦人会、町青少年健全育成協議会の4団体								
		内容		実績額	財源内訳				
	文化協会補助金	赤碕文化協会・東伯文化協会が団体や会員の相互の連携を保ちながら郷土発展に寄与することを目的とした活動の支援を行いました。		56	単町 (10/10)				
	町連合婦人会補助金	町連合婦人会が青少年の健全育成、高齢化社会や環境浄化への対応、地域福祉の増進を図るために行う会員研修や事業実施を支援しました。		259	単町 (10/10)				
	町青少年健全育成協議会補助金	町青少年健全育成協議会が青少年の健全育成を図るために行う会員研修や事業実施を支援しました。		32	単町 (10/10)				
② 琴浦町社会教育委員会の開催 委員報酬 20千円 5月、3月の2回開催。本町の社会教育行政に係る意見交換、助言を求めることができました。									
③ スマホサポーター養成講座運営委託料 220千円 地域内で教えあえる人材育成を目的に、サポーター養成講座を4回開催しました。 まなびタウン教養講座(4回実施) ・誰でも参加できる写真講座(参加者9人) ・プログラミング講座(参加者9人) ・和菓子作りと抹茶体験(参加者15人) ・はじめてのお金の教室(参加者19人)									
④ その他経費 関係団体負担金 133千円 消耗品、燃料費、手数料、負担金等 1,011千円									
担当課による評価					A 相当程度進展あり				
【前年度の課題の概要】 新型コロナの5類移行に伴い、社会教育団体の活動が活発となるよう支援が必要です。社会教育委員会などで町の教育行政の進め方について意見を聴取し、事業に活かす必要があります。									
【前年度課題についての対応及び成果】 町青少年健全育成協議会に対し、補助金交付だけでなく活動の助言等を行い、会員を対象とした研修会や町内の駅(赤碕・浦安)でのあいさつ運動を再開することができました。社会教育委員会での意見を施策に反映させるところまではできていないので、仕組みを構築する必要があります。									
【担当課による評価の理由】 今年度、1団体が活動を再開できるようになりました。社会教育委員会を年2回開催し多くの意見をいただくことができました。また、まなびタウン教養講座など複数回の講座を実施しました。									
今後の取り組みの方向	団体の活動状況は徐々にコロナ以前と同程度に戻ってきていますが、一度止めてしまった事業が多く、以前のような規模で開催できなくなっている事が多いです。引き続き、活動が発展・充実していくようサポートします。 社会教育委員への積極的な意見聴取につとめ、その意見を事業に反映する仕組みづくりを検討します。								



令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	303	事業名	青少年育成啓発事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	□新規 ■継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	128	65	0	0	0	0	65		
事業目的	青少年の自主的な地域活動の促進と、地域における青少年の健全育成を実現するため、子ども会活動支援、ジュニアリーダーの養成を行います。								
事業の 主な 実施状況	<p>① 子ども会活動支援 39千円 (報償金、消耗品費) 「子どもの手による子ども会」の推進のため、次年度の子ども会リーダーおよび保護者を対象とした子ども会リーダー研修会を実施しました。 開催日 令和6年3月3日(日) テーマ 「みんなでつろう子ども会」 「子どもの手による子ども会～今だからこそ大切な地域のつながり～」 参加者 子ども10人、保護者8人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>リーダー研修 レクリエーションの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>保護者研修 グループワークの様子</p> </div> </div> <p>② 地域における青少年健全育成活動支援 26千円 (消耗品費) 地域における青少年健全育成を図るため、地域での見守り活動にかかる「地域安全パトロール研修会」や啓発物の作成を行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>DVDを活用したパトロール研修の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>警察署員も一緒に意見交換</p> </div> </div>								
	担当課による評価			B 進展が大きくない					
<p>【前年度の課題の概要】 子ども会リーダー研修会以外の活動には取り組めませんでした。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 「子ども会リーダー研修会」を開催し、子ども会のリーダー及び保護者を対象に子どもの手による子ども会の作り方などの研修を行いました。 「地域安全パトロール研修会」を行い、警察署員から青少年を取り巻く現状を教えていただくと共に、安全な地域づくりのための意見交換を行い地域での取り組みの必要性を学びました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 部落に子どもが少なくなり、子ども会活動ができないところあります。子ども会リーダー研修会への参加者も年々減少しているため、まずは研修会への参加呼びかけや、自主的な子ども会活動への提案が必要です。課題の解決には至っていないため、「B進展が大きくない」と判断しました。</p>									
今後の 取り組み の 方向	<p>少人数により活動が出来ない子ども会に対して、活動状況の聞き取りや、少人数でも活動ができる提案や支援ができる研修会が必要です。</p>								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	309	事業名	次世代ことうらっ子育み推進事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				①子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	1,937	1,420	0	981	0	0	439		
事業目的	体験教室を通じた世代間交流や、ふるさとの自然や歴史の学びを通して、子どもの心身・想像力・生きる力、ふるさとを愛する心を育てます。地域住民の参画を得て、子どもたちの学校以外の居場所を確保し、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。								
	① 放課後子ども教室 261千円(報償金、消耗品費) 週に2回、放課後に地域住民の参画を得て学習・体験活動(スポーツ、遊び、野菜作り、物づくり等)を実施しました。 「みちくさ」(会場:成美地区公民館) 参加児童数:年間延べ574人		 <p style="text-align: center;">家庭教育講座の様子</p>						
	② 家庭教育講座 103千円(報償金、消耗品費) 町内小・中学校6校と連携し、保護者を対象とした講演会を、まなびタウンを会場に全町民向けの講座を開催しました。 まなびタウンでの講演内容 タイトル:「子どものやる気を引き出す魔法の言葉」 ～声かけを変えると子どもは変わる～ 参加者:39名		 <p style="text-align: center;">子どもパーク パン作りの様子</p>						
	③ ことうら子どもパーク 646千円(委託料) ことうら子どもパーク運営委員会へ委託し、ものづくり(プラ板、パン、ビー玉ラリー、アイシングクッキーなど)の体験教室を年間20回開催しました。 参加児童数:年間延べ266名(平均13.3人/回)		 <p style="text-align: center;">こども塾 礼儀作法(お茶体験)</p>						
	④ 琴浦こども塾 410千円(委託料) 琴浦こども塾運営委員会に委託し、論語を柱としたふるさと教育、礼儀作法など、年間19回実施しました。 令和5年度塾生:15名 開催日:毎月第1・第3土曜日								
	担当課による評価			A 相当程度進展あり					
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 ・こども塾事務局の後継者が見つかっていないため、今後の事業継続に向けて課題が残りました。 ・例年同じ内容だと参加者も固定化するため実施内容を検討し、多くの参加者に経験の場を与えることが必要です。 ・放課後子ども教室を他地区に広めることを進めます。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 ・こども塾事務局の後継者が見つかり、徐々に引継ぎを行い事業が継続できるように繋げました。 ・子どもパークは公民館とタイアップし、会場を変えることでその地域の子どもたちが参加しやすいように見直しました。 ・放課後子ども教室は、赤碕地区公民館のよりみちクラブの再開に向けて説明会を行ったり、開催中の成美地区公民館の「みちくさ」に視察に行き準備を進めました。								
	【担当課による評価の理由】 こども塾では論語を通して昔の人の生き方や教えを学び、礼儀作法や体験活動を通して地域の人との交流を深めることができました。1年間の活動を通してふるさとに関心を持つ子どもの育成ができました。子どもパークは、各地区公民館で開催をしたため参加しやすい環境を提供できました。参加募集の周知不足により定員に達しない事業があったため、今後は広くPRをする方法を考える必要があります。家庭教育では、学校と連携し、保護者を対象に講座の開催ができ家庭の教育力に繋げることができました。								
今後の取り組みの方向	①放課後子ども教室は、赤碕地区公民館のよりみちクラブを再開し、子どもの居場所づくりを進めます。 ②乳幼児期・児童期の保護者を対象に家庭教育講座を開催し、家庭での子育て支援に取り組みます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	587	事業名	無盡庵管理			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	1	社会教育総務費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑦文化・芸術活動の振興				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	266	123	0	0	0	0	123		
事業目的	地域住民の交流施設「無盡庵」として親しまれている旧桐谷家住宅の維持管理を行います。								
事業の 主な 実施状況	無盡庵の維持管理を行いました。 ・消耗品費 1千円 ・光熱水費 73千円 ・点検手数料 4千円 ・建物災害共済保険料 6千円 ・清掃委託料 15千円 ・下水道使用料 24千円								
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】 ①築120年ほどの建物のため、建付け等が悪くなっている箇所があります。 ②施設を適切に管理するため、定期的な見回り、点検を行う必要があります。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 ①既存の鍵での開閉ができなくなってしまったため、鍵の交換を行い、施設管理に努めました。 ②月に1回程度の見回り、点検を実施しました。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 見回り、点検のほか設備の更新を行い、利用者に不便をかけないよう心掛けました。								
	引き続き適時の維持管理を行います。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	320	事業名	一般管理			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	3,021	2,565	0	0	0	0	2,565		
事業目的	各地区の自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図ります。また、施設の適切な修繕と管理を行い、住民に安心・安全な学習環境を提供します。								
事業の 主な 実施状況	① 社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき、町内9地区に公民館を設置、館長・主事を配置し、各種事業展開を通じて目的達成に努めました。 608 千円								
	 <p style="text-align: center;">海で遊ぼう！磯遊び(八橋地区公民館)</p>			 <p style="text-align: center;">健康サロン(上郷地区公民館)</p>					
② 公民館の適切な管理・修繕を行いました。 653 千円 主な修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 浦安地区公民館 屋根ガラス修繕 99 千円 ・ 下郷地区公民館 手摺り設置 67 千円 ・ 安田地区公民館 エアコン修繕 81 千円 									
③ その他 公民館管理等にかかる費用 1,304 千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃委託料 259 千円 ・ 公民館総合補償制度掛け金 774 千円 ・ 除雪機保険料 42 千円 									
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】								
	【前年度課題についての対応及び成果】								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】								
	各地区公民館の適切な維持管理と活動支援が行えたと判断し、A評価としました。								
各地区の公民館での活動が安心・安全に実施できるよう保険加入や施設の適切な維持管理に努めます。									

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	674	事業名	赤碕地区公民館事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	□新規 ■継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	2,612	2,254	0	0	9	0	2,245	公民館使用料	
事業目的	赤碕地区の各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。								
事業の 主な 実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき赤碕地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>【赤碕地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数 37回、参加者数のべ722人 公民館祭、はた織り教室、木目込み人形教室、乳幼児学級、スマホ教室、卓球大会など</p>								
	 公民館祭	 フラワーアレンジメント教室							
 乳幼児学級 毎月第2水曜日開催 (ステンシル教室の様子)	 卓球大会								
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 地域住民の居場所づくりに繋がる事業を進めていきます。 ② 地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討していきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① コロナ禍で中止していた事業を復活させ、地域住民が安心・安全に参加できるよう、時間を短縮したり、事業の開催前後に部屋や道具の消毒を行うなど配慮を持って事業を進めることで参加者数も増えてきました。 ② たくさんの方の地域住民の方に、事業提案・企画・参加していただくことができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>コロナ禍以前の様な事業が開催できたので、A相当程度進展ありと評価しました。今後も地域課題や地域住民のニーズを取り入れた事業展開をしていく必要があります。子どもと地域住民との関わりができる場として、よりみちクラブの再開に向けた取り組みも必要です。</p>								
今後の 取り組み の 方向	<p>① 幅広い年齢層の方たちが共に交流できる居場所づくりとしての事業を進めていきます。 ② 引き続き、地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討していきます。 ③ 子どもの居場所づくりとして「よりみちクラブ」(放課後子ども教室)の再開に向けて体制を整えます。</p>								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	675	事業名	安田地区公民館事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	1,112	1,040	0	0	44	0	996	公民館使用料	
事業目的	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき、安田地区公民館を設置し、公民館の運営及び適正な維持管理を行います。								
事業の主な実施状況	<p>安田地区公民館の利用者が快適かつ、安全に使用できるよう維持管理・運営を行いました。 ※ 令和5年度事業については、企画費「まちづくりセンターモデル事業」で実施しました。</p> <p>運営及び維持管理に要した経費 1,040千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員報酬(公民館運営協議会委員報酬) 222千円 ・光熱水費(電気代、ガス代、水道代) 644千円 ・通信運搬費(電話代) 63千円 ・火災保険料(建物災害共済分担金) 20千円 ・委託料(消防設備点検料) 53千円 ・使用料(下水道使用料) 24千円 ・テレビ受信料(NHK受信料) 14千円 								
事業目的の達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】 ※課題・対応・評価については、企画費「まちづくりセンターモデル事業」に記載</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>【担当課による評価の理由】 公民館の適切な維持管理を行いました。</p>								
今後の取り組みの方向	安田地区公民館の利用者が快適かつ安全に使用できるよう維持管理を行います。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	676	事業名	成美地区公民館事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤大人に対する学びの環境づくり					
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	1,958	1,420	0	0	42	0	0	公民館使用料	
事業目的	成美地区の各自治体と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決を図ります。								
事業の 主な 実施状況	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき成美地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。								
	[成美地区公民館開催事業・講座状況] 開催回数624回 参加人数 延べ6,655人 スマホ教室、防災講習会、成美地区運動会、門松づくりなど								
									
									
担当課による評価			A 相当程度進展あり						
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ①地域・地域団体・学校やこども園との連携が更に深まる取り組みが必要です。 ②他地域の成功に学び、成美地区にとって必要な取り組みを精査し実践することが必要です。 ③幅広い世代間の交流や地域に愛着と誇りをもてる事業を企画し実践することが必要です。 ④成美地区の素晴らしい人材と産物、場所などを今以上に活用し、その魅力を発信していくことが必要です。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 ①公民館運営協議会で先進地視察や地域住民を対象に防災講習などの事業を行いました。 ②従来の事業だけではなく、新しい企画も積極的に行いました。また、運動会や公民館祭など、地域住民の交流を昨年度以上に盛り上げました。 ③公民館便りを充実させ、情報発信に力をいれました。また、地域の人材を講師として事業を行ったり、地域の産物の魅力が感じられるような事業を企画したりして成美の元気と魅力を発信しました。								
	【担当課による評価の理由】 子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象とした事業が展開され、多世代交流や住民同士の交流が深まっているため、A相当程度進展ありと評価しました。また、地域の魅力や困り事を取り上げ、事業化することができました。								
今後の 取り組み の 方向	①引き続き、成美地区にとって必要な取り組みを企画し実践していくことが必要です。 ②助け合いのできる地域を目指して、組織など運営体制を検討していきます。 ③地域の課題解決のために、いまこ食堂や立子谷プロジェクトなど、他団体との連携を図ります。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	677	事業名	以西地区公民館事業			会計区分	一般会計																						
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	□新規 ■継続																					
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費																				
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり																								
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開																											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																						
令和5年度	929	770	0	0	107	0	663	公民館使用料																					
事業目的	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき以西地区公民館を設置し、適正な管理・運営を行います。																												
事業の 主な 実施状況	<p>以西地区公民館の適正な管理を行いました。</p> <p>※令和5年度の事業については、企画費「まちづくりセンターモデル事業」で実施</p> <p>運営及び維持管理に要した経費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">・委員報酬(公民館運営協議会委員報酬)</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">222千円</td> </tr> <tr> <td>・光熱水費(電気代、ガス代、水道代)</td> <td style="text-align: right;">346千円</td> </tr> <tr> <td>・通信運搬費(電話代)</td> <td style="text-align: right;">70千円</td> </tr> <tr> <td>・火災保険料(建物災害共済分担金)</td> <td style="text-align: right;">12千円</td> </tr> <tr> <td>・委託料(消防設備点検料)</td> <td style="text-align: right;">41千円</td> </tr> <tr> <td>・使用料(下水道使用料)</td> <td style="text-align: right;">25千円</td> </tr> <tr> <td>・テレビ受信料(NHK受信料)</td> <td style="text-align: right;">14千円</td> </tr> <tr> <td>・除雪報償金</td> <td style="text-align: right;">19千円</td> </tr> <tr> <td>・燃料費</td> <td style="text-align: right;">10千円</td> </tr> <tr> <td>・みそ加工施設点検手数料</td> <td style="text-align: right;">11千円</td> </tr> </table>									・委員報酬(公民館運営協議会委員報酬)	222千円	・光熱水費(電気代、ガス代、水道代)	346千円	・通信運搬費(電話代)	70千円	・火災保険料(建物災害共済分担金)	12千円	・委託料(消防設備点検料)	41千円	・使用料(下水道使用料)	25千円	・テレビ受信料(NHK受信料)	14千円	・除雪報償金	19千円	・燃料費	10千円	・みそ加工施設点検手数料	11千円
・委員報酬(公民館運営協議会委員報酬)	222千円																												
・光熱水費(電気代、ガス代、水道代)	346千円																												
・通信運搬費(電話代)	70千円																												
・火災保険料(建物災害共済分担金)	12千円																												
・委託料(消防設備点検料)	41千円																												
・使用料(下水道使用料)	25千円																												
・テレビ受信料(NHK受信料)	14千円																												
・除雪報償金	19千円																												
・燃料費	10千円																												
・みそ加工施設点検手数料	11千円																												
																													
	施設周りの環境美化						休日夜間利用者と消防訓練																						
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり																								
	【前年度の課題の概要】																												
	※課題・対応・評価については、企画費「まちづくりセンターモデル事業」に記載																												
【前年度課題についての対応及び成果】																													
【担当課による評価の理由】																													
公民館の適切な維持管理を行いました。																													
今後の 取り組み の 方向	安心・安全に住民活動ができるよう、適切な施設管理を行います。																												

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	678	事業名	八橋地区公民館事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	□新規 ■継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	17,243	16,610	0	0	2	8,400	8,208	公民館使用料、過疎債	
事業目的	八橋地区の各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。								
事業の主な実施状況	<p>【八橋地区公民館開催事業・講座状況】開催回数42回 のべ1,100人 卓球大会、つまみ細工教室、ヨガ教室、第3回海で遊ぼう！磯遊び、公民館まつり まちの保健室、大人の社会見学、八橋ぶらりウォーキング など</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>5月21日 卓球大会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>10月1日 八橋ぶらりウォーキング</p> </div> </div> <p>【八橋地区公民館屋根・樋・軒天改修工事 13,400千円】 経年劣化により修繕が必要となっていた屋根・樋・軒天の改修工事を実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>								
事業目的の達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	<p>【前年度の課題の概要】 ①コロナ以前のように、公民館事業(規模、頻度)を実施していきます。 ②地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討していきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ①4年ぶりとなる卓球大会や、子どもを対象にした海での体験活動など、実施方法を検討しながら開催し、たくさんの参加者に楽しんでもらうことができました。 ②公民館まつりでは、作品展・芸能発表・ニュースポーツ体験など住民の方と連携をとりながら、取り組むことができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 コロナ禍以前の活動が開催でき、地域住民の参加も増え、公民館を拠点とした活動ができましたので、A相当程度進展ありと評価しました。特に、八橋ぶらりウォーキング等、八橋地区の特色を地域住民が主体的に学ぶ取組を実施することができました。</p>								
今後の取り組みの方向	引き続き、地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討していきます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	679	事業名	浦安地区公民館事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	□新規 ■継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	10,036	7,510	0	0	2,206	0	5,304	公民館使用料	
事業目的	浦安地区の各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。								
事業の 主な 実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき浦安地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。</p> <p>旧公民館の老朽化に伴い、浦安地区公民館を「琴浦町複合交流施設(旧社会福祉センター)」内に移転しました。</p> <p>【浦安地区公民館開催事業・講座状況】開催回数 17回、参加者数 のべ 1,167人 そば打ち体験教室、健康マージャン教室、総合スポーツ大会、公民館まつりなど</p>								
	 <p>4月に移転セレモニーを行いました。</p>	 <p>毎月第1・3水曜日 健康マージャン教室</p>	 <p>そば打ち体験教室(7月、12月実施)</p>						
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>①地域の人が集う場所を目指した事業展開を進める必要があります。</p> <p>②地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討していきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>①コロナ禍で縮小していた事業の復活を試みるため、地域活動への理解・関心を持っていただける事業内容を移転後の施設にあわせて地域の方が集う場所を目指して再編し、施設規模相応の事業展開を行いました。</p> <p>②琴浦町複合交流施設への移転により、公民館の利用者数は令和4年度(旧館)の約2.3倍となりました。単純な数値の比較は出来ませんが、新館の規模に応じた事業を企画・実施することが出来たと考えます。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>琴浦町複合交流施設内への移転に伴い、公民館事業を現環境に合わせて再編し、公民館を拠点とした活動ができたので、A相当程度進展ありと評価しました。今後も地域住民が参加しやすい事業の計画・実施をしていく必要があります。</p>								
今後の 取り組み の 方向	引き続き、地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討していきます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	680	事業名	下郷地区公民館事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	1,316	1,152	0	0	0	0	1,152		
事業目的	下郷地区の各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。								
事業の 主な 実施状況	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき下郷地区公民館を設置、館長・主事を配置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図りました。								
	【下郷地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数 35回、参加者数のべ 1,406人 防災講座、まちの保健室、町民運動会、健康マーじゃんなど								
									
	7月15日 防災講座			まちの保健室(7月～11月 5回開催)					
									
10月1日 町民運動会			毎月1回開催 健康マーじゃん教室						
担当課による評価				A 相当程度進展あり					
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ①コロナ禍前の様な公民館事業に取り組み、地域住民の居場所づくりに繋がる事業を進めます。 ②地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画すると共に、住民参加型の運営体制を検討します。 ③地域住民が一体となり地域防災に関心を持ち、安心・安全なまちづくりへの意識向上を目指す。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 ①コロナ禍前の公民館事業に取り組むことができました。地域住民の居場所づくりに繋がる事業も開催できました。 ②地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を進める事ができました。住民参加型の運営体制を検討します。 ③ワークショップを通じて地域防災に関心を持ち、安心・安全な町づくりへの意識向上を目指す事ができました。								
	【担当課による評価の理由】 コロナ禍で開催を中止していた公民館事業をコロナ以前と同程度実施することができたので、A相当程度進展ありと評価しました。現状の事業を大切にしながら、幅広い世代間でコミュニケーションが取れる機会を提供できるような事業を展開していく必要があると考えます。								
今後の 取り組み の 方向	①地域住民の居場所づくりに繋がる事業を進めます。 ②地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画すると共に、住民参加型の運営体制を検討します。 ③地域住民が一体となり地域防災に関心を持ち、安心・安全なまちづくりへの意識向上を目指します。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	681	事業名	上郷地区公民館事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	1,097	956	0	0	0	0	956		
事業目的	上郷地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合うような環境を醸成しつつ、住民の教養向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図ります。								
事業の 主な 実施状況	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき上郷地区公民館を設置。館長・主事を配置し各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養向上、生活文化の振興等を図りました。 【上郷地区公民館開催事業・講座状況】 開催回数 75回 参加者数 のべ 1,582人								
									
	7月15日 防災講座(下郷地区公民館共催)			9月15日 プロから教わる和食料理教室					
									
10月8日 住民レクリエーション交流会			10月29日 多肉植物バラエティアレンジメント教室						
事業目的の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】 ①地域住民(役員・スタッフ)の協力を仰ぎながらコロナ禍以前の様な事業展開を図ります。 ②地域課題や住民のニーズに応じた事業を企画し、住民参加型の運営体制を検討します。 ③地域住民が防災に関心を持ち、一丸となって防災意識の向上を目指します。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 ①地域住民(役員・スタッフ)としっかり話し合い連携し、コロナ禍以前の様な事業に取り組みました。 ②地域課題や住民のニーズに応じた事業展開、住民参加型の運営体制に務めました。 ③防災講座(下郷地区公民館共催)を開催し、地域防災の取り組みを推進しました。(結果、各部落に持ち帰り集落毎に防災講座を開催する事に繋がりました)								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 コロナ禍以前の活動が開催でき、地域住民の参加も増え、公民館を拠点とした活動が出来ました。今後も地域課題や住民ニーズに合わせた内容に取り組み、幅広い年齢層の部落住民の学習機会の提供を広げることが必要です。								
	①たすけあい交通の実証実験を実施し、結果を基にR7年度からの実施に向け準備を進めます。 ②引き続き地域防災に関心を持ち、事業をとおして安心安全なまちづくりへの意識向上を目指します。 ③地域課題や住民のニーズに応じた事業展開に努めます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	682	事業名	古布庄地区公民館			会計区分	一般会計																		
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費																
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑤大人に対する学びの環境づくり																				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開																							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																		
令和5年度	716	654	0	0	0	0	654																		
事業目的	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき古布庄地区公民館を設置し、適正な管理・運営を行います。																								
事業の 主な 実施状況	<p>社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき古布庄地区公民館を設置し、館長・主事を配置し、適正な管理・運営を行いました。</p> <p>※活動については、企画費「まちづくりセンターモデル事業交付金」を活用し、活動を行いました。</p> <p>運営及び維持管理に要した経費</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">・委員報酬(公民館運営協議会委員報酬)</td> <td style="text-align: right;">222千円</td> </tr> <tr> <td>・光熱水費(電気代、ガス代、水道代)</td> <td style="text-align: right;">225千円</td> </tr> <tr> <td>・通信運搬費(電話代)</td> <td style="text-align: right;">60千円</td> </tr> <tr> <td>・火災保険料(建物災害共済分担金)</td> <td style="text-align: right;">66千円</td> </tr> <tr> <td>・委託料(消防設備点検料)</td> <td style="text-align: right;">34千円</td> </tr> <tr> <td>・使用料(下水道使用料)</td> <td style="text-align: right;">26千円</td> </tr> <tr> <td>・テレビ受信料(NHK受信料)</td> <td style="text-align: right;">14千円</td> </tr> <tr> <td>・鍵保管報償金</td> <td style="text-align: right;">7千円</td> </tr> </table>									・委員報酬(公民館運営協議会委員報酬)	222千円	・光熱水費(電気代、ガス代、水道代)	225千円	・通信運搬費(電話代)	60千円	・火災保険料(建物災害共済分担金)	66千円	・委託料(消防設備点検料)	34千円	・使用料(下水道使用料)	26千円	・テレビ受信料(NHK受信料)	14千円	・鍵保管報償金	7千円
・委員報酬(公民館運営協議会委員報酬)	222千円																								
・光熱水費(電気代、ガス代、水道代)	225千円																								
・通信運搬費(電話代)	60千円																								
・火災保険料(建物災害共済分担金)	66千円																								
・委託料(消防設備点検料)	34千円																								
・使用料(下水道使用料)	26千円																								
・テレビ受信料(NHK受信料)	14千円																								
・鍵保管報償金	7千円																								
事業目的の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり																				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p style="text-align: center;">* 課題・対応・評価については、企画費「まちづくりセンターモデル事業」に記載。</p>																								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>【担当課による評価の理由】 公民館の適切な維持管理を行いました。</p>																								
今後の 取り組み の 方向	安心・安全に住民活動ができるよう、適切な施設管理を行います。																								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	321	事業名	町内文化財保護事業			会計区分	一般会計													
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続												
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費											
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑥歴史文化資源の活用と継承																
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開																		
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)												
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源													
令和5年度	5,242	3,910	56	975	0	0	2,879													
事業目的	町内の文化財を後世に継承するため文化財の保存・保護及び活用、公開を行い、優れた郷土の歴史や文化を理解していただくことで郷土愛の醸成に資します。																			
事業の 主な 実施状況	① 町内文化財保存・保護、活用に係る取組として以下の事業を実施しました。 ・文化財保護審議会 2回 30千円 ・町内文化財巡視 年26回 120千円 ・特別史跡齋尾廃寺跡出土遺物調査 289千円 ・町内文化財管理(町有地草刈、管理委託等) 1,572千円 ・その他消耗品等 339千円																			
	② 町内文化財の保存・活用に係る事業に対し、以下の補助金を交付しました。 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">補助金の名称</th> <th style="width: 20%;">金額(円)</th> <th style="width: 40%;">交付対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化財建物公開・活用促進事業</td> <td style="text-align: right;">500,000円</td> <td>河本家保存会</td> </tr> <tr> <td>琴浦町登録有形文化財建造物修理補助金</td> <td style="text-align: right;">1,000,000円</td> <td>金平家住宅</td> </tr> <tr> <td>無形文化財補助金</td> <td style="text-align: right;">60,000円</td> <td>逢東盆踊り保存会・三本杉盆踊り保存会・以西踊り保存会</td> </tr> </tbody> </table>									補助金の名称	金額(円)	交付対象	文化財建物公開・活用促進事業	500,000円	河本家保存会	琴浦町登録有形文化財建造物修理補助金	1,000,000円	金平家住宅	無形文化財補助金	60,000円
補助金の名称	金額(円)	交付対象																		
文化財建物公開・活用促進事業	500,000円	河本家保存会																		
琴浦町登録有形文化財建造物修理補助金	1,000,000円	金平家住宅																		
無形文化財補助金	60,000円	逢東盆踊り保存会・三本杉盆踊り保存会・以西踊り保存会																		
	担当課による評価				A 相当程度進展あり															
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ① 経年劣化が認められる町内文化財や、人口減、高齢化等により、地域で取り組まれてきた文化財の保護活動が手薄になる地域もあることから巡視等を拡充する必要があります。 ② 町内文化財保護の取組と併せ、情報発信などの活用事業を進めていきます。																			
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 経年劣化や災害により毀損した文化財の保存修理を実施しました。また、巡視等の強化により毀損文化財の対処なども迅速に対応できました。今後も所有者等と連携し、文化財巡視の強化や調査など文化財の状況把握、対処、管理を適切に行う必要があります。 ② 国特別史跡齋尾廃寺跡の発掘調査説明会など普及啓発を行いました。																			
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 文化財巡視員の定期点検のほか、強風時等での職員による巡視など回数を増やしたため、災害による毀損文化財の対処なども迅速に対応できました。 文化財の情報発信、普及啓発は発掘調査事業にとどまったため、他の調査事業の情報発信に今後努めます。																			
	人口減、高齢化等により、一部の地域で、これまで地域で取り組まれてきた文化財の保護活動に課題が生じてきています。今後の支援のあり方(拡充)など他の自治体の取り組みなども参考に検討したいと思います。																			

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	322	事業名	文化財活用啓発事業(文化財センター)			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係		事業区分	□新規 ■継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑥歴史文化資源の活用と継承				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	155	131	0	0	0	0	131		
事業目的	地域郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集保管、展示、活用し町民の利用に供し、地域社会の文化向上を図るとともに、文化財保護の活動拠点として活用します。								
事業の 主な 実施状況	① 旧古布庄小学校で保管している民俗資料について、収蔵室の整理作業を行いました。令和6年度中に公開活用(収蔵展示、体験等)予定。 また、民俗資料調書に基づき、著しい破損のため復元・修理ができない資料、現在も流通している現代資料など文化財として価値付けが困難な資料についても、一部整理作業を行いました。								
				➡					
			➡						
収蔵室整理前			収蔵室整理後						
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】 民俗資料の調査を行い、文化財的価値付けが困難な資料などの整理を進める必要があります。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 著しい破損資料、文化財的価値付けが困難な資料、収蔵室に保管できていなかった資料の整理を行いました。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 民俗資料の整理を行い、収蔵展示の形態で陳列を行うことができたほか、一部の民俗資料の修復等も行いました。								
	引き続き民俗資料の調査、整理を進めていきます。 昔の道具体験等、資料の公開活用を進めていきます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	323	事業名	民俗資料館管理		会計区分	一般会計			
担当課	社会教育課		担当係	学芸文化係	事業区分	□新規		■継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑥歴史文化資源の活用と継承				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	292	289	0	0	0	0	289		
事業目的	民俗資料や埋蔵文化財資料等をとおして文化財の大切さを周知し、後世に伝えます。								
事業の 主な 実施状況	① 資料館見学のガイダンスや出前授業などを行いました。 ・来館者133人以上 ・出前授業 聖郷小学校5年生 2回								
									
	民生委員研修			寿大学					
									
昔の道具とくらしの展示			昔の道具とくらしの展示						
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
	【前年度の課題の概要】 小学校の見学、体験の受入れを進めるため、小学生の学習「昔の道具とくらし」に合わせた資料展示のあり方の検討が必要です。								
	【前年度課題についての対応及び成果】 小学校の見学、体験学習用に展示資料の追加等を行いました。								
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 小学校の見学、体験学習の内容に合わせ、展示資料の追加するなど来館者のニーズに対応できました。								
	引き続き小学生の学習「昔の道具とくらし」に合わせた資料展示や体験学習用の資料の充実を図ります。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1440	事業名	特別史跡齋尾廃寺跡指定地買上げ事業			会計区分	一般会計			
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	3	文化財保護費	
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑥歴史文化資源の活用と継承					
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源			
令和5年度	11,775	11,721	8,470	586	0	1,200	1,465		一般補助施設整備等事業債	
事業目的	史跡の公有化を行うことで、遺跡の保護・活用・整備を図ります。									
事業の 主な 実施状況	① 特別史跡齋尾廃寺跡について、今後の保存活用のため、史跡指定地内の民有地の公有地化事業を実施しました。									
	対象: 令和2年度指定地 (令和2年10月6日告示) 面積: 3069.22㎡ 筆数: 6筆 土地購入費: 8,901千円 補償費: 2,820千円									
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成					
	【前年度の課題の概要】 ① 令和2年度に追加指定された指定地について早期に公有地化を図る必要があります。									
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 令和2年度の追加指定地についての公有地化は終了しました。									
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 国の特別史跡に追加指定された民有地についてはすべて、公有地化を行い保護を進めることができました。									
	令和5年度にも205.7㎡の追加指定が告示されましたので、早期に公有地化事業を進める必要があります。									

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	324	事業名	町内遺跡発掘調査事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	4	埋蔵文化財発掘調査費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑥歴史文化資源の活用と継承					
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	2,633	2,620	1,300	650	0	0	670		
事業目的	町内埋蔵文化財の保存と活用。 史跡現況の確認と今後の史跡整備に向けた情報収集のため、国特別史跡齋尾廃寺跡の発掘調査を実施します。								
事業の 主な 実施状況	① 史跡現況の確認と今後の史跡整備に向けた情報収集のため、国特別史跡齋尾廃寺跡の発掘調査を実施しました。 遺跡名：特別史跡齋尾廃寺跡 時代：古代 目的：史跡の保護と整備 調査期間：令和5年8月21日～12月27日 調査面積：263.29㎡ 【主な経費】 委託料(シルバー人材)：1,916千円 借上料(発掘機材)：244千円 需用費(消耗品ほか)：259千円								
		 <p style="text-align: center;">齋尾廃寺北東の内郭溝俯瞰写真</p>  <p style="text-align: center;">現地説明会の様子</p>							
	担当課による評価				B 進展が大きくない				
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】								
	特別史跡齋尾廃寺跡について、町内外へ情報発信、普及啓発が不十分であったため、再調査で得られた情報を積極的に発信していきます。								
	【前年度課題についての対応及び成果】								
	特別史跡齋尾廃寺跡の情報発信、普及啓発について、発掘調査の説明会を行いました。史跡整備に向けた情報を予定通りに得ることができませんでした。								
	【担当課による評価の理由】								
	特別史跡齋尾廃寺跡発掘調査では、掘削土量が想定より多かったことから、予定していた調査区の数を調査することができなかったため、史跡整備に向けた情報を得ることができませんでした。また、情報発信では発掘調査の説明会を行いました。普及啓発を含め不十分でした。								
今後の 取り組み の 方向	特別史跡齋尾廃寺跡について、町内外へ更なる情報発信、普及啓発のため、調査成果を適時発信していきます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	325	事業名	生涯学習センター管理費			会計区分	一般会計	
担当課	社会教育課		担当係	生涯学習係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	5
まちづくりビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり			⑤大人に対する学びの環境づくり				
重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源	
令和5年度	57,258	55,862	0	0	3,580	14,800	37,482	使用料 2,970千円、駐車場使用料 363千円、コピー代247千円、過疎債14,800千円

事業目的 子どもから高齢者までのすべての町民の生涯にわたる学びと交流の場となるよう、生涯学習センターの管理運営を適切に行います。

① 利用状況
生涯学習センターの管理運営を行い、町民等の生涯学習振興を図りました。

項目 年度	利用件数(件)			利用者数(人)			使用料(千円)
	町内	町外	合計	町内	町外	合計	
令和3年度	1,152	268	1,420	19,116	5,424	24,540	2,136千円
令和4年度	1,186	271	1,457	19,502	6,653	26,155	2,533千円
令和5年度	1,011	296	1,307	14,502	8,069	22,571	2,967千円

② 施設管理費(13,201千円)
施設の保守点検や清掃等を行い、環境整備に努めました。また、法令で定められている点検を行い、安心・安全な施設管理に努めました。

主要委託先

業務内容	金額(千円)	委託先
清掃委託	3,939千円	(株)アベックス
警備委託	3,894千円	(株)協同警備保障
空調保守点検	2,123千円	(株)足立水道設備
電気工作物点検	367千円	(一財)中国電気保安協会
エレベーター保守点検	666千円	(株)日立ビルシステムズ
消防用施設点検	612千円	(株)協同警備保障

③ 燃料費、光熱水費(19,488千円)
利用者が快適に生涯学習センターを利用できるように、燃料費、光熱水費の支払を行いました。

業務内容	金額(千円)	支払先
燃料費	7,799千円	遠藤石油(株)、JA中央
光熱水費	11,790千円	(株)とっとり市民電力、東伯ガス産業(株)、琴浦町水道管理者

④ 空調設備改修設計費(16,095千円)
生涯学習センターの空調設備等の改修工事費を算出するため、設計業務を委託しました。令和6年度に改修工事を行います。



東側駐車場: 熱冷却塔(交換)



地下機械室: 冷温水発生機(交換)

	担当課による評価	A 相当程度進展あり
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 簡易な施設修繕については、年間を通して実施しましたが、空調やエレベーターなど老朽化によるセンター内部の設備等の修繕には取り掛かることができませんでした。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 空調設備の改修を行うため、実施設計業務を発注し、改修工事費を算出しました。また、昇降機の改修費用を当初予算に反映させました。令和6年度に改修工事を行います。</p> <p>【担当課による評価の理由】 空調設備改修工事発注にむけた詳細設計業務の発注、令和6年度工事に向けて一定の準備をすることができましたが、昨年度と同様に工事発注にまでは至りませんでした。</p>	
今後の取り組みの方向	<p>令和6年度に空調設備、自動ドア、エレベーターの改修を行います。また、現在利用停止となっている地下駐車場に関しても令和6年度に泡消火設備の設計を行い、設計が終わり次第、改修を行う予定です。さらに、令和7年度以降、早期に照明のLED化等その他必要な改修を行い、今後15～20年間、安心・安全に利用できる施設を目指します。</p> <p>次の段階として、将来の町の人口規模や住民ニーズに合った施設の在り方について検討を進め、琴浦町の生涯学習及び交流の拠点として、利用者に親しまれる施設整備を検討します。</p>	

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	329	事業名	図書館活動費			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	図書館		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	6	図書館費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	19,800	19,708	0	0	353	0	19,355	寄付金50千円、森林環境譲与税基金繰入金303千円	
事業目的	図書資料の充実を図り、知の拠点として町民の「調べたい」「学びたい」を支えるとともに、町民の居場所、課題解決や生涯学習の場を提供します。また、小・中学校、こども園、公民館などと連携し、本に親しむ機会の提供や読書活動の推進を図ります。								
事業の主な実施状況	① 年間を通じて図書館利用を図りました。図書購入費 5,700千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間来館者数 48,675人 ・ 年間貸出者数(個人) 20,014人 ・ 年間貸出冊数 83,731冊 ・ 年間購入図書 2,532冊/視聴覚資料 41点 ・ まちなか図書館 4カ所(以西地区、安田地区、成美地区、古布庄森の楽園) ・ 団体貸出 22カ所 ② 子どもの読書推進として下記のとおり実施しました。ブックスタート等事業費 607千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第3次子ども読書活動推進計画の策定 ・ ブックスタート 6カ月児：年5回 89人参加、3歳児：年7回 92人参加 ・ おはなし会(毎週土曜日)本館 198人参加、分館 117人参加 ・ 来館おはなし会 全1回 32人参加 ・ 出前おはなし会 ことらこども園 10回(199人)、アトリエ・ラボ 2回(14人) 赤碕地区公民館 1回(9人) ・ 読みメンによるおはなし会 事前講習会(20名参加)、おはなし会(15名参加) ・ 木のおもちゃ貸出 15種類(合計40セット) 150回利用 ③ 図書館利用促進として下記のとおり実施しました。イベント事業費 74千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 季節のイベント 4回(子どもの読書週間、夏休み、秋の読書週間、クリスマス) ・ 講演会、講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> 「楽しく学ぶ!認知症予防講座」 20人参加 「古文書講座～古文書で知る郷土～」 2回開催 42人参加 ・ 映画会 10回開催 97人参加 ・ 古本市 各館1回開催 ・ レファレンスサービスの実施 本館：68件、分館：17件 ・ テーマ展示 <ul style="list-style-type: none"> 「読書バリアフリー啓発パネル展」 「船上小学校おすすめの本」 「中学生・高校生ポップコンテスト優秀作品展」 など ④ 利用しやすくするため、環境整備に努めました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 除籍作業を行い、書架の整理をしました。 ・ 中高生向けの棚の拡張と、「えっと健康 ちいとチャレンジ! GGコーナー」の新設を行いました。 								
事業目的の達成状況	担当課による評価			A 相当程度進展あり					
	【前年度の課題の概要】 <ul style="list-style-type: none"> ① 書架整理と環境整備の継続と、利用者のニーズに合わせた書架の拡張や内容の充実が必要です。 ② 感染症対策の制限緩和を考慮しながら、読書環境や行事の見直しを行い、図書館の利用促進を図ります。 【前年度課題についての対応及び成果】 <ul style="list-style-type: none"> ① 継続して除籍作業に取り組み、収蔵可能冊数に近づきました。中高生向けとシニア向けの棚の拡張・新設を行い環境の整備に努めたことで利用の促進につながりました。 ② 事前申込みや人数制限をなくした行事を増やし、おはなし会や映画会は参加者が増加しました。 【担当課による評価の理由】 除籍により棚にゆとりができたことで、必要なコーナーの拡張や、新設を行うことができました。また、中高生向けのイベントや、オンライン配信を活用した講座を実施するなど新たな取り組みができたため、A相当程度進展ありと判断しました。								
今後の取り組みの方向	第3次琴浦町子ども読書活動推進計画をもとに、子どもが読書を楽しむきっかけをつくり、進んで読書活動を行うことができる環境整備に努めます。 読書に障がいのある方が利用しやすい形式で本の内容にアクセスできるよう取り組みます。 生涯学習センター空調改修による本館の臨時休館中は、赤碕分館の環境整備などを行います。								

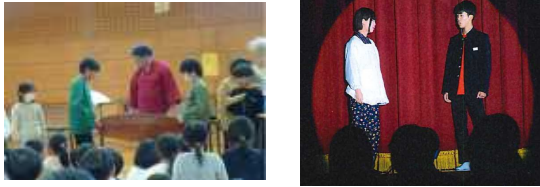
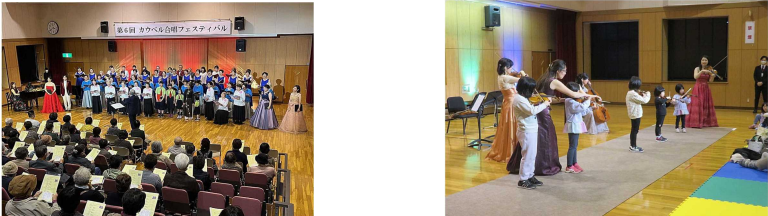



「船上小学校おすすめの本」



「GGコーナー」

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	311	事業名	文化振興事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	7	文化芸術振興費
まちづくりビジョン	②子ども大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑦文化・芸術活動の振興				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	2,892	1,890	0	765	0	0	1,125	市町村創生交付金	
事業目的	町内の文化芸術団体等を支援するほか、連携により、文化芸術活動の活性化を図るとともに、県内文化芸術振興団体等とも連携することにより、町民が文化芸術に親しむ機会の充実を行い、町内文化振興を図ります。								
事業の 主な 実施状況	① 地域、学校への文化・芸術派遣事業 60千円 地域や学校へ体験講座や県内の文化・芸術家を派遣することで、子ども達への文化・芸術体験の機会設定につながりました。 文化・芸術家の派遣 1回 舞台機材体験 1回								
									
	② 補助金交付 470千円 地域文化活動団体が行う発表・鑑賞・体験活動に対して補助金を交付し、文化活動振興を図りました。 文化芸術振興補助金 桂南光独演会(NPO法人花本美雄文化振興会) 文化芸術振興補助金 ザ・ラニアルコーラス アートスタート事業補助金 カングルーのポケットコンサート(NPO法人花本美雄文化振興会) 響け！カウベル合唱団活動補助金 通年 4名 文化活動体験講座開催費補助金 竹細工教室ほか								
	③ 鳥取県文化振興財団連携事業 334千円 鳥取県にゆかりのあるアーティストによる公演を実施しました。 1回 ※合唱フェスティバルと合同開催。 親子で楽しめる公演を実施しました。 1回 ※きっずコンサート								
									
④ 文化芸術関係団体の発表活動支援 1,026千円 琴浦秋の芸能祭の開催支援 令和5年11月19日(日)来場者134名 出演者91名(13団体) カウベル合唱フェスティバルの開催支援 令和5年11月12日(日)来場者122名 出演者61名(5団体) 琴浦町民文化祭の開催支援 令和5年11月3日～5日 来場者893名(23団体、8個人、4校)									
									
担当課による評価					A 相当程度進展あり				
【前年度の課題の概要】 文化芸術団体の活動促進に向け、文化芸術団体の更なる活動支援が必要です。									

<p>事業目的 の 達成状況</p>	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 団体と連携し、芸能、合唱、展示とも発表活動機会を確保することができました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 各団体と連携し、文化祭、芸能祭、合唱フェスティバルを開催することができました。また、鳥取県文化振興財団との連携事業も開催しました。</p>
<p>今後の 取り組み の 方向</p>	<p>鳥取県文化振興財団と協定を結び、当財団との連携事業を進め、町の文化芸術振興に取り組みます。文化芸術団体の更なる活動支援を行います。</p>

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	817	事業名	カウベルホール管理			会計区分	一般会計																				
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係		事業区分	□新規 ■継続																			
予算区分	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	財務管理費																		
まちづくりビジョン	⑤安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				⑤公共施設の集約・複合化による質の高い町民サービスの提供																						
	重点項目																										
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																			
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																				
令和5年度	2,084	1,967	0	0	32	0	1,935	農産加工施設使用料32千円																			
事業目的	カウベルホールの施設の維持管理を行います。																										
事業の 主な 実施状況	<p>カウベルホール施設の維持管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 906千円 ・修繕料 385千円 ・火災保険料 79千円 ・委託料 555千円 ・使用料(下水道) 42千円 <p>修繕料の内訳</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>消火栓ホース取替</td><td style="text-align: right;">114千円</td></tr> <tr><td>誘導灯/バッテリー取替</td><td style="text-align: right;">32千円</td></tr> <tr><td>消火器取替</td><td style="text-align: right;">143千円</td></tr> <tr><td>自動火災報知設備修繕</td><td style="text-align: right;">30千円</td></tr> <tr><td>消火ポンプ制御盤電流計取替</td><td style="text-align: right;">66千円</td></tr> </table> <p>委託料の内訳</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>機械警備(火災監視)委託料</td><td style="text-align: right;">53千円</td></tr> <tr><td>消防用設備保守点検</td><td style="text-align: right;">220千円</td></tr> <tr><td>地下オイルタンク点検委託料</td><td style="text-align: right;">82千円</td></tr> <tr><td>電気保安業務委託料</td><td style="text-align: right;">200千円</td></tr> </table>									消火栓ホース取替	114千円	誘導灯/バッテリー取替	32千円	消火器取替	143千円	自動火災報知設備修繕	30千円	消火ポンプ制御盤電流計取替	66千円	機械警備(火災監視)委託料	53千円	消防用設備保守点検	220千円	地下オイルタンク点検委託料	82千円	電気保安業務委託料	200千円
消火栓ホース取替	114千円																										
誘導灯/バッテリー取替	32千円																										
消火器取替	143千円																										
自動火災報知設備修繕	30千円																										
消火ポンプ制御盤電流計取替	66千円																										
機械警備(火災監視)委託料	53千円																										
消防用設備保守点検	220千円																										
地下オイルタンク点検委託料	82千円																										
電気保安業務委託料	200千円																										
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり																						
	<p>【前年度の課題の概要】 消防用設備保守点検における指摘事項の改善が必要です。</p>																										
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】 消防設備について必要な更新をしました。</p>																										
今後の 取り組み の 方向	<p>【担当課による評価の理由】 点検指摘事項の更新ほか、必要な法定点検を行い、適切に管理を行いました。</p>																										
	<p>サウンディング調査の結果により今後の対応が変わりますが、現時点では引き続き法定点検やピアノの管理等、適切な維持管理が必要です。</p>																										

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	333	事業名	一般管理			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課		担当係	社会体育係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費
まちづくりビジョン	⑥町民の声が届きともに創る未来のまちづくり				②町民参画・協働の仕組みづくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	144	143	0	0	0	0	143		
事業目的	社会体育に関する一般的な管理運営を行います。								
事業の主な実施状況	社会体育に関する一般的な管理運営を行いました。 消耗品費 83 千円 (パフォーマンスチャージ、消耗品等) 通信運搬費 60 千円 (郵券)								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 【前年度課題についての対応及び成果】 【担当課による評価の理由】 適切な管理運営を行うことができました。								
今後の取り組みの方向	引き続き、社会体育に関する適切な管理運営を行います。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1320	事業名	ことうら健康寿命延伸活動(社会教育課)			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				②誰でも参加できる居場所づくり・生きがいづくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	54	54	0	35	0	0	19		
事業目的	子どもが高齢者ボランティアやスタッフとの交流の中で、創造的・積極的に外遊びを楽しみ、また健康遊具の活用などにより運動習慣定着を促すと共に、健康寿命延伸に寄与します。								
事業の 主な 実施状況	プレーパークどんぐり開催 [参加人数]合計97人 毎月第4日曜日に開催しました。		 スラックラインもボランティアが補助します						
	[活動内容] 自由遊び、鬼ごっこ、木工遊び、釘打ち、水鉄砲 巨大シャボン玉、スラックライン、ハンモック、たき火 チャンバラ、凧作り、凧あげ、マシュマロ焼き 焼き芋、そり遊び、雪だるま作りなど								
	[スタッフ] プレーリーダー1名、高齢者ボランティア3名で活動しました。		 たき火をしながら話しがはずみず  子どもも大人も一緒になって遊びます						
事業目的 の 達成状況	担当課による評価			B 進展が大きくない					
	【前年度の課題の概要】 <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて活動ができましたが、スタッフや参加者の自主的な運営になりませんでした。 ・町公式ライン等のSNSを活用したPRができませんでした。 								
	【前年度課題についての対応及び成果】 <ul style="list-style-type: none"> ・職員が出れない時には事前にスタッフをお願いをし、自主的な運営ができました。 ・町公式ラインや、町ホームページを活用してPRをしました。 								
	【担当課による評価の理由】 <ul style="list-style-type: none"> ・開催のPRを、町公式ラインや町ホームページの活用ができましたが、直前になってからのお知らせだったり、チラシのように各家庭に情報が届かなかったため事業の浸透ができませんでした。 ・高齢者ボランティアに会うのを楽しみに参加する子もあり、またスタッフも子どもと遊ぶことを楽しみに参加され、交流するという目標の部分は達成できました。 								
今後の 取り組み の 方向	プレーパークどんぐりも6年間実施し、保護者から要望のある「雨の日の遊び場」と合わせ、事業のあり方を検討しています。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書


事業番号	1483	事業名	スポーツ・運動推進事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育振興費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				②誰でも参加できる居場所づくり・生きがいづくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	15,372	11,569	0	0	2,080	4,500	4,989	施設利用料 過疎債	
事業目的	・町スポーツ事業を振興し、スポーツに親しみ、町民の健康づくりにつなげます。 ・全国大会などで優秀な成績を収めた方を表彰し功績を讃え、今後の活力につなげます。 ・総合体育館トレーニングルームにコンディショニング・コーディネーター及び町民トレーナー、フィットネストレーナーを配置し、若年層や働き盛り世代から高齢者にわたる広い世代の運動習慣の定着につなげます。 ・スポーツ推進委員との連携やウォーキングの推奨により、町民の運動習慣の定着と介護予防及び健康寿命延伸に寄与します。また令和6年度の全国ねりんピック鳥取大会ソフトボール会場として実行委員会の開催や視察等準備を行います。								
事業の主な実施状況	① 感染・熱中症対策を講じて大会・教室事業を開催し、健康づくり及び仲間づくりを奨励しました。 19大会・6教室 事業参加1,335人、スポーツ協会表彰(表彰 66人) 町スポーツ協会補助金 2,009 千円 ② 琴浦町スポーツ少年団 15団体の活動支援を年間を通じて行い、競技力アップと健全育成に取り組みました。 登録人数 338人(前年比 15人増) 町スポーツ少年団補助金 977 千円 ③ トレーニングルーム運営 谷川コンディショニングコーディネーターと町民トレーナー、フィットネストレーナーを配置し、トレーニングルーム指導、各種教室(体幹教室、ストレッチ教室講座)、スポーツ少年団等への実技指導を充実しました。 R5トレーニングルーム利用人数23,015人(前年比 4,325人増) コンディショニング・コーディネーター委託料 4,548 千円 町民トレーナー他報償費 624 千円 ④ スポーツ推進委員による運動習慣の定着 ・体力測定会(4回58人) ・えんじょいスポーツ(10回 121人) 健康づくりと親子のふれあいの場の提供を行いました。 ・出張指導(7回) 町スポーツ推進委員報酬 1,211 千円 費用弁償(中国・全国研修会) 245 千円 消耗品費 164 千円 ⑤ ガイナーレ・ホームタウンデー(12/2最終戦) 応援バスツアー(1台)と出店(2店舗)で本町をPRできました。 トレーニングルーム利用の様子 ⑥ ねりんピック実行委員会 令和6年度開催に備え、実行委員会を立ち上げ、R5開催の愛媛大会の視察等を行いました。 ねりんピック実行委員会補助金 300 千円 ⑦ 部活動の地域移行に向けた検討会 琴浦町部活動在り方検討会を立ち上げ、検討会を2回開催し、今後の方向性を検討しました。 会議出席者報償費 26 千円								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的の達成状況	【前年度の課題の概要】 トレーニングルームや体幹教室を活用し、働き盛り世代の健康づくりを進める必要があります。 スポーツ協会事業への参加者が減少傾向にあるため立て直しが必要です。 【前年度課題についての対応及び成果】 トレーニングルームや教室の利用者が増加し、運動習慣の定着につながっています。 スポーツ協会の補助金や運営、事業の見直しについて協議を始めましたが、まとまっていません。 【担当課による評価の理由】 スポーツ協会運営については今後も継続して協議が必要です。 ねりんピック実行委員会や部活動地域移行については組織化し、協議を進めることができました。								
今後の取り組みの方向	・ねりんピックソフトボール開催年であり、大会の円滑な運営と成功に向けて準備を進めます。 ・スポーツ協会の補助金や運営の見直しについて、継続した協議が必要です。 ・部活動地域移行については、まずは部活動指導員など地域連携を進めながら、中体連事業の全国的な流れも踏まえ、地域を巻き込んだ検討が必要と考えます。								



令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	349	事業名	社会体育施設管理			会計区分	一般会計																																																																																																										
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																																																																																										
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費																																																																																																								
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				②誰でも参加できる居場所づくり・生きがいづくり																																																																																																												
	重点項目	—																																																																																																															
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																																																																									
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																																																																										
令和5年度	3,551	2,455	0	0	1,101	0	1,354	施設利用料																																																																																																									
事業目的	武道館(東伯・赤碕)、各地区体育施設(古布庄・安田・以西)等の維持管理を行います。																																																																																																																
事業の 主な 実施状況	主にトイレ等清掃管理、老朽箇所等の修繕を行いました。 主な施設: 旧安田小学校(体育館、グラウンド)、旧以西小学校(体育館、グラウンド)、 東伯中学校・船上小学校グラウンド、赤碕・東伯武道館等																																																																																																																
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">報償金</td> <td style="width: 20%;">93 千円 (旧安田小、旧以西小各体育館トイレ清掃)</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>105 千円</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>856 千円</td> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">電気代 801千円</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">ガス代 33千円</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 10px;">水道代 22千円</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td colspan="9">676 千円 (赤碕武道館網戸修繕、聖郷小学校防球ネット修繕等)</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td colspan="9">478 千円 (清掃用具リース、ワックス清掃等)</td> </tr> <tr> <td>保険料</td> <td colspan="9">145 千円 (火災保険料)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td colspan="9">77 千円 (施設清掃、消防設備保守委託等)</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td colspan="9">24 千円 (下水道使用料)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="9"></td> </tr> </table>									報償金	93 千円 (旧安田小、旧以西小各体育館トイレ清掃)								消耗品	105 千円								光熱水費	856 千円	電気代 801千円									ガス代 33千円									水道代 22千円							修繕料	676 千円 (赤碕武道館網戸修繕、聖郷小学校防球ネット修繕等)									手数料	478 千円 (清掃用具リース、ワックス清掃等)									保険料	145 千円 (火災保険料)									委託料	77 千円 (施設清掃、消防設備保守委託等)									使用料	24 千円 (下水道使用料)									その他								
報償金	93 千円 (旧安田小、旧以西小各体育館トイレ清掃)																																																																																																																
消耗品	105 千円																																																																																																																
光熱水費	856 千円	電気代 801千円																																																																																																															
		ガス代 33千円																																																																																																															
		水道代 22千円																																																																																																															
修繕料	676 千円 (赤碕武道館網戸修繕、聖郷小学校防球ネット修繕等)																																																																																																																
手数料	478 千円 (清掃用具リース、ワックス清掃等)																																																																																																																
保険料	145 千円 (火災保険料)																																																																																																																
委託料	77 千円 (施設清掃、消防設備保守委託等)																																																																																																																
使用料	24 千円 (下水道使用料)																																																																																																																
その他																																																																																																																	
																																																																																																																	
	赤碕武道館網戸(修繕前)				聖郷小学校体育館の防球ネット																																																																																																												
	○主な利用人数(延べ) <table style="width: 100%; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%;">聖郷小体育館 10,857人(779団体)</td> <td style="width: 50%;">旧安田小体育館 6,515人(325団体)</td> </tr> <tr> <td>東伯中体育館 5,513人(268団体)</td> <td>赤碕中体育館 3,115人(191団体)</td> </tr> <tr> <td>東伯中グラウン 6,045人(150団体)</td> <td>船上小体育館 5,237人(197団体)</td> </tr> </table>									聖郷小体育館 10,857人(779団体)	旧安田小体育館 6,515人(325団体)	東伯中体育館 5,513人(268団体)	赤碕中体育館 3,115人(191団体)	東伯中グラウン 6,045人(150団体)	船上小体育館 5,237人(197団体)																																																																																																		
聖郷小体育館 10,857人(779団体)	旧安田小体育館 6,515人(325団体)																																																																																																																
東伯中体育館 5,513人(268団体)	赤碕中体育館 3,115人(191団体)																																																																																																																
東伯中グラウン 6,045人(150団体)	船上小体育館 5,237人(197団体)																																																																																																																
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり																																																																																																												
	【前年度の課題の概要】																																																																																																																
	【前年度課題についての対応及び成果】																																																																																																																
	【担当課による評価の理由】 必要な維持管理を行いました。																																																																																																																
今後の 取り組み の 方向	旧小学校施設などは、地元以外の利用が少ないため、地域による管理に移行できないか検討したいと考えます。																																																																																																																

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	351	事業名	東伯総合公園管理事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもち輝けるまちづくり				②誰でも参加できる居場所づくり・生きがいつくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	18,368	17,535	0	0	1,278	0	16,257	施設利用料等	
事業目的	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場として施設の整備・管理を行います。 令和6年度開催予定のねんりんピック鳥取大会ソフトボール会場としての準備、整備も行います。								
事業の 主な 実施状況	以下のとおり施設の整備・管理を行いました。								
	<p>消耗品費 675 千円</p> <p>燃料費 139 千円 (公用車ガソリン代、混合油)</p> <p>光熱水費 5,825 千円</p> <p>修繕料 3,672 千円</p> <p>通信運搬費 132 千円</p> <p>手数料 807 千円 (浄化槽法定検査、水道水質検査、公用車車検等)</p> <p>保険料 373 千円 (火災保険料、自動車保険料)</p> <p>委託料 5,692 千円</p> <p>使用料 87 千円 (下水道使用料)</p> <p>備品購入費 105 千円 (チェンソー等)</p> <p>その他</p> <p>○主な利用人数(延べ)</p> <p>野球場 2,875人(99団体)</p> <p>サッカー場 4,512人(56団体)</p> <p>アリーナ 22,020人(1,119団体)</p>	<p>電気代 5,589千円</p> <p>ガス代 68千円</p> <p>水道代 168千円</p> <p>受水槽修繕 1,133千円</p> <p>どんぐりひろば南側橋修繕 1,914千円</p> <p>ホットシャワー修繕 90千円</p> <p>多目的広場バックネット支柱修繕 70千円 他</p> <p>公園管理委託 3,860千円</p> <p>清掃委託 847千円</p> <p>消防設備保守委託 330千円</p> <p>浄化槽維持管理委託 331千円</p> <p>電気設備保守管理 275千円</p> <p>特殊建物定期点検 49千円</p>							
					 <p align="center">どんぐり広場南側橋修繕(修繕後)</p>				
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】								
	【前年度課題についての対応及び成果】								
	【担当課による評価の理由】 必要な維持管理を行いました。								
今後の 取り組み の 方向	修繕が必要な箇所が多数あり、長寿命化計画をふまえた計画的な修繕が必要です。(雨漏り、LED、暗幕、床板、煤煙窓等)								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	417	事業名	農業者トレーニングセンター運営			会計区分	一般会計																																																																																	
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																																																																
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費																																																																															
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				②誰でも参加できる居場所づくり・生きがいづくり																																																																																			
	重点項目	—																																																																																						
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																																																																
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																																																																	
令和5年度	2,053	1,895	0	0	302	0	1,593	施設利用料																																																																																
事業目的	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場として施設の整備・管理を行います。																																																																																							
事業の 主な 実施状況	以下のとおり施設の整備・管理を行いました。																																																																																							
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">消耗品費</td> <td style="width: 15%;">94 千円</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>845 千円</td> <td colspan="2" style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;"> 電気代 734千円 水道代 111千円 </td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>55 千円</td> <td colspan="8">(光電式スポット型感知器取り替え等)</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>199 千円</td> <td colspan="8">(ワックス清掃等)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>505 千円</td> <td colspan="2" style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;"> 清掃委託 216千円 消防設備保守委託 165千円 電気設備保守管理 91千円 特殊建物定期点検 33千円 </td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>86 千円</td> <td colspan="8">(下水道使用料)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="9">○主な利用人数(延べ) 10,037人(1,005団体)</td> </tr> </table>									消耗品費	94 千円									光熱水費	845 千円	電気代 734千円 水道代 111千円								修繕料	55 千円	(光電式スポット型感知器取り替え等)								手数料	199 千円	(ワックス清掃等)								委託料	505 千円	清掃委託 216千円 消防設備保守委託 165千円 電気設備保守管理 91千円 特殊建物定期点検 33千円								使用料	86 千円	(下水道使用料)								その他											○主な利用人数(延べ) 10,037人(1,005団体)							
消耗品費	94 千円																																																																																							
光熱水費	845 千円	電気代 734千円 水道代 111千円																																																																																						
修繕料	55 千円	(光電式スポット型感知器取り替え等)																																																																																						
手数料	199 千円	(ワックス清掃等)																																																																																						
委託料	505 千円	清掃委託 216千円 消防設備保守委託 165千円 電気設備保守管理 91千円 特殊建物定期点検 33千円																																																																																						
使用料	86 千円	(下水道使用料)																																																																																						
その他																																																																																								
	○主な利用人数(延べ) 10,037人(1,005団体)																																																																																							
事業目的の 達成状況	担当課による評価				A 相当程度進展あり																																																																																			
	【前年度の課題の概要】																																																																																							
	【前年度課題についての対応及び成果】																																																																																							
今後の 取り組み の 方向	【担当課による評価の理由】 必要な維持管理を行いました。																																																																																							
	修繕が必要な箇所が複数あり、計画的な修繕が必要です。(雨漏り、屋根剥がれ、暗幕故障、LED)																																																																																							

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1627	事業名	東伯総合公園改修事業			会計区分	一般会計		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係		事業区分	■新規 □継続	
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3 体育施設費	
まちづくりビジョン	③誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				⑥誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備				
重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	16,797	6,160	0	0	0	6,100	60	過疎債	

事業目的 東伯総合公園サッカー場を人工芝へ改修し、あわせて夜間照明等を新設することにより、町民に年間を通じたスポーツ・レクリエーション活動の場を提供します。

事業の主な実施状況

① 東伯総合公園サッカー場夜間照明等新設工事設計業務

令和6年度に予定している夜間照明設備および防球ネット新設工事に関し、工事発注に必要な調査及び実施設計を行いました。

- 主な仕様
 - ・照明塔 6基 (平均照度200lx以上)
 - ・防球ネット 平岩会館およびどんぐりひろば側(H=10m)

● : 照明塔
— : 防球ネット

担当課による評価 A 相当程度進展あり

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】
—

【前年度課題についての対応及び成果】
—

【担当課による評価の理由】
R6年度の工事発注に向けた設計書が完成しました。
(人工芝改修にかかる設計は令和6年度に繰越)

今後の取り組みの方向



令和6年度は夜間照明および防球ネットの設置工事、令和7年度には人工芝への張替えを予定しており、利用団体・関係団体と協議を重ね、町民が快適に利用できる施設整備を行います。

所属名称：人権・同和教育課

[単位：千円]

会計 款-項-目 事業名称	最終予算現額	決算額	ページ	備考
人権・同和教育課				
3.民生費				
1.社会福祉費				
1.社会福祉総務費				
社会福祉総務費	927	894	17-1	
3.同和対策総務費				
同和対策総務費	186	109	17-2	
4.隣保館運営費				
東伯隣保館運営費	31,257	10,768	17-3	
赤碕隣保館運営費	4,793	2,865	17-4	
2.児童福祉費				
3.児童館運営費				
東伯児童館運営	1,228	989	17-5	
赤碕児童館運営	1,519	809	17-6	
9.教育費				
4.社会教育費				
8.人権教育費				
人権教育推進事業(事務費)	3,032	2,208	17-7	
人権尊重の社会づくりの推進	172	163	17-8	
人権教育推進事業(法務省委託)	229	216	17-9	
12.諸支出金				
1.諸費				
1.国県支出金返納金				
国県支出金返納金	1,522	1,522		事務費

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	68	事業名	社会福祉総務費			会計区分	一般会計		
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	1	社会福祉総務費
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				④支え合いと共生のまちづくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	927	894	0	70	0	0	824		
事業目的	町内の人権擁護、啓発等に携わる人権擁護委員、保護司、更生保護女性会の活動に対し助成及び支援を行い、人権尊重のまちづくりの実現を目指します。								
事業の主な実施状況	<p>1 人権擁護、啓発等の活動に要した経費 894千円 (・報償費 503千円、需用費90千円、負担金301千円)</p> <p>【人権擁護委員との活動】(人権擁護委員7名委嘱)</p> <p>(1) 地域で人権相談所を開設しました。 ・各地区公民館 合計 24 回</p> <p>(2) 人権擁護委員の日(6月1日)に人権擁護委員の周知と、人権尊重の大切さについて啓発活動を行いました。 ・町内小中学校と琴の浦高等特別支援学校に啓発物品を配布。 ・商業施設入り口での街頭啓発活動。</p> <p>(3) 小学生が花を育てることを通して生命の大切さを実感し、思いやりの心を育てるため、町内の小学校5校に花の苗を贈呈する「人権の花運動」を実施しました。(10月実施)</p> <div style="text-align: right;">  <p>〈人権の花運動〉</p> </div> <p>(4) 人権週間期間中(12月8日)に啓発活動を行いました。 ・町内こども園への啓発訪問 ・商業施設入り口での街頭啓発活動。</p> <p>【保護司、更生保護女性会等との活動】</p> <p>(1) 犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会に向け、「社会を明るくする運動」を推進しました。 [7月の強調月間の取り組み]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町行政放送を用いた町長の呼びかけ、庁舎への懸垂幕の掲揚や駅にのぼり旗の設置。 ・社会を明るくする運動出発式の実施。商業施設及び駅での街頭啓発。 ・中学校でのあいさつによる声かけ運動の実施。(愛の一声運動) <div style="text-align: right;">  <p>〈駅での街頭啓発〉</p> </div>								
	担当課による評価				S 目的達成				
事業目的の達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 「人権の花」運動を全小学校で実施し、児童への人権意識の啓発を継続します。</p> <p>② 人権擁護委員、保護司、更生保護女性会の活動について支援を行い、人権尊重のまちづくりを推進します。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 「人権の花」運動を全小学校で実施し、花を育てることで、子どもたちの「命を大切に作る心」を育みました。</p> <p>② 「人権擁護委員の日」、「人権週間」、「人権相談所」など人権擁護委員の活動を支援し、町内の人権啓発を推進しました。</p> <p>③ 保護司、更生保護女性会等の団体と協力し「社会を明るくする運動」を推進することで、町内の犯罪や非行の防止、立ち直りを支える気運を高めました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>各団体と連携・協力しながら様々な事業を進めることができたことと判断し、S目的達成と評価しました。</p>								
今後の取り組みの方向	引き続き継続して事業を実施していきます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	569	事業名	同和対策総務費			会計区分	一般会計								
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続							
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	同和対策総務費						
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				④支え合いと共生のまちづくり										
	重点項目	—													
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)							
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源								
令和5年度	186	109	0	0	0	0	109								
事業目的	あらゆる人権問題の速やかな解決を図るために体制整備を行います。														
事業の 主な 実施状況	<p>1 差別事象検討委員会を開催し、再発防止に向けた対応策等の検討を行いました。 町内で発生した差別事象についてその背景や要因を協議し、再発防止に向けた対応策を検討しました。 また、「琴浦町差別事象等対応マニュアル」の改定について協議しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 3回 ・委員報償費 56千円 (4月・8月・3月) <p>2 関係機関へ負担金を支出しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東伯郡同和対策協議会負担金</td> <td>27千円</td> </tr> <tr> <td>部落解放・人権確立要求鳥取県実行委員会負担金</td> <td>26千円</td> </tr> </tbody> </table>									内 容	金 額	東伯郡同和対策協議会負担金	27千円	部落解放・人権確立要求鳥取県実行委員会負担金	26千円
	内 容	金 額													
東伯郡同和対策協議会負担金	27千円														
部落解放・人権確立要求鳥取県実行委員会負担金	26千円														
	担当課による評価				A 相当程度進展あり										
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 差別事象について検討委員会を開催し、具体的な取組みを実施していきます。 ② 部落解放同盟琴浦町協議会への補助金について、町全体での取組みとして研修や学習活動が他の団体と一体となって行えるよう見直しを行います。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 差別事象検討委員会で協議した取組みを実施しました。 ・「差別事象等対応マニュアル」の改定。(改定後のマニュアルを全職員で研修。) ・事象についての研修会の実施。(全職員及び人権・同和教育部落懇談会事前研修会で各地区毎に研修。) ・事業所への啓発の実施。 ② 部落解放同盟琴浦町協議会への補助金を廃止し、町人権・同和教育推進協議会の事業として、様々な人権 課題の研修に参加するよう計画しました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>差別事象等対応マニュアルの改定が行えたこと、また、差別事象への対応について取組みを進めることができたことなどから、A相当程度進展ありと評価しました。</p>														
	今後の 取り組み の 方向	今後も差別事象への取組みについて、継続的な啓発や学習機会の提供に努めます。													

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	570	事業名	東伯隣保館運営費		会計区分	一般会計																																				
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係		事業区分	□新規 ■継続																																		
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	隣保館運営費																																	
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				④支え合いと共生のまちづくり																																					
	重点項目	—																																								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																		
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																			
令和5年度	31,257	10,768	0	6,881	0	3,100	787	過疎債 3,100千円 繰越明許費 19,673千円																																		
事業目的	地域福祉の向上、人権啓発のための住民交流の拠点、そして住民の身近な相談窓口としての役割を担い、人権課題の解決のための各種事業を総合的にを行います。																																									
事業の 主な 実施状況	1 東伯隣保館運営事業費 10,768千円 (・報償費 555千円 ・需用費1,157千円 ・委託料1,401千円 ・工事請負費6,900千円、使用料及び賃借料他 755千円)福祉の向上及び人権啓発の住民交流の拠点として、地域住民の生活相談並びにあらゆる差別を解消するための研修会等各種啓発活動を実施しました。																																									
	(1) 審議会の開催状況 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>委員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東伯文化センター運営審議会</td> <td>年2回</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table>									事業名	回数	委員数	東伯文化センター運営審議会	年2回	11人																											
事業名	回数	委員数																																								
東伯文化センター運営審議会	年2回	11人																																								
	(2) 年間利用人数 延べ 8,490人 (3) 各種事業の実施 〈親子学習会〉 啓発・広報活動事業、地域交流事業、地域福祉事業を実施し、人権課題の解決に向けた取組みを行いました。																																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数ほか</th> <th>参加人数・対象ほか (延べ人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談業務</td> <td>年間</td> <td>94件</td> </tr> <tr> <td>とうはく人権まなびの講座</td> <td>年5回</td> <td>245人</td> </tr> <tr> <td>がくしゅうかい食堂(こども・地域交流)</td> <td>年4回</td> <td>192人</td> </tr> <tr> <td>人権学習会</td> <td>毎週木曜日</td> <td>小学生 16人 中学生1人</td> </tr> <tr> <td>サマスタ</td> <td>夏休み</td> <td>小学生(72人) 中学生(64人)</td> </tr> <tr> <td>手話教室</td> <td>年16回</td> <td>148人</td> </tr> <tr> <td>部落解放文化祭</td> <td>11月</td> <td>576人</td> </tr> <tr> <td>小学生生活体験学習 (リバティースクール・えがお子ども食堂)</td> <td>年2回</td> <td>99人</td> </tr> <tr> <td>ふれあい教室</td> <td>年1回</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>ガクシューカイU15-25</td> <td>年1回</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table>									事業名	回数ほか	参加人数・対象ほか (延べ人数)	相談業務	年間	94件	とうはく人権まなびの講座	年5回	245人	がくしゅうかい食堂(こども・地域交流)	年4回	192人	人権学習会	毎週木曜日	小学生 16人 中学生1人	サマスタ	夏休み	小学生(72人) 中学生(64人)	手話教室	年16回	148人	部落解放文化祭	11月	576人	小学生生活体験学習 (リバティースクール・えがお子ども食堂)	年2回	99人	ふれあい教室	年1回	23人	ガクシューカイU15-25	年1回	13人
事業名	回数ほか	参加人数・対象ほか (延べ人数)																																								
相談業務	年間	94件																																								
とうはく人権まなびの講座	年5回	245人																																								
がくしゅうかい食堂(こども・地域交流)	年4回	192人																																								
人権学習会	毎週木曜日	小学生 16人 中学生1人																																								
サマスタ	夏休み	小学生(72人) 中学生(64人)																																								
手話教室	年16回	148人																																								
部落解放文化祭	11月	576人																																								
小学生生活体験学習 (リバティースクール・えがお子ども食堂)	年2回	99人																																								
ふれあい教室	年1回	23人																																								
ガクシューカイU15-25	年1回	13人																																								
	担当課による評価				S 目的達成																																					
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ① 近年新型コロナウイルス感染症予防のため集合研修の縮小、中止などから研修離れが進み参加者が減少しています。誰もが参加しやすい環境や体制づくり、研修の機会がの提供を行います。 ② 台風により屋上に設置してあるエアコンの室外機が破損したため、2階大会議室、第1学習室と1階調理室のエアコンが使用不可となったため、令和5年度は修繕が必要です。																																									
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 必要な感染症対策は実施し、身近にある人権課題をテーマに取り上げ講演会形式で行いました。 ② まなびの講座では、性の権利を守るための講演会を行い、人権学習会の親子学習や小学校での学習にもつながり、子どもから大人まで学習が広がりました。 ③ 人権学習会、がくしゅうかい食堂は、地域ボランティアの協力や支援の継続により、子どもの居場所は、もちろん地域食堂や児童が運営する「えがお子ども食堂」の実施。地域の見守り活動として地区役員との共同で餅の全戸配布をし、地域を巡回しました。 ④ 台風により破損した2階大会議室・第1学習室、2階調理室のエアコンについて、改修工事を行いました。(機材が入手できないため、令和6年度に一部の工事を繰り越す。令和6年5月に完成予定。)																																									
	【担当課による評価の理由】 前年度の課題についての取り組みが行えたと判断し、S目的達成と評価しました。																																									
今後の 取り組み の 方向	・自分も人も大切にすることを基本として子どもから大人まで、話す・学ぶ・体験する機会の提供します。 ・生活の中の不合理や様々な人権課題に関心を持ってもらえる講座を企画します。 ・地域住民を巻き込んだ交流事業の継続を図ります。																																									



令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	571	事業名	赤碓隣保館運営費		会計区分	一般会計																																							
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続																																					
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	隣保館運営費																																				
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				④支え合いと共生のまちづくり																																								
	重点項目	—																																											
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																																					
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																																						
令和5年度	4,793	2,865	0	1,946	46	0	873	文化センター使用料 46千円																																					
事業目的	地域福祉の向上、人権啓発のための住民交流の拠点、そして住民の身近な相談窓口としての役割を担い、人権課題の解決のための各種事業を総合的に行います。																																												
事業の 主な 実施状況	1 赤碓隣保館運営事業費 2,865千円 (・報償費 579千円 ・需用費1,369千円 ・委託料 217千円 ・使用料及び賃借料ほか 700千円) 福祉の向上及び人権啓発の住民交流の拠点として、地域住民の生活相談並びにあらゆる差別を解消するための研修会等各種啓発活動を実施しました。																																												
	(1) 審議会の開催状況 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 50%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数</th> <th>委員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤碓文化センター運営審議会</td> <td>年2回</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>										事業名	回数	委員数	赤碓文化センター運営審議会	年2回	12人																													
事業名	回数	委員数																																											
赤碓文化センター運営審議会	年2回	12人																																											
(2) 年間利用人数 延べ 15,611人																																													
(3) 各種事業の実施 啓発・広報活動事業、地域交流事業、地域福祉事業を実施し、人権課題の解決に向けた取り組みを行いました。																																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数ほか</th> <th>参加人数・対象ほか (延べ人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談業務</td> <td>年間</td> <td>129件</td> </tr> <tr> <td>人権啓発講演会、研修会</td> <td>年5回</td> <td>167人</td> </tr> <tr> <td>人権学習会(小学生)</td> <td>毎週木曜日</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>人権学習会(中学生)</td> <td>毎週水曜日</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>学習支援事業</td> <td>10日間</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>高校生友の会</td> <td>2回</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>部落解放文化祭</td> <td>10月</td> <td>721人</td> </tr> <tr> <td>現地研修(フィールドワーク)</td> <td>13回</td> <td>314人</td> </tr> <tr> <td>地域交流事業</td> <td>20回</td> <td>308人</td> </tr> <tr> <td>いきいきカルチャー</td> <td>毎週月・水・金</td> <td>936人</td> </tr> <tr> <td>ストレッチ体操教室 (おしゃべりカフェ寄茶)</td> <td>毎週水曜日 (第2水曜日)</td> <td>624人 (296)人</td> </tr> </tbody> </table>										事業名	回数ほか	参加人数・対象ほか (延べ人数)	相談業務	年間	129件	人権啓発講演会、研修会	年5回	167人	人権学習会(小学生)	毎週木曜日	32人	人権学習会(中学生)	毎週水曜日	11人	学習支援事業	10日間	42人	高校生友の会	2回	4人	部落解放文化祭	10月	721人	現地研修(フィールドワーク)	13回	314人	地域交流事業	20回	308人	いきいきカルチャー	毎週月・水・金	936人	ストレッチ体操教室 (おしゃべりカフェ寄茶)	毎週水曜日 (第2水曜日)	624人 (296)人
事業名	回数ほか	参加人数・対象ほか (延べ人数)																																											
相談業務	年間	129件																																											
人権啓発講演会、研修会	年5回	167人																																											
人権学習会(小学生)	毎週木曜日	32人																																											
人権学習会(中学生)	毎週水曜日	11人																																											
学習支援事業	10日間	42人																																											
高校生友の会	2回	4人																																											
部落解放文化祭	10月	721人																																											
現地研修(フィールドワーク)	13回	314人																																											
地域交流事業	20回	308人																																											
いきいきカルチャー	毎週月・水・金	936人																																											
ストレッチ体操教室 (おしゃべりカフェ寄茶)	毎週水曜日 (第2水曜日)	624人 (296)人																																											
担当課による評価					S 目的達成																																								
事業目的 の 達成状況	【前年度の課題の概要】 ① 琴浦町人権施策基本方針に基づき、文化センターの役割を真摯に受け止め、地域住民のとのつながりや当事者を見据え事業の充実を図ります。																																												
	【前年度課題についての対応及び成果】 ① 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、来館者が一気に増え、地域住民の居場所に戻りつつあります。 ② 伴走型支援、包摂型プラットフォームに基軸を置き、家庭訪問や民生委員とつながり、相談者に寄り添っています。 ③ 教室活動など各種事業を行う中で、校区外からの来館者も増え、町民全体のコミュニティーセンター(みんなの「居場所」)になってきています。																																												
【担当課による評価の理由】 様々な事業を実施することができ、町基本方針で定めている地域社会の福祉の向上、人権啓発の拠点としての役割を行っていると判断し、S目標達成と評価しました。																																													
今後の 取り組み の 方向	地域の人とのつながりを活動に取り入れ、隣保館と児童館両者が連携して事業を推進していきます。																																												



〈地域交流事業〉

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	566	事業名	東伯児童館運営費		会計区分	一般会計																			
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係		事業区分	□新規 ■継続																		
予算区分	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	3 児童館運営費																			
まちづくりビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり																				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開																							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																		
令和5年度	1,228	989	0	0	0	0	989																		
事業目的	<p>・児童が心身ともに健やかに成長するために安心、安全に遊べる居場所づくりや遊びの提供をします。</p> <p>・地域組織活動を支援し、保護者の交流の場の提供や地域でつながる環境づくりに努めます。</p> <p>・親子のふれあい、地域住民とのかかわりを通して、子ども達の自尊感情を高め、豊かな人間形成を目指します。</p>																								
事業の 主な 実施状況	<p>1. 東伯児童館運営事業費 989千円 (・需用費 788千円 ・役務費ほか 201千円)</p> <p>児童が心身ともに健やかに成長するために、安心、安全に遊べる居場所づくりや遊びの提供を行い、親子のふれあいや、子どもの自尊感情の育成など豊かな人間形成に努めました。</p> <p>また、文化センターの遊戯室の床面の修繕および園庭に滑り台を設置し、遊びの環境を整備しました。</p> <p>(1)年間利用人数等</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>年間利用人数</td> <td>2,475人</td> </tr> </table> <p>(2)事業実績</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数 他</th> <th>参加人数・対象 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とうはくじどうかんまつり</td> <td>1回</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>じどうかんであそぼう</td> <td>2回</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>その他の児童館活動</td> <td>9回</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>保護者育成支援</td> <td>3回</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> <p>【児童館活動の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p><とうはくじどうかんまつり></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><じどうかんであそぼう>※防災について</p> </div> </div>								年間利用人数	2,475人	事業名	回数 他	参加人数・対象 (人)	とうはくじどうかんまつり	1回	200	じどうかんであそぼう	2回	38	その他の児童館活動	9回	245	保護者育成支援	3回	26
	年間利用人数	2,475人																							
事業名	回数 他	参加人数・対象 (人)																							
とうはくじどうかんまつり	1回	200																							
じどうかんであそぼう	2回	38																							
その他の児童館活動	9回	245																							
保護者育成支援	3回	26																							
事業目的の 達成状況	担当課による評価		S 目的達成																						
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 人数制限をして児童館活動を実施したため、他地区の子どもとの交流が十分にできませんでした。新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、開催方法についてコロナ以前の状態に戻し、子ども同士の出会いや共に体験できる活動を行います。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 必要な感染症対策は実施し、親子のふれあい、地域交流や体験できる活動を行いました。</p> <p>② 春休み企画じどうかんであそぼうでは、東伯区3小学校の交流と防災について学び、防災食や災害時の古新聞の活用法などを体験する活動を行いました。</p> <p>③ 児童館事業の参加者増加や遊べる場所として認知されてきた。滑り台や芝生など施設の環境も整い乳幼児親子の日々来館利用が増加しています。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>必要な感染症対策を行いながら、様々な事業を開催し、子どもや保護者に遊びの場の提供を行いました。また、館庭の芝生化など魅力的な施設づくりに努めたことを評価し、S目的達成としました。</p>																								
今後の 取り組み の 方向	子ども同士の出会いとふれあいの場として誰もが安心して過ごせる施設運営を行って行きます。																								


令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	567	事業名	赤碕児童館運営費			会計区分	一般会計																		
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係		事業区分	□新規 ■継続																	
予算区分	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	3	児童館運営費																
まちづくりビジョン	②子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				②子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり																				
	重点項目	ふるさとへの愛着を深める、地域に根差した体験と学びの展開																							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)																	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源																		
令和5年度	1,519	809	0	0	1	0	808	利用料 1千円																	
事業目的	<p>・児童が心身ともに健やかに成長するために安心、安全に遊べる居場所づくりや遊びの提供をします。</p> <p>・地域組織活動を支援し、保護者の交流の場の提供や地域でつながる環境づくりに努めます。</p> <p>・親子のふれあい、地域住民とのかかわりを通して、子ども達の自尊感情を高め、豊かな人間形成を目指します。</p>																								
事業の 主な 実施状況	<p>1 赤碕児童館運営事業費 809千円 (・需用費606千円 ・役務費ほか 203千円)</p> <p>児童が心身ともに健やかに成長するために、安心、安全に遊べる居場所づくりや遊びの提供を行い、親子のふれあいや、子どもの自尊感情の育成など豊かな人間形成に努めました。</p> <p>また、地域組織活動を支援し、保護者の交流の場の提供や地域でつながる環境づくりを行いました。</p>																								
	<p>(1)年間利用人数等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>年間利用人数</td> <td style="text-align: center;">7,701人</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>〈稲刈り〉</p> </div> <p>(2)事業実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>回数他</th> <th>参加人数・対象(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あかさきじどうかんまつり</td> <td>1回</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>その他児童館活動</td> <td>月1回</td> <td>263</td> </tr> <tr> <td>子どもみこしまつり</td> <td>10月</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>保護者育成支援</td> <td>年間3回</td> <td>会員数38</td> </tr> </tbody> </table> <p>○その他 放課後児童クラブが施設を利用</p> <p>【児童館活動の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(スライムづくり)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(みこしまつり)</p> </div> </div>									年間利用人数	7,701人	事業名	回数他	参加人数・対象(人)	あかさきじどうかんまつり	1回	114	その他児童館活動	月1回	263	子どもみこしまつり	10月	98	保護者育成支援	年間3回
年間利用人数	7,701人																								
事業名	回数他	参加人数・対象(人)																							
あかさきじどうかんまつり	1回	114																							
その他児童館活動	月1回	263																							
子どもみこしまつり	10月	98																							
保護者育成支援	年間3回	会員数38																							
事業目的 の 達成状況	担当課による評価				S 目的達成																				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、実施を中止していた「じどうかんまつり」や保護者会活動を再開し、人と人との出会いや共に体験できる活動を行います。</p> <p>② 引き続き必要な感染症対策は実施し、誰もが安心して過ごせる施設運営を行っていきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症が5類となってからも、室内の活動時には換気をし密にならないよう環境設定をし利用者が安心して活動出来るようにしました。</p> <p>② 子どもたちや保護者の相談・困りごとの窓口となり、必要に応じて関係機関につなげました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の5類移行したとはいえ、インフルエンザ等の流行もある中、必要な感染症対策を行い事業を行うことができたと判断し、S目的達成と評価しました。</p>																								
今後の 取り組み の 方向	<p>今後も必要に応じて感染症対策をおこないながら、児童館活動を進めていきたいと考えています。日々子どもたちの考え方や行動にはコロナ禍での経験不足と感じるところが生活の中に見られます。仲間と共に成すことの楽しさや喜び大変さなど、活動を通し経験できるよう地域や保護者と共に計画をおこなって実施していきたいと思っております。</p>																								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	296	事業名	人権・同和教育推進事業(事務費)			会計区分	一般会計		
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係		事業区分	□新規 ■継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	8	人権教育費
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				④支え合いと共生のまちづくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	3,032	2,208	0	755	0	0	1,453		
事業目的	人権尊重の社会づくりの施策を積極的に推進するため、町と地区の協議会活動を支援します。								
事業の 主な 実施状況	<p>1 各地区人権・同和教育推進研究協議会及び町人権・同和教育推進協議会へ事業委託し、部会活動や広報活動、TCC番組による啓発活動を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区人権・同和教育推進研究協議会委託費 22千円 (八橋、浦安、下郷、上郷) ・琴浦町人権・同和教育推進協議会委託費 1,519千円 ・人権・同和教育部落懇談会教材製作委託費 36千円 								
	 <p>〈人権・同和教育推進協議会総会後の会員研修会〉</p>								
	<p>2 対象別人権・同和教育研修支援事業 町内の小学校等で開催された人権・同和教育研修会に係る講師謝金の助成を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤碕中学校PTA、しらとりこども園保護者会 36千円 								
	<p>3 県人権文化センター負担金他 233千円</p>								
	<p>4 その他事務費 (消耗品、公用車関係経費他) 362千円</p>								
	担当課による評価				A 相当程度進展あり				
事業目的 の 達成状況	<p>【前年度の課題の概要】 新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、人権・同和教育部落懇談会の開催方法についてコロナ前の形で開催できるよう、各地区と協議を行いながら進めていきます。</p> <p>【前年度課題についての対応及び成果】 ① 今年度も各地区と協議を行い、人が集まることへの不安の意見が多いなどの理由から、引き続きTCC番組を活用した教材放送による各家庭単位での取り組みを行うこととしました。</p> <p>【担当課による評価の理由】 コロナ禍からの4年間は、TCCを活用した教材放送による各家庭単位での研修の実施について取り組みを行いました。人と人の話し合いの中で意見を深めることが大切であるため、来年度からは対面式で人権・同和教育部落懇談会が行えるよう、推進体制・方法について協議を行いました。次年度の方針を出すことができたことを評価し、A相当程度進展ありと評価しました。</p>								
	今後の 取り組み の 方向	町職員と各部落(町民)が協働して人権学習を行い、課題解決に向け共通認識をもち、誰もが安心・安全に暮らせる町づくりを目指します。							

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	302	事業名	人権尊重の社会づくりの推進			会計区分	一般会計		
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	8	人権教育費
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				④支え合いと共生のまちづくり				
	重点項目	—							
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	172	163	0	0	0	0	163		
事業目的	安心して暮らせるまちづくりのために「人権尊重の社会づくり条例」に基づいた施策を推進します。								
事業の主な実施状況	<p>1 町人権施策基本方針の改訂</p> <p>「琴浦町人権尊重の社会づくり条例」に基づき、町の人権施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本となる方針を示した「琴浦町人権施策基本方針」の改訂を行い、それぞれの人権課題に対する具体的な事業等について明記した実施計画を加えました。</p> <p>(1)町人権尊重の社会づくり審議会開催 報償費等 163千円 基本方針改訂案について町人権尊重の社会づくり審議会で協議を行いました。</p> <p>・実施回数 6回 (7月28日、9月5日、9月25日、10月3日、11月1日、11月30日)</p> <div style="text-align: center;">  <p>〈町人権尊重の社会づくり審議会〉</p> </div>								
事業目的の達成状況	担当課による評価				S 目的達成				
	<p>【前年度の課題の概要】</p> <p>① 令和5年度に引き続き策定作業を行い、早期の計画策定を行います。</p>								
	<p>【前年度課題についての対応及び成果】</p> <p>① 人権尊重の社会づくり審議会を開催し、基本方針改訂案をまとめ、11月にパブリックコメントを募集しました。パブリックコメントで出された意見を反映させ、12月に基本方針の改訂を行いました。</p> <p>【担当課による評価の理由】</p> <p>令和5年度12月に人権施策基本方針の改訂を行うことができたため、S目的達成と評価しました。</p>								
今後の取り組みの方向	「町人権尊重の社会づくり審議会」において、毎年事業の実施状況や進捗状況等について、点検・評価を行い、その結果を以後の施策に反映させていくPDCAサイクルを推進していきます。								

令和 5 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	575	事業名	人権・同和教育推進事業(法務省委託)	会計区分	一般会計				
担当課	人権・同和教育課		担当係	人権教育推進係	事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		
予算区分	款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	8	人権教育費
まちづくりビジョン	①新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり			④支え合いと共生のまちづくり					
重点項目	—								
年度	最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	事業費財源内訳 (千円)					備考 (その他収入・町債の内訳)	
			国庫支出金	県支出金	その他収入	町債	一般財源		
令和5年度	229	216	0	171	0	0	45		

事業目的 人権に対する町民一人ひとりの正しい理解と認識を深め「人権尊重のまち」を築くため、啓発活動を推進します。

事業の主な実施状況

人権・同和教育推進事業費(法務省委託) 216千円

1 人権フェスティバルを開催しました。

(1)講演 「生き延びる手段としてのひきこもり
～8050問題とこれからのまちづくりを考える～」
講師 ぼそっと 池井多さん VOSOT(チームぼそっと)主宰

- ・手話通訳、要約筆記、託児の対応を行い誰でも参加しやすい体制を整えました。
- ・参加人数 当日参加 91人 アーカイブ配信 72人 計163人

〈人権フェスティバルチラシ〉




〈人権フェスティバル〉

担当課による評価 A 相当程度進展あり

事業目的の達成状況

【前年度の課題の概要】

① 事業の開催方法や規模、名称について今後検討していく必要があります。

【前年度課題についての対応及び成果】

① 若年層の参加が近年の課題でしたが、会場参加者のみで言うと、前年と比較し20代～40代の参加者が12%増加しました。また、「今回初めて参加」された方も前年より7.4%増えました。親子で参加できるようサブ会場を設置したことも参加の増加につながったと考えています。

② 事業名については、事業を内容をよりわかりやすくするために令和6年度から「ことうら人権まなびのつどい」に変更することとしました。

【担当課による評価の理由】

事業の開催について、様々な配慮を行いながら開催できた判断し、A相当程度進展ありと評価しました。

今後の取り組みの方向

町人権・同和教育推進協議会の事業として、各団体も事業に関われるような取り組みを検討していきます。

資 料 編

1. 令和5年度各会計別決算総括表

(単位:円)

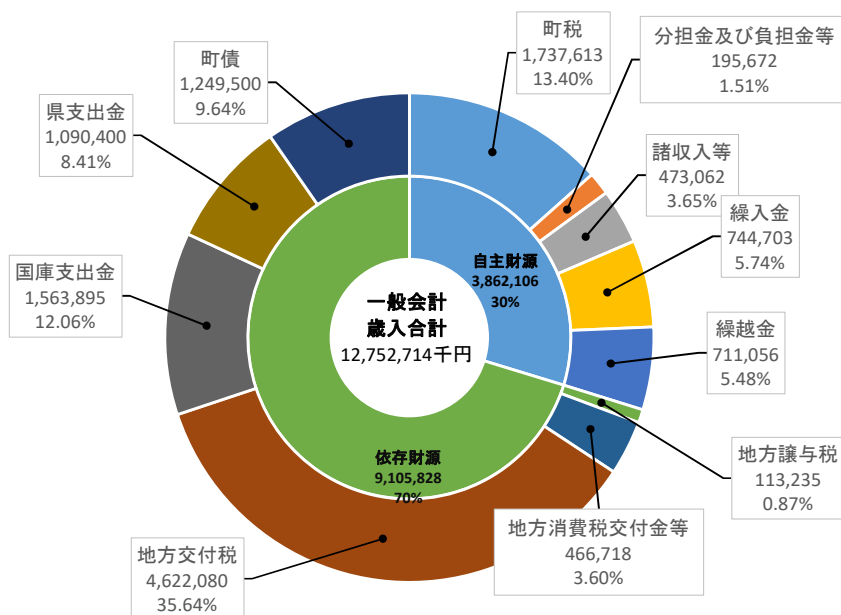
会計名	予算現額 (A)	歳入総額 (B)	歳出総額 (C)	歳入歳出差引額 D=(B-C)	翌年度へ繰り越すべき財源				実質収支額 (D-E)	予算に対する決算額の比率	
					通次繰越	明許繰越	事故繰越	合計(E)		歳入 (B/A)	歳出 (C/A)
一般会計	14,212,476,329	12,967,933,592	12,404,536,843	563,396,749	0	88,892,132	0	88,892,132	474,504,617	91.2%	87.3%
国民健康保険特別会計	2,055,801,000	2,029,805,985	2,018,962,617	10,843,368	0	0	0	0	10,843,368	98.7%	98.2%
住宅新築資金等貸付事業特別会計	8,066,000	14,274,853	2,621,426	11,653,427	0	0	0	0	11,653,427	177.0%	32.5%
介護保険特別会計	2,272,222,000	2,260,140,836	2,201,629,973	58,510,863	0	0	0	0	58,510,863	99.5%	96.9%
後期高齢者医療特別会計	272,181,000	269,444,443	268,053,463	1,390,980	0	0	0	0	1,390,980	99.0%	98.5%
船上山発電所管理特別会計	24,584,000	25,582,032	19,978,698	5,603,334	0	0	0	0	5,603,334	104.1%	81.3%
八橋財産区特別会計	28,000	22,847	0	22,847	0	0	0	0	22,847	81.6%	0.0%
浦安財産区特別会計	26,000	21,741	0	21,741	0	0	0	0	21,741	83.6%	0.0%
下郷財産区特別会計	6,000	180	0	180	0	0	0	0	180	3.0%	0.0%
上郷財産区特別会計	6,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
古布庄財産区特別会計	6,000	674	0	674	0	0	0	0	674	11.2%	0.0%
赤碕財産区特別会計	18,181,000	18,171,322	394,023	17,777,299	0	0	0	0	17,777,299	99.9%	2.2%
成美財産区特別会計	14,303,000	14,297,595	155,000	14,142,595	0	0	0	0	14,142,595	100.0%	1.1%
安田財産区特別会計	9,663,000	10,155,450	452,495	9,702,955	0	0	0	0	9,702,955	105.1%	4.7%
以西財産区特別会計	69,293,000	69,244,874	1,119,120	68,125,754	0	0	0	0	68,125,754	99.9%	1.6%
合計	18,956,842,329	17,679,096,424	16,917,903,658	761,192,766	0	88,892,132	0	88,892,132	672,300,634	93.3%	89.2%

2. 令和5年度一般会計決算

(1)歳入表(性質別)

(単位:千円)

款	令和5年度決算額		令和4年度決算額		比較 (A-B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	
1.自主財源	3,862,106	29.78%	3,867,456	30.33%	△ 5,350
1.町税	1,737,613	13.40%	1,738,586	13.63%	△ 973
13.分担金及び負担金	38,330	0.30%	53,191	0.42%	△ 14,861
14.使用料及び手数料	157,342	1.21%	154,688	1.21%	2,654
17.財産収入	19,088	0.15%	19,592	0.15%	△ 504
18.寄附金	260,661	2.01%	369,497	2.90%	△ 108,836
19.繰入金	744,703	5.74%	704,939	5.53%	39,764
20.繰越金	711,056	5.48%	643,264	5.04%	67,792
21.諸収入	193,313	1.49%	183,699	1.44%	9,614
2.依存財源	9,105,828	70.22%	8,885,258	69.67%	220,570
2.地方譲与税	113,235	0.87%	112,338	0.88%	897
3.利子割交付金	917	0.01%	952	0.01%	△ 35
4.配当割交付金	8,895	0.07%	7,435	0.06%	1,460
5.株式等譲渡所得割交付金	10,288	0.08%	5,904	0.05%	4,384
6.地方消費税交付金	393,835	3.04%	403,318	3.16%	△ 9,483
7.ゴルフ場利用税交付金	1,908	0.01%	2,526	0.02%	△ 618
8.自動車税環境性能割交付金 (自動車取得税交付金含む)	12,747	0.10%	9,206	0.07%	3,541
9.法人事業税交付金	26,759	0.21%	24,025	0.19%	2,734
10.交通安全対策特別交付金	937	0.01%	1,180	0.01%	△ 243
11.地方特例交付金	10,432	0.08%	9,402	0.07%	1,030
12.地方交付税	4,622,080	35.64%	4,546,786	35.65%	75,294
15.国庫支出金	1,563,895	12.06%	1,609,389	12.62%	△ 45,494
16.県支出金	1,090,400	8.41%	1,536,949	12.05%	△ 446,549
22.町債	1,249,500	9.64%	615,848	4.83%	633,652
歳入合計	12,967,934	100.00%	12,752,714	100.00%	215,220



* 地方消費税交付金等…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車税環境性能割交付金、法人事業税交付金、交通安全対策交付金、地方特例交付金

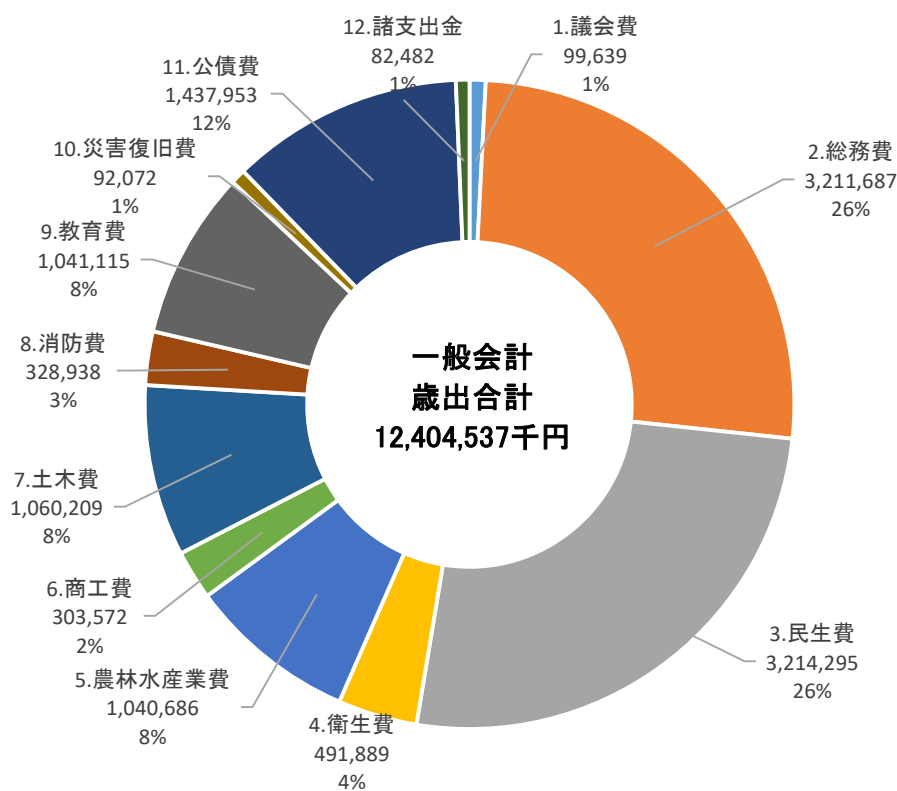
* 分担金及び負担金等…分担金及び負担金、使用料及び手数料

* 諸収入…財産収入、寄附金、諸収入

(2)歳出表(目的別)

(単位:千円)

款	令和5年度決算額		令和4年度決算額		比較 (A-B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	
1.議会費	99,639	0.80%	97,891	0.81%	1,748
2.総務費	3,211,687	25.89%	2,721,350	22.60%	490,337
3.民生費	3,214,295	25.91%	3,257,209	27.05%	△ 42,914
4.衛生費	491,889	3.97%	472,680	3.93%	19,209
5.農林水産業費	1,040,686	8.39%	1,315,645	10.93%	△ 274,959
6.商工費	303,572	2.45%	129,994	1.08%	173,578
7.土木費	1,060,209	8.55%	1,001,690	8.32%	58,519
8.消防費	328,938	2.65%	282,905	2.35%	46,033
9.教育費	1,041,115	8.39%	830,591	6.90%	210,524
10.災害復旧費	92,072	0.74%	347,060	2.88%	△ 254,988
11.公債費	1,437,953	11.59%	1,535,688	12.75%	△ 97,735
12.諸支出金	82,482	0.66%	48,954	0.41%	33,528
歳出合計	12,404,537	100.00%	12,041,657	100.00%	362,880

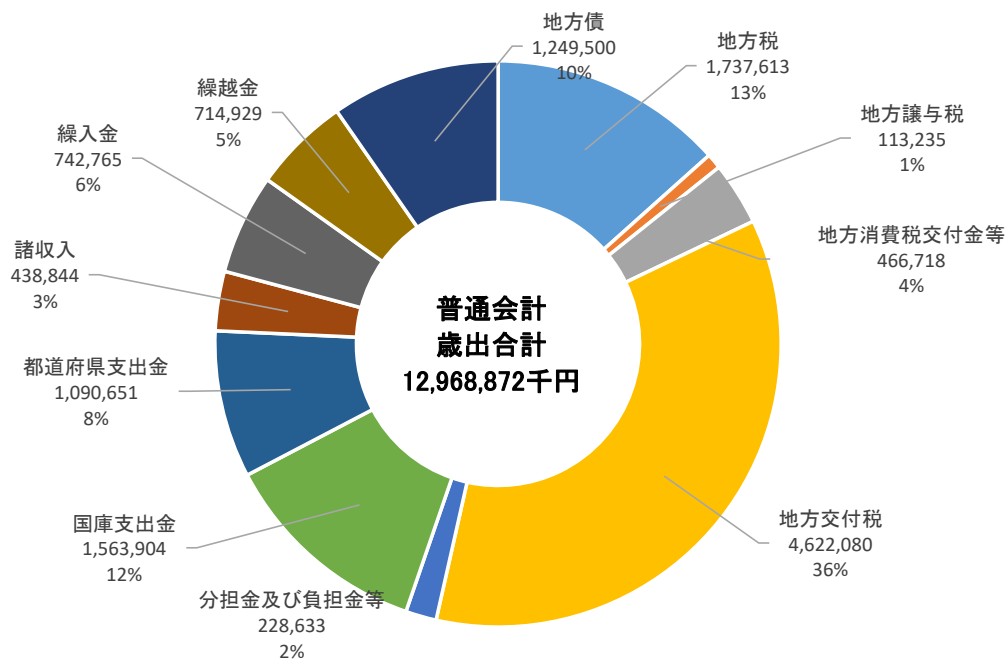


3. 令和5年度普通会計決算資料

(1) 歳入(性質別)

(単位:千円)

区 分	令和5年度		令和4年度		比較	
	決算額 (A)	決算額 構成比 (%)	決算額 (B)	決算額 構成比 (%)	増減額 (A)-(B)	増減率
1 地方税	1,737,613	13.4%	1,738,586	13.6%	△ 973	-0.1%
2 地方譲与税	113,235	0.9%	112,338	0.9%	897	0.8%
3 利子割交付金	917	0.0%	952	0.0%	△ 35	-3.7%
4 配当割交付金	8,895	0.1%	7,435	0.1%	1,460	19.6%
5 株式等譲渡所得割交付金	10,288	0.1%	5,904	0.0%	4,384	74.3%
6 地方消費税交付金	393,835	3.0%	403,318	3.2%	△ 9,483	-2.4%
7 ゴルフ場利用税交付金	1,908	0.0%	2,525	0.0%	△ 617	-24.4%
8 自動車税環境性能割交付金 (自動車取得税交付金含む)	12,747	0.1%	9,206	0.1%	3,541	38.5%
9 法人事業税交付金	26,759	0.2%	24,025	0.2%	2,734	11.4%
10 地方特例交付金	10,432	0.1%	9,402	0.1%	1,030	11.0%
11 地方交付税	4,622,080	35.6%	4,546,786	35.7%	75,294	1.7%
12 交通安全対策特別交付金	937	0.0%	1,180	0.0%	△ 243	-20.6%
13 分担金及び負担金	44,705	0.3%	55,814	0.4%	△ 11,109	-19.9%
14 使用料	156,991	1.2%	156,073	1.2%	918	0.6%
15 手数料	26,937	0.2%	24,806	0.2%	2,131	8.6%
16 国庫支出金	1,563,904	12.1%	1,609,482	12.6%	△ 45,578	-2.8%
17 都道府県支出金	1,090,651	8.4%	1,537,118	12.1%	△ 446,467	-29.0%
18 財産収入	19,910	0.2%	20,228	0.2%	△ 318	-1.6%
19 寄附金	260,711	2.0%	369,497	2.9%	△ 108,786	-29.4%
20 繰入金	742,765	5.7%	702,447	5.5%	40,318	5.7%
21 繰越金	714,929	5.5%	648,248	5.1%	66,681	10.3%
22 諸収入	158,223	1.2%	142,971	1.1%	15,252	10.7%
23 地方債	1,249,500	9.6%	615,848	4.8%	633,652	102.9%
歳入合計	12,968,872	100.0%	12,744,189	100.0%	224,683	1.8%

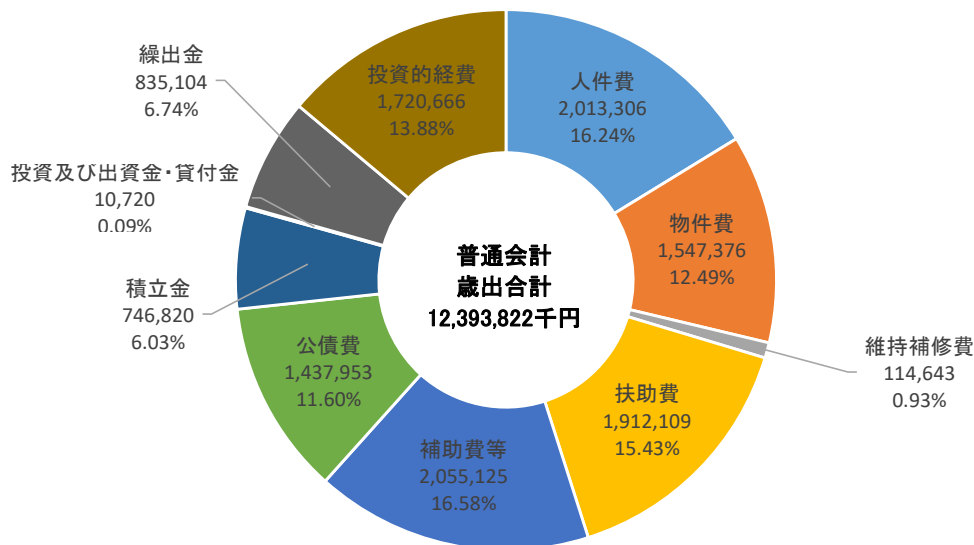


- * 地方消費税交付金等…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車税環境性能割交付金、法人事業税交付金、交通安全対策特別交付金、地方特例交付金
- * 分担金及び負担金等…分担金及び負担金、使用料及び手数料
- * 諸収入…財産収入、寄附金、諸収入

(2) 歳出(性質別)

(単位:千円)

区 分	令和5年度		令和4年度		比較	
	決算額 (A)	決算額 構成比 (%)	決算額 (B)	決算額 構成比 (%)	増減額 (A)-(B)	増減率
1 人件費(a)	2,013,306	16.24%	1,951,620	16.22%	61,686	3.2%
2 物件費	1,547,376	12.49%	1,518,635	12.62%	28,741	1.9%
3 維持補修費	114,643	0.93%	145,326	1.21%	△ 30,683	-21.1%
4 扶助費	1,912,109	15.43%	1,751,302	14.56%	160,807	9.2%
5 補助費等	2,055,125	16.58%	2,382,521	19.81%	△ 327,396	-13.7%
(1)一部事務組合に対するもの	430,473	3.47%	419,512	3.49%	10,961	2.6%
(2) (1)以外のもの	1,624,652	13.11%	1,963,009	16.32%	△ 338,357	-17.2%
6 公債費	1,437,953	11.60%	1,535,688	12.77%	△ 97,735	-6.4%
(1)元利償還金	1,437,953	11.60%	1,535,688	12.77%	△ 97,735	-6.4%
(2)一時借入金利息	0	0.00%	0	0.00%	0	—
7 積立金	746,820	6.03%	796,925	6.62%	△ 50,105	-6.3%
8 投資及び出資金・貸付金	10,720	0.09%	11,735	0.10%	△ 1,015	-8.6%
9 繰出金	835,104	6.74%	792,109	6.58%	42,995	5.4%
10 前年度繰上充用金	0	0.00%	0	0.00%	0	—
計 (1~10)	10,673,156	86.12%	10,885,861	90.49%	△ 212,705	-2.0%
11 投資的経費	1,720,666	13.88%	1,143,399	9.51%	577,267	50.5%
うち人件費(b)	32,667	0.26%	23,503	0.20%	9,164	39.0%
(1)普通建設事業費	1,622,319	13.09%	787,979	6.55%	834,340	105.9%
うち単独事業費	1,028,035	8.29%	386,853	3.22%	641,182	165.7%
(2)災害復旧事業費	98,347	0.79%	355,420	2.95%	△ 257,073	-72.3%
歳出合計	12,393,822	100.00%	12,029,260	100.00%	364,562	3.0%
うち人件費(a)+(b)	2,045,973	16.51%	1,975,123	16.42%	70,850	3.6%



4. 普通会計における財政指数

1. 実質収支比率

(単位: %)

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
実質収支比率	7.3	9.0	6.7

実質収支比率 = 実質収支額 / 標準財政規模 × 100

2. 経常収支比率

(単位: 千円、%)

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
経常一般財源等総額 A	6,709,533	6,689,998	6,875,863
経常経費充当一般財源等 B	6,186,416	6,107,425	6,125,569
経常収支比率 (B/A × 100)	92.2%	91.3%	89.1%

5. 各会計における地方債の状況

【普通会計】

(単位:千円)

区分	令和4年度末 現在高	令和5年度 発行額	令和5年度元利償還額			令和5年度末 現在高
			元金	利子	計	
公共事業債	463,188	39,910	60,923	2,324	63,247	442,175
一般単独事業債	3,811,537	109,900	616,805	34,121	650,926	3,304,632
うち合併特例事業債	3,126,124	3,500	501,341	32,085	533,426	2,628,283
防災・減災国土強靱化債	39,777	10,900	3,073	93	3,166	47,604
公営住宅建設事業債	194,064	0	60,787	2,822	63,609	133,277
学校教育施設等整備事業債	406,866	0	82,859	1,699	84,558	324,007
辺地対策事業債	105,233	3,900	21,978	103	22,081	87,155
過疎対策事業債	363,100	1,036,900	19,383	1,198	20,581	1,380,617
災害復旧事業債	95,675	9,600	25,471	168	25,639	79,804
減税補てん債	7,888	0	3,676	14	3,690	4,212
臨時財政対策債	3,327,021	0	360,415	7,969	368,384	2,966,606
その他	835,450	38,390	126,634	5,438	132,072	747,206
合計	9,649,799	1,249,500	1,382,004	55,949	1,437,953	9,517,295